講義科目名称：　基礎演習　　授業コード：J1　J2　J3　J4

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1年次	2単位(60)	必修
担当教員			
柳澤　充・矢嶋　栄司・清水　春代・福田　智久			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	[授業の目的]本学の建学の精神・教育目標に基づき、高校と大学の相違を、さまざまな観点から学び、円滑な移行を目指して初年次教育をおこなう。基礎演習Ｉにおいては、礼儀・挨拶、ボランティア活動、環境美化活動を理解し、積極的に取り組み、人間としての基礎的教養力と自律的実践能力を養う。基礎演習の導入として、高校のリメディアル教育、学問への動機づけ、コミュニケーション能力など、学習成果を保証するための学習方法や技術を総合的に学ぶ。[到達目標]１　礼儀･挨拶、ボランティア活動、環境美化活動を理解し、積極的に取り組むことができる。２　基礎演習における学習の基礎能力として、授業の受け方、図書館利用指導、レポート作成など学習スキルを身につける。３　昌賢祭の研究発表を通じて、問題解決能力、コミュニケーション能力を養う。
授業の概要	授業を、①建学の精神と実践教育、②学習統合、③進路･資格取得、④地域貢献、⑤心身の健康の５つのプログラムから構成し、建学の精神に則り、礼儀･挨拶、ボランティア活動、環境美化活動等に関する、人間としての基礎的能力教養力と自律的実践能力を学習するとともに、基礎的学習スキルを身につけることにより、読書力、問題解決能力、コミュニケーション能力を高め、学習統合の基礎を確立する。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	○
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	△
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	◎

授業計画		
	第１回	建学の精神と実践教育プログラム①　　前期オリエンテーション：学長訓話、各教員からの伝達、諸連絡 【key words】 建学の精神 【授業概要】 建学の精神について説明する。 【教科書ページ・参考文献】 学生ハンドブック 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予め学生ハンドブックや本学ホームページなどで建学の精神について学んでおくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第２回	建学の精神と実践プログラム②　委員会活動についてＩ（1，2年合同）、心身の健康プログラム①健康管理についてＩ（親睦スポーツ大会準備） 【key words】 委員会活動 【授業概要】 本学の委員会活動について説明し、各々の所属委員会を決定する。 【教科書ページ・参考文献】 学生ハンドブック 【課題・予習・復習・授業準備指示】 学生ハンドブックで予めどのような委員会があるのか理解しておくこと。所属委員会が決定したら、年間計画を立案し指定期日までに担任に提出すること。 【予習復習に必要な想定時間】 予習30分　復習（年間計画立案）60分
	第３回	心身の健康プログラム②生活の充実についてＩ（防犯講座） 【key words】 防犯 【授業概要】 県警の方をお招きし、防犯について講義していただく。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料など 【課題・予習・復習・授業準備指示】 防犯講座の内容を理解し、常に意識し生活すること。 【予習復習に必要な想定時間】 30分

	第４回	学習統合プログラム①大学での授業の受け方Ⅰ（講義、演習、実習、実技、試験説明） 【key words】 授業の受け方 【授業概要】 授業の受け方は高校の時と違い、主体的に学ぶことであることを伝える。 【教科書ページ・参考文献】 学生ハンドブック、知へのステップ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 「知へのステップ」で授業の受け方に関する箇所を探し、一読しておくこと、講義を踏まえ各授業に臨むこと。科目担当教員の指示に従い授業を受けること。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第５回	進路、資格取得プログラム①個人面談についてⅠ（面談表、キャリアデザインノート作成） 【key words】 個人面談 【授業概要】 5月連休後に個人面談を行うため、その意義と目的を伝える。空き時間などに1人20～30分行うため各自の予定を確認する。 【教科書ページ・参考文献】 学生ハンドブック 【課題・予習・復習・授業準備指示】 短大に入学した各々の目的や目標を明確にし、その目的や目標を達成するために取り組むべきことを考えた上で面談に臨むこと。心配事や伝えておいた方が良いことがあれば面談時に申し出ること。 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第６回	建学の精神と実践プログラム③委員会活動についてⅡ 【key words】 委員会活動 【授業概要】 各委員会の活動進捗状況を確認し、今後の活動計画を確認する。各委員会から報告し短大全体で各委員会の活動を共有する。 【教科書ページ・参考文献】 学生ハンドブック 【課題・予習・復習・授業準備指示】 各委員会で計画通りに活動を行うこと。進捗状況を報告できるように予め活動内容をまとめておくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第７回	地域貢献プログラム①地域とのかかわりⅠ（昌賢祭の意義と内容、2年生から1年生へ昌賢祭の意義・目的ほか説明）（1，2年合同） 【key words】 昌賢祭 【授業概要】 昌賢祭の目的・意義について2年生から1年生に伝達し、昌賢祭のイメージを持つ。 【教科書ページ・参考文献】 2年生からの配布資料など 【課題・予習・復習・授業準備指示】 2年生から伝えられたことを参考に、クラス発表の内容などを各々考えること。 【予習復習に必要な想定時間】 クラス発表に向けて各々考える（60分）
	第８回	学習統合養成プログラム②レポートの作成Ⅰ（レポートと作文との違い） 【key words】 レポート作成 【授業概要】 レポート作成について講義する。 【教科書ページ・参考文献】 『知へのステップ』「レポート作成について」の項 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業を踏まえ課題を課す。指定期日までに提出すること。 【予習復習に必要な想定時間】 課題（180分）
	第９回	学習統合プログラム③レポートの作成Ⅱ（基本的な型や構成） 【key words】 レポート作成 【授業概要】 添削されたレポートを書きなおすための留意事項について講義する。 【教科書ページ・参考文献】 『知へのステップ』「レポート作成について」の項 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業を踏まえ課題を課す。指定期日までに提出すること。 【予習復習に必要な想定時間】 課題（180分）
	第１０回	学習統合プログラム④レポートの作成Ⅲ（レポート作成） 【key words】

レポート作成
【授業概要】
添削されたレポートを書きなおすための留意事項について講義する。
【教科書ページ・参考文献】
『知へのステップ』「レポート作成について」の項
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業を踏まえ課題を課す。指定期日までに提出すること。
【予習復習に必要な想定時間】
課題（180分）

第１１回　建学の精神と実践プログラム④委員会活動についてⅢ
【key words】
委員会活動

【授業概要】
各委員会の活動進捗状況を確認し、今後の活動計画を確認する。各委員会から報告し短大全体で各委員会の活動を共有する。
【教科書ページ・参考文献】
学生ハンドブック
【課題・予習・復習・授業準備指示】
各委員会で計画通りに活動を行うこと。進捗状況を報告できるように予め活動内容をまとめておくこと。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第１２回　学習統合プログラム⑤コミュニケーション能力の向上に向けた取り組みⅠ（1，2年合同）
【key words】
コミュニケーション

【授業概要】
2年生が企画したレクリエーションを一緒に行うことで、1年生と2年生の交流を図り、対人関係の築き方を学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
2年生との交流を踏まえ、人と関わる仕事で大切なことは何かについて考え今後の学生生活を送ること。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第１３回　地域貢献プログラム②（地域とのかかわりⅡ（昌賢祭での資料収集）
【key words】
昌賢祭

【授業概要】
昌賢祭のクラス発表の内容を検討する
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
昌賢祭委員は実行委員会で話された内容を全体で共有するために準備しておくこと。各クラスは空き時間などを活用し準備を計画的に進めること。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第１４回　建学の精神と実践プログラム⑤委員会活動についてⅣ
【key words】
委員会活動
【授業概要】
各委員会の活動進捗状況を確認し、今後の活動計画を確認する。各委員会から報告し短大全体で各委員会の活動を共有する。
【教科書ページ・参考文献】
学生ハンドブック
【課題・予習・復習・授業準備指示】
各委員会で計画通りに活動を行うこと。進捗状況を報告できるように予め活動内容をまとめておくこと。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第１５回　前期総括　（まとめ）
【key words】
前期振り返り
【授業概要】
前期を振り返るために指定時間で作文を書く。
【教科書ページ・参考文献】
学生ハンドブック
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予め前期を振り返り、記述構成を考えておくこと。作文を書くことで前期を振り返り、後期の学生生活につなげること。
【予習復習に必要な想定時間】
予習60分

第１６回　建学の精神と実践教育プログラム⑥　後期オリエンテーション：学長訓話、委員会活動についてⅤ（1，2年合同）
【key words】
建学の精神　委員会活動
【授業概要】
建学の精神について改めて理解する。後期の委員活動を確認する。
【教科書ページ・参考文献】

		学生ハンドブック 【課題・予習・復習・授業準備指示】 各委員会の後期計画を確認し遂行すること。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第１７回	心身の健康プログラム③生活の充実についてⅢ（デートＤＶ防止） 【key words】 デートDV 【授業概要】 外部講師を招き、デートDVについて理解する。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料　ワークシート 【課題・予習・復習・授業準備指示】 デートDVについて学んだことをワークシートに記入し指定日時までに担任に提出すること。講義で学んだことに関して相談等が生じた場合には、学内相談機関や紹介された相談機関に相談すること。 【予習復習に必要な想定時間】 ワークシート90分
	第１８回	地域貢献プログラム③地域とのかかわりⅣ（昌賢祭：テーマ策定、研究班編成） 【key words】 昌賢祭 【授業概要】 昌賢祭に関するテーマを決め、研究発表の段取りを考える。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業外にも昌賢祭委員を中心に適宜進めていくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第１９回	地域貢献プログラム④地域とのかかわりⅤ（昌賢祭：各研究班調査資料収集） 【key words】 昌賢祭 【授業概要】 昌賢祭に関す研究発表に向けて準備する。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業外にも昌賢祭委員を中心に適宜進めていくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第２０回	地域貢献プログラム⑤地域とのかかわりⅥ（昌賢祭：各研究班資料分析、発表検討） 【key words】 昌賢祭 【授業概要】 昌賢祭に関す研究発表に向けて準備する。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業外にも昌賢祭委員を中心に適宜進めていくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第２１回	地域貢献プログラム⑥地域とのかかわりⅦ（昌賢祭：各研究班発表準備） 【key words】 昌賢祭 【授業概要】 昌賢祭に関す研究発表に向けて準備する。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業外にも昌賢祭委員を中心に適宜進めていくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第２２回	地域貢献プログラム⑦地域とのかかわりⅧ（昌賢祭：各研究班発表） 【key words】 昌賢祭 【授業概要】 昌賢祭に関す研究発表に向けて準備する。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業外にも昌賢祭委員を中心に適宜進めていくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第２３回	地域貢献プログラム⑧地域とのかかわりⅨ（昌賢祭：総括） 【key words】 昌賢祭 【授業概要】 昌賢祭の振り返りを行う。振り返りの作文を書く。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 作文は指定日時までに提出すること。

【予習復習に必要な想定時間】
記述構成予習（60分）

第２４回　心身の健康プログラム④生活の充実についてⅣ（消費者被害防止）
【key words】
消費者被害防止
【授業概要】
外部講師をお招きし、消費者被害防止について講演していただく。
【教科書ページ・参考文献】
配布資料　ワークシート
【課題・予習・復習・授業準備指示】
講演で学んだことを、ワークシートにまとめ、指定日時までに担任に提出すること。
【予習復習に必要な想定時間】
ワークシート（60分）

第２５回　建学の精神と実践プログラム⑦委員会活動についてⅣ
【key words】
委員会活動
【授業概要】
各委員会の活動進捗状況を確認し、今後の活動計画を確認する。各委員会から報告し短大全体で各委員会の活動を共有する。
【教科書ページ・参考文献】
学生ハンドブック
【課題・予習・復習・授業準備指示】
各委員会で計画通りに活動を行うこと。進捗状況を報告できるように予め活動内容をまとめておくこと。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第２６回　建学の精神と実践プログラム⑧サービス・ラーニング（ボランティア）、環境美化についてまとめⅠ（冬季休業中の諸注意）
【key words】
ボランティア、環境美化
【授業概要】
年間を通して、サービス・ラーニング（ボランティア活動）や環境美化について各々や班でどのように取り組んできたのかを振り返る。
【教科書ページ・参考文献】
学生ハンドブック
【課題・予習・復習・授業準備指示】
2年次の学生生活をイメージし、日々のサービス・ラーニング（ボランティア）や環境美化に取り組むこと。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第２７回　学習統合プログラム⑥コミュニケーション能力の向上に向けた取り組み Ⅱ　（1，2年合同）
【key words】
コミュニケーション
【授業概要】
2年生が企画したレクリエーションを一緒に行うことで、1年生と2年生の交流を図り、対人関係の築き方を学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
2年生との交流を踏まえ、人と関わる仕事で大切なことは何かについて考え今後の学生生活を送ること。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第２８回　進路、資格取得プログラム②進路を学ぶⅡ（トレーニングテスト）
【key words】
トレーニングテスト
【授業概要】
業者による就職試験を意識したテストを行う
【教科書ページ・参考文献】
業者テスト
【課題・予習・復習・授業準備指示】
解説をよく読み復習すること。
【予習復習に必要な想定時間】
復習60分

第２９回　建学の精神と実践プログラム⑨委員会活動についてⅤ
【key words】
委員会活動
【授業概要】
各委員会の活動進捗状況を確認し、今後の活動計画を確認する。各委員会から報告し短大全体で各委員会の活動を共有する。
【教科書ページ・参考文献】
学生ハンドブック
【課題・予習・復習・授業準備指示】
各委員会で計画通りに活動を行うこと。進捗状況を報告できるように予め活動内容をまとめておくこと。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第３０回　基礎演習Ⅰの総括
【key words】
1年次の総括
【授業概要】
1年間を振り返り、作文にまとめる。

	【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 作文は指定日時までに担任に提出すること。 【予習復習に必要な想定時間】 1年間を振り返り、記述構成する（60分）
受講生に関わる情報および受講のルール	1　基礎演習は本学の人間教育の要である。そのことに深く留意して取り組むこと。 2　私語は慎み、出欠席の状況や受講態度等本学の学生にふさわしい態度で臨むこと。 3　全体オリエンテーション等の学校行事は必ず出席すること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	レポート準備や委員会活動等、授業外で取り組むことが多いため、計画的、積極的に取り組むこと。
オフィスアワー	各クラス担任に確認すること
評価方法	演習への取り組み内容（オリテン等の行事を含む）（60%）、提出物（40%）を総合して評価する。
教科書	鈴木利定・中田勝(著)『咸有一徳』中央法規、2002年。『基礎演習テキスト』群馬医療福祉大学、2012年。学習技術研究会『知へのステップ』くろしお出版　2002年
参考書	適宜紹介する
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 心理学理論と心理的支援　　授業コード：J14

英文科目名称： Psychological Theory and Psychological Support
(Introduction to Psychology)

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	2単位(30)	福祉総合コース・選択
担当教員			
大島　由之			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	［授業の目標］ 人間行動について，科学としての心理学の視点で，科学的客観的に観察するための基礎知識の習得を目指す。さまざまな領域の心理学を学びながら、人間に対する視野を広げることを目的とする。 ［到達目標］ ①人の心の基本的な仕組みと機能を理解し、環境との相互作用の中で生じる心理的反応を理解する。 ②人の成長・発達段階の各期に特有な心理的課題を理解する。 ③日常生活と心の健康との関係について理解する。 ④心理学の理論を基礎としたアセスメントの方法と支援について理解する。
授業の概要	はじめて心理学を専門的に学ぶ講義として，知覚・認知・学習・発達・適応・臨床の分野に分け，心理学の主要領域について，広く概説を行う。また，心理学の基礎的な知識の習得を通じて，社会福祉士・精神保健福祉士・幼小中高特別支援学校教諭・保育士・公認心理師などをはじめとする対人援助職を目指す上で基本となる心理学的な観点からの人間理解・支援の方法について学ぶことを目指す。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	◎
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	

授業計画

第１回　心理学の歴史と心理学の研究法

【key words】
授業についてのガイダンス，心理学の歴史と対象，心理学の種類，心を探求する方法の発展
【授業概要】
授業開始にあたっての連絡事項を説明する。続いて，科学としての心理学の誕生から現在の心理学までの経緯，心理学の研究法や心理学の種類を学習する。
【教科書ページ・参考文献】
教科書「第1章 心理学の視点」p1-17.
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習課題：授業内で指示・配布を行う事前課題を完成させて次回持参すること。
【予習復習に必要な想定時間】
30-60分

第２回　外部環境をとらえる

【key words】
感覚の種類と特徴，視知覚，対比，錯視，プレグナンツの法則，運動の知覚、感覚・知覚
【授業概要】
外部環境のとらえ方，網膜に写る像とは異なる形で知覚される人間の視知覚について学習し，実際に簡単な知覚の実験も行う。また，アニメーションの原理であるベータ運動とファイ現象についても確認する。
【教科書ページ・参考文献】
教科書「第2章 第3節 感覚・知覚」p45-53.
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習課題：授業内で指示・配布を行う事前課題を完成させて次回持参すること。
【予習復習に必要な想定時間】
30-60分

第３回　内部環境の調整ー神経系の仕組み

【key words】
神経伝達物質とホルモン，中枢神経系の仕組み，脳の構造と機能、心の生物学的基盤

【授業概要】
感覚器官から入った刺激は中枢神経系に入る。脳の神経回路を用いて推理し判断する。中枢系の構造と機能について学習確認する。
【教科書ページ・参考文献】
教科書「第2章 第1節 心の生物学的基盤」p20-28.
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習課題：授業内で指示・配布を行う事前課題を完成させて次回持参すること。
【予習復習に必要な想定時間】
30-60分

第４回　発達１

【key words】

		心の発達の基盤、発達とライフサイクル，生涯発達について，ハヴィガーストとエリクソンの発達理論 【授業概要】 人間の発達を生涯という観点から捉えたハヴィガーストとエリクソンの発達理論を学習する。現代社会での生涯発達を考えていく。 【教科書ページ・参考文献】 教科書「第3章 第1節 障害発達」p98-106. 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習課題：授業内で指示・配布を行う事前課題を完成させて次回持参すること。 【予習復習に必要な想定時間】 30-60分
	第５回	発達２ 【key words】 情動の発達，自律と依存，援助行動，認知思考の発達とピアジェの発達理論，恐怖と不信感，現代の発達病理 【授業概要】 人間の発達の中でも，情動・自律と依存・援助行動といった対人関係に関わる発達，心の理論の発達，更にピアジェの認知発達について学習していく。心の理論課題を実際に体験する。 【教科書ページ・参考文献】 教科書「第3章 第2節 心の発達の基盤」p107-123. 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習課題：授業内で指示・配布を行う事前課題を完成させて次回持参すること。 【予習復習に必要な想定時間】 30-60分
	第６回	学習，欲求と動機づけ 【key words】 古典的条件づけとオペラント条件づけ，感情・動機づけ・欲求，技能の学習における集中と分散、学習・行動 【授業概要】 古典的条件づけとオペラント条件づけの違い，様々な動機づけ，技能学習における集中と分散の効果の違いについて学習を進める。 【教科書ページ・参考文献】 教科書「第2章 第2節 感情・動機付け・欲求」p29-44.　「第2章 第4節 学習・行動」p54-63. 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習課題：授業内で指示・配布を行う事前課題を完成させて次回持参すること。 【予習復習に必要な想定時間】 30-60分
	第７回	認知と記憶 【key words】 記憶，認知、記銘の方略，情報の検索と忘却，問題解決，記憶障害と認知症 【授業概要】 短期記憶と長期記憶の違い，エラーフリーや記憶のコード化等の記憶方略，情報の検索と忘却，問題の解決について学習を進める。記憶障害については，記憶のコード化の課題作成練習を行う。 【教科書ページ・参考文献】 教科書「第2章 第5節 認知」p64-74. 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習課題：授業内で指示・配布を行う事前課題を完成させて次回持参すること。 【予習復習に必要な想定時間】 30-60分
	第８回	知能 【key words】 知能と知能テスト，知能検査と知能の表示法，知的障害と発達障害、個人差 【授業概要】 知能の定義と様々な知能検査について確認する。また実際に知能検査結果から知能指数を算出する。知的障害と発達障害の違いを確認する。 【教科書ページ・参考文献】 教科書「第2章 第6節 知能・パーソナリティ」p75-85、　「第5章 第1節 心理アセスメント」p152-163. 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習課題：授業内で指示・配布を行う事前課題を完成させて次回持参すること。 【予習復習に必要な想定時間】 30-60分
	第９回	パーソナリティ 【key words】 パーソナリティとその測定，心理検査の信頼性と妥当性，性格の形成，テストバッテリー 【授業概要】 パーソナリティとその測定方法である心理検査の違いを確認していく。さまざまなテストを組み合わせるテストバッテリーについて説明する。 【教科書ページ・参考文献】 教科書「第2章 第6節 知能・パーソナリティ」p75-85、　「第5章 第1節 心理アセスメント」p152-163. 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習課題：授業内で指示・配布を行う事前課題を完成させて次回持参すること。 【予習復習に必要な想定時間】 30-60分
	第１０回	適応の問題１ 【key words】 適応とストレス，正常と異常，適応と不適応，ストレスが身体に及ぼす影響、健康生成論 【授業概要】 正常と異常の違い，適応と不適応の違いを確認する。ストレスが身体に与える影響について，心理学的理論と個体差、レジリエンス、首尾一貫感覚などについて取り上げ学習を進める。

	【教科書ページ・参考文献】 教科書「第4章 日常生活と心の健康」p124-151、 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習課題：授業内で指示・配布を行う事前課題を完成させて次回持参すること。 【予習復習に必要な想定時間】 30-60分
	第１１回　適応の問題２ 【key words】 乳幼児期・児童期の適応困難，思春期・青年期の不適応，青年期・成人の適応困難 【授業概要】 乳幼児期・児童期からの適応困難として，学習障害・注意欠陥／多動性障害・自閉症スペクトラム障害について学習を進める。思春期・青年期の不適応として，摂食障害・家庭内暴力・不登校などを取り上げる。青年期・成人の適応困難として，神経症と心身症，及び精神病，特に双極性障害（躁うつ病）と統合失調症についての違いと対応について説明する。 【教科書ページ・参考文献】 教科書「第6章 第1節 子ども・家庭福祉」p75-85、「同第3節 障害児・者福祉」p208-213 「同第4節 精神保健福祉」p214-218. 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習課題：授業内で指示・配布を行う事前課題を完成させて次回持参すること。 【予習復習に必要な想定時間】 30-60分
	第１２回　高次脳機能障害 【key words】 注意障害，記憶障害，遂行機能障害，失認失行，病識 【授業概要】 頭部外傷や脳血管症などによる高次脳機能障害の主なものについて，その機序を説明し，その対応についても取り上げる。 【教科書ページ・参考文献】 「医学概論（人体の構造と機能及び疾病）」の教科書を用いる予定。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習課題：授業内で指示・配布を行う事前課題を完成させて次回持参すること。 【予習復習に必要な想定時間】 30-60分
	第１３回　心理臨床とカウンセリング、公認心理師 【key words】 アセスメントの諸技法，面接法，心理療法におけるアセスメントと介入技法、マイクロカウンセリング 【授業概要】 心理臨床にとって必要なアセスメントの諸技法，面接法・観察法・検査法を確認する。更に面接法での基本的スキルを概説する。様々な心理療法（精神分析、認知行動療法、ブリーフセラピー、家族療法など）についても概説していく。また、公認心理師について概説する。 【教科書ページ・参考文献】 教科書「第5章 第2節 心理的支援の基本的技法～第4節 心理の専門職」p162-197 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習課題：授業内で指示・配布を行う事前課題を完成させて次回持参すること。 【予習復習に必要な想定時間】 30-60分
	第１４回　対人関係１ 【key words】 非言語的コミュニケーション，好意の獲得，対人距離 【授業概要】 対人関係における非言語的コミュニケーションの役割，対人効果の決定因，パーソナルスペース等，対人関係の取り方，その意味について学習する。 【教科書ページ・参考文献】 教科書「第1章 第7節 社会のなかでの心理」p86-97.また、参考資料を別途指定予定。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習課題：授業内で指示・配布を行う事前課題を完成させて次回持参すること。 【予習復習に必要な想定時間】 30-60分
	第１５回　対人関係２，社会と文化，対人交流とコミュニケーション 【key words】 対人関係における親和欲求，コミュニケーションスキル，社会と文化におけるグローバルコミュニケーション、集団・組織 【授業概要】 対人関係における親和欲求，効果的なコミュニケーションスキル，社会と文化におけるグローバルコミュニケーション，文化，ジェンダーの問題を取り上げ，学習を進めていく。 【教科書ページ・参考文献】 教科書「第1章 第7節 社会のなかでの心理」p86-97.また、参考資料を別途指定予定。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 試験準備として授業内での指示・案内に沿って各自で準備を行う。 【予習復習に必要な想定時間】 60-90分
受講生に関わる情報および受講のルール	〔受講生に関わる情報〕 ・出欠管理や提出物の返却を効率的に行うために毎回座席の指定があるものとお考え下さい。指定する座席は，事前にウェブポータル等で連絡するか各教室の入口に貼り出します。 ・教科書以外に、補助教材としてプリントを配布します。後述する「事前学習の課題」とあわせて、各自でA4版のフラットファイル等を用いて保管するようにしてください。 ・このプリントは各回の授業前後にウェブポータルにアップロードを予定しています。プリントを紛失／汚損してしまった場合には，各自でウェブポータルからダウンロード／印刷するようにしてください。

	・「事前学習の課題」に備えて，図書館やPC室／LL室，コピー機等の利用が可能な状態にしておいてください。 ・講義時間内に，「事前学習の課題」を用いたグループワークを行うことがあります。その際のグループは基本的に教員がランダムに指定します。 〔受講のルール〕 ・教科書を毎回持参してください。 ・授業時間中は、講義に集中するため、私用での携帯電話、スマートフォン、タブレット端末は使用せず、卓上にも置かないでください。もちろん，各自の個別の事情（例：授業中に保護者や実習先からの連絡がある）で確認が必要な場合には卓上に置くことを認めます。その際は，授業開始前に担当教員にご相談ください。 ・遅刻／欠席する際には，大学のルールに則り，講義開始前までに事務局に連絡を行ってください。受講生への伝言等による連絡は，『言った／言わない』のトラブルを防ぐために行わないようにしてください。 ・事務局への事前連絡があった遅刻／欠席の場合のみ，その回の課題を後日に提出することを認めます。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	シャトルカード（またはウェブポータルのスレッド機能やアンケート機能）を使用予定
授業外時間にかかわる情報	「事前学習の課題」として，次回内容の予習にあたる用語調べや事例検討を課すことが多くあります。そのため，シラバスの記載内容や授業内での指示をよく確認するようにしてください。この「事前学習の課題」を用いて、授業時間中のグループワークを行うため，各自の積極的かつ真摯な取り組みを望みます。また，提出後に評価・返却を受けた「事前学習の課題」の定期試験への持ち込みを許可する予定です（詳しくは初回に説明）。
オフィスアワー	金曜5限
評価方法	事前学習の課題／授業内課題の提出：25%，提出された課題内容／取り組みの評価：25%，定期試験：50%（詳細は初回講義時に説明）
教科書	一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟(編)『最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座2 心理学と心理的支援』中央法規出版,2021年.
参考書	各回で適宜紹介します。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 福祉施設や教育機関でのカウンセラーとしての勤務経験。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称：　医療・福祉・教育の基礎　　授業コード：J56　J57

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年次	2単位(30)	介護福祉・医療事務秘書・福祉総合コース必修
担当教員			
土屋　昭雄			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 　介護や医療、社会福祉の学びは、関連性の深いものとなっている。これらの分野で専門職として活動しようとする者は、まずそれらがどう関連しているかを理解し他職種連携・チームケアの意義を把握しておかなければならない。そこで、本科目においては、制度概要および関連施設、各専門職等に関する基礎知識を身に付ける事を目的とする。 【到達目標】 　自身が目指す専門職の役割、仕事内容のみならず、関連領域に関する知識についても習得し、他職種連携・チームケアの意義を理解する。また、本科目での学びを通じ医療、福祉専門職者としての素養を身につけることを目標とする。
授業の概要	他職種連携・チームケアを考慮し、関連職種、関連領域に関する知識の習得は極めて大切なこととなる。こうしたことを含め、介護福祉士、医療事務職、社会福祉士として把握しておくべき基本的事項について概説していく。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	○
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	◎
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	△
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	

授業計画	第１回　　オリエンテーション〔授業の進め方、評価等授業概要に基づいた概要説明及び学習方法等について伝達〕・社会保険について 【key words】 社会保険(医療保険・介護保険)・専門職 【授業概要】 ・授業の進め方、評価、学生の目指す専門職とは等についての概説 ・社会保険についての概説 【教科書ページ・参考文献】 板書による説明 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業での板書事項の際確認および諸文献により社会保険についての把握に努めること 【予習復習に必要な想定時間】 1時間 第２回　　医療保険制度のしくみ 【key words】 医療保険・フリーアクセス・病院/診療所 【授業概要】 ・医療保険制度のしくみ ・日本の医療保険の特徴 【教科書ページ・参考文献】 板書による説明 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業内容についての再確認を励行し把握に努めること 【予習復習に必要な想定時間】 1時間 第３回　　病院と診療報酬算定のしくみ 【key words】 保険診療/自由診療・健康保険/国民健康保険/後期高齢者医療制度

【授業概要】
・保険診療のしくみ
・医療保険制度の概要

【教科書ページ・参考文献】
板書による説明
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業内容についての再確認を励行し把握に努めること
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第４回　介護保険制度のしくみ
【key words】

介護保険制度・契約制度・保険給付・特定疾病

【授業概要】
・介護保険制度創設の背景と目的
・介護保険制度の動向
・介護保険制度のしくみ
【教科書ページ・参考文献】
板書による説明・資料配布
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業内容についての再確認を励行し把握に努めること
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第５回　介護提供現場の基本的理解①　特別養護老人ホーム
【key words】

介護保険施設・介護老人福祉施設/特別養護老人ホーム・ユニットケア

【授業概要】
・特別養護老人ホームの概要
・人員、設備基準および職員配置
・特別養護老人ホームの重点化
【教科書ページ・参考文献】
板書による説明
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業内容についての再確認を励行し把握に努めること
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第６回　介護提供現場の基本的理解②　介護老人保健施設
【key words】

介護保険施設・介護老人保健施設・在宅復帰・リハビリテーション

【授業概要】
・介護老人保健施設の概要
・基準および職員配置
・介護老人保健施設の役割
【教科書ページ・参考文献】
板書による説明
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業内容についての再確認を励行し把握に努めること
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第７回　障害者総合支援法の基本的理解
【key words】

障害者総合支援法・障害者自立支援法・自立支援給付・地域生活支援事業

【授業概要】
・障害者総合支援法の概要
・障害者総合支援法の対象者
【教科書ページ・参考文献】
板書による説明・資料配布
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業内容についての再確認を励行し把握に努めること
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第８回　介護提供現場の基本的理解③　障害者支援施設
【key words】

障害者総合支援法・障害者支援施設・施設入所支援/生活介護

【授業概要】
・障害者支援施設の概要
・専門職の配置および役割
【教科書ページ・参考文献】
板書による説明

【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業内容についての再確認を励行し把握に努めること
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第９回　医療・福祉専門職の理解①　社会福祉士
【key words】

社会福祉士及び介護福祉士法・ソーシャルワーカー・相談援助・倫理綱領
【授業概要】
・社会福祉士の定義および業務、役割
・社会福祉士の活躍の場
・倫理綱領について
【教科書ページ・参考文献】
板書による説明
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業内容についての再確認を励行し把握に努めること
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第１０回　医療・福祉専門職の理解②　精神保健福祉士
【key words】

精神保健福祉士法・ソーシャルワーカー・相談援助

【授業概要】
・精神保健福祉士の定義および業務、役割
・精神保健福祉士の活躍の場
・社会福祉士との違い
【教科書ページ・参考文献】
板書による説明
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業内容についての再確認を励行し把握に努めること
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第１１回　医療・福祉専門職の理解③　看護師
【key words】

保健師助産師看護師法・看護師/准看護師・看護過程・倫理綱領

【授業概要】
・看護師の定義および業務、役割
・看護師の行う看護
・看護師の活躍の場
・看護師の倫理綱領
【教科書ページ・参考文献】
板書による説明
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業内容についての再確認を励行し把握に努めること
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第１２回　医療・福祉専門職の理解④　理学療法士
【key words】

理学療法士及び作業療法士法・運動療法・物理療法

【授業概要】
・理学療法士の定義および業務、役割
・理学療法士の活躍の場
【教科書ページ・参考文献】
板書による説明
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業内容についての再確認を励行し把握に努めること
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第１３回　医療・福祉専門職の理解⑤　作業療法士
【key words】

理学療法士及び作業療法士法・基本的動作能力・応用的動作能力・社会的適応能力

【授業概要】
・作業療法士の定義および業務、役割
・作業療法士の活躍の場
【教科書ページ・参考文献】
板書による説明
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業内容についての再確認を励行し把握に努めること
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

	第１４回　　医療・福祉専門職の理解⑥　保育士 【key words】 児童福祉法・保育所保育指針・保育士 【授業概要】 ・保育士の定義および業務、役割 ・保育所保育指針概説 【教科書ページ・参考文献】 板書による説明 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業内容についての再確認を励行し把握に努めること 【予習復習に必要な想定時間】 1時間 第１５回　　総括・確認テスト 【key words】 対人援助職・多職種連携・社会保険制度 【授業概要】 ・医療保険制度および介護保険制度に関する理解、再確認 ・対人援助職に求められる事柄 【教科書ページ・参考文献】 配布資料およびこれまでのノート 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・授業内容についての再確認を励行し把握に努めること ・各専門職の倫理綱領等も確認しておくこと 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
受講生に関わる情報および受講のルール	私語は慎み、真摯な態度で授業に臨むこと。知識向上に向け、予習、復習を励行すること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	諸制度、医療・福祉専門職などに関する実状、動向を把握する意味で常に新聞等にも注意を払い知識を深めること。
オフィスアワー	月曜日〔14：20～17：30〕及び昼休み〔12：00～12：30〕
評価方法	定期試験〔80%〕・確認テスト〔20%〕
教科書	板書により説明し、必要に応じ印刷資料を使用する。
参考書	福祉小六法、用語辞典、その他については、授業内で適宜紹介する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称：　チームケア入門Ⅰ　　授業コード：J100

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1年次	1単位(15)	選択
担当教員			
辻　志帆			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 他学部・学科との学生間の交流を通して、多職種の連携の必要性について気づくことできる。包括的視点で対象者を捉え、多職種による円滑なケアが展開できるための基礎的知識・技術・態度について学び多職種連携のあり方を修得する。 【到達目標】 １）自己の職種について他者に伝えることができる。 ２）他職種の基本的な役割について述べることができる。 ３）ケアチームとして一連の取り組みのまとめ、報告、自己の評価ができる。 ４）他職種との連携について関心が持てる。
授業の概要	保健医療福祉の動向に伴い、多様なニーズを必要とする対象者が増加しており保健医療福祉教育専門職に求められることも多様化している。対象者のケアの目標を達成するためには、多職種間の連携が不可欠となる。保健医療福祉教育職種が連携を取り合うことの意義・必要性と多様なチームケアの在り方について学習する。群馬医療福祉大学の福祉・医療総合大学の特色を生かし、3学部・短期大学１学科合同チームによる、講義、演習を通して「チームケア」について学ぶ。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	△
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	△
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	△
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	○
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	◎

授業計画	第１回	チームケアを担う人々を理解する。自己の職種役割についてまとめる。 【key words】 チームケア　職種理解 【授業概要】 チームケアを担う人々を理解する。自己の職種役割についてまとめる。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料　ワークシート 【課題・予習・復習・授業準備指示】 指定日時までにワークシートを完成させ担当教員に提出すること。 【予習復習に必要な想定時間】 ワークシート記入90分
	第２回	チームケア・チーム医療を担う人々を理解する。簡単な事例をとおして、チームケアにおける自職種・多職種の役割について各学部のグループで、討議する。 【key words】 多職種（他職種）理解 【授業概要】 簡単な事例をとおして、チームケアにおける自職種・多職種の役割について各学部のグループで討議する。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料、ワークシート 【課題・予習・復習・授業準備指示】 指定日時までにワークシートを完成させ担当教員に提出すること。合同討議に向け自主学習を進めること。 【予習復習に必要な想定時間】 自主学習90分
	第３回	チームケアにおける多職種の役割、連携方法についての合同討議。 【key words】 多職種の役割、連携方法 【授業概要】 指定された班に分かれ、自分が目指す職種について述べ、他学部学生が目指す職種について理解し、全学部で行動討議を行う。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料、ワークシート 【課題・予習・復習・授業準備指示】 積極的な態度で臨むこと。 【予習復習に必要な想定時間】 当日までにワークシート用意90分

	第４回　チームケアにおける多職種の役割、連携方法についての合同討議、報告準備。 【key words】 多職種の役割、連携方法 【授業概要】 指定された班に分かれ、チームケアにおける多職種の役割、連携方法について全学部で討議する。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料、ワークシート 【課題・予習・復習・授業準備指示】 積極的な態度で臨むこと。 【予習復習に必要な想定時間】 当日までにワークシート用意90分 第５回　チームケアにおける多職種の役割、連携方法についての合同討議・報告会① 【key words】 多職種の役割、連携方法 【授業概要】 指定された班に分かれ、チームケアにおける多職種の役割、連携方法について全学部で討議されたことを踏まえ、各班で発表する。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料、ワークシート 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ワークシート 【課題・予習・復習・授業準備指示】 積極的な態度で臨むこと。 【予習復習に必要な想定時間】 当日までにワークシート用意90分 第６回　チームケアにおける多職種の役割、連携方法についての合同討議・報告会② 【key words】 多職種の役割、連携方法 【授業概要】 代表発表班を選出し、全体報告会で発表する。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料、ワークシート 【課題・予習・復習・授業準備指示】 積極的な態度で臨むこと。 【予習復習に必要な想定時間】 当日までにワークシート用意90分 第７回　学習成果をリフレクションする。一連の学習過程を評価・考察し自己の課題に気付くことができる。 【key words】 チームケア、多職種の役割、連携方法 【授業概要】 各学部ごとに合同討議や報告会を振り返り、改めてチームケアについて考える。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料、ワークシート 【課題・予習・復習・授業準備指示】 積極的な態度で臨むこと。 【予習復習に必要な想定時間】 当日までにワークシート用意90分
受講生に関わる情報および受講のルール	自身が目指す職業を他者に理解してもらうためには、まずは自分がその職業について理解していなければならない。しっかりと事前に準備を行うことが重要である。合同演習の際には、班メンバーを尊重し積極的な態度で臨むこと。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	課題に積極的に取り組むこと。
オフィスアワー	月曜日8時20分～10時30分　水曜日8時20分～10時30分
評価方法	①グループワークでの取り組み50%　②ポートフォリオ評価50%
教科書	資料配布
参考書	1. 鷹野和美著：チームケア論　ぱる出版，2008. 2. 小松秀樹：地域包括ケアの課題と未来、ロハス・メディカル、2015
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 病院、在宅介護支援センターにおけるソーシャルワーカーとして、チームケアに取り組んできた経験がある。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

	情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 海外語学研修（カナダ）　　授業コード： J110

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
集中	1年次～2年次	2単位(60)	選択
担当教員			
田口　敦彦			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	[授業の目的] 海外研修を通じて国際社会に貢献する意欲を養い、様々な人と出会い交流し、文化や言葉の壁を越えた理解を深めながらコミュニケーション能力を身につける。また国際社会で活躍する医療福祉人材として、海外での様々な体験を通して世界を違う視点から見ることができるようになることを目的とする。本プログラムは参加者の英語能力を、面接授業、ワークショップ及びセミナーを通して向上させ、さらにカナダの歴史、文化、伝統等について学んだり、現地でのフィールドワークに携わったりしながら、カナダ独特の文化に触れ英語能力の更なる向上を目指していく。現地の学生やホームスティ先のホストファミリーとの交流により、英語によるコミュニケーション能力並びに異文化体験の機会を得る。
授業の概要	研修は、群馬医療福祉大学の協定・提携大学　カナダ・レジャイナ大学との間に企画された、誰もが参加しやすい語学学習(英語)に重点を置いたプログラムである。事前学習として訪問先の文化・社会等についての理解を深め、日常英会話についのコミュニケーション能力を高める。その後、本学の協定大学における11日間の研修プログラム(講義又フィールドワーク）を中心に実施し、帰国後、それらの講義、体験をもとに、まとめ・報告会を行う。　研修期間　平成31年8月28日～9月7日

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	◎
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	

授業計画	第１回	研修先の概要(1)オリエンテーション　海外研修プログラムについての概要　申込書などの記入の仕方 【key words】 【授業概要】 グローバル人材海外研修を通じて、国際社会に貢献する意欲を養い、様々な人と出会い交流し、文化や言葉の壁を越えた理解を深めながらコミュニケーション能力を身につけることを理解する。海外渡航学生マニュアル(群馬医療福祉大学作成)海外渡航学生マニュアル(群馬医療福祉大学作成)を熟読しておくこと。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第２回	研修先の概要(2)　リジャイナ大学についての概要 【key words】 【授業概要】 訪問するレジャイナ大学の概要について理解するとともに、レジャイナ大学が提携するESL(English as a Second Language class)プログラムを確認する。海外渡航学生マニュアル(群馬医療福祉大学作成)パスポートやETA取得をスムーズに行うため事前に外務省等のホームページを確認して置くこと。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第３回	カナダ研究(1)　世界とカナダの関係について　文化、歴史、経済、習慣等について 【key words】 【授業概要】 カナダの歴史、文化、伝統　自然等について学び、現地でのフィールドワークに活かせるよう知識、教養を身につける。海外渡航学生マニュアル(群馬医療福祉大学作成)ネット、情報誌等でカナダの文化、歴史等を収集しておくこと。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】
30分

第４回　手続きガイダンス(1)　海外渡航に必要となる諸手続きについて
【key words】

【授業概要】
パスポート、ETAの申請について 。さらに渡航前の健康管理と安全管理について確認する。また、リスクマネジメントを徹底し、病状悪化などの緊急時用の対応ができるよう安全管理について渡航前から学ぶ。海外渡航学生マニュアル(群馬医療福祉大学作成)
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】
30分

第５回　英語研修(1)　日常英会話　英語圏の生活に必要なこと　入国審査カードの書き方、入国審査での質問、機内での英会話
【key words】

【授業概要】
機内、出入国で使用する英語について学ぶ。さらに挨拶、日常会話について理解を深める。英単語学習及び日常的な英語フレーズを1つでも多く覚えられるよう努力すること。
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】
30分

第6回　英語研修(2)　日常英会話　自文化を紹介する態度、言い回し
【key words】

【授業概要】
英語で自らの文化、習慣、伝統等を紹介する方法について学ぶ。またレジャイナ大学の学生と交流する機会があるので、レクリエーションプログラム等の計画を立てる。英単語学習及び日常的な英語フレーズを1つでも多く覚えられるよう努力すること。
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】
30分

第7回　英語研修(3)　日常英会話　研修先でのコミュニケーション
【key words】

【授業概要】
研修時の日常で困ったことがないよう基本的なコミュニケーション方法等についてロールプレイを行いながら学ぶ。英単語学習及び日常的な英語フレーズを1つでも多く覚えられるよう努力すること。
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】
30分

第8回　英語研修(4)　日常英会話　寮、ホームスティ　研修先での注意事項
【key words】

【授業概要】
研修時の日常で困ったことがないよう基本的なコミュニケーション方法等についてロールプレイを行いながら学ぶ。英単語学習及び日常的な英語フレーズを1つでも多く覚えられるよう努力すること。
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】
30分

第9回　英語研修(5)　日常英会話　危機管理
【key words】

【授業概要】
研修時の日常で困ったことがないよう基本的なコミュニケーション方法等についてロールプレイを行いながら学ぶ。英単語学習及び日常的な英語フレーズを1つでも多く覚えられるよう努力すること。
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】
30分

第10回　協定校での授業　会話、課外授業　　Meet with Program Team

【key words】

【授業概要】
レジャイナ大学　ESL(English as a Second Language class)プログラムへ参加し英語学習を深める。講義及びフィールドワークを実施する。（プログラムの詳細は現地にて説明）
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】
第11回　協定校での授業　会話、課外授業　Welcome &Program Orientation
【key words】

【授業概要】
レジャイナ大学　ESL(English as a Second Language class)プログラムへ参加し英語学習を深める。講義及びフィールドワークを実施する。（プログラムの詳細は現地にて説明）
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】
第12回　協定校での授業　会話、課外授業　Campus Orientation & Tour
【key words】

【授業概要】
レジャイナ大学　ESL(English as a Second Language class)プログラムへ参加し英語学習を深める。講義及びフィールドワークを実施する。（プログラムの詳細は現地にて説明）
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】
第13回　協定校での授業　会話、課外授業　Language Canada-at-aGlance ①
【key words】

【授業概要】
レジャイナ大学　ESL(English as a Second Language class)プログラムへ参加し英語学習を深める。講義及びフィールドワークを実施する。（プログラムの詳細は現地にて説明）
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】
第14回　協定校での授業　会話、課外授業　Language Canada-at-aGlance ②
【key words】

【授業概要】
レジャイナ大学　ESL(English as a Second Language class)プログラムへ参加し英語学習を深める。講義及びフィールドワークを実施する。（プログラムの詳細は現地にて説明）
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】
第15回　協定校での授業　会話、課外授業　Tour of the Royal Saskatchewan Museum
【key words】

【授業概要】
レジャイナ大学　ESL(English as a Second Language class)プログラムへ参加し英語学習を深める。講義及びフィールドワークを実施する。（プログラムの詳細は現地にて説明）
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】
第16回　協定校での授業　会話、課外授業　Language History ①
【key words】

【授業概要】
レジャイナ大学　ESL(English as a Second Language class)プログラムへ参加し英語学習を深める。講義及びフィールドワークを実施する。（プログラムの詳細は現地にて説明）
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】
第17回　協定校での授業　会話、課外授業　Language History ②
【key words】

【授業概要】
レジャイナ大学　ESL(English as a Second Language class)プログラムへ参加し英語学習を深める。講義及びフィールドワークを実施する。（プログラムの詳細は現地にて説明）

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第18回　協定校での授業　会話、課外授業　Farmer,s Market and Regina Down Town Tour

【key words】

【授業概要】
レジャイナ大学　ESL(English as a Second Language class)プログラムへ参加し英語学習を深める。講義及びフィールドワークを実施する。（プログラムの詳細は現地にて説明）

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第19回　協定校での授業　会話、課外授業　Language Culture ①

【key words】

【授業概要】
レジャイナ大学　ESL(English as a Second Language class)プログラムへ参加し英語学習を深める。講義及びフィールドワークを実施する。（プログラムの詳細は現地にて説明）

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第20回　協定校での授業　会話、課外授業　Language Cu l ture②

【key words】

【授業概要】
レジャイナ大学　ESL(English as a Second Language class)プログラムへ参加し英語学習を深める。講義及びフィールドワークを実施する。（プログラムの詳細は現地にて説明）

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第21回　協定校での授業　会話、課外授業　Tour of Sa s katoon & Western Development Museum

【key words】

【授業概要】
レジャイナ大学　ESL(English as a Second Language class)プログラムへ参加し英語学習を深める。講義及びフィールドワークを実施する。（プログラムの詳細は現地にて説明）

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第22回　協定校での授業　会話、課外授業　Language Sports ①

【key words】

【授業概要】
レジャイナ大学　ESL(English as a Second Language class)プログラムへ参加し英語学習を深める。講義及びフィールドワークを実施する。（プログラムの詳細は現地にて説明）

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第23回　協定校での授業　会話、課外授業　Language Sports ②

【key words】

【授業概要】
レジャイナ大学　ESL(English as a Second Language class)プログラムへ参加し英語学習を深める。講義及びフィールドワークを実施する。（プログラムの詳細は現地にて説明）

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第24回　協定校での授業　会話、課外授業　Tour of the Royal Canadian Mounted Police & Government House

【key words】

【授業概要】
レジャイナ大学　ESL(English as a Second Language class)プログラムへ参加し英語学習を深める。講義及びフィールドワークを実施する。（プログラムの詳細は現地にて説明）

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

	【予習復習に必要な想定時間】 第25回　協定校での授業　会話、課外授業　Language Arts ① 【key words】 【授業概要】 レジャイナ大学　ESL(English as a Second Language class)プログラムへ参加し英語学習を深める。講義及びフィールドワークを実施する。（プログラムの詳細は現地にて説明） 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第26回　協定校での授業　会話、課外授業　Language Arts ② 【key words】 【授業概要】 レジャイナ大学　ESL(English as a Second Language class)プログラムへ参加し英語学習を深める。講義及びフィールドワークを実施する。（プログラムの詳細は現地にて説明） 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第27回　協定校での授業　会話、課外授業　Kayaking on Wascana & Barbeque wiyh U of R students 【key words】 【授業概要】 レジャイナ大学　ESL(English as a Second Language class)プログラムへ参加し英語学習を深める。講義及びフィールドワークを実施する。（プログラムの詳細は現地にて説明） 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第28回　協定校での授業　会話、課外授業　Program Closing Ceremony 【key words】 【授業概要】 レジャイナ大学　ESL(English as a Second Language class)プログラムへ参加し英語学習を深める。講義及びフィールドワークを実施する。（プログラムの詳細は現地にて説明） 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第29回　研修成果　レポート及び報告会プレゼンテーション準備 【key words】 【授業概要】 研修事業の成果報告会に向けて発表の準備及び研修前と研修後の意識変化について確認する。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 2時間 第30回　研修成果　報告会　（まとめとふりかえり） 【key words】 【授業概要】 研修成果　報告会　（まとめとふりかえり） 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
受講生に関わる情報および受講のルール	①研修への参加責任及び費用負担義務の所在が本人及び保護者であることを十分理解し、研修について保護者とよく話 し合い、同意を得る。 ②研修予定地の事情をよく調べ、研修機関のサポート内容などを確認しながら研修計画を作成する。 ③旅行保険等の加入など万全の準備をするほか、連絡体制についても明確にし、大学に伝える。 ④担当教員による事前・事後指導も評価の対象となるので、誠実な態度で指導を受ける。 ⑤国際情勢の急な変化によって研修実施が困難となる場合もあることに留意する。 ⑥小学校における英語必修化に伴い初等教育コースの学生は履修することが望ましい ⑦本講義は10人以上により開講する
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード

授業外時間にかかわる情報	渡航先の語学や会話を授業で受講しておくこと。また日常から海外のニュースを見聞きし、情報を得ておくことが必要である。旅券の取得、現地通貨などの準備、ツアーや航空券の手配、保険の申請などがある。
オフィスアワー	月曜日　5時限　(変更が生じた場合は適宜指示する)
評価方法	海外研修時において学生個人が定めた目的に対し、十分な学習経験を得ていると認められる活動に対し、単位を認める。 成績は、事前指導、事後指導への参加状況、研修中の活動記録(40%)、研修後報告書の課題(60%)をもとに評価する。原則として以下の条件を満たすこと。 ① 学内におけるガイダンス、事前・事後指導にすべて出席すること。 ② 事前に研修期間を通して学修・研究すべき課題を決め、事前レポートを提出すること。 ③ 滞在期間中に必要な学習活動を行うこと。 ④ 研修期間中の活動記録を提出すること。 ⑤ 帰国後、指定された時期までに報告書などの課題を提出すること。
教科書	担当教員が適宜指示する。
参考書	海外渡航学生マニュアル(群馬医療福祉大学作成)　渡航先に関するガイドブック、新聞、海外ニュース、ネットなどによる最新の情報など
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等) □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等) □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等) □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 海外医療福祉研究（フィリピン）　　授業コード：J115

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
集中	1年次～2年次	2単位(60)	選択
担当教員			
田口　敦彦・小林　洋子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	海外研修を通じて国際社会に貢献する意欲を養い、様々な人と出会い交流し、文化や言葉の壁を越えた理解を深めながらコミュニケーション能力を身につける。また国際社会で活躍する医療福祉人材として、海外での様々な体験を通して世界を違う視点から見ることができるようになることを目的とする。このプログラムはフィリピンでの医療福祉事情の理解と臨床現場での実地体験を目的としたプログラムを組み込んでいる。医療・福祉施設（小児がん治療施設・リハビリデイケアセンター・障害者施設・病院)にて実地体験を経験し、国際的な視野、協調性、行動力、自主性といった能力を中心に培いながら、現地の学生との交流により、英語によるコミュニケーション能力並びに医療英語や英会話を含む英語能力の向上や異文化体験の機会をも得ることを目的とする。
授業の概要	研修は、群馬医療福祉大学の協定・提携大学　フィリピン・アレリアノ大学との間に企画された、誰もが参加しやすい医療福祉ボランティア学習に重点を置いたプログラムである。事前学習として訪問先の文化・社会等についての理解を深め、医療英語及び日常英会話についのコミュニケーション能力を高める。その後、本学の協定大学における8日間の研修プログラム(講義又フィールドワーク）を中心に実施し、帰国後、それらの講義、体験をもとに、まとめ・報告会を行う。 研修期間　平成32年3月15日～3月23日

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	◎
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	

授業計画	第１回	研修先の概要(1)オリエンテーション　海外研修プログラムについての概要　申込書などの記入の仕方 【key words】 【授業概要】 グローバル人材海外研修を通じて、国際社会に貢献する意欲を養い、様々な人と出会い交流し、文化や言葉の壁を越えた理解を深めながらコミュニケーション能力を身につけることを理解する。海外渡航学生マニュアル(群馬医療福祉大学作成)海外渡航学生マニュアル(群馬医療福祉大学作成)を熟読しておくこと。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
	第２回	研修先の概要(2)　アレリアノ大学についての概要 【key words】 【授業概要】 訪問するアレリアノ大学の概要について理解するとともに、アレリアノ大学が提携する病院、福祉施設訪問プログラムを確認する。海外渡航学生マニュアル(群馬医療福祉大学作成)パスポート取得をスムーズに行うため事前に外務省等のホームページを確認しておくこと。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
	第３回	フィリピン研究(1)　世界とフィリピンの関係について　文化、歴史、経済、習慣等について 【key words】 【授業概要】 フィリピンの歴史、文化、伝統　自然等について学び、現地でのフィールドワークに活かせるよう知識、教養を身につける。海外渡航学生マニュアル(群馬医療福祉大学作成)ネット、情報誌等でフィリピンの文化、歴史等を収集しておくこと。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
	第４回	手続きガイダンス(1)　海外渡航に必要となる諸手続きについて

【key words】

【授業概要】
パスポート、ETAの申請について 。さらに渡航前の健康管理と安全管理について確認する。また、リスクマネジメントを徹底し、病状悪化などの緊急時用の対応ができるよう安全管理について渡航前から学ぶ。海外渡航学生マニュアル(群馬医療福祉大学作成)
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第５回　医療福祉研修(1)　ボランティア先での注意事項
【key words】

【授業概要】
海外でボランティアを行う上での心構えや英語でのコミュニケーションまた英語以外でのコミュニケーションの方法等について理解する。レクリエーションの企画立案をグループごとに行う。レクリエーション企画について事前に自分たちができそうなことを事前に準備しておくこと。
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第6回　医療福祉研修(2)　ボランティア先でのレクリエーション企画について
【key words】

【授業概要】
海外でボランティアを行う上での心構えや英語でのコミュニケーションまた英語以外でのコミュニケーションの方法等について理解する。レクリエーションの企画立案をグループごとに行う。日本の文化を紹介するにはどのように行ったらよいのかを考えてみる。
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第7回　英語研修(1)　日常英会話　英語圏の生活に必要なこと　　入国審査カードの書き方、入国審査での質問、機内での英会話
【key words】

【授業概要】
機内、出入国で使用する英語について学ぶ。さらに挨拶、日常会話について理解を深める。英単語学習及び日常的な英語フレーズを1つでも多く覚えられるよう努力すること。
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第8回　英語研修(2)　日常英会話　自文化を紹介する態度、言い回し
【key words】

【授業概要】
研修時の日常で困ったことがないよう基本的なコミュニケーション方法等についてロールプレイを行いながら学ぶ。英単語学習及び日常的な英語フレーズを1つでも多く覚えられるよう努力すること。
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第9回　英語研修(3)　医療英語　　患者及び施設利用者とのコミュニケーション
【key words】

【授業概要】
研修時の日常で困ったことがないよう基本的なコミュニケーション方法等についてロールプレイを行いながら学ぶ。英単語学習及び日常的な英語フレーズを1つでも多く覚えられるよう努力すること。
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第10回　協定校での授業　会話、課外授業、ボランティア体験
【key words】

【授業概要】
アレリアノ大学　医療福祉研修プログラムへ参加し海外での実践活動・講義及びフィールドワークについて確認する。（プログラムの詳細は現地にて説明）
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

	第11回	協定校での授業　会話、課外授業、ボランティア体験 【key words】 【授業概要】 アレリアノ大学のキャンパス見学及び概要説明。現地大学生との交流を行う。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
	第12回	協定校での授業　会話、課外授業、ボランティア体験 【key words】 【授業概要】 アレリアノ大学のキャンパス見学及び概要説明。現地大学生との交流を行う。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
	第13回	協定校での授業　会話、課外授業、ボランティア体験 【key words】 【授業概要】 Esperanza Health Center and Lying In Clinicにて　健康診断　栄養管理　予防接種、体重モニタリング、について学ぶ。フィリピンの医療、福祉制度について事前に調査・学習しておくこと。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
	第14回	協定校での授業　会話、課外授業、ボランティア体験 【key words】 【授業概要】 Esperanza Health Center and Lying In Clinicにて　健康診断　栄養管理　予防接種、体重モニタリングについて学ぶ。フィリピンの医療、福祉制度について事前に調査・学習しておくこと。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
	第15回	協定校での授業　会話、課外授業、ボランティア体験 【key words】 【授業概要】 Esperanza Health Center and Lying In Clinicにて　健康教育、出産について学ぶ。フィリピンの医療、福祉制度について事前に調査・学習しておくこと。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
	第16回	協定校での授業　会話、課外授業、ボランティア体験 【key words】 【授業概要】 Esperanza Health Center and Lying In Clinicにて　産前産後検診について学ぶフィリピンの医療、福祉制度について事前に調査・学習しておくこと。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
	第17回	協定校での授業　会話、課外授業、ボランティア体験 【key words】 【授業概要】 Kaisaka Rehabilitative therapies　リハビリ病院訪問フィリピンの医療、福祉制度について事前に調査・学習しておくこと。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
	第18回	協定校での授業　会話、課外授業、ボランティア体験 【key words】 【授業概要】 Kaisaka Adult day care services　高齢者デイケア訪問フィリピンの医療、福祉制度について事

前に調査・学習しておくこと
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】
第19回　協定校での授業　会話、課外授業、ボランティア体験
【key words】

【授業概要】
Kaisaka Caring for persons with disabilities and social rehabilitation　身体障害者施設を訪問し社会復帰プログラムについて理解を深める。フィリピンの医療、福祉制度について事前に調査・学習しておくこと。
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】
第20回　協定校での授業　会話、課外授業、ボランティア体験
【key words】

【授業概要】
Arellano University Rehabilitation Clinic Rehabilitation terapiesを訪問し　リハビリ療法、成人向けデイケアサービス、障害者のケアと社会復帰に向けた支援について学ぶ。フィリピンの医療、福祉制度について事前に調査・学習しておくこと。
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】
第21回　協定校での授業　会話、課外授業、ボランティア体験
【key words】

【授業概要】
Arellano University Rehabilitation Clinic　リハビリ療法、成人向けデイケアサービス、障害者のケアと社会復帰に向けた支援について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】
第22回　協定校での授業　会話、課外授業、ボランティア体験
【key words】

【授業概要】
Arellano University Rehabilitation Clinic　リハビリ療法、成人向けデイケアサービス、障害者のケアと社会復帰に向けた支援について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】
第23回　協定校での授業　会話、課外授業、ボランティア体験
【key words】

【授業概要】
マニラおよび近郊の文化、観光施設

現地でのフィールドワークに活かせるよう知識、教養を身につけておくこと。
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】
第24回　協定校での授業　会話、課外授業、ボランティア体験
【key words】

【授業概要】
マニラおよび近郊の文化、観光施設

現地でのフィールドワークに活かせるよう知識、教養を身につけておくこと。
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】
第25回　協定校での授業　会話、課外授業、ボランティア体験
【key words】

【授業概要】
マニラおよび近郊の文化、観光施設

	現地でのフィールドワークに活かせるよう知識、教養を身につけておくこと。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第26回　協定校での授業　会話、課外授業、ボランティア体験 【key words】 【授業概要】 CHILD HAUS children`s home,day care centersを訪問し、がんなどの重篤な病気に罹患している子どもたちとの交流活動を行う。子どもたちのプレゼントを事前に用意しておくこと。 【教科書ページ・参考文献】  【課題・予習・復習・授業準備指示】  【予習復習に必要な想定時間】 第27回　協定校での授業　会話、課外授業、ボランティア体験 【key words】  【授業概要】 CHILD HAUS children`s home,day care centersを訪問し、がんなどの重篤な病気に罹患している子どもたちとの交流活動を行う。子どもたちのプレゼントを事前に用意しておくこと。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第28回　協定校での授業　会話、課外授業、ボランティア体験 【key words】 【授業概要】 CHILD HAUS children`s home,day care centersを訪問し、がんなどの重篤な病気に罹患している子どもたちとの交流活動を行う。子どもたちのプレゼントを事前に用意しておくこと。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第29回　研修成果　　レポート及び報告会プレゼンテーション準備 【key words】 【授業概要】 研修事業の成果報告会に向けて発表の準備及び研修前と研修後の意識変化について確認する。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第30回　研修成果　報告会　（まとめとふりかえり） 【key words】 【授業概要】 研修事業の振り返りと研修の成果について確認を行う。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	①研修への参加責任及び費用負担義務の所在が本人及び保護者であることを十分理解し、研修について保護者とよく話し合い、同意を得る。 ②研修予定地の事情をよく調べ、研修機関のサポート内容などを確認しながら研修計画を作成する。 ③旅行保険等の加入など万全の準備をするほか、連絡体制についても明確にし、大学に伝える。 ④担当教員による事前・事後指導も評価の対象となるので、誠実な態度で指導を受ける。 ⑤国際情勢の急な変化によって研修実施が困難となる場合もあることに留意する。 ⑥本講義は10人以上により
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	渡航先の語学や会話を授業で受講しておくこと。また日常から海外のニュースを見聞きし、情報を得ておくことが必要である。旅券の取得、現地通貨などの準備、ツアーや航空券の手配、保険の申請などがある。
オフィスアワー	月曜日　5時限　（変更が生じた場合は適宜指示する）
評価方法	海外研修時において学生個人が定めた目的に対し、十分な学習経験を得ていると認められる活動に対し、単位を認める。 成績は、事前指導、事後指導への参加状況、研修中の活動記録(40%)、研修後報告書の課題(60%)をもとに評価する。原則として以下の条件を満たすこと。 ① 学内におけるガイダンス、事前・事後指導にすべて出席すること。 ② 事前に研修期間を通して学修・研究すべき課題を決め、事前レポートを提出すること。 ③ 滞在期間中に必要な学習活動を行うこと。

	④ 研修期間中の活動記録を提出すること。 ⑤ 帰国後、指定された時期までに報告書などの課題を提出すること。
教科書	担当教員が適宜指示する。
参考書	海外渡航学生マニュアル(群馬医療福祉大学作成)　渡航先に関するガイドブック、新聞、海外ニュース、ネットなどによる最新の情報など
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称：　障害者に対する支援と障害者自立支援制度　　授業コード：J198

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	2単位(30)	福祉総合コース・必修
担当教員			
松永　尚樹			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 障害者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢や福祉・介護需要を把握し、障害者福祉制度の発展過程を学んだうえで、専門職として必要な障害者総合支援法や障害者の福祉・介護に係る他の法制度を理解する。 【到達目標】 ①障害者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢や福祉・介護需要を把握するために必要な統計調査を読み取ることができる。 ②障害者福祉制度の発展過程を理解し、現行の法制度までの流れを説明することができる。 ③専門職として必要な障害者総合支援法や障害者の福祉・介護に係る他の法制度の概要を実践において想定できるようになる。
授業の概要	この授業では、障害者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢や障害者福祉制度の発展過程について学び、障害者総合支援法の内容を理解するとともに、障害児者にかかる福祉制度を学修する。 　障害児者の支援の過程において、障害者総合支援法や障害者の福祉・介護に係る他の法制度からニーズにそったサービスを考え、専門職として必要な障害者総合支援法や障害者の福祉・介護に係る他の法制度の概要を実践において想定できるように授業を展開する。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	◎
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	○

授業計画	第１回	オリエンテーション（講義の進め方、評価、リアクションペーパーや小テストの提出方法等） 【key words】 オリエンテーション／講義の進め方 【授業概要】 ①シラバスの確認 ②履修上の注意 ③コメントカードについて ④定期試験について ⑤教科書について ⑥予習・復習について 【教科書ページ・参考文献】 シラバス 【課題・予習・復習・授業準備指示】 本日配布【次回の資料】のレジュメを見てわからない語句は下線を引いておくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 1.5時間（コメントカード及びwebのによる小テストの時間を含める。）
	第２回	障害の概念と理念≪レジュメ①≫ 【key words】 障害の概念／ICF／統合モデル 【授業概要】 【授業概要】 ①障害の概念と理念 ②障害者の人権保障と福祉の理念 【教科書ページ・参考文献】 教科書p26～p30／p2～p14 【課題・予習・復習・授業準備指示】 本日配布【次回の資料】のレジュメを見てわからない語句は下線を引いておくこと。 キーワードを事前に調べておくこと。 ※小テスト実施予定 【予習復習に必要な想定時間】 1.5時間（コメントカード及びwebのによる小テストの時間を含める。）
	第３回	障害者の生活実態とニーズ≪レジュメ②≫ 【key words】 障害者人口の現状／手帳取得状況／生活実態・ニーズ／基本指針 【授業概要】 ①障害者人口からみた課題 ②障害種別にみる定義と生活実態・ニーズ

		③障害者問題とニーズ 【教科書ページ・参考文献】 教科書p15～p25 【課題・予習・復習・授業準備指示】 日配布【次回の資料】のレジュメを見てわからない語句は下線を引いておくこと。 キーワードを事前に調べておくこと。 次回からは小六法を使用するので持参すること。 ※小テスト実施予定 【予習復習に必要な想定時間】 1.5時間（コメントカード及びwebのによる小テストの時間を含める。）
	第４回	障害者福祉制度の発展過程（障害者権利保障の歴史を含む）≪レジュメ③≫ 【key words】 国連・障害者権利条約／国際障害者年／障害者権利条約／日本の障害者施策の歴史 【授業概要】 ①国連・障害者権利条約 ②日本における障害者福祉のあゆみ 【教科書ページ・参考文献】 教科書p2～p14 【課題・予習・復習・授業準備指示】 本日配布【次回の資料】のレジュメを見てわからない語句は下線を引いておくこと。 キーワードを事前に調べておくこと。 本日確認した、条約や法律は小六法を再度見ておくこと。 ※小テスト実施予定 【予習復習に必要な想定時間】 1.5時間（コメントカード及びwebのによる小テストの時間を含める。）
	第５回	障害者福祉の法（障害者基本法、身体障害者福祉法、知的障害者福祉法、精神保健福祉法） 【key words】 障害者基本法／身体障害者福祉法／知的障害者福祉法／精神保健福祉法 【授業概要】 ①障害者基本法と障害者福祉の法体系 ②対象別の法 【教科書ページ・参考文献】 教科書p32～p89 【課題・予習・復習・授業準備指示】 キーワードを事前に調べておくこと。 本日確認した、法律は小六法を再度見ておくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 1.5時間（コメントカード及びwebのによる小テストの時間を含める。）
	第６回	障害者福祉の法（発達障害者福祉法、医療観察法、難病法、障害者虐待防止法、障害者差別解消推進法、その他） 【key words】 発達障害者支援法／児童福祉法／子ども・子育て支援法／医療観察法／難病法／障害者虐待防止法 【授業概要】 ①対象別の法 ②差別の禁止、差別是正措置の法 【教科書ページ・参考文献】 教科書p32～p89 【課題・予習・復習・授業準備指示】 障害者総合支援法のサービス利用説明パンフレットを熟読すること。（全国社会福祉協議会） 【予習復習に必要な想定時間】 1.5時間（コメントカード及びwebのによる小テストの時間を含める。）
	第７回	障害者の福祉サービス（障害者総合支援法と障害者支援　経緯・理念・考え方） 【key words】 障害者総合支援法の経緯・理念・考え方 【授業概要】 ①障害者総合支援法までの経緯 ②障害者総合支援法の概要 【教科書ページ・参考文献】 教科書p102～p167 【課題・予習・復習・授業準備指示】 キーワードを事前に調べておくこと。 本日確認した法律は小六法を再度見ておくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 1.5時間（コメントカード及びwebのによる小テストの時間を含める。）
	第８回	障害者の福祉サービス（障害者総合支援法と障害者支援　サービス内容・支給決定のプロセス） 【key words】 介護給付の種類／訓練等給付の種類／障害福祉サービスの支給決定／障害支援区分／利用者負担 【授業概要】 ①介護給付と訓練等給付 ②障害福祉サービスの支給決定、障害支援区分、利用者負担 【教科書ページ・参考文献】 教科書p102～p167 【課題・予習・復習・授業準備指示】 キーワードを事前に調べておくこと。 本日確認した法律は小六法を再度見ておくこと。 サービス内容・支給決定のプロセスは覚えよう。 【予習復習に必要な想定時間】 1.5時間（コメントカード及びwebのによる小テストの時間を含める。）
	第９回	障害者の福祉サービス（障害者総合支援法と障害者支援　自立支援医療・審査請求） 【key words】 自立支援医療／補装具／相談支援／地域生活支援事業／苦情解決／審査請求／他法との適用関係

【授業概要】
①自立支援医療
②補装具
③相談支援
④地域生活支援事業
⑤苦情解決と審査請求
⑥障害者総合支援法と他法との適用関係
【教科書ページ・参考文献】
教科書p102～p167
【課題・予習・復習・授業準備指示】
本日配布【次回の資料】のレジュメを見てわからない語句は下線を引いておくこと。
キーワードを事前に調べておくこと。
本日確認した法律は小六法を再度見ておくこと。
※小テスト実施予定
【予習復習に必要な想定時間】
1.5時間（コメントカード及びwebのによる小テストの時間を含める。）

第１０回　障害者の所得保障（障害者雇用促進法を含む）

【key words】
障害者の就労実態／障害者雇用促進法／障害者優先調達推進法／ハローワーク等における支援／障害者職業センター／学校卒業後の進路保障
【授業概要】
①障害者の就労実態
②労働保障の制度
③福祉と労働の統一的保障
【教科書ページ・参考文献】
教科書p187～p192
【課題・予習・復習・授業準備指示】
本日配布【次回の資料】のレジュメを見てわからない語句は下線を引いておくこと。
キーワードを事前に調べておくこと。
本日確認した法律は小六法を再度見ておくこと。
※小テスト実施予定
【予習復習に必要な想定時間】
1.5時間（コメントカード及びwebのによる小テストの時間を含める。）

第１１回　障害者の社会生活参加

【key words】
key wordsは授業概要の最初の部分にあります。
【授業概要】
障害基礎年金／障害厚生年金／特別障害給付金／特別児童扶養手当法／特別児童扶養手当／障害児福祉手当／特別障害者手当／経過的福祉手当／労働者災害補償保険法／生活保護法／税制による負担軽減措置／各種の負担軽減措置

①障害者の低所得性と所得保障の課題
②所得保障、経済的負担軽減の制度
【教科書ページ・参考文献】
教科書p76～p89
【課題・予習・復習・授業準備指示】
本日配布【次回の資料】のレジュメを見てわからない語句は下線を引いておくこと。キーワードを事前に調べておくこと。
【予習復習に必要な想定時間】
1.5時間（コメントカード及びwebのによる小テストの時間を含める。）

第１２回　障害福祉の整備計画と障害者運動

【key words】
key wordsは授業概要の最初の部分にあります。
【授業概要】
障害者の社会参加実態とニーズ／国連・障害者権利条約における社会参加の理念／障害者の社会参加における制度上の課題／情報アクセシビリティ／ユニバーサルデザイン／差別禁止と偏見／バリアフリー／バリアフリー新法

①障害者の社会参加実態とニーズ
②市民の障害理解と差別・偏見の実態とニーズ
③バリアフリー環境の整備
【教科書ページ・参考文献】
本日配布【次回の資料】のレジュメを見てわからない語句は下線を引いておくこと。キーワードを事前に調べておくこと。
【課題・予習・復習・授業準備指示】
本日配布【次回の資料】のレジュメを見てわからない語句は下線を引いておくこと。キーワードを事前に調べておくこと。
【予習復習に必要な想定時間】
1.5時間（コメントカード及びwebのによる小テストの時間を含める。）

第１３回　専門職の役割と実際（相談支援事業所の内容を含む）

【key words】
障害児支援／児童の権利に関する条約／障害者の権利に関する条約／母子保健法／障害児の福祉サービス／障害児福祉計画／児童福祉法／特別支援教育
【授業概要】
①子ども期の特徴と障害児支援
②2つの権利条約と障害児支援
③障害の早期発見と早期対応
④障害児の福祉サービス
【教科書ページ・参考文献】
教科書p154～p167
【課題・予習・復習・授業準備指示】
本日配布【次回の資料】のレジュメを見てわからない語句は下線を引いておくこと。キーワードを事前に調べておくこと。

【予習復習に必要な想定時間】
1.5時間（コメントカード及びwebのによる小テストの時間を含める。）

第１４回　多職種連携とネットワーキング

【key words】
障害者参加／障害福祉サービス利用における国、事業者の責務／障害者運動／生活のしづらさなどに関する調査／国・地方公共団体の役割／障害者基本計画／障害福祉計画
【授業概要】
①障害者・関係団体の法参加、整備計画参加
②障害者総合支援法等の国・自治体の役割と障害者参加
③障害者基本法の障害者計画と障害者総合支援法の障害福祉計画
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
本日配布【次回の資料】のレジュメを見てわからない語句は下線を引いておくこと。キーワードを事前に調べておくこと。
【予習復習に必要な想定時間】
1.5時間（コメントカード及びwebのによる小テストの時間を含める。）

第１５回　まとめ（事例検討）

【key words】
まとめ
【授業概要】
①まとめ
②授業の振り返り
③グループワークによる全体の総括
【教科書ページ・参考文献】
教科書全体
【課題・予習・復習・授業準備指示】
テストに向けた学習を進めること。
【予習復習に必要な想定時間】
1.5時間（コメントカード及びwebのによる小テストの時間、グループワークの準備時間等もを含める。）

第１６回

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第１７回

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第１８回

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第１９回

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第２０回

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

	第２１回 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第２２回 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第２３回 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第２４回 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第２５回 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第２６回 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第２７回 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第２８回 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第２９回

	【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第３０回 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	授業の流れや雰囲気を乱したり、他の受講生の迷惑になる行為（私語・携帯電話の使用）は厳禁。 　授業開始時（単元の最初）にプリントを配布する場合がある。休んだ場合は、原則、友達等にプリントをもらってもらうこと。 　単元の終わりに小テストを実施する。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード（web）
授業外時間にかかわる情報	本科目は、社会福祉士及び精神保健福祉士の国家試験の受験科目にも指定されている。障害児者に関する事柄について、幅広い内容を学習するため、教科書及び配布プリント等を利用し予習、復習すること。
オフィスアワー	火曜　10時～12時／金曜日　10時30分～12時　それ以外の時間帯については、アポイントを取ってもらいたい。
評価方法	定期試験50%、小テスト20%、リアクションペーパー30% ※定期試験が60点を満たない場合は再試とする。
教科書	一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編 最新　社会福祉士養成講座　精神保健福祉士養成講座８ 『障害者福祉』（最新版）
参考書	福祉小六法編集委員会『福祉小六法』　（株）みらい（最新版）
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称：　人間の尊厳と自立　　授業コード：J212

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年次	2単位(30)	必修
担当教員			
鈴木　利定			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	「人間とは何か」　我々はこれまで幾度となくこの問いかけを繰り返してきた。中国の思想家たちは、この問いにどのように解答しているのか。そしてそれぞれの解答に対して自分自身はどう思うのかを自ら問うてみる学問をねらいとしている。
授業の概要	孔子は人間にいかに生くべきかという問いについて、人間によるべき新しい「道」をどのように考えたか。仁と礼について、特に最近は礼儀をわきまえないという声もある。つまり「形式的な礼など無用だ。真心さえ持っていればそれでよいのでは虚礼廃止だ。」ということもあるが、孔子の説いた礼をもとに現代における礼のあり方を学ぶ。プラトンと同じく孔子は、理想国家を説くことにより政治のあり方を説いた。孔子の説いた政治道徳の現代にあてはまることを学ぶ。老子・荘子は孔子と並ぶ中国の代表的な思想家である。両者は全く相反する傾向すら持っている。この両者の思想を比較し、学ぶ。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	○
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	◎
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	△

授業計画		
	第１回	科目オリエンテーション / 論語序説「史記」孔子出家で孔子の履歴を知る。学ぶことの意義、孝弟について、文を学ぶことは人倫の大きなる者について、信と義について。君子と貧しきものの生き方。学問について。
	第２回	政とは如何なるべきか。志学より従心までの心持。孝と敬と。人物の観察法。身を正すこと。内省。志の大切さ。道に志す。性善論。信の大切さ。
	第３回	教育論、礼に反する儀式について。僭し泰れに旅したこと。祭りと祭神について。射にみる古道について。
	第４回	大学の道についての孔子の説明。大学辛句（右経一章）　明徳を明らかにするを釈く。民を新に釈く。（右伝の三章、右伝の二章）
	第５回	至善に止まるを釈く。本末を釈く。（右伝の三章、右伝の四章）　心を正しくして身を脩めて、家を斉う。（右伝の七章、右伝の八章）
	第６回	家を斉へて国を治むるを釈く。（右伝の十章）　朱子の中庸に対する解説であり、孔子の孫子思が道学のその伝を失わんことを優えて作るより説きおこす。（中庸章句序）
	第７回	道に対する知者、愚者、賢者、不肖のかかわりを論ずる。（右章第四章、五章、六章）
	第８回	顔回が中庸をえらび人生に処したことを論ずる。（右第七、八、九章）
	第９回	国に道あると無きとに関せず節操を持つべきを子略に示す。（右第十、十一章）
	第１０回	孔子が憂いが無いのは文王だけだろうと語った理由を論ず。（右第十九章）
	第１１回	よく民を治めるには、誠は天の道なるを知るに有るを論ず。（右第二十章）
	第１２回	孔子の思想が「人間中心」であり、「ヒューマニズム」であるといわれるのはなぜかを学ぶ。
	第１３回	孟子の人間観と荀子の人間観は孔子を中心とした仁と礼のいずれかの強調からきたものである。孟子、荀子はそれぞれを重視するものか、仁を重視するものかを考える。「四端の心」について学ぶ。

	第１４回　　老荘思想においては、人間をどのようにとらえるか。又、儒教の人間観に対してどのような批判をしているかを学ぶ。 第１５回　　老荘思想と儒教のどちらの人間観により自己の思想を築いていくのかを学ぶ。
受講生に関わる情報および受講のルール	成績評価は、試験・レポート・出席状況を監み、一度も休みのない者については、成績としては十分な評価を与える。出欠席は重視する。理由なくして欠席、遅刻の多い者（二回以上の者）は成績評価を受ける資格を失う。欠席の虚偽申告（代返等）をした者は単位を認めない。講義中のノート筆記は必ず行い、質問に対して的確な解答ができるよう努める。私語は厳禁。注意を促し、場合によっては退出を命ずる。再試は1回のみ。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	テキストの予習・復習をすること。
オフィスアワー	火曜日 10:30～12:00
評価方法	■筆記試験（□論述 □客観）　■レポート　□口答試験　□実地試験　□その他 評価配分：成績評価は、試験（60%）・レポート（20%）・授業取組み状況（20%）を鑑み、評価を与える。
教科書	鈴木利定著「儒教哲学の研究－修正版」（明治書院）　　咸有一徳（中央法規）
参考書	講義の中で適宜紹介していく。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等) □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等) □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等) □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 点字　　授業コード： J251

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	1単位(30)	選択
担当教員			
足立　勤一			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 視覚障がい者について理解を深めると同時に、点字で簡単な文章の読み書きができるまで習熟する。 【到達目標】 ①視覚障がい者の状況を学び理解する。 ②視覚障がい者の福祉について学ぶ。 ③点字の歴史について学ぶ。 ④点字の表記について学び、点字の読み方を身に付ける。 ⑤点字器の操作について学び点字の書き方（分かち書き）を身に付ける。 ⑥点字と現代語の違いを知り文法を身に付ける。 ⑦ある程度まとまった文章の読み書きができる。
授業の概要	第一に視覚障がい者の状況を把握し、社会生活を送る上で、「何が不自由か」について理解を深め、その中で点字の発明が視覚障がい者の福祉と社会参加に大きく寄与してきたことを学ぶ。第二に実際の点字の表記と仕組みを学んで、簡単な読み書きを習得して視覚障がい者との交流を図る一助とする。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	◎
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	

授業計画	第１回	視覚障がい者について 【key words】 盲人。視覚障がい児・者。社会進出。 【授業概要】 オリエンテーション ～現在の視覚障がい児・者の置かれた社会的状況について～ １．何が不自由か？ ２．身近に見る「点字表記」について 【教科書ページ・参考文献】 P1,P49～P５３ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 身近な存在として視覚に障がいのある人を知っているか？ 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分程度 ３０分程度 ３0分程度
	第２回	点字の歴史について　身近にある点字について 【key words】 凸文字。ルイ・ブライユ。ナポレオン戦争。夜の文字。パリ―盲学校。東京盲学校。 【授業概要】 ～点字の歴史～ １．誰がどのような目的で「凸文字」を提案したか？その背景について ２．パリ―盲学校。ルイ・ブライユの６点点字完成の功績 ３．我が国に導入された「６点点字」が翻案された状況について 【教科書ページ・参考文献】 P3～P4

【課題・予習・復習・授業準備指示】
１．ブライユの生きた時代とは、どのような状況であったか？
２．日本に「６点点字」が紹介されたいきさつと、日本語への翻案について

【予習復習に必要な想定時間】
３0分程度

第３回　点字の仕組み　５０音（静音）　点字器の使い方

【key words】
東京盲学校。小西信八。日本語翻案。五十音。点字器の名前と使い方

【授業概要】
～点字を打つ（書く）ための準備～
１．点字盤・点字定規・点筆・点字用紙、の使い方について
２．点字用紙を点字版・定規に挟みこむ。点筆の持ち方、打ち方について
３．点筆をまっすぐに打ち下ろす。（力を入れすぎないように！）
４．ドリル１、ドリル２、

【教科書ページ・参考文献】
P5～P６

【課題・予習・復習・授業準備指示】
点字を打つ（書く）、裏返して凸面を読む。

【予習復習に必要な想定時間】
３０分程度

第４回　点字の仕組み　濁音・促音・拗音・調音符

【key words】
点筆の使い方。マス開け。濁音（前置記号）。

【授業概要】
～点字の仕組み（点字を打つ）～
１．ア行の点の構成。　カ行の構成、サ行、タ行、ナ行、ハ行、マ行、ヤ行、ワ・ヲ・ン
２．基本構成のア行を打つ。カ行以下の構成原理を知る。
３．五十音カナを打つ。
４．ドリル３～ドリル６

【教科書ページ・参考文献】
P６～P９

【課題・予習・復習・授業準備指示】
点字を打つ（書く）、裏返して凸面を読む。

【予習復習に必要な想定時間】
３０分～１時間程度

第５回　仮名遣いについて

【key words】
濁音・・拗音（前置記号）、促音・長音（後置記号）

【授業概要】
～五十音のまとめと「マス空け」の原理～
１．五十音のまとめ。「名詞＋助詞」、「形容詞」がひとまとまり
２．２マスで表す点字表記（濁音・拗音等）。２マス以上で表す名詞等。
３．短文の点訳。（主語＋形容詞＋述語程度）

４．ドリル１～ドリル６迄の復習（早読み）

【教科書ページ・参考文献】
P6～P14

【課題・予習・復習・授業準備指示】
マス空けの原則（名詞＋助詞でひとまとまり）

【予習復習に必要な想定時間】
３０分程度

第６回　数字の書き方

【key words】
前置詞（数符・外字符）。位取り。

【授業概要】
～数字交じりの日本語文の表記法～
１．数字の、１～１０までの表記。加減乗除の表記法
２．数字が入った言葉。
３．ドリル７～ドリル９

【教科書ページ・参考文献】
P15～P１９

【課題・予習・復習・授業準備指示】
数字の日本語読み（例、１万５千６百７拾８円）

【予習復習に必要な想定時間】
３０分～１時間程度

第７回　アルファベットの書き方

【key words】

		前置詞（外字符）。大文字符・小文字符。 【授業概要】 ～アルファベットの点字表記～ １．英文の表記法。原則は１単語で１マス空け。 ２．日本語の文中に出てくる外国語や数字・化学式の表記 ３．ドリル１０～ドリル１１ 【教科書ページ・参考文献】 P20～P23 【課題・予習・復習・授業準備指示】 点字で表すことの出来る標記（楽譜・外国語のカナ表記等） 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分～１時間程度
	第８回	分かち書きについて① 【key words】 仮名遣い。長音。書き言葉。発音通りの表記。 【授業概要】 ～仮名遣いの原則。日本語の決まり。～ １．日本語表記の「は」は、発音上「ワ」になります。同様に、「へ」は、「え」と表記する。　２．日本語「う」は、長音（ー）になります。また、日本語仮名遣いはそのまま点訳します。　３．ドリル１２～ドリル１４ 【教科書ページ・参考文献】 P24～P29 【課題・予習・復習・授業準備指示】 電車・デパート・エレベーター・トイレ等の点字表記を見つけよう。 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分～１時間程度
	第９回	分かち書きについて② 【key words】 分かち書き（言葉の区切り）。 【授業概要】 ～言葉のまとまりの意味を考えて１マス開けする。段落「～。」の次は、２マス空け。 １．助動詞、形容詞、名詞＋助詞は、「ひとまとまり」で標記。そのあとは１マス開け。 ２．意味のまとまりごとに１マス開ける。 ３．句読点（テンとマル）の表し方。 ４．ドリル１５～ドリル１７ 【教科書ページ・参考文献】 P30 ～P35 【課題・予習・復習・授業準備指示】 同じ点でも意味が異なる。読点（⑤・⑥の点）は、外字符と同じ。読点の後は２マス空け。 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分～１時間程度
	第１０回	記号と符号の書き方 【key words】 記号（数符・外字符等）。前置記号。 【授業概要】 ～短文への準備～ １．今まで学んできた点字の表記法を駆使して、短文を点訳する。 ２．点訳された短文を読み上げる。 ３．ドリル１８ 【教科書ページ・参考文献】 P３６～P38 【課題・予習・復習・授業準備指示】 短いラブレターを書こう 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分～１時間程度
	第１１回	短文の書き方　書き方の形式 【key words】 分かち書き。段落。句読点。 【授業概要】 ～短文を点訳しよう。そして短文の点字を読み上げよう～ １．手紙（メモ）を書こう。そして、読み上げよう。

２．日記を書こう。そして、読み上げよう。
３．ドリル１９

【教科書ページ・参考文献】
P３９～P42

【課題・予習・復習・授業準備指示】
点字のひとまとまり（区切り）を意識して点訳しよう！

【予習復習に必要な想定時間】
３０分～１時間程度

第１２回　点字の書き方の応用

【key words】
分かち書き。段落。句読点。

【授業概要】
～手紙に形式を身に着けよう！～
１．書き出し（表題）は、点字用紙のほぼ真ん中になるように！
２．あて名は、１行目３マス目から。差し出し人名は、２行目の真ん中より右側に！
３．本文最後の行の次の行の右側一杯目のマスに「敬具」とか「終わり」を書いて終了。

【教科書ページ・参考文献】
P39を参考に

【課題・予習・復習・授業準備指示】
点字表記の形式を意識して書きましょう。

【予習復習に必要な想定時間】
３０分～１時間程度

第１３回　課題点訳

【key words】
分かち書き。段落。句読点。

【授業概要】
～手紙に形式を身に着けよう！～
１．書き出し（表題）は、点字用紙のほぼ真ん中になるように！
２．あて名は、１行目３マス目から。差し出し人名は、２行目の真ん中より右側に！
３．本文最後の行の次の行の右側一杯目のマスに「敬具」とか「終わり」を書いて終了。

【教科書ページ・参考文献】
P39を参考に

【課題・予習・復習・授業準備指示】
点字表記の形式を意識して書きましょう。又、５W1Hを意識して書こう！

【予習復習に必要な想定時間】
３０分～１時間程度

第１４回　課題点訳の校正・仕上げ

【key words】
分かち書き。段落。句読点。

【授業概要】
～課題に挑戦しよう！～
１．書き出し（表題）は、点字用紙のほぼ真ん中になるように！
２．書き出しは、１行目３マス目から。パラフレーズが終わったら、次の行３マス目へ。
３．本文最後の行の次の行の右側一杯目のマスに「敬具」とか「終わり」を書いて終了。

【教科書ページ・参考文献】
P39を参考に

【課題・予習・復習・授業準備指示】
点字の手紙表記の形式を意識して書きましょう。

【予習復習に必要な想定時間】
３０分～１時間程度

第１５回　視覚障碍者の福祉について　全体のまとめ

【key words】

【授業概要】
～最終課題に挑戦しよう！～
１．書き出し（表題）は、点字用紙のほぼ真ん中になるように！
２．書き出しは、１行目３マス目から。文章が続く場合、２行目は行頭から続けて書く。
３．本文最後の行の次の行の右側一杯のマスに「終わり」を書いて終了。

【教科書ページ・参考文献】
P39を参考に

	【課題・予習・復習・授業準備指示】 点字表記の形式を意識して書きましょう。 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分～１時間程度
受講生に関わる情報および受講のルール	１５回と言う少ない回数で点字の読み書きを習得するため、毎回授業の半分は点字を実際に打ったり読んだりの作業にあてられる。休まず出席して課題に取り組むことが必要である。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード　　その他（毎回課題を提出する）
授業外時間にかかわる情報	各種鉄道乗車に係る点字情報を知ること。特に、券売機には「点字」標記」があること、更に列車には「何号車か」・「座席」・「トイレ」等の表示があることに気づくこと。 その他、どんな公共施設に「点字」標記があるか等に興味を持つこと。
オフィスアワー	授業終了後30分
評価方法	筆記試験　５０％　　課題（長文）点訳・墨字訳　４０％　　平常の提出物１０％
教科書	Ｇ－10とマナブくんの点字教室
参考書	『初めての点訳』編集・発行　全国視覚障碍者情報提供施設協会
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 東京教育大学（現筑波大学）附属盲学校勤務中、文部科学省における「学修指導要領編集委員や、文部障著作の「点字楽譜の書き方」等の委員に任命され、点字楽譜等、点字の研究に携わっていた。又、自らの著作として「楽譜点訳の手引き」を全音楽譜出版社から出版している。さらに、点訳グループの育成指導に当たっている。 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称：　手話　　授業コード：J262

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	1単位(30)	介護福祉コース・医療事務・秘書コース・必修
担当教員			
久川　亮子・田島　眞理			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	■授業の目的・到達目標 ・視覚言語である「手話」の基本を習得する。あわせてコミュニケーションの必要性や伝えることの大切さを身につける。 ・手話を学ぶことを通して、聴覚障害者の生活・歴史・福祉など社会における聴覚障害者の現状を学び、見た目では分かりにくい障害とその社会的要因を理解する。 ・聴覚障害者とのコミュニケーションの取り方と日常会話程度の手話を身に着ける。
授業の概要	・聴覚障害者の基礎知識・障害に起因する問題・聴覚障害者の福祉制度・聴覚障害者の生活とコミュニケーション・社会資源の利用やボランティア活動について学ぶ。 ・聴覚障害者とコミュニケーションをとりながら、手話の基礎知識・聴覚障害者とのコミュニケーション方法を学ぶ。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	◎
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	△
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	○

授業計画	第１回	講義：ガイダンス・手話を学ぶにあたって　実技：伝え合ってみましょう 【key words】 手話学習の心構え 身ぶり・手話・表現 【授業概要】 シラバスの説明。目で見る言葉である「手話」を学ぶにあたっての心構えを説明する。 「手話」とは手だけで表現するのではなく、身振りや表現、感情を含めた体の動きも重要であることを知る。 【教科書ページ・参考文献】 テキスト　第１・２講座 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：テキストｐ９「学習を深めよう」 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分～６０分
	第２回	講義：聴覚障害者の生活「ＤＶＤ　わたしの大切な家族」　実技：自己紹介をしましょう 【key words】 聴覚障害者の生活（家族・仕事・教育） 挨拶・名前・疑問詞（何？） 【授業概要】 聴覚障害者の生活を知る。理解したことをレポートでまとめる。 挨拶の手話を覚える。 自分の名前を表現する。 指文字５０音の学習 【教科書ページ・参考文献】 テキスト巻末ＤＶＤｐ９６～１０２ テキスト第３講座 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：ＤＶＤ第３講座の映像を見る。指文字の復習。レポート提出① 【予習復習に必要な想定時間】 ３０～６０分
	第３回	講義：聴覚障害者の生活「ＤＶＤわたしの大切な家族」　実技：家族と数の表現 【key words】 聴覚障害者の生活（家族・仕事・教育） 人物表現の基礎、家族、数、疑問詞（誰？いくつ？いくら？いつ？） 【授業概要】 聴覚障害者の生活を知る。 レポートの意見を確認しながら聴覚障害者の家族、仕事、教育、生活について再確認していく。 コラムの学習 人物表現の基礎となる手話を覚える。自分の家族の紹介ができる。数の表現を覚える。 　コラムの学習 【教科書ページ・参考文献】 テキスト巻末ＤＶＤｐ９６～１０２ ｐ３３・４２・８３コラムテキスト　第４・５講座

		ｐ４２コラム 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：ＤＶＤ第４・５講座の映像を視聴 【予習復習に必要な想定時間】 ３０～６０分
	第４回	講義：耳の仕組み・聞こえの仕組み　実技：趣味について話しましょう 【key words】 聞こえの役割・耳の仕組み 趣味、得意、苦手、上手、下手、好き、嫌い、疑問詞（どっち？） 【授業概要】 音が生活の中でどのような役割を果たしているかを知る。 自分の趣味等について身振りや表現など工夫して伝える。 【教科書ページ・参考文献】 テキストｐ８８～９０ テキスト第６講座 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：ＤＶＤ第６講座の映像を視聴 【予習復習に必要な想定時間】 ３０～６０分
	第５回	講義：聴覚障害者とのコミュニケーション　実技：仕事について話しましょう 【key words】 コミュニケーション手段 仕事 【授業概要】 聴覚障害者とのコミュニケーション方法を知る。 聴覚検査と補助用具について知る。 仕事の様子の特徴を捉え、見てわかりやすい表現を工夫して伝える。 コラムの学習 【教科書ページ・参考文献】 テキストｐ９０～９５ テキスト第７講座 ｐ４２コラム 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：ＤＶＤ第７講座の映像を視聴 【予習復習に必要な想定時間】 ３０～６０分
	第６回	講義：ろう教者　実技：住所を紹介しましょう 【key words】 ろう教育の歴史　現在のろう学校 住所、県内の地名、疑問詞（どこ？） 【授業概要】 ろう教育が開始された背景や教育方法についてどのように変化をしていったかを知る。 コラムの学習 身近な都道府県、地名、建物、施設等の手話を学ぶ。空間を使って位置関係や距離感を表す。 【教科書ページ・参考文献】 テキストｐ１０６～１０７ ｐ６０コラム テキスト第８講座 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：ＤＶＤ第８講座の映像を視聴 【予習復習に必要な想定時間】 ３０～６０分
	第７回	講義：ろう運動①　実技：時制の表現 【key words】 ろう運動の変化 時制（過去・現在・未来・季節） 【授業概要】 ろう者が経験した過去の差別を知る。 ろうが集団を結成した経緯を知る。 身体の位置で過去・現在・未来を表すことを理解する。 １年に関するときの表し方を覚える。 【教科書ページ・参考文献】 テキストｐ１２２～１２６ テキスト第１１・１２講座 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：ＤＶＤ第１１・１２講座の映像を視聴 【予習復習に必要な想定時間】 ３０～６０分
	第８回	講義：ろう運動②　実技：時制の表現　交流の準備 【key words】 ろう運動の成果 時制（時間の表現）　交流のための復習 【授業概要】 ろう集団ができた後のろう運動の変化と成果を知る。今後の課題を考える。 一日に関するときの表し方を覚える。疑問詞（何時？） 「～した」過去の表現を覚える。 【教科書ページ・参考文献】 テキストｐ１２２～１２６ テキスト第１０講座 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：ＤＶＤ第１０講座の映像を視聴 【予習復習に必要な想定時間】 ３０～６０分

	第９回	体験学習（ろう者との交流による手話による会話の実践） 【key words】 ろう者との手話による会話 【授業概要】 今までに習った手話表現を使用して、地域のろう者と実際に会話してみる。 経験したことに対するレポート提出 【教科書ページ・参考文献】 テキスト第１から１０講座まで 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：今まで習った手話の復習。ＤＶＤ第９講座の映像を視聴 課題：レポート② 【予習復習に必要な想定時間】 ３０～６０分
	第１０回	講義：障害者福祉の基本　実技：パーティーのことを話しましょう 【key words】 障害者福祉 いつ？何時？どこで？条件は？ 【授業概要】 障害者福祉に関する全般的な動向、基本的な知識を学ぶ。 行事の改革をテーマに、今まで学習した疑問詞を復習し、質問と答えを繰り返し表現していく。 【教科書ページ・参考文献】 テキストｐ１１２～１２１ テキスト第１３講座 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：ＤＶＤ第１３講座の映像を視聴 【予習復習に必要な想定時間】 ３０～６０分
	第１１回	講義：手話の基本知識　実技：旅行のことを話しましょう 【key words】 手話・身振り・音声語 何が？どこへ？誰と？何で？いつ？ 【授業概要】 手話の基本知識を知る。 旅行の経験や計画をテーマに、今まで学習した疑問詞を復習し、質問と答えを繰り返し表現していく。 【教科書ページ・参考文献】 テキストｐ１０３～１１０ テキスト第１４講座 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：ＤＶＤ第１４講座の映像を視聴 【予習復習に必要な想定時間】 ３０～６０分
	第１２回	講義：ボランティア活動　実技：病院のことを話しましょう 【key words】 ボランティア活動の歴史と活動 疑問詞と答え 会話 【授業概要】 ボランティア活動の特徴や広がりと心得について学んでいく。 テキストの絵をヒントに病院のことについて今まで学習した手話を活かして会話をする。 コラムの学習 【教科書ページ・参考文献】 テキストｐ１３２～１３５ テキスト第１５講座 ｐ４２コラム 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：ＤＶＤ第１５講座の映像を視聴 課題：「介護現場」で使用する単語を考えて翌週提出 【予習復習に必要な想定時間】 ３０～６０分
	第１３回	講義：手話サークル　実技：学校のことを話しましょう 【key words】 手話サークル 疑問詞と答え 会話 【授業概要】 手話サークル活動について学習していく。県内の手話サークルについて情報を伝える。今後の手話楽手継続へとつないでいく。 テキストの絵をヒントに学校のことについて今まで学習した手話を活かして会話をする。 【教科書ページ・参考文献】 テキストｐ１３５～１３９ テキスト第１６講座 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：ＤＶＤ第１６講座の映像を視聴 レポート提出③ 【予習復習に必要な想定時間】 ３０～６０分
	第１４回	講義：まとめ　試験の説明　　職場と介護現場のことを話しましょう 【key words】 聴覚障害者に関する知識を復習　試験のポイント確認 疑問詞と答え　会話 【授業概要】

	今まで講義で学習した内容について、再度確認しながら、疑問や質問について答えていく。　試験のポイントを説明していく。 テキストの絵をヒントに職場のことについて今まで学習した手話を活かして会話をする。 介護現場で使用する手話を覚えていく。 【教科書ページ・参考文献】 テキスト第１７講座 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：ＤＶＤ第１７講座の映像を視聴 【予習復習に必要な想定時間】 ３０～６０分 第１５回　ミニテスト　手話表現をする　手話の読み取りをする 【key words】 ろう者へ伝える ろう者の手話を読み取る 【授業概要】 自分のことについて知っている手話を用いて自己紹介し、ろう者に伝えていく。 ろう者が表す手話を読み取る技術を持つ。 【教科書ページ・参考文献】 テキスト第１～１８講座 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：手話表現の内容をメモしておく 【予習復習に必要な想定時間】 ３０～６０分
受講生に関わる情報および受講のルール	・手話は目で見る言葉なので、手話の実技についてはろう者講師へ視線を集中させること。 ・手を動かしやすいように着席すること（机へのひじつき禁止） ・講師の手話が見える場所へ移動も可 ・手の形が見える服装を着用
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	直接質問を受ける
授業外時間にかかわる情報	Eテレ「私たちの手話」「手話ニュース８４５」の紹介　テキスト巻末のDVDの視聴
オフィスアワー	授業前後10分間
評価方法	筆記試験４０％　レポート３０％　実技（ミニテスト：手話表現・読み取り）３０％
教科書	厚生労働省手話奉仕員養成カリキュラム対応「手話を学ぼう　手話で学ぼう」発行：社会福祉法人全国手話研修センター　発売：一般社団法人　全日本ろうあ連盟
参考書	わたしたちの手話学習辞典　財団法人　全日本ろうあ連盟出版局著
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 医療事務Ⅰ　　授業コード： J501

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年次	2単位(60)	医療事務Ⅰ
担当教員			
清水　春代			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 病院勤務に必要な医療保険制度の知識及び医療事務資格の「医療事務管理士」取得に足る知識の習得。 【到達目標】 診療報酬算定の根拠である、「診療報酬点数表」を引きこなすことができる。 カルテを読むことができる。 自主的な調べ学習で、問題解決をすることができる。
授業の概要	医療事務の仕事は、①医療機関に於ける受付、会計などの患者接遇業務、②入院受付や入院会計、退院手続きなどの病棟管理業務、③医師、看護師などの事務的サポートを行う秘書業務、④診療費の患者負担分以外を請求するレセプト業務。⑤オペレーション業務、統計資料作成などの医事ＯＡ、情報管理業務などがある。本授業は、これらに必要な基本的知識を学び、カルテを読み、診療内容の点数算定の基礎を、体系的に学ぶ。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	◎
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	

授業計画	第１回	オリエンテーション、病院概論（医療機関の分類、医療機関と薬局の関係） 【key words】 診療所、病院、医療法、開設者 【授業概要】 授業の目的、目標、履修上の注意点、評価方法、医療法による分類、保険医療機関と保険薬局の関係について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 テキスト１ p5~11 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキスト12~36熟読 【予習復習に必要な想定時間】 予習30分、復習30分
	第２回	医療保障制度（医療保険の仕組み、社保、国保、後期高齢者医療、保険給付） 【key words】 保険診療、保険給付、療養担当規則 【授業概要】 病院勤務に必須である医療保障制度の言葉の理解と仕組みを学び、保険証のからくりをしる。 【教科書ページ・参考文献】 テキスト1 p12~24 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキスト１｛療養担当規則」の熟読と本日の復習 【予習復習に必要な想定時間】 予習1時間　復習1時間
	第３回	点数算定の原則（個別出来高払い、点数表の読み方、基本診療料と特掲診療料）、診察料（初診料） 【key words】 個別出来高払い方式、点数表、基本診療料、特掲診療料、診察料 【課題・予習・復習・授業準備】トレーニングブックで初診料を見つけよう 【授業概要】 点数算定は、医療行為を点数に置き換えて計算する。点数の拠り所である点数表の見方、引き方を学習することで、あらゆる医療行為の算定が可能となる。又受診時必ず発生する診察料の定義について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】

テキスト2 p22~26

【課題・予習・復習・授業準備指示】
トレーニングブックで初診料を見つけよう
【予習復習に必要な想定時間】
予習30分、復習1時間

第４回　診察料（再診料、外来診療料）
【key words】
再診料・外来診療科

【授業概要】
2回目以降の診察料について、定義、算定ルール、算定ポイントを学び、算定の現実を知る。

【教科書ページ・参考文献】
テキスト2 p37~42,トレーニングブック

【課題・予習・復習・授業準備指示】
トレーニングブックで再診料の算定練習
【予習復習に必要な想定時間】
予習30分、復習1時間

第５回　医学管理等（定義、区分、特定疾患療養管理料）
【key words】
特定疾患療養管理料

【授業概要】
医学管理料は、病気に対する治療上の指導や情報提供料である。特定疾患療養管理料は、医療機関では頻出項目である。算定ルールを学ぶ。

【教科書ページ・参考文献】
テキスト2 p43~49

【課題・予習・復習・授業準備指示】
トレーニングブックで特定疾患療養管理料を探そう。
【予習復習に必要な想定時間】
予習30分、復習1時間

第６回　医学管理等（特定疾患治療管理料、その他の医学管理等、情報提供料）
【key words】
特定疾患治療管理料、情報管理料

【授業概要】
医学管理料の算定の秘訣はカルテのキーワードを知る事である。各医学管理料のキーワードと算定ルールを知ろう。

【教科書ページ・参考文献】
テキスト2 p50~61　トレーニングブック

【課題・予習・復習・授業準備指示】
トレーニングブックの中のキーワードを探し、医学管理の算定練習
【予習復習に必要な想定時間】
予習30分、復習1時間

第７回　在宅医療（定義、区分、在宅患者診療・指導料例えば往診料）
【key words】
往診料、訪問診療料

【授業概要】
在宅医療は治療場所が患者宅か医療機関かで2種類に区分される。在宅患者診療指導料の中の往診料や在宅患者訪問診療料について学ぶ。

【教科書ページ・参考文献】
テキスト2 p62~69

【課題・予習・復習・授業準備指示】
本日の復習。次回(テキストp70~74の予習)
【予習復習に必要な想定時間】
予習30分、復習1時間

第８回　在宅医療（在宅療養指導管理料、例えば在宅自己注射指導管理料等）
【key words】
在宅自己注射指導管理料

【授業概要】
在宅療養管理料は、患者さんが自ら器具を使って医療行為を行う事に対して医師が、指導を行った時の費用です。在宅自己注射指導管理料の算定ルール、算定ポイントを学ぶ

【教科書ページ・参考文献】
テキスト2 p70~78

【課題・予習・復習・授業準備指示】
本日の復習、投薬料の予習
【予習復習に必要な想定時間】
予習30分、復習1時間

	第９回	投薬（定義、薬剤の基礎知識、院内処方の算定ルール） 【key words】 薬価表、内服薬、頓服薬、外用薬、調剤料、処方料、薬剤料 【授業概要】 投薬料とは、患者さんが自宅で使用する薬を出した時に発生する費用です医療機関内で薬を受け取ることを院内処方といいます。算定ルールと算定ポイントを学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 テキスト2 p79~85、トレーニングブック1号～3号の会計欄 【課題・予習・復習・授業準備指示】 トレーニングブックの残り 【予習復習に必要な想定時間】 予習30分、復習1時間
	第１０回	投薬（院外処方とその算定ルール） 【key words】 処方箋料 【授業概要】 処方箋を発行した時の算定ルールと算定ポイントを学ぶ 【教科書ページ・参考文献】 テキスト2 p102、トレーニングブック4号の会計欄 【課題・予習・復習・授業準備指示】 トレーニングブック4号を仕上げる。 【予習復習に必要な想定時間】 予習30分、復習1時間
	第１１回	注射（薬剤の基本知識、算定の共通ルール 【key words】 注射薬、注射実施料、薬剤料 【授業概要】 注射の種類と算定の共通ルール、算定ポイントを学ぶ。注射に関連ある略語 【教科書ページ・参考文献】 テキスト2 p111~p116, 【課題・予習・復習・授業準備指示】 本日の復習、テキスト2 p117~135熟読 【予習復習に必要な想定時間】 予習30分、復習1時間
	第１２回	注射（皮内・皮下筋肉内注射、静脈内注射、点滴注射等） 【key words】 皮下筋肉内注射、静脈内注射、点滴注射等 【授業概要】 主な注射料の算定の実際 【教科書ページ・参考文献】 テキスト2 p117~135、トレーニングブック5号~8号の会計欄 【課題・予習・復習・授業準備指示】 トレーニングブック5~8号の会計欄残り 【予習復習に必要な想定時間】 予習30分、復習1時間
	第１３回	処置（定義、区分、算定の共通ルール） 【key words】 処置料、処置医療機器加算、薬剤料 【授業概要】 処置とは患部を洗ったり、薬を塗ったりなど身体の外部から行う手当のこと。処置料の区分、算定の共通ルールについて学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 テキスト2 p136~140 【課題・予習・復習・授業準備指示】 第3回学科レポート　問3,4,5、テキスト2 p141~159熟読 【予習復習に必要な想定時間】 予習30分、復習1時間
	第１４回	処置（一般処置、救急処置、皮膚科処置、泌尿器科処置、産婦人科処置、眼科処置、耳鼻咽喉科処置、整形外科的処置等） 【key words】 一般処置、救急処置、皮膚科処置、泌尿器科処置、産婦人科処置、耳鼻咽喉科処置、整形外科的処置 【授業概要】 処置料の算定の実際

【教科書ページ・参考文献】
テキスト2 p141~159、トレーニングブック9~12号の会計欄

【課題・予習・復習・授業準備指示】
トレーニングブック9~12号の会計欄の残り
【予習復習に必要な想定時間】
予習30分、復習1時間

第１５回　処置（ギプス）、リハビリテーション（定義、算定の共通ルール、脳血管リハビリテーション料、運動器リハビリテーション料等

【key words】
ギプス、疾患別リハビリテーション料

【授業概要】
様々な原因で運動や言語など、身体の機能に障害のある患者さんに対して、基本的な機能の回復訓練を行う治療をリハビリテーションという。算定の共通ルールと算定の実際を学ぶ。

【教科書ページ・参考文献】
テキスト2 p160~175、トレーニングブック9~12号の会計欄

【課題・予習・復習・授業準備指示】
トレーニングブック9~13号の会計欄
【予習復習に必要な想定時間】
予習30分、復習1時間

第１６回　検査（定義、区分、検体検査料の区分と算定の共通ルール、各検体検査の算定ー尿検査、血液検査等）

【key words】
検体検査、診断穿刺、検体採取料、時間外緊急院内検査加算、外来迅速検体検査加算

【授業概要】
算定のルール、算定のポイント、各検体検査の算定（尿・糞便検査、血液学検査）

【教科書ページ・参考文献】
テキスト3 p5~p26、トレーニングブック14~15号の会計欄

【課題・予習・復習・授業準備指示】
トレーニングブック14~15号の会計欄残り
【予習復習に必要な想定時間】
予習30分、復習1時間

第１７回　検査（生体検査料の区分と算定の共通ルール、各生体検査の算定ー心電図、超音波検査、脳波検査、内視鏡検査等）

【key words】
生体検査、逓減算定、対称器官、年齢加算

【授業概要】
生体検査の算定の共通ルールと算定ポイント。各生体検査の算定

【教科書ページ・参考文献】
テキスト3 p26~38、トレーニングブック16~18号の会計欄

【課題・予習・復習・授業準備指示】
トレーニングブック16~18号の会計欄残り
【予習復習に必要な想定時間】
予習30分、復習1時間

第１８回　病理診断（定義、区分、算定の共通ルール）

【key words】
病理標本作製、病理診断料、病理判断料

【授業概要】
病理診断とは、臓器や皮膚などの組織標本を作成し、癌細胞の有無等を調べ、疾病診断をすることである。算定の共通ルールを学ぶ。

【教科書ページ・参考文献】
テキスト3 p44~51、トレーニングブック30号の会計欄

【課題・予習・復習・授業準備指示】
トレーニングブック30号の会計欄残り
【予習復習に必要な想定時間】
予習30分、復習1時間

第１９回　手術（定義、区分ー手術料と輸血料、手術料の算定ルール、通則）

【key words】
手術料、手術医療機器加算、通則の加算の重複、対称器官に対する両側の手術、同一手術野、指の手術

【授業概要】
手術は算定上、手術料と輸血料の区分される。手術料の算定の原則と算定ポイントを学ぶ。

【教科書ページ・参考文献】
テキスト3 p52~58

【課題・予習・復習・授業準備指示】
本日の復習
【予習復習に必要な想定時間】

		予習30分、復習1時間
	第２０回	手術（輸血料の種類と算定ルール） 【key words】 輸血料 【授業概要】 輸血料の算定の共通ルール。検査加算。血液成分製剤加算 【教科書ページ・参考文献】 テキスト3 p66~73、トレーニングブック19号の会計欄 【課題・予習・復習・授業準備指示】 トレーニングブック号19の会計欄残り 【予習復習に必要な想定時間】 予習30分、復習1時間
	第２１回	麻酔（区分ー麻酔料と神経ブロック料、麻酔の種類と算定ルール） 【key words】 局所麻酔、全身麻酔、麻酔管理料 【授業概要】 算定のルール。通則の加算の重複。麻酔管理料。算定ポイントを学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 テキスト3 p74~88、トレーニングブック19~22号の会計欄 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキスト3 p74~88、トレーニングブック19~22号の会計欄 【予習復習に必要な想定時間】 予習30分、復習1時間
	第２２回	画像診断（区分ーエックス線診断、CT撮影、シンチグラム等、算定の共通ルール）（エックス線診断料の種類と算定） 【key words】 診断料、撮影料、フィルム料 【授業概要】 画像診断の区分、算定の共通ルールと算定ポイントを学ぶ 【教科書ページ・参考文献】 テキスト3 p89~106 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキスト3 p107~117熟読、本日の復習 【予習復習に必要な想定時間】 予習30分、復習1時間
	第２３回	画像診断（核医学診断料、コンピューター断層撮影診断料の種類と算定） 【key words】 シンチグラム、スペクト、ＣＴ撮影、MRI撮影 【授業概要】 算定のルールと算定ポイントを学ぶ 【教科書ページ・参考文献】 テキスト3 p107~117、トレーニングブック号23~33の会計欄 【課題・予習・復習・授業準備指示】 学科レポート第5回　問1～4 【予習復習に必要な想定時間】 予習30分、復習1時間
	第２４回	精神科専門療法、放射線治療（定義、種類、算定ルール） 【key words】 通院在宅精神療法、高エネルギー放射線治療、放射線治療管理料 【授業概要】 算定のルールと算定ポイントを学ぶ 【教科書ページ・参考文献】 テキスト3 p118~126　トレーニングブック32~33号の会計欄 【課題・予習・復習・授業準備指示】 学科レポート第5回　問5 【予習復習に必要な想定時間】 予習30分、復習1時間
	第２５回	入院（入院の費用ー入院基本料、入院基本料等加算、入院時食事療養費） 【key words】 入院基本料、入院基本料加算、入院時食事療養費 【授業概要】 入院の費用、一般病棟入院基本料、算定の単位、外泊と再入院 【教科書ページ・参考文献】 テキスト3 p127~139,トレーニングブック34~43号の会計欄

	【課題・予習・復習・授業準備指示】 学科レポート第5回問6~10 【予習復習に必要な想定時間】 予習30分、復習1時間 第２６回　入院（特定入院料） 【key words】 特定入院料、短期滞在手術基本料 【授業概要】 種類と算定ポイントを学ぶ 【教科書ページ・参考文献】 テキスト3 p140~141 【課題・予習・復習・授業準備指示】 入院料の復習 【予習復習に必要な想定時間】 予習30分、復習1時間 第２７回　入院（入院料以外の点数算定ー初診料、投薬、注射、処置等） 【key words】 入院料以外の点数 【授業概要】 入院と外来がある場合、ＤＰＣ算定 【教科書ページ・参考文献】 テキスト3 p142~161,トレーニングブック44~50号の会計欄 【課題・予習・復習・授業準備指示】 トレーニングブック44~50号の会計欄残り 【予習復習に必要な想定時間】 予習30分、復習1時間 第２８回　公費負担医療（概要、制度の仕組み、生活保護法、難病法、感染症法等） 【key words】 生活保護法、難病法、感染症法 【授業概要】 公費負担医療制度の種類と仕組み、主な公費負担医療 【教科書ページ・参考文献】 テキスト1 p69~111 【課題・予習・復習・授業準備指示】 第5回学科レポート　問11,12 【予習復習に必要な想定時間】 予習30分、復習1時間 第２９回　総まとめ（総復習問題を使用して、総まとめと弱点補強） 【key words】 総復習 【授業概要】 総復習問題を使用して総復習と弱点補強 【教科書ページ・参考文献】 テキスト関連ページ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 本日の残り 【予習復習に必要な想定時間】 復習2時間 第３０回　模擬試験 【key words】 模擬試験 【授業概要】 模擬試験 【教科書ページ・参考文献】 テキスト関連ページ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 本日の復習 【予習復習に必要な想定時間】 復習２時間
受講生に関わる情報および受講のルール	教材、筆記用具は毎回持参すること。レセプト用紙等足りない時は予めコピーをして準備しておくこと。レポート等、提出物の提出期限を過ぎたものはうけつけないので、提出期限は必ず守ること。授業終了時に配布する予習問題を解いて、授業に臨むこと。項目終了毎に、小テストを行う。授業中の携帯電話の操作は禁止。私語は慎むこと。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード

授業外時間にかかわる情報	配布する予習問題を使用して予習をすること。授業終了時に指示する箇所の復習を行う。新聞などの関連記事を読む。
オフィスアワー	月曜日、木曜日　10:00～11:30、相談により随時
評価方法	定期試験　70%、課題等　30%、
教科書	医科テキスト1～3、医科トレーニング、医科サポートブック、医科レポート集、診療報酬明細書、（ソラスト）、医科診療報酬点数表（医学通信社）
参考書	医科試験問題集（ソラスト）、印刷資料など
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 22年以上の病院勤務、レセプト請求業務、社会人教育等の経験を活かし、現場で必要とされる、実践的知識の伝達なども含め、社会で活躍、貢献できる人材育成教育をめざす。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） ■情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 ■その他 その他の具体的内容 ICT教材活用による自主学習支援

講義科目名称： 医療事務Ⅱ　　授業コード： J504

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	2単位(60)	医療事務Ⅱ
担当教員			
清水　春代			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 病院勤務に必要な医療保険制度の知識及び医療事務資格の「医療事務管理士」取得に足る知識の習得。 【到達目標】 診療報酬算定の根拠である、「診療報酬点数表」を引きこなすことができる。 カルテを読むことができる。 診療内容を点数化することができる。 自主的な調べ学習で、問題解決をすることができる。
授業の概要	医療事務の仕事は、①医療機関に於ける受付、会計などの患者接遇業務、②入院受付や入院会計、退院手続きなどの病棟管理業務、③医師、看護師などの事務的サポートを行う秘書業務、④診療費の患者負担分以外を請求するレセプト業務。⑤オペレーション業務、統計資料作成などの医事ＯＡ、情報管理業務などがある。本授業は、これらに必要な基本的知識を学び、カルテを読み、診療内容の点数算定の基礎を体系的に学ぶ。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	○
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	◎
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	

授業計画		
	第１回	オリエンテーション、病院概論（医療法、地域医療支援病院、特定機能病院、医薬分業、院内処方、院外処方等） 【key words】 医療機関の分類、医療機関と薬局の関係 【授業概要】 本授業の目的、目標、履修上の注意点、評価方法。医療施設に関する基本法規から病院の分類を学ぶ。医薬分業の意義と歴史の復習 【教科書ページ・参考文献】 テキスト1 p5~11。問題集 【課題・予習・復習・授業準備指示】 問題集の残り 【予習復習に必要な想定時間】 復習1時間
	第２回	医療保障制度、点数算定の原則 【key words】 患者一部負担金、療養担当規則、高額療養費、保険外併用療養費、個別出来高方式、点数表の見方、基本診療料、特掲診療料 【授業概要】 保険給付の具体的な内容を学ぶ。保険診療上、医療機関、医療従事者が守らなければならない規則である療養担当規則を知り、事務職員も規則遵守の例外ではないことを知る。算定の拠り所である点数表の見方、引き方に習熟する。 【教科書ページ・参考文献】 テキスト1 p24~68、診療報酬点数表、トレーニングブック、問題集 【課題・予習・復習・授業準備指示】 問題集の残り 【予習復習に必要な想定時間】 復習1時間
	第３回	診察料、医学管理 【key words】 初診料、再診料、特定疾患療養管理料 【授業概要】 診察料の算定に習熟する。医学管理料のキーワードを再復習し、算定に習熟する。

【教科書ページ・参考文献】
テキスト2 p37~49　トレーニングブック、問題集

【課題・予習・復習・授業準備指示】
問題集、トレーニングブックは自主的にすすめること。
【予習復習に必要な想定時間】
復習1時間

第４回　医学管理、在宅医療

【key words】
特定疾患治療管理料、往診料、在宅自己注射指導管理料

【授業概要】
カルテを読み、医学管理、在宅医療の算定に習熟する。
【教科書ページ・参考文献】
テキスト2 p50~69　トレーニングブック、問題集

【課題・予習・復習・授業準備指示】
問題集、トレーニングブックは自主的にすすめること
【予習復習に必要な想定時間】
復習1時間

第５回　投薬

【key words】
調剤料、処方料、薬剤料、内服薬、頓服薬、外用薬

【授業概要】
院内処方での算定項目は、薬剤料×投与単位＋調剤料+処方料である。算定のルールを学び、算定に習熟する。投薬は算定の基本であるのでしっかりと理解することが求められる。

【教科書ページ・参考文献】
テキスト2 p86~101、トレーニングブック、問題集
【課題・予習・復習・授業準備指示】
問題集、トレーニングブックは自主的にすすめること
【予習復習に必要な想定時間】
復習1時間

第６回　投薬（院外処方）、注射

【key words】
院外処方、処方箋料、注射実施料、薬剤料、特定保険医療材料料、通則の加算、注の加算

【授業概要】
院外処方と院内処方は発生する費用が違うことを理解する。処方箋料の算定に習熟する。在宅医療の薬剤料は算定こーどが違うことと、2点以上のみ算定など、投薬料の薬剤料との違いに習熟する。注射料の算定は注射実施料+薬剤料+特定保険医療材料料+加算である。各項目の算定ポイントを学ぶ。注射の種類によって算定点数が違うこと、特定保険医療材料料の算定要件、加算の算定に習熟する。

【教科書ページ・参考文献】
テキスト2 p102~116、トレーニングブック、問題集

【課題・予習・復習・授業準備指示】
問題集、トレーニングブックは自主的にすすめること
【予習復習に必要な想定時間】
復習1時間

第７回　注射、処置

【key words】
皮内・皮下筋肉内注射、静脈内注射、点滴注射、注射薬一本未満、Ａｑ
処置料、処置医療機器加算、、薬剤料、特定保険医療材料料、通則の加算、注の加算

【授業概要】
主な注射料の算定の実際に習熟する。カルテの記載されている注射の算定に習熟する。特殊な場合（Ａｑ使用、注射薬一本未満使用の場合の薬剤料）の算定に習熟する。処置医療機器加算は、酸素加算と腰部又は胸部固定帯加算の確認をする。薬剤料は、薬価を点数化したものであり2点以上のみ算定。加算は処置料への加算であり、加算の順序が決まっている。算定上のポイントを復習し、算定に習熟する。

【教科書ページ・参考文献】
テキスト2 p136~141、トレーニングブック、問題集

【課題・予習・復習・授業準備指示】
問題集、トレーニングブックは自主的にすすめること
【予習復習に必要な想定時間】
復習1時間

第８回　処置、リハビリテーション

【key words】
一般処置、救急処置、皮膚科処置、産婦人科処置、眼科処置、耳鼻咽喉科処置、整形外科的処置等ギプス、疾患別リハビリテーション料

【授業概要】
各処置料の算定の実際（点数表から点数を引き、ルールにそって算定することに習熟する。体の機能に障害のある患者さんに対して、基本的な機能の回復訓練を行う治療をリハビリテーション

の算定に習熟する。学ぶ。

【教科書ページ・参考文献】
テキスト2 p141~175、トレーニングブック、問題集

【課題・予習・復習・授業準備指示】
問題集、トレーニングブックは自主的にすすめること
【予習復習に必要な想定時間】
復習1時間

第９回　検査

【key words】
検体検査料、診断穿刺、緊検、外迅検、検体検査判断料、生体検査料、逓減算定、対称器官、年齢加算

【授業概要】
各検体検査の算定と各生体検査の算定に習熟する。

【教科書ページ・参考文献】
テキスト3 p5~38,トレーニングブック、問題集

【課題・予習・復習・授業準備指示】
問題集、トレーニングブックは自主的にすすめること
【予習復習に必要な想定時間】
復習1時間

第１０回　病理診断、手術

【key words】
病理標本作製料、病理診断料、病理判断料
創傷処理、皮膚皮下腫瘍摘出術、骨折観血的手術、内視鏡的手術等

【授業概要】
病理診断料と検査料の関連の再確認をし、主な手術料の術式と算定に習熟する。

【教科書ページ・参考文献】
テキスト3 p33~58、トレーニング、問題集、点数表
【課題・予習・復習・授業準備指示】
問題集、トレーニングブックは自主的にすすめること
【予習復習に必要な想定時間】
復習1時間

第１１回　輸血料、麻酔料

【key words】
輸血料、脊椎麻酔、静脈麻酔、マスク又は気管内挿管による閉鎖循環式全身麻酔、硬膜外麻酔

【授業概要】
輸血料算定の実際、血液製剤輸血の算定の実際
主な麻酔料の算定の実際を手術料と併せての算定に習熟する。

【教科書ページ・参考文献】
テキスト3 p66~88、トレーニング、問題集、点数表
【課題・予習・復習・授業準備指示】
問題集、トレーニングブックは自主的にすすめること
【予習復習に必要な想定時間】
復習1時間

第１２回　画像診断

【key words】
撮影料、診断料、フィルム料、緊画、透視、シンチグラム、スペクト、ＣＴ撮影、MRI撮影

【授業概要】
単純撮影、造影剤使用撮影、特殊撮影、2法併施、対称器官、二方向撮影などの算定に習熟する。
算定ルールと算定ポイントを再確認し、更に、ＣＴ撮影とMRI撮影の併施について習熟する。

【教科書ページ・参考文献】
テキスト3 p89~117、トレーニング、問題集、点数表
【課題・予習・復習・授業準備指示】
問題集、トレーニングブックは自主的にすすめること
【予習復習に必要な想定時間】
復習1時間

第１３回　精神科専門療法、放射線治療、総復習（外来）

【key words】
通院・在宅精神療法、入院精神療法、心身医学療法、高エネルギー放射線療法

【授業概要】
精神科専門療法、放射線治療の種類の復習と、算定に習熟する。
認定試験過去問題（学科、外来実技）を使用して、総復習（外来）
【教科書ページ・参考文献】
テキスト3 p118~126、トレーニング、問題集、点数表、認定試験過去問題
【課題・予習・復習・授業準備指示】
問題集、トレーニングブックは自主的にすすめること、授業で仕上がらない部分は宿題。
【予習復習に必要な想定時間】
復習1時間

第１４回　入院料
【key words】
一般病棟入院基本料、入院基本料等加算、特定入院料、短期滞在手術基本料

【授業概要】
一般病棟の入院料の算定の実際に習熟する。救命救急入院料、特定集中治療室管理料、等、診療費の一部が包括になることなどを復習する。

【教科書ページ・参考文献】
テキスト3 p127~141、トレーニング、問題集、点数表
【課題・予習・復習・授業準備指示】
問題集、トレーニングブックは自主的にすすめること
【予習復習に必要な想定時間】
復習1時間

第１５回　入院、点検
【key words】
入院料以外の点数、レセプト点検

【授業概要】
入院中算定できない項目、入院のみ算定できる項目などを実践的に復習し、入院の費用を正しく算定できるよう、習熟する。レセプト点検のポイントをっ復習し、点検に習熟する。

【教科書ページ・参考文献】
テキスト3 p142~161、トレーニング、問題集、点数表、認定試験過去問題（入院、点検）
【課題・予習・復習・授業準備指示】
問題集、トレーニングブックは自主的にすすめること。授業で仕上がらない部分は宿題。
【予習復習に必要な想定時間】
復習1時間

第１６回　公費負担医療、その他の医療関係制度（労災保険、介護保険）
【key words】
生活保護法、難病法、感染症法等、労災保険、介護保険

【授業概要】
主な公費負担医療の算定の中で公費以外の算定と異なる点について再度、確認する。労災、介護保険制度について、習熟する。

【教科書ページ・参考文献】
テキスト1 p69~111、問題集
【課題・予習・復習・授業準備指示】
問題集、トレーニングブックは自主的にすすめること。
【予習復習に必要な想定時間】
復習1時間

第１７回　総まとめ（総復習問題を使用して、総まとめと弱点補強）
【key words】
総まとめ
【授業概要】
総復習問題を使用して総まとめと弱点補強

【教科書ページ・参考文献】
テキスト関連ページ、点数表、総復習問題、問題集

【課題・予習・復習・授業準備指示】
問題集、トレーニングブックは自主的にすすめること、授業で仕上がらない部分は宿題
【予習復習に必要な想定時間】
復習1時間

第１８回　模擬試験
【key words】
模擬試験
【授業概要】
模擬試験と解答解説を通して、総復習と、医療事務の基本的考え方を学習する。
認定試験合格のポイントと受験上の注意点を知る。
【教科書ページ・参考文献】
テキスト関連ページ、点数表、模擬試験問題、問題集、トレーニング

【課題・予習・復習・授業準備指示】
問題集、トレーニングブックは自主的にすすめること、授業で仕上がらない部分は宿題
【予習復習に必要な想定時間】
復習1時間

第１９回　社会と医療
【key words】
医療の現場について考える
【授業概要】
新聞などの記事で紹介されている医療の実際について、新聞記事を読み、考える。自己の意見をわかりやすくグループごとのプレゼンテーションを行い、自己の意見をわかりやすく伝える工夫と他の人の考えを受け入れる能力を養う。
【教科書ページ・参考文献】
新聞記事
【課題・予習・復習・授業準備指示】
ニュースなどから、次回のテーマを探すこと。
【予習復習に必要な想定時間】

		予習1時間
	第２０回	社会と医療 【key words】 医療の現場について考える 【授業概要】 自分で決めたテーマに沿って、新聞などの記事で紹介されている医療の実際について、新聞記事を読み、考える。自己の意見をわかりやすくグループごとのプレゼンテーションを行い、自己の意見をわかりやすく伝える工夫と他の人の考えを受け入れる能力を養う。 【教科書ページ・参考文献】 各自 【課題・予習・復習・授業準備指示】 （宿題）本日のプレゼンテーションについての感想文（次回提出） 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第２１回	論文を読もう 【key words】 医療機関での事務職員の果たす役割（論文、題は授業時に提示） 【授業概要】 論文を読み、病院事務職の医療現場での役割について考察し、グループごとのプレゼンテーションを行い、自己の意見をわかりやすく伝える工夫と他の人の考えを受け入れる能力を養う。 【教科書ページ・参考文献】 論文 【課題・予習・復習・授業準備指示】 （宿題）本日のプレゼンテーションについての感想文（次回提出） 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第２２回	論文を読もう 【key words】 医療機関での事務職員の果たす役割（論文、題は授業時に提示）ーその実現の為にー 【授業概要】 前回の感想文をもとに、事務職員に求められる資質を探る。グループワークで発表の準備 【教科書ページ・参考文献】 各自 【課題・予習・復習・授業準備指示】 発表資料を整える 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第２３回	論文を読もう 【key words】 医療機関での事務職員の果たす役割（論文、題は授業時に提示）ーその実現の為にー 【授業概要】 前回の感想文をもとに、事務職員に求められる資質を探る。グループワークで発表の準備 【教科書ページ・参考文献】 各自 【課題・予習・復習・授業準備指示】 発表資料を整える 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第２４回	医療機関での事務職員の果たす役割（論文、題は授業時に提示）ーその実現の為にー 【key words】 発表会 【授業概要】 発表会で自己の意見をわかりやすく伝える工夫と他の人の発表を聞く能力と、自分と違う考えを受け入れる能力を養う。 【教科書ページ・参考文献】 発表資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 自己の将来像をおりまぜた、本日の発表会の感想文（次回提出） 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第２５回	カルテを作ろう 【key words】 症例研究 【授業概要】 患者の状態、医療機関の施設基準などを設定し、病気、治療法などを調べ、カルテを作成してみよう。 グループ作成 【教科書ページ・参考文献】 各自（各グループ） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 各自（各グループ） 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第２６回	カルテを作ろう 【key words】 症例研究 【授業概要】 患者の状態、医療機関の施設基準などを設定し、病気、治療法などを調べ、カルテを作成してみよう。 グループワーク 【教科書ページ・参考文献】

	各自（各グループ） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 各自（各グループ） 【予習復習に必要な想定時間】 30分 第２７回　カルテを作ろう 【key words】 症例研究 【授業概要】 患者の状態、医療機関の施設基準などを設定し、病気、治療法などを調べ、カルテを作成してみよう。 グループワーク 【教科書ページ・参考文献】 各自（各グループ） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 各自（各グループ） 【予習復習に必要な想定時間】 第２８回　カルテを作ろう 【key words】 症例研究発表会 【授業概要】 症例研究発表会 【教科書ページ・参考文献】 各自（各グループ） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 各自（各グループ） 【予習復習に必要な想定時間】 30分 第２９回　カルテを作ろう 【key words】 グループごと症例研究発表会 【授業概要】 グループごと症例研究発表会 【教科書ページ・参考文献】 各自（各グループ） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 各自（各グループ） 【予習復習に必要な想定時間】 30分 第３０回　カルテを作ろう、1年間の振り返り 【key words】 グループごと症例研究発表会と1年間の振り返り 【授業概要】 グループごと症例研究発表会と1年間の振り返り 【教科書ページ・参考文献】 各自（各グループ） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 各自（各グループ） 【予習復習に必要な想定時間】 30分
受講生に関わる情報および受講のルール	教材、筆記用具は毎回持参すること。レセプト用紙等足りない時は予めコピーをして準備しておくこと。レポート等、提出物の提出期限を過ぎたものはうけつけないので、提出期限は必ず守ること。授業終了時に配布する復習問題を解いて、次の授業に臨むこと。授業中の携帯電話の操作は禁止。私語は慎むこと。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	医療事務管理士の試験対策としての、問題集やカルテ集を中心に、復習を徹底的にすること。授業終了時に指示する箇所の復習を行う。新聞などの関連記事を読む。
オフィスアワー	月曜日、木曜日　10:00～11:30、相談により随時
評価方法	定期試験　70%、課題等　30%
教科書	医科テキスト1～3、医科トレーニング、医科サポートブック、医科レポート集、診療報酬明細書、（ソラスト）、医科診療報酬点数表（医学通信社）
参考書	医科試験問題集（ソラスト）、印刷資料など、過去問題等
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 20年以上の病院勤務、レセプト請求業務、社会人教育業務などの経験を活かし、現場で必要とされる知識や基本的考え方などの知識の伝達などを含め、社会で活躍できる人材教育をめざします。

	アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等) □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等) □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等) ■情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 ■その他 その他の具体的内容 ICT教材活用による自主的な学習支援

講義科目名称： 医療事務Ⅲ　　授業コード： J507

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年次	2単位(60)	医療事務Ⅲ
担当教員			
清水　春代・松本　咲子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 病院勤務に必要な医療保険制度の知識及び医療事務資格の「医療事務管理士」取得に足る知識の習得。 【到達目標】 診療報酬算定の根拠である、「診療報酬点数表」を引きこなすことができる。 カルテを読み、診療内容を点数算定することができる。 レセプト（診療報酬明細書）を作成することができる。 診療報酬請求の仕組みが理解できる。 自主的な調べ学習で、問題解決をすることができる。
授業の概要	医療事務の仕事は、①医療機関に於ける受付、会計などの患者接遇業務、②入院受付や入院会計、退院手続きなどの病棟管理業務、③医師、看護師などの事務的サポートを行う秘書業務、④診療費の患者負担分以外を請求するレセプト業務。⑤オペレーション業務、統計資料作成などの医事ＯＡ、情報管理業務などがある。本授業は、これらに必要な基本的知識を学び、カルテを読み、診療内容の点数算定とレセプトの作成と請求方法の基礎を学ぶ。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	◎
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	○

授業計画	第１回	オリエンテーション、医科・歯科医療事務の仕事、診療報酬請求事務。 【key words】 保険診療、レセプト 【授業概要】 授業の目的、目標、履修上の注意、評価方法。医事課の仕事。診療報酬請求事務の定義 【教科書ページ・参考文献】 テキスト1 P37~68 テキスト2 P6~7 【課題・予習・復習・授業準備指示】 医療事務Ⅰ・Ⅱの保険診療の復習をすること。 【予習復習に必要な想定時間】 復習1時間
	第２回	レセプトの基礎知識、上書の書き方。 【key words】 レセプト、月極請求、一患者一枚、上書き、点数欄、摘要欄、コード欄、療養の給付欄 【授業概要】 レセプトの種類、作成のルール、記入上の注意点、レセプト各部の役割、上書きの書き方 【教科書ページ・参考文献】 テキスト2 P8~21、トレーニングブック 【課題・予習・復習・授業準備指示】 トレーニングブックで上書きの練習 【予習復習に必要な想定時間】 復習1時間
	第３回	初診料の算定とレセプトの書き方。 【key words】 初診料、時間外加算、複数科初診 【授業概要】 トレーニングブックを使用して初診料の算定とレセプトの書き方を実践的に学ぶ 【教科書ページ・参考文献】 テキスト2 P35~36、トレーニングブック 【課題・予習・復習・授業準備指示】

トレーニングブックで初診料を算定し、レセプト記載練習】
【予習復習に必要な想定時間】
復習1時間

第４回　再診料、外来診療料の算定とレセプトの書き方
【key words】
再診料、外来診療科、外来管理加算、時間外加算、複数科再診

【授業概要】
トレーニングブックを使用して、再診料、外来診療科の算定とレセプトの書き方を実践的に学ぶ。

【教科書ページ・参考文献】
テキスト2 P45~46 トレーニングブック

【課題・予習・復習・授業準備指示】
トレーニングブックで再診料、外来診療科を算定し、レセプトの作成練習
【予習復習に必要な想定時間】
復習1時間

第５回　医学管理等（特定疾患療養管理料）の算定とレセプトの書き方
【key words】
特定疾患療養管理料

【授業概要】
トレーニングブックを使用して、特定疾患療養管理料の算定とレセプトの書き方を実践的に学ぶ

【教科書ページ・参考文献】
テキスト2 p59 トレーニングブック

【課題・予習・復習・授業準備指示】
トレーニングブックのキーワードを探して特定疾患療養管理料を算定し、レセプトの作成練習
【予習復習に必要な想定時間】
復習1時間

第６回　医学管理等（特定疾患治療管理料、その他の医学管理等、情報提供料）の算定とレセプトの書き方
【key words】
特定薬剤治療管理料、悪性腫瘍特異物質治療管理料、診療情報提供料、薬剤情報提供料

【授業概要】
トレーニングブックのキーワードを探して特定疾患治療管理料、その他の医学管理料、情報提供料等を算定し、レセプトの書き方を実践的に学ぶ

【教科書ページ・参考文献】
テキスト2 p59~60 トレーニングブック

【課題・予習・復習・授業準備指示】
トレーニングブックのキーワードを探して特定疾患治療管理料を算定し、レセプトの作成練習
【予習復習に必要な想定時間】
復習1時間

第７回　在宅医療（在宅患者診療・指導料例えば往診料）の算定とレセプトの書き方
【key words】
往診料、訪問診療料、訪問看護指導料

【授業概要】
トレーニングブックを使用して往診料、訪問診療料、訪問看護指導料などの算定とレセプトの書き方を実践的に学ぶ
。
【教科書ページ・参考文献】
テキスト2 p75~76 トレーニングブック3号

【課題・予習・復習・授業準備指示】
往診料と訪問診療料の相違点を整理しておくこと。
【予習復習に必要な想定時間】
復習1時間

第８回　在宅医療（在宅療養指導管理料、例えば在宅自己注射指導管理料等）の算定とレセプトの書き方
【key words】
在宅自己注射指導管理料

【授業概要】
在宅自己注射指導管理料の算定とレセプトの書き方を実践的に学ぶ

【教科書ページ・参考文献】
テキスト2 p76~77 トレーニングブック8号
【課題・予習・復習・授業準備指示】
在宅自己注射指導管理料材料加算について整理しておくこと。
【予習復習に必要な想定時間】
復習1時間

第９回　投薬（院内処方）の算定とレセプトの書き方
【key words】
内服薬、頓服薬、外用薬、調剤料、処方料、加算

【授業概要】
トレーニングブックのカルテのRpの表記の部分から、投薬の種類を読み取り、算定とレセプトの

書き方を実践的に学ぶ。

【教科書ページ・参考文献】
テキスト2 p105~109 トレーニングブック1~3号

【課題・予習・復習・授業準備指示】
トレーニングブックの残り
【予習復習に必要な想定時間】
復習1時間

第１０回　投薬（院外処方）の算定とレセプトの書き方）
【key words】
処方箋料

【授業概要】
カルテ上の「処方箋交付」は、院外処方を表している。トレーニングブックを使用して院外処方の算定とレセプトの書き方を実践的に学ぶ
【教科書ページ・参考文献】
テキスト2 p109 トレーニングブック4号

【課題・予習・復習・授業準備指示】
実技レポート第1号（次回提出）
【予習復習に必要な想定時間】
復習1時間

第１１回　主な注射料の算定とレセプトの書き方
【key words】
皮下・筋肉内注射、静脈内注射、点滴注射、関節腔内注射

【授業概要】
注射の略語（inj,im,iv,DIV,IVH)などの記載からｔｙｙ社の種類を判断し、算定とレセプトの書き方を実践的に学ぶ

【教科書ページ・参考文献】
テキスト2 p132~134　トレーニングブック5~8号

【課題・予習・復習・授業準備指示】
トレーニングブックの残り
【予習復習に必要な想定時間】
復習1時間

第１２回　特殊な場合の注射料の算定とレセプトの書き方
【key words】
薬剤を一本未満使用、Aq使用、点滴注射1日2回
【授業概要】
トレーニングブックを使用して、特殊な場合の注射料の算定とレセプトの書き方を実践的に学ぶ

【教科書ページ・参考文献】
テキスト2 p132~134 トレーニングブック5~8号

【課題・予習・復習・授業準備指示】
実技レポート2号レセプト作成（次回提出）
【予習復習に必要な想定時間】
復習1時間

第１３回　主な処置料の算定とレセプトの書き方
【key words】
創傷処置、人工呼吸、酸素吸入、留置カテーテル設置、対称器官の処置、年齢加算を算定する場合など。

【授業概要】
トレーニングブックを使用して処置料の算定とレセプトの書き方を実践的に学ぶ

【教科書ページ・参考文献】
テキスト2 p162~165 トレーニングブック９～１３号

【課題・予習・復習・授業準備指示】
実技レポート3号のレセプト作成（次回提出）
【予習復習に必要な想定時間】
復習1時間

第１４回　ギプス料の算定とレセプトの書き方
【key words】
ギプス包帯、ギプスシャーレ、ギプス除去、プラスチックギプス

【授業概要】
トレーニングブックを使用してギプス料の算定とレセプトの書き方を実践的に学ぶ

【教科書ページ・参考文献】
テキスト2 p165 トレーニングブック38号

【課題・予習・復習・授業準備指示】
トレーニングブック13号までのレセプト作成を進めておくこと。
【予習復習に必要な想定時間】
復習1時間

第１５回　リハビリテーション料の算定とレセプトの書き方
【key words】

運動器リハビリテーション料、脳血管疾患リハビリテーション料、心大血管リハビリテーション料、呼吸器リハビリテーション料

【授業概要】
トレーニングブックを使用してリハビリテーション料の算定とレセプトの書き方を実践的に学ぶ

【教科書ページ・参考文献】
テキスト2 p174 トレーニングブック12号

【課題・予習・復習・授業準備指示】
トレーニングブック13号までのレセプト作成
【予習復習に必要な想定時間】
復習1時間

第１６回　各検体検査料の算定とレセプトの書き方
【key words】
同一検体、同一区分、まるめ算定、外迅検、緊検、検体採取料

【授業概要】
トレーニングブックを使用して検体検査料の算定とレセプトの書き方を実践的に学ぶ

【教科書ページ・参考文献】
テキスト3 p39~41 トレーニングブック14~15号

【課題・予習・復習・授業準備指示】
実技レポート４号レセプト作成（次回提出）
【予習復習に必要な想定時間】
復習1時間

第１７回　各生体検査料の算定とレセプトの書き方
【key words】
逓減算定、乳幼児加算、対称器官、循環機能検査、超音波検査、負荷試験

【授業概要】
トレーニングブックを使用して生体検査料の算定とレセプトの書き方を実践的に学ぶ

【教科書ページ・参考文献】
テキスト3 p41~42 トレーニングブック16~18号

【課題・予習・復習・授業準備指示】
実技レポート5号のレセプト作成（次回提出）
【予習復習に必要な想定時間】
復習1時間

第１８回　病理診断の算定とレセプトの書き方
【key words】
病理標本作製料、病理診断管理加算、採取料を伴う場合、他の検査と同時の病理診断料

【授業概要】
病理診断は、検査や手術に伴って行われることが多い。算定とレセプトの書き方を実践的に学ぶ

【教科書ページ・参考文献】
テキスト3 p49~50 トレーニングブック29号

【課題・予習・復習・授業準備指示】
トレーニングブック18号までのレセプト作成を進めておくこと。
【予習復習に必要な想定時間】
復習1時間

第１９回　各手術料の算定とレセプトの書き方
【key words】
同一皮切、主たる手術、従たる手術、手術医療機器加算、対称器官の手術、創傷処理、骨折非観血的手術

【授業概要】
手術料の算定は、算定上のルールを理解し、それを応用することが求められる。算定とレセプトの書き方を実践的に学ぶ

【教科書ページ・参考文献】
テキスト3 p70~72 トレーニングブック１９～２２号

【課題・予習・復習・授業準備指示】
トレーニングブックの残り
【予習復習に必要な想定時間】
復習1時間

第２０回　各輸血料の算定とレセプトの書き方
【key words】
保存血液輸血、輸血管理料

【授業概要】
トレーニングブックを使用して輸血料の算定とレセプトの書き方を実践的に学ぶ

【教科書ページ・参考文献】
テキスト3 p72 トレーニングブック36号

【課題・予習・復習・授業準備指示】
実技レポート6号のレセプト作成（次回提出）

【予習復習に必要な想定時間】
復習1時間

第２１回　主な麻酔料の算定とレセプトの書き方

【key words】
閉鎖循環式全身麻酔、麻酔管理料、静脈麻酔、閉鎖循環式全身麻酔と硬膜外麻酔、神経ブロック

【授業概要】
トレーニングブックを使用して麻酔料の算定とレセプトの書き方を実践的に学ぶ

【教科書ページ・参考文献】
テキスト3 p86~87 トレーニングブック19~22号

【課題・予習・復習・授業準備指示】
トレーニングブックの残り
【予習復習に必要な想定時間】
復習1時間

第２２回　エックス線診断料の算定とレセプトの書き方

【key words】
単純撮影、造影剤使用撮影、特殊撮影、乳房撮影、読影、二方向撮影、対称部位、二法併施、電子画像管理加算、緊画

【授業概要】
トレーニングブックを使用して、エックス線撮影の算定とレセプトの書き方を実践的に学ぶ

【教科書ページ・参考文献】
【教科書ページ・参考文献】テキスト3 p112~115 トレーニングブック23~25号

【課題・予習・復習・授業準備指示】
【課題・予習・復習・授業準備】トレーニングブックの残り
【予習復習に必要な想定時間】
復習1時間

第２３回　核医学診断料、コンピューター断層撮影診断料の算定とレセプトの書き方

【key words】
コンピューター断層撮影診断料、同一月にＣＴ撮影とMRI撮影、核医学撮影診断料

【授業概要】
トレーニングブックを使用してコンピューター断層撮影診断料、核医学撮影診断料の算定とレセプトの書き方を実践的に学ぶ

【教科書ページ・参考文献】
テキスト3 p115~116 トレーニングブック31~33号

【課題・予習・復習・授業準備指示】
実技レポート7号のレセプト作成（次回提出）
【予習復習に必要な想定時間】
復習1時間

第２４回　精神科専門療法、放射線治療の算定とレセプトの書き方

【key words】
通院・在宅精神療法、心身医学療法、放射線治療料、放射線治療管理料

【授業概要】
トレーニングブックを使用して精神科専門療法、放射線治療料の算定とレセプトの書き方を実践的に学ぶ

【教科書ページ・参考文献】
テキスト3 p124~126 トレーニングブック32~33号

【課題・予習・復習・授業準備指示】
トレーニングブックの残り
【予習復習に必要な想定時間】
復習1時間

第２５回　一般病棟入院基本料、入院基本料等加算の算定とレセプトの書き方。

【key words】
起算日、初期加算、緊入、入院基本料、入院基本料等加算

【授業概要】
ベッドを整えたり、看護などの費用を入院料という。その他の治療行為はこれまでの学習通りに算定する。トレーニングブックを使用して、入院料の算定とレセプトの書き方を実践的に学ぶ

【教科書ページ・参考文献】
テキスト3 p145~147 トレーニングブック34~43号

【課題・予習・復習・授業準備指示】
実技レポート8号のレセプト作成（食事以外）
【予習復習に必要な想定時間】
復習1時間

第２６回　入院時食事療養費の算定とレセプトの書き方

【key words】
入院時食事療養費、基準食、特別食加算、食堂加算、標準負担金

【授業概要】
入院時食事療養費は、1日3回を限度として、食べた回数だけ算定する。トレーニングブックを使用

	して入院時食事療養費の算定とレセプトの書き方を実践的に学ぶ 【教科書ページ・参考文献】 テキスト3 p148 トレーニングブック34~43号 【課題・予習・復習・授業準備指示】 実技レポート8号のレセプト作成（次回提出） 【予習復習に必要な想定時間】 復習1時間 第２７回　外泊、再入院の場合のレセプトの書き方 【key words】 外泊、再入院 【授業概要】 入院中の患者が24時間在院しない日を「外泊」という。退院後、同じ病気で3か月以内に、同じ病院に入院することを「再入院」という。トレーニングブックを使用して外泊、再入院を含めた入院料の算定とレセプトの書き方を総合的、実践的に学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 テキスト3 p145~147 トレーニングブック39~40号 【課題・予習・復習・授業準備指示】 実技レポート9のレセプト作成（次回提出） 【予習復習に必要な想定時間】 復習1時間 第２８回　点検（外来） 【key words】 レセプト、事務的点検、内容点検 【授業概要】 レセプトは、医療機関の収入に直結する書類である。不備なレセプトに対しては保険者からの支払いが行われない為、損失を未然に防ぐため、作成したレセプトは必ず点検が必要である。外来レセプトの点検のポイントを学ぶ 【教科書ページ・参考文献】 テキスト3 p160~161 トレーニングブック48~50号 【課題・予習・復習・授業準備指示】 トレーニングブック残り 【予習復習に必要な想定時間】 復習1時間 第２９回　点検（入院） 【key words】 レセプト、事務的点検、内容点検 【授業概要】 レセプトは、医療機関の収入に直結する書類である。不備なレセプトに対しては保険者からの支払いが行われない為、損失を未然に防ぐ為、作成したレセプトの点検は必須である。入院レセプトの点検ポイントを学ぶ 【教科書ページ・参考文献】 テキスト3 p160~161 トレーニングブック４８～５０号 【課題・予習・復習・授業準備指示】 トレーニングブック残り 【予習復習に必要な想定時間】 復習1時間 第３０回　模擬試験 【key words】 模擬試験 【授業概要】 模擬試験、解答解説と弱点補強 【教科書ページ・参考文献】 テキスト一式、点数表 【課題・予習・復習・授業準備指示】 試験問題復習 【予習復習に必要な想定時間】 復習2時間
受講生に関わる情報および受講のルール	教材、筆記用具は毎回持参すること。レセプト用紙等足りない時は予めコピーをして準備しておくこと。レポート等、提出物の提出期限を過ぎたものはうけつけないので、提出期限は必ず守ること。授業終了時に配布する予習問題を解いて、授業に臨むこと。時々小テストを行う。授業中の携帯電話の操作は禁止。私語は慎むこと。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	カルテ集は残さずレセプト化すること。2回位はするほうがよい。

オフィスアワー	月曜日、木曜日　10:00～11:30、相談により随時
評価方法	定期試験　70%、課題等　30%、
教科書	医科テキスト1～3、医科トレーニング、医科サポートブック、医科レポート集、診療報酬明細書、（ソラスト）、医科診療報酬点数表（医学通信社）
参考書	医科試験問題集（ソラスト）、印刷資料など
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 20年以上の病院業務、レセプト請求業務、社会人教育業務などの経験を活かし、より実践的な知識や考え方の伝達方など、社会で活躍し、貢献できる人材教育をめざす。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等) □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等) □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等) ■情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 ■その他 その他の具体的内容 ICT教材活用による自主的学習支援

講義科目名称： 医療事務Ⅳ　　授業コード： J510

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	2単位(60)	医療事務Ⅳ
担当教員			
清水　春代・松本　咲子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 病院勤務に必要な医療保険制度の知識及び医療事務資格の「医療事務管理士」取得に足る知識の習得。 【到達目標】 診療報酬算定の根拠である、「診療報酬点数表」を引きこなすことができる。 カルテを読み、診療内容を点数算定することができる。 レセプト（診療報酬明細書）を作成することができる。 診療報酬請求の仕組みが理解できる。 自主的な調べ学習で、問題解決をすることができる。
授業の概要	医療事務の仕事は、①医療機関に於ける受付、会計などの患者接遇業務、②入院受付や入院会計、退院手続きなどの病棟管理業務、③医師、看護師などの事務的サポートを行う秘書業務、④診療費の患者負担分以外を請求するレセプト業務。⑤オペレーション業務、統計資料作成などの医事ＯＡ、情報管理業務などがある。本授業は、これらに必要な基本的知識を学び、カルテを読み、診療内容の点数算定とレセプトの作成に習熟する。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	◎

授業計画	第１回	オリエンテーション、調剤薬局での事務の仕事、調剤薬局の請求事務、上書きの書き方 【key words】 保険診療、保険調剤、レセプト保険証、患者情報、上書き 【授業概要】 【授業概要】授業の目的、目標、履修上の注意点、評価方法。保険医療機関と保険薬局上書きは保険証、カルテ、レセプトで一致していなければならない。返戻対象の項目である。トレーニングブックを使用して上書きの書き方に習熟する。 【教科書ページ・参考文献】 【教科書ページ・参考文献】テキスト1 p54~58 テキスト2 p8~21,トレーニングブック 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【課題・予習・復習・授業準備】医療事務Ｉの保険診療の復習、トレーニングブックで上書きの復習 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第２回	診察料 【key words】 診療録、初診料、再診料、外来診療科、診療録、初診料、再診料、外来診療科 【授業概要】 トレーニングブックのカルテから診察料（初診料、再診）を見分け、レセプト作成に習熟する。 トレーニングブックを使用して初診料、再診料、外来診療科のレセプト作成に習熟する。 【教科書ページ・参考文献】 テキスト2 p35~46 トレーニングブック、問題集 【課題・予習・復習・授業準備指示】 トレーニングブック、問題集は自主的に進めておくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第３回	医学管理 【key words】 特定疾患療養管理料、特定疾患治療管理料、その他の医学管理、情報提供料、特定疾患治療管理料、その他の医学管理、情報提供料

【授業概要】
トレーニングブックを使用して医学管理の算定とレセプト作成に習熟する。
トレーニングブックを使用して、カルテのキーワードをより、医学管理の算定とレセプト作成に習熟する。

【教科書ページ・参考文献】
【教科書ページ・参考文献】テキスト2 p59~60　トレーニングブック、点数表、問題集
【課題・予習・復習・授業準備指示】
トレーニングブック、問題集は自主的に進めておくこと。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第４回　在宅医療

【key words】
往診料、在宅患者訪問診療料、在宅患者訪問看護指導料、在宅自己注射指導管理料、その他の在宅療養指導管理料

【授業概要】
トレーニングブックを使用して往診料、訪問診療料、訪問看護指導料を算定の算定とレセプト作成に習熟する。トレーニングブックを使用して在宅自己注射指導管理料、その他の在宅療養指導管理料の算定とレセプト作成に習熟する。

【教科書ページ・参考文献】
【教科書ページ・参考文献】テキスト2 p75~76,トレーニングブック3号
テキスト2 p175~77　トレーニングブック、点数表、問題集

【課題・予習・復習・授業準備指示】
トレーニングブック、問題集は自主的に進めておくこと
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第５回　投薬

【key words】
院内処方、内服薬、頓服薬、外用薬、調剤料、処方料、加算
院外処方、処方箋料、ビタミン剤の算定

【授業概要】
トレーニングブックを使用して院内処方における外来と入院の算定の違いなどを学び、レセプト作成に習熟する。トレーニングブックを使用して、院外処方の算定とビタミン剤を算定する場合の留意点などを学び、レセプト作成に習熟する。

【教科書ページ・参考文献】
テキスト2 p105~109 トレーニングブック1~4号、問題集

【課題・予習・復習・授業準備指示】
トレーニングブック、問題集は自主的に進めておくこと
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第６回　注射

【key words】
皮下・筋肉内注射、静脈内注射、点滴注射、関節腔内注射、注射薬一本未満使用、Aq使用、点滴注射1日2回、ビタミン剤

【授業概要】
トレーニングブックを使用カルテから、注射の種類を判断し、算定とレセプト作成に習熟する。
トレーニングブックを使用して特殊な場合の算定とレセプト作成に習熟する。

【教科書ページ・参考文献】
テキスト2 p132~134 トレーニングブック5~8号、問題集

【課題・予習・復習・授業準備指示】
トレーニングブック、問題集は自主的に進めておくこと
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第７回　処置、リハビリテーション

【key words】
創傷処置、人工呼吸、酸素吸入、留置カテーテル設置、対称器官の処置、年齢加算場合、ギプス、対称器官、特定保険医療材料料、ギプスの種類、疾患別リハビリテーション、整形外科的処置
【授業概要】
トレーニングブックを使用して処置料の算定とレセプト作成に習熟する。
トレーニングブックを使用してギプス料の算定とレセプト作成に習熟する。
トレーニングブックを使用して整形外科的処置とリハビリテーション料の算定とレセプト作成に習熟する。

【教科書ページ・参考文献】
テキスト2 p162~174 トレーニングブック9~13号、36号、点数表、問題集

【課題・予習・復習・授業準備指示】
トレーニングブック、問題集は自主的に進めておくこと
【予習復習に必要な想定時間】
30分

	第８回	検査 【key words】 検体検査、同一検体、同一区分、まるめ算定、外迅検、緊検、検体採取料 生体検査、逓減算定、対称器官、呼吸循環機能検査、超音波検査、眼科学的検査、負荷試験 【授業概要】 トレーニングブックを使用して各検体検査の算定とレセプト作成に習熟する。 各生体検査の算定、摘要欄にコメントが必要な場合、同一月に入院と外来がある場合の同一区分の判断料等のレセプト作成に習熟する。 【教科書ページ・参考文献】 テキスト3 p39~42 トレーニングブック14~18号、点数表、問題集 【課題・予習・復習・授業準備指示】 トレーニングブック、問題集は自主的に進めておくこと 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第９回	病理診断、手術 【key words】 病理標本作製料、病理診断管理加算、検査と同時の病理診断、同一皮切、主たる手術、従たる手術、手術医療機器加算、対称器官の手術、創傷処理、骨折観血的手術等、保存血液輸血、輸血管理料 【授業概要】 病理診断は、検査や手術に伴って行われることが多い。トレーニングブックを使用して算定とレセプト作成に習熟する。手術料の算定とレセプトの書き方の具体例をカルテより読み取り、レセプト作成に習熟する。同一皮切に複数の手術の算定は、特に重要である。輸血料の算定とレセプト作成に習熟する 【教科書ページ・参考文献】 テキスト3 p49~72 トレーニングブック19~22,36号、点数表、問題集 【課題・予習・復習・授業準備指示】 トレーニングブック、問題集は自主的に進めておくこと 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第１０回	麻酔、画像診断 【key words】 閉鎖循環式全身麻酔、麻酔管理料、静脈麻酔、閉鎖循環式全身麻酔と硬膜外麻酔の併施、神経ブロック、単純撮影、造影剤使用撮影、特殊撮影、乳房撮影、読影、対称部位、二法併施、電子画像管理加算、緊画 【授業概要】 麻酔は手術に先立って行われることが多い。トレーニングブックを使用して算定とレセプト作成に習熟する。 エックス線診断についてトレーニングブックを使用して算定とレセプトの書き方の具体例をカルテより読み取り、レセプト作成に習熟する。 【教科書ページ・参考文献】 テキスト3 p86~115 トレーニングブック19~30号、点数表、問題集 【課題・予習・復習・授業準備指示】 トレーニングブック、問題集は自主的に進めておくこと 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第１１回	画像診断（核医学診断料、コンピューター断層撮影診断料）精神科専門療法、放射線治療 【key words】 コンピューター断層撮影診断料、、核医学撮影診断料、同一月にＣＴ撮影とMRI撮影併施 通院・在宅精神療法、心身医学療法、放射線治療料、放射線治療管理料 【授業概要】 トレーニングブックを使用してCT撮影、MRI撮影の算定とレセプト作成に習熟する。 通院・在宅精神療法、心身医学療法、放射線治療管理料、放射線治療料のレセプト作成に習熟する。 【教科書ページ・参考文献】 テキスト3 p115~126 トレーニングブック31^33号、点数表、問題集 【課題・予習・復習・授業準備指示】 トレーニングブック、問題集は自主的に進めておくこと 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第１２回	入院料、入院時食事療養費 【key words】 一般病棟入院基本料、、入院基本料加算、起算日、初期加算、外泊、再入院、 入院時食事療養費、基準食、特別食加算、食堂加算、標準負担金

【授業概要】
カルテの施設基準より、入院基本料、入院基本料等加算を読み取り、算定とレセプト作成に習熟する。
トレーニングブックを使用して外泊、再入院の算定とレセプト作成に習熟する。
トレーニングブックを使用して入院時食事療養費の算定とレセプト作成に習熟する。

【教科書ページ・参考文献】
テキスト3 p127~147 トレーニングブック34~40号、点数表、問題集
【課題・予習・復習・授業準備指示】
トレーニングブック、問題集は自主的に進めておくこと
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第１３回　点検
【key words】
レセプト、事務的点検、内容点検

【授業概要】
レセプト点検は総合的な知識が必要であるが、ポイントを押さえることで要領がわかり、効率よく点検を行うことができる。レセプト点検（外来）（入院）のポイントを習熟する。
【教科書ページ・参考文献】
テキスト3 p152~161 トレーニングブック44~50号、点数表、問題集
【課題・予習・復習・授業準備指示】
トレーニングブック、問題集は自主的に進めておくこと
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第１４回　模擬試験
【key words】
模擬試験（学科）

【授業概要】
総復習、弱点補強と認定試験対策としての模擬試験
【教科書ページ・参考文献】
テキスト関連ページ、点数表
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業で仕上がらない部分は宿題
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第１５回　模擬試験
【key words】
解答解説（学科）

【授業概要】
間違い部分の検証と再復習
【教科書ページ・参考文献】
テキスト関連ページ、点数表
【課題・予習・復習・授業準備指示】
トレーニングブック、問題集は自主的に進めておくこと
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第１６回　模擬試験
【key words】
模擬試験（実技）（外来）
【授業概要】
総復習、弱点補強と認定試験対策としての模擬試験
【教科書ページ・参考文献】
テキスト関連ページ、点数表
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業で仕上がらない部分は宿題
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第１７回　模擬試験
【key words】
模擬試験（実技）（入院）
【授業概要】
総復習、弱点補強と認定試験対策としての模擬試験
【教科書ページ・参考文献】
テキスト関連ページ、点数表
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業で仕上がらない部分は宿題
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第１８回　模擬試験
【key words】
解答解説（実技）

【授業概要】
間違い部分の検証と再復習
認定試験受験上の注意点
【教科書ページ・参考文献】
テキスト関連ページ、点数表
【課題・予習・復習・授業準備指示】

		間違い部分の検証と再復習 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第１９回	認定試験の復習（学科） 【key words】 振り返り、弱点補強、自己採点 【授業概要】 認定試験の復習と自己採点を通して、弱点を探し、今後の学習計画をたてる。 【教科書ページ・参考文献】 テキスト一式、 トレーニングブック44^50号、点数表、問題集 【課題・予習・復習・授業準備指示】 学習計画の残りを仕上げる 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第２０回	認定試験の復習（実技） 【key words】 振り返り、弱点補強、自己採点 【授業概要】 認定試験の復習と自己採点を通して、弱点を探し、今後の学習計画をたてる 【教科書ページ・参考文献】 テキスト一式、 トレーニングブック44^50号、点数表、問題集 【課題・予習・復習・授業準備指示】 学習計画の残りを仕上げる 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第２１回	診療点数表に精通しよう 【key words】 点数表の見方、通則、点数、注、通知、発簡番号 【授業概要】 医療事務において、点数算定の根拠は診療点数表です。複雑な治療などの点数算定も、点数表が理解できることで、確実に算定できます。点数表とお友達になるために、点数表の構造や、正しい引き方を再度確認し、スムーズに点数表がひけるようにしましょう。 【教科書ページ・参考文献】 診療点数表 【課題・予習・復習・授業準備指示】 点数表にインデックスを付けること 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第２２回	診療点数表に精通しよう 【key words】 初再診、入院基本料、入院加算、特定入院、医学管理、在宅、検査 【授業概要】 クイズを作ろう！各項目ごとに、グループで、点数表を利用してクイズ作成とクイズ大会 グループごとに解答解説 【教科書ページ・参考文献】 点数表　1章1部～2章3部 【課題・予習・復習・授業準備指示】 本日の復習 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第２３回	診療点数表に精通しよう 【key words】 画像診断、投薬、注射、リハビリテーション、精神 【授業概要】 クイズを作ろう！各項目ごとに、グループで、点数表を利用してクイズ作成とクイズ大会 グループごとに解答解説 【教科書ページ・参考文献】 点数表　2章4部～2章8部 【課題・予習・復習・授業準備指示】 本日の復習 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第２４回	診療点数表に精通しよう 【key words】 処置、手術、麻酔、放射線治療、病理診断 【授業概要】 クイズを作ろう！各項目ごとに、グループで、点数表を利用してクイズ作成とクイズ大会 グループごとに解答解説 【教科書ページ・参考文献】 点数表　2章9部～2章13部 【課題・予習・復習・授業準備指示】 本日の復習 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第２５回	療養担当規則 【key words】 療養担当規則 【授業概要】 医療機関勤務者が守らなければならない規則である療養担当規則は、違反すると罰せられます。 療養担当規則をじっくりと読み、理解する。 【教科書ページ・参考文献】

	点数表　2編　告示8 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業で残った部分を熟読し、不明点を明らかにしておくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 30分 第２６回　論文を読もう 【key words】 医療事務職に求められる資質 【授業概要】 論文を読み、グループ討論とグループ発表 【教科書ページ・参考文献】 論文とテーマは、授業時に提示 【課題・予習・復習・授業準備指示】 本日の内容をレポートにする。（次回提出） 【予習復習に必要な想定時間】 1時間 第２７回　症例研究 【key words】 施設基準、患者の状態、カルテ、会計、レセプト 【授業概要】 自らが医療機関の経営者であることを想定し、カルテを作り、算定、レセプト作成まで行う。 【教科書ページ・参考文献】 テキスト一式、点数表、病気・診療完全解説ブック（医学通信社）、病気がみえる本等各自 【課題・予習・復習・授業準備指示】 各自 【予習復習に必要な想定時間】 各自 第２８回　症例研究 【key words】 施設基準、患者の状態、カルテ、会計、レセプト 【授業概要】 自らが医療機関の経営者であることを想定し、カルテを作り、算定、レセプト作成まで行う。 【教科書ページ・参考文献】 テキスト一式、点数表、病気・診療完全解説ブック（医学通信社）、病気がみえる本等各自 【課題・予習・復習・授業準備指示】 各自 【予習復習に必要な想定時間】 各自 第２９回　症例研究 【key words】 施設基準、患者の状態、カルテ、会計、レセプト 【授業概要】 グループ発表と講評 【教科書ページ・参考文献】 発表資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 本日の発表の講評と感想（次回提出） 【予習復習に必要な想定時間】 各自 第３０回　多職種連携医療 【key words】 多職種連携医療、チーム医療における医療事務職の役割 【授業概要】 授業で学んだことを振り返り、多職種連携医療の意義を考え、その中での事務職員の役割、義務などを考える。グループ討論 【教科書ページ・参考文献】 各自 【課題・予習・復習・授業準備指示】 討論の報告書作成 【予習復習に必要な想定時間】 各自
受講生に関わる情報および受講のルール	教材、筆記用具は毎回持参すること。レセプト用紙等足りない時は予めコピーをして準備しておくこと。レポート等、提出物の提出期限を過ぎたものはうけつけないので、提出期限は必ず守ること。項目ごとに、前期の復習をして授業に臨むこと。授業中の携帯電話の操作は禁止。私語は慎むこと。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	カルテ集は残さずレセプト化すること。2回を目標とする。
オフィスアワー	月曜日、木曜日　10:00～11:30、相談により随時
評価方法	定期試験　70%、課題等　30%、
教科書	医科テキスト1～3、医科トレーニング、医科サポートブック、医科レポート集、診療報酬明細書、（ソラスト）、医科診療報酬点数表（医学通信社）
参考書	医科試験問題集（ソラスト）、印刷資料など
実務者経験/アクティブラーニング/	授業担当教員

リテラシー教育	■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 20年以上の病院受付業務、診療報酬請求業務、人材教育業務等の経験を活かし、医療機関で求められている基本的考え方や能力を実践的に養い、社会で活躍できる人材教育に貢献します。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等) □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等) □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等) ■情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 ■その他 その他の具体的内容 ICT教材を利用する自主学習支援

講義科目名称：　医療情報処理学　　授業コード：J546

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年次	2単位(30)	医療事務・秘書コース・必修
担当教員			
桐生　孝史			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	①医療秘書の目的（業務）を理解し、医療秘書の役割、意義を理解できる。 ②医療秘書に必要な情報（カルテ、レセプトなど）が理解できる。 ③紙カルテ、電子カルテの運用の基礎が理解できる。
授業の概要	医療機関で使用するカルテやレセプトの基本を学ぶ。また、この科目では医療機関で使用されているレセプトコンピュータの運用についても学ぶ。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	◎
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	

授業計画	第１回　オリエンテーション 第２回　医療秘書の意義と役割 第３回　医療情報とは①　医療の情報とその活用 第４回　医療情報とは②　診療報酬（DPC） 第５回　医療情報とは③　診療報酬（出来高払い） 第６回　診療録（カルテ）と診療報酬明細書（レセプト）（１）　診療録（カルテ）①　カルテとは 第７回　診療録（カルテ）と診療報酬明細書（レセプト）（１）　診療録（カルテ）②　特定生物由来製品の使用記録保存期間 第８回　診療録（カルテ）と診療報酬明細書（レセプト）（１）　診療録（カルテ）③　紙カルテと電子カルテ 第９回　診療録（カルテ）と診療報酬明細書（レセプト）（２）　診療報酬明細書（レセプト）①　レセプトの流れと診療報酬 第１０回　診療録（カルテ）と診療報酬明細書（レセプト）（２）　診療報酬明細書（レセプト）②　レセプトコンピュータの機能 第１１回　診療録（カルテ）と診療報酬明細書（レセプト）（２）　診療報酬明細書（レセプト）③　電子カルテとその運用 第１２回　診療録（カルテ）と診療報酬明細書（レセプト）（２）　診療報酬明細書（レセプト）④　診療所の電子カルテに必要な機能 第１３回　診療録（カルテ）と診療報酬明細書（レセプト）（２）　診療報酬明細書（レセプト）⑤　紙カルテとその運用 第１４回　診断書　紹介状 第１５回　まとめ

受講生に関わる情報および受講のルール	受講上のルールとして、私語は禁止とする。私語は相手、周囲の者に対しての迷惑行為である。厳に慎むことを自覚して授業に主体的に参加すること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	ICT利用（WEBフォームやメールなど）
授業外時間にかかわる情報	授業時に指示する。
オフィスアワー	授業終了後30分。
評価方法	定期試験100％
教科書	医療秘書講座4「医療秘書概論　医療情報処理学　医療関係法規」メヂカルフレンド社
参考書	必要に応じて印刷資料を配布
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称：　医療情報処理演習Ⅰ　　授業コード：J550

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	1単位(30)	医療事務・秘書コース・必修
担当教員			
桐生　孝史			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	①医療秘書に求められる診療録の記録ができる。 ②医療秘書に求められる診療録の管理ができる。 ③電子カルテの運用の基礎が理解できる。
授業の概要	日医標準レセプトソフト（ORCA）を用いて診療録の記録や管理業務の演習。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	◎
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	

授業計画	第１回　　オリエンテーション 第２回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　１ 第３回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　２ 第４回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　３ 第５回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　４ 第６回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　５ 第７回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　６ 第８回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　７ 第９回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　８ 第１０回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　９ 第１１回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　１０ 第１２回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　１１ 第１３回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　１２ 第１４回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　１３ 第１５回　　まとめ
受講生に関わる情報および受講のルール	受講上のルールとして、私語は禁止とする。私語は相手、周囲の者に対しての迷惑行為である。厳に慎むことを自覚して授業に主体的に参加すること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	ICT利用（WEBフォームやメールなど）
授業外時間にかかわる情報	授業時に指示する。

オフィスアワー	授業終了後30分。
評価方法	定期試験100％
教科書	必要な資料を授業時に配布。
参考書	必要な資料を授業時に配布。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称：　医療倫理　　授業コード：J568

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年次	2単位(30)	医療事務・秘書コース
担当教員			
服部　徳昭　他（医師会）			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 【到達目標】 医療倫理の観点からの医療秘書の役割を理解し、医療のさまざまな現場の倫理に関する基礎的知識を習得する学習とする。
授業の概要	医療機関で診察、治療を受けている人を患者という。この科目では、医療のさまざまな現場での患者やその家族に対する医療関連職の持つべき倫理観を学ぶ。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	◎
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	

授業計画	第１回　　オリエンテーション：患者とは　病気と医療の歴史 第２回　　患者の心理　患者の権利　患者とその家族の生活 第３回　　ライフステージと患者像　患者と医療者の関係 第４回　　セルフケアとメディカルケア 第５回　　治療・ケアの場の違いによる患者像 第６回　　終末期患者の治療とケア 第７回　　患者と癒し　医療倫理の必要性 第８回　　いのちの始まり　出生前診断の医療倫理 第９回　　生殖補助医療の医療倫理 第１０回　　遺伝子検査の医療倫理 第１１回　　再生医療の倫理 第１２回　　脳死・臓器移植の医療倫理 第１３回　　積極的安楽死・尊厳死の医療倫理 第１４回　　人生の完成段階の医療倫理　災害時の医療倫理 第１５回　　まとめ
受講生に関わる情報および受講のルール	受講上のルールとして、私語は禁止とする。私語は相手、周囲の者に対しての迷惑行為である。厳に慎むことを自覚して授業に主体的に参加すること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード

授業外時間にかかわる情報	授業時に指示する
オフィスアワー	講義初回にて伝える
評価方法	講義初回にて伝える
教科書	医療秘書講座１「健康と疾病　患者論と医の倫理」メヂカルフレンド社
参考書	必要に応じて印刷資料を使用
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 医事実習指導Ⅰ　　授業コード： J565

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1年次	2単位(60)	医療事務・秘書コース
担当教員			
清水　春代・松本　咲子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕 　医事実習の意義と目的を理解し、期待される学習効果や医療事務・秘書の活動の場である病院・診療所を理解する。また、その病院・診療所を利用する者や実践の場を理解することを目指す。 〔到達目標〕 　①医療事務職の基本的な役割を理解できる。 　②医事実習ⅠおよびⅡを円滑に履修できる。
授業の概要	この授業では、学生が実習に臨むまでの環境を調整すること、必要な知識を習得すること、それらを踏まえて、医療事務等の実践現場の見学を行ない、医事実習Ⅰの参加へ向けた準備を行なうことを目的とする科目である。 医療機関での医療事務の立場、やるべきこと、求められていることを考え、即戦力となる人材へ成長するために必要な対人対応力、接遇力を学ぶ。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	◎
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	○
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	

授業計画	第１回	ガイダンス 【key words】 【キーワード】ガイダンス 【授業概要】 【授業概要】授業目標、受講上の注意点、評価方法。 自己紹介 なぜ医療事務を目指したのか作文 【教科書ページ・参考文献】 【教科書ページ・参考文献】プリント 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【課題・予習・復習・授業準備】本日残り 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第２回	コミュニケーションカード講座 【key words】 【キーワード】自己紹介 【授業概要】 【授業概要】コミュニケーションカードを使用して自己紹介 【教科書ページ・参考文献】 【教科書ページ・参考文献】コミュニケーションカード 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【課題・予習・復習・授業準備】自己紹介の練習 【予習復習に必要な想定時間】 0.5時間
	第３回	コミュニケーションカード講座 【key words】 【キーワード】自分を知ろう 【授業概要】 【授業概要】コミュニケーションカードを使用して長所・短所などを説明出来る様にする。短所は長所でもあることに気づく 【教科書ページ・参考文献】 【教科書ページ・参考文献】コミュニケーションカード

【課題・予習・復習・授業準備指示】
【課題・予習・復習・授業準備】自分を見つめ直そう
【予習復習に必要な想定時間】
0.5時間

第４回　社会人としての自覚
【key words】
【キーワード】社会人としてのマナー

【授業概要】
【授業概要】医療者になる以前に社会に出たときに必要なことは何か？
敬語のワーク、挨拶練習。
【教科書ページ・参考文献】
【教科書ページ・参考文献】プリント

【課題・予習・復習・授業準備指示】
【課題・予習・復習・授業準備】身近な敬語、挨拶をみておく
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第５回　社会人としての自覚
【key words】
【キーワード】報・連・相の重要性

【授業概要】
【授業概要】責任、プロ意識、謙虚、自立、当事者意識、報連相
例題を通して、個人で考えることと、グループで考えることでの成果の違いを体感する。

【教科書ページ・参考文献】
【教科書ページ・参考文献】テキスト
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【課題・予習・復習・授業準備】本日の授業のまとめ
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第６回　社会人としての自覚
【key words】
【キーワード】身だしなみ
【授業概要】
【授業概要】身だしなみとおしゃれの違い
制服があることの意味やTPOについて考える
【教科書ページ・参考文献】
【教科書ページ・参考文献】テキスト

【課題・予習・復習・授業準備指示】
【課題・予習・復習・授業準備】本日の授業のまとめ
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第７回　社会人としての自覚
【key words】
【キーワード】第一印象の重要性

【授業概要】
【授業概要】第一印象が良いことのメリット。受付は病院の顔＝受付係の印象で決まる。
名刺の受け渡しワーク。

【教科書ページ・参考文献】
【教科書ページ・参考文献】テキストP35
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【課題・予習・復習・授業準備】本日の授業のまとめ
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第８回　医療事務のお仕事
【key words】
【キーワード】働き方の違いを知る

【授業概要】
【授業概要】病院、診療所の違いをスライドで説明。
【教科書ページ・参考文献】
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
【課題・予習・復習・授業準備】身近な病院と診療所を調べる
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第９回　実習生紹介票作成（下書き）
【key words】
【キーワード】自己紹介

【授業概要】
【授業概要】紹介票、目標を考える。初めに書いた作文をもとに見学実習の紹介票を書く。

【教科書ページ・参考文献】
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
【課題・予習・復習・授業準備】本日の残り
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第１０回　病院見学下調べ
【key words】
【キーワード】病院の特徴をみる
【授業概要】
【授業概要】夏に見学に行く前橋日赤病院について、HPなどから病院の概要を調べる
【教科書ページ・参考文献】
【教科書ページ・参考文献】
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【課題・予習・復習・授業準備】本日の残り
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第１１回　患者タイプ別治療説明
【key words】
【キーワード】患者様の傾向をしる

【授業概要】
【授業概要】コミュニケーションカードを使い、コミュニケーション特性別に患者様への声がけをグループワークする。

【教科書ページ・参考文献】
【教科書ページ・参考文献】コミュニケーションカード、テキストP42
【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】
0.5時間

第１２回　紹介票、病院概要の清書
【key words】

【授業概要】
【授業概要】病院見学先に向けて丁寧に書く。前向きな姿勢で挑む。
【教科書ページ・参考文献】
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
【課題・予習・復習・授業準備】本日の残り
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第１３回　接遇について
【key words】
【キーワード】医療のおもてなし
【授業概要】
【授業概要】自分の話し方、表情の確認。
スマホで素、微笑み、笑顔の撮影。

【教科書ページ・参考文献】
【教科書ページ・参考文献】
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【課題・予習・復習・授業準備】対応のよい店員、スタッフの観察
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第１４回　見学実習準備
【key words】
【キーワード】見学上の諸注意

【授業概要】
【授業概要】初診受付のデモンストレーション
見学先挨拶代表者決め。
【教科書ページ・参考文献】
【教科書ページ・参考文献】プリント

【課題・予習・復習・授業準備指示】
【課題・予習・復習・授業準備】本日のまとめ
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第１５回　前期まとめ
【key words】
【キーワード】お礼状作成
【授業概要】
【授業概要】見学実習後のお礼状の書き方

【教科書ページ・参考文献】
【教科書ページ・参考文献】本日残り

【課題・予習・復習・授業準備指示】
【課題・予習・復習・授業準備】白い便せん、封筒
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第１６回　見学実習

【key words】
【キーワード】病院の内部を知る
【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】
第１７回　見学実習
【key words】
病院の内部を知る

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】
第１８回　見学実習まとめ
【key words】
【キーワード】経験を医事実習に活かす

【授業概要】
【授業概要】見学の内容をまとめる

【教科書ページ・参考文献】
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
【課題・予習・復習・授業準備】本日残り
【予習復習に必要な想定時間】
1時間
第１９回　患者対応事例
【key words】
【キーワード】実例を体験しよう
【授業概要】
【授業概要】事例1，2，3，4をロールプレイング

【教科書ページ・参考文献】
プリント
【課題・予習・復習・授業準備指示】
本日のまとめ
【予習復習に必要な想定時間】
1時間
第２０回　コミュニケーションカード講座
【key words】
【キーワード】アンガーマネジメント

【授業概要】
【授業概要】嫌いな自分、嫌いな他人を見ることで、怒りにたいして考える

【教科書ページ・参考文献】
【教科書ページ・参考文献】コミュニケーションカード

【課題・予習・復習・授業準備指示】
【課題・予習・復習・授業準備】本日のまとめ
【予習復習に必要な想定時間】
1時間
第２１回　コミュニケーションカード講座
【key words】
【キーワード】相互理解

【授業概要】
【授業概要】人はしれぞれ大事にしていることも感じ方も違うのは当たり前であることを理解し、相手をうけいれることを学ぶ。
修了式
【教科書ページ・参考文献】
【教科書ページ・参考文献】コミュニケーションカード

【課題・予習・復習・授業準備指示】
【課題・予習・復習・授業準備】本日のまとめ
【予習復習に必要な想定時間】
1時間
第２２回　医療者としてのマナー
【key words】
【キーワード】接遇6原則
【授業概要】
【授業概要】医療現場で必要な態度、心構えを学ぶ。
実習希望先アンケート
【教科書ページ・参考文献】

【教科書ページ・参考文献】テキストP13～15

【課題・予習・復習・授業準備指示】
【課題・予習・復習・授業準備】本日のまとめ
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第２３回　医療者としてのマナー

【key words】
【キーワード】クレーム対応

【授業概要】
【授業概要】病院の受付として必要な機械操作や患者誘導、
クレームについて考える
【教科書ページ・参考文献】
【教科書ページ・参考文献】テキストP20
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【課題・予習・復習・授業準備】クレームとその対応の例を考えよう
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第２４回　クレーム対応

【key words】
【キーワード】クレームは受けて当たり前

【授業概要】
【授業概要】実体験に基づくクレーム事例を話す。
その他、未払いの問題やSNSの弊害、災害時の対応など

【教科書ページ・参考文献】
【教科書ページ・参考文献】テキストP25～28
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【課題・予習・復習・授業準備】本日の感想
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第２５回　災害時における医療スタッフの心得

【key words】
【キーワード】臨機応変な対応

【授業概要】
【授業概要】東日本大震災時の病院での状況や災害マニュアルの重要性を説明
グループワークで悪天候時の院内環境整備を考える。

【教科書ページ・参考文献】
【教科書ページ・参考文献】テキストP28

【課題・予習・復習・授業準備指示】
【課題・予習・復習・授業準備】本日のまとめ
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第２６回　実習Ⅰ準備

【key words】
【キーワード】実習先を知ろう
【授業概要】
【授業概要】実習先の医療機関概要を調べる
電話のかけ方
【教科書ページ・参考文献】
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
【課題・予習・復習・授業準備】本日残り
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第２７回　実習Ⅰ準備

【key words】
【キーワード】実習生紹介票、目標作成

【授業概要】
【授業概要】実習生紹介票、目標作成下書き
実習先の事前オリエンテーションのアポ電話する

【教科書ページ・参考文献】
【教科書ページ・参考文献】
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【課題・予習・復習・授業準備】本日の残り
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第２８回　実習Ⅰ準備

【key words】
【キーワード】実習生紹介票、目標作成

【授業概要】
【授業概要】実習生紹介票、目標清書

	【教科書ページ・参考文献】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【課題・予習・復習・授業準備】本日の残り 【予習復習に必要な想定時間】 1時間 第２９回　実習Ｉ準備　実習事前指導 【key words】 【キーワード】実習ノート・お礼状の書き方 【授業概要】 【授業概要】実習ノート・お礼状の書き方 【教科書ページ・参考文献】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【課題・予習・復習・授業準備】実習ノートなどの整備 【予習復習に必要な想定時間】 1時間 第３０回　実習Ｉ準備　実習事前指導 【key words】 【キーワード】実習の注意点 【授業概要】 【授業概要】実習状の注意点 【教科書ページ・参考文献】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【課題・予習・復習・授業準備】実習ノートなどの整備 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
受講生に関わる情報および受講のルール	医事実習指導は医事実習と対となる科目である。よって、科目に対する姿勢・態度や提出物等が重要な意味があることを理解しておくこと。 学生から社会人になるまでの準備とし、挨拶、返事は必ず大きな声ですること。 医事実習の成果へとつなげるために、受け身ではなく、積極的に授業に参加すること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	授業内の指示に基づいて、実習病院等の事前の情報収集を行う。
オフィスアワー	木曜日・金曜日の5限帯（16:00-17:30）
評価方法	授業態度・提出物：60%　テスト：40%
教科書	「患者接遇パーフェクトレッスン」小佐野美智子　医学通信社
参考書	特になし　必要に応じて提示する
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 病院医事課17年 （採用面接、人材育成、医事実習受け入れ担当） 医療機関の業務改善、接遇指導、レセプト点検請負 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） ■情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称：　医事実習Ⅰ　　授業コード：J580

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年次	1単位(20)	医療事務・秘書コース・選択
担当教員			
清水　春代			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	①実習病院および病院の役割を理解している。 ②来院する者（患者等）のニーズを理解している。 ③医療事務の基準業務（窓口業務、算定業務等）を理解している。
授業の概要	医事実習は、医療事務・秘書コースでの学びと医療事務実践活動の統合を目指し、将来の医療現場に求められる人材としての資質の向上を図り、地域に貢献できる人材を育成することを目的として実施する科目である。 それらを踏まえて、医事実習Ⅰは、実習病院等の役割、来院者ニーズ、医療事務の基準的業務（窓口業務、算定業務等）の理解を目指して、12日間、実施するものである。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	◎
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	

授業計画	第１回 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第２回 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第３回 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第４回 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第５回 【key words】 【授業概要】

	【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	「群馬医療福祉大学短期大学部医事実習ガイドライン」を参照。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	「医事実習指導Ⅰ」の時間に示す。
オフィスアワー	実習期間中のおけるオフィスアワーは、適宜実習担当者との連絡・調整により相談して決定する。
評価方法	実習成果物（実習日誌等）と実習指導者による評価（評価表）による総合評価。 傾斜配分の参考は、実習成果物70%、実習指導者評価30%とする。
教科書	授業時に配布する印刷資料等
参考書	特に無し
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 病院受付業務、事務業務、診療報酬請求業務、スタッフ指導業務などの経験を活かし、実習受け入れ先で必要とされる人材教育を目指す。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） ■情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 医事実習Ⅱ　　授業コード： J583

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	2単位(80)	医療事務・秘書コース・選択
担当教員			
清水　春代			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	①医療事務職（医療事務、医療秘書）に求められる接遇の基本的な知識・技術が理解できる。 ②医療事務職が携わる業務（報酬算定、秘書実務など）の基本的な知識・技術が理解できる。 ③医療秘書の基本的業務が理解できる。 ④多職種連携医療の中で医療秘書が果たす役割について理解できる。
授業の概要	-医事実習は、医療事務・秘書コースでの学びと医療事務実践活動の統合を目指し、将来の医療現場に求められる人材としての資質の向上を図り、地域に貢献できる人材を育成することを目的として実施する科目である。 それらを踏まえて、医事実習Ⅱは、チームケア医療の意義を理解し、多職種連携医療の中での医療秘書の役割を実践的に理解することを目指して、12日間実施するものである。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	◎

授業計画	第１回 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第２回 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第３回 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第４回 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第５回 【key words】 【授業概要】

	【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	「群馬医療福祉大学短期大学部医事実習ガイドライン」を参照
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	-医事実習指導Ⅱの時間に示す。
オフィスアワー	-実習期間中におけるオフィスアワーは、適宜。実習担当者との連絡調整により、相談して決定する。
評価方法	-実習ノートなど、実習成果物と実習指導者による評価表による総合評価。 実習ノートなど70%、実習指導者評価30%とする。
教科書	-授業時配布する印刷資料等
参考書	-特になし
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 医療機関受付業務、診療報酬請求業務、制度調査、人材教育業務などの経験を活かし、受け入れ医療機関に必要とされる人材教育を目指す。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） ■情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 道徳教育　　授業コード： J673

英文科目名称： moral education

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	2単位(30)	必修
担当教員			
岡野　康幸			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 ・社会の一員として人間は他者と協力し共存しながら生活をしていきます。ではどのようにすれば自他ともによりよい生活を送ることが可能なのか。それは人間が誰しも心の奥面にある「人間らしくよりよく生きよう」とする小さな声、つまり道徳心を構築することから始まります。この講義では道徳心をどのように育てていくのかを建学の精神（儒学「仁」）と関連しながら解説する。 【到達目標】 ・自覚的に道徳心を養う態度を身につけ、感情的判断ではなく道徳的判断ができ、その道徳的判断を論理的に説明できること。
授業の概要	・人はどのような時に道徳心を発揮するのか、テキスト掲載の中国古典を例に学生との議論や解説を通じて考察する。その過程を経ることにより、人間としての在り方・生き方について学び、積極的に社会に参加できる力を養う。 ・道徳や倫理に限らず、考察の根本は先ず「知る」ことです。そして「知る」ための手段が読書です。課題図書や読書に関する発表やレポートを課します。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	○
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	◎
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	

授業計画	第１回	科目オリエンテーション　ハチドリのひとしずく 【key words】 受講の際の注意事項　ハチドリのひとしずく　自分にできること 【授業概要】 受講の際の注意点を最初に説明します。ハチドリのひとしずくを読み、どのように感じたか書いてもらい、発表をしてもらいます。何人かに発表してもらった後に、傾向を分析し、人間の道徳的判断の基準について解説します。 【教科書ページ・参考文献】 プリントを配布します。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 図書館にある哲学・思想系の辞典類で「道徳」の項目を調べておき、書かれている内容を理解しておくこと。くこと。 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第２回	咸有一徳とは　学長訓話「若きみなさんへ」Ⅰ 【key words】 咸有一徳　仁　習慣 【授業概要】 これから2週にわたり、「若きみなさんへ」を読んでいきます。この訓話はテキスト『咸有一徳』及び本学教育方針のエッセンスです。この訓話が理解できれば本学の建学の精神・理念のおおよそは理解できたといっても過言ではないでしょう。この回では「咸有一徳」の意味と、「躾と習慣」についてともに考えていきましょう。 【教科書ページ・参考文献】 P13～P26 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前に教科書の該当部分を必ず読み、意味不明の言葉に当たったら、必ず参考文献に挙げてある辞書類で調べておくこと。これらの辞書類は図書館に備わっています。 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第３回	咸有一徳とは　学長訓話「若きみなさんへ」Ⅱ 【key words】 古典　論語　建学の精神 【授業概要】 訓話「若きみなさんへ」の後半です。教養を身に着ける方法はいくつもあるでしょう。しかしその中でも読書、就中古典を読むことは、オーソドックスな方法ではないでしょうか。この回では、本学の建学の精神とも関わる、中国の古典『論語』を例に教養について考えてみましょう。 【教科書ページ・参考文献】 P26～P37 【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義前に教科書の該当部分を必ず読み、意味不明の言葉に当たったら、必ず参考文献に挙げてある辞書類で調べておくこと。これらの辞書類は図書館に備わっています。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第４回　「仁」とは何か　「真心」とは何か
【key words】
仁　真心　惻隠の心
【授業概要】
「仁」の意味を一言で表すのは実に難しいことです。それは『論語』の中で孔子が仁の意味を定義せず、場面場面で違うことを述べているからです。しかし、それでも最大公約で述べることは可能です。この回では『論語』に現れた「仁」を分析し、どのような意味が付与されているのか、そして私たちに「仁」は何を要求しているのか。「真心」という言葉とともに考えてみましょう。
【教科書ページ・参考文献】
P39～P56
【課題・予習・復習・授業準備指示】
講義前に教科書の該当部分を必ず読み、意味不明の言葉に当たったら、必ず参考文献に挙げてある辞書類で調べておくこと。これらの辞書類は図書館に備わっています。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第５回　「至誠」とは何か
【key words】
至誠　尽くす　儒学
【授業概要】
「至誠」とは「真心」の漢語的表現です。至誠なればこそ人を動かすことが可能なのです。中国古典によれば、人間も本来は善≒至誠な存在なのですが、そのようにな r ないのは何故なのでしょうか。「至誠」とう言葉をキーワードに中国古典の中から考えていきましょう。
【教科書ページ・参考文献】
P57～P70
【課題・予習・復習・授業準備指示】
講義前に教科書の該当部分を必ず読み、意味不明の言葉に当たったら、必ず参考文献に挙げてある辞書類で調べておくこと。これらの辞書類は図書館に備わっています。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第６回　家庭生活の基本マナー　福祉界が望むマナー
【key words】
家族　あいさつ　服装　ホウレンソウ
【授業概要】
社会は人と人との関係で成り立っています。お互いが快適に生活するための礼儀作法、それがマナーです。マナー違反は罪ではないですが、悪にはなります。それは他人をして不愉快にさせるからです。お互いが快適に生活するためには、どのようなマナーを身につけなくてはならないのか。この回では家庭と多くの学生が就職するであろう福祉界を例に考察していきます。
【教科書ページ・参考文献】
P71～P86
【課題・予習・復習・授業準備指示】
講義前に教科書の該当部分を必ず読み、意味不明の言葉に当たったら、必ず参考文献に挙げてある辞書類で調べておくこと。これらの辞書類は図書館に備わっています。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第７回　豊かな人間性の涵養と人格の向上について（交際・礼儀作法・エチケット）
【key words】
礼儀作法　エチケット
【授業概要】
フランス語に“noblesse oblige”（位高き者は徳高くあれ）という言葉があります。社会的地位が高くなればなるほど、その地位にふさわしい人格にならなければならないとする考えです。つまり人が人である限り人格の向上は絶えず付いてくるのです。我々はどのようにして人格を高めていくべきなのか考えていきましょう。
【教科書ページ・参考文献】
改定中
【課題・予習・復習・授業準備指示】
該当箇所を読んでおく
【予習復習に必要な想定時間】
10分

第８回　ボランティアにおける品位あるマナー　学校生活における品位あるマナー（中国古典、先達の言葉から考察）
【key words】
ボランティア　礼儀　あいさつ　学校生活　服装　環境美化活動
【授業概要】
私たちはボランティア先で、学ばせてもらう立場の者です。したがって、ボランティア先で失礼な言動や礼儀に欠けた行為をすることは断じて許されません。快く受け入れてもらい、お互いが気持ちよく作業するためのマナーをここでは学びます。また、学校生活におけるマナーについて考えて生きます。「親しき仲にも礼儀あり」ということわざが示すように、友人同士でもマナーは必要です。また先生に対する「礼」というのも重要です。友人や先生にどのように接するべきなのか考えてみましょう。
【教科書ページ・参考文献】
P87～P102
【課題・予習・復習・授業準備指示】
敬語の使い方を高校までに使用した便覧等を用いて復習してておくこと。講義前に教科書の該当部分を必ず読み、意味不明瞭な言葉に当たったら、必ず図書館にある各種辞書類で調べてください。

【予習復習に必要な想定時間】
20分

	第９回	学園生活での品位あるマナーⅠ（人間として大切であることを説く中国古典、先達の言葉から考察） 【key words】 生活習慣 【授業概要】 今回は学校生活におけるマナーについて考えて生きます。「親しき仲にも礼儀あり」ということわざが示すように、友人同士でもマナーは必要です。また先生に対する「礼」というのも重要です。友人や先生にどのように接するべきなのか考えてみましょう。 【教科書ページ・参考文献】 改定中 【課題・予習・復習・授業準備指示】 該当箇所を読んでおく 【予習復習に必要な想定時間】 １０分
	第１０回	学園生活での品位あるマナーⅡ（人間として大切であることを説く中国古典、先達の言葉から考察） 【key words】 中国古典 【授業概要】 第３編頭注に付けられている中国古典について解説していきます。古典が我々に語り掛けてくる価値観は普遍であるからこそ現代に読み継がれているのです。マナーの具体的な現れは時代とともに変遷しますが、その精神は普遍なのです。そのことを頭注にある中国古典から解説していきます。 【教科書ページ・参考文献】 改定中 【課題・予習・復習・授業準備指示】 該当箇所を読んでおく 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第１１回	道徳と読書Ⅰ 【key words】 道徳　読書 【授業概要】 我々の道徳心や倫理観を養うものは自己の体験になります。この体験の中には、自らが経験したものと、知識として吸収したものとの二つに大別されるでしょう。この回では読書を通じて道徳を考えてみます。その題材として芥川龍之介の作品から「桃太郎」を読んでいきます。桃太郎の話から芥川は何が言いたかんおでしょうか。そして我々は、自分の考えが果たして本当に妥当なのか、ということを考察していきましょう。 【教科書ページ・参考文献】 青空文庫に収録されている「桃太郎」を各自ダウンロードして印刷しかつ読んでおくこと。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 「桃太郎」を読んでおくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 30分から60分
	第１２回	道徳と読書Ⅱ 【key words】 考察　発表 【授業概要】 前回の講義で扱った芥川の「桃太郎」について、各自が考えたことについて発表をしてもらいます。またいくつかのグループに分かれて「正しさ」について討論してもらいます。 【教科書ページ・参考文献】 各自がダウンロードした芥川龍之介「桃太郎」 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義の時までに４００字から６００字程度に自己の考察をまとめてくること。 【予習復習に必要な想定時間】 ６０分
	第１３回	介護現場における道徳 【key words】 道徳　倫理観 【授業概要】 昨今、介護現場に於ける利用者への虐待が新聞や報道で取り上げられています。介護者が自分の立場を利用して、放縦に陥るケースは多々ありますが、そのようにならないためには、自制心が必要です。そしてこの自制心を養うものが道徳や倫理観です。なぜ虐待が起こってしまうのかを、道徳の視点から考察していきます。 【教科書ページ・参考文献】 配布プリント 【課題・予習・復習・授業準備指示】 どのような事件があったのかを調べておく。 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第１４回	時事問題の考察・発表・解説（人としての在り方・生き方を考える） 【key words】 時事問題 【授業概要】 最近の入社試験における時事問題は、答えのない時事問題を出す企業が増加しているようです。情報化社会において知りたい情報は直ぐに手に入りますが、手に入れた情報をどう分析し活用するかは、その人の思考力にかかっています。答えが一つでない問いに対し、どのように答えるか。時事問題について考察し提出してもらいます。 【教科書ページ・参考文献】 各自が一週間前後の新聞記事から、気になった話題を選んできてください。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 気になった新聞記事について、相手にどのようにわかりやすく発表するか。自宅で４００字から

	６００字程度でまとめてきてください。 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分から６０分 第１５回　咸有一徳の総「まとめ 【key words】 咸有一徳 【授業概要】 咸有一徳で学習した内容が知識として定着するために、最後に総復習をします。皆さんに教科書に出てきた内容を話してもらいます。アウトプットをすることで知識は確実に定着していきます。 【教科書ページ・参考文献】 既習範囲全部 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ノートと教科書を一読しておいてください。 【予習復習に必要な想定時間】 30分から60分
受講生に関わる情報および受講のルール	・授業中は、単に授業を聞くといった受身の態度ではなく、「人が学び続けるとはどういう意義か」を、自己に問いかけながら、積極的に参加すること。 ・周囲の迷惑になるので、私語を慎むこと。注意しても改めない時は退席を命じる。 ・本人の責に帰す遅刻早退は認めない。ただし公共機関の遅れによるものはその限りではない。 ・講義期間中最低でも１人１回、１分間スピーチをしてもらいます。 ・道徳や倫理をはじめとして、何事でも「知る」最初の手掛かりは読書です。どのように読書をしていくべきかについても講義していきます。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	講義に臨む前に、指定箇所を必ず読んでおくこと。読んでいるという前提で講義を進める。
オフィスアワー	火曜日１６時から１８時
評価方法	期末試験60%、発表10%・課題30%
教科書	鈴木利定・中田勝著『咸有一徳』修訂第３版（中央法規、２０２０年４月）
参考書	Francois Jullien『道徳を基礎づける―孟子vs.カント、ルソー、ニーチェ 』（講談社学術文庫、２０１７年１０月）
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート □グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等) □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等) ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等) □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 医療管理各論Ⅰ（病院管理）　　授業コード：J730

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年次	2単位(30)	医療事務・秘書コース・必修
担当教員			
土屋　昭雄			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	病院は医療の実践の場である。施設・機器・構成員そして患者を含めた利用者など、全てが有機的に機能してこそ、医療が有効に実践され、医療の質の向上と経営の質の向上に繋がる。 本講では、その病院を的確に維持、運営していく上で重要な、病院の経営管理をはじめとする基礎的な知識を身につけることを目的とする。
授業の概要	病院という組織が、その使命を達成するために、そしてそれを維持していくためには、しっかりとした経営管理が必要であり、また、その組織が医療機関としての機能を果たすためには、様々は医療の専門職を有効に結びつけるための医療管理が必要であることを学ぶ。 近年では、高度化、複雑化する医療のあり方が問われ、チーム医療を中心とした多職種協働の医療提供体制が注目されている。こうした状況を踏まえ、診療情報管理士が病院運営に携わるうえで、おさえておくべき事柄についての理解を深める。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	○
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	◎
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	

授業計画	第１回	前期オリエンテーション　〔授業の進め方、評価等授業概要に基づいた概要説明及び学習方法等について伝達〕・病院の経営管理 【key words】 専門分化・チーム医療・経営管理・診療情報管理士・顧客満足(度) 【授業概要】 ・授業概説 ・病院経営管理 ・プロセス(工程) 【教科書ページ・参考文献】 p71～p72 【課題・予習・復習・授業準備指示】 第2章の熟読 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第２回	病院の経営管理 【key words】 PDCAサイクル・マーケティング・組織・リーダーシップ・コミュニケーション 【授業概要】 ・プロセス(工程) ・組織と機能 ・管理と組織 【教科書ページ・参考文献】 p72～p79 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・第2章の熟読 ・授業該当ページおよび板書事項の再確認 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第３回	病院の経営管理 【key words】 マネジメント・管理規定・損益計算書 【授業概要】 ・管理と組織 ・財務/経営管理 【教科書ページ・参考文献】 p79～p89 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・第2章の熟読 ・授業該当ページおよび板書事項の再確認 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第４回	病院の経営管理 【key words】

		損益分岐点・情報開示 【授業概要】 ・財務/経営かんり 　　経営計画・経営資料・原価計算・経営管理指標ほか 【教科書ページ・参考文献】 p89～p95 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・第2章の熟読 ・授業該当ページおよび板書事項の再確認 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第５回	病院の経営管理 【key words】 男女雇用機会均等法・就業規則 【授業概要】 ・人事/労務管理 　　人事管理と労務管理・病院で働く職員の4つの側面・人事/労務管理の内容・職場としての病院における人間 　　関係 【教科書ページ・参考文献】 p96～p103 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・第2章の熟読 ・授業該当ページおよび板書事項の再確認 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第６回	病院の経営管理 【key words】 キャリアパス・危機管理・アメニティ 【授業概要】 ・人事/労務管理 ・施設管理 【教科書ページ・参考文献】 p103～p108 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・第2章の熟読 ・授業該当ページおよび板書事項の再確認 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第７回	・病院の経営管理・医療管理 【key words】 BCM・PDCAサイクル・インフォームドコンセント・業務独占/名称独占 【授業概要】 ・施設管理 ・医療管理 【教科書ページ・参考文献】 p108～p117 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・第2章の熟読 ・授業該当ページおよび板書事項の再確認 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第８回	医療管理 【key words】 コミュニケーション・記録・アセスメント・看護過程 【授業概要】 ・診療部門 ・看護部門 【教科書ページ・参考文献】 p118～p126 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・第2章の熟読 ・授業該当ページおよび板書事項の再確認 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第９回	医療管理 【key words】 標準化・チーム医療・情報の共有化 【授業概要】 ・看護部門 ・医療技術部門 ・診療協力部門 ・メディカルスタッフ部門 【教科書ページ・参考文献】 p127～p132 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・第2章の熟読 ・授業該当ページおよび板書事項の再確認 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第１０回	医療管理 【key words】

		リハビリテーション・QOL・残存機能 【授業概要】 ・医療技術部門 ・診療協力部門 ・メディカルスタッフ部門 　臨床検査部門・放射線部門・リハビリテーション部門・中央手術部門ほか 【教科書ページ・参考文献】 p132～p141 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・第2章の熟読 ・授業該当ページおよび板書事項の再確認 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第１１回	医療管理 【key words】 地域医療連携・ソーシャルワーカー・コーディング・医事課 【授業概要】 ・医療技術部門 ・診療協力部門 ・メディカルスタッフ部門 　医療社会事業部門・地域医療連携室・ほか ・教育研究部門 ・診療情報管理部門 ・スタッフ機能事務部門ほか 【教科書ページ・参考文献】 p141～p147 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・医療技術部門 ・診療協力部門 ・メディカルスタッフ部門 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第１２回	医療管理 【key words】 防災・安全衛生・感染症 【授業概要】 ・設備/機器維持管理部門 ・労働安全衛生/環境衛生管理部門 【教科書ページ・参考文献】 p147～p153 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・医療技術部門 ・診療協力部門 ・メディカルスタッフ部門 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第１３回	医療管理 【key words】 ハウスキーピング・チーム医療・地域包括ケアシステム 【授業概要】 ・ハウスキーピング部門 ・チーム医療 ・チーム医療の主な活動 ・チーム医療の推進 【教科書ページ・参考文献】 p153～p157 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・医療技術部門 ・診療協力部門 ・メディカルスタッフ部門 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第１４回	介護保険制度 【key words】 介護保険制度・契約制度・特定疾病・多職種連携 【授業概要】 ・介護保険制度概説 　利用手続き・保険者および被保険者・賦課/徴収方法・介護報酬ほか 【教科書ページ・参考文献】 板書による説明 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業内容(板書事項)の再確認 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第１５回	授業総括 【key words】 診療情報管理士・病院管理・経営・組織・チーム医療・連携/協働・情報共有 【授業概要】

	・総括 ・重要項目の再確認 【教科書ページ・参考文献】 復習・確認事項該当ページ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキストの熟読 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
受講生に関わる情報および受講のルール	私語は慎み、真摯な態度で授業に臨むこと。知識向上に向け、予習、復習を励行すること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	予習として次回授業の該当部分を一読し、不明な点は進んで調べ授業に臨むこと。
オフィスアワー	月曜日〔14：20～17：30〕及び昼休み〔12：00～12：30〕
評価方法	レポート・確認テスト
教科書	診療情報管理士テキスト　診療情報管理Ⅲ
参考書	病院職員読本（日本病院共済会）
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク ■アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） ■情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称：　登録販売者Ⅰ　　授業コード：J801

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	1単位(30)	医療事務・秘書コース・選択
担当教員			
近藤　喜與子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】一般用医薬品（第２類医薬品、第３類医薬品）の販売時に必要な知識を学び、2年生の時に受験する登録販売者試験の合格をめざす。 【到達目標】登録販売者の役割は、必要な情報を購入者にわかりやすく伝え、医薬品の適切な選択、使用に役立ててもらう事である。医薬品の販売の専門家として幅広い知識と態度を身につける。登録販売者試験合格が目標です。
授業の概要	医薬品概論、人体の構造、医薬品各論 テキストの読み込みを中心に、問題集を解くことにより知識を身につけ、試験の対策とする。 学ばなければいけない知識が多岐にわたるため、各自、予習復習が必要です。 試験合格を目的としている授業であるため、毎回小テストを行います。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	○
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	◎
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	△

授業計画		
	第１回	第1章　1-Ⅰ　医薬品概論　　1-Ⅱ　医薬品の効き目や安全性に影響を与える要因 【key words】 医薬品の本質。リスク評価と健康食品。副作用，アレルギー。不適正な使用と有害事象。他の医薬品や食品との相互作用。小児、高齢者、妊婦・授乳婦と医薬品。医療機関で治療を受けている人。プラセボ効果。品質。 【授業概要】 一般用医薬品の本質。医薬品販売にあたっての情報提供。医薬品の分類。医薬品の効果とリスクの評価。 健康食品とは。副作用の定義。副作用の分類。不適正な使用と有害事象。有害事象の発生防止。相互作用とは。小児の医薬品使用の特徴と配慮。高齢者の医薬品使用の特徴と配慮。妊婦・授乳婦の医薬品使用の特徴と配慮。治療を受けている人の医薬品使用の特徴と配慮。プラセボ効果とその対応。医薬品の品質とその確保のための対応について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 ｐ１～ｐ２３ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキストの該当するところを必ず読み込み、対策問題集をやってみる。 講義後は、過去問正解を解いてみる。解答を読んで理解すること。次回小テスト予定 【予習復習に必要な想定時間】 200分、毎日30分程度
	第２回	第1章　1-Ⅲ　適切な医薬品選択と受診勧奨　　1-Ⅳ　薬害の歴史 【key words】 一般用医薬品の役割と対処可能な範囲。セルフメディケーション。販売時のコミュニケーション。 主な薬害と薬害訴訟。 【授業概要】 一般用医薬品の役割と目的。症状等への適切な対応。医薬品販売者としての基本姿勢。購入者からの状況把握。 医薬品による副作用等に対する基本的な考え方。医薬品による副作用等に係る主な訴訟について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 ｐ２４～ｐ３４ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義に関わるテキスト部分を予習、対策問題集を解いてみる。 授業後は過去問正解をやる事。次回小テスト予定。 【予習復習に必要な想定時間】 200分、毎日30分程度
	第３回	第2章　2-Ⅰ　人体の構造と働き　　1　内臓器官（消化器系、呼吸器系、循環器系、泌尿器系） 【key words】 内臓器官―消化器系（口腔、胃、小腸）。消化器系（膵臓、胆嚢、大腸）。呼吸器系。循環器系。泌尿器系。

【授業概要】
消化器系。歯。舌。唾液腺。咽頭。食道。胃。小腸。膵臓。胆嚢。大腸。
呼吸器系。鼻腔。咽頭。喉頭。気管・気管支。肺。肺胞。
循環器系。心臓。動脈・静脈。毛細血管.血漿。赤血球。白血球。血小板。膵臓。リンパ球。リンパ液。リンパ管。リンパ節。腎臓。副腎。尿路。膀胱。尿路。前立腺について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
ｐ３５～ｐ６４
【課題・予習・復習・授業準備指示】
講義に関わるテキストを部分を読み込み、対策問題集を解いて内臓器官を理解する。
授業後は過去問正解をやり、正解を理解する。次回小テスト予定。
【予習復習に必要な想定時間】
240分　　毎日40分程度

第４回　第2章　2-Ⅰ　2　感覚器官　3　運動器官　4　脳や神経系の働き
【key words】
感覚器官ー目、鼻、耳。　運動器官ー外皮系、骨格系、筋組織.　脳・神経系の働きー中枢神経系、末梢神経。

【授業概要】
目。眼瞼。結膜。涙器。眼筋。鼻。耳。
外皮系。骨格系。骨。関節。筋組織。骨格筋。平滑筋。心筋。
中枢神経系。脳。脊髄。末梢神経系。自律神経系の働きについて学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
ｐ６５～ｐ８２
【課題・予習・復習・授業準備指示】
必ずテキストで授業概要を確認する事。対策問題集を解いてみる。
授業後は、過去問正解を解いて解答を確認する事。次回小テスト予定。

【予習復習に必要な想定時間】
200分　毎日30分

第５回　第2章　2-Ⅱ　薬が働く仕組み　2-Ⅲ　症状から見た主な副作用
【key words】
有効成分の吸収。有効成分の代謝と排泄。剤形ごとの違いと適切な使用方法。全身的に現れる副作用。精神神経系に現れる副作用。体の局所に現れる副作用。
【授業概要】
全身作用と局所作用。薬の生体内運命。薬の体内での働き。剤形ごとの違いと適切な使用方法。副作用とは。
ショック（アナフィラキシー）。重篤な皮膚粘膜障害。肝機能障害。偽アルドステロン症。病気等に対する抵抗力の低下等。血小板減少症。精神神経障害。無菌性髄膜炎。
消化器系に現れる副作用。呼吸器系に現れる副作用。循環器系に現れる副作用。泌尿器系に現れる副作用。感覚器系に現れる副作用。皮膚に現れる副作用について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
ｐ８３～ｐ１１２
【課題・予習・復習・授業準備指示】
講義に関わるテキスト部分を確認する事。対策問題集を解いて、解答を理解する。
授業後は、過去問正解を解いて解答確認。　次回小テスト予定。

【予習復習に必要な想定時間】
200分、、毎日30分

第６回　第3章　主な医薬品とその作用　3-Ⅰ　精神神経に作用する薬　1　かぜ薬
【key words】
かぜとかぜ薬。かぜ薬の配合成分。漢方処方製剤。かぜ薬の副作用と受診勧奨。
【授業概要】
かぜの諸症状、かぜ薬の働き。かぜ薬の主な配合成分等。主な副作用、相互作用、受診勧奨について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
ｐ１１３～ｐ１２９
【課題・予習・復習・授業準備指示】
医薬品成分名等初めての言葉が多くなるので、予習は必須。対策問題集を解きを理解する。授業後は、過去問正解を解いて理解。別表５－１（ｐ４９８）、５－２（ｐ５０７）「も確認。次回小テスト予定。

【予習復習に必要な想定時間】
240分　毎日40分

第７回　第3章　3-Ⅰ　精神神経に作用する薬　2　解熱鎮痛薬　3　眠気を促す薬
【key words】
解熱鎮痛薬の働き。解熱鎮痛薬の配合成分。眠気を促す薬の配合成分。漢方処方製剤（眠気を促す薬）。眠気を促す薬の副作用と受診勧奨。
【授業概要】
解熱鎮痛薬ー痛みや発熱が起こる仕組みと解熱鎮痛薬の働き。代表的な配合成分等、主な副作用。生薬。漢方処方製剤。相互作用、受診勧奨等。
眠気を促す薬ー代表的な配合成分、主な副作用。生薬、漢方処方製剤。相互作用、受診勧奨等、について学ぶ。

【教科書ページ・参考文献】
ｐ１３０～ｐ１４９
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書の該当部分を読んで理解する。対策問題集を解いてみて解答確認理解。復習として、過去問正解を解き解答確認。併せて別表５－１，５－２を確認する。次回小テスト予定。
【予習復習に必要な想定時間】
200分、毎日30分

	第８回	3-Ⅰ　精神神経に作用する薬　　４　眠気を防ぐ薬　　５　鎮暈薬（乗物酔い防止薬）　　６　小児の疳を適応症とする生薬製剤・漢方処方製剤（小児鎮静薬） 【key words】 眠気を防ぐ薬。眠気を防ぐ薬の副作用と受診勧奨。鎮暈薬（乗物酔い防止薬）。小児鎮静薬。 【授業概要】 眠気を防ぐ薬―カフェインの働き主な副作用。相互作用、休養の勧奨等。 鎮暈薬一代表的な配合成分、主な副作用。相互作用、受診勧奨等。 小児鎮静薬―小児の疳。代表的な配合生薬等主な副作用。 【教科書ページ・参考文献】 ｐ１５０～１６３ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義に関わるテキスト部分を読む。関わる対策問題集を解いてみる。解答確認。 復習としては、過去問正解を解いて解答確認。併せて別表５－１　５－２確認、理解　次回小テスト予定。 【予習復習に必要な想定時間】 200分、毎日30分
	第９回	３－Ⅱ　呼吸器官に作用する薬　　１　咳止め・痰を出しやすくする薬　　２　口腔咽喉薬、うがい薬（含嗽薬） 【key words】 鎮咳去痰薬。口腔咽喉薬・うがい薬 【授業概要】 鎮咳去痰薬一咳や痰が生じる仕組み、鎮咳去痰薬の働き。代表的な配合成分等、主な副作用。漢方薬。生薬。 漢方処方製剤。相互作用、受診勧奨。 口腔咽喉薬・うがい薬一代表的な配合成分等、主な副作用。漢方処方製剤。相互作用、受診勧奨。について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 ｐ１６４～ｐ１８３ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習としては、講義に関わるテキスト部分を読む。関わる対策問題集を解いてみる。解答確認。 復習として過去問正解を解いて解答確認。併せて別表５－１、５－２確認、理解　次回小テスト予定。 【予習復習に必要な想定時間】 200分、毎日30分
	第１０回	3－Ⅲ　胃腸に作用する薬　　１　胃の薬（制酸薬，健胃薬、消化薬）　　２　腸の薬（整腸薬、止瀉薬、瀉下薬）　　３　胃腸鎮痛鎮痙薬　　４　その他の消化管用薬 【key words】 胃の薬。漢方処方製剤（胃の薬）。腸の薬（整腸成分）、腸の薬（止瀉成分）腸の薬（瀉下成分）、漢方処方製剤（腸の薬）、胃腸鎮痛鎮痙薬（抗コリン成分）、胃腸鎮痛鎮痙薬（その他の成分）、浣腸薬、駆虫薬。 【授業概要】 胃の不調、薬が症状を抑える仕組み。代表的な配合成分等、主な副作用。生薬。相互作用、受診勧奨。 腸の不調、くすりが症状を抑える仕組み。相互作用、受診勧奨。 代表的な鎮痙成分、症状を抑える仕組み主な副作用。相互作用、受診勧奨 浣腸薬、駆虫薬について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 ｐ１８４～ｐ２２３ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習としては、講義に関わるテキスト部分を読む。該当する対策問題集を解いてみる。解答確認。 復習としては、該当する過去問正解を解いて解答確認。併せて別表５－１　５－２　確認、理解　次回小テスト予定。 【予習復習に必要な想定時間】 200分、毎日30分
	第１１回	3-Ⅳ　心臓などの器官や血液に作用する薬　１　強心薬　　２　高コレステロール改善薬　　３　貧血用薬〈鉄製剤〉　　４　その他の循環器用薬　　3－Ⅴ　排泄に関わる部位に関する作用する薬　　１　痔の薬　　２　その他の泌尿器用薬 【key words】 強心薬。高コレステロール改善薬。貧血用薬（鉄製剤）。その他の循環器用薬。その他の循環器用薬。痔の薬。泌尿器用薬。 【授業概要】 強心薬―動悸、息切れ等を生じる原因と強心薬の働き。代表的な配合成分等、主な副作用。漢方処方製剤。相互作用、受診勧奨。高コレステロール改善薬一血中コレステロールと高コレステロール改善薬の働き。代表的な配合成分、主な副作用。生活習慣改善へのアドバイス、受診勧奨等。貧血用薬一貧血症状と鉄製剤の働き。代表的な配合成分、主な副作用。相互作用、受診勧奨等。その他の循環器用薬－代表的な配合成分等、主な副作用。相互作用、受診勧奨　痔の薬一痔の発症と対処，痔疾用薬の働き。代表的な配合成分等、主な副作用。生薬、漢方処方製剤。相互作用、受診勧奨。その他の泌尿器用薬について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 ｐ２２４～ｐ２４９ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 該当するテキスト部分を読んで予習する事。対策問題集を解いて解答確認。 復習としては、該当する過去問正解を解いて解答確認。併せて別表５－１、５－２チェックする事。次回小テスト予定。 【予習復習に必要な想定時間】 200分、毎日30分
	第１２回	３－Ⅵ　婦人薬　　３－Ⅶ　内服アレルギー用薬（鼻炎用内服薬を含む）　　３－Ⅷ　鼻に用いる薬 【key words】 婦人薬。内服アレルギー用薬。鼻に用いる薬。

	【授業概要】 婦人薬―適用対象となる体質・症状。代表的な配合成分等、主な副作用。漢方処方製剤。相互作用、受診勧奨。 内服アレルギー用薬（鼻炎用内服薬を含む）－アレルギーの症状、薬が症状を抑える仕組み。代表的な配合成分等、主な副作用。生薬。漢方処方製剤。相互作用、受診勧奨。 鼻に用いる薬ー鼻炎の種類と鼻炎用薬。代表的な配合成分、主な副作用。相互作用、受診勧奨。について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 ｐ２５０～ｐ２７０ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 該当するテキスト部分を読んで予習。対策問題集を解いて解答確認。 復習としては、該当する過去問正解を解いて解答確認。併せて別表５－１、５－２チェック。次回小テスト予定。 【予習復習に必要な想定時間】 200分、毎日30分
第１３回	３－Ⅸ　眼科用薬　　３－Ⅹ　皮膚に用いる薬 【key words】 眼科用薬。眼科用薬の配合成分。皮膚に用いる薬。殺菌消毒成分。皮膚に用いる薬の配合成分。皮膚のトラブル。 【授業概要】 眼科用薬の種類。目の調節機能を改善する配合成分。目の充血、炎症を抑える配合成分。目の乾きを改善する配合成分。目の痒みを抑える配合成分。抗菌作用を有する配合成分。相互作用、受診勧奨。 外皮用薬の取り扱い。傷口等の殺菌消毒成分。受診勧奨。痒み、腫れ、痛み等を抑える配合成分。筋肉痛、関節痛、打撲、捻挫等による鎮痛等。筋肉痛、関節痛、肩こりに伴う肩の痛み、腰痛、腱鞘炎、肘の痛み（テニス肘等）、打撲、捻挫。受診勧奨。肌の角質化、かさつき等を改善する配合成分。抗菌作用を有する配合成分。抗真菌作用を有する配合成分。受診勧奨。頭皮・毛根に作用する配合成分。生薬について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 ｐ２７１～ｐ３０５ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 該当するテキスト部分を読んで予習。対策問題集を解いて解答確認。 復習としては、該当する過去問正解を解いて解答確認。併せて別表５－１、５－２チェック。次回小テスト予定。 【予習復習に必要な想定時間】 200分、毎日30分
第１４回	３－Ⅺ　歯や口中に用いる薬　　３－Ⅻ　禁煙補助剤　　３－XⅢ　滋養強壮保健薬 【key words】 歯や口中に用いる薬。禁煙補助剤。ビタミン成分。カルシウム成分、アミノ酸成分ほか。 【授業概要】 代表的な配合成分、主な副作用。生薬相互作用、受診勧奨。口内炎や舌炎の発生。代表的な配合成分、主な副作用。生薬、漢方薬。相互作用、受診勧奨。 喫煙習慣とニコチンに関する基礎知識。主な副作用。相互作用、禁煙達成へのアドバイス・受診勧奨。 医薬品として扱われる保健薬。ビタミン、カルシウム、アミノ酸等の働き、主な副作用、代表的な配合生薬等、主な副作用について学ぶ。、 【教科書ページ・参考文献】 ｐ３０６～ｐ３２４ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習として、該当するテキスト部分読み理解する事。該当する対策問題集を解いて解答確認。 復習としては、該当する対策問題集を解いて解答確認。併せて別表５－１、５－２チェック。次回小テスト予定。 【予習復習に必要な想定時間】 200分、毎日30分。
第１５回	３－XⅣ　漢方処方製剤・生薬製剤　　３－XⅤ　公衆衛生用薬　　３－XⅥ　一般用検査薬 【key words】 生薬成分、漢方処方製剤。漢方の特徴と考え方。代表的な漢方処方・生薬製剤。殺菌消毒薬の誤用・事故への対応。殺虫剤・忌避剤と衛生害虫。殺虫剤・忌避剤の成分と留意事項。尿糖・尿タンパク検査薬。妊娠検査薬。 【授業概要】 漢方の特徴・基本的な考え方。代表的な漢方処方製剤、適用となる症状・体質、主な副作用。相互作用、受診勧奨。生薬製剤について。代表的な生薬成分、主な副作用。相互作用、受診勧奨。感染症の防止と消毒薬。殺虫剤・忌避剤製品。衛生害虫の種類と防除。代表的な配合成分・用法、誤用・事故等への対処。一般用検査薬とは。販売時の留意点。検出感度，偽陰性・擬陽性・、妊娠の早期発見の意義、検査結果に影響を与える要因、検査結果の判断、受診勧奨。について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 ｐ３２５～ｐ３５４ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習としては、該当するテキスト部分を読み込み、対策問題集を解いて解答確認。復習としては、該当する過去問正解を解いて解答確認。併せて別表５－１、５－２チェック。 【予習復習に必要な想定時間】 200分、毎日30分
受講生に関わる情報および受講のルール	内容が広範囲で1回の授業の頁数が多いため、各自の予習復習が必要です。 登録販売者試験合格を目的としているので問題集を活用すること。 問題集の該当するところを必ず予習、復習で解く事。 問題集から小テストを10題程度行い問題に慣れるようにします。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード、小テスト。レポート提出。
授業外時間にかかわる情報	予習復習、過去問題など問題集の活用　1回の講義の範囲が広いため、事前学習を前提としている。 また、宿題を必ずやっておくこと。予習復習を必ず行うことが必要。毎日30分は必要です。

オフィスアワー	授業終了後30分、授業開始前30分
評価方法	原則として定期試験７０％、小テスト３０％　　参考として宿題提出及び出席日数
教科書	登録販売者試験テキスト＆要点整理
参考書	登録販売者試験対策問題集、全国登録販売者試験過去問正解
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 薬剤師として昭49より自営薬局にて調剤、OTC販売に関わり、また総合病院、刑務所等で調剤経験を有し、また登録販売者制度導入の折には、自営薬局の販売員を合格に導いた実務経験をもとに登録販売者について講じます。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク ■アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） ■情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称：　医療的ケアⅠ　　授業コード：J863

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	1単位(30)	介護福祉コース・福祉総合コース・介護福祉士実践コース・必修
担当教員			
福田　智久			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 医療職との連携の下で医療的ケアを安全・適切に実施できるよう、必要な知識・技術を修得することを目的とする。 【到達目標】 喀痰吸引等が医行為であることを踏まえ安全な実施に必要な知識・技術・価値を修得すること。喀痰吸引は医行為であるとともに、生活支援に必要な行為であることを認識する。
授業の概要	医療的ケアを実施するにあたり、なぜ介護福祉士は行うことになったのか、その歴史的背景を理解することが必要となる。医療的ニーズを理解し、専門職としての倫理を学ぶ。医療的ケアを行うものとしてのものの見方、考え方を養う。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	△
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	○
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	◎

授業計画	第１回　オリエンテーション　医療的ケアとは 【key words】 オリエンテーション　医療的ケア 【授業概要】 医療的ケアについて、どのようなことを学ぶか、授業概要を用いて説明する。 　医療的ケアを学ぶ目的について説明する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ２～６ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：授業概要、教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直しを行う 【予習復習に必要な想定時間】 第２回　医療的ニーズと歴史的背景　医療的ケアと法律 【key words】 医療的ニーズ　歴史的背景　医療的ケア　法律 【授業概要】 医療的ニーズと歴史的背景、医療的ケアと法律について学習する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ６～１１ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直し 【予習復習に必要な想定時間】 第３回　喀痰吸引等の安全な実施 【key words】 喀痰吸引等　安全な実施　介護職　医行為　教育・研修　記録　報告　連携 【授業概要】 喀痰吸引等を安全に実施できるように学習し、条件を理解する。 　記録と報告・連携の目的と方法について学習する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ１２～１９ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直し 【予習復習に必要な想定時間】 第４回　チーム医療 【key words】 保健医療制度　チーム医療　介護職の役割　職種間の役割・連携・協働 【授業概要】 医療的ケアに関する主な保健医療制度について学習する。 　チーム医療と介護職との連携について学習し、実践につなげられるよう理解を深める。

【教科書ページ・参考文献】
Ｐ２０～２８
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直し
【予習復習に必要な想定時間】

第５回　介護の倫理

【key words】
生活支援　尊厳　自立　倫理　権利　説明　同意　個人情報

【授業概要】
医行為ではあるが、日常生活を送る上で必要であるため、介護における生活支援を行う上での医療的ケアに　ついて学習する。
　介護倫理、医療倫理について学び、専門職として医療的ケアを実施する際の倫理・態度を学習する。
【教科書ページ・参考文献】
Ｐ２９～３５
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直し
【予習復習に必要な想定時間】

第６回　感染予防

【key words】
清潔　不潔　感染　感染予防　消毒　滅菌　介護職自身の健康管理　療養環境　消毒法　医療廃棄物

【授業概要】
医療における清潔とは何かを理解し、感染予防を実施できるように学習する。
　介護職が感染しないように、知識・技術について学習する。
【教科書ページ・参考文献】
Ｐ４６～６０
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直し、次回はジャージ着用
【予習復習に必要な想定時間】

第７回　清潔・無菌操作（演習）

【key words】
清潔操作　無菌操作　手洗い　手指消毒　うがい　マスクの着脱　手袋の着脱　滅菌手袋の着脱　セッシの取り扱い　滅菌吸引チューブの取り扱い

【授業概要】
清潔操作、無菌操作について学び、確実に実践できるように演習を通して学習する。
【教科書ページ・参考文献】
Ｐ４６～６０
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直し、清潔操作・無菌操作の練習
【予習復習に必要な想定時間】

第８回　健康状態の把握

【key words】
健康　観察　バイタルサイン　バイタルサイン測定　正常と異常　記録　急変時の対応

【授業概要】
健康状態を把握できるよう観察項目を理解し、バイタルサイン測定を実施できるように学習する。
　急変状態について理解し、急変時の対応について学習する。
【教科書ページ・参考文献】
Ｐ３６～４５
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直し、次回はジャージ着用
【予習復習に必要な想定時間】

第９回　バイタルサイン測定（演習）

【key words】
バイタルサイン測定　体温　脈拍　呼吸数　ＳｐＯ2　血圧

【授業概要】
バイタルサイン測定について学び、確実に実践できるように演習を通して学習する。
【教科書ページ・参考文献】
Ｐ３６～４５
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直し
【予習復習に必要な想定時間】

第１０回　呼吸の働き

【key words】
生命維持　呼吸のしくみ　呼吸の働き　換気　ガス交換　正常な呼吸　異常な呼吸

【授業概要】
呼吸のしくみと働きと理解し、いつもと違う呼吸状態について把握できるように学習する。
【教科書ページ・参考文献】
Ｐ６１～６４
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直し、次回はジャージ着用
【予習復習に必要な想定時間】

第１１回　呼吸に関連した苦痛と障害

【key words】
呼吸困難　姿勢の体験

	【授業概要】 呼吸困難とはどのような状況なのか理解し、どのような対応が必要になるか学ぶ。 　呼吸困難に関連する姿勢につて、演習を通して学習する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ６４～６５ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直し 【予習復習に必要な想定時間】 第１２回　喀痰吸引とは 【key words】 喀痰吸引　痰　咳　誤嚥性肺炎　呼吸器系感染　喀痰吸引時のトラブル 【授業概要】 喀痰吸引とは何かを学び、どのような場面で必要になるのか、また喀痰吸引により生じる危険について学習する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ６５～６９ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直し 【予習復習に必要な想定時間】 第１３回　人工呼吸器 【key words】 人工呼吸療法　人工呼吸器　気管カニューレ　医師・看護師との連携 【授業概要】 呼吸を助ける人工呼吸療法と人工呼吸器について学習する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ６９～７６ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直し 【予習復習に必要な想定時間】 第１４回　吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応 【key words】 利用者の気持ち　家族の気持ち　説明 【授業概要】 グループワークを通して、利用者・家族の気持ちを理解し、どのように説明をすれば良いか学習する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ７６～７９ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直し 【予習復習に必要な想定時間】 第１５回　喀痰吸引を必要とする利用者の日常生活におけるケア　　まとめ 【key words】 環境整備　ハッフィング法　痰を出しやすくするケア 【授業概要】 喀痰吸引を実施している人の日常生活におけるケアを学習する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ７９～８１ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直し 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	私語や携帯電話の使用といった迷惑行為は慎むこと。演習等は、学校指定のジャージを必ず着用すること。本講義内容は生命の安全に関わることを理解し真剣・積極的に取り組むこと
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	テキストに付いているDVDを観て、手順や留意点について自己学習をする。
オフィスアワー	授業終了後３０分。
評価方法	定期テストの結果、出席状況、授業態度も含めて総合的に評価する。
教科書	柊崎京子・荏原順子　編著　：　介護福祉士養成課程・介護職等のための医療的ケア、建帛社
参考書	印刷資料等。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 大学病院等での看護業務（外来、手術室、急性期病棟、慢性期病棟）などの勤務経験がある。 新人指導や看護実習生への実習指導、また、救急法の普及のための指導を行っていた。 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション

	■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称：　社会福祉特講Ⅰ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	単位	選択
担当教員			
柳澤　充			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 社会福祉士国家試験に向けた学習方法を自分なりに把握することを目的とする。また、編入後の学びが円滑に進むようにすることを目的とする。 【到達目標】 社会福祉士国家試験に向けて、自主的・主体的な学習方法を形成し、継続して学習する習慣を身につける。自身が作成した解説を用い、他者に説明することができる。月例テストを行うことで、学びが身についているのかを自身で判断できる。
授業の概要	ソーシャルワーカーが活躍する場と仕事内容を各々調べ他者に説明した後、既習科目を中心に学習していく。社会福祉士国家試験に合格するための基礎的学習方法と基礎的学力の向上を図るため、過去問を解いた上で、自身で解説を作成し他者に発表する。月に1回、月例テストを行う。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	◎
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	

授業計画	第１回	オリエンテーション（授業ガイダンス、国家試験の傾向と対策） 【key words】 社会福祉士国家試験、国試合格率、勉強方法、ソーシャルワーカーの職場 【授業概要】 授業の進め方について説明する。社会福祉士国家試験の概要や合格率などを説明する。ソーシャルワーカーの職場について第3回～第5回で発表するため、担当を決める。 【教科書ページ・参考文献】 『見て覚える社会福祉士国試ナビ』該当ページ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキストの該当ページを予め一読し、質問などがあればメモしておくこと。第3回～第5回で発表するためのパワーポイントの作成を始めること。 【予習復習に必要な想定時間】 予習30分　課題60分
	第２回	学習目標、学習計画の立案 【key words】 学習目標、学習計画 【授業概要】 高校時代、大学前期の勉強方法を振り返り、国家試験の勉強のために自身がしなければならないこと、できること、を考え、1年次～2年次の学習計画を立案する。 【教科書ページ・参考文献】 配布プリントあり。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 次回までに発表用パワーポイントを用意すること。 【予習復習に必要な想定時間】 課題60分
	第３回	ソーシャルワーカーが活躍する場、仕事内容　第1回 【key words】 ソーシャルワーカーの職場 【授業概要】 調べ学習・発表　3回に分けて実施する（1回につき数人が発表。受講人数により1回あたりの発表人数、発表時間を決める） 【教科書ページ・参考文献】 発表用パワーポイントを受講人数＋教員分印刷し配布すること。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 発表された職場について、自身で再度調べてみること。 【予習復習に必要な想定時間】 復習60分
	第４回	ソーシャルワーカーが活躍する場、仕事内容　第2回 【key words】 ソーシャルワーカーの職場

【授業概要】
調べ学習・発表　3回に分けて実施する（1回につき数人が発表。受講人数により1回あたりの発表人数、発表時間を決める）
【教科書ページ・参考文献】
発表用パワーポイントを受講人数＋教員分印刷し配布すること。
【課題・予習・復習・授業準備指示】
発表された職場について、自身で再度調べてみること。
【予習復習に必要な想定時間】
復習60分

第５回　ソーシャルワーカーが活躍する場、仕事内容　第3回
【key words】
ソーシャルワーカーの職場

【授業概要】
調べ学習・発表　3回に分けて実施する（1回につき数人が発表。受講人数により1回あたりの発表人数、発表時間を決める）
【教科書ページ・参考文献】
発表用パワーポイントを受講人数＋教員分印刷し配布すること。
【課題・予習・復習・授業準備指示】
発表された職場について、自身で再度調べてみること。社会福祉士国家試験直近試験問題の「人体の構造及び疾病」をプリントアウトし、予め問題を解いておくこと。
【予習復習に必要な想定時間】
予習60分　復習60分

第６回　人体の構造と機能及び疾病（7問）　2回に分けて実施する
【key words】
人体の構造と機能及び疾病（7問）
【授業概要】
「人体の構造と機能及び疾病」7問中前半3問の答えの解説作りを行う。
【教科書ページ・参考文献】
『見て覚える社会福祉士国試ナビ』該当ページ、その他必要と思われるテキスト等を持参すること。
【課題・予習・復習・授業準備指示】
解説書作りが授業中に終わらなかった場合には、次回までに仕上げてくること。
【予習復習に必要な想定時間】
予習60分　復習60分

第７回　人体の構造と機能及び疾病（7問）　2回に分けて実施する
【key words】
人体の構造と機能及び疾病（7問）

【授業概要】
「人体の構造と機能及び疾病」7問中後半4問の答えの解説作りを行う。
【教科書ページ・参考文献】
『見て覚える社会福祉士国試ナビ』該当ページ、その他必要と思われるテキスト等を持参すること。
【課題・予習・復習・授業準備指示】
解説書作りが授業中に終わらなかった場合には、次回までに仕上げてくること。社会福祉士国家試験直近試験問題の「心理学理論と心理的支援」をプリントアウトし、予め問題を解いておくこと。
【予習復習に必要な想定時間】
予習60分　復習60分

第８回　心理学理論と心理的支援（7問中）　2回に分けて実施する
【key words】
心理学理論と心理的支援

【授業概要】
「心理学理論と心理的支援」7問中前半3問の答えの解説作りを行う。
【教科書ページ・参考文献】
『見て覚える社会福祉士国試ナビ』該当ページ、その他必要と思われるテキスト等を持参すること。
【課題・予習・復習・授業準備指示】
解説書作りが授業中に終わらなかった場合には、次回までに仕上げてくること。「人体の構造と機能及び疾病」7問の解説を授業開始冒頭に提出すること。
【予習復習に必要な想定時間】
予習60分　復習60分

第９回　心理学理論と心理的支援（7問中）　2回に分けて実施する
【key words】
心理学理論と心理的支援

【授業概要】
「心理学理論と心理的支援」7問中後半4問の答えの解説作りを行う。
【教科書ページ・参考文献】
『見て覚える社会福祉士国試ナビ』該当ページ、その他必要と思われるテキスト等を持参すること。
【課題・予習・復習・授業準備指示】
解説書作りが授業中に終わらなかった場合には、次回までに仕上げてくること。
【予習復習に必要な想定時間】
予習60分　復習60分

第１０回　月例テスト①（人体の構造と機能及び疾病、心理学理論と心理的支援）
【key words】
月例テスト
【授業概要】
「人体の構造と機能及び疾病」、「心理学理論と心理的支援」の過去2年分のテスト

	【教科書ページ・参考文献】 テスト時間中は持ち込み禁止。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 「人体～」と「心理～」の2科目、直近とその前年度の2年分をプリントアウトし月例テストに臨むこと。「心理学理論と心理的支援」7問の解説を授業開始冒頭に提出すること。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習60分
	第１１回　高齢者に対する支援と介護保険制度（10問）　2回に分けて実施する 【key words】 高齢者に対する支援と介護保険制度 【授業概要】 「高齢者に対する支援と介護保険制度」10問中前半5問の答えの解説作りを行う。 【教科書ページ・参考文献】 『見て覚える社会福祉士国試ナビ』該当ページ、その他必要と思われるテキスト等を持参すること。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 社会福祉士国家試験直近試験問題の「高齢者に対する支援と介護保険制度」をプリントアウトし、予め問題を解いておくこと。解説書作りが授業中に終わらなかった場合には、次回までに仕上げてくること。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習60分
	第１２回　高齢者に対する支援と介護保険制度（10問）　2回に分けて実施する 【key words】 高齢者に対する支援と介護保険制度 【授業概要】 「高齢者に対する支援と介護保険制度」10問中後半5問の答えの解説作りを行う。 【教科書ページ・参考文献】 『見て覚える社会福祉士国試ナビ』該当ページ、その他必要と思われるテキスト等を持参すること。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 解説書作りが授業中に終わらなかった場合には、次回までに仕上げてくること。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習60分
	第１３回　相談援助の基盤と専門職（7問）　2回に分けて実施する 【key words】 相談援助の基盤と専門職 【授業概要】 「相談援助の基盤と専門職」7問中前半3問の答えの解説作りを行う。 【教科書ページ・参考文献】 『見て覚える社会福祉士国試ナビ』該当ページ、その他必要と思われるテキスト等を持参すること。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 社会福祉士国家試験直近試験問題の「相談援助の基盤と専門職」をプリントアウトし、予め問題を解いておくこと。「高齢者に対する支援と介護保険制度」10問の解説を授業開始冒頭に提出すること。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習60分
	第１４回　相談援助の基盤と専門職（7問）　2回に分けて実施する 【key words】 相談援助の基盤と専門職 【授業概要】 「相談援助の基盤と専門職」7問中後半4問の答えの解説作りを行う。 【教科書ページ・参考文献】 『見て覚える社会福祉士国試ナビ』該当ページ、その他必要と思われるテキスト等を持参すること。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 解説書作りが授業中に終わらなかった場合には、次回までに仕上げてくること。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習60分
	第１５回　月例テスト②（高齢者に対する支援と介護保険制度、相談援助の基盤と専門職） 【key words】 月例テスト 【授業概要】 「高齢者に対する支援と介護保険制度」、「相談援助の基盤と専門職」の過去2年分のテスト 【教科書ページ・参考文献】 テスト時間中は持ち込み禁止。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 「高齢～」と「相談～」の2科目、直近とその前年度の2年分をプリントアウトし月例テストに臨むこと。「相談援助の基盤と専門職」7問の解説を授業開始冒頭に提出すること。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習60分
受講生に関わる情報および受講のルール	〔受講生に関わる情報〕 本学学部への編入を考え、将来社会福祉士または精神保健福祉士の資格取得を目指す学生は受講することが望ましい。 〔受講のルール〕各回において、最新の国家試験該当科目をプリントアウトし持参すること。各回の該当科目のテキスト、ノート等を用意すること。各回の事前に最新の国試該当科目を解いておくこと。授業内で解答の解説作りを行う。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード

授業外時間にかかわる情報	各回の事前に最新の国試該当科目を解いておくこと。授業内で解答の解説作りを行う。授業内で作り終えない場合には、原則翌週までに提出すること。授業内容に該当する授業科目の教科書を事前に通読しておくこと。授業で学習した内容は、その日のうちにしっかりと理解するように努めること。学内模試が行われる場合には、参加すること。
オフィスアワー	月曜日8時20分～10時30分　水曜日8時20分～10時30分
評価方法	試験またはレポート40%、月例テスト・まとめテスト30%、課題への取り組み・提出物など30%
教科書	いとう総研資格取得支援センター 『見て覚える社会福祉士国試ナビ』（中央法規）最新版。最新の国家試験問題。該当科目のテキスト、ノート、用語辞典、参考書など該当科目問題の解説作りに活用できるもの全て
参考書	過去問題集など、適宜紹介する
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 障害者団体、病院、在宅介護支援センター、ホームレス支援施設などでソーシャルワーカーとしての実務経験があり、現在も社会福祉士事務所代表として成年後見受任事業などを行っている。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等) □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等) ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等) □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称：　総合演習　　授業コード：J5　J6　J7

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	2年次	2単位(60)	必修
担当教員			
清水　久二雄・土屋　昭雄・辻　志帆			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 　本学の建学の精神に基づき、社会人になるにあたって、また、人間としての社会適応能力、基礎的教養力、自立的実践能力等を身に付けることを目的とする。 【到達目標】 ①人格形成・人格力の向上 　②諸能力の向上〔文章力、コミュニケーション能力、問題解決能力等〕を図り、専門職としての素養を身に付ける
授業の概要	建学の精神・教育理念に則り、様々な事柄への取り組み、諸活動等への参加〔含準備〕することで、社会適応能力、問題解決能力の向上を図り、福祉専門職者として、また人としての基本的なマインドを醸成する。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	○
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	◎
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	△
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	

授業計画	第１回　建学の精神と実践教育プログラム：前期オリエンテーション・学長訓話・各教員からの伝達、諸連絡 第２回　建学の精神と実践教育プログラム：委員会活動について 第３回　心身の健康プログラム：親睦スポーツ大会準備 第４回　建学の精神と実践教育プログラム：委員会活動について〔グループ討議〕 第５回　進路・資格取得プログラム：進路決定に向けた指導及び三者面談について 第６回　進路・資格取得プログラム：作文試験〔就職関連業者試験〕 第７回　地域貢献プログラム：昌賢祭について 第８回　進路・資格取得プログラム：卒業生講話 第９回　学習統合プログラム：レポート作成 第１０回　進路・資格取得プログラム：施設職員講話 第１１回　学習統合プログラム：租税教室 第１２回　学習統合プログラム：レポート作成 第１３回　学習統合プログラム：短期大学部での学びについての振り返りおよび今後の取り組みについて 第１４回　建学の精神と実践教育プログラム：委員会活動報告 第１５回　前期総括 第１６回　建学の精神と実践教育プログラム：後期オリエンテーション・学長訓話・委員会活動について

	第１７回　　地域貢献プログラム：昌賢祭準備〔テーマ策定、研究班編成〕 第１８回　　地域貢献プログラム：昌賢祭準備〔発表内容検討〕 第１９回　　地域貢献プログラム：昌賢祭準備〔研究発表準備〕 第２０回　　地域貢献プログラム：昌賢祭準備〔研究発表準備〕 第２１回　　地域貢献プログラム：昌賢祭準備〔研究発表準備〕 第２２回　　地域貢献プログラム：昌賢祭準備〔研究発表準備〕 第２３回　　地域貢献プログラム：昌賢祭の振り返り〔グループ討議〕 第２４回　　進路・資格取得プログラム：老施協研究発表について・諸準備 第２５回　　卒業アルバム写真撮影：個人写真 第２６回　　卒業アルバム写真撮影：グループおよび授業風景写真 第２７回　　学習統合プログラム：コミュニケーション能力向上に向けた取り組み 第２８回　　建学の精神と実践教育プログラム：委員会活動報告 第２９回　　進路・資格取得プログラム：介護福祉士会入会説明および入会手続き 第３０回　　総合演習総括
受講生に関わる情報および受講のルール	総合演習は、本学における人間教育の要となる主要科目である。そのことを理解、認識したうえで、授業、諸行事に臨むこと。 また、受講態度についても、本学の学生としてふさわしい態度・姿勢で臨み、積極的に物事を遂行すること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	授業外での取り組み事項、委員会活動などについても、本科目と密接に関係していることを十分に認識のうえ、計画的・積極的に取り組むこと。
オフィスアワー	各クラス担任に確認すること。
評価方法	演習に対する取り組み〔70%〕、提出物〔30%〕
教科書	鈴木利定・中田勝著『成有一徳』中央法規出版,2002年
参考書	『基礎演習テキスト』群馬医療福祉大学,2012年　・　学習技術研究会『知へのステップ』くろし出版,2002年、その他は適宜紹介する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） ■情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用

	□ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 英語Ⅰ　　授業コード：J151

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年次	2単位(30)	福祉総合コース・選択
担当教員			
ｸﾞｼﾞｪﾋﾞｯｸ･ﾏﾚｸ			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	受講生は初歩的で実際的な英語の知識を次の事柄に関連して習得する。 （1）学生は単語同士がつながった場合の発音、文の中でのアクセント、イントネーションができる。 （2）語彙－学生は人間関係と社会に関する基本的な言葉と語句を使える。 （3）機能的な言語の構造－学生はさまざまな社会生活の場面で相手の人が反応してくれて、意思の疎通がはかれるようになる。 （4）文法－学生は英語の文法の基本的な原則を理解できる。
授業の概要	自己紹介、自分の趣味や興味のあること、学校や仕事の話をする場面、自分の願いや計画を述べたり、能力を表す言い方、前の出来事を表す言い方、提案をしたり、約束をする場面などが扱われる。さまざまな方法でこうした事柄を表す言い方を勉強する。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	◎
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	△
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	○

授業計画	第１回	Introductions 【key words】 practical, universal 【授業概要】 Orientation. Introducing people; self-introduction 【教科書ページ・参考文献】 pp. 1-3 【課題・予習・復習・授業準備指示】 pp. 4-6; names of coutries 【予習復習に必要な想定時間】
	第２回	Pastimes and Hobbies 【key words】 hobby, interest country, nationality 【授業概要】 Describing other people Talking about one's hobbies and interests 【教科書ページ・参考文献】 pp. 7-9, 11, 12 【課題・予習・復習・授業準備指示】 pp. 10, 13-15 【予習復習に必要な想定時間】
	第３回	Making Offers 【key words】 offer, treat, hospitality 【授業概要】 Talking about favorite activities; how often? offering something to drink or to eat 【教科書ページ・参考文献】 pp. 13, 14; 18, 19 【課題・予習・復習・授業準備指示】 pp. 16, 17 【予習復習に必要な想定時間】
	第４回	Expressing Desires. Making suggestions 【key words】 intention, wish, desire 【授業概要】 Traveling to favorite places Doing things together -suggestions 【教科書ページ・参考文献】 pp. 16, 17, 20 【課題・予習・復習・授業準備指示】 pp. 21, 22

【予習復習に必要な想定時間】

第５回　Invitations

【key words】
invitation, purpose, reason
【授業概要】
Inviting others to do something together
Names of meals and dishes
【教科書ページ・参考文献】
pp. 25, 26
【課題・予習・復習・授業準備指示】
pp. 23, 24
【予習復習に必要な想定時間】

第６回　The World of Work

【key words】
job, position, occupation
【授業概要】
Asking people about their occupations
Talking about one's own job or acrivities
【教科書ページ・参考文献】
pp. 27, 28
【課題・予習・復習・授業準備指示】
pp. 29, 30
【予習復習に必要な想定時間】

第７回　Describing a Job

【key words】
responsible, tiring, repetitive
【授業概要】
Talking about the work of other people
Saying what it is like, what it involves
【教科書ページ・参考文献】
pp. 31, 32
【課題・予習・復習・授業準備指示】
p.34 -Review of Present Continuous Tense
【予習復習に必要な想定時間】

第８回　What Are They Doing?

【key words】
now, soon, arrangement
【授業概要】
Action happening now or soon; appointments
Telling the time
【教科書ページ・参考文献】
pp. 33, 34
【課題・予習・復習・授業準備指示】
p.35
【予習復習に必要な想定時間】

第９回　Talking About One's Plans

【key words】
count, uncount, furniture, gadget
【授業概要】
Expressing one's plans -be going to do something
Making a shopping list
【教科書ページ・参考文献】
pp. 36, 37
【課題・予習・復習・授業準備指示】
p.38 -Preparing a party
【予習復習に必要な想定時間】

第１０回　Ability and Lack of It

【key words】
ability, skill
well, a little, not at all
【授業概要】
What people can do; How well can they do it?
Expressing lack of ability
【教科書ページ・参考文献】
pp. 39, 40
【課題・予習・復習・授業準備指示】
pp. 41, 42
【予習復習に必要な想定時間】

第１１回　Natural Disasters

【key words】
possibility, permission, prohibition
【授業概要】
Talking about natural disasters;
How to behave when one strikes
【教科書ページ・参考文献】
pp. 43, 44
【課題・予習・復習・授業準備指示】
p.45 -Expressing obligation or responsibility
【予習復習に必要な想定時間】

第１２回　It happened some time ago. I did it last week.

【key words】

	past, last, ago 【授業概要】 Talking about past events and experiences; when it happened, where, how? 【教科書ページ・参考文献】 pp. 46-48 【課題・予習・復習・授業準備指示】 p. 49, 50 -Irregular past forms 【予習復習に必要な想定時間】 第１３回　Which Is Better? Which Is Best? 【key words】 good better best 【授業概要】 Comparison of short adjectives; irregular forms; Talking about geography and nature 【教科書ページ・参考文献】 pp. 51, 52 【課題・予習・復習・授業準備指示】 p.54 -Review of Present Perfect Simple Tense 【予習復習に必要な想定時間】 第１４回　Touring the States -Have You Ever Been There? 【key words】 already, yet, so far, ever, never 【授業概要】 Describing a result of a completed action; some interesting places of the USA 【教科書ページ・参考文献】 p.53 【課題・予習・復習・授業準備指示】 p.55 - Irregular Past Participle Forms 【予習復習に必要な想定時間】 第１５回　General Review and Test Preparaton 【key words】 Review, preparation 【授業概要】 English verb forms -how used; English auxiliaries -review 【教科書ページ・参考文献】 pp. 1-55 【課題・予習・復習・授業準備指示】 pp. 1-55 -boxes "Review" and "Vocabulary and Practice" 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	会話のコースなので、次の点がとても重要。 ●授業に出席すること ●授業の事柄を準備すること ●練習に参加すること
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	オリエンテーション時に指示する。
オフィスアワー	授業終了後30分
評価方法	1.学んだ語彙と文法に関する定期試験の成績（70%） 2.授業へ積極的に参加しているかという点から総合的に評価する（30%）
教科書	『By Way of Review. A Short Course of English for University Students』グジェビック・マレク著(2021)
参考書	授業時に指示する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用

	■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 英語Ⅱ　　授業コード： J154

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年次	2単位(30)	福祉総合コース・選択
担当教員			
ｸﾞｼﾞｪﾋﾞｯｸ･ﾏﾚｸ			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	受講生は初歩的で実際的な英語の知識を次の事柄に関連して習得する。 （1）学生は単語同士がつながった場合の発音、文の中でのアクセント、イントネーションができる。 （2）語彙－学生は人間関係と社会に関する基本的な言葉と語句を使える。 （3）機能的な言語の構造－学生はさまざまな社会生活の場面で相手の人が反応してくれて、意思の疎通がはかれるようになる。 （4）文法－学生は英語の文法の基本的な原則を理解できる。
授業の概要	自己紹介、自分の趣味や興味のあること、学校や仕事の話をする場面、自分の願いや計画を述べたり、能力を表す言い方、前の出来事を表す言い方、提案をしたり、約束をする場面などが扱われる。さまざまな方法でこうした事柄を表す言い方を勉強する。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	◎
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	△
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	○

授業計画	第１回　オリエンテーション　Self-introduction. Meeting People（自己紹介、他の人を紹介すること） 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第２回　Pastimes and Hobbies（他の人について話す、趣味・興味） 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第３回　Would You Like One?（提供すること） 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第４回　I Feel Like Doing It（提案すること、意図・意思を表す） 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第５回　Let’s Do It Together!（招待する、理由を説明すること） 【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第６回　Jobs and Occupations（仕事について話す）

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第７回　What Do You Do?（仕事の描写をすること、意見を表現すること）

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第８回　Look! What Is He Doing?（いまのところ起こる活動、時間を数える）

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第９回　What Are You Going to Be?（自分の経験について話す）

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第１０回　Can You Read It?（能力を表す、能力不足を表す）

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第１１回　When a Big One Strikes（可能性を、許可・同意する）

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第１２回　The Last Trip to Tokyo（昔の出来事・経験について話す）

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第１３回　A Game of Tennis（どちらが良い？どちらが一番良い？）

【key words】

	【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第１４回　Touring the States（アメリカ(USA)を旅行する。行ったことがありますか？） 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第１５回　General review and test preparation（一般的な復習と試験の準備） 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	会話のコースなので、次の点がとても重要。 ●授業に出席すること ●授業の事柄を準備すること ●練習に参加すること
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	オリエンテーション時に指示する。
オフィスアワー	授業終了後30分
評価方法	1.学んだ語彙と文法に関する定期試験の成績（70%） 2.授業へ積極的に参加しているかという点から総合的に評価する（30%）
教科書	『By Way of Review. A Short Course of English for University Students』グジェビック・マレク著(2021)
参考書	授業時に指示する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 障害者スポーツ　　授業コード： J169

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年次	1単位(30)	介護福祉コース・福祉総合コース・選択
担当教員			
櫻井　秀雄			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 障がい者が豊かな生活を送るために、障がい者スポーツを理解して支援･援助できる知識･技能を習得することを目的とする。 【到達目標】 ①障がい者スポーツの意味、特性、支援･援助方法を理解できる。 ②障がい区分に応じた基本的な支援･援助技法を身に身につけることができる。 ③障がい者スポーツ指導員としての資質を身につけ、スポーツを生活の中で親しめることができる。
授業の概要	【求められる指導者像】 ①障がいや障がい者スポーツ、安全管理等に関する基礎的な知識や障がい者に対応するための基本的な技術を持ち、地域に住む障がい者を運動やスポーツへと導く。 ②プレーヤーに運動やスポーツの楽しさ、基本的な運動のしかたやその意義や価値を伝える。 ③地域の大会や行事に積極的に参加し、指導員組織の事業にも積極的に参加し、地域の障がい者スポーツ振興を支える。 ④中級障がい者スポーツ指導員資格取得をめざすなど自己研鑽を積むようにする。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	◎
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	△
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	○
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	

授業計画	第１回	科目オリエンテーション：スポーツのインテグリティと指導者にもとめられる資質 【key words】 障がい者　スポーツ　指導者　ボランティア 【授業概要】 スポーツにおけるインテグリティを理解し、プレイヤーズファーストの視点や、プレイヤーとともに学び続ける姿勢について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書：新版障がい者スポーツ指導教本（初級・中級） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 障がい者スポーツの意義や理念について学んでおく。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第２回	障がい者スポーツの意義と理念 【key words】 障がい者スポーツ　意義　理念 【授業概要】 障がい者にとってのスポーツの意義と理念を理解しする。 【教科書ページ・参考文献】 教科書：新版障がい者スポーツ指導教本（初級・中級） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 全国障がい者スポーツ大会について学んでおく。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第３回	全国障がい者スポーツ大会の概要 【key words】 全国障がい者スポーツ大会　歴史　意義 【授業概要】 全国障がい者スポーツ大会の基本理念など大会の概要、開催の目的、意義について学び、大会がスポーツ未経験者や初心者のスポーツ参加の動機づけになっていること、地域のスポーツ振興を進める契機となっていることを学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書：新版障がい者スポーツ指導教本（初級・中級） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 障がい者のサークルやスポーツ活動情報を調べておく。 【予習復習に必要な想定時間】

60分
第４回　障がいのある人との交流（第１回目）
【key words】
障がい者　スポーツ　コミュニケーション　障がいの理解
【授業概要】
スポーツ活動をしている障がい当事者の体験談を聞いたり、スポーツ活動の現場に出向き障がい者とのふれあいを体験する。

【教科書ページ・参考文献】
教科書：新版障がい者スポーツ指導教本（初級・中級）
【課題・予習・復習・授業準備指示】
交流内容をまとめておく。
【予習復習に必要な想定時間】
60分
第５回　障がいのある人との交流（第２回目）
【key words】
障がい者　スポーツ　コミュニケーション　障がいの理解
【授業概要】
スポーツ活動をしている障がい当事者の体験談を聞いたり、スポーツ活動の現場に出向き障がい者とのふれあいを体験する。

【教科書ページ・参考文献】
教科書：新版障がい者スポーツ指導教本（初級・中級）
【課題・予習・復習・授業準備指示】
交流内容をまとめておく
【予習復習に必要な想定時間】
60分
第６回　障がい者スポーツ推進の取り組み
【key words】
スポーツ振興施策　障がい者スポーツ指導員
【授業概要】
資格を取得した後に、地域で行われている教室や大会等へ積極的に関われるよう、地域の障がい者スポーツ振興の現状を学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
教科書：新版障がい者スポーツ指導教本（初級・中級）
【課題・予習・復習・授業準備指示】
障がい者との交流と合わせてまとめておく。
【予習復習に必要な想定時間】
60分
第７回　障がい者スポーツに関する諸施策
【key words】
スポーツ基本法　スポーツ推進計画　総合型地域スポーツクラブ

【授業概要】
我が国の障がい者福祉施策（障がい者手帳を含む）および障がい者スポーツに関する施策（スポーツ基本法やスポーツ基本計画など）について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
教科書：新版障がい者スポーツ指導教本（初級・中級）
【課題・予習・復習・授業準備指示】
スポーツの安全管理について学んでおく。
【予習復習に必要な想定時間】
60分
第８回　安全管理
【key words】
スポーツ　安全　救急法

【授業概要】
スポーツを実施する際の安全管理の基本的な項目と内容を学ぶ。（ヒヤリハットや指導者の安全配慮義務、ＡＥＤ、応急手当など）
【教科書ページ・参考文献】
教科書：新版障がい者スポーツ指導教本（初級・中級）
【課題・予習・復習・授業準備指示】
身近なスポーツ活動場所の安全について4確認しておく。
【予習復習に必要な想定時間】
60分
第９回　各障がいの理解（身体障がい者①）
【key words】
身体障がい　肢体不自由

【授業概要】
身体障がいの主なる特性や、実際のスポーツ活動場面で活かせる身体障がいに関する知識と指導上の留意点をや配慮を身につける。
【教科書ページ・参考文献】
教科書：新版障がい者スポーツ指導教本（初級・中級）
【課題・予習・復習・授業準備指示】
身体障がいの特性（肢体不自由）をまとめておく。
【予習復習に必要な想定時間】
60分
第１０回　各障がいの理解（身体障がい者②）
【key words】
身体障がい　視覚障がい　聴覚障がい　内部障がい

	【授業概要】 身体障がいの主なる特性や、実際のスポーツ活動場面で活かせる身体障がいに関する知識と指導上の留意点をや配慮を身につける。 【教科書ページ・参考文献】 教科書：新版障がい者スポーツ指導教本（初級・中級） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 身体障がいの特性（視覚、聴覚、内部）をまとめておく 【予習復習に必要な想定時間】 60分 第１１回　各障がいの理解（知的障がい者） 【key words】 知的障がい 【授業概要】 知的障がいの主なる特性や、実際のスポーツ活動場面で活かせる知的障がいに関する知識と指導上の留意点をや配慮を身につける。 【教科書ページ・参考文献】 教科書：新版障がい者スポーツ指導教本（初級・中級） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 知的障がいの特性をまとめておく 【予習復習に必要な想定時間】 60分 第１２回　各障がいの理解（精神障がい者） 【key words】 精神障がい 【授業概要】 精神障がいの主なる特性や、実際のスポーツ活動場面で活かせる精神障がいに関する知識と指導上の留意点をや配慮を身につける。 【教科書ページ・参考文献】 教科書：新版障がい者スポーツ指導教本（初級・中級） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 精神障がいの特性（視覚、聴覚、内部）をまとめておく 【予習復習に必要な想定時間】 60分 第１３回　各障がいのスポーツ指導上の留意点と工夫（第１回目） 【key words】 障がい　用具　ルール 【授業概要】 障害のある人がスポーツやレクリエーションを安全に楽しむためのルール・用具の工夫や指導員としての留意点、接し方について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書：新版障がい者スポーツ指導教本（初級・中級） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 実技を伴うのでジャージなど動きやすい服装で参加すること。 【予習復習に必要な想定時間】 60分 第１４回　各障がいのスポーツ指導上の留意点と工夫（第２回目） 【key words】 障がい　用具　ルール 【授業概要】 障害のある人がスポーツやレクリエーションを安全に楽しむためのルール・用具の工夫や指導員としての留意点、接し方について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書：新版障がい者スポーツ指導教本（初級・中級） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 実技を通じて学習したことをまとめておくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 60分 60分 第１５回　まとめ：コミュニケーションスキルの基礎 【key words】 障がい者　指導者　コミュニケーション 【授業概要】 障がい者スポーツ指導者として必要なコミュニケーションスキルやソーシャルスキルの基礎を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書：新版障がい者スポーツ指導教本（初級・中級） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 障がい者スポーツ指導者として学んだことをまとめておく。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
受講生に関わる情報および受講のルール	〔受講者に関する情報〕 ・障がい者の生活支援を念頭に置き、真摯な態度で受講する。 ・実技は運動着、運動靴、メモの用意をする。 〔受講のルール〕 ・着替え等は迅速にして授業の用具準備をおこなう。 ・教材の整頓、会場の清掃は全員で協力しておこなう。
毎回の授業に関する	コメントカード

質問や学習の進捗状況の確認方法	
授業外時間にかかわる情報	施設実習や障がい者へのボランティア活動をとおして、障がい者スポーツの情報を収集しておく。
オフィスアワー	木曜日　13:00～16:00　　他の時間帯の希望のときはアポイントを取っていただく
評価方法	筆記試験･レポート試験（70%）　実技試験（30%）の総合評価
教科書	日本障がい者スポーツ協会編：新盤障がい者スポーツ教本（初級・中級）：ぎょうせい：令和２年
参考書	井田朋宏：NO　LIMIT（障がい者スポーツ情報誌）：日本障がい者スポーツ協会：2020（年4回発刊）
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 公立学校教諭（保健体育）21年、管理職6年、群馬県教育委員会スポーツ振興課課長補佐（生涯スポーツ）6年、群馬県知事部局障害福祉・社会福祉・保健福祉課（群馬県社会福祉事業団）・群馬県立ふれあいスポーツプラザ：障がい者スポーツ指導5年：全国知的障がい者スポーツ大会（ゆうあいピック）、全国障がい者スポーツ大会等の群馬県選手団の育成指導、群馬県障がい者スポーツ大会運営、障がい者スポーツ指導者養成等をおこなう。群馬県障がい者スポーツ指導者協議会会長（現在） アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 ■e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称：　医療情報処理演習Ⅱ　　授業コード：J553

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年次	2単位(60)	医療事務・秘書コース・必修
担当教員			
桐生　孝史			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	①医療秘書に求められる診療録の記録ができる。 ②医療秘書に求められる診療録の管理ができる。 ③電子カルテの運用の実践が理解できる。
授業の概要	日医標準レセプトソフト（ORCA）を用いて診療録の記録や管理業務の演習。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	◎
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	

授業計画	第１回　　オリエンテーション
	第２回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　１
	第３回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　２
	第４回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　３
	第５回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　４
	第６回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　５
	第７回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　６
	第８回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　７
	第９回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　８
	第１０回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　９
	第１１回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　１０
	第１２回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　１１
	第１３回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　１２
	第１４回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　１３
	第１５回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　１４
	第１６回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　１５
	第１７回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　１６
	第１８回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　１７
	第１９回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　１８

	第２０回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　１９ 第２１回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　２０ 第２２回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　２１ 第２３回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　２２ 第２４回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　２３ 第２５回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　２４ 第２６回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　２５ 第２７回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　２６ 第２８回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　２７ 第２９回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　２８ 第３０回　　まとめ
受講生に関わる情報および受講のルール	授業時に指示する。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	ICT利用（WEBフォームやメールなど）
授業外時間にかかわる情報	授業時に指示する。
オフィスアワー	授業終了後30分。
評価方法	定期試験100％
教科書	必要な資料を授業時に配布。
参考書	必要に応じて印刷資料を配布。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称：　医療情報処理演習Ⅲ　　授業コード：J556

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年次	2単位(60)	医療事務・秘書コース・必修
担当教員			
桐生　孝史			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	①医療秘書に求められる診療録の記録ができる。 ②医療秘書に求められる診療録の管理ができる。 ③電子カルテの運用の実践が理解できる。
授業の概要	【医療情報処理Ⅱから連続の科目】

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	◎
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	

授業計画	第１回　　オリエンテーション
	第２回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　１
	第３回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　２
	第４回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　３
	第５回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　４
	第６回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　５
	第７回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　６
	第８回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　７
	第９回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　８
	第１０回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　９
	第１１回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　１０
	第１２回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　１１
	第１３回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　１２
	第１４回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　１３
	第１５回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　１４
	第１６回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　１５
	第１７回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　１６
	第１８回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　１７
	第１９回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　１８

	第２０回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　１９ 第２１回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　２０ 第２２回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　２１ 第２３回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　２２ 第２４回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　２３ 第２５回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　２４ 第２６回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　２５ 第２７回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　２６ 第２８回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　２７ 第２９回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　２８ 第３０回　　まとめ
受講生に関わる情報および受講のルール	受講上のルールとして、私語は禁止とする。私語は相手、周囲の者に対しての迷惑行為である。厳に慎むことを自覚して授業に主体的に参加すること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	ICT利用（WEBフォームやメールなど）
授業外時間にかかわる情報	授業時に指示する。
オフィスアワー	授業終了後30分。
評価方法	定期試験100％
教科書	必要な資料を授業時に配布。
参考書	必要に応じて印刷資料を配布。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等) □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等) □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等) □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 医事実習指導Ⅱ　　授業コード： J567

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	2年次	2単位(60)	医療事務・秘書コース・必修
担当教員			
清水　春代・松本　咲子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 医事実習の意義と目的を理解し、期待される学習効果や医療事務・秘書の活動の場である病院・診療所を理解する。また、その病院・診療所を利用する者や実践の場を理解することを目指す。 【到達目標】 医事実習Ⅱに必要な知識、一般常識、接遇を身につける。実習の中から就職後のセルフイメージを考え、行動力、実践力を磨く。 医事実習Ⅱを有意義なものとする。
授業の概要	この授業では、学生が実習に臨むまでの環境を調整すること、必要な知識を習得することなどを目的とする科目である。開講される1コマ1コマが実践に役立ち、重要な意味を持っている。 医療事務は「病院の顔」とともに「病院の会計」の両方をこなす必要がある。 対人対応力と専門知識の理解力と正確な計算能力を実習や就職に向け、高めていく授業を行う。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	◎
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	○
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	

授業計画	第１回	オリエンテーション、医事実習Ⅰの振り返り 【key words】 オリエンテーション、医事実習Ⅰの振り返り 【授業概要】 本授業の目標、、ルールを説明、医事実習振り返り 【教科書ページ・参考文献】 実習日誌 【課題・予習・復習・授業準備指示】 本日の残り 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第２回	医事実習Ⅰ振り返りのまとめ 【key words】 グループ発表の準備 【授業概要】 個人でまとめた振り返りをもとにグループを作り、発表の準備をする 【教科書ページ・参考文献】 実習日誌 【課題・予習・復習・授業準備指示】 本日の残り 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第３回	医事実習Ⅰ振り返りのまとめ 【key words】 グループ発表の準備 【授業概要】 発表用スライドの作成（10スライド程度） 各グループで10分くらいの内容にまとめる 【教科書ページ・参考文献】 保存用USB 【課題・予習・復習・授業準備指示】 本日の残り 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第４回	医事実習Ⅰ振り返りのまとめ

【key words】
伝わるプレゼンテーション
【授業概要】
持ち時間10分で実習振り返り発表。
それぞれの感想をシェアしあう。

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
本日のまとめ
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第５回　医事実習Ⅰの振り返りから医事実習Ⅱの目標を立案
【key words】
社会人の自覚

【授業概要】
自分の強み、弱点の洗い出し、次回実習先の選定
就職や実習に向けての目標を設定する
現在、過去、未来を見ていく

【教科書ページ・参考文献】
コミュニケーションカード
【課題・予習・復習・授業準備指示】
本日のまとめ
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第６回　目標発表
【key words】
自分の目標を明確にする
【授業概要】
前回の実習で学んだこと、医事実習Ⅱで何を見つけたいかを表明する
【教科書ページ・参考文献】
プリント
【課題・予習・復習・授業準備指示】
本日の残り
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第７回　事例検討グループワーク
【key words】
クレーム処理、受付応対
【授業概要】
実際の事例についてのグループワーク
【教科書ページ・参考文献】
プリント
【課題・予習・復習・授業準備指示】
店員やスタッフの行動観察
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第８回　事例検討グループワーク
【key words】
社会人のマナー（身だしなみ）

【授業概要】
身だしなみとおしゃれの違い
言葉遣い
一年次のおさらい
【教科書ページ・参考文献】
テキスト
【課題・予習・復習・授業準備指示】
店員やスタッフの行動観察
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第９回　実習目標、紹介票作成（下書き）
【key words】
自分らしさを出す
【授業概要】
実習先が決まっている方は、目標、紹介票を書く。
【教科書ページ・参考文献】
プリント
【課題・予習・復習・授業準備指示】
本日の残り
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第１０回　実習目標、紹介票作成（清書）
【key words】
丁寧に誤字脱字なく
【授業概要】
実習先に提出用の清書
【教科書ページ・参考文献】
プリント

【課題・予習・復習・授業準備指示】
本日の残り
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第１１回　実習記録書類の配布、書き方指導、誓約書記載
【key words】
医事実習Ⅱへの準備
【授業概要】
事前オリエンテーションのアポ電話
実習ノートの書き方
【教科書ページ・参考文献】
プリント
【課題・予習・復習・授業準備指示】
本日の残り
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第１２回　身だしなみチェック、挨拶・マナーについて、電話の掛け方指導
【key words】
医事実習Ⅱへの準備
【授業概要】
実習Ⅱがよりよいものになるために、第一印象となる身だしなみ、挨拶を再度確認する
【教科書ページ・参考文献】
テキスト
【課題・予習・復習・授業準備指示】
本日のまとめ
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第１３回　電話の掛け方指導、実習ノート作成
【key words】
声の印象が第一印象となる
【授業概要】
実際に実習先にアポイントを取る
実習ノート作り
【教科書ページ・参考文献】
実習日誌
【課題・予習・復習・授業準備指示】
本日の残り
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第１４回　車いすの取り扱いについて講習
【key words】
車いすの取り扱い
【授業概要】
体育館にて車いすの演習を行う
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
本日のまとめ
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第１５回　医事実習Ⅱ事前指導、お礼状作成
【key words】
実習中の注意点
【授業概要】
実習Ⅰの教訓を生かし、実習Ⅱの成功させる
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
白い便せん、封筒
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第１６回　オリエンテーション、医事実習Ⅱの振り返り
【key words】
振り返り
【授業概要】
実習で体験したことを具体的にまとめる
【教科書ページ・参考文献】
実習日誌
【課題・予習・復習・授業準備指示】
本日の残り
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第１７回　救命救急講習
【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

	第１８回	救命救急講習 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
	第１９回	実習報告書の作成 【key words】 体験と感情から経験は生まれる 【授業概要】 医事実習Ⅱの振り返り 報告書の作成 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 実習日誌 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第２０回	実習報告書の作成 【key words】 就職に活かそう 【授業概要】 報告書の作成⇒提出 自分を知ろうワーク 長所と短所を見て、就職活動に活かす 報告書の完成・提出 【教科書ページ・参考文献】 プリント 【課題・予習・復習・授業準備指示】 本日の残り 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第２１回	医療者としてのマナー 【key words】 接遇6原則 【授業概要】 医療者として大切なこと６つを見ていく 見ること、聴くこと、伝えることなど 【教科書ページ・参考文献】 テキストP18～ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 本日のまとめ 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第２２回	クレームについて 【key words】 クレームは院内改善の種 【授業概要】 テキストの事例を見ながら、クレームについて考えていく 【教科書ページ・参考文献】 テキストP22 【課題・予習・復習・授業準備指示】 本日のまとめ 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第２３回	グループワーク 【key words】 体験のシェア 【授業概要】 実習中に体験したことで、シェアしたいことをグループで話し合い。 どういう対応がよかったのかを考える 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】

本日のまとめ
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第２４回　グループワーク
【key words】
医療用語を覚えよう
【授業概要】
現場でよく耳にする医療用語をまとめる
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
本日のまとめ
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第２５回　グループワーク
【key words】
コミュニケーションタイプ別の対応
【授業概要】
患者様のタイプ別に対応を考える
主導タイプ、慎重タイプなど、患者様目線での受け答えができるようにする

【教科書ページ・参考文献】
テキストP38
【課題・予習・復習・授業準備指示】
本日のまとめ
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第２６回　グループワーク
【key words】
医療事務は会計のプロ

【授業概要】
会計についての質問をグループで考える
点数早見表を使って患者様の質問に答えるワーク
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
点数早見表、サポートブック
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第２７回　発表会について実行委員選出等、オリエンテーション
【key words】
卒業発表の準備
【授業概要】
グループ決めをし、発表の内容を決める
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
本日のまとめ
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第２８回　実習のまとめ①　発表原稿スライド作成①
【key words】
伝わるプレゼンテーション作り
【授業概要】
各グループ10スライド程度、10分くらいのプレゼンテーションを作る。

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
保存用USB

【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第２９回　実習のまとめ②　発表原稿スライド作成②
【key words】
伝わるプレゼンテーション
【授業概要】
各グループ10スライド程度、10分くらいのプレゼンテーションを作る。

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
保存用USB
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第３０回　実習のまとめ③　グループ発表
【key words】
自信をもって発表する
【授業概要】
各グループで10分程度の発表を行い、卒業発表グループを2グループ選出

	【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	医事実習指導は医事実習と対なる科目である。よって、科目に対する姿勢・態度や提出物等が重要な意味があることを理解しておくこと。 医事実習は本人の努力が結果となるため、授業には前向きな姿勢で臨み、主体性、積極性を磨く。 学生から社会人になる準備として、挨拶、返事は大きな声で行う。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	実習にかかわる事前学習を進めておくこと
オフィスアワー	木・金　14：30～15：30　（他応相談・要予約）
評価方法	授業に臨む参加態度、提出物：20%、試験：50%、グループ発表の評価：30%
教科書	「患者接遇パーフェクトレッスン」小佐野美智子　　医学通信社
参考書	必要に応じて印刷資料を使用
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 病院医事課歴17年 採用面接、人材育成、医事実習受け入れ担当 医療機関の業務改善、接遇指導、レセプト点検請負。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） ■情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 相談援助演習Ⅰ　　授業コード： J656

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年次	1単位(30)	福祉総合コース・選択
担当教員			
富澤　一央			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 　社会福祉における相談援助の実践は、単なるサービス提供やサービスマネジメントにとどまらず、利用者の全体性やストレングスに着目した援助を行うとともに、家族や近隣、地域など総合的に支援する視点が要請される。本演習では、ジェネラリスト・ソーシャルワークの視点の習得とそれを展開できる力量の習得を目指すための基礎固めとして、「自分を知り、他人の話をよく聴け、ソーシャルワークの価値や倫理を理解する」ことなどについて演習を通して学ぶことを目的とする。また、本演習によって相談援助実習等と理論との融合を目指し、実習において必要な知識・技術の基礎を理解し、説明できることを目的とする。 【到達目標】 ①福祉専門職として、自己覚知することの重要性を理解し、説明できる。 ②価値観の多様性について知るとともに、他者を理解するための方法論を学び、援助技術の活用の仕方を説明できる。 ③言語的及び非言語的コミュニケーションについて理解し、福祉専門職として他者との関わり方を想定して行動することができる。
授業の概要	相談援助等の実習と関連づけながら、福祉専門職として必要な基本的な視点や原則、姿勢、態度についての理解を深め、援助技術として、ソーシャルワークの役割や価値基盤の理解、専門職としての自己覚知、他者理解、基本的なコミュニケーション技法の習得を目指し、ロールプレイやグループワークによる実践的・体験的な演習方法で学ぶ。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	◎
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	○
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	△
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	

授業計画	第１回	オリエンテーション　相談援助演習の意義・目的及び位置づけ　授業の進め方　授業に参加する上での注意事項
	第２回	社会福祉の基本的姿勢・定義（IFSWのソーシャルワークの定義、社会福祉士の定義等）
	第３回	社会資源の理解、社会福祉施設・機関、福祉専門職の把握
	第４回	自己覚知　自己概念を学ぶ
	第５回	自己覚知　ジェノグラム　自分のルーツ家族関係
	第６回	自分の性格の把握
	第７回	自己開示、他者理解
	第８回	他者理解　共感と同情の違い
	第９回	多様な価値観
	第１０回	コミュニケーション技法（１）　コミュニケーションの基本
	第１１回	コミュニケーション技法（２）　言語的コミュニケーションの特徴
	第１２回	コミュニケーション技法（３）　言語的コミュニケーション　コミュニケーションスタイル
	第１３回	コミュニケーション技法（４）　非言語的コミュニケーションの特徴

	第１４回　　コミュニケーション技法（５）　非言語的コミュニケーションの観察 第１５回　　まとめ
受講生に関わる情報および受講のルール	（1）履修上の注意 グループワーク等に積極的に参加すること。無断欠席、無断遅刻はグループワークを乱すものであることを自覚すること。また、無断欠席、無断遅刻は実習に多大な影響を及ぼすことから、実習出来なくなる場合がある。 （２）学習上の助言 福祉専門職として必要な実践力を習得するために、自ら考え、気付くことが重要である。 （３）予備知識や技能 「相談援助の基盤と専門職」と深い関わりがある科目であることから、講義内容を十分に理解することが重要である。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	演習で学んだ内容や援助技術等を意識しながらボランティア活動に参加することが重要である。また、ボランティア活動を通して自己理解を深め、あるいは他者理解に努め、その都度振り返ることが求められる。
オフィスアワー	各教員より授業時に伝える
評価方法	試験またはレポート（40%）、提出物・リアクションペーパー・課題への取り組み（60%）
教科書	社会福祉シリーズ21　ソーシャルワーク演習『相談援助演習』弘文堂
参考書	社会福祉六法（出版社は問わない）、社会福祉用語辞典（「相談援助の基盤と専門職」にて指定されたもの）
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 医療秘書実務Ⅰ　　授業コード： J725

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年次	2単位(60)	医療事務・秘書コース・必修
担当教員			
三澤　文子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕 医療秘書に求められる業務を理解し、実践に繋る。医療秘書に求められる接遇や文書の取り扱い・作成・スケジュール管理などの基本的技能を習得する。ホスピタルコンシェルジュの知識及び技能を習得する。 〔到達目標〕 1)医療秘書に求められる業務を理解し、実践に繋げることができる。 2)医療秘書に求められる接遇や文書の取り扱い・作成・スケジュール管理の基本的技能を習得できる。 3)ホスピタリティを実践できる。 4)ホスピタルコンシェルジュの業務を理解できる。 5)秘書業務の基本的知識及び技能を習得している。
授業の概要	医療機関で求められる人材に必要な知識及び技能を習得する科目である。接遇の基本を学んだ上で、基本的な実践力を養うことを目的とする。ケーススタディを多用し、自分自身のコミュニケーションを客観的に振り返り、どのような考え方また応対が望ましいのかを自ら考え学習する。グループワークを多用し、コミュニケーション能力を養う。医療秘書に求められる知識・技能が実習等の場面で実践できる。医療秘書及びホスピタルコンシェルジュとしての資質を養う。 ホスピタリティの精神は、言動に心(気持ち) が伴わないと相手には伝わらないものである。演習を通して患者心理に寄り添った対応を学ぶ。意欲的な気持ちで演習に参加することが重要な科目である。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	△
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	◎
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	○
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	

授業計画	第１回	医療現場での接遇・コミュニケーション 【key words】 医療機関はサービス業、守秘義務、選ばれる医療機関、インフォームド･コンセント 【授業概要】 医療を取り巻く状況の理解と、医療機関における医療事務スタッフとしての基本的な考え方、姿勢について学ぶ。医療の現状を理解し、選ばれる医療機関の一員になるためにコミュニケーションの大切さを学習する。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P2~7 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
	第２回	身だしなみと第一印象 【key words】 医療機関の顔 【授業概要】 コミュニケーションの一つである「身だしなみ」をフォーカスする。医療機関における身だしなみは好感を与えるだけでなく、清潔感を与え相手との関係作りにおいて重要であることを学ぶ。チェックシートから好感を与える身だしなみが整えられるようにする。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P8~10 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第３回	非言語メッセージ 【key words】 笑顔、立つ姿勢、お辞儀、場面に応じた立ち居振る舞い 【授業概要】 非言語表現の基本理解とその効果、立ち居振る舞い、好感を与える表現などについて理解する。基本動作の繰り返し練習を行い、正しい動作ができるようにする。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P12~20

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第４回　言語メッセージ、敬語と言葉遣い

【key words】
声掛け、場面に応じた表現、相手を思いやる表現、敬語
【授業概要】
好感を与える表現を理解し、単に声を掛けるだけにとどまらず、場面に応じた声掛けや相手を思いやる表現を学ぶ。一般的な敬語表現と相手に敬意を伝える表現や動作について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
教科書P21~30
【課題・予習・復習・授業準備指示】
課題：教科書P26　②交換形式の尊敬語・謙譲語を覚えてくること。次回小テスト実施。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第５回　受容と共感

【key words】
受容、共感、傾聴
【授業概要】
敬語小テスト実施
受容と共感を理解する。相手を受け入れ、また相手の状態を見て感じ、気づき、考えることの必要性を学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
教科書P31~34
【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第６回　受容と共感　グループワーク

【key words】

【授業概要】
グループワーク：ケーススタディ
各グループ発表
【教科書ページ・参考文献】
教科書P31~34
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第７回　電話の受け方、かけ方

【key words】
電話を受ける際の心構え、電話の受け方のステップ、電話を受ける際の注意点、電話のかけ方のステップ、
【授業概要】
電話の受け方、電話のかけ方の基本について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
教科書P36~50
【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第８回　電話の受け方、かけ方　グループワーク

【key words】

【授業概要】
グループワーク：ケーススタディ
各グループ発表
【教科書ページ・参考文献】
教科書P36~50
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第９回　電話取り次ぎ・伝言メモ

【key words】
電話の取り次ぎ・伝言ポイント、伝言メモ作成ポイント
【授業概要】
電話の受け方に続き、名指し人への取り次ぎから名指し人不在の場合の伝言について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
教科書P51~56
【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第１０回　電話取り次ぎ、伝言メモ　グループワーク

【key words】

【授業概要】
グループワーク：ケーススタディ
各グループ発表
【教科書ページ・参考文献】
教科書P51~56
【課題・予習・復習・授業準備指示】

		授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第１１回	来客応対の基本（１） 【key words】 来客応対の心構え、来客応対のステップ、取り次ぎ・案内のポイント 【授業概要】 「病院の顔」ともいえる受付応対の基本的な考え方・姿勢について学ぶ。患者様以外の一般的な応対を理解し、選ばれる医療機関の一員としてコミュニケートの大切さを学習する。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P58~67 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
	第１２回	来客応対の基本（１）グループワーク 【key words】 【授業概要】 グループワーク：ケーススタディ 各グループ発表 【教科書ページ・参考文献】 教科書P58~67 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第１３回	来客応対の基本（２） 【key words】 席次マナー、お茶の出し方、名刺の受け取り方 【授業概要】 席次、お茶の出し方、名刺の受け取り方などの基本的なビジネスマナーを学ぶ。お客様に失礼にならないように、どのようなところに気を付けるべきかを学ぶ。来客応対の締めであるお見送りの仕方の注意点を学ぶ。最後まで気を抜かずおもてなしの心を持ち続けることの大切さを学習する。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P68~76 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
	第１４回	来客応対の基本（２）グループワーク 【key words】 【授業概要】 グループワーク：ケーススタディ 各グループ発表 【教科書ページ・参考文献】 教科書P68~76 【課題・予習・復習・授業準備指示】 課題：来客応対ロールプレイングの練習をしてくること。次回テスト実施。 授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第１５回	来客応対ロールプレイング 【key words】 受付、案内、お茶出し、お見送り 【授業概要】 ケースを想定し、ロールプレイング実施 【教科書ページ・参考文献】 プリント教材 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
	第１６回	来客応対ロールプレイング　テスト 【key words】 【授業概要】 来客応対ロールプレイングテストを実施。 【教科書ページ・参考文献】 プリント教材 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第１７回	患者さまへの応対の基本 【key words】 患者さまへの応対の心構え、患者さまへの応対のポイント、表現例 【授業概要】 医療機関でのお客様として一番多い患者さまに対しての応対方法を学ぶ。病気による体調不良や精神面での不安や緊張など様々な心理状態を持つ患者さまとコミュニケートをする基本を学ぶ。個々の患者さまの状況に合わせて応対できるスキルが求められていることを学習する。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P78~83

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第１８回　患者さまへの応対の基本　グループワーク

【key words】

【授業概要】
グループワーク：ケーススタディ
各グループ発表
【教科書ページ・参考文献】
教科書P78~83
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第１９回　受付の仕方、会計応対の仕方、入退院受付の仕方

【key words】
受付業務、受付業務ステップ、会計窓口のステップ、入退院業務、入退院業務ステップ、表現例
【授業概要】
外来受付、会計受付、入退院受付について学ぶ。受付スタッフの業務を理解した上で、患者さまに対してホスピタリティを意識した応対が求められていることを学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
教科書P84~100
【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第２０回　受付の仕方、会計応対の仕方、入退院の仕方　グループワーク

【key words】

【授業概要】
グループワーク：ケーススタディ
各グループ発表
【教科書ページ・参考文献】
教科書P84~100
【課題・予習・復習・授業準備指示】
課題：患者応対ロールプレイングテストの練習をしてくること。次回テスト実施。
授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第２１回　患者応対ロールプレイング

【key words】

【授業概要】
ケースを想定し、ロールプレイング実施。
【教科書ページ・参考文献】
プリント教材
【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第２２回　患者応対ロールプレイングテスト

【key words】

【授業概要】
ロールプレイングテスト実施。
【教科書ページ・参考文献】
プリント教材
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第２３回　苦情・クレーム対応

【key words】
苦情・クレームのメカニズム、心構え、対応ステップ、気を付けること、禁句
【授業概要】
苦情・クレーム対応の基本を学ぶ。どのような時に苦情・クレームが発生するのかを理解した上で、正しい対応の仕方を学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
教科書P102~118
【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第２４回　苦情・クレーム対応　グループワーク

【key words】

【授業概要】
グループワーク：ケーススタディ
各グループ発表
【教科書ページ・参考文献】
教科書P102~118
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。
【予習復習に必要な想定時間】

	60分 第２５回　チーム・コミュニケーション 【key words】 情報共有の重要性、多職種とのチームワーク 【授業概要】 医療機関では様々な職種が協働し、チーム医療で仕事をしていくことを説明。チーム医療の中の自分の役割を学ぶ。医師・看護師とのチームコミュニケーションを学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P120~P132 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第２６回　チーム・コミュニケーション　グループワーク 【key words】 【授業概要】 グループワーク：ケーススタディ 各グループ発表 【教科書ページ・参考文献】 教科書P120~132 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 60分 第２７回　患者さまの状況に応じた対応 【key words】 高齢の患者さま、身体に障害を持つ患者さま、小児の患者さま、外国人の患者さま 【授業概要】 高齢の患者さまへの応対で注意すべきこと、障害部位によっての応対の違い、小児特有の応対ポイントと付き添いの方への応対の注意点、外国人の患者さまへの応対を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P134~154 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第２８回　患者さまの状況に応じた対応　グループワーク 【key words】 【授業概要】 グループワーク：ケーススタディ 各グループ発表 演習：医療英語（会話編） 【教科書ページ・参考文献】 教科書P134~154 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 60分 第２９回　まとめ 【key words】 振り返り 【授業概要】 授業を振り返り、重要ポイント等を再認識する。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P2~154 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第３０回　定期試験対策 【key words】 【授業概要】 定期試験の説明及び勉強方法 質疑応答 定期試験練習 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 定期試験対策の勉強をしっかりとやること。 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	〔受講のルール〕 ・教科書該当箇所の予習を必修とする。授業時に次回の授業に該当する箇所を指示する。時間外学習の課題あり。 ・欠席するとその回の内容を自力で補うのは困難なため、やむを得ない場合以外は欠席しないこと。 ・個人ワーク及びグループワークは主体的に参加すること。（評価に含む）個人ワーク及びグループワークを行う際に必要のない私語、講義中の私語は慎むこと。 ・予習・復習は怠らないこと。 ・授業中に生じた疑問はそのままにせず、調べる、質問するなどの行動をすること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状	コメントカード

況の確認方法	
授業外時間にかかわる情報	教科書該当箇所の予習を必須とする。授業時に次回の授業に該当する箇所を指示する。また、時間外学習の課題あり。
オフィスアワー	授業前30分終了後10分　それ以外の時間帯についてはアポイントメントを取っていただきたい。
評価方法	定期試験60%　小テスト20%　課題10%　その他10%（学習の取り組みなど）
教科書	日本医師会監修　「医療秘書４－医療秘書概論・実務　医療情報処理学　医療関連法規概論」　メジカルフレンド社　最新版 「医療事務スタッフのためのケア・コミュニケーション」株式会社ソラスト　最新版
参考書	「ホスピタルコンシェルジュ養成講座　№１」株式会社ソラスト
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 総合病院の秘書室勤務。役員秘書として一般企業に勤務。 医療機関及び一般企業での実務経験をもとに、秘書の基盤となる心構え及び基本的な知識技能について講じます。 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等) □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等) □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等) ■情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 医療秘書実務Ⅱ　　授業コード： J727

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年次	2単位(60)	医療事務・秘書コース・必修
担当教員			
三澤　文子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕 医療秘書に求められる業務を理解し、実践に繋げられる。医療秘書に求められる接遇や文書の取り扱い・作成・スケジュール管理などの基本的技能を習得する。また、ホスピタルコンシェルジュの業務を理解し、必要とされる知識及び技能を習得する。 〔到達目標〕 1)医療秘書に求められる業務を理解し、実践に繋げることができる。 2)医療秘書に求められる接遇や文書の取り扱い・作成・スケジュール管理の基本的技能を習得できる。 3)ホスピタリティを実践できる。 4)ホスピタルコンシェルジュの業務を理解できる。 5)秘書業務の基本的知識及び技能を習得している。
授業の概要	医療機関で求められる人材に必要な知識及び技能を習得する科目である。医療秘書としての資質を養う。ホスピタリティの精神は、言動に心(気持ち) が伴わないと相手には伝わらないものである。演習を通して患者心理に寄り添った対応を学ぶ。意欲的な気持ちで演習に参加することが重要な科目である。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	△
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	◎
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	○
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	

授業計画	第１回	職場でのマナーとコミュニケーション 【key words】 身だしなみ、挨拶、職場でのコミュニケーションと言葉遣い 【授業概要】 身だしなみの注意点、挨拶・お辞儀のポイント、聞き方（聴き方）、話し方、敬語の基本、時と場合に応じた言葉遣いについて学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P48~P54 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
	第２回	職場でのマナーとコミュニケーション演習１ 【key words】 学生と社会人の違い、チームワーク力、IQとEQ 【授業概要】 学生と社会人では何がどのように違うのかを理解する。立場が変わると取るべき行動が変わることを体感する。医療を取り巻く現在の状況を知り、今、医療機関で求められる人材とはを学ぶ。 演習「学生から社会人へ」「求められる人材とは」「診断問診表作成」 【教科書ページ・参考文献】 ビジネスノートP1~3 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第３回	職場でのマナーとコミュニケーション演習２ 【key words】 第一印象 【授業概要】 第一印象の怖さを学術的に学ぶ。感じの良い視覚表現を習得する。 演習「新しい世界は出会いから始まる」「感じの良い第一印象のために」 【教科書ページ・参考文献】 ビジネスノートP4~6 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
	第４回	職場でのマナーとコミュニケーション演習３ 【key words】

聴き方、話し方、敬語、言葉遣い
【授業概要】
感じの良い聴覚表現を習得する。
演習「仕事の心構え～仕事のサイクル」「指示の受け方」「報告の仕方」「敬語の基本」「言葉遣い」
【教科書ページ・参考文献】
ビジネスノートP7~10･22･25　プリント教材
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第５回　接遇
【key words】
接遇の一般的基礎知識、医療機関での応対、環境整備

【授業概要】
接遇とは、接遇のおける注意点、一般的な接遇の流れ、接遇と環境整備について学ぶ。また、一般のお客様に対しての応対、患者に対しての応対、クレームに対する応対を事例を基に学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
教科書P55~P61
【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第６回　接遇演習1
【key words】
席次、クレーム対応
【授業概要】
演習「ビジネスマナーの基本」「席次」「クレーム対応」
【教科書ページ・参考文献】
ビジネスノートP23　プリント教材
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第７回　受付業務
【key words】
受付業務の基本と特徴、一般的な業務の流れ、受付窓口での業務、学会会場における受付、慶弔関係における受付
【授業概要】
受付業務の基本と特徴について、アポイントのある場合とアポイントのない来客の受付業務の流れについて、初診患者対応、患者家族への対応について、学会会場における受付について、慶事の場合・弔事の場合における受付対応について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
教科書P62~P71
【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第８回　受付業務演習1
【key words】
冠婚葬祭マナー
【授業概要】
演習「「マナーのYES,NOクイズ」「とりあえず恥をかかない冠婚葬祭マナー」「出欠はがきの書き方」「祝儀袋の書き方」「不祝儀袋の書き方」
【教科書ページ・参考文献】
ビジネスノートP27~29　プリント教材
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第９回　受付業務演習２
【key words】
ケース別受付対応問題　受付応対
【授業概要】
ケース別受付対応問題練習
演習「初診患者対応」「保険証忘れの患者対応」「お見舞い客対応」
【教科書ページ・参考文献】
プリント教材
【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第１０回　電話応対
【key words】
電話応対の基本と特徴、電話の受け方とかけ方
【授業概要】
電話の特性、電話応対の基本注意点について学ぶ。電話の受け方の流れと注意点・かけ方の流れと注意点について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
教科書P72~P79
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第１１回　電話応対演習1基礎編
【key words】
ケース別電話応対基礎編
【授業概要】
ケース別電話応対ロールプレイング
演習「電話応対」
【教科書ページ・参考文献】
ビジネスノートP11~13
【課題・予習・復習・授業準備指示】
電話応対実技テスト対策の勉強をしっかりやること。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第１２回　電話応対演習２応用編
【key words】
ケース別電話応対応用編
【授業概要】
ケース別電話応対ロールプレイング
演習「電話応対」「伝言メモ作成」
【教科書ページ・参考文献】
ビジネスノートP14　プリント教材
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。　次回の電話応対実技テスト対策の勉強をしっかりやること。
【予習復習に必要な想定時間】

第１３回　電話応対実技模擬テスト
【key words】

【授業概要】
電話応対実技模擬テスト実施
【教科書ページ・参考文献】
プリント教材
【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第１４回　電話応対実技テスト
【key words】

【授業概要】
電話応対実技テスト実施
【教科書ページ・参考文献】
プリント教材
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第１５回　スケジュール管理(スケジュール、出張管理)
【key words】
スケジュール管理の特徴、医療秘書がスケジュールを管理する範囲、スケジュール表の種類、スケジュール作成の注意点、ポイントの取り方と受け方、出張管理
【授業概要】
スケジュール管理の特徴を学ぶ。院長秘書・医局秘書が管理するスケジュール範囲、年間・月刊・週間スケジュール表の例、スケジュール立案に関する注意点、スケジュール記入に関する注意点について学ぶ。アポイントメントの取り方と受け方のポイント、仮予約から確定までの流れ、アポイントの変更と調整について学ぶ。国内・国外出張(準備から後処理まで）、出張業務の内容と注意点(国内・国外）について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
教科書P80~P90
【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第１６回　スケジュール管理演習
【key words】

【授業概要】
演習「出張計画書作成」「ケース別スケジュール表作成」「出張準備」
【教科書ページ・参考文献】
プリント教材
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第１７回　会議
【key words】
会議準備、会議種類、会議開催の流れ
【授業概要】
会議の準備について学ぶ。院内会議と院外会議の種類について学ぶ。会議の事前準備、会議中対応、事後処理について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
教科書P91~P98
【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

	第１８回	会議演習 【key words】 【授業概要】 演習「会議設営」「会議案内書作成」「議事録作成」 【教科書ページ・参考文献】 プリント教材 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第１９回	文書作成 【key words】 文書とは、一般ビジネス文書、医療文書の作成　給与明細書 【授業概要】 文書作成の基本について学ぶ。社内文書、社外文書、社交文書の種類、封筒の取り扱いについて学ぶ。医療文書作成について学ぶ。給与明細書の見方を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P99~P111 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
	第２０回	文書作成演習1 【key words】 【授業概要】 演習「正しい漢数字及び数字の書き方」「箇条書きの書き方」「社内文書作成」 【教科書ページ・参考文献】 ビジネスノートP15~20　プリント教材 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第２１回	文書作成演習２ 【key words】 【授業概要】 演習「社外文書の決まり文句」「表題の付け方」「社外文書作成」 【教科書ページ・参考文献】 ビジネスノートP15~P20　プリント教材 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
	第２２回	文書作成演習3 【key words】 【授業概要】 演習「医療文書作成」 【教科書ページ・参考文献】 プリント教材 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第２３回	総合演習１ 【key words】 【授業概要】 複数の仕事の指示を受けた時～仕事の優先順位の付け方を学び、仕事のスケジュールを立て、実行する演習。 演習「新幹線の時間調べ」「挨拶状作成」「紹介状作成」「患者連絡」「患者家族電話連絡」 【教科書ページ・参考文献】 プリント教材 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
	第２４回	総合演習２ 【key words】 【授業概要】 複数の仕事の指示を受けた時～仕事の優先順位の付け方を学び、仕事スケジュールを立て、実行する演習。 演習「診断書作成」「学会出席はがき送付」「患患者からリビングウイル問い合わせ対応」「書籍発注書作成」 【教科書ページ・参考文献】 プリント教材 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第２５回	通信業務

	【key words】 国内郵便・宅配便・国際郵便・E-mail 【授業概要】 国内郵便の種類、秘扱い文書の発信方法、宅宅配便種類について学ぶ。国際郵便の種類、国際郵便の宛名の書き方について学ぶ。E-mailの特徴、送信・受信の留意点について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P112~P122 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
	第２６回　通信業務演習 【key words】 【授業概要】 演習：「E-mail作成」「国際郵便の宛名書き」「はがき宛名書き」「封筒宛名書き」 【教科書ページ・参考文献】 ビジネスノートP21　プリント教材 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第２７回　文書管理 【key words】 ファイリング、医療情報の管理 【授業概要】 リビングウイルの書き方の演習を行う。 【教科書ページ・参考文献】 使用なし 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【授業概要】 職場における文書の整理とは、紙ベースのデータのファイリング、電子的データのファイリング、について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P123~P129 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
	第２８回　文書管理演習 【key words】 【授業概要】 演習「ファイリング」「名刺整理」 【教科書ページ・参考文献】 プリント教材 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第２９回　まとめ 【key words】 【授業概要】 医療秘書実務の振り返りとして、ポイント練習問題実施及び解説 演習「未来を拓く」 【教科書ページ・参考文献】 ビジネスノートP30 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
	第３０回　定期試験対策 【key words】 【授業概要】 定期試験についての説明、質疑応答。 定期試験模擬テスト及び解説。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 定期試験対策の勉強をしっかりやること。 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	〔受講のルール〕 ・教科書該当箇所の予習を必須とする。授業時に次回の授業に該当する箇所を指示する。時間外学習の課題あり。 ・欠席するとその回の内容を自力で補うのは困難なため、やむを得ない場合以外は欠席しないこと。 ・個人ワーク及びグループワークは主体的に参加すること。（評価に含む）個人ワーク及びグループワークを行う際に必要ない私語、講義中の私語は慎むこと。 ・予習・復習を怠らないこと。 ・授業中に生じた疑問はそのままにせず、調べる、質問するなどの行動に移すこと。
毎回の授業に関する	コメントカード

質問や学習の進捗状況の確認方法	
授業外時間にかかわる情報	教科書該当箇所の予習を必須とする。授業時に次回の授業に該当する箇所を指示する。また、時間外学習の課題あり。
オフィスアワー	授業終了後30分　それ以外の時間帯についてはアポイントを取っていただきたい。
評価方法	定期試験60%　小テスト20%　課題10%　その他10%（学習の取り組みなど）　これらに検定結果も考慮する。
教科書	日本医師会監修　「医療秘書４－医療秘書概論・実務　医療情報処理学　医療関連法規概論」　メジカルフレンド社　最新版 「ビジネスノート」小林三曜子　最新版
参考書	「ホスピタルコンシェルジュ養成講座　№１」株式会社ソラスト
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 総合病院の秘書室勤務。役員秘書として一般企業に勤務。 医療機関及び一般企業での実務経験をもとに秘書の基盤となる心構え及び基本的な知識技能について講じます。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） ■情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 診療情報管理Ⅰ（法令・諸規則）　　授業コード：J740

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	2年次	2単位(30)	医療事務・秘書コース・選択
担当教員			
須田　光明			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	診療情報管理を実施するための基礎として診療情報の重要性を理解し、診療情報を適切に取り扱い責任ある情報管理を行う能力を身につける。
授業の概要	診療情報管理の意義と役割について系統的に学習するとともに、診療情報管理に関わる法令や諸規則を含め、診療情報の記録方法が機能的にどのような構成やルールをとっているかについて学ぶ。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	◎
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	○
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	

授業計画	第１回　前期オリエンテーション　〔授業の進め方、評価等授業概要に基づいた概要説明及び学習方法等について伝達〕・診療情報管理士とは 第２回　(1) 診療情報管理の意義と役割　①用語の定義　②診療記録の価値 第３回　(1) 診療情報管理の意義と役割　③診療情報管理の役割　(2) 診療情報管理の歴史　①診療記録のルーツ 第４回　(2) 診療情報管理の歴史　②諸外国における診療情報管理　③わが国における診療情報管理 第５回　(3) 診療情報管理と法規等　①診療記録の記載と保存についての法規　②診療記録の電子化に関する法規 第６回　(3) 診療情報管理と法規等　③診療記録の提示に関する法規　④医療事故にともなう法的責任 第７回　(3) 診療情報管理と法規等　⑤診療情報の守秘に関する法規　⑥個人情報の保護に関する法律 第８回　(3) 診療情報管理と法規等　⑦医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス 第９回　(3) 診療情報管理と法規等　⑧個人情報保護法と厚生労働省のガイダンスに基づく病院の対応 第１０回　(3) 診療情報管理と法規等　⑨診療情報の提供等に関する指針 第１１回　(4) 診療記録の記載方式　①POS　②フォーカスチャーティング 第１２回　(4) 診療記録の記載方式　③クリニカル・パス 第１３回　(5) 診療情報の記載　①診療記録の記載方法　②診療録の基本的な記載事項 第１４回　(5) 診療情報の記載　③診療記録の種類 第１５回　総括
受講生に関わる情報および受講のルール	私語は慎み、真摯な態度で授業に臨むこと。知識向上に向け、予習、復習を励行すること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード

授業外時間にかかわる情報	予習として次回授業の該当部分を一読し、不明な用語などを調べ、調べた用語をノートにまとめる。 また、予習の段階で質問があれば、予めノートに記述しておくこと。
オフィスアワー	授業終了後30分
評価方法	レポート提出、科目試験 60点～100点を合格とし単位を認定する。59点以下は不合格とし、単位を与えない。
教科書	診療情報管理士テキスト　診療情報管理Ⅳ
参考書	「診療情報学」日本診療情報管理学会編集　医学書院　2015 「診療情報の管理」最新版　岩崎榮監修　医学書院　2005 「診療情報管理士業務指針」日本診療情報管理学会
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等) □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等) □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等) □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称：　登録販売者Ⅱ　　授業コード：J805

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年次	1単位(30)	医療事務・秘書コース・選択
担当教員			
水野　さゆり			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	[授業の目的] 登録販売者試験合格 [到達目標] 登録販売者の役割は、必要な情報を購入者にわかりやすく伝え、医薬品の適切な選択、使用に役立てもらうことである。 近年、自分自身の健康に対する関心が高まる中、生活者のセルフメディケーションを適切に支援できるよう、医薬品販売の専門家としての幅広い知識と態度を身につける。
授業の概要	第1回～第6回　第4章　薬事関係の法規・制度（医薬品医療機器等法を軸に登録販売者が医薬品を販売する際に知っておくべき法規を学ぶ）　第7回～第10回　第5章　医薬品の適正使用・安全対策（添付文書、製品表示、また国や製薬企業が行う安全対策、副作用による健康被害の救済制度等を学ぶ）　第11回～第15回　登録販売者試験に備え第1章～第5章までの過去問を解く。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	△
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	◎
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	

授業計画	第１回　４－Ⅰ医薬品医療機器等法　４－Ⅱ医薬品等の分類と取り扱い 【key words】 医薬品医療機器等法　販売従事登録、　医薬品の定義　日本薬局方　許可・承認　不良医薬品 【授業概要】 薬局、ドラッグストア等で処方箋なしで誰でも買うことのできる市販薬に関する法律のうち、最も重要である「医薬品医療機器等法」の目的、登録販売者となるための販売従事登録、法における医薬品の定義と範囲等について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 ｐ３５５～３６４ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、その該当部分にあたる対策問題集の問題を必ず解くこと。また講義後には、示された過去問を必ず解くこと。その中から8題を選んで次回授業冒頭で小テストを行う。 【予習復習に必要な想定時間】 ２４０分 第２回　４－Ⅱ医薬品の分類と取り扱い（1の続き　２法定表示と法定記載） 【key words】 一般用医薬品　要指導医薬品　毒薬・劇薬　生物由来製品　リスク区分　法定表示　法定記載 【授業概要】 市販薬のうち、一般用医薬品はその保健上のリスクに応じて3つに分類されている。これらは法律でどのように規定されているか、要指導医薬品とは何か、毒薬・劇薬の定義、また医薬品の容器・外箱、添付文書等へ記載されるべき事項とは何か等について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 ｐ３６５～３８１ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、その該当部分にあたる対策問題集の問題を解くこと。また、講義後には、示された過去問を必ず解くこと。その中から8題を選んで次回授業冒頭で小テストを行う。 【予習復習に必要な想定時間】

240分

第３回　４－Ⅱ（３医薬部外品・化粧品と食品）　別表４－１　４－２　４－３　４－４

【key words】
医薬部外品　化粧品　特別用途食品　保健機能食品

【授業概要】
医薬品ではないが、類似した目的を持ち、ドラッグストア等で扱われることの多い医薬部外品、化粧品、食品等について学ぶ。

【教科書ページ・参考文献】
ｐ３８２～３９０　　ｐ４５２～４６１（別表）

【課題・予習・復習・授業準備指示】
講義前にテキスト該当部分を読み、その該当部分にあたる対策問題集の問題を解くこと。また、講義後には、示された過去問を必ず解くこと。その中から8題を選んで次回授業冒頭で小テストを行う。

【予習復習に必要な想定時間】
240分

第４回　４－Ⅲ薬局と医薬品の販売業（１許可の種類と許可行為の範囲　２医薬品の販売方法）

【key words】
薬局　店舗販売業　配置販売業　管理者　販売方法

【授業概要】
医薬品を業として販売するためには、行政の許可が必要である。ここでは、キーワードに掲げた３つの医薬品販売業に関し、許可を与える者、扱うことのできる医薬品の種類、管理者　管理体制等、また医薬品を販売する際の定められた方法について学ぶ。

【教科書ページ・参考文献】
ｐ３９１～４１１

【課題・予習・復習・授業準備指示】
講義前にテキスト該当部分を読み、その該当部分にあたる対策問題集の問題を必ず解くこと。また講義後には、示された過去問を解くこと。その中から8題を選んで次回授業冒頭で小テストを行う。

【予習復習に必要な想定時間】
240分

第５回　４－Ⅲ薬局と医薬品の販売業（３医薬品の情報提供の方法　４医薬品の陳列　５薬局と店舗における掲示　６医薬品の特定販売　７偽造医薬品の流通防止

【key words】
情報提供　陳列　掲示　特定販売　業者間の取引

【授業概要】
登録販売者の最も重要な仕事である情報提供の方法、またインターネット等による販売（特定販売）、偽造医薬品流通防止のためにも行われる業者間の取引の際の記録等について学ぶ。

【教科書ページ・参考文献】
ｐ４１２～４３３

【課題・予習・復習・授業準備指示】
講義前にテキスト該当部分を読み、その該当部分にあたる対策問題集の問題を必ず解くこと。また、講義後には示された過去問を必ず解くこと。その中から8題を選んで次回授業冒頭で小テストを行う。

【予習復習に必要な想定時間】
240分

第６回　４－Ⅲ（８薬局開設者と医薬品の販売業者の遵守事項）　４－Ⅳ医薬品の販売に関する法令遵守

【key words】
従事者の区別　濫用　販売広告　販売方法　行政庁の監視・指導と処分

【授業概要】
４－Ⅲ（８）では、薬局の開設者、医薬品の販売業者が守らなくてはいけない事項、本来の目的から逸脱して濫用（むやみに用いること）されるおそれのある医薬品の種類とその販売方法について学ぶ。
４－Ⅳでは生命関連商品である医薬品の適正な広告、不適正な販売方法、最後に行政庁による監視・指導と処分について学ぶ。

【教科書ページ・参考文献】
ｐ４３３～４５１

【課題・予習・復習・授業準備指示】
講義前にテキスト該当部分を読み、その該当部分にあたる対策問題集の問題を必ず解くこと。また、講義後には示された過去問を必ず解くこと。その中から8題を選んで次回授業冒頭で小テストを行う。

【予習復習に必要な想定時間】
240分

第７回　５－１医薬品の適正使用情報（１添付文書の読み方）

【key words】
添付文書　使用上の注意　効能・効果　用法・用量

【授業概要】
医薬品の適正使用として最も役立つものは添付文書である。ここでは、添付文書に記載される事項とその内容について理解する。

【教科書ページ・参考文献】
ｐ４６３～４７３

【課題・予習・復習・授業準備指示】
講義前にテキスト該当部分を読み、その該当部分にあたる対策問題集の問題を必ず解くこと。また講義後には、示された過去問を必ず解くこと。その中から8題を選んで次回授業冒頭で小テストを行う。

【予習復習に必要な想定時間】
240分

第８回　５－Ⅰ医薬品の適正使用情報（２製品表示の読み方　３安全性情報の提供　４安全性情報の活用）　５－Ⅱ医薬品の安全対策　別表５－３　５－４　５－５

【key words】

		製品表示　安全性情報　報告制度 【授業概要】 ５－Ⅰ　製品に直接表示されている様々な情報、すなわち製品表示の構成項目、記載内容等、また医薬品の安全性情報の収集、評価、提供の仕組みについて学ぶ。 ５－Ⅱ　市販後の安全対策として整備されている報告制度、収集された情報の評価及び措置等について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 ｐ４７４～４８７　ｐ５１７～５２１（別表） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、その該当部分にあたる対策問題集の問題を必ず解くこと。また講義後には、示された過去問を必ず解くこと。その中から8題を選んで次回授業冒頭で小テストを行う。 【予習復習に必要な想定時間】 240分
	第９回	５－Ⅲ医薬品の副作用による健康被害の救済　５－Ⅳ一般用医薬品に対する主な安全対策　５－Ⅴ医薬品の適正使用のための啓発活動 【key words】 医薬品副作用被害救済制度　ＰＬセンター　安全対策　啓発活動 【授業概要】 ５－Ⅲ医薬品副作用被害救済制度について、創設に至った背景、実際の仕組み、給付の種類、またこの制度の対象とならないケースの相談を受けうつけるＰＬセンター等について学ぶ。 ５－Ⅳこれまでに実際になされた一般用医薬品に対する安全対策の具体例4ケースについて学ぶ。 ５－Ⅴ医薬品の適正使用のための啓発活動について、主催者、目的、期日等を知る。また薬物乱用について理解する。 【教科書ページ・参考文献】 ｐ４８８～４９７ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、その該当部分にあたる対策問題集の問題を必ず解くこと。また講義後には、示された過去問を必ず解くこと。その中から8題を選んで次回授業冒頭で小テストを行う。 【予習復習に必要な想定時間】 240分
	第１０回	別表５－１　５－２ 【key words】 してはいけないこと　相談すること 【授業概要】 別表５－１、５－２とは医薬品の添付文書等に記載されている「使用上の注意」の中の2項目である。これらは登録販売者として実際に販売にあたる際、最も必要となる知識の1つであろう。また登録販売者試験に於いても出題率が高いということもあり、授業において過去問に取り組みながら学ぶこととする。 【教科書ページ・参考文献】 ｐ４９８～５１６ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、その該当部分にあたる対策問題集の問題を必ず解くこと。また講義後には、示された過去問を必ず解くこと。その中から8題を選んで次回授業冒頭で小テストを行う。 【予習復習に必要な想定時間】 240分
	第１１回	第1章、第2章の過去問を解く 【key words】 医薬品に共通する特性と基本的な知識　人体の働きと医薬品 【授業概要】 説明を交えながら、第1章、第2章の過去問を一緒に解いていく 【教科書ページ・参考文献】 ｐ１～１１２ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 範囲がとても広いですが、テキストを読む、過去問を解くなど、各自できるだけ復習して授業に臨んでください。次回授業冒頭で小テストを行う。（変更の可能性あり） 【予習復習に必要な想定時間】 240分
	第１２回	第3章の過去問を解く 【key words】 主な医薬品とその作用 【授業概要】 説明を交えながら、第3章の問題を一緒に解いていく 【教科書ページ・参考文献】 ｐ１１３～３５３ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 範囲がとても広いですが、テキストを読む、過去問を解くなど、各自できるだけ復習して授業に臨んでください。次回授業冒頭で小テストを行う（変更の可能性あり） 【予習復習に必要な想定時間】 240分
	第１３回	第3章の過去問を解く 【key words】 主な医薬品とその作用 【授業概要】 説明を交えながら、、第3章の過去問を一緒に解いていく 【教科書ページ・参考文献】 ｐ１１３～３５３ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 範囲がとても広いですが、テキストを読む、過去問を解くなど、各自できるだけ復習して授業に

	臨んでください。次回授業冒頭で小テストを行う（変更の可能性あり） 【予習復習に必要な想定時間】 240分 第１４回　第4章の過去問を解く 【key words】 薬事関係の法規・制度 【授業概要】 説明を交えながら、第4章の過去問を一緒に解いていく 【教科書ページ・参考文献】 ｐ３５５～４６１ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 範囲がとても広いですが、テキストを読む、過去問を解くなど、各自できるだけ復習して授業に臨んでください。次回授業冒頭で小テストを行う（変更の可能性あり） 【予習復習に必要な想定時間】 240分 第１５回　第5章の過去問を解く 【key words】 医薬品の適正使用・安全対策 【授業概要】 説明を交えながら、第5章の過去問を一緒に解いていく 【教科書ページ・参考文献】 ｐ４６３～５２１ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 範囲がとても広いですが、テキストを読む、過去問を解くなど、各自できるだけ復習して授業に臨んでください。時間がとれたら最後の10分を使って小テストを行う（変更の可能性あり） 【予習復習に必要な想定時間】 240分
受講生に関わる情報および受講のルール	私語を慎むこと。授業で配布する資料をよく整理して保管し、自習に役立てて下さい。 質問は、授業中にせずにコメントカードに書いて下さい。　毎回テキスト、対策問題集、配られたプリントを持参して下さい。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード方式
授業外時間にかかわる情報	授業回数に対し、内容の範囲が広いので、予習・復習必須です。 毎回授業の冒頭でミニテストを行う。（ただし、授業の方式によっては変更もあります）　自主的に過去問に取り組むこと。試験合格を目指す授業であることから、問題集の活用が有効です。手持ちの問題集だけでなく市販されているものやＰＣを利用してできるだけ多くの過去問を解くこと。
オフィスアワー	授業終了後30分
評価方法	原則として定期試験70％　小テスト30％　それに宿題、課題提出を参考にします
教科書	厚生労働省手引き（平成30年3月対応）　登録販売者試験テキスト＆要点整理「改」　薬事日報社2020年
参考書	厚生労働省手引き（平成30年3月対応）対策問題集「改」薬事日報社2020年 令和元年度実施全都道府県10ブロック令和2年度版全国登録販売者試験過去問正解　薬事日報社2020年 また、各自ＰＣより、令和2年度実施の登録販売者試験のうち、北関東、南関東、四国の3ブロックから4章5章の問題と解答を引き出すこと。ここも試験の範囲に入れるので必ず実行すること。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 東京及び前橋にて、35年以上、ドラッグストア、薬店に管理薬剤師として勤務。また、製薬会社の学術課、品質保証課に勤務し、医薬品再評価やお客様相談室の業務にあたった。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク ■アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） ■情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他

	その他の具体的内容 　場合によっては、授業の内容を変更することがあります。

講義科目名称： 生活支援技術Ⅲ（栄養・調理）　　授業コード： J827

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年次	2単位(60)	介護福祉コース・福祉総合コース・介護福祉士実践コース・必修
担当教員			
平石　仁恵			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 高齢者には長い人生の中で培ってきた食習慣や嗜好、価値観などがある。障がい者には障害の違いにより食への対応に違いが求められる。それらを尊重した支援をするための基礎的な知識と調理技術を習得する。 【到達目標】 ・高齢者や障がい者の調理支援に関する基礎的知識を理解する。 ・対象者の特性に合わせた献立作成、食材選定、調理法の決定ができる。 ・嚥下食やコントロール食の調理ができる。
授業の概要	高齢者や障がい者・障がい児には、日々の生活の中で培ってきた食習慣や嗜好、価値観、食文化や生活環境がある。これらを理解し尊重することが食生活支援にとって重要である。支援を要する様々な生活場面を想定し、講義と講義内容に呼応した料理を調理する。 ＊本科目は調理実習が予定されていますが、新型コロナウィルス感染症の状況により、授業内容や実習時期、実習内容を変更する可能性があります。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	△
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	◎
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	○

授業計画	第１回	オリエンテーション、調理支援のための基礎知識 【key words】 評価方法、課題発表、ＩＣＦ 【授業概要】 授業の進め方、評価方法、課題発表について理解する。調理の支援と調理活動の支援とを理解し、よりよい支援につなげるための評価を学ぶ。また、レクリエーション的活動や、リハビリテーションとしての調理支援の際に重要な視点を学ぶ。課題発表。実習事前アンケートの実施。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ２～８、Ｐ１２９ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 該当ページを読んでおくこと。食物アレルギーのある生徒は申告できるようにしておくこと（アンケートに記入してもらうため）。 【予習復習に必要な想定時間】 60～120分
	第２回	調理支援と家庭生活 【key words】 家計、共食、物理的環境 【授業概要】 調理支援をする際には、調理に関わる知識・技術の習得は不可欠だが、献立作成や食材の買い物についても知識が必要になるので、利用者の家計を考慮した支援を行うための家計管理を学ぶ。また地域で行われているサービスを調べて共有する。課題発表。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ１０～１９ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 居住地周辺で行われている食に関するサービスを調べておく（配食サービス等）。該当ページを読んでおくこと。課題発表予定者はプレゼンテーションの準備をすること。 【予習復習に必要な想定時間】 60～120分
	第３回	調理の基本① 【key words】 献立作成、食事摂取基準、衛生管理 【授業概要】 食事摂取基準を踏まえ、高齢者向けの献立について考える。また、食材の選択、保存方法や衛生管理について学ぶ。課題発表。

【教科書ページ・参考文献】
Ｐ２２～２７
【課題・予習・復習・授業準備指示】
該当ページを読んでおくこと。課題発表予定者はプレゼンテーションの準備をすること。
【予習復習に必要な想定時間】
60～120分

第４回　調理の基本②
【key words】
調理器具、調理操作、下処理
【授業概要】
代表的な非加熱操作と加熱操作を知るとともに、主な野菜や乾物の下処理を学ぶ。調理室の使い方、約束事を知る。課題発表。
【教科書ページ・参考文献】
Ｐ２８～３２
【課題・予習・復習・授業準備指示】
該当ページを読んでおくこと。課題発表予定者はプレゼンテーションの準備をすること。
【予習復習に必要な想定時間】
60～120分

第５回　調理の基本③、炊飯とだしの取り方
【key words】
だし、計量、調味操作
【授業概要】
かつおぶし、こんぶ、煮干しの一般的なだしの取り方、計量や調味、炊飯の基本を学ぶ。課題発表。調理実習では炊飯、かつおだしのみそ汁、廃棄をなくすために使用したかつお節を用いてふりかけを作る。
【教科書ページ・参考文献】
Ｐ３３～３７
【課題・予習・復習・授業準備指示】
該当ページを読んでおくこと。予告された献立の調理手順を理解して実習に臨むこと。実習後は、復習として自宅等での再調理を勧める。課題発表予定者はプレゼンテーションの準備をすること。
【予習復習に必要な想定時間】
60～120分

第６回　介護現場での食生活支援と課題、軟菜食の調理と試食
【key words】
介護予防、買い物支援
【授業概要】
介護現場での食生活支援は、介護予防の観点から栄養改善が重視されるようになっている。高齢者の食生活支援において考慮すべき予防的な事項を学ぶ。課題発表。調理実習。
【教科書ページ・参考文献】
Ｐ３８～４４、Ｐ５２
【課題・予習・復習・授業準備指示】
該当ページを読んでおくこと。予告された献立の調理手順を理解して実習に臨むこと。実習後は、復習として自宅等での再調理を勧める。課題発表予定者はプレゼンテーションの準備をすること。
【予習復習に必要な想定時間】
60～120分

第７回　介護食の調理 、 きざみ食の調理と試食
【key words】
摂食機能、咀嚼障害、嚥下障害
【授業概要】
食事の介護においては、身体状況に応じた献立を考え、調理の形態や方法を考えて料理をすることが求められる。摂食機能に応じた調理の工夫と配慮、調理の基本を学ぶ。課題発表。調理実習。
【教科書ページ・参考文献】
Ｐ４５～４８、Ｐ５２
【課題・予習・復習・授業準備指示】
該当ページを読んでおくこと。予告された献立の調理手順を理解して実習に臨むこと。実習後は、復習として自宅等での再調理を勧める。課題発表予定者はプレゼンテーションの準備をすること。
【予習復習に必要な想定時間】
60～120分

第８回　和食調理の基本、和食献立の調理と試食
【key words】
一汁三菜、旬、調味パーセント
【授業概要】
和食の基本となる献立、材料の選び方、味付けを学ぶ。また、配膳の仕方や箸の持ち方など、簡単なマナーについても学ぶ。課題発表。調理実習。
【教科書ページ・参考文献】
Ｐ５４～５５、Ｐ６０～６１、Ｐ６６～６７
【課題・予習・復習・授業準備指示】
該当ページを読んでおくこと。予告された献立の調理手順を理解して実習に臨むこと。実習後は、復習として自宅等での再調理を勧める。。課題発表予定者はプレゼンテーションの準備をすること。
【予習復習に必要な想定時間】
60～120分

第９回　洋風調理の基本、洋風献立の調理と試食
【key words】
形態別調理、ゼリー食

【授業概要】
基本献立を形態別調理に応用する方法を学ぶ。課題発表。調理実習では、献立の一部をきざみ食

とゼリー食に変更して調理する。
【教科書ページ・参考文献】
Ｐ７２～７６
【課題・予習・復習・授業準備指示】
該当ページを読んでおくこと。予告された献立の調理手順を理解して実習に臨むこと。実習後は、復習として自宅等での再調理を勧める。。課題発表予定者はプレゼンテーションの準備をすること。
【予習復習に必要な想定時間】
60～120分

第１０回　在宅介護、施設介護における調理活動の支援、施設での人気メニューの調理と試食
【key words】
調理活動、環境設定
【授業概要】
施設や在宅での調理支援は、利用者の自立支援につながるとともに、生活の向上をもたらす。利用者の身体状況を把握したうえで、生活暦やニーズなど個々の視点に立った、自立に向けた支援方法を学ぶ。課題発表。調理実習。
【教科書ページ・参考文献】
Ｐ７８～７９
【課題・予習・復習・授業準備指示】
該当ページを読んでおくこと。予告された献立の調理手順を理解して実習に臨むこと。実習後は、復習として自宅等での再調理を勧める。課題発表予定者はプレゼンテーションの準備をすること。
【予習復習に必要な想定時間】
60～120分

第１１回　障害別にみる調理活動の支援、、嚥下食の調理と試食
【key words】
認知症、片麻痺、クロックポジション
【授業概要】
心身に障害のある利用者へ対する支援では、身体状況に応じた安全への配慮を検討する必要がある。認知症や障害別に、支援における留意点学ぶ。課題発表。調理実習。
【教科書ページ・参考文献】
Ｐ８０～８４
【課題・予習・復習・授業準備指示】
該当ページを読んでおくこと。予告された献立の調理手順を理解して実習に臨むこと。実習後は、復習として自宅等での再調理を勧める。課題発表予定者はプレゼンテーションの準備をすること。
【予習復習に必要な想定時間】
60～120分

第１２回　家庭にある食材を使った調理、保存食品を使った調理と試食
【key words】
居宅支援、食品ロス、食生活指針
【授業概要】
最新の統計調査から食品廃棄の現状を知り、廃棄を減らすためにも「あるもので」作る技術が重要となる。あるもので調理できる力は、災害時などにも役立つことを学ぶ。課題発表、調理実習。
【教科書ページ・参考文献】
Ｐ８６～９０
【課題・予習・復習・授業準備指示】
該当ページを読んでおくこと。予告された献立の調理手順を理解して実習に臨むこと。実習後は、復習として自宅等での再調理を勧める。課題発表予定者はプレゼンテーションの準備をすること。
【予習復習に必要な想定時間】
60～120分

第１３回　高齢者の疾病と調理 、減塩食の調理と試食
【key words】
生活習慣病、適正エネルギー量、高血圧治療ガイドライン
【授業概要】
高齢者への食生活支援では、生活習慣病への対応の他に、低栄養状態の予防と改善が求められる。適正エネルギー量を知り、摂取エネルギーを増加する必要がある場合と、減少させる必要がある場合があることを学ぶ。課題発表。調理実習。
【教科書ページ・参考文献】
Ｐ９１～９６、Ｐ１０６
【課題・予習・復習・授業準備指示】
該当ページを読んでおくこと。予告された献立の調理手順を理解して実習に臨むこと。実習後は、復習として自宅等での再調理を勧める。課題発表予定者はプレゼンテーションの準備をすること。
【予習復習に必要な想定時間】
60～120分

第１４回　コントロール食、カルシウム強化食の調理と試食
【key words】
特殊食品、骨粗鬆症、貧血
【授業概要】
栄養素の欠乏が引き金となる疾患、必要な栄養素の増減を図るコントロール食の種類を学び、食事療法の有用性を学ぶ。課題発表。調理実習では骨粗鬆症予防を念頭に置いた、カルシウム強化食を調理する。
【教科書ページ・参考文献】
Ｐ９９～１０３、Ｐ１１１～１１３
【課題・予習・復習・授業準備指示】
該当ページを読んでおくこと。予告された献立の調理手順を理解して実習に臨むこと。実習後は、復習として自宅等での再調理を勧める。課題発表予定者はプレゼンテーションの準備をすること。
【予習復習に必要な想定時間】
60～120分

	第１５回　　行事食、郷土食、行事食の調理と試食 【key words】 ハレの日、年中行事、地産地消 【授業概要】 行事食や郷土食は、心身の状態に不自由がある利用者にとって、生活に楽しさや豊かさをもたらす。長年調理してきた高齢者にとっては、文化を伝承する機会ともなり、クリエーション活動としても意義が大きいことを学ぶ。課題発表。調理実習では、利用者が参加可能な行事食を調理する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ１１８～１１９ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 該当ページを読んでおくこと。予告された献立の調理手順を理解して実習に臨むこと。実習後は、復習として自宅等での再調理を勧める。課題発表予定者はプレゼンテーションの準備をすること。 【予習復習に必要な想定時間】 60～120分
受講生に関わる情報および受講のルール	授業中の私語、スマホ操作は厳禁。 実習中はマスク、エプロン、三角巾を着用する。 長つめ・マニキュアは禁止。髪は束ねる。 実習時にはブレスレットや腕時計は外す。 ハンドタオル、布巾を持参する。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード、実習後のレポート
授業外時間にかかわる情報	調理実習には手順を予習して臨むこと。実習後には自宅等で調理を行い、復習することが望ましい。
オフィスアワー	授業前後15分は対応可能。
評価方法	テスト 50%、実習態度（課題発表、実習態度・身支度）50%
教科書	生活支援のための調理実習　第3版（建帛社）　1,900円＋税
参考書	授業時に紹介する
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 教育機関からの要請により、主に高校生以下の子どもをもつ家庭の支援を行っている。また、障がい者の地域生活支 援を担当していた経験から、食を通じての健康保持、食生活支援のあり方を考えたい。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 介護過程の展開Ⅱ　　授業コード： J845

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年次	1単位(30)	介護福祉コース・福祉総合コース・介護福祉士実践コース・選択
担当教員			
白井　幸久・清水　久二雄			
	介護福祉士国家試験受験資格を得るための指定必須科目		
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕 ・1年次で学んだ介護過程まのアセスメント～介護計画の作成を事例を用いて行えるようにするための演習が中心の授業　になります。単に計画を作成するだけではなく、作成した介護計画が論理的で、科学的根拠に基づくもので他者に説 　明することができることを目的にしています。そのため様々な知識や技術を総動員し、さらにその計画がチームで運営　するためにどのような工夫や配慮なども含め実現可能性が高い介護計画の作成ができるようになる為の学習を行いま 　す。 〔到達目標〕 ①主観的情報・客観的情報の収集や整理ができる。 ②ＩＣＦの概念図を用いて情報の統合をし根拠に基づいて生活課題やニーズの抽出ができる。 ③生活課題、ニーズに合わせて適正目標設定と具体的な介護内容を計画する事ができる。 ④様々な可能性に着目した創造的な介護計画を作成することができる。
授業の概要	①様々な事例を用意し個人ワーク・グループワークなど演習方式で授業をすすめていく。 ②学生の学習の進捗状況はアセスメントシート、統合用紙、介護計画書を提出してもらい確認する。 ③根拠に基づくという事を重視するため時々それぞれの考え方、導き出した理由を述べてもらう機会をつくる。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	○
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	◎
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	△

授業計画	第１回　　科目のガイダンス（授業の進め方、演習について） 【key words】 介護過程　事例 【授業概要】 ・授業のガイダンスを行う。授業は演習が中心であること、授業以外の時間の使い方が重要である事と、積極的なオフィスアワーの活用、調べ学習のポイントについても再度触れる。 【教科書ページ・参考文献】 2回目以降に使用する事例、シートの配布 【課題・予習・復習・授業準備指示】 〈予習〉配布した事例概要を次回の授業までに熟読しておくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 60～80分 第２回　　介護過程の実践的展開①　（口頭からの主訴が少ない利用者の事例　主観的な情報収集） 【key words】 意思の認識　　意思の表明　　スピリチュアリティ　主観的情報 【授業概要】 ・意思の表明が先天的、身体的に困難である場合の支援方法や、対人関係トラブル後の再構築の支援、主観的 　な情報する場合の支援について、様々な状態とそれによる言動の意味について考えていき、学びを深めてい 　く。 【教科書ページ・参考文献】 2回目以降に使用する事例、シートの配布 【課題・予習・復習・授業準備指示】 〈復習・予習〉　授業で調べたものをまとめておくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 60～80分 第３回　　介護過程の実践的展開②　（口頭からの主訴が少ない利用者の事例　客観的な情報収集） 【key words】 客観的な情報収集　　ナラティブリポート 【授業概要】 ・前回の授業で行った主観的な情報収集の整理をもと 【教科書ページ・参考文献】 2回目以降に使用する事例、シートの配布

【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習・予習〉 授業で配布した資料のまとめを行う事。また主観的、客観的な情報収集の内容を比較し観察する事。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第４回　介護過程の実践的展開③　（口頭からの主訴が少ない利用者の事例　情報の統合）
【key words】
情報の統合　現状　自己像
【授業概要】
・これまで生きていく中で培ってきた自己像に対して、現状とのギャップはどうかについて焦点をあててい
く。そのギャップが生じている要因について情報と情報がどのように関連しているのか、様々なパッケージ
ジング、ナンバーリングを行っていき、情報の統合で必要な事は何かを学んでいく。

【教科書ページ・参考文献】
2回目以降に使用する事例、シートの配布
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習・予習〉 授業で実施した情報同士の関連図を仕上げること。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第５回　介護過程の実践的展開④　（口頭からの主訴が少ない利用者の事例　目標設定とサービス内容）
【key words】
ゴール設定　目標を創造　Win-Win　Win-Rose
【授業概要】
・これまで生きていく中で培ってきた自己像に対して、現状とのギャップはどうかについて焦点をあててい
く。そのギャップが生じている要因について情報と情報がどのように関連しているのか、様々なパッケージ
ジング、ナンバーリングを行っていき、情報の統合で必要な事は何かを学んでいく。
【教科書ページ・参考文献】
2回目以降に使用する事例、シートの配布
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習・予習〉
今回の授業で検討した目標設定とニーズや解決すべき課題との間に辻褄が合っているように検討してくること
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第６回　介護過程の実践的展開⑤　（口頭からの主訴が少ない利用者の事例　実施状況と振り返り）
【key words】
計画内容　手順書
【授業概要】
・手順を進めていく為に必要な「担当者」に対しての情報共有についてと、役割分担について触れる。また頻
度・時間・タイミングについてどのような配慮や進め方がよいのかについて学ぶ
【教科書ページ・参考文献】
2回目以降に使用する事例、シートの配布
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習・予習〉 次回の授業終了時に作成した介護計画書は提出してもらう予定であるため、体裁を整えておくこと。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第７回　第2～6回の事例のまとめ　（記録の整理、思考の整合性の確認）
【key words】
整合性　計画の見立て　いくつもの予測
【授業概要】
・これまでまとめたものを小グループで発表しあう。グループ討議では質問のみとする。その後計画実施時の
様々な想定を行い計画書の中身について検討する。残った時間は個別に分かれ、修正や、調べる内容など
あったら各自で作業を行う。
【教科書ページ・参考文献】
2回目以降に使用する事例、シートの配布
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習・予習〉
小グループで話し合った内容とこれまでの計画書作成について配布した「振り返りカード」を記載し演習内
容を総括しておくこと。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第８回　介護過程の実践的展開①　（障害者が地域で生活を継続するための事例　主観的な情報収集）
【key words】
意思の認識の変容　意思の表明の変容　主観的情報の変容
【授業概要】
・8回の授業より障害のある人が地域社会で主体的に生活するための支援について学習していく。障害がある
人の意思の表明の確認のためにどのような配慮が必要であるかを事例を通して、段階的にワークを行いなが
ら学習していく。

【教科書ページ・参考文献】
8回目以降に使用する事例、シートの配布

【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習・予習〉　・意思の確認するために言動の確認方法について個人でまとめておくように。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第９回　介護過程の実践的展開②　（障害者が地域で生活を継続するための事例　客観的な情報収集）
【key words】
ストレングス　　パワーレス
【授業概要】
・前回の意思の認識・表明や主観的な情報については、携る関係の線が増えれば増える程、主観的な情報は変
容する場合がある事を学ぶ。その上で「サポーター」と呼ばれる人の重要性や役割を学びながら、地域で生
活する事について考えていく。
【教科書ページ・参考文献】
8回目以降に使用する事例、シートの配布

【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習・予習〉　　ストレングス　パワーレスの状態について個人で事例から検討するように。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第１０回　介護過程の実践的展開③　（障害者が地域で生活を継続するための事例　情報の統合）
【key words】
情報の統合　ストレングス　エンパワーメント
【授業概要】
・前回のストレングス・エンパワーメントの視点から、様々な生活の可能性についてグループディスカッショ
ンを通して学習する。
【教科書ページ・参考文献】
8回目以降に使用する事例、シートの配布
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習・予習〉　　今回の授業でまとめた様々な可能性について個人でまとめておくように。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第１１回　介護過程の実践的展開④　（障害者が地域で生活を継続するための事例　目標設定とサービス内容）
【key words】
ストレングス　エンパワーメント　自助　互助　ソーシャルアクション
【授業概要】
・前回に実施した情報の統合において、自助・互助でニーズや課題がクリアできるのか、また今後共助・公助
の必要がないのかを考えながら学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
8回目以降に使用する事例、シートの配布
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習・予習〉　　今回の授業でまとめた様々な可能性について個人でまとめておくように。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第１２回　介護過程の実践的展開⑤　（障害者が地域で生活を継続するための事例　実施状況と振り返り）
【key words】
ストレングス　エンパワーメント　自助　互助　ソーシャルアクション
【授業概要】
・計画と具体的内容においては環境・人的などの様々な「資源」についてどのように計画書に記載するという
工夫についてや、自助グループなど多数の住民などに開示する必要がある場合の情報の取り扱いについて学
習する。
【教科書ページ・参考文献】
8回目以降に使用する事例、シートの配布
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習・予習〉
次回の授業終了時に作成した介護計画書は提出してもらう予定であるため、体裁を整えておくように。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第１３回　第8～12回の事例のまとめ　（記録の整理、思考の整合性の確認）
【key words】
ストレングス　エンパワーメント　自助　互助　ソーシャルアクション
【授業概要】
・これまでまとめたものを小グループで発表しあう。グループ討議では質問のみとする。その後計画実施時の
様々な想定を行い計画書の中身について検討する。残った時間は個別に分かれ、修正や、調べる内容など
あったら各自で作業を行う。
【教科書ページ・参考文献】
8回目以降に使用する事例、シートの配布
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習・予習〉
小グループで話し合った内容とこれまでの計画書作成について配布した「振り返りカード」を記載し演習内
容を総括しておくこと
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

	第１４回　　ケースカンファレンス体験　（2つの事例を用いて） 【key words】 共感的理解　シナジー 【授業概要】 ・これまでの2つの事例についてカンファレンスの体験を実施する。　小項目を具体的に抽出し、そのテーマ で話し合いを行う。時間を設定し互いのカンファレンスを傍聴してもらいながら学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 コミュニケーション技術　　P248～257 【課題・予習・復習・授業準備指示】 〈復習・予習〉 今回の話し合いの内容を整理し、他職種との共感的理解と、創造的な会議の開催について必要な事をまとめ て、次回の授業に持ち寄る。 【予習復習に必要な想定時間】 60～80分 第１５回　　まとめ　（カンファレンスを通じて） 【key words】 共感的理解　シナジー 【授業概要】 ・前回の授業の課題を持ち寄り全体でカンファレンスを開催、その後、「共感的理解」「シナジー」にふれて いく。 【教科書ページ・参考文献】 コミュニケーション技術　　P248～257 【課題・予習・復習・授業準備指示】 〈復習・予習〉 2つの事例を通じて学生自身の思考のパターン、特徴などについて自己覚知するように振り返ること 【予習復習に必要な想定時間】 60～80分
受講生に関わる情報および受講のルール	・段階的に授業を進めている為欠席、早退、遅刻しないように努める ・調べ学習を行う事が多くなるため必要なテキスト、用語辞典などを用意すること。(授業の中でも適宜紹介する。) ・演習が中心となり個人によって学習の進捗が違ってくる事が考えられるため分からないところはそのままにせず質問し てくること。 ・個人ワーク、グループワークなど行う際に必要ない私語、講義中の私語は慎むこと。(評価方法にも含まれます)
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード　授業で配布するワークシートの回収の添削　ディスカッション　発表
授業外時間にかかわる情報	授業では多くの事例を用いて学ぶ事が多く、事例の読み込みや計画立案において様々なアイデアを活かす必要があるため、事前学習と事後学習の積み上げに比例して学習成果は高くなると思います。
オフィスアワー	初回授業時に時間表を配布し説明する。
評価方法	授業で行った演習の提出　80%　　演習時の取り組み　20%
教科書	介護福祉士養成テキスト　2　「介護の基本／介護過程」　　日本介護福祉士養成施設協会
参考書	印刷資料など
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 介護老人保健施設に5年弱(介護職員、レクリエーションワーカー)、特別養護老人ホームに19年間(介護長、施設ケアマネジャー)　特に施設ケアマネジャーではケアプラン業務、サービス担当者会議業務、家族への説明などを行っていた。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他

	その他の具体的内容

講義科目名称： 医療的ケアⅢ　　授業コード： J867

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年次	1単位(30)	福祉総合コース・介護福祉士実践コース・必修／介護福祉コース・選択
担当教員			
赤田　実千代・福田　智久			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 医療的ケアが必要な人の安全で安楽な生活を支援するため、医療職との連携の下で医療的ケアを安全・適切に実施できるよう、必要な知識・技術を修得する。 【到達目標】 ・医療的ケアは、人体に危害を及ぼすおそれのある行為であることを理解し、真摯な姿勢で取り組むことができる。 ・根拠に基づく喀痰吸引の手技を実施するために必要な知識や実施手順を説明できる。 ・根拠に基づく経管栄養の手技を実施するために必要な知識や実施手順を説明できる。 ・医療的ケアの実施において、医療職との連携の必要性を説明できる。
授業の概要	医行為である医療的ケアは、人体に危害を及ぼすおそれのある行為であることを理解し、根拠に基づく手技を実施するために必要な喀痰吸引・経管栄養の基礎的知識・実施手順について学びます。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	◎
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	△
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	○

授業計画	第１回	高齢者及び障害児・者の喀痰吸引実施手順①必要物品 【key words】 吸引器　吸引カテーテル　清浄綿　洗浄水 【授業概要】 喀痰吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、吸引を行う部位によって必要な物品の種類が異なることを解説する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ８２～８４ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：喀痰吸引の必要物品とそのしくみ 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第２回	高齢者及び障害児・者の喀痰吸引実施手順②清潔保持 【key words】 浸漬法　乾燥法 【授業概要】 第１回講義範囲の確認テストの実施。喀痰吸引の必要物品の清潔保持について、吸引カテーテルの清潔保持方法について解説する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ８５～８６ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：喀痰吸引の必要物品の清潔保持 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第３回	高齢者及び障害児・者の喀痰吸引実施手順③喀痰吸引の技術と留意点 【key words】 口腔内吸引　鼻腔内吸引　気管カニューレ内部吸引 【授業概要】 第２回講義範囲の確認テストの実施。口腔内・鼻腔内吸引の実施手順と留意点、気管カニューレ内部吸引の実施手順と留意点について解説する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ８５～９３ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：口腔内・鼻腔内吸引の手順　気管カニューレ内部吸引の実施手順 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第４回	消化機能 【key words】 消化管　消化腺　嚥下反射

【授業概要】
第３回講義範囲の確認テストの実施。消化器系のしくみとはたらき、嚥下のしくみ、主な消化器系器官各部の名称について解説する。
【教科書ページ・参考文献】
Ｐ９４～９７
【課題・予習・復習・授業準備指示】
復習：嚥下、消化器系のしくみとはたらき
【予習復習に必要な想定時間】
３０分

第５回　注入する栄養剤に関する知識
【key words】
成分栄養剤　消化態栄養剤　半固形化栄養剤
【授業概要】
第４回講義範囲の確認テストの実施。経管栄養で注入する内容について、半固形化栄養剤を使用する場合について解説する。
【教科書ページ・参考文献】
Ｐ１００～１０１
【課題・予習・復習・授業準備指示】
復習：経管栄養剤の種類　半固形化栄養剤
【予習復習に必要な想定時間】
３０分

第６回　経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応
【key words】
生活意欲　拘束感　不安感
【授業概要】
第５回講義範囲の確認テストの実施。経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意について解説する。
【教科書ページ・参考文献】
Ｐ１０２～１０３
【課題・予習・復習・授業準備指示】
復習：利用者の経管栄養に対する気持ち
【予習復習に必要な想定時間】
３０分

第７回　高齢者及び障害児・者の経管栄養実施手順　：　必要物品
【key words】
イルリガートル　栄養点滴チューブ　カテーテルチップシリンジ　白湯
【授業概要】
第６回講義範囲の確認テストを実施。経管栄養に必要な物品と用途について解説する。
【教科書ページ・参考文献】
Ｐ１０５～１０６
【課題・予習・復習・授業準備指示】
復習：経管栄養の必要物品
【予習復習に必要な想定時間】
３０分

第８回　高齢者及び障害児・者の経管栄養実施手順　：　感染と予防
【key words】
免疫力　消化器感染　食中毒
【授業概要】
第７回講義範囲の確認テストの実施。経管栄養を行っている利用者の消化器感染と予防について解説する。
【教科書ページ・参考文献】
Ｐ１０５～１０７
【課題・予習・復習・授業準備指示】
復習：消化器感染と予防
【予習復習に必要な想定時間】
３０分

第９回　高齢者及び障害児・者の経管栄養実施手順　：　喀痰吸引の技術と留意点
【key words】
説明と同意　半座位　クレンメ
【授業概要】
第８回講義範囲の確認テストの実施。経管栄養の準備・実施・報告・片付け・記録について解説する。
【教科書ページ・参考文献】
Ｐ１０７～１１３
【課題・予習・復習・授業準備指示】
復習：経管栄養の準備・実施・報告・片付け・記録
【予習復習に必要な想定時間】
３０分

第１０回　子どもの医療的ケア　／　経管栄養
【key words】
嚥下機能　嚥下障害
【授業概要】
第９回講義範囲の確認テストの実施。経管栄養を必要とする子ども、経管栄養を行っている子どもへの配慮について解説する。
【教科書ページ・参考文献】
Ｐ１１４～１１７
【課題・予習・復習・授業準備指示】
復習：経管栄養の必要な子ども　経管栄養を行っている子どもへの配慮
【予習復習に必要な想定時間】
３０分

第１１回　リスクマネジメントのプロセス
【key words】

	事故分析　アセスメント　危険予知訓練 【授業概要】 第１０回講義範囲の確認テストを実施．リスクマネジメントに必要な事故分析、介護職員のスキルの向上について解説する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ１２０～１２８ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：事故分析 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分 ３０分 第１２回　応急手当 【key words】 圧迫止血　回復体位　窒息　背部叩打法　ハイムリック法 【授業概要】 第１１回講義範囲の確認テストの実施。急変した命を守るために行われる応急手当、圧迫止血・回復体位・気道異物除去について解説する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ１３１～１３３ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：圧迫止血　回復体位　気道異物除去法 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分 第１３回　救急蘇生法演習 【key words】 胸骨圧迫　気道確保　ＡＥＤ 【授業概要】 第１２回講義範囲の確認テストの実施。救急蘇生法の実際の手順について、講師の指導のもと演習を実施する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ１９０～１９５ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：救急蘇生法の手順 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分 第１４回　喀痰吸引　まとめ 【key words】 口腔内吸引　鼻腔内吸引　気管カニューレ内部吸引 【授業概要】 口腔内・鼻腔内吸引の手順と留意点、気管カニューレ内部吸引吸引の手順と留意点について解説する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ１３３～１６６ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：口腔内・鼻腔内吸引の手順と留意点　気管カニューレ内部吸引の手順と留意点 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分 第１５回　経管栄養　まとめ 【key words】 胃ろうによる経管栄養　経鼻経管栄養 【授業概要】 胃ろうによる経管栄養の手順と留意点、経管栄養の手順と留意点について解説する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ１６７～１８９ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：胃ろうによる経管栄養の実施手順　経鼻経管栄養の実施手順 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
受講生に関わる情報および受講のルール	私語や携帯電話の使用といった迷惑行為は慎むこと。演習等は、学校指定のジャージを必ず着用すること。本講義内容は生命の安全に関わることを理解し真剣・積極的に取り組むこと
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	シャトルカード
授業外時間にかかわる情報	授業時に指示する。
オフィスアワー	火曜日１４：２０～１５：００　金曜日　１０：３０～１２：００
評価方法	確認テスト
教科書	柊崎京子・荏原順子　編著　：　介護福祉士養成課程・介護職等のための医療的ケア、建帛社
参考書	印刷資料等。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 大学病院の病棟看護、企業内健康管理室看護師など看護師の実務経験を活かし、医療的ケアに必要な知識や技術を講じます。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習)

	□ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称：　医療的ケアⅣ　　授業コード：J869

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年次	1単位(30)	介護福祉コース・福祉総合コース・介護福祉士実践コース・選択
担当教員			
赤田　実千代・福田　智久			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 医療的ケアが必要な人の安全で安楽な生活を支援するため、医療職との連携の下で医療的ケアを安全・適切に実施できるよう、必要な知識・技術を修得する。 【到達目標】 ・医療的ケアは、人体に危害を及ぼすおそれのある行為であることを理解し、真摯な姿勢で取り組むことができる。 ・喀痰吸引の手順を理解し、根拠に基づく喀痰吸引が安全・確実に実施できる。 ・経管栄養の手順を理解し、根拠に基づく経管栄養が安全・確実に実施できる。 ・医療的ケアの実施において、医療職と適切に連携できる。
授業の概要	医行為である医療的ケアは人体に危害を及ぼすおそれのある行為であることを理解し、演習を通して根拠に基づく喀痰吸引・経管栄養が実施できるように学習します。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	◎
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	△
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	○

授業計画	第１回	経管栄養（１）　：　胃ろう又は腸ろう演習見学 【key words】 状態観察　逆流防止　清潔保持　感染予防 【授業概要】 胃ろうによる経管栄養の実施手順チェックリストに沿って、デモンストレーションを実施し手順の確認をする。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ１６７～１７８ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：胃ろうによる経管栄養（必要物品・観察項目） 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第２回	経管栄養（１）　：　胃ろう又は腸ろう演習実践 【key words】 状態観察　逆流防止　清潔保持　感染予防 【授業概要】 胃ろうによる経管栄養の実施手順チェックリストに沿って、グループ毎に担当講師の指導のもと演習を実施する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ１６７～１７８ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：胃ろうによる経管栄養（実施手順・必要物品・観察項目） 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第３回	経管栄養（１）　：　胃ろう又は腸ろう演習評価 【key words】 状態観察　逆流防止　清潔保持　感染予防 【授業概要】 胃ろうによる経管栄養の実施手順チェックリストに沿って、演習の評価を行う。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ１６７～１７８ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：経鼻経管栄養経管栄養（必要物品・観察項目） 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第４回	経管栄養（２）　：　経鼻演習見学 【key words】 状態観察　逆流防止　清潔保持　感染予防 【授業概要】 経鼻経管栄養の実施手順チェックリストに沿って、デモンストレーションを実施し手順の確認を

する。
【教科書ページ・参考文献】
Ｐ１６７～１７８
【課題・予習・復習・授業準備指示】
復習：経鼻経管栄養（必要物品・観察項目）
【予習復習に必要な想定時間】
３０分

第５回　経管栄養（２）　：　経鼻演習実践
【key words】
状態観察　逆流防止　清潔保持　感染予防
【授業概要】
胃ろうによる経管栄養の実施手順チェックリストに沿って、グループ毎に担当講師の指導のもと演習を実施する。
【教科書ページ・参考文献】
Ｐ１６７～１７８
【課題・予習・復習・授業準備指示】
復習：経鼻経管栄養（実施手順・必要物品・観察項目）
【予習復習に必要な想定時間】
３０分

第６回　経管栄養（２）　：　経鼻演習評価
【key words】
状態観察　逆流防止　清潔保持　感染予防
【授業概要】
経鼻経管栄養の実施手順チェックリストに沿って、演習の評価を行う。
【教科書ページ・参考文献】
Ｐ１６７～１７８
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：口腔内吸引（必要物品・観察項目）
【予習復習に必要な想定時間】
３０分

第７回　喀痰吸引（１）　：　口腔内演習見学
【key words】
状態観察　咽頭手前　清潔保持　感染防止
【授業概要】
口腔内吸引の実施手順チェックリストに沿って、デモンストレーションを実施し手順の確認をする。
【教科書ページ・参考文献】
Ｐ１３６～１５０
【課題・予習・復習・授業準備指示】
復習：口腔内吸引（必要物品・観察項目）
【予習復習に必要な想定時間】
３０分

第８回　喀痰吸引（１）　：　口腔内演習実践
【key words】
状態観察　咽頭手前　清潔保持　感染防止
【授業概要】
口腔内吸引の実施手順チェックリストに沿って、グループ毎に担当講師の指導のもと演習を実施する。
【教科書ページ・参考文献】
Ｐ１３６～１５０
【課題・予習・復習・授業準備指示】
復習：口腔内吸引（実施手順・必要物品・観察項目）
【予習復習に必要な想定時間】
３０分

第９回　経喀痰吸引（１）　：　口腔内演習評価
【key words】
状態観察　咽頭手前　清潔保持　感染防止
【授業概要】
口腔内吸引の実施手順チェックリストに沿って、演習の評価を行う。
【教科書ページ・参考文献】
Ｐ１３６～１５０
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：鼻腔内吸引（必要物品・観察項目）
【予習復習に必要な想定時間】
３０分

第１０回　喀痰吸引（２）　：　鼻腔内演習見学
【key words】
状態観察　咽頭手前　清潔保持　感染防止
【授業概要】
鼻腔内吸引の実施手順チェックリストに沿って、デモンストレーションを実施し手順の確認をする。
【教科書ページ・参考文献】
Ｐ１３６～１５０
【課題・予習・復習・授業準備指示】
復習：鼻腔内吸引（必要物品・観察項目）
【予習復習に必要な想定時間】
３０分

第１１回　喀痰吸引（２）　：　鼻腔内演習実践
【key words】
状態観察　咽頭手前　清潔保持　感染防止
【授業概要】
鼻腔内吸引の実施手順チェックリストに沿って、グループ毎に担当講師の指導のもと演習を実施

	する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ１３６～１５０ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：鼻腔内吸引（実施手順・必要物品・観察項目） 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分 第１２回　喀痰吸引（２）　：　鼻腔内演習評価 【key words】 状態観察　咽頭手前　清潔保持　感染防止 【授業概要】 鼻腔内吸引の実施手順チェックリストに沿って、演習の評価を行う。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ１３６～１５０ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：気管カニューレ内部吸引（必要物品・観察項目） 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分 第１３回　喀痰吸引（３）　：　気管カニューレ内演習見学 【key words】 状態観察　滅菌　清潔保持　感染防止 【授業概要】 吸引の実施手順チェックリストに沿って、デモンストレーションを実施し手順の確認をする。 【教科書ページ・参考文献】 ｐ１５１～１６６ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：気管カニューレ内部吸引（必要物品・観察項目） 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分 第１４回　喀痰吸引（３）　：　気管カニューレ内演習実践 【key words】 状態観察　滅菌　清潔保持　感染防止 【授業概要】 気管カニューレ内部吸引の実施手順チェックリストに沿って、グループ毎に担当講師の指導のもと演習を実施する。 【教科書ページ・参考文献】 ｐ１５１～１６６ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：気管カニューレ内部吸引（実施手順・必要物品・観察項目） 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分 第１５回　喀痰吸引（３）　：　気管カニューレ内演習評価 【key words】 状態観察　滅菌　清潔保持　感染防止 【授業概要】 気管カニューレ内部吸引の実施手順チェックリストに沿って、演習の評価を行う。 【教科書ページ・参考文献】 ｐ１５１～１６６ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：気管カニューレ内部吸引（実施手順・必要物品・観察項目） 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
受講生に関わる情報および受講のルール	私語や携帯電話の使用といった迷惑行為は慎むこと。演習等は、学校指定のジャージを必ず着用すること。本講義内容は生命の安全に関わることを理解し真剣・積極的に取り組むこと
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	シャトルカード
授業外時間にかかわる情報	授業時に指示する。
オフィスアワー	火曜日１４：２０～１５：００　　金曜日１０：３０～１２：００
評価方法	演習に取り組む姿勢５０％　実技試験５０％
教科書	柊崎京子・荏原順子　編著　：　介護福祉士養成課程・介護職等のための医療的ケア、建帛社
参考書	印刷資料等。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 大学病院の病棟看護、企業内健康管理室看護師など看護師の実務経験を活かし、医療的ケアに必要な知識や技術について講じます。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

	情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称：　医療秘書特講　　授業コード：971

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	2年次	2単位(60)	医療事務・秘書コース・必修
担当教員			
清水　春代・淡島　正浩			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕 日本医師会認定医療秘書取得に必要な「３つの資格」の対象検定となる、「硬筆書写技能検定」の3級合格を目指す。また、このことで社会人に求められる筆記能力の向上を図る。 日本医師会認定医療秘書資格取得にむけての対策をする。 〔到達目標〕 ①日本書写技能検定協会文部科学省後援硬筆書写技能検定3級に合格する。 ②見やすく美しい文字を書くことができる。 ③日本医師会認定医療秘書試験に合格する。
授業の概要	前期は硬筆書写技能を測定する技能検定の合格を目指す授業（読み・書きの反復練習等）を主とする。また、これを通じて、日本文化の奥深さに触れる。 更に日本医師会認定医療秘書として認定されるに値する、教養などを身に付ける。 後期は、医師会認定医療秘書受験対策

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	◎
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	

授業計画		
	第１回	前期オリエンテーション　目的、目標、履修上の注意点、評価方法等を説明 【key words】 オリエンテーション 【授業概要】 授業の目的、目標、履修上の注意点、評価方法などの説明。1年間の授業計画の説明。 【教科書ページ・参考文献】 硬筆書写技能検定三級のドリル 【課題・予習・復習・授業準備指示】 取得済の資格証明書の準備、各人取得予定資格の決定 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第２回	硬筆書写技能検定3級の問題を知ろう　　３級問題を体験受験してみよう 【key words】 3つの資格 【授業概要】 医師会認定医療秘書認定に必要な3つの資格の確認と、各人が取得済みの資格、これからめざす資格の確認。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
	第３回	硬筆書写技能検定3級の問題を知ろう　　３級問題を体験受験してみよう 【key words】 速書き 【授業概要】 一定の字数を一定の時間内に、能率よく書写する力を養う。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ドリルで反復練習 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第４回	硬筆書写技能検定3級の問題を知ろう　　３級問題を体験受験してみよう

【key words】
漢字（楷書、行書、ますめ）

【授業概要】
漢字（楷書、行書）を大きく書く練習をすることで、楷書、行書の基本を学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
ドリルで反復練習
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第５回　硬筆書写技能検定3級の問題を知ろう　　３級問題を体験受験してみよう
【key words】
漢字仮名交じり文（縦書き）、楷書、片仮名、数字、ローマ字
【授業概要】
漢字仮名交じり文（縦書き）の習得により、硬筆書写一般の技術及び知識を持って書くことを習得する。
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
ドリルで反復練習
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第６回　硬筆書写技能検定3級の問題を知ろう　　３級問題を体験受験してみよう
【key words】
漢字仮名交じり文（横書き）、楷書、片仮名、数字、ローマ字
【授業概要】
漢字仮名交じり文（縦書き）の習得により、硬筆書写一般の技術及び知識を持って書くことを習得する。
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
ドリルで反復練習
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第７回　硬筆書写技能検定3級の問題を知ろう　　３級問題を体験受験してみよう
【key words】
はがきの宛名書き
【授業概要】
書く位置、文字の大きさ、行間
【教科書ページ・参考文献】
行など何もないところに書く一般的スタイルを身に付ける。
【課題・予習・復習・授業準備指示】
ドリルで反復練習
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第８回　硬筆書写技能検定3級の問題を知ろう　　３級問題を体験受験してみよう
【key words】
掲示（横書き）数行、構成
【授業概要】
掲示の内容を考えて、適当な大きさの字で、一や行間の空きなど、全体から見た構成に注意して体裁よく書く
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
ドリルで反復練習
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第９回　漢字の部分の名称
【key words】
漢字の部分（へん、つくり、かんむり、にょう等）
【授業概要】
漢字の一字を構成している部首・部分の名称を覚える。
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
ドリルで反復練習
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第１０回　漢字の筆順
【key words】
常用漢字の筆順
【授業概要】
正しい筆順で書く習慣をつけることで、漢字の書き方のルールがあることを知る。
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
ドリルで反復練習
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第１１回　草書を読む
【key words】

		草書 【授業概要】 草書にふれる。やさしい草書を読み、日本文化にふれる。。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ドリルで反復練習 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第１２回	漢字の字体 【key words】 間違い探し、誤字、不適当な字 【授業概要】 不適当な字とは、常用漢字の字体として通用しない形のことであり、誤字とは、一般的に通用しない間違い字を訂正する力をつける。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ドリルで反復練習 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第１３回	硬筆検定受験にむけて 【key words】 受験上の注意点 【授業概要】 硬筆検定受験のポイント、心得 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ドリルで反復練習 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第１４回	硬筆検定試験 【key words】 硬筆検定試験 【授業概要】 合格目指して全力を尽くそう 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 自己採点 【予習復習に必要な想定時間】 各自
	第１５回	医療秘書認定にむけて 【key words】 取得済み資格再確認、取得予定資格再確認 【授業概要】 各人、今後の抱負と予定作成、後期授業予定内容と準備について。 【教科書ページ・参考文献】 【教科書ページ・参考文献】医療秘書講座１～４ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【課題・予習・復習・授業準備】医療秘書講座テキストの復習を進めておくこと 【予習復習に必要な想定時間】 各自
	第１６回	後期オリエンテーション　後期の受験スケジュールを確認 【key words】 オリエンテーション 【授業概要】 後期授業の目標、医療秘書検定試験の詳細、取得済み資格の確認、取得予定資格の確認、グループ編成 【教科書ページ・参考文献】 医療秘書講座1~4 【課題・予習・復習・授業準備指示】 医療秘書講座1 p2~149まで復習しておくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第１７回	受験直前対策 【key words】 健康、疾病 【授業概要】 各グループごとにテキストのまとめと発表。次回各グループの担当範囲指定。 【教科書ページ・参考文献】 テキスト1 p2~149

【課題・予習・復習・授業準備指示】
本日の復習とテキストⅠｐ150~263の復習
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第１８回　受験直前対策
【key words】
セルフケア、メディカルケア、終末期、医療倫理、いのち、生殖補助医療など

【授業概要】
各グループごとに、テキストのまとめと発表。次回各グループごとの担当範囲指定

【教科書ページ・参考文献】
テキスト1 p150~263
【課題・予習・復習・授業準備指示】
本日の復習とテキスト2　ｐ2~123の復習
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第１９回　受験直前対策
【key words】
ヒトの身体。生命活動。働き活動。再生、修復、主の保存、老化

【授業概要】
各グループごとにテキストのまとめと発表。次回各グループごとの担当範囲指定

【教科書ページ・参考文献】
テキスト2 p2~123

【課題・予習・復習・授業準備指示】
本日の復習とテキスト2 p124~232の復習
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第２０回　受験直前対策
【key words】
臨床検査、医薬品、薬の作用

【授業概要】
各グループごとにテキストのまとめと発表。次回各グループごとの担当範囲指定。

【教科書ページ・参考文献】
テキスト2 p124~232

【課題・予習・復習・授業準備指示】
本日の復習とテキスト3 p2~121の復習
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第２１回　受験直前対策
【key words】
診察、公衆衛生、保健・福祉、介護、身体の表現

【授業概要】
各グループごとにテキストのまとめと発表。次回各グループごとの担当範囲指定。

【教科書ページ・参考文献】
テキスト3 p2~121

【課題・予習・復習・授業準備指示】
本日の復習とテキスト3 p122~194復習
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第２２回　受験直前対策
【key words】
コミュニケーション、人間関係、チーム

【授業概要】
各グループごとにテキストのまとめと発表。次回各グループごとの担当範囲指定。

【教科書ページ・参考文献】
テキスト3 p122~194

【課題・予習・復習・授業準備指示】
本日の復習とテキスト4 p2~131復習
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第２３回　受験直前対策
【key words】
医療秘書、チーム医療、接遇、文書管理など

【授業概要】
各グループごとにテキストのまとめと発表。次回各グループごとの担当範囲指定。

【教科書ページ・参考文献】
テキスト3 p2~121
【課題・予習・復習・授業準備指示】
本日の復習とテキスト3 p122~194復習
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第２４回　受験直前対策
【key words】
医療情報、診療録、レセプト、インターネット、情報、情報化時代

【授業概要】
各グループごとにテキストのまとめと発表。次回各グループごとの担当範囲指定。

【教科書ページ・参考文献】
テキスト4 p132~221

【課題・予習・復習・授業準備指示】
本日の復習とテキスト4 p222~310復習
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第２５回　受験直前対策
【key words】
医療法、医師法、地域保険法、感染症法など

【授業概要】
各グループごとにテキストのまとめと発表。次回各グループごとの担当範囲指定

【教科書ページ・参考文献】
テキスト4 p222~310

【課題・予習・復習・授業準備指示】
本日の復習
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第２６回　受験直前対策
【key words】
医療秘書認定に必要な3つの資格

【授業概要】
取得済み資格、資格証の再確認。

【教科書ページ・参考文献】
各自資格証

【課題・予習・復習・授業準備指示】
テキスト医療秘書講座の復習をすすめること
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第２７回　受験直前対策
【key words】
過去問題
【授業概要】医療秘書認定試験過去問題に取り組み、解答作成（解答がないため）
【教科書ページ・参考文献】過去問題集
【課題・予習・復習・授業準備】本日の復習
【授業概要】
医療秘書認定試験過去問題に取り組み、解答作成（解答がないため）

【教科書ページ・参考文献】
過去問題集

【課題・予習・復習・授業準備指示】
本日の復習
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第２８回　グループで作成した問題をテストする。　グループ対抗戦
【key words】
【キーワード】過去問題
【授業概要】医療秘書認定試験過去問題集に取り組み解答作成（解答がないため）
過去問題集

【授業概要】
医療秘書認定試験過去問題集に取り組み解答作成（解答がないため）

【教科書ページ・参考文献】
過去問題集

【課題・予習・復習・授業準備指示】
本日の復習
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第２９回　グループで作成した問題をテストする。　グループ対抗戦
【key words】

	予想問題クイズ大会 【授業概要】各グループごとに医療秘書認定試験予想問題作成し、クイズ大会をする。 テキスト一式 【授業概要】 各グループごとに医療秘書認定試験予想問題作成し、クイズ大会をする。 【教科書ページ・参考文献】 【教科書ページ・参考文献】テキスト一式 【課題・予習・復習・授業準備指示】 本日の復習 【予習復習に必要な想定時間】 1時間 第３０回　科目のまとめ（振り返り）　医療秘書認定試験受験について 【key words】 医療秘書認定試験詳細、学習の振り返り 【授業概要】 2年間の医療秘書資格取得に向けた取り組みや思いについて作文 【教科書ページ・参考文献】 各自 【課題・予習・復習・授業準備指示】 認定試験に向けて復習 【予習復習に必要な想定時間】 各自
受講生に関わる情報および受講のルール	硬筆書写技能3級合格を目指して意欲的に参加すること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	授業内での学習だけでなく自己学習に励み、１回の受験で合格できるように努力すること。
オフィスアワー	月曜日・木曜日の1.2限帯（16:00-17:30）
評価方法	講座の為、評価はしない。
教科書	文部科学省後援「硬筆書写技能検定」三級のドリル　一般財団法人日本書写技能検定協会編
参考書	硬筆書写技能検定　合格のポイント　狩田巻山著
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 病院の受付、診療報酬請求業務、人材教育などの経験を活かし、現場で求められる資質の育成を目指します。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） ■情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 市民防災の基礎Ⅰ　　授業コード：J11

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年次	2単位(30)	介護福祉コース・福祉総合コース・医療事務・秘書コース・選択
担当教員			
鈴木　淳			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	いま日本における自然環境と地域社会との相互関係・状況は大きく変化してきています。その“恵み”の側面だけでなく、さまざまな“災害特性”をできる限り適切に理解し主体的に考えることは、生活市民ひとり一人にとって必須の教養であるといえます。そこでは、「自助(自分の命はまず自分で守るということ)」「共助・協働(災害をうまくやり過ごすための知恵の共有と協力)」ならびに「公助(公的な支援等の理解と活用)」が、危機的な事態や情報錯綜へ遭遇し直面することとひとり一人の生活の維持継続にかかわって、効果がある行動(人が死なない防災・減災)の基盤として重要視されています。本授業では、「市民目線」で防災行動を「考える」ための基本事項をまず学び、生活場面で最大限的確な a)リスク管理と b)避難 他 対処行動が 具体的にできるようになることを目標として、多様な状況に対応した「想定外を想定する」力を養います。
授業の概要	ⅠおよびⅡの1年間で、1)災害とは何か；自然災害・人為的災害(テロ・戦争等社会的な事象を含む)、発災・被災(受災)・防災・減災、人と社会の脆弱性とresilience、2)個々人による防災対策、耐震診断と補強、ライフラインと交通等インフラ、3)災害医療(DMAT、JRAT他)の仕組み、triage、bystanderによるおとな/子どもに対する応急処置等(AEDを含む)、4)行政の災害時対応、避難所、地域の自主防災組織、災害とボランティア活動、防災士、災害時要配慮者、防災訓練、5)自助・共助・協働・公助のポイント、6)自然災害発生の理科学(地震・津波・火山噴火の仕組みと被害、気象災害の仕組みと被害、火災) 、自然災害への対策・工学技術、7)災害情報の入手・理解・活用、被害想定とハザードマップおよび居住地域の地理学的な観察と理解、公的機関による予報・警報等の意味、タイムラインという考え方、流言・風評、災害時の心理と行動、「想定外を想定する」力、避難と避難行動、8)防災装備品、アウトドアサバイバルスキル(ロープワーク等の実技)、9)都市防災、いわゆる帰宅難民、災害危機管理の仕組み(統制・連携)、企業防災と事業継続計画 BCP、損害保険、復旧と復興、災害と公衆衛生・保健(感染症予防等)、10)対人支援機関における防災行動の現状と課題 について学びます。 ※受講学生の理解進捗状況 等 によっては、学修項目・内容の順番を前後させる場合があります。 ※市民応急処置の基礎知識と手技の習得(赤十字救急法基礎講習等の受講)については、別途に案内推奨します。 ●この授業は選択科目ですが、内容の密接な連続性から、Ⅱ(後期)のみの選択履修・登録はできません(一方、Ⅰ(前期)のみの受講選択は可能です)。授業担当者としては、Ⅰ(前期)→Ⅱ(後期) 通して受講することをお薦めします。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	◎
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	△
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	○

授業計画	第1回	災害史事例から学ぶ：「わがこと意識」で考えていくために 【key words】 【授業概要】 過去の災害史事例について、1)いつ、どこで、何が起きたのか？　2)その被害・生活への影響はどんなようすだったのか を調べ、3)自分が被災者であったら、何を感じ、何をどうしようとするか もまとめてみる。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
	第2回	災害とは何か 【key words】 【授業概要】 自然災害の種類、人為的災害の種類 を整理し、誘因(外力)、素因(脆弱さ)、防災の底力(リジリエンス) の相互関係：災害リスクの定式 を知る。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】
第3回　日本の地学地理学的特徴
【key words】

【授業概要】
日本で起こりうる自然災害を理解する土台として、日本が位置する「気圏」「水圏」「地圏」の特徴を大まかにイメージし、理解する。
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】
第4回　地震災害の理科学
【key words】

【授業概要】
地震発生の仕組みとともに、建物・構造物や地形・地盤へのその影響の可能性(被害変化)を考える。
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】
第5回　津波災害の理科学
【key words】

【授業概要】
津波発生の仕組みとともに、強大なそのパワーのリスクを知り、「できるだけ高いところに最大限早く避難する」意識をもつ。
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】
第6回　火山災害の理科学
【key words】

【授業概要】
火山の成り立ちを学び、その活動・現象にともなう多様な災害リスクを理解する。
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】
第7回　気象災害の理科学1
【key words】

【授業概要】
風と降水の仕組みと日本の国土の特徴をふまえて、近年の風水害事例を考える。
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】
第8回　気象災害の理科学2
【key words】

【授業概要】
台風、竜巻、雷の仕組みを学び、その減災の考え方を理解する。
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】
第9回　土砂災害(地盤災害)の理科学
【key words】

【授業概要】
地表と地層の「風化」と土石流・がけ崩れ・地すべり現象の仕組みを知り、特に大規模盛土造成宅地のリスクを意識する。
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】
第10回　火災の理科学
【key words】

【授業概要】
大規模ガス爆発事故災害を含めた火災発生の内的条件・外的条件を理解し、防火の原則を知る。
【教科書ページ・参考文献】

	【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第11回　防災マップ・ハザードマップの読み解き演習 【key words】 【授業概要】 防災マップ・ハザードマップに盛り込まれている地域情報や趣旨を具体的に読み取るとともに、その一方でこれらがなかなか十分には活かされていない現状の問題点を考える。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第12回　防災まち歩き1　巡検準備 【key words】 【授業概要】 大学あるいは自宅の周辺を例に、危険箇所の洗い出しと防災資源の再発見を目的とした「防災まち歩き」巡検を具体的に計画立案する。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第13回　防災まち歩き2　巡検実習 【key words】 【授業概要】 計画にもとづいて、実際に「防災まち歩き」巡検して情報を収集する。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第14回　防災まち歩き3　巡検まとめ 【key words】 【授業概要】 実施した「防災まち歩き」巡検の結果を整理し、独自の防災マップ・ハザードマップとして相互に発表する。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第15回　地域の環境特性を理解することの意義 【key words】 【授業概要】 「ひとが死なない防災」を意識した根拠ある「自助」行動について、一旦具体的にまとめる。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	災害時、自分の命を自分で守るためにも、介護福祉士や医事課職員として医療・福祉の利用者を支えるためにも、防災についてを「しぶしぶ学ばされる」のではなく、「わがこと意識」で知り/考え始めることが何よりも重要です。まずは授業に地道に出席・参加して、自分のポートフォリオをよりリッチなものに仕立て上げていくようにしてください。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	minute paper、ポートフォリオ
授業外時間にかかわる情報	最近は、NHKなどのマスメディアが災害の映像記録をアーカイブしている他、youtube等でもそれらに類する動画を視聴できるようになっています。そこには少なからず衝撃的な映像も含まれる場合もありますが、何が起きたのかを考えるために冷静にそれらを事例として知ることも必要です。百聞は一見に如かず。授業でふれたキーワードを手がかりに検索して、各自が自発的に映像資料にもあたるようにしてください。 ★1回の授業にかかわって、概ね1.5時間程度の事前事後自主学習が必要です。
オフィスアワー	水曜日　17：00～19：00　1号館204研究室
評価方法	授業資料＋ワークシート、授業内容確認クイズ、居住地域の観察調査(巡検)小レポート提出、簡単なロービング等の実技課題、災害心理・災害時要配慮者・福祉避難所をめぐる議論演習、学期末最終課題小レポート提出を含めた ポートフォリオ(この授業科目専用の時系列ファイル)を整理・完成させて提出してもらい、それにもとづいて理解度到達度(成績)の評定をします。
教科書	授業時に資料を配布します。

参考書	ベック,U.(東廉・伊藤美登里訳)危険社会：新しい近代への道.法政大学出版局.1998. 浜島書店編集部.ニューステージ新地学図表.浜島書店.2015. 木村玲欧.災害・防災の心理学―教訓を未来につなぐ防災教育の最前線.北樹出版.2015. 公立大学連携地区防災教室ワークブック編集委員会 他 編.コミュニティ防災の基本と実践.大阪公立大学出版会.2018. 目黒公郎,村尾 修.地域と都市の防災.放送大学教育振興会.2016. 逃げ地図づくりプロジェクトチーム編著.災害から命を守る「逃げ地図」づくり.ぎょうせい.2019. 日本防災士機構編.防災士教本.2020.日本防災士機構. 柴山元彦,戟 忠希.自然災害から人命を守るための防災教育マニュアル.創元社.2015. 鈴木康弘編.防災・減災につなげるハザードマップの活かし方.岩波書店.2015. ワイズナー,B.他.(岡田憲夫監修)防災学原論.築地書館.2010. 山村武彦.新・人は皆「自分だけは死なない」と思っている.宝島社.2015.
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 〇防災士資格(赤十字救急法救急員 同・幼児安全法支援員 の各認定を含む)ならびに測量士補免許を有し、群馬県危機管理室ぐんま地域防災アドバイザーに登録しています。 〇本学出前講座や前橋商工会議所まちなかキャンパスで 防災啓蒙の市民講座を複数回開講・担当してきました。；「災害をやり過ごすための知恵としての地域理解」(2017)、「ハザードマップの読み解きと私たちが住む地域の再認識にチャレンジ！」(2018)、「市民目線で風水害をどう理解するか；タイムラインと避難行動の考え方」(2019)。 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 市民防災の基礎Ⅱ　　授業コード： J12

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	2単位(30)	介護福祉コース・福祉総合コース・医療事務・秘書コース・選択
担当教員			
鈴木　淳			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	いま日本における自然環境と地域社会との相互関係・状況は大きく変化してきています。その“恵み”の側面だけでなく、さまざまな“災害特性”をできる限り適切に理解し主体的に考えることは、生活市民ひとり一人にとって必須の教養であるといえます。そこでは、「自助(自分の命はまず自分で守るということ)」「共助・協働(災害をうまくやり過ごすための知恵の共有と協力)」ならびに「公助(公的な支援等の理解と活用)」が、危機的な事態や情報錯綜へ遭遇し直面することとひとり一人の生活の維持継続にかかわって、効果がある行動(人が死なない防災・減災)の基盤として重要視されています。本授業では、「市民目線」で防災行動を「考える」ための基本事項をまず学び、生活場面で最大限的確な a)リスク管理と b)避難 他 対処行動が 具体的にできるようになることを目標として、多様な状況に対応した「想定外を想定する」力を養います。
授業の概要	ⅠおよびⅡの1年間で、1)災害とは何か；自然災害・人為的災害(テロ・戦争等社会的な事象を含む)、発災・被災(受災)・防災・減災、人と社会の脆弱性とresilience、2)個々人による防災対策、耐震診断と補強、ライフラインと交通等インフラ、3)災害医療(DMAT、JRAT他)の仕組み、triage、bystanderによるおとな/子どもに対する応急処置等(AEDを含む)、4)行政の災害時対応、避難所、地域の自主防災組織、災害とボランティア活動、防災士、災害時要配慮者、防災訓練、5)自助・共助・協働・公助のポイント、6)自然災害発生の理科学(地震・津波・火山噴火の仕組みと被害、気象災害の仕組みと被害、火災) 、自然災害への対策・工学技術、7)災害情報の入手・理解・活用、被害想定とハザードマップおよび居住地域の地理学的な観察と理解、公的機関による予報・警報等の意味、タイムラインという考え方、流言・風評、災害時の心理と行動、「想定外を想定する」力、避難と避難行動、8)防災装備品、アウトドアサバイバルスキル(ロープワーク等の実技)、9)都市防災、いわゆる帰宅難民、災害危機管理の仕組み(統制・連携)、企業防災と事業継続計画 BCP、損害保険、復旧と復興、災害と公衆衛生・保健(感染症予防等)、10)対人支援機関における防災行動の現状と課題 について学びます。 ※受講学生の理解進捗状況 等 によっては、学修項目・内容の順番を前後させる場合があります。 ※市民応急処置の基礎知識と手技の習得(赤十字救急法基礎講習等の受講)については、別途に案内推奨します。 ●この授業は選択科目ですが、内容の密接な連続性から、Ⅱ(後期)のみの選択履修・登録はできません(一方、Ⅰ(前期)のみの受講選択は可能です)。授業担当者としては、Ⅰ(前期)→Ⅱ(後期) 通して受講することをお薦めします。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	◎
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	△
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	○

授業計画	第16回	行政による災害時対応 【key words】 【授業概要】 行政の危機管理と災害時対応、公的機関による災害情報発信、タイムラインという考え方、被災地域住民の情報理解力 について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
	第17回	防災対策行動 【key words】 【授業概要】 個人による防災対策、保険加入や住宅の耐震化、地域の自主防災組織、災害時要配慮者への意識、災害とライフライン・交通インフラ、防災訓練の本質 について考える。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】

第18回　防災心理学
【key words】

【授業概要】
災害時におけるひとの心理と行動(正常性バイアスほか)、ひとと社会の脆弱性とresilienceに気づくとともに、「想定外を想定」した避難行動、流言や風評について考える。
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】
第19回　evacuation、sheltering、refuge
【key words】

【授業概要】
避難場所・避難所・福祉避難所の違いとその運営、都市防災上の重要なテーマである帰宅困難者や駅周辺での混乱対策について知る。
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】
第20回　災害医療1
【key words】

【授業概要】
災害と公衆衛生、特に避難(所)生活における保健衛生・感染症対策を意識する。
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】
第21回　災害医療2
【key words】

【授業概要】
限られた医療資源で対応を図らなければならないDMAT、triage protocolの意味を理解する。特に、注意が必要な挫滅症候群crush syndromeについて知る。
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】
第22回　災害医療3
【key words】

【授業概要】
bystanderによる応急処置、AEDによる救命救急を、具体的に学ぶ。
※実際の手技については、日赤等での救急法講習受講を推奨します。
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】
第23回　企業防災
【key words】

【授業概要】
防災基本計画において企業が取り組むべき事項・協定、目標復旧時間・レベル、サプライチェーン保持、事業継続計画BCP、事業継続マネジメントBCMについて考える。
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】
第24回　防災備品、備蓄
【key words】

【授業概要】
被災・受災を何とかやり過ごすために、「どういったものを、どのように」あらかじめ備えることが、防災・減災上実効的・機能的なのかを検討する。
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】
第25回　アウトドアサバイバルスキル1
【key words】

【授業概要】
緊急救助技術を身につける。

	【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第26回　アウトドアサバイバルスキル2 【key words】 【授業概要】 ロープワークスキルを身につける。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第27回　災害とボランティア活動 【key words】 【授業概要】 防災対応の段階に呼応したボランティア活動の多様な役割・機能、被災者の自立支援、被災地域の「受援力」、ボランティア活動展開上の課題について考える。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第28回　災害時想定演習1　在宅時(昼間・夜間) 【key words】 【授業概要】 自助・共助・協働のシミュレーション：グループワーク 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第29回　災害時想定演習2　外出時(地元周辺地域・首都圏市街地域・ウォーターフロント) 【key words】 【授業概要】 自助・共助・協働のシミュレーション：グループワーク 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第30回　まとめ：自助・共助・協働・公助の連携 【key words】 【授業概要】 わが家の防災計画チェックシート、地域の防災計画チェックシートを元に、未来に備える。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	災害時、自分の命を自分で守るためにも、介護福祉士や医事課職員として医療・福祉の利用者を支えるためにも、防災についてを「しぶしぶ学ばされる」のではなく、「わがこと意識」で知り/考え始めることが何よりも重要です。まずは授業に地道に出席・参加して、自分のポートフォリオをよりリッチなものに仕立て上げていくようにしてください。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	minute paper、ポートフォリオ
授業外時間にかかわる情報	最近は、NHKなどのマスメディアが災害の映像記録をアーカイブしている他、youtube等でもそれらに類する動画を視聴できるようになっています。そこには少なからず衝撃的な映像も含まれる場合もありますが、何が起きたのかを考えるために冷静にそれらを事例として知ることも必要です。百聞は一見に如かず。授業でふれたキーワードを手がかりに検索して、各自が自発的に映像資料にもあたるようにしてください 。 ★1回の授業にかかわって、概ね1.5時間程度の事前事後自主学習が必要です。
オフィスアワー	水曜日　17：00～19：00　1号館204研究室
評価方法	授業資料＋ワークシート、授業内容確認クイズ、居住地域の観察調査(巡検)小レポート提出、簡単なロービング等の実技課題、災害心理・災害時要配慮者・福祉避難所をめぐる議論演習、学期末最終課題小レポート提出を含めた ポートフォリオ(この授業科目専用の時系列ファイル)を整理・完成させて提出してもらい、それにもとづいて理解度到達度(成績)の評定をします。
教科書	授業時に資料を配布します。
参考書	ベック,U.(東廉・伊藤美登里訳)危険社会：新しい近代への道.法政大学出版局.1998. 浜島書店編集部.ニューステージ新地学図表.浜島書店.2015.

	木村玲欧.災害・防災の心理学―教訓を未来につなぐ防災教育の最前線.北樹出版.2015. 公立大学連携地区防災教室ワークブック編集委員会 他 編.コミュニティ防災の基本と実践.大阪公立大学出版会.2018. 目黒公郎,村尾 修.地域と都市の防災.放送大学教育振興会.2016. 逃げ地図づくりプロジェクトチーム編著.災害から命を守る「逃げ地図」づくり.ぎょうせい.2019. 日本防災士機構編.防災士教本.2020.日本防災士機構. 柴山元彦,戟 忠希.自然災害から人命を守るための防災教育マニュアル.創元社.2015. 鈴木康弘編.防災・減災につなげるハザードマップの活かし方.岩波書店.2015. ワイズナー,B.他.(岡田憲夫監修)防災学原論.築地書館.2010. 山村武彦.新・人は皆「自分だけは死なない」と思っている.宝島社.2015.
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 ○防災士資格(赤十字救急法救急員 同幼児安全法支援員 の各認定を含む)および測量士補免許を有し、群馬県危機管理室ぐんま地域防災アドバイザーに登録しています。 ○本学出前講座や前橋商工会議所まちなかキャンパスで 防災啓蒙の市民講座を複数回開講・担当してきました。；「災害をやり過ごすための知恵としての地域理解」(2017)、「ハザードマップの読み解きと私たちが住む地域の再認識にチャレンジ！」(2018)、「市民目線で風水害をどう理解するか；タイムラインと避難行動の考え方」(2019)。 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： マスメディア論Ⅰ　　授業コード： J58

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年次	2単位(30)	介護福祉コース・福祉総合コース・必修
担当教員			
新井　英司			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 　混迷の現代社会の中で、いかに自分の人生を輝かせていくか。現実の社会に情熱的にアプローチする 　ジャーナリズムの世界から実際の取り組みや工夫、さらに客観的認識の在り方を学ぶ。 【到達目標】 ①ものの見方、考え方が深められるようになる。 ②客観的な認識の方法と態度について理解する。 ③メディア・リテラシーが磨かれる。 ④複眼で見る大切さを知る。 ⑤なぜ、という問いの重要性を認識する。
授業の概要	テレビ番組の企画、制作、報道等の現場から様々な事例を紹介するとともに、今日的なニュースや話題も 　数多く取り上げ、高度情報化社会を明るく楽しく生きるたくましさを養う。 特に後期は、３５年前、群馬県上野村で起きた、単独機としては世界最大の犠牲者、５２０人を数えた 　日航１２３便の墜落をめぐって、墜落は単なる事故だったのか、それとも事件だったのか、多角的に究明 　していく。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	○
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	◎
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	△

授業計画	第１回　　オリエンテーション 【key words】 令和の時代と世界 【授業概要】 ・オリエンテーション ・考えてみよう　「味噌汁の味って何種類ある？」 ・考えてみよう　「赤城山ってどんな姿をしていますか？」 ・「令和」という時代、どんな風景？ ・ファクト(事実)とフェイク(偽) 【教科書ページ・参考文献】 米国映画『記者たち』と日本映画『新聞記者』➡政府はウソをつく 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・情報やニュースを批判的に読むことを日日の生活態度にしよう。 ・これ本当か、疑問に思ったら確かな複数の新聞で確認してみよう。 【予習復習に必要な想定時間】 ６０分 第２回　　おしゃべりは明るく元気にありがとう 【key words】 　モチベーション(motivation)は強く、大きく、広く 【授業概要】 ・モチベーションとは何か ・春の到来をどう気付くか ・「ありがとう」で始まる人間的コミュニケーション ・コミュニケーションとは ・コミュニケーションの相手は？ 【教科書ページ・参考文献】 コミュニケーションはまず、挨拶から始めよう 【課題・予習・復習・授業準備指示】 おしゃべりは頭で考えるより慣れろ 【予習復習に必要な想定時間】

６０分

第３回　恥かき、汗かき、原稿書き

【key words】
はじめに言葉ありき

【授業概要】
・「はじめに言葉ありき」とは
・理想のキャンパス空間
・学びの合言葉「知りません。教えて下さい」
・「学ぶ」とは「離陸すること」＝ブレークスルー(breakthrough)
・人生はいつも学び

【教科書ページ・参考文献】
配布資料「人々に光を与えた偉人」

【課題・予習・復習・授業準備指示】
・学ぶとは自分の手持ちの価値判断の「ものさし」を捨てること
・他者とのコラボレーションを通して自分は鍛えられ、
　自らの包容力が養われる

【予習復習に必要な想定時間】
６０分

第４回　３分間スピーチは四コママンガ

【key words】
起承転結

【授業概要】
・江戸時代の詩人、頼山陽の作品です。（　）に漢字ひと文字を入れよ。
　京都三条　糸屋の娘
　姉は十八　妹は十六
　諸国諸大名　弓矢で殺す
　糸屋の娘は（　）で殺す
・起承転結
・自分の考えや気持ちを伝えるには
・「目は口ほどに物を言う」

【教科書ページ・参考文献】
配布資料「４５秒のお話」

【課題・予習・復習・授業準備指示】
起承転結を意識して４５秒のお話を来週までに作文して下さい

【予習復習に必要な想定時間】
６０分

第５回　《　演　習　》　　みんなで４５秒のお話に挑戦

【key words】
４５秒のお話と三分間スピーチ

【授業概要】
・４５秒のお話を各自が発表
・感想を述べ合いましょう

【教科書ページ・参考文献】
配布資料「三分間スピーチの例文」

【課題・予習・復習・授業準備指示】
お話をつくることの楽しさを知ろう

【予習復習に必要な想定時間】
６０分

第６回　身近なところにヒントあり

【key words】
冷静に物事を見る

【授業概要】
・ピカソのキュビズムも身近にあった浮世絵の影響？
・『平家物語』の書き出しにみる視点　「諸行無常」とは
・相手は鏡
・冷静に物事を見るということは

【教科書ページ・参考文献】
配布資料「ピカソの人と作品」「生老病死の四苦を超克しよう(小沢章友)」

【課題・予習・復習・授業準備指示】
冷静に見ると思索が深まる(生活態度)

【予習復習に必要な想定時間】
６０分

第７回　地名は知らないとチメイ的

【key words】
常識では読めない地名、人名

【授業概要】
・身近にある難読地名を上げてみよう
・著名な人、身近な人の名前を声に出して読んでみよう
・地名は文化、共に暮してきた道連れ
　地名研究家、都丸十九一さんの「地名の諸原則」について
・　あなたの名前はどんな意味？（『名前の暗号』山口　謠司著　新潮新書）

【教科書ページ・参考文献】
配布資料「名前は誰のものか」(2019/02/20　毎日)
【課題・予習・復習・授業準備指示】
地名・人名は常識では読めません、覚悟を

【予習復習に必要な想定時間】
６０分

第８回　日本語はハイブリット言語

【key words】
ハイブリッドな日本語

【授業概要】
・「日本語は天才である」
　翻訳家、柳瀬尚紀(ヤナセ　ナオキ　1943－2016)の著書
・「生」という恐ろしい漢字
・ことば、慣用語の働きと意味
・大和言葉いろいろ

【教科書ページ・参考文献】
配布資料「美しい日本語を伝えたい」(2018/11/17　毎日)
【課題・予習・復習・授業準備指示】
日本語の単語は漢語、外来語、大和言葉の三種類

【予習復習に必要な想定時間】
６０分

第９回　番組づくりは八木節音頭

【key words】
働くと利他
【授業概要】
・人が動くと書いて働く＝働く(はた　らく→　端　楽)
・番組作りは八木節音頭
・能力は開発するもの
・自己完結できない生物
・相互依存関係

【教科書ページ・参考文献】
配布資料「アブになれ」(2014/02/04　毎日)
【課題・予習・復習・授業準備指示】
　異質な他者こそ必要な私、遠ざけたい人こそ大切
【予習復習に必要な想定時間】
６０分

第１０回　メディアはビジネスか？

【key words】
ジャーナリズム（ Journalism ）とは
【授業概要】
・ジャーナリズム（ Journalism ）とは
・市場から逃れる「社会的共通資本」
・市場に委ねられた医療、教育
・世論とビジネスに滅ぼされたメディア？

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
　ニュースってなんだろう、次回はニュースについて考える
【予習復習に必要な想定時間】
６０分

第１１回　ニュースとは何か

【key words】
情報とニュース
【授業概要】
・今日の新聞に注目
・情報とは
・事実、真実、真理
・ニュースとは何か
・フェイクニュースとは

【教科書ページ・参考文献】
きょうの新聞、朝日、毎日、読売、上毛を準備
【課題・予習・復習・授業準備指示】
誰かが選択し加工したものがニュース、主観的なものです
【予習復習に必要な想定時間】
６０分

第１２回　客観報道とメディア・リテラシー

【key words】
メディアリテラシー
【授業概要】
・「不偏不党」と「客観報道」はマスメディアの二大原則
・客観報道とは「主観をとぎすます」
・事実によって本質を描く
・メディアリテラシー(media　literacy)

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
次回は、人生の幸、不幸がテーマです
【予習復習に必要な想定時間】
６０分

第１３回　人間万事塞翁が馬

【key words】
人生の幸、不幸
【授業概要】
・人間万事塞翁が馬
・物事の判断はいつ？
・受け入れるということ
・パリ同時多発テロに遭遇して
・「テロを越える贈り物」(柳田　邦男)

【教科書ページ・参考文献】
・妻を失った仏ジャーナリスト「憎しみの贈り物あげない」（上毛　2015/11/21）
・「テロを越える贈り物」（「柳田　邦男の深呼吸　毎日　2015/11/28）

【課題・予習・復習・授業準備指示】
次回は、人生はミスマッチがテーマです
【予習復習に必要な想定時間】
６０分

第１４回　人生はミスマッチ、三日三月三年

【key words】
精　進
【授業概要】
・就職して早々に辞めるケース
・人生はミスマッチ
・働くとは利他
・三日三月三年
・「この泥、あればこそ咲け、蓮の花」

【教科書ページ・参考文献】
・「人は生きたように死んでゆく」（滝野　隆浩　毎日　2015/11/14）
・「昨日読んだ文庫」（首藤　淳哉　毎日　2015/11/15）

【課題・予習・復習・授業準備指示】
最終回は物事をどう深めるかの実践です
【予習復習に必要な想定時間】
６０分

第１５回　見える　見えない

【key words】
物事をどう深めるか
【授業概要】
・恩を忘れない白鳥　　助けた白鳥と奇跡の再会
・高校の並び順、どうして？
・昨日の敵は今日の友　　日露の友情物語

【教科書ページ・参考文献】
「自分で考える社会を取りもどす」(2015/03/13　毎日)
【課題・予習・復習・授業準備指示】
冷静に見ることが思索を深くする⇒後期はその具体化です
【予習復習に必要な想定時間】
６０分

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

	【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】

	【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	タイムリーなニュースや話題を取り上げ、意見や感想を発表し合います。その都度、資料も配布しますので、積極的に参加して下さい。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	シャトルカード
授業外時間にかかわる情報	授業時に指示する。
オフィスアワー	毎時間授業終了後、３０分は対応可能。
評価方法	筆記試験１００％
教科書	前期、後期を通して常時、国語辞典を携帯して下さい。(電子辞書も可) 後期は『日航１２３便　墜落の新事実　目撃証言から真相に迫る』（青山　透子著　河出書房新書刊）をテキストとしますので準備して下さい。
参考書	毎日の新聞、テレビ等
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 群馬テレビに４１年余り勤務し、報道、制作、編成、営業、事業等各部門を経験しました。 特にこの間、アナウンサー、プロデュサーとして番組、イベントの企画、制作に携わりました。 また、県域テレビ局の誕生から成長、さらにはテレビ放送のデジタル化という難局にも直面し、 現場の記者として、役員・顧問として様々な試練を乗り越えて来ました。

	アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称：　マスメディア論Ⅱ　　授業コード：J59

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	2単位(30)	介護福祉コース・福祉総合コース・必修
担当教員			
新井　英司			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 　混迷の現代社会の中で、いかに自分の人生を輝かせていくか。現実の社会に情熱的にアプローチする 　ジャーナリズムの世界から実際の取り組みや工夫、さらに客観的認識の在り方を学ぶ。 【到達目標】 ①ものの見方、考え方が深められるようになる。 ②客観的な認識の方法と態度について理解する。 ③メディア・リテラシーが磨かれる。 ④複眼で見る大切さを知る。 ⑤なぜ、という問いの重要性を認識する。
授業の概要	テレビ番組の企画、制作、報道等の現場から様々な事例を紹介するとともに、今日的なニュースや話題も 　数多く取り上げ、高度情報化社会を明るく楽しく生きるたくましさを養う。 特に後期は、３５年前、群馬県上野村で起きた、単独機としては世界最大の犠牲者、５２０人を数えた 　日航１２３便の墜落をめぐって、墜落は単なる事故だったのか、それとも事件だったのか、多角的に究明 　していく。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	○
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	◎
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	△

授業計画	第１回　　オリエンテーション 【key words】 学ぶ、分かるとは 【授業概要】 ・前期試験を振り返って ・後期のテーマとねらい ・マスメディア論で何を学ぶのか ・わかるとはどんなこと 【教科書ページ・参考文献】 テキスト　青山　透子『日航１２３便　墜落の新事実』 【課題・予習・復習・授業準備指示】 『日航１２３便　墜落の新事実』の序章を熟読すること 【予習復習に必要な想定時間】 ９０分 第２回　　１９８５年８月１２日、それは起きた！ 【key words】 「どうして自分たちは死ななければならなかったのか」 【授業概要】 ・あの日に何が見えたのか ・事故原因は圧力隔壁修理ミスか ・多数の腑に落ちない出来事 ・新たな真実を求めて 【教科書ページ・参考文献】 『日航１２３便　墜落の新事実』の序章 【課題・予習・復習・授業準備指示】 次回は「日航機の航跡と機内状況」(テキストの第１，２章) 　墜落した日航機は羽田を離陸して４４分、細かく追ってみよう。 【予習復習に必要な想定時間】 ６０分

第３回　日航機の航跡と機内状況

【key words】
離陸から４４分間のドキュメント
【授業概要】
・日航１２３便の航跡
・１８時２４分、コックピットは極度の緊張
・事故から３５年、いま遺族は‥

【教科書ページ・参考文献】
『日航１２３便　墜落の新事実』(序章　第１，２，３章)
配布資料　「日航機の航跡図」「家族に宛てたメモ」ほか

【課題・予習・復習・授業準備指示】
次回は「圧力隔壁をめぐって」
(テキストの序章、第１、２、３章)

【予習復習に必要な想定時間】
６０分

第４回　圧力隔壁をめぐって

【key words】
原因は圧力隔壁の修理ミスか？
【授業概要】
・事故原因を推理してみよう
・全日空雫石事件とは何か
・墜落原因の不徹底な究明
・真相を追って

【教科書ページ・参考文献】
『日航１２３便　墜落の新事実』(序章　第１，２，３章)、
「日航機墜落　今日１５年　圧力隔壁説に？」（毎日新聞）ほか

【課題・予習・復習・授業準備指示】
次回は「遺族の気持ち、政治家や日航関係者の発言」
（テキストの序章、第１、２、３章）

【予習復習に必要な想定時間】
６０分

第５回　遺族の気持ち、政治家、関係者の発言

【key words】
原因究明への温度差
【授業概要】
・まるで他人事、政治家の動き
・事故原因に触れたがらない日航関係者
・２６万人の署名、究明を求める遺族

【教科書ページ・参考文献】
『日航１２３便　墜落の新事実』(序章　第１，２，３章)、
「変わらぬ想い　日航機事故３４年　英国婦人」（2015/08/04　上毛新聞）

【課題・予習・復習・授業準備指示】
次回は「自衛隊、米軍、警察等の動向」
(テキストの序章、第１、２、３、４章)

【予習復習に必要な想定時間】
６０分

第６回　不可解な救助体制　～自衛隊、米軍、警察等の動向～

【key words】
不可解な救助活動
【授業概要】
・これまでの登場人物を確認しょう　（別紙資料）
・不可解な自衛隊の動向
・墜落時の自衛隊
・米軍の対応
・東京消防庁の対応
・群馬県警察の対応

【教科書ページ・参考文献】
『日航１２３便　墜落の新事実』(序章　第１、２、３、４章)
「国産ミサイル本格推進」(1985/08/11　日航機墜落前日の読売新聞)

【課題・予習・復習・授業準備指示】
次回は「地元の小、中学生は見た」
（テキストの序章、第１、２、３、４、終章）

【予習復習に必要な想定時間】
６０分

第７回　地元の小、中学生は見た

【key words】
生かされない目撃情報

【授業概要】
・「小さいな目、事故に怒り」
・文集が記録した墜落前後の上野村

・真っ赤な飛行機とファントム二機
・未来を見つめて

【教科書ページ・参考文献】
『日航１２３便　墜落の新事実』(序章　第１、２、３、４、終章)
「川上慶子さん　死の直前の妹を励ます」（上毛新聞）

【課題・予習・復習・授業準備指示】
次回は「遺体に秘められた事実」
（テキストの序章、第１、２、３、４、終章）

【予習復習に必要な想定時間】
６０分

第８回　遺体に秘められた事実

【key words】
「死人に口あり」
【授業概要】
・「死人に口あり」
・どうしてなの、完全炭化の遺体
・炭化遺体の不自然な位置
・ガソリンとタールの異臭

【教科書ページ・参考文献】
『日航１２３便　墜落の新事実』(序章　第１、２、３、４、終章)
「５０５名の遺体の位置」(事故調査報告書から作成)

【課題・予習・復習・授業準備指示】
次回は「遺物、展示品が教えるもの」
（テキストの序章、第１、２、３、４、終章）

【予習復習に必要な想定時間】
６０分

第９回　遺物、展示品が教えるもの

【key words】
第４エンジンのなぞ
【授業概要】
・木っ葉微塵の第４エンジン
・墜落現場にはあり得ない遺物
・編集されたボイスレコーダ

【教科書ページ・参考文献】
『日航１２３便　墜落の新事実』(序章　第１、２、３、４、終章)
参考文献　青山　透子『日航１２３便墜落　遺物は真相を語る』

【課題・予習・復習・授業準備指示】
次回は「御巣鷹山と高天原山」
墜落現場の上野村の「上野」とは何のこと？

【予習復習に必要な想定時間】
６０分

第１０回　御巣鷹山と高天原山

【key words】
古い信仰に根付いた地域
【授業概要】
・上野村の「上野」とは
・御巣鷹山とはどんな山
・墜落現場、高天原山とは
・「彷徨える魂を救う」

【教科書ページ・参考文献】
配布資料　「山中領」と呼ばれた地域の地図と特徴
【課題・予習・復習・授業準備指示】
次回は「点と線と面と」
青山　透子　著者は全体をどう推理したか

【予習復習に必要な想定時間】
６０分

第１１回　点と線と面と

【key words】
著者、青山　透子さんの推理
【授業概要】
・点と線と面と
・墜落にまつわる異例な事態
・著者、青山　透子さんの推理
・間違ったことを正す勇気

【教科書ページ・参考文献】
青山　透子著『日航１２３便　墜落の新事実』(序章～終章)
【課題・予習・復習・授業準備指示】
次回は「墜落から３５年、いま」

風化していく墜落、次世代への語り部は

【予習復習に必要な想定時間】
６０分

第１２回　墜落から３5年、いま

【key words】
我がもの顔の日米地位協定

【授業概要】
・墜落から３４年、いま
・不平等な日米地位協定
・次世代に向け、語り部となれ

【教科書ページ・参考文献】
青山　透子著『日航１２３便　墜落の新事実』(序章～終章)
沖縄では基地内の「水質汚染調査　米軍拒む」(2018/11/25　朝日)

【課題・予習・復習・授業準備指示】
次回は「討論　墜落は事故か事件か」
日航１２３便の墜落をどう見るか、各自の考えをまとめて下さい

【予習復習に必要な想定時間】
６０分

第１３回　≪　討　論　≫　墜落は事故か、事件か

【key words】
事故か事件か

【授業概要】
・討論　墜落は事故か事件か
・事故ならば‥‥
・事件ならば‥‥

【教科書ページ・参考文献】
青山　透子著『日航１２３便　墜落の新事実』(序章～終章)

【課題・予習・復習・授業準備指示】
次回は「急がば回れ」
人は常に選択、判断を迫られる、そこで大切なことは

【予習復習に必要な想定時間】
６０分

第１４回　急がば回れ

【key words】
迫られる真偽の判断

【授業概要】
・公権力によるデータのデタラメ化
・急がば回れ
・苦労は買ってでも
・迫られる判断、選択
・「嘘つきは、戦争のはじまり」(2019/01/07　宝島社の朝日新聞への全面広告)
・「ハンマーを持って。バカがまた、壁をつくっている。」
(2020/01/07　宝島社の朝日新聞への全面広告)

【教科書ページ・参考文献】
配布資料「時代を切る宝島社の新聞への全面広告」

【課題・予習・復習・授業準備指示】
次回は「まとめ　客観的認識とは」

【予習復習に必要な想定時間】
６０分

第１５回　まとめ　客観的認識とは

【key words】
客観的認識

【授業概要】
・客観的
・主観と客観
・客観的認識に大切な三つの視点
・ありがとうの心で前進

【教科書ページ・参考文献】
「自分で考える社会を取りもどす」（毎日新聞）

【課題・予習・復習・授業準備指示】
後期の試験に向けて

【予習復習に必要な想定時間】
６０分

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】
【授業概要】
【教科書ページ・参考文献】
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】
【教科書ページ・参考文献】
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【予習復習に必要な想定時間】

【key words】
【授業概要】
【教科書ページ・参考文献】
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【予習復習に必要な想定時間】

【key words】
【授業概要】
【教科書ページ・参考文献】
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【予習復習に必要な想定時間】

【key words】
【授業概要】
【教科書ページ・参考文献】
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【予習復習に必要な想定時間】

【key words】
【授業概要】
【教科書ページ・参考文献】
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【予習復習に必要な想定時間】

【key words】
【授業概要】
【教科書ページ・参考文献】
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

	【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	タイムリーなニュースや話題を取り上げ、意見や感想を発表し合います。その都度、資料も配布しますので、積極的に参加して下さい。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	シャトルカード

授業外時間にかかわる情報	授業時に指示する。
オフィスアワー	毎時間授業終了後、３０分は対応可能。
評価方法	筆記試験１００％
教科書	前期、後期を通して常時、国語辞典を携帯して下さい。(電子辞書も可) 後期は『日航１２３便　墜落の新事実　目撃証言から真相に迫る』（青山　透子著　河出書房新書刊）をテキストとしますので準備して下さい。
参考書	毎日の新聞、テレビ等
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 群馬テレビに４１年余り勤務し、報道、制作、編成、営業、事業等各部門を経験しました。 特にこの間、アナウンサー、プロデュサーとして番組、イベントの企画、制作に携わりました。 また、県域テレビ局の誕生から成長、さらにはテレビ放送のデジタル化という難局にも直面し、 現場の記者として、役員・顧問として様々な試練を乗り越えて来ました。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称：　スポーツ及びレクリエーション実技Ⅰ　　授業コード：J174

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年次	1単位(30)	介護福祉コース・福祉総合コース・医療事務・秘書コース・必修
担当教員			
長津　一博			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔 授業の目的 〕幼児から高齢者・障がい者までの健康・体力・興味・関心など様々な要求に応じたレクリエーションやスポーツが日常生活の中で継続的に行えるような状態を創り出し、明るく豊かな人生を送るために生涯にわたって実施できるよう、レクリエーションやスポーツの楽しさと必要性を体験を通して学習する。 〔 到達目標 〕 1.スポーツ及びレクリエーション活動の意義を理解できる。 2.レクリエーションやスポーツのさまざまな活動を通して、積極的に実践することができる。 3.他者への支援ができるようになる。 4.協力・強調・友愛などの意識を高める。
授業の概要	各種運動及びレクリエーションの実践を通して、身体統御の方法を身につける。チームの一員、仲間としての自覚をもち、社会生活の中での規則やルールを守り、精神力や体力を養い、人間関係の円滑化を図れるようになる。スポーツ及びレクリエーションをグループワークにより実践し、生涯学習及び社会福祉現場での実践へ動機づけることで、健康の保持増進や、スポーツ及びレクリエーションの楽しさ・素晴らしさを授業で学び取る。また、各個人の身体的特性や能力に応じて展開する。レクリエーションインストラクターの資格取得のための科目である。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	△
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	○
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	◎

授業計画	第１回　　科目オリエンテーション及びレクリエーションの理解 【key words】 レクリエーションの意義とADLの向上 【授業概要】 レクリエーションの意義とADLの向上を理解し、科目の位置づけとシラバス説明。授業の流れ、評価の説明。軽レクリエーションを実施する。 【教科書ページ・参考文献】 適宜、授業中に紹介する。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。 【予習復習に必要な想定時間】 30分 第２回　　NEWスポーツ①　（集団で行うスポーツを理解する） 【key words】 スポーツにおける団結力及びリーダーシップ等の必要性 【授業概要】 スポーツにおける団結力及びリーダーシップ等の必要性及び、スポーツ種目におけるチーム内の団結力及びリーダーシップについて考え、その必要性について理解する。また、自分自身のスポーツにおける能力を把握する。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【教科書ページ・参考文献】 適宜、授業中に紹介する。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。 【予習復習に必要な想定時間】 30分 第３回　　NEWスポーツ②　（集団で行うスポーツのルール把握し実践につなげる） 【key words】 スポーツにおける団結力及びリーダーシップ等の必要性

【授業概要】
スポーツにおける団結力及びリーダーシップ等の必要性及び、スポーツ種目におけるチーム内の団結力及びリーダーシップについて考え、その必要性について理解する。また、自分自身のスポーツにおける能力を把握する。

【教科書ページ・参考文献】
適宜、授業中に紹介する。
【課題・予習・復習・授業準備指示】
準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第４回　NEWスポーツ③　(集団で行うスポーツを行う上で、対象者にあわせた支援を考え援助につなげる)
【key words】
スポーツにおける団結力及びリーダーシップ等の必要性
【授業概要】
スポーツにおける団結力及びリーダーシップ等の必要性及び、スポーツ種目におけるチーム内の団結力及びリーダーシップについて考え、その必要性について理解する。また、自分自身のスポーツにおける能力を把握する。

【教科書ページ・参考文献】
適宜、授業中に紹介する。
【課題・予習・復習・授業準備指示】
準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第５回　バドミントン①　基礎理解(ルールの理解及び基礎技術の獲得)
【key words】
基礎理解(ルールの理解及び基礎技術の獲得)
【授業概要】
バドミントンのルール、ストローク、及び様々なショットを知り、ラリーに役立てる。

【教科書ページ・参考文献】
適宜、授業中に紹介する。
【課題・予習・復習・授業準備指示】
準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第６回　バドミントン②　実践(基礎技術の獲得及びゲーム)
【key words】
実践(基礎技術の獲得及びゲーム)
【授業概要】
様々なショットの復習をしゲームを中心に行う。

【教科書ページ・参考文献】
適宜、授業中に紹介する。
【課題・予習・復習・授業準備指示】
準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第７回　バスケットボール①　基礎理解(ルールの理解及び基礎技術の獲得)
【key words】
基礎理解(ルールの理解及び基礎技術の獲得)
【授業概要】
バスケットボールのルール及び基本動作について知る。
チーム編成をし、能力の差に応じて練習をする。

【教科書ページ・参考文献】
適宜、授業中に紹介する。
【課題・予習・復習・授業準備指示】
準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第８回　バスケットボール②　実践(基礎技術の獲得及びゲーム)
【key words】
実践(基礎技術の獲得及びゲーム)
【授業概要】
バスケットの様々な動作の復習とゲームを行う。

【教科書ページ・参考文献】
適宜、授業中に紹介する。
【課題・予習・復習・授業準備指示】
準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第９回　OMNIKIN　KIN-BALL　基礎理解(ルールの理解及び基礎技術の獲得)とゲーム
【key words】
基礎理解(ルールの理解及び基礎技術の獲得)とゲーム
【授業概要】
NEWスポーツである『KIN-BALL』のルール及び基本動作について知る。

【教科書ページ・参考文献】

適宜、授業中に紹介する。
【課題・予習・復習・授業準備指示】
準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第１０回　　ニチレクボール　・　ボッチャ　　基礎理解(ルールの理解及び基礎技術の獲得)とゲーム
【key words】
基礎理解(ルールの理解及び基礎技術の獲得)とゲーム
【授業概要】
NEWスポーツである『ニチレクボール』及び『ボッチャ』のルール及び基本動作について知り、ゲームにつなげる。

【教科書ページ・参考文献】
適宜、授業中に紹介する。
【課題・予習・復習・授業準備指示】
準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第１１回　　ブラインド卓球及び卓球バレーボール　　基礎理解(ルールの理解及び基礎技術の獲得)とゲーム
【key words】
基礎理解(ルールの理解及び基礎技術の獲得)とゲーム
【授業概要】
視覚障がい者卓球と障がい者スポーツとして取り入れられている卓球バレーボールのルール及び基本動作について知り、ゲームにつなげる。

【教科書ページ・参考文献】
適宜、授業中に紹介する。
【課題・予習・復習・授業準備指示】
準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第１２回　　ユニバーサルホッケー　　基礎理解(ルールの理解及び基礎技術の獲得)とゲーム
【key words】
基礎理解(ルールの理解及び基礎技術の獲得)とゲーム
【授業概要】
ユニバーサルホッケー（フロアボール）のルール及び基本動作について知り、ゲームにつなげる。

【教科書ページ・参考文献】
適宜、授業中に紹介する。
【課題・予習・復習・授業準備指示】
準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第１３回　　フットサル　　基礎理解(ルールの理解及び基礎技術の獲得)
【key words】
基礎理解(ルールの理解及び基礎技術の獲得)
【授業概要】
フットサルのルール及び基本動作について知る。
チーム編成をし、能力の差に応じて練習をする。

【教科書ページ・参考文献】
適宜、授業中に紹介する。
【課題・予習・復習・授業準備指示】
準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第１４回　　フットサル　　実践(基礎技術の獲得及びゲーム)
【key words】
実践(基礎技術の獲得及びゲーム)
【授業概要】
フットサルの様々な動作の復習とゲームを行う。

【教科書ページ・参考文献】
適宜、授業中に紹介する。
【課題・予習・復習・授業準備指示】
準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第１５回　　振り返りとまとめ　レポート提出　　授業総括
【key words】
授業総括
【授業概要】
前期総括を行う。

【教科書ページ・参考文献】
適宜、授業中に紹介する。
【課題・予習・復習・授業準備指示】
準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

受講生に関わる情報および受講のルール	授業は指定のジャージを着用し、体育館シューズを着用すること。肩にかかる髪は束ねる。身体を動かすことが多数あるため爪が伸びていたり装備品の装着等他者に支障がないようにすること。　積極的に授業に参加すること。他の仲間の迷惑になる行為は厳禁（やる気のない態度や暴言）。出席を常とし、遅刻をしないこと（遅刻３回で欠席１回とカウントする）。天候等により実施種目を変更することがある。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード等
授業外時間にかかわる情報	日頃からスポーツ及びレクリエーションに関する情報を様々な場所で収集するよう留意すること。
オフィスアワー	水曜日9時～11時、授業の前後30分、それ以外の時間帯については、アポイントを取っていただきたい。
評価方法	授業における実践活動に関する積極性及び取り組み：60% 課題レポート：40%
教科書	必要に応じて紹介する。
参考書	必要に応じて紹介する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 【実務経験】高等学校において非常勤講師(保健体育)として2年間勤務した経験を有する。 高校教育の実務経験を活かし、現場で活きる知識、技術について実技演習を通し講じる。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） ■情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 ■その他 その他の具体的内容 【アクティブラーニングについて】本授業はスポーツの専門家としてトップレベルの関与を目指すものではなく、介護福祉士及び医療事務として子どもから高齢者、または障がい者に携わるものが非常に多く、その福祉現場での対応力を身につけられることが求められている。このことからスポーツ及びレクリエーション実技では、多様なスポーツそのものを楽しむことを基本にしつつ、高校から大学教育への移行を進め、現場での対象者に対応ができる知識や技術を能動的に学んでいくことを重視している。

講義科目名称：　スポーツ及びレクリエーション実技Ⅱ　　授業コード：J175

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	1単位(30)	福祉総合コース・必修
担当教員			
長津　一博			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 幼児から高齢者・障がい者までの健康・体力・興味・関心など様々な要求に応じたレクリエーションやスポーツが日常生活の中で継続的に行えるような状態を創り出し、明るく豊かな人生を送るために生涯にわたって実施できるよう、レクリエーションやスポーツの楽しさと必要性を体験を通して学習する。 【到達目標】 1.スポーツ及びレクリエーション活動の意義を理解できる。 2.レクリエーションやスポーツのさまざまな活動を通して、積極的に実践することができる。 3.他者への支援ができるようになる。 4.協力・強調・友愛などの意識を高める。
授業の概要	各種運動及びレクリエーションの実践を通して、身体統御の方法を身につける。チームの一員、仲間としての自覚をもち、社会生活の中での規則やルールを守り、精神力や体力を養い、人間関係の円滑化を図れるようになる。スポーツ及びレクリエーションをグループワークにより実践し、生涯学習及び社会福祉現場での実践へ動機づけることで、健康の保持増進や、スポーツ及びレクリエーションの楽しさ・素晴らしさを授業で学び取る。　また、各個人の身体的特性や能力に応じて展開する。レクリエーションインストラクターの資格取得のための科目である。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	△
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	○
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	◎

授業計画

第１回　　科目オリエンテーション及びレクリエーションの理解

【key words】
科目オリエンテーション及びレクリエーションの理解
【授業概要】
科目の位置づけとシラバス説明。　授業の流れ、評価の説明。　軽レクリエーションの実施。
【教科書ページ・参考文献】
適宜、授業中に紹介する。
【課題・予習・復習・授業準備指示】
準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第２回　　NEWスポーツ④　レクリエーションダンス　（地域文化伝承踊り等）

【key words】
地域文化伝承踊り
【授業概要】
地域の伝統文化に触れ、その音楽に合わせた動きを実際に行い、生理的・心理的・社会的な効果を応用して、心身の健康の回復、向上をはかる。
【教科書ページ・参考文献】
適宜、授業中に紹介する。
【課題・予習・復習・授業準備指示】
準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第３回　　レクリエーションの企画①

【key words】
班編制・企画の開始
【授業概要】
限られた空間での援助方法を知り、レクリエーションを企画する。
【教科書ページ・参考文献】
適宜、授業中に紹介する。
【課題・予習・復習・授業準備指示】
準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第４回　　レクリエーションの企画②

【key words】

企画の立案
【授業概要】
対象者にあわせた援助方法を知り、レクリエーションを企画する。
【教科書ページ・参考文献】
適宜、授業中に紹介する。
【課題・予習・復習・授業準備指示】
準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第５回　　車いすバスケット　Ⅰ　ルール・基本動作
【key words】
基礎理解(ルールの理解及び基礎技術の獲得)
【授業概要】
障がい及び車いすの理解をするとともに、障がい者スポーツである車いすバスケットのルール及び基本動作について知る。
チーム編成をし、能力の差に応じて練習をする。
【教科書ページ・参考文献】
適宜、授業中に紹介する。
【課題・予習・復習・授業準備指示】
準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第６回　　車いすバスケット　Ⅱ　ゲーム
【key words】
実践(基礎技術の獲得及びゲーム)

【授業概要】
障がい及び車いすの理解をするとともに、障がい者スポーツである車いすバスケットのルール及び基本動作について知る。
チーム編成をし、能力の差に応じて練習を行いゲームにつなげる。
【教科書ページ・参考文献】
適宜、授業中に紹介する。
【課題・予習・復習・授業準備指示】
準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第７回　　レクリエーションの企画③
【key words】
タイムテーブル作成・リハーサル
【授業概要】
レクリエーションの企画を実現化させ、実施に向けたタイムテーブル等の作成を行う。
授業後半は実践のリハーサル。

【教科書ページ・参考文献】
適宜、授業中に紹介する。
【課題・予習・復習・授業準備指示】
準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第８回　　バレーボール　Ⅰ　ルール・基本動作
【key words】
基礎理解(ルールの理解及び基礎技術の獲得)
【授業概要】
バレーボールのルール及び基本動作について知る。
チーム編成をし、能力の差に応じて練習をする。

【教科書ページ・参考文献】
適宜、授業中に紹介する。
【課題・予習・復習・授業準備指示】
準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第９回　　バレーボール　Ⅱ　ゲーム
【key words】
実践(基礎技術の獲得及びゲーム)
【授業概要】
バレーボールの様々な動作の復習とゲームを行う。

【教科書ページ・参考文献】
適宜、授業中に紹介する。
【課題・予習・復習・授業準備指示】
準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第１０回　　レクリエーションの運営①
【key words】
グループ１によるレクリエーションの運営

【授業概要】
企画したレクリエーションを実際に学生に向け運営・実施する。

【教科書ページ・参考文献】
適宜、授業中に紹介する。
【課題・予習・復習・授業準備指示】
準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第１１回　　レクリエーションの運営②
【key words】

グループ２によるレクリエーションの運営

【授業概要】
企画したレクリエーションを実際に学生に向け運営・実施する。
【教科書ページ・参考文献】
適宜、授業中に紹介する。
【課題・予習・復習・授業準備指示】
準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第１２回　　レクリエーションの運営③
【key words】
グループ３によるレクリエーションの運営
【授業概要】
企画したレクリエーションを実際に学生に向け運営・実施する。

【教科書ページ・参考文献】
適宜、授業中に紹介する。
【課題・予習・復習・授業準備指示】
準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第１３回　　NEWスポーツ⑤　ゴールボール及びユニバーサルホッケー
【key words】
ルールの理解と基礎知識・技術の獲得

【授業概要】
ゴールボール及びユニバーサルホッケーのルール及び基本動作について知る。
チーム編成をし、能力の差に応じて練習をする。

【教科書ページ・参考文献】
適宜、授業中に紹介する。
【課題・予習・復習・授業準備指示】
準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第１４回　　NEWスポーツ⑥　ゴールボール及びユニバーサルホッケー
【key words】
理解及び基礎技術の獲得及びゲーム
【授業概要】
ゴールボール及びユニバーサルホッケーの様々な動作の復習とゲームを行う。
【教科書ページ・参考文献】
適宜、授業中に紹介する。
【課題・予習・復習・授業準備指示】
準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第１５回　　振り返りとまとめ　レポート提出　授業総括
【key words】
授業総括

【授業概要】
前期総括を行う。

【教科書ページ・参考文献】
適宜、授業中に紹介する。
【課題・予習・復習・授業準備指示】
準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

	【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	授業は指定のジャージを着用し、体育館シューズを着用すること。肩にかかる髪は束ねる。身体を動かすことが多数あるため爪が伸びていたり装備品の装着等他者に支障がないようにすること。　積極的に授業に参加すること。他の仲間の迷惑になる行為は厳禁（やる気のない態度や暴言）。出席を常

	とし、遅刻をしないこと（遅刻３回で欠席１回とカウントする）。天候等により実施種目を変更することがある。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード等
授業外時間にかかわる情報	日頃からスポーツ及びレクリエーションに関する情報を様々な場所で収集するよう留意すること。
オフィスアワー	水曜日9時～11時、授業の前後30分、それ以外の時間帯については、アポイントを取っていただきたい。
評価方法	授業における実践活動に関する積極性及び取り組み：60% 課題レポート：40%
教科書	必要に応じて紹介する。
参考書	必要に応じて紹介する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 【実務経験】高等学校において非常勤講師(保健体育)として2年間勤務した経験を有する。 高校教育の実務経験を活かし、現場で活きる知識、技術について実技演習を通し講じる。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） ■情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 ■その他 その他の具体的内容 【アクティブラーニングについて】本授業はスポーツの専門家としてトップレベルの関与を目指すものではなく、介護福祉士及び医療事務として子どもから高齢者、または障がい者に携わるものが非常に多く、その福祉現場での対応力を身につけられることが求められている。このことからスポーツ及びレクリエーション実技では、多様なスポーツそのものを楽しむことを基本にしつつ、高校から大学教育への移行を進め、現場での対象者に対応ができる知識や技術を能動的に学んでいくことを重視している。

講義科目名称： 認知症の理解Ⅰ　　授業コード： J188

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年次	2単位(30)	介護福祉コース・福祉総合コース・介護福祉士実践コース・必修
担当教員			
福田　智久			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕 認知症に関する基礎的知識を習得するとともに、認知症のある人の体験や意思表示が困難な特性を理解し、本人のみならず家族を含めた周囲の環境にも配慮したケアの視点を習得することを目的とする。 〔到達目標〕 ①認知症に関する基礎知識に基づいて認知症の人の特徴を理解できる。 ②本人・家族、それらを取り巻く環境に配慮した支援（ケア）の視点が理解できる。
授業の概要	認知症の中核症状とそこから派生する認知症高齢者の行動・心理症状（ＢＰＳＤ）のしくみを理解し、認知症の症状に悩む本人及び介護者（家族等）に提供するケアの視点を体系的に学ぶ。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	◎
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	○
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	○

授業計画	第１回	前期科目オリエンテーション　目的、目標、履修上の注意点、評価方法等を説明 【key words】 認知症・専門職 【授業概要】 ・授業の進め方、評価、学生の目指す専門職とは等についての概説 ・認知症についての概説 【教科書ページ・参考文献】 パワーポイントにて紹介 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業でのパワーポイントの資料や諸文献により認知症についての把握に努めること 【予習復習に必要な想定時間】
	第２回	認知症とはなにか　認知症の定義 【key words】 認知症とは 【授業概要】 ・認知症の定義を理解する 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ75-77 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業でのパワーポイントの資料や諸文献により認知症についての把握に努めること 【予習復習に必要な想定時間】
	第３回	認知症ケアの歴史　認知症の人を支援する制度 【key words】 認知症の歴史 【授業概要】 ・認知症の歴史を理解する 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ78-83 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業でのパワーポイントの資料や諸文献により認知症についての把握に努めること 【予習復習に必要な想定時間】
	第４回	認知症ケアの歴史　認知症の人を支援する制度 【key words】 認知症の歴史 【授業概要】 ・認知症の歴史を理解する ・DVDの視聴（認知症の理解を深める）

【教科書ページ・参考文献】
Ｐ78-83
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業でのパワーポイントの資料や諸文献により認知症についての把握に努めること
【予習復習に必要な想定時間】

第５回　認知症と間違えられやすい状態、老年期うつ病、せん妄、単なる物忘れとの違い
【key words】
認知症と間違えられる状態

【授業概要】
・認知症と間違えられやすい状態
【教科書ページ・参考文献】
Ｐ84-87
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業でのパワーポイントの資料や諸文献により認知症についての把握に努めること
【予習復習に必要な想定時間】

第６回　認知症と間違えられやすい状態、老年期うつ病、せん妄、単なる物忘れとの違い
【key words】
若年性と間違えられる状態

【授業概要】
・認知症と間違えられやすい状態
・DVD視聴（認知症の理解）利用者の目線に対して
【教科書ページ・参考文献】
Ｐ84-87
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業でのパワーポイントの資料や諸文献により認知症についての把握に努めること
【予習復習に必要な想定時間】

第７回　認知症の原因疾患　三大認知症　アルツハイマー型認知症　血管性認知症　レビー小体型認知症
【key words】
認知症の原因疾患

【授業概要】
・三大認知症
【教科書ページ・参考文献】
Ｐ89-95
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業でのパワーポイントの資料や諸文献により認知症についての把握に努めること
【予習復習に必要な想定時間】

第８回　認知症の原因疾患　三大認知症　アルツハイマー型認知症　血管性認知症　レビー小体型認知症
【key words】
認知症の原因疾患

【授業概要】
・三大認知症
【教科書ページ・参考文献】
Ｐ89-95
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業でのパワーポイントの資料や諸文献により認知症についての把握に努めること
【予習復習に必要な想定時間】

第９回　若年性認知症　老年期認知症との違い
【key words】
若年性認知症

【授業概要】
・若年性認知症との違い
・DVD（視聴覚教材）
【教科書ページ・参考文献】
Ｐ96
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業でのパワーポイントの資料や諸文献により認知症についての把握に努めること
【予習復習に必要な想定時間】

第１０回　若年性認知症　老年期認知症との違い
【key words】
若年性認知症

【授業概要】
・若年性認知症との違い
・DVD（視聴覚教材）
【教科書ページ・参考文献】
Ｐ96
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業でのパワーポイントの資料や諸文献により認知症についての把握に努めること
【予習復習に必要な想定時間】

第１１回　高齢者への薬剤と認知症と薬
【key words】
認知症の薬

【授業概要】
・新たに開発された薬他

	【教科書ページ・参考文献】 Ｐ96-97 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業でのパワーポイントでの資料や諸文献により認知症についての把握に努めること 【予習復習に必要な想定時間】 第１２回　高齢者への薬剤と認知症と薬 【key words】 認知症の薬 【授業概要】 ・新たに開発された薬他 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ96-97 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業でのパワーポイントでの資料や諸文献により認知症についての把握に努めること 【予習復習に必要な想定時間】 第１３回　認知症の診断と治療 【key words】 認知症の診断 【授業概要】 ・認知症の診断（長谷川式簡易知能スケール他）演習 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ97-102 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業でのパワーポイントでの資料や諸文献により認知症についての把握に努めること 【予習復習に必要な想定時間】 第１４回　認知症の診断と治療 【key words】 認知症の診断 【授業概要】 ・認知症の診断（長谷川式簡易知能スケール他）演習 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ97-102 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業でのパワーポイントでの資料や諸文献により認知症についての把握に努めること 【予習復習に必要な想定時間】 第１５回　前期まとめ　レポート課題　前期定期試験告知 【key words】 前期まとめ 【授業概要】 ・前期の振り返り 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業でのパワーポイントでの資料や諸文献により認知症についての把握に努めること 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	「認知症の理解」は専門的用語、医学、心理学、行動学からのアプローチが中心となる広い範囲を持つ学びである。介護の専門性を支える根幹の１つであるので、授業には知的好奇心をもって臨むこと。 受講上のルールとして、私語は禁止とする。私語は相手、周囲の者に対しての迷惑行為である。厳に慎むことを自覚して授業に参加すること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	認知症の理解は、机上の勉強だけでは理解できないので、実習やボランティア活動を通じて、事例に多く携わること。実習やボランティアに赴く際には、学んだ内容を復習して臨むとよい。
オフィスアワー	講義修了後の30分間
評価方法	定期試験や課題レポート、講義の出席状況等を総合的に評価する。
教科書	介護福祉士養成テキスト５「認知症の理解」　日本介護福祉士養成施設協会
参考書	特になし　必要に応じて提示する
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 大学病院等での看護業務（外来、手術室、急性期病棟、慢性期病棟）での勤務経験がある。 新人教育や看護実習生への実習指導、救急法の普及教育のための指導を行っていた。 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

	情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称：　認知症の理解Ⅱ　　授業コード：J189

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	2単位(30)	介護福祉コース・福祉総合コース・介護福祉士実践コース・必修
担当教員			
福田　智久			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕 　認知症に関する基礎的知識を習得するとともに、認知症のある人の体験や意思表示が困難な特性を理解し、本人のみならず家族を含めた周囲の環境にも配慮したケアの視点を習得することを目的とする。 〔到達目標〕 　①認知症に関する基礎知識に基づいて認知症の人の特徴を理解できる。 　②本人・家族、それらを取り巻く環境に配慮した支援（ケア）の視点が理解できる。
授業の概要	認知症の中核症状とそこから派生する認知症高齢者の行動・心理症状（ＢＰＳＤ）のしくみを理解し、認知症の症状に悩む本人及び介護者（家族等）に提供するケアの視点を体系的に学ぶ。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	◎
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	○
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	○

授業計画	第１回	後期科目オリエンテーション　前期の振り返り　後期課程の説明 【key words】 認知症・専門職 【授業概要】 ・授業の進め方、評価、学生の目指す専門職とは等についての概説 ・認知症についての概説 【教科書ページ・参考文献】 パワーポイントによる説明 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業でのパワーポイントや諸文献により認知症についての把握に努めること 【予習復習に必要な想定時間】
	第２回	認知症の人の理解　認知症が及ぼすこころとからだへの影響 【key words】 認知症の人への理解 【授業概要】 ・認知症が及ぼすこころとからだへの影響 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ103-104 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業でのパワーポイントや文献により認知症についての把握に努めること 【予習復習に必要な想定時間】
	第３回	認知症の人の理解　認知症が及ぼすこころとからだへの影響 【key words】 認知症の人への理解 【授業概要】 ・認知症が及ぼすこころとからだへの影響 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ103-104 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業でのパワーポイントや諸文献により認知症についての把握に努めること 【予習復習に必要な想定時間】
	第４回	環境が及ぼす認知症の人への影響 【key words】 環境 【授業概要】 環境が及ぼす認知症への影響 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ104-109 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業でのパワーポイントや諸文献により認知症についての把握に努めること 【予習復習に必要な想定時間】

	第５回	環境が及ぼす認知症の人への影響 【key words】 環境 【授業概要】 環境が及ぼす認知症への影響 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ104-109 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業でのパワーポイントや諸文献により認知症についての把握に努めること 【予習復習に必要な想定時間】
	第６回	認知症ケアと介護の心構え 【key words】 認知症ケア 【授業概要】 ・介護の心構え 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ109-110 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業でのパワーポイントや諸文献により認知症についての把握に努めること 【予習復習に必要な想定時間】
	第７回	認知症ケアと介護の心構え 【key words】 認知症ケア 【授業概要】 ・介護の心構え 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ103-110 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業でのパワーポイントや諸文献により認知症についての把握に努めること 【予習復習に必要な想定時間】
	第８回	認知症のアセスメント　社会関係と役割の維持 【key words】 アセスメント 【授業概要】 ・社会関係と役割の維持 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ110-116 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業でのパワーポイントや諸文献により認知症についての把握に努めること 【予習復習に必要な想定時間】
	第９回	認知症のアセスメント　社会関係と役割の維持 【key words】 アセスメント 【授業概要】 ・社会関係と役割の維持 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ110-116 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業でのパワーポイントや諸文献により認知症についての把握に努めること 【予習復習に必要な想定時間】
	第１０回	認知症サポーターになろう 【key words】 認知症オレンジプラン　認知症サポーター 【授業概要】 認知症サポーター養成講座 【教科書ページ・参考文献】 パワーポイントによる説明 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業でのパワーポイントや諸文献により認知症についての把握に努めること 【予習復習に必要な想定時間】
	第１１回	認知症の非薬物療法について 【key words】 非薬物療法 【授業概要】 ・非薬物療法 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ112-116 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業でのパワーポイントや諸文献により認知症についての把握に努めること 【予習復習に必要な想定時間】
	第１２回	認知症の非薬物療法について 【key words】 非薬物療法 【授業概要】 ・非薬物療法 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ112-116 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業でのパワーポイントや諸文献により認知症についての把握に努めること 【予習復習に必要な想定時間】
	第１３回	認知症の人を介護する家族の理解

	【key words】 家族の理解 【授業概要】 ・家族の理解 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ117-121 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業でのパワーポイントや諸文献により認知症についての把握に努めること 【予習復習に必要な想定時間】 第１４回　認知症の人を介護する家族の理解 【key words】 家族の理解 【授業概要】 ・家族の理解 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ117-121 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業でのパワーポイントや諸文献により認知症についての把握に努めること 【予習復習に必要な想定時間】 第１５回　科目のまとめ（振り返り）　後期定期試験の告知 【key words】 認知症の講義まとめ 【授業概要】 講義の内容まとめ 【教科書ページ・参考文献】 まとめ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業でのパワーポイントや諸文献により認知症についての把握に努めること 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	「認知症の理解」は専門的用語、医学、心理学、行動学からのアプローチが中心となる広い範囲を持つ学びである。介護の専門性を支える根幹の１つであるので、授業には知的好奇心をもって臨むこと。 受講上のルールとして、私語は禁止とする。私語は相手、周囲の者に対しての迷惑行為である。厳に慎むことを自覚して授業に参加すること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	認知症の理解は、机上の勉強だけでは理解できないので、実習やボランティア活動を通じて、事例に多く携わること。実習やボランティアに赴く際には、学んだ内容を復習して臨むとよい。
オフィスアワー	講義終了後、30分間
評価方法	定期試験、課題レポートおよび出席状況等を総合的に評価
教科書	介護福祉士養成テキスト５「認知症の理解」　日本介護福祉士養成施設協会
参考書	特になし　必要に応じて提示する
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 大学病院等での看護経験（外来、手術室、急性期病棟、慢性期病棟）などの勤務がある。 新人教育や看護実習生への指導、救急法の普及指導のための研修を行っていた。 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 障害の理解Ⅰ　　授業コード： J194

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年次	2単位(30)	介護福祉コース・福祉総合コース・介護福祉士実践コース・必修
担当教員			
福田　智久			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕 障害という生活しづらさは、歴史的な背景や社会の仕組みや制度の変化によって概念が変化しており、「障害とは何か」について考える必要があります。そのための基本としてまず、様々な障害の分類について医学的な側面と社会的な側面から学んでいきます。今後の社会の仕組みや、技術革新による変化の中で、人の生活の多様性を了解し共生社会を築くために介護福祉士が果たす役割はなにか、そしてそのために何が必要かを学び、その結果、建設的で創造的な思考を身につける事を目的としています。 〔到達目標〕 ①障害のある人の生活しづらさを歴史的な変遷による様々な概念やそれらの変化を理解する事ができる。 ②障害のある人の生活しづらさはどのようなものがあるのか医学的・社会的な基礎理解ができる。 ③多様性の了解・共生社会を実現のための創造的な社会を築くために支援者として出来る事は何　かを思考し、ディスカッション・ワーク・レポートなどに具現化する事ができる。
授業の概要	・講義が中心となりますが、到達目標でも触れたように、たくさんの「生活しづらさ」の知識を得た後には必ず、それら　を活用し、どのように考えるかなどの思考を深めるために、視覚的な教材を使用したり、グループディスカッションな　どの演習も行います。 ・また本授業ば共生社会、多様性を学ぶ場でもあるので、互いの価値の違いに気付くこと、共生社会を築くため創造的な　学習の機会となる事を目標としているため個別、グループで行うものなど学習の効果が高いと思われる演習の方法を実　施していきます。 ・上記の内容を可能とするためには課題レポートを適時に実施し、学生の学習の進捗を確認していきます。　このようにして身につけた知識を単に知っているだけとせず、知識を駆使し、豊かな思考性を身につけられるような学　習を行っていきます。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	◎
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	○
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	

授業計画	第１回　ガイダンス　障害の基礎的理解 【key words】 障害　障碍　障がい 【授業概要】 ・授業概要を用いて科目履修の目的・達成目標・履修上のルール・評価について解説する。 ・科目のスタートとして障害、障碍、障がい　など言葉の理解について、グループディスカッション形式で相互学習していく。 【教科書ページ・参考文献】 P127-129 【課題・予習・復習・授業準備指示】 今回の障害の言葉について触れた内容を振り返る事。 【予習復習に必要な想定時間】 60 60分 第２回　「障害とは何か」 【key words】 障害　基準　規範意識　権利　レッテル　ラベル 【授業概要】 ・障害とは何かについてグループを討議をすすめながら考えてていく。これまでの障害に対する思考のパラダ イムをに触れ、それらを考える上で上記のキーワードと関連させながら4改めて障害とは何かを考えていく ・考える上での条件について個人としてまず考えたのち、共通認識している仲間や意見が異なる仲間との意見 交換を通じ相互学習を行う。 【教科書ページ・参考文献】 テキスト P127～129

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第３回　障害福祉の歴史と基本理念①ノーマライゼーションとリハビリテーションとは

【key words】
障害の定義　ノーマライゼーション　リハビリテーション
【授業概要】
・障害の定義は、根拠となる法律によって様々分かれている事を知る。またこのように法律が整備されている事と、人権や権利についてグループ討議を行いながら学んでいく。その後代表的な概念である、ノーマライゼーションとリハビリテーションについて学んでいく。
【教科書ページ・参考文献】
P130-133
【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第４回　障害福祉の歴史と基本理念②インクルージョン　ストレングス、エンパワメントとは

【key words】
インクルージョン　　ストレングス　　エンパワメント

【授業概要】
・前回の授業からノーマライゼーション・リハビリテーションと上記のキーワードの概念について障害の施策の歴史を振り返りながら、概念がどのように変化してきたのかを学ぶ。

【教科書ページ・参考文献】
P134-138　　パワーポイント配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
パワーポイント資料の復習をすること。
【予習復習に必要な想定時間】

第５回　障害のある人の心理

【key words】
障害受容　　直面化　　フィードバッグ
【授業概要】
・障害のある人の障害を知覚・認識が先天的・後天的によってどのような心理的な支援が必要なのか、配慮する事は何かについてDVDを視聴しグループ討議、その後全体討議で考えていく。

【教科書ページ・参考文献】
P139-144　　パワーポイント配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
P139～144の復習をすること。
【予習復習に必要な想定時間】

第６回　障害のある人の心理

【key words】
家族の受容　先天的障害の受容　ピア・サポート
【授業概要】
・視覚障害における「視力」、「視野」などの視覚の機能についてまず理解し、その上で視覚障害になった場　合にはどのような生活しづらさが生じるのかを考え、討議しながら学ぶ。

【教科書ページ・参考文献】
P139-144　　パワーポイント配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
P139-144を復習しておくこと。
【予習復習に必要な想定時間】

第７回　障害者介護の視点（自立支援）

【key words】
身体的自立　精神的自立　自立支援

【授業概要】
〈授業概要〉
・自立支援についてまず理解し、その上で自立に支援が必要になった場合にはどのような生活しづらさが生じるのかを考え、討議しながら学ぶ。

【教科書ページ・参考文献】
テキスト　　P145-148
【課題・予習・復習・授業準備指示】
P145-148の復習をしておくこと。
【予習復習に必要な想定時間】

第８回　身体障害の理解と介護

【key words】
視覚障害　聴覚障害　肢体不自由　内部障害

【授業概要】
・様々な障害のある状態の分類について学び、生活しづらさとコミュニケーションを含めた生活支援について学んでいく。

【教科書ページ・参考文献】
P149-150　　パワーポイント配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
P149-150の復習をしておくこと。
【予習復習に必要な想定時間】

第９回　視覚障害の理解と介護
【key words】
視覚障害　視力　ランドルト環　矯正視力

【授業概要】
・様々な障害のある状態の分類について学び、生活しづらさとコミュニケーションを含めた生活支援について学んでいく。

【教科書ページ・参考文献】
P151-154　　パワーポイント配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
P151-154の復習しておくこと。
【予習復習に必要な想定時間】

第１０回　聴覚・言語障害の理解と介護
【key words】
聴覚　言語障害　ろう者　中途障害者　難聴者
【授業概要】
・聴覚・言語障害について理解し、その障害によって起こりうる様々原因について学ぶ。その中でも様々な麻痺の状態やその上で生活のしづらさはどのようなものかをグループ討議を通じて考えていく。

【教科書ページ・参考文献】
P155-157　　パワーポイント配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
P155-157　パワーポイント資料復習しておくこと。
【予習復習に必要な想定時間】

第１１回　肢体不自由の理解と介護
【key words】
肢体不自由　肢体不自由　脳性麻痺
【授業概要】
・肢体不自由(運動機能障害)のある人の生活活動における移動や感覚について、更に肢体不自由児の発達支援における感覚と刺激、またそれらを支える様々な感覚について必要な支援を考えていく。

【教科書ページ・参考文献】
P158-161　パワーポイント配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
P158-161を復習しておくこと。
【予習復習に必要な想定時間】

第１２回　内部障害の理解と介護
【key words】
心臓機能障害　狭心症　心筋梗塞　心不全
【授業概要】
内部障害の原因となるものを学び、その障害によって起こりうる様々な原因について学びを深める。

【教科書ページ・参考文献】
P161-163　パワーポイント配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
P161-163を復習しておくこと。
【予習復習に必要な想定時間】

第１３回　内部障害の理解と介護
【key words】
腎機能障害　呼吸器障害　膀胱・直腸機能障害
【授業概要】
内部障害の原因となるものを学び、その障害によって起こりうる様々な原因について学びを深める。

【教科書ページ・参考文献】
P164-166
【課題・予習・復習・授業準備指示】
P164-166を復習しておくこと。
【予習復習に必要な想定時間】

第１４回　内部障害の理解と介護
【key words】
ハートプラスマーク　オストメイトマーク
【授業概要】
内部障害の原因となるものを学び、その障害によって起こりうる様々な原因について学びを深める。

【教科書ページ・参考文献】
P166-169
【課題・予習・復習・授業準備指示】
P166-169を予習しておくこと。
【予習復習に必要な想定時間】

第１５回　障害の理解（まとめ）
【key words】
配布資料　テキスト
【授業概要】
前期の講義の復習を行う。これまでの学びを振りかえる。
【教科書ページ・参考文献】

	パワーポイント配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	・豊かな思考の能力を伸ばすために、用語・概念などテキストに出てくる言葉と言葉の意味をしっかり覚えるために予 習、復習に取り組んで欲しい。 ・共生社会、多様な価値の尊厳を保持できることを目的としているため、自身の考え方を積極的に述べるのと同時に、他　者の言葉は共感的理解を深めるためにしっかりと聴いて欲しい。(私語は慎む) ・最新の情報について情報を積極的にキャッチして欲しい。 ・社会と同様に、ひとりひとりがどのような態度で授業に臨むのかは、必ず周囲に影響を及ぼします。共生・多様性を学　ぶ場でもあるため、居眠り・指示がない時の携帯端末の使用は厳に慎むこと。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード・課題レポート
授業外時間にかかわる情報	・「こころとからだのしくみ」や「社会と制度の理解」などといった他の教科との関係が深いため、「障害の理解」のテ　キストのみでなく他のテキストも確認すること ・図書館には視覚教材、その他の書籍がたくさんあります。様々な自らの視座を広めるためにもたくさんの書籍や資料、　また月刊紙に触れて欲しい。 ・介護分野のテキストのみならず、他領域のテキストなど、興味・関心があるものに触れて欲しい。
オフィスアワー	授業時適宜紹介する。
評価方法	定期試験、課題レポートおよび出席状況などを総合的に評価
教科書	日本介護福祉士養成施設協会　　介護福祉士養成テキスト　　5　　「障害の理解」
参考書	授業時適宜紹介する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 大学病院等での看護業務（外来、手術室、急性期病棟、慢性期病棟）などでの勤務経験がある。 新人教育や看護実習生への学生指導、救急法の指導普及のため研修を担当していた。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等) □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等) ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等) □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 障害の理解Ⅱ　　授業コード： J195

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	2単位(30)	介護福祉コース・福祉総合コース・介護福祉士実践コース・必修
担当教員			
福田　智久			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕 障害という生活しづらさは、歴史的な背景や社会の仕組みや制度の変化によって概念が変化しており、「障害とは何か」について考える必要があります。そのための基本としてまず、様々な障害の分類について医学的な側面と社会的な側面から学んでいきます。今後の社会の仕組みや、技術革新による変化の中で、人の生活の多様性を了解し共生社会を築くために介護福祉士が果たす役割はなにか、そしてそのために何が必要かを学び、その結果、建設的で創造的な思考を身につける事を目的としています。 〔到達目標〕 ①障害のある人の生活しづらさを歴史的な変遷による様々な概念やそれらの変化を理解する事ができる。 ②障害のある人の生活しづらさはどのようなものがあるのか医学的・社会的な基礎理解ができる。 ③多様性の了解・共生社会を実現のための創造的な社会を築くために支援者として出来る事は何　かを思考し、ディスカッション・ワーク・レポートなどに具現化する事ができる。
授業の概要	・講義が中心となりますが、到達目標でも触れたように、たくさんの「生活しづらさ」の知識を得た後には必ず、それら　を活用し、どのように考えるかなどの思考を深めるために、視覚的な教材を使用したり、グループディスカッションな　どの演習も行います。 ・また本授業ば共生社会、多様性を学ぶ場でもあるので、互いの価値の違いに気付くこと、共生社会を築くため創造的な　学習の機会となる事を目標としているため個別、グループで行うものなど学習の効果が高いと思われる演習の方法を実　施していきます。 ・上記の内容を可能とするためには課題レポートなどを適時に実施し、学生の学習の進捗を確認していきます。　このようにして身につけた知識を単に知っているだけとせず、知識を駆使し、豊かな思考性を身につけられるような学　習を行っていきます。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	◎
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	○
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	

授業計画	第１回　後期ガイダンス　　知的障害の理解と介護 【key words】 知的障害　ダウン症　療育手帳 【授業概要】 ・障害のある人の状況を知り、生命と生活を守るために必要な視点は何かについて学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 P171-173　　パワーポイント配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 配布資料を確認する事。 【予習復習に必要な想定時間】 第２回　知的障害者の日常生活への影響 【key words】 ライフステージ　早期発見　早期治療 【授業概要】 ・発達障害とはどのような状態であり、発達の家庭上の課題や生活しづらさについて考える。 【教科書ページ・参考文献】 P173-175　パワーポイント配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 配布資料を確認する事。 【予習復習に必要な想定時間】 第３回　発達障害の理解と介護 【key words】 ＡＤＨＤ　ＬＤ　学習障害　注意欠陥他動性障害 【授業概要】 ・発達障害ＡＤＨＤ　ＬＤについて学び、学習や社会で、どのような支援が必要かについて学ぶ。また社会　　的な技能について考え、地域や集団がどのようにサポートすることが望ましい

かを考える機会をつくる

【教科書ページ・参考文献】
P176-178　　パワーポイント配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
配布資料を確認すること。
【予習復習に必要な想定時間】

第４回　発達障害者の日常生活への影響
【key words】
発達障害　言語コミュニケーション
【授業概要】
発達障害ついて学び、どのような支援が必要かについて学ぶ。また社会的な技能について考え、地域や集団がどのようにサポートすることが望ましいかを考える機会をつくる

【教科書ページ・参考文献】
P179-180　　パワーポイント配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
P179-180の復習を振り返るように。
【予習復習に必要な想定時間】

第５回　精神障害の理解と介護
【key words】
精神障害　心理・社会面の援助
【授業概要】
精神障害ついて学び、どのような支援が必要かについて学ぶ。また社会的な技能について考え、地域や集団がどのようにサポートすることが望ましいかを考える機会をつくる

【教科書ページ・参考文献】
P181-183　　パワーポイント配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
P181-183の復習を行うこと。
【予習復習に必要な想定時間】

第６回　精神障害の理解と介護
【key words】
アルコール中毒　　脅迫症　薬物療法

【授業概要】
精神障害ついて学び、どのような支援が必要かについて学ぶ。また社会的な技能について考え、地域や集団がどのようにサポートすることが望ましいかを考える機会をつくる

【教科書ページ・参考文献】
P184-185　　パワーポイント配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
P184-185の復習を行うこと。
【予習復習に必要な想定時間】

第７回　高次脳機能障害の理解と介護
【key words】
高次脳機能　失語　ウエルニッケ失語　ブローカー失語
【授業概要】
・高次機能障害のある人の生活への支援には何が必要なのかについて学ぶ

【教科書ページ・参考文献】
P186-191　　パワーポイント配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
P186-191の復習を行うこと。
【予習復習に必要な想定時間】

第８回　難病の理解と介護
【key words】
難病対策　　難病の定義　　ALS　　パーキンソン病
【授業概要】
・難病とは何かについて学ぶ。またこれまでのわが国の難病対策と難病のある人の生活について代表的な2つの難病を取り上げ、難病のある人の生活への支援には何が必要なのかについて学ぶ

【教科書ページ・参考文献】
P192-193　　パワーポイント配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
P192-193の復習を行うこと。
【予習復習に必要な想定時間】

第９回　　難病の理解と介護
【key words】
パーキンソン病　神経難病
【授業概要】
・難病とは何かについて学ぶ。またこれまでのわが国の難病対策と難病のある人の生活について代表的な2つの難病を取り上げ、難病のある人の生活への支援には何が必要なのかについて学ぶ
【教科書ページ・参考文献】
P194-196　　パワーポイント配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
P194-196の復習を行うこと。
【予習復習に必要な想定時間】

第１０回　家族への支援
【key words】
自助　互助　ピア　家族会

【授業概要】
・障害者当事者の会、家族会が発足する背景について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
P197-198　パワーポイント配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
P197～198の復習を行うこと。
【予習復習に必要な想定時間】

第１１回　家族への支援
【key words】
家族のレスパイト
【授業概要】
・前回調べた障害者当事者の会など各種団体の活動内容や目的、それぞれの活動について調べたものをそれぞれのグループの発表と調べ学習したものをグループでふりかえる。

【教科書ページ・参考文献】
P199-200　パワーポイント配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
P199～200の復習を行うこと。
【予習復習に必要な想定時間】

第１２回　他職種との協働と連携について①（様々な職種との連携について考える）
【key words】
　チームケア　他職種　　ゴール設定　　共有化

【授業概要】
・障害による生活しづらさを支援するために様々な社会資源の活用や他職種と連携の必要性について学ぶ。ま
　た、情報の共有化を行う上で立場の違い、考え方のパラダイムが違う事を了解し、発展的、創造的チームづ
　くりに必要な事は何かについて考える。

【教科書ページ・参考文献】
〈テキスト〉　　P197～200　　パワーポイント配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
P197～200の復習を行うこと。調べた内容を次回発表できるようにまとめる。
【予習復習に必要な想定時間】

第１３回　連携と協働
【key words】
地域　サポート　保健福祉職
【授業概要】
・障害による生活しづらさを支援するために様々な社会資源インフォーマルサービス活用やイノベーションに
ついて学生間の協同学習を行い、新たなサービスを創造していく。
【教科書ページ・参考文献】
P201-202　　パワーポイント配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
P201-202の復習を行うこと。調べた内容の整理。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第１４回　連携と協働
【key words】
チームアプローチ
【授業概要】
・障害による生活しづらさを支援するために様々な社会資源インフォーマルサービス活用やイノベーションに
ついて学生間の協同学習を行い、新たなサービスを創造していく。

【教科書ページ・参考文献】
P202-203　　パワーポイント配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
総復習しておくこと。
【予習復習に必要な想定時間】

第１５回　障害の理解　まとめ
【key words】
　〈テキスト〉　配布資料・テキスト・用語辞典・ワークブック上下
【授業概要】
これまでの授業のふりかえりを行う。用語の整理などをおこなう。また授業後半で、これまでの学びを振り返るためレポートにまとめる。

【教科書ページ・参考文献】
〈テキスト〉　配布資料・テキスト・用語辞典・ワークブック上下
【課題・予習・復習・授業準備指示】
これまでの授業のまとめを行うように
【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
【予習復習に必要な想定時間】
【key words】
【授業概要】
【教科書ページ・参考文献】
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【予習復習に必要な想定時間】
【key words】
【授業概要】
【教科書ページ・参考文献】
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【予習復習に必要な想定時間】
【key words】
【授業概要】
【教科書ページ・参考文献】
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【予習復習に必要な想定時間】
【key words】
【授業概要】
【教科書ページ・参考文献】
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【予習復習に必要な想定時間】
【key words】
【授業概要】
【教科書ページ・参考文献】
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【予習復習に必要な想定時間】
【key words】
【授業概要】
【教科書ページ・参考文献】
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【予習復習に必要な想定時間】
【key words】
【授業概要】
【教科書ページ・参考文献】
【課題・予習・復習・授業準備指示】

	【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第２８回 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	・豊かな思考の能力を伸ばすために、用語・概念などテキストに出てくる言葉と言葉の意味をしっかり覚えるために予 習、復習に取り組んで欲しい。 ・共生社会、多様な価値の尊厳を保持できることを目的としているため、自身の考え方を積極的に述べるのと同時に、他　者の言葉は共感的理解を深めるためにしっかりと聴いて欲しい。(私語は慎む) ・最新の情報について情報を積極的にキャッチして欲しい。 ・社会と同様に、ひとりひとりがどのような態度で授業に臨むのかは、必ず周囲に影響を及ぼします。共生・多様性を学　ぶ場でもあるため、居眠り・指示がない時の携帯端末の使用は厳に慎むこと。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード・授業時確認評価小テスト・レポート
授業外時間にかかわる情報	・「こころとからだのしくみ」や「社会と制度の理解」などといった他の教科との関係が深いため、「障害の理解」のテ　キストのみでなく他のテキストも確認すること ・図書館には視覚教材、その他の書籍がたくさんあります。様々な自らの視座を広めるためにもたくさんの書籍や資料、　また月刊紙に触れて欲しい。 ・介護分野のテキストのみならず、他領域のテキストなど、興味・関心があるものに触れて欲しい。
オフィスアワー	授業時適宜紹介する。
評価方法	定期試験、課題レポート、講義の出席等を総合的に評価する
教科書	日本介護福祉士養成施設協会　　介護福祉士養成テキスト　　5　　「障害の理解」
参考書	授業時適宜紹介する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している

	具体的な実務経験の内容 大学病院等での看護業務（外来、手術室、急性期病棟、慢性期病棟）での勤務経験がある。 新人教育や看護実習生への指導・教育、救急法の普及指導のため研修等を行っていた。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等) □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等) ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等) □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 高齢者の理解　　授業コード： J197

英文科目名称： comprehension for the aged person

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年次	2単位(30)	介護福祉コース・福祉総合コース・介護福祉士実践コース・必修
担当教員			
鈴木　育三			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	“老い”は人間のライフ・サイクルに於いて誰しもが経験するものであり、高齢者を一人の人間として理解するために多次元的（Bio/social/historical/spiritual)な視点から考察し、人間理解を深める
授業の概要	高齢期のライフ・ステージ、ライフ・ヒストリーを通して人間存在の実存的意義について気づきを深め、老いの旅路の同伴者（care worker)として適切なケアを提供するために高齢者の理解を深める。高齢者のneedsをcareの臨床経験を通して気づかされた出来事（事例）を紹介しながらシラバスに従って、随時、視聴覚教材・参考文献を紹介する。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	◎
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	

授業計画

第１回　オリエンテーション

【key words】
Orientation
【授業概要】
・授業のねらいの提示
・履修上の注意（授業ごとにリアクション・ペーパーを提出すること）
・総括的レジュメ配布
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第２回　人間理解総論

【key words】
humanity
【授業概要】
人間的実存の基本的事実は、‘人間と共存しつつある人間である’M.Buberの定義を中心に‘人間性’について考察する。人と人　人間（じんかん）
【教科書ページ・参考文献】
参考文献　『人間とは何か』ブーバー著、児島洋訳　理想社　p.174
【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第３回　いのち（生命）について

【key words】
Life いのち
【授業概要】
「ライフ（Life)には一生という意味もあるのにその一生が大事にされていない」－中村桂子著、「生きもの感覚で生きる」（講談社）p.168
生命・生活・人生という多様な意味を考え、生命　－地球生命の歴史を考察し、人間存在の意味を理解する。
【教科書ページ・参考文献】
参考文献　「『生きもの』感覚で生きる」中村桂子著、講談社
【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第４回　ライフ・サイクルとライフ・ステージ

【key words】
Life Cycle　Life Stage

【授業概要】
いのちの発達（成長）段階・生涯過程を考察し、生きることの意味、いのちの不思議を感じる。
絵本「葉っぱのフレディーいのちの旅、レオ・バスカーリア作　みらい　なな訳　童話屋
絵本「いのちの時間」－いのちの大切さを分かち合うために　ブライアン・メロー作、Dバート・イングペン絵　藤井あけみ訳　新教出版社

【教科書ページ・参考文献】
参考文献　『たった一度の人生だから』日野原重明・星野富弘ーいのちの対談・Forest Books
【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第５回　人間と自然
【key words】
Human v.s Nature
【授業概要】
Homo sapiens（知恵のある人間）と自然環境について、その調和と破壊の歴史について学ぶ
『沈黙の春』著者、レイチェル・カーソン著『センス・オブ・ワーンダー』及び、ジャン・ジオノ著『木を植えた人』を参考文献にして、視聴覚教材を用いて学習する
【教科書ページ・参考文献】
フレデリック・バック作品集（DVD）「木を植えた男」
【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第６回　老年期総論（老いゆく過程）
【key words】
Aging
【授業概要】
「老いることは、人生の神秘が徐々にあきらかになってくる成長過程であり、少しずつ人生の軌跡を完成させていくことである」ーJ.M.Nouwen　‘Aging’より
「老人には、それぞれに生きてきた長い長い生涯があります。積み重ねてきた生活の記録があります。それは織り上げた布のように、たぐりよせるとさまざまな記憶や人生模様が甦ってきます。」『夕暮れになっても光はある』林　富美子著　聖山社より
【教科書ページ・参考文献】
参考文献　ヘンリ・ナウェン著　邦訳『闇への道　光への道』原みち子訳　こぐま社
【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第７回　ライフヒストリーと自己同一性（Self Identity）
【key words】
Self Identity
【授業概要】
イングマール・ベルイマン監督『野いちご』を教材に用いて、ライフヒストリーと自己同一性について学ぶ。
人生の危機的状況を体験しつつ、自己同一性を確立しつつ、人生の成就へと向かう主人公のライフ・ヒストリーを回想しつつ歩む老年期の意義に気づく。
E.Hエリクソン著　小此木啓吾訳『自我同一性』‘Identity and The Life Cycle’参照
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第８回　喪失期としての老い
【key words】

【授業概要】
高齢期は、認知症をはじめ、身体的社会的関係の喪失期を迎えます。この時期は大変に辛いものです。「失禁」や「認知症」が始まる喪失の危機には、「自分自身」が重荷に感じられる葛藤の深まる時ですから、今を生きる在るがままを抱くケアが必要となります。
視聴覚教材『ペコロスの母に会いに行く』原作　岡野雄一
【教科書ページ・参考文献】
参考文献　クリスティーン・ボーデン著　『私は誰になっていくの？』桧垣陽子訳　クリエイツ・かもがわ
【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第９回　回想期としての老い
【key words】
memory（記憶）とReminiscence
【授業概要】
高齢者の昔話を聴くこと（耳を傾けること）は、大切なケアです。
「長い人生の道のりで拾った石ころのような思い出も、それを今にもどして、なでたりさすったりして、自分の生きて来た過去をたしかめているのでしょう。『ああ、これがわたしの一生だったのだ』と納得するのです。」（夕暮になっても光はある」より）
【教科書ページ・参考文献】
参考文献　『つみきのいえ』絵　加藤久仁生・文　平田　研也　白泉社
【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第１０回　終末期（Terminal Stage）
【key words】
新しい‘旅立ち’のケア
【授業概要】
人間は必ず‘死’を迎えます。終末期を‘看取り’という言葉を使うことがありますが、これは、Terminal　Stageというように、human careとして大切にされなければなりません。
Terminalとは、‘終着点’であると同時に‘始発点’でもありますから。
Terminal Careは、‘旅立ちのCare’でもありますから、最も厳粛な時です。
【教科書ページ・参考文献】

	【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第１１回　供養一生と死の狭間 【key words】 Spiritual Care 【授業概要】 世を去った人を想起することは、人間の営みとして極めて重要視されてきました。ことに宗教的儀礼として古今東西さまざまな型で行われています。それは、生きていくこと、死にゆくことの結び目として、大切にされています。 教材　「殯の森」河瀬直美監督作品　DVD 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第１２回　Human Careについて 【key words】 【授業概要】 高度の老人看護、老人介護の原点は、とりもなおさず老人の繰り言を『聴く』こと、老人の心の整理を援助すること、これは年老いた先輩方の人格の尊厳 (Human Dignity)を尊重することです。即ち、老いた先輩から次の世代へ‘いのちのバトン’をリレーしていくことです。 「時間をともに過ごすこと」自体がひとつのケアである。 【教科書ページ・参考文献】 参考文献　広井良典著『生命の政治学』　岩波書店 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第１３回　高齢者の人間としての尊厳 【key words】 Human Dignity 【授業概要】 高齢期の意味と価値について、１９９９年、「国際高齢年」に国連が提示した５つの原則の確認 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第１４回　福祉の思想と人権の思想 【key words】 Social WelfareとHuman Rights 【授業概要】 日本憲法１３条、２５条をめぐって 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第１５回　「高齢者の理解」授業まとめと、レポート提出について 【key words】 【授業概要】 ・提出レポート課題について提示 ・質疑応答 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	私語厳禁
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	リアクションペーパーの提出
授業外時間にかかわる情報	講義時に指示する
オフィスアワー	講義時に指示する
評価方法	リアクションペーパー５０点　及びレポート５０点
教科書	特に指定しない（自著「生命の環・季節の環」）
参考書	随時紹介する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 　□実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素

	□PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 楽しむ介護Ⅰ　　授業コード： J199

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	1単位(30)	介護福祉コース・必修
担当教員			
清水　久二雄			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〈授業の目的〉 ・人は日々たくさんの楽しみや喜びを感じながら生活しています。しかし要介護の状態となった場合その対象者は生活の主体ではなく、要介護者として対象化され、同時にその要介護者を支援する人は介護者という構図ができてしまいます。この構図ではなく真の人間関係形成におけるパートナーシップの関係を構築し、生活の中で要介護者と介護者が主体的に楽しみを「発見」し、「創造」していくための支援を考えていく講座です。そのために文化的な背景について調べて発表したり、喜びや楽しみの共有とは何かについて学習していきます。 〈到達目標〉 文化的な視点から「生活の楽しみ」を考えることができる。 生活文化の楽しみについて調べ、発表し合い文化的な背景を支援に活かす方法について検討することができる。 「生活の楽しみ」について、その支援方法の意義を他者に説明することができる。
授業の概要	生活の楽しみや喜びについて文化的な視点から生活の楽しみや喜びについて、授業事のテーマに沿って考えていきます。まず学生個人が生活文化の楽しみについて調べ、その後発表します。その後、全体で支援に活かす方法について話し合います。その後再び個人でまとめ、その支援方法の意義について考えていきます。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	○
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	◎
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	

授業計画	第1回	オリエンテーション・ガイダンス　　介護はアートするということ　（授業概要の説明） 【key words】 楽しみ、発見、創造、アート、相互作用性 【授業概要】 ・人は日々の生活の中でたくさんの楽しみを持ちながら生活しています。たとえ要介護の状態となった場合に 　生活を楽しむために何を「発見」し、利用者と支援者が楽しみを「創造」していくについて考えます。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 〈復習〉　楽しみを探すということについてコメントカードでまとめる。 〈予習〉　文化とは何かについて調べ、まとめておく。 【予習復習に必要な想定時間】 60～80分
	第2回	文化とは何か 【key words】 文化・世代・地域・時事 【授業概要】 ・人は様々な文化的、世代的、地域的、世相などの影響を受けており、その個人を理解するためにはそういった 　様々な背景に文化的背景を理解する事が重要です。そのために第2～7回の授業では文化的な背景を知るために 　中でも代表的な食文化ついて調べ、人にとって「文化」とは何かについて考えていきます。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 〈復習・予習〉　授業内で調べたものを発表できるように準備しておく。 【予習復習に必要な想定時間】 60～80分
	第3回	食文化①　　（味付け、ご当地メニュー探訪） 【key words】 食文化、調理メニュー 【授業概要】 ・食事の文化はそこに暮らす人や生活様式によって大きく違っています。それらを調べ発表し、

		生活の中におけ る食事の文化的な価値について考えていきます。3回授業では味付けの違い、ご当地の調理法、食べ方につい て考えていきます。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 〈復習〉 食事内容について 【予習復習に必要な想定時間】 60～80分
	第4回	食文化② （ごちそうとは何ですか?） 【key words】 食事、ごちそう 【授業概要】 ・人にとって「ごちそう」という思いは様々異なっているが、地域において好まれ食されているメニューがあります。それらについて調べ、発表していきます。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 60～80分
	第5回	食文化③（食事の作法と流儀） 【key words】 作法、流儀 【授業概要】 ・食事の食べ方、流儀については文化的な違いがあると考えられます。それらについて調べ、発表します。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 60～80分
	第6回	食文化④（食文化のまとめ） 【key words】 食文化 【授業概要】 ・2～6回の授業で調べた食文化を基に、食文化について考えた事を、「知れたこと」、「分かったこと」、「出来ること」に系統立てて、ディスカッションを行っています。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 60～80分
	第7回	世代の違い① （当たり前、常識と非常識） 【key words】 常識、非常識 【授業概要】 ・「～世代」と言われるように、世代によって価値観の違いが存在し、それらの世代による文化の違いについて考えます。世代の文化の違いについては世代間ギャップである「常識」と「非常識」に焦点を当て、どのような違いがあるかを調べ、発表していきます。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
	第8回	世代の違い②（所有しているもの） 【key words】 所有物、ライフスタイル 【授業概要】 ・世代によって生活様式が違うことがあり、その代表として所有しているものが違っていることが考えられるため、それらについて調べていきます。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
	第9回	世代の違い③（ファッションや装い） 【key words】 ファッション、装い 【授業概要】 ・世代によってファッションや装いも違う事があるが、ある年齢に焦点をあて、世代によってどのように違うかなどについて、比較検討したものを発表します。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
	第10回	世代の違い④(世代文化のまとめ)

	【key words】 世代間ギャップ 【授業概要】 ・7～10回の授業で調べた世代間の文化の違いを基に、世代間文化について考えた事を、「知れたこと」、「分かったこと」、「出来ること」に系統立てて、ディスカッションを行っています。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第11回　娯楽の文化の変化①　（娯楽の移り変わりを調べる） 【key words】 娯楽、 【授業概要】 ・娯楽の文化は有史以来、変化しながら現在に至っていて、中にはあまり姿を見せなくなったものも少なくない。それらについて調べ、人の生活と娯楽にはどのような結びつきがあったのかについて調べ、発表していきます。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第12回　娯楽の文化の変化②　（流行したもの） 【key words】 流行、ブーム 【授業概要】 ・いわゆるブームになったものがこれまでの歴史上何があったのかを調べ、時系列で整理していき、その変化や特徴について考えていきます。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第13回　娯楽の文化の変化③　（娯楽と労働） 【key words】 労働、娯楽 【授業概要】 ・「娯楽のために一生懸命労働する」ことや、「より良く労働するためにより良い娯楽を得る」といったように人にとって娯楽と労働の結びつきついて調べ、人の生活と娯楽にはどのような結びつきがあったのかについて調べ、発表していきます。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第14回　娯楽の文化の変化④　（娯楽文化のまとめ） 【key words】 娯楽、 【授業概要】 ・11～14回の授業で調べた世代間の文化の違いを基に、世代間文化について考えた事を、「知れたこと」、「分かったこと」、「出来ること」に系統立てて、ディスカッションを行っています。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第15回　前期のまとめ 【key words】 文化、生活 【授業概要】 ・前期の授業ど取り上げた、「食文化」、「世代」、「娯楽」を通して考えた文化を形成している人の生活を支援することや、win-winの生活支援とは何かについて考えていきます。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	本講座は「生活の楽しみを作り上げる」というコンセプトをもとに、授業で取り上げていく様々なテーマを考えていきます。そのため学生個人の知的好奇心や興味・関心が講座の学修成果に影響します。そのために　1　気になることや考えたことをしっかり整理してください。　2　個人の発表は必ず誰かの学びとなるために自信を持って発表してください。　3　生活は多様であるため学生間で発表したものは大切な財産であると認識し、学修成果としてください。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	シャトルカードの活用。提出物での確認。発表による質疑応答。
授業外時間にかかわる情報	食、ファッション、余暇、音楽、娯楽　など様々文化的な背景について関心を持ち、年代の違いや地域での違いなどについて興味・関心を持ち情報を収集してください。
オフィスアワー	初回の授業時に提示いたします。

評価方法	レポート課題　50%　ポートフォリオファイル　30%　提出物　20%
教科書	配布資料などを中心としますが学生相互の学び合いを重視するので、調べて発表したものなどを学修成果として共有します。
参考書	適宜紹介します。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 介護老人保健施設で5年弱　特別養護老人ホームで19年の実務経験あり。老人保健施設においては2年10ヶ月、専従のレクリエーションワーカーとして業務にあたる。　特別養護老人ホームにおいて介護長として14年従事し、兼務として施設介護支援専門員として従事する。　現在NPO法人　アクティビティ・サービス協議会　理事　　アクティビティワーカー資格とアクティビティ・ワーカー担当教員　資格保持している アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等) ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等) ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等) □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容 ・新型コロナウイルス感染状況により分散登校となる場合等は、遠隔授業を実施します。尚その場合はシラバスの 内容が変更することがあります。状況に応じて適宜説明いたします。 ・授業でのワークシートおよび調べ学習の成果物などkの提出、また個人として添削指導の要望がある場合はメー ルでも受け付けいたします。 ・成果物は学生の了承が得られた場合に限り、Google共有ドライブを使用したいと考えています。

講義科目名称： 介護の基本Ⅰ-①　　授業コード： J201

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年次	2単位(30)	介護福祉コース・福祉総合コース・介護福祉士実践コース
担当教員			
白井　幸久			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】　介護に関する基本的理念や地域を基盤とした生活の継続性を支援するための仕組みを理解し、介護福祉の専門職としての能力と態度を養う。 【到達目標】 ①　「複雑化」、「多様化」、「高度化」する介護ニーズおよび介護福祉を取り巻く状況を社会的な課題として捉え、「尊厳の保持」や「自立支援」という介護福祉の基本となる理念を理解できるようにする。 ②地域や施設、在宅の場や、介護予防や看取り、災害時等の場面や状況における、介護福祉士の役割と機能を理解できるようにする。 ③介護福祉の専門性倫理を理解し、介護福祉士に求められる専門職としての態度を養う。 ④ICFの視点に基づくアセスメントを理解し、エンパワメントの観点から個々の状態に応じた自立を支援するための環境整備や介護予防、リハビリテーション等の意義や方法を理解できるようにする。
授業の概要	介護の成り立ちや介護の概念の変遷、介護の基本理念、介護福祉の基本理念、介護福祉士の役割と機能、介護福祉士及び介護福祉士法、介護福祉士養成カリキュラムの変遷などを学ぶ。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	◎
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	○
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	

授業計画		
	第１回	ガイダンス　授業計画や履修上の注意点など 【key words】 介護福祉士、養老施設、老人福祉法など 【授業概要】 ・「介護の基本」では、介護福祉士の役割などを学ぶ出発点となります。この出発点を踏まえた授業では、どのようなことを学ぶものかを授業概要を用いて説明する。また、介護福祉士を取り巻く制度と社会の動きのプリントを配布し、公的な高齢者介護の始まりの概要について授業を展開する。 【教科書ページ・参考文献】 レジュメ①と介護福祉士を取り巻く制度や社会の動きのプリントを配布する。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習や予習を含めて、介護福祉士を取り巻く制度や社会の動きのプリントを読んでおいてください。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第２回	介護の成り立ち①　「家族による介護から社会全体の課題」や、「介護の意味」、「介護の説明変遷」等を学ぶ。 【key words】 家族介護力の低下、収容の場から生活の場、老人家庭奉仕員制度 【授業概要】 ・第2回では、前回の授業の振り返り、家族の介護力の低下と老人ホームのあり方、在宅介護の始まりなどについて学ぶ。特に1970年頃から1987年頃までの介護の動きのポイントを押さえます。 【教科書ページ・参考文献】 レジュメ②と介護福祉士を取り巻く制度や社会の動きのプリントを配布する。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・次回の授業までに、求められる介護福祉士像について読んでおくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第３回	介護の成り立ち②「介護の社会化される前まで社会政策(戦前・戦後から老人福祉法の制定まで社会政策)」等を学ぶ。 【key words】 2015年の高齢者介護、自立支援、尊厳の保持、高齢者の尊厳を支える介護 【授業概要】 ・第3回では、前回の授業を振り返り、2015年の高齢者介護と高齢者の尊厳を支えるケアの確立を学び、特に、「求められる介護福祉士像」の重要ポイントを理解する。

【教科書ページ・参考文献】
レジュメ③　P48～
【課題・予習・復習・授業準備指示】
・求められる介護福祉士像の重要ポイントを復習し、自分自身で、介護福祉士像が求めているものは何かを考えてみよう。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第４回　介護の成り立ち③　「老人福祉法の制定の背景」と「老人福祉法で定める施設サービスと在宅サービス」等を学ぶ。
【key words】
法の目的、誠実義務、信用失墜行為の禁止、秘密保持義務行為の禁止等

【授業概要】
・第4回では、前回の授業を振り返り、福祉系の国家資格の必要を理解するとともに、「社会福祉士及び介護福祉士法」の制定及び改正法の成立を理解します。また、本法の目的や介護福祉士の義務規定等を学びます。

【教科書ページ・参考文献】
[テキスト]　レジュメ④　P51～、P18～
【課題・予習・復習・授業準備指示】
・次回の授業で、社会福祉士及び介護福祉士法の義務規定に関する小テストを行うので、復習をしっかりと行ってください
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第５回　介護の成り立ち④　「専門職による「介護」が誕生した社会的な背景」等について学ぶ。
【key words】
介護・人間と社会・こころとからだ、介護福祉士養成カリキュラム等

【授業概要】
・第5回では、前回の授業の振り返りと小テストを行います。
・介護福祉士の資格取得方法や平成19年の本法改正前と改正後のカリキュラムを理解します。

【教科書ページ・参考文献】
レジュメ⑤　P47～
【課題・予習・復習・授業準備指示】
・自分たちが学んでいる介護福祉士養成カリキュラムと目的を振り返り、もう一度確認してください。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第６回　介護の概念の変遷①　「介護サービスの量的拡充が図られた1970年代」から「社会福祉士及び介護福祉士法の成立した1980年代」等を学ぶ。
【key words】
日本介護福祉士会、生涯研修体系等

【授業概要】
・第6回では、前回の授業の振り返りと小テストの説明を行う。専門職能団体の意義と目的や日本介護福祉士会の生涯研修制度の意義と目的及び内容について理解します。

【教科書ページ・参考文献】
レジュメ⑥　日本介護福祉士会の資料のプリントを配布します
【課題・予習・復習・授業準備指示】
・予習として日本介護福祉士会の倫理綱領を読んでおいてください。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第７回　介護の概念の変遷②　「介護概念の基礎となる自立支援や、社会福祉基礎構造改革等が行われた1990年代」から「介護保険の施行や、介護福祉士の業の変遷等がなされた2000年代以降」までを学ぶ。
【key words】
ナイチンゲール、普遍的倫理判断等

【授業概要】
・第7回では、前回の授業の振り返り、介護職がもつべき職業倫理を学ぶとともに、「普遍的倫理判断」の4つの視点について理解する。

【教科書ページ・参考文献】
レジュメ⑦　P18～　普遍的倫理判断のプリントを配布します
【課題・予習・復習・授業準備指示】
・普遍的倫理判断の4つの視点を基にして、介護現場での課題から再度確認してみましょう。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第８回　介護福祉の基本理念①　「介護福祉の基本となる理念」や、「尊厳を支える介護」等を学ぶ。
【key words】
職業倫理、介護の専門性等

【授業概要】
・第8回では、前回の授業の振り返り、日本介護福祉士会の倫理綱領を学ぶとともに、介護福祉士に係る倫理綱領を理解します。

【教科書ページ・参考文献】
レジュメ⑧　P18～
【課題・予習・復習・授業準備指示】
・利用者の尊厳に配慮した介護とはどのようなものなのかを考えてみましょう。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第９回　介護福祉の基本理念②　「利用者の権利に基づくサービス指針等から自立を支える介護」等を考える。
【key words】
介護サービス、ケアマネジメント

【授業概要】
・第9回では、前回の授業を振り返り、介護福祉士として、介護サービスにあたる際に守らなければならないことを理解する。また、介護保険制度におけるケアマネジメント等を学ぶ。

【教科書ページ・参考文献】
レジュメ⑨　ケアマネジメンの資料の配布を行います。
【課題・予習・復習・授業準備指示】
・ケアマネジメントの機能や役割をまとめてください。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第１０回　介護福祉士の活動の場と役割①　「地域包括ケアシステム」と「介護予防」等を学ぶ。
【key words】
四箇院、恤救規則、救護法、

【授業概要】
・第10回では、前回の授業を振り返り、介護サービスの歴史として、古代社会から第二次世界大戦終了までを学びます。特に、古代社会・中世封建社会・明治時代・大正時代から第二次世界大終了までに分けて重要ポイントを押さえます。

【教科書ページ・参考文献】
レジュメ⑩　P6～
【課題・予習・復習・授業準備指示】
・四箇院、恤救規則、救護法、福祉三法、福祉六法について整理してみましょう。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第１１回　介護福祉士の活動の場と役割②　「介護福祉士に求められる医療的ケア」と「人生の最終段階の支援」など介護福祉士に求められていこと等を学ぶ。
【key words】
福祉三法、福祉六法、措置から契約

【授業概要】
・第11回では、前回の授業の振り返り、介護サービスの歴史として、戦後の福祉と介護の歩みや超高齢社会における介護の在り方の変化を学びます。特に福祉三法と福祉六法や介護の在り方を理解します。

【教科書ページ・参考文献】
レジュメ⑪　P6～
【課題・予習・復習・授業準備指示】
・介護サービスの在り方が「措置」から「契約」へと大きく変化したことを整理してみましょう。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第１２回　介護福祉士の活動の場と役割③　「介護福祉士に求められる災害時の支援」について理解する。
【key words】
保険者と被保険者、第一号被保険者と第二号被保険者、介護サービス利用までの流れ

【授業概要】
・第12回では、前回の授業の振り返り、介護保険制度の仕組みの概要を学びます。特に、保険者と被保険者や第一号被保険者と第二号被保険者及び介護サービス利用までの流れ等を理解します。

【教科書ページ・参考文献】
レジュメ⑫　介護保険制度の概要図のプリントを配布します。
【課題・予習・復習・授業準備指示】
・介護保険制度の仕組みの概要を整理してみましょう。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第１３回　社会福祉士及び介護福祉士法①　「社会福祉士及び介護福祉士法の制定及び同法の改正の成立」と「同法の概要」について学ぶ。
【key words】
施設サービス、地域支事業

【授業概要】
・第13回では、前回の授業の振り返り、高齢者のためのサービスの種類と提供の場について学び、特に居宅サービス、施設サービス、地域密着型サービス、地域支援事業の概要を押さえます。特に、施設サービスや地域支事業を理解します。

【教科書ページ・参考文献】
レジュメ⑬　介護保険サービスの種類の資料を配布します。
【課題・予習・復習・授業準備指示】
・介護福祉士は利用者の生活の継続という観点を念頭においた支援とは何かを考えてみましょ

	う。 【予習復習に必要な想定時間】 60分 第１４回　社会福祉士及び介護福祉士法②　「介護福祉士の義務規定」等について理解する。 【key words】 居宅サービス、地域密着型サービス 【授業概要】 ・第14回では、前回の授業を振り返り、居宅サービスと地域密着型サービスを学ぶとともに、具体的なサービスを理解します。 【教科書ページ・参考文献】 レジュメ⑭　介護保険サービスの種類の資料を配布します。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・介護保険制度における重要なサービスについてまとめましょう。 【予習復習に必要な想定時間】 60分 第１５回　社会福祉士及び介護福祉士法③とセメスターⅠ　「介護福祉士の資格取得方法」等と「セメスターⅠのまとめ」を学ぶ。 【key words】 収容の場から生活の場、社会福祉士及び介護福祉士法、介護のサービスの歴史、介護保険法 【授業概要】 ・第15回では、前回の授業の振り返るとともに、前期の授業の重要ポイントをまとめます。特に、収容の場から生活の場、社会福祉士及び介護福祉士法、介護のサービスの歴史、介護保険法などを問いなおします。 【教科書ページ・参考文献】 レジュメ⑮ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 前期テストに関する説明を行います。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
受講生に関わる情報および受講のルール	介護の基本Ⅰは、介護福祉士の役割を学ぶ出発点となる。「介護の成り立ち」、「介護の概念」、「介護福祉の基本理念」、「介護福祉士の活動の場と役割」、「社会福祉及び介護福祉士法」等を理解できるように授業に参加すること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	授業では、単元ごとに課題や小テストなどを出すので、しっかりと取り組むこと。
オフィスアワー	火曜日・水曜日・木曜日の昼休み
評価方法	テスト　(60%)、レポートや小テスト　(20%)、授業への参加度など　(20%)
教科書	「介護の基本Ⅰ」　中央法規出版
参考書	授業で、参考資料等を配布する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 介護の基本Ⅰ-②　　授業コード： J202

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	2単位(30)	介護福祉コース・福祉総合コース・介護福祉士実践コース・必修
担当教員			
白井　幸久			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】　介護に関する基本的理念や地域を基盤とした生活の継続性を支援するための仕組みを理解し、介護福祉の専門職としての能力と態度を養う。 【到達目標】 ①「複雑化」、「多様化」、「高度化」する介護ニーズおよび介護福祉を取り巻く状況を社会的な課題として捉え、「尊厳の保持」や「自立支援」という介護福祉の基本となる理念を理解できるようにする。 ②地域や施設、在宅の場や、介護予防や看取り、災害時等の場面や状況における、介護福祉士の役割と機能を理解できるようにする。 ③介護福祉の専門性倫理を理解し、介護福祉士に求められる専門職としての態度を養う。 ④ICFの視点に基づくアセスメントを理解し、エンパワメントの観点から個々の状態に応じた自立を支援するための環境整備や介護予防、リハビリテーション等の意義や方法を理解できるようにする。
授業の概要	介護の成り立ちや介護の概念の変遷、介護の基本理念、介護福祉の基本理念、介護福祉士の役割と機能、介護福祉士及び介護福祉士法、介護福祉士養成カリキュラムの変遷、介護福祉士の倫理などを学ぶ。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	◎
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	○
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	

授業計画	第１回	セメスター２のガイダンスと介護福祉士養成カリキュラムの変遷①　「介護福祉士養成の教育の始まり」と「社会福祉専門職に求められる役割の拡大」を理解する。 【key words】 介護保険サービスの、サービスの特性 【授業概要】 ・第16回では、後期の授業の進め方、高齢者に対するサービスの種類と意義や目的を学ぶとともに、各サービスの内容や特徴を知り、介護福祉士の役割を理解する。 【教科書ページ・参考文献】 レジュメ⑯　P54～ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・障害者総合支援法の概要プリントを配布し、読んでおいてください。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第２回	養成カリキュラムの変遷②　「求められる介護福祉士像の変遷」等と「チームリーダーとしての介護福祉士」等を学ぶ。 【key words】 障害者総合支援法、自立支援給付と地域生活支援事業 【授業概要】 ・第17回では、前回の授業の振り返り、障害者自立支援法から障害者自立支援法に改正された流れを学ぶとともに、障害者総合支援法の自立支援給付と地域生活支援事業の二つの支援を理解する。 【教科書ページ・参考文献】 レジュメ⑰　障害者総合支援法の概要のプリントの配布をおこないます。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・自立支援給付と地域生活支援事業のサービス内容を整理してみましょう。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第３回	介護福祉士を支える団体①　「日本介護福祉士会及び日本介護学会」の概要を学ぶ。 【key words】 介護給付費の支援給付、訓練等給付費の支給対象 ・介護給付費の支援給付と訓練等給付費の支給対象となる障害福祉サービスの内容をまとめてみよう。 【授業概要】 ・第18回では、前回の授業の振り返り、介護給付費の支援給付と訓練等給付費の支給対象となる障害福祉サービスや、共生型障害福祉サービスを理解する。 【教科書ページ・参考文献】

		レジュメ⑱　障害者総合支援法の概要とサービス内容のプリントの配布を行います。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・第18回では、前回の授業の振り返り、介護給付費の支援給付と訓練等給付費の支給対象となる障害福祉サービスや、共生型障害福祉サービスを理解する。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第４回	介護福祉士を支える団体②　「日本介護福祉士養成施設協会」と「日本介護福祉教育学会」、「日本介護福祉学会」について学ぶ。 【key words】 居宅系サービス提供の場とその特性 【授業概要】 ・第19回では、前回の授業の振り返り、障害福祉サービスにおける居宅系・訪問系・通所系サービスの提供の場とその特性を理解する。 【教科書ページ・参考文献】 レジュメ⑲　P58～、居宅系サービス提供の場とその特性のプリントを配布します。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・障害福祉サービスの居宅系・訪問系・通所系サービスの重要な提供の場とその特性を整理しましょう。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第５回	介護福祉士の倫理①　「介護にたずさわる人がもつべき職業倫理」を学ぶ。 【key words】 所系サービスの提供の場とその特性 【授業概要】 ・第20回では、前回の授業の振り返り、入所系・居宅に近い（小規模）入所系サービスの提供の場とその特性について理解する。 【教科書ページ・参考文献】 レジュメ⑳　P58～、入所系サービス提供の場とその特性のプリントを配布します。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 それぞれのサービスの提供の場とその特性をまとめてみましょう。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第６回	介護福祉士の倫理②　「プライバシーの保護と介護倫理」と「高齢者虐待と生命倫理」等を学ぶ。 【key words】 多職種連携の意義と目的、さまざまな専門職 【授業概要】 ・第21回では、前回の授業の振り返り、多職種連携の意義と目的を学ぶとともに、利用者を支援するさまざまな専門職について、基礎的な理解を深めます。 【教科書ページ・参考文献】 レジュメ21 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・介護職と多職種連携や、チームとケアシステム及び協働職種の機能と役割についてまとめてみよう。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第７回	介護福祉士の倫理③　「倫理的判断が必要な場面における介護福祉士の対応」を学ぶ。 【key words】 地域連携、地域における機関や組織等 【授業概要】 ・第22回では、前回の授業の振り返り、地域連携の意義と目的について学ぶとともに、地域にはどのような機関や組織があって、どのような役割を果たしているのか、基礎的な理解を深めます。 【教科書ページ・参考文献】 レジュメ22　P59～ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・地域包括ケアシステムや介護職が行う地域連携等について整理してみよう。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第８回	日本介護福祉士会の倫理綱領　「倫理綱領」と「行動規範」について学ぶ。 【key words】 介護の質の向上、リスクマネジメント 【授業概要】 ・第23回では、前回の授業の振り返り、介護の質の向上がリスクマネジメントつながることを学ぶとともに、介護職だけではなく、他の専門職を含むチームでリスクに強い環境を整える重要性を理解する。 【教科書ページ・参考文献】 レジュメ23　P114～ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・尊厳の保持と安全の確保やケアの質の向上とリスクマネジメント、安全の確保等についてまとめてみよう。 【予習復習に必要な想定時間】 60分

	第９回	自立に向けた介護福祉のあり方①　「自立支援の考え方」と「ICFの考え方」を理解する。 【key words】 事故と予防対策、生活の場での感染知識 【授業概要】 ・第24回では、前回の授業の振り返り、利用者の生活を守る技術としてのリスクマネジメントの視点を学ぶとともに、具体的な事故と予防対策について理解する。 【教科書ページ・参考文献】 レジュメ24　P114～ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・組織的に事故予防、安全対策を検討する仕組みについて考えてみよう。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第１０回	自立に向けた介護福祉のあり方②　「自立支援とICF（国際生活機能分類）の考え方」を学ぶ。 【key words】 利用者の特性、感染対策 【授業概要】 ・第25回では、前回の授業の振り返り、生活の場での感染に関する正しい知識の必要性について学ぶとともに、利用者の特性を理解した感染対策を知る。 【教科書ページ・参考文献】 レジュメ25　生活の場での感染症のプリントを配布します。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・在宅と集団生活における感染対策の違いを整理してみよう。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第１１回	自立に向けた介護福祉のあり方③　「ICFの考え方（ICFの概要、ICFにみる相互関連性、ストレングス）」等を学ぶ。 【key words】 感染対策の基礎知識、感染発生時の対応 【授業概要】 ・第26回では、前回の授業の振り返り、感染対策の基礎知識と感染発生時の対応を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 レジュメ26　感染対策の基礎知識と感染発生時の対応のプリントの配布を行います。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・感染対策の３原則についてまとめてみよう。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第１２回	自立支援とリハビリテーション①　「リハビリテーションの概要」と「リハビリテーションの実際」を学ぶ。 【key words】 介護職自身の健康管理 【授業概要】 ・第27回では、前回の授業の振り返り、介護の特徴から介護職自身の健康管理の必要性を理解する。 【教科書ページ・参考文献】 レジュメ27　介護職自身の健康管理のプリントの配布を行います。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・介護職の健康と介護の質について考えてみましょう。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第１３回	自立支援とリハビリテーション②　「リハビリテーションを考えるうえでの障害の理解と評価」をまなぶ。 【key words】 心身障害（疾病）の予防と対策 【授業概要】 ・第28回では、前回の授業の振り返り、介護職に起こしやすいこころとからだの障害（疾病）を学ぶとともに、心身障害（疾病）の予防と対策を理解する。 【教科書ページ・参考文献】 レジュメ28、健康管理の知識と技術の資料の配布を行います。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・腰痛の予防と対策を整理してみよう。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第１４回	自立支援とリハビリテーション③　「自立支援と介護予防」を学ぶ。 【key words】 心身障害（疾病）の予防と対策 【授業概要】 ・第29回では、前回の授業の振り返り、介護職の健康や安全問題について、事業者の取組むべきこと学ぶ。また、法規の面から心身障害（疾病）の予防と対策を理解する。 【教科書ページ・参考文献】 レジュメ29　介護職の健康や安全問題の資料の配布を行います。 【課題・予習・復習・授業準備指示】

	・介護労働者の労働環境について学習した内容から考えみよう。 【予習復習に必要な想定時間】 60分 第１５回　自立支援とリハビリテーション④セメスター２のまとめ　「介護予防における介護福祉士の役割」と「セメスター２のまとめ」 【key words】 障害者総合支援法、介護おける安全の確保、リスクマネジメント、健康管理 【授業概要】 ・後期の授業から重要なポイントをまとめてます。特に障害者総合支援法や介護おける安全の確保とリスクマネジメント、健康管理等についてまとめます。 【教科書ページ・参考文献】 レジュメ30 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・後期テストのについての重要ポイントを示します。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
受講生に関わる情報および受講のルール	介護の基本Ｉは、介護福祉士の役割を学ぶ出発点となる。「介護福祉士を支える団体」、「介護福祉士養成カリキュラムの変遷」、「介護福祉士の倫理」「自立支援の考え方」、「ICFの考え方」、「自立支援とリハビリテーション」、「自立支援と介護予防」等を理解できるように授業に参加すること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	授業では、単元ごとに課題や小テストなどを出すので、しっかりと取り組むこと。
オフィスアワー	火曜日・水曜日・木曜日の昼休み
評価方法	テスト　(60%)、レポートや小テスト　(20%)、授業への参加度など　(20%)
教科書	「介護の基本Ｉ」　中央法規出版
参考書	授業で、参考資料等を配布する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称：　人間関係とコミュニケーションⅠ　　授業コード：J214

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年次	1単位(30)	必修
担当教員			
辻　志帆・清水久二雄			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】クライエントや利用者、家族等に対して、あるいは多職種（他職種）協同で進めるチームケアにおいて必要となる人間の理解や他者への情報の伝達に必要な基礎的なコミュニケーション能力を養うことを目的とする。また、基本的な面接技術や自己覚知の重要性、価値観の相違について理解する。 【到達目標】演習を通じて言語的コミュニケーション、非言語的コミュニケーションについて理解し説明することができる。他者との価値観の相違や自己覚知について、意見をまとめ発表することができる。
授業の概要	意図的な人間関係を形成していくために必要な、言語的コミュニケーション及び非言語的コミュニケーション、基本的な面接技術について演習を通じて理解を深める。コミュニケーションの基礎として自己覚知の重要性や価値観の相違について理解し、医療・福祉専門職としてのものの見方、考えた方を養う。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	○
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	◎

授業計画	第１回	オリエンテーション　コミュニケーションとは何か 【key words】 コミュニケーション・図る・共有・メッセージ・送受 【授業概要】 ・授業の概要を説明し、そのための授業の進行、授業への取り組み姿勢、学習の方法、評価方法などについてオリエンテーションを行う。 ・コミュニケーションとは何かについてまず体験を通して考える。 【教科書ページ・参考文献】 テキスト　「人間の理解」P122～124　　配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 〈復習〉自身のコミュニケーションについて振りかえる。　〈予習〉これまで生活上でメッセージの共有にズレが生じた場面について振り返ってみる。 【予習復習に必要な想定時間】 40～60分
	第２回	メッセージを共有する意欲を高める　(送信・受信の二者間におけるメッセージのズレとは何か) 【key words】 チャンネル・メッセージの解釈・言語・非言語 【授業概要】 伝達トレーニングを通し、言語という共通した認識があってもメッセージを共有する場面で、なぜズレが生じるのかを体験的に学び、その上でメッセージを共有する上で必要な事とは何かについて考える。 【教科書ページ・参考文献】 テキスト　「人間の理解」P124～126　　配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 〈復習〉テキスト該当ページ及び配布資料の振り返り　　〈予習〉メッセージを受け取る事が困難な場合、普段どのようにしているかを振り返る。 【予習復習に必要な想定時間】 40～60分
	第３回	メッセージを共有する意欲を高める　(言語的な送信を考える) 【key words】 構音・言語的・言語的コミュニケーション 【授業概要】 ・ア行トーク、サイレントトークの体験を通じ、メッセージの送信側がメッセージの発信が困難となった場合、メッセージを受とる側として何が求められるのかを学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 テキスト　「人間の理解」P124～126　　配布資料

【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉テキスト該当ページ及び配布資料の振り返り　　〈予習〉学生自身の言語的伝達、非言語的伝達について振り返る。
【予習復習に必要な想定時間】
40～60分

第４回　言語や準言語、非言語でメッセージを共有する。
【key words】
言語・準言語・非言語・非言語的コミュニケーション

【授業概要】
メッセージを正確に共有するために用いる言語的手段、準言語的手段、非言語手段とは何かについて体験を通じて学ぶ
【教科書ページ・参考文献】
人間の理解　P131～139　　配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉テキスト該当ページ及び配布資料の振り返り　　〈予習〉学生自身のメッセージを受け取るときの態度について振り返る。
【予習復習に必要な想定時間】
40～60分

第５回　言語と非言語でメッセージを共有する。（非言語的な送信を考える）
【key words】
言語・準言語・非言語・非言語的コミュニケーション
【授業概要】
非言語的で表現されるメッセージを理解し、非言語的手段にはどのようなものがあるかを学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
人間の理解　P131～149　　配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉テキスト該当ページ及び配布資料の振り返り　　〈予習〉
【予習復習に必要な想定時間】
40～60分

第６回　利用者満足を高めるメッセージを学ぶ
【key words】
チャンネル・メッセージの解釈・言語・非言語・ポライトネス
【授業概要】
敬語の役割や、効果を理解し、よりよい援助関係を形成・維持するために利用者に敬意を表す方法を学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉テキスト該当ページ及び配布資料の振り返り　　〈予習〉
【予習復習に必要な想定時間】
40～60分

第７回　テクニックをスキルとして使いこなす　①(解釈と表現方法の検討)
【key words】
ラポール、受容、共感
【授業概要】
・ケーススタディーをグループ毎で実施する。そのため資料の内容をグループでどのような場面を表しているのか解釈し意見交換を行う。

【教科書ページ・参考文献】
人間の理解　P148～152　コミュニケーション技術　P10～18　　配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習・予習〉グループで話し合った内容について個人で整理する。またグループ毎の表現のための準備
【予習復習に必要な想定時間】
40～60分

第８回　テクニックをスキルとして使いこなす　②(解釈と表現の発表と考えられること)
【key words】
指示の技法、助言の技法、支持の技法
【授業概要】
・7回の授業で検討した内容を基に、グループ毎で発表する。その後、同じものを見ても解釈が似ているが違うこと、全く変わってしまうのはどうしてなのかについて考えていく。
【教科書ページ・参考文献】
配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習・予習〉8回目の授業であったグループ毎の発表について整理する。学生自身のメッセージを受け取るときの態度について振り返る。
【予習復習に必要な想定時間】
60分～80分

第９回　メッセージを受け取る能力を高める（思いや熱意を伝える）
【key words】
共感・要約化・明確化・思い・熱意
【授業概要】
・メッセージを共有する熱意を相手に伝えるための、「うなずき」や「相槌」、「繰り返し」を体験を通して学びその重要性及びその場面場面に求められる態度や姿勢も考える。
【教科書ページ・参考文献】
配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉配布資料の振り返り　　〈予習〉相手の話した事を整理して返すことと、そのためにありのままの言葉を聴く体験を日常の中で意図的に実施する。

【予習復習に必要な想定時間】
40～60分

第１０回　メッセージを受け取る能力を高める（ききかたを考える）

【key words】
要約の技法、共感の技法、明確化、受容
【授業概要】
・相手の話を整理して返すことの意義、ありのまま受容することはなぜ必要なのかについて、体験を通して学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
人間の理解　P148～152　　配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉配布資料の振り返り　　〈予習〉相手の意図が分からない場合における、指示と助言と支持について考えをまとめておく。
【予習復習に必要な想定時間】
40～60分

第１１回　アドバイスとは何か

【key words】
助言、指示、支持
【授業概要】
・メッセージを伝えるだけではなく、相手の心情を洞察し、そのときに相応しいメッセージの伝達について体験を通して学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉配布資料の振り返り　　〈予習〉学生自身が日常生活の上でどのように質問しているのかについて振り返る。
【予習復習に必要な想定時間】
40～60分

第１２回　自己決定の引き出し方を学ぶ

【key words】
コーチング・開かれた質問・閉じられた質問
【授業概要】
・質問の技法の中でもコーチング、開かれた質問、閉じられた質問を効果的に使用することによって、メッセージの共有が深まることを体験を通して学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉配布資料の振り返り　〈予習〉学生がこれまで体験してきた話し合いについて振り返りまとめておく。
【予習復習に必要な想定時間】
40～60分

第１３回　話し合いに臨む姿勢

【key words】
集団討議
【授業概要】
・集団で話し合う時の姿勢として何が必要なのかについて、体験を通して、学ぶ。またそのための工夫や手法についても併せて学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉配布資料の振り返り　　〈予習〉学生自身がこれまで目標達成を目標としてきた集団に属してきた経験を振り返り、どのように取り組む必要があるのかについて考えておく。
【予習復習に必要な想定時間】
40～60分

第１４回　5つの心を知る。明るい雰囲気をつくる。

【key words】
自己覚知、ポライトネス、アサーション
【授業概要】
・エゴグラムテストを通じて、個人の特性を知ることを基として自らの特性を知る。そのうえで他者を受容しつつ自らの事を他者に伝える

【教科書ページ・参考文献】
配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉テキスト該当ページ及び配布資料の振り返り　　〈予習〉自分でとらえている自己像と他人に指摘されることのギャップがこれまでの体験であったかについて整理する。
【予習復習に必要な想定時間】
40～60分

第１５回　自分を知り、相手を知る

【key words】
自我・自己
【授業概要】
・性格フィードバッグを通して、他人を介さずにとらえている自分と、他人を介して知る自分について体験を通じて学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉 15回までの授業を通じて自らを顧みたことと、自らの特性を活かせることについて改めて考えて欲しい。
【予習復習に必要な想定時間】

	【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】

	【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	・グループワークにおいては普段の友人関係とは違うグループを意図的に設定するため、学生一人ひとりが積極的に授業に参加する姿勢が必要である。また、グループワークにおいては、全ての学生が発言できるように工夫して運営することが望まれる。積極的な姿勢で受講すること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	リアクションペーパー
授業外時間にかかわる情報	授業で学んだことは、必ず復習すること。授業で学んだことをボランティアなど実際の場面で意図的に活用し自己評価すること。
オフィスアワー	講義初回にて伝える
評価方法	課題への取り組み・リアクションペーパー・提出物40%、定期試験（レポート等）60%とする

教科書	諏訪茂樹編著　『介護福祉士養成テキスト2　人間関係とコミュニケーション（体験型ワークブック）』建帛社（最新版）
参考書	適宜、紹介する
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 介護老人保健施設に5年弱(介護職員、レクリエーションワーカー)、特別養護老人ホームに19年間(介護長、施設ケアマネジャー)　特に施設ケアマネジャーではケアプラン業務、サービス担当者会議業務、家族への説明などを行っていた。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） ■情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称：　人間関係とコニュニケーションⅡ　　授業コード：J215

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	1単位(30)	介護福祉コース・福祉総合コース・介護福祉士実践コース・必修
担当教員			
清水　久二雄			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】クライエントや利用者、家族等に対して、あるいは多職種（他職種）協同で進めるチームケアにおいて必要となる人間の理解や他者への情報の伝達に必要な基礎的なコミュニケーション能力を養うことを目的とする。また、基本的な面接技術や自己覚知の重要性、価値観の相違について理解する。 【到達目標】演習を通じて言語的コミュニケーション、非言語的コミュニケーションについて理解し説明することができる。他者との価値観の相違や自己覚知について、意見をまとめ発表することができる。
授業の概要	意図的な人間関係を形成していくために必要な、言語的コミュニケーション及び非言語的コミュニケーション、基本的な面接技術について演習を通じて理解を深める。コミュニケーションの基礎として自己覚知の重要性や価値観の相違について理解し、医療・福祉専門職としてのものの見方、考えた方を養う。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	○
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	◎

授業計画	第１回	後期ガイダンス 【key words】 チーム・マネジメント・課題解決・目標志向 【授業概要】 後期15回の授業のアウトライン・到達目標・評価の視点などについて説明　その後チームのグループサイズや組織的な連携の意義について考える。またチームをマネジメントするための基本要素について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 人間の理解 【課題・予習・復習・授業準備指示】 〈復習〉マネジメントの意味について　　〈予習〉人間の理解　P178～186 【予習復習に必要な想定時間】 40～60分
	第２回	ヒューマンサービスとしての介護サービス 【key words】 サービスの特性・無形性・不可分性・品質の変動性・消滅性 【授業概要】 ・サービスという視点からみた場合、他分野との違いは何か、またその為に何が求められていくのかを考える。 【教科書ページ・参考文献】 人間の理解　P178～186 【課題・予習・復習・授業準備指示】 〈復習〉人間の理解　P178～186　　〈予習〉人間の理解　P187～191 【予習復習に必要な想定時間】 40分～60分
	第３回	介護現場で求められるチームマネジメント 【key words】 チームアプローチ・チームケア・集団の中の自律性・主体性 【授業概要】 介護現場のチームの特異性を理解しつつも、チームではどのように連携を図るか、コミュニケーション上の配慮や工夫とは何かについて考える。 【教科書ページ・参考文献】 人間の理解　P187～191 【課題・予習・復習・授業準備指示】 〈復習〉人間の理解　P187～191　〈予習〉人間の理解　P192～202　コミュニケーション技術　P186

～191
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第４回　介護実践におけるチームマネジメントの取り組み
【key words】
ミッション・人材育成・自己と自我・自己研鑽・業務の遂行・影響と反響・反応

【授業概要】
介護実践チームが機能的に力を発揮するためにはどのような目的や効果があるのかについて考え、チームをつくるときの構造についても考えていく。、
【教科書ページ・参考文献】
人間の理解P192～202　　コミュニケーション技術P186～191
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉人間の理解P192～202　　コミュニケーション技術P186～191　　〈予習〉
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第５回　ケアを展開するために必要なチームとその取り組み
【key words】
依存・自律性・相互関係・相互依存的関係・グループダイナミクス
【授業概要】
チームを構成するメンバー同士がどのようにチームを構成し、そのチームの中で相互関係を築き目標を達成していくのかについて考える。
【教科書ページ・参考文献】
人間の理解　P203～206
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉人間の理解　P203～206　　〈予習〉　人間の理解　P206～212
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第６回　チームでケアを展開するためのケアマネジメント
【key words】
情報共有・会議・会議運営・情報提供・情報の所在と取り扱い
【授業概要】
チームでの一同に介して方針決定などが困難である場合、様々な工夫が必要となり、特に情報をどのように関わるのかを考えていく
【教科書ページ・参考文献】
人間の理解　P206～212
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉人間の理解　P206～212　　〈予習〉　人間の理解　P212～219
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第７回　チームの力を最大化するためのマネジメント
【key words】
リーダーシップ・フォロワーシップ
【授業概要】
チームにおけるリーダーシップとフォロワーシップの関係について、チームのバランスを保ちすすめていくかについて考えていく。

【教科書ページ・参考文献】
人間の理解　P212～219
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉　人間の理解　P212～219　〈予習〉　人間の理解　P220～227
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第８回　キャリア・初任期・中堅期・ベテラン期・ストレスマネジメント・バーンアウト
【key words】
キャリア、ストレスマネジメント、バーンアウト
【授業概要】
・チームを組織的に運営していくためには、メンバーのそれぞれのステージに求められるスキルとは何かについて考えていく
【教科書ページ・参考文献】
人間の理解　P220～227
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉人間の理解　P220～227　　〈予習〉　　人間の理解　P227～232
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第９回　介護福祉職としてのキャリアデザイン
【key words】
キャリアパス・キャリアデザイン・生涯研修制度・介護職員処遇改善加算
【授業概要】
チームの中で自身をブラッシュアップしていくための制度と方法を知り、組織の中で求められるスキルアップの必要性を理解できる。
【教科書ページ・参考文献】
人間の理解　P227～232
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉　人間の理解　P227～232　〈予習〉　人間の理解　P232～242
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第１０回　介護福祉職のキャリア支援・開発　①
【key words】
ティーチング・コーチング・ラーニング

【授業概要】
人材育成のおいて、ティーチング・コーチング・ラーニングするとは何かを知る事ができる。
【教科書ページ・参考文献】
人間の理解　P232～242
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉　人間の理解　P232～242　　〈予習〉　人間の理解　P232～242
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第１１回　介護福祉職のキャリア支援・開発　②
【key words】
OJT・OFF-JT・スーパービジョン・プリセプター
【授業概要】
チーム、隣接する領域における教育制度について知り、その必要性について理解する事ができる。
【教科書ページ・参考文献】
人間の理解　P232～242
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉　人間の理解　P232～242　　〈予習〉　人間の理解　P242～250
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第１２回　自己研鑽に必要な姿勢
【key words】
資質向上の責務・研修の活用・関心・セルフエフィカシー・シナジー
【授業概要】
チームの中の個としてブラッシュアップしていくことがチームの中にどのように影響するのかを知り、その上でチームで互いに良循環型に影響しあえる意義がわかる。
【教科書ページ・参考文献】
人間の理解　P242～250
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉　人間の理解　P242～250　　〈予習〉　人間の理解　P251～259
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第１３回　介護サービスを支える組織の構造
【key words】
目標達成・目標志向・ビジョン・事業計画
【授業概要】
チーム運営の骨格である、目的達成動機に基づき組織された集団において、ビジョンや目標の意義の重要性を理解することができる。
【教科書ページ・参考文献】
人間の理解　P251～259
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉　人間の理解　P251～259　　〈予習〉　人間の理解　P259～265
【予習復習に必要な想定時間】
60分～80分

第１４回　介護サービスを支える組織の機能と役割
【key words】
介護の実践力向上・コンプライアンス・・人間関係づくり・教育・研修体制づくり
【授業概要】
チームが安定的に運営されるためには様々働きかけが必要となる。その具体的な内容について知り、実際の現場ではどのように展開されいるのかを知ることができる。

【教科書ページ・参考文献】
人間の理解　P259～265
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉　人間の理解　P259～265　　〈予習〉　人間の理解　P259～265
【予習復習に必要な想定時間】
60分～80分

第１５回　介護サービスを支える組織の管理　　マネージメントの総括
【key words】
業務の管理・労務の管理・委員会・人材確保、育成・災害非常事態
【授業概要】
チームの実際として目に見えづらいもの、日常的に取り組むべき活動がある事を知ることができる。
【教科書ページ・参考文献】
人間の理解　P265～274
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉　人間の理解　P265～274
【予習復習に必要な想定時間】
60～120分

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

	【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	・グループワークにおいては普段の友人関係とは違うグループを意図的に設定するため、学生一人ひとりが積極的に授業に参加する姿勢が必要である。また、グループワークにおいては、全ての学生が発言できるように工夫して運営することが望まれる。積極的な姿勢で受講すること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	シャトルカード
授業外時間にかかわる情報	授業で学んだことは、必ず復習すること。授業で学んだことをボランティアなど実際の場面で意図的に活用し自己評価すること。
オフィスアワー	講義初回にて伝える
評価方法	課題への取り組み・リアクションペーパー・提出物40%、定期試験（レポート等）60%とする
教科書	諏訪茂樹編著　『介護福祉士養成テキスト2　人間関係とコミュニケーション（体験型ワークブック）』建帛社（最新版）
参考書	適宜、紹介する
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 介護老人保健施設に5年弱(介護職員、レクリエーションワーカー)、特別養護老人ホームに19年間(介護長、施設ケアマネジャー)　特に施設ケアマネジャーではケアプラン業務、サービス担当者会議業務、家族への説明などを行っていた。

	アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等) □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等) ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等) □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称：　社会と制度の理解Ⅰ　　授業コード：J218

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年次	2単位(30)	介護福祉コース・福祉総合コース・介護福祉士実践コース・必修
担当教員			
土屋　昭雄			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 　まずは、各単位〔個人、家族、近隣、地域、社会〕ごとの「人間」の捉え方についての理解を深め、そのうえで、わが国の社会保障制度の基本的な考え方、しくみ、変遷などについて学習する。とくに、近年大きく変化している介護保険制度や障害者自立支援制度等については、介護実践に不可欠な観点であり基礎的知識を習得する必要がある。 【到達目標】 　福祉専門職者として業務を遂行していくうえで不可欠な法制度の目的・意義、しくみ等の概要を理解している。必要に応じ、先述の制度等の概要を考慮した利用者支援ができる。
授業の概要	介護福祉士として把握しておくべき事柄、福祉関係法制を中心に概説していく。また、福祉を取り巻く現況、動向についても言及していく。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	◎
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	○
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	△
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	

授業計画	第１回　　オリエンテーション　〔授業の進め方、評価等授業概要に基づいた概要説明及び学習方法等について伝達〕・“福祉”とは 【key words】 介護福祉士国家資格・法制・社会福祉士及び介護福祉士法 【授業概要】 ・授業の進め方・評価・介護福祉士国家試験・本科目の位置付け等について概説 ・福祉とは 【教科書ページ・参考文献】 はじめに 【課題・予習・復習・授業準備指示】 第1章の熟読 【予習復習に必要な想定時間】 1時間 第２回　　「生活」の理解 【key words】 生活・ケイパビリティ・社会保障・ノーマライゼーション 【授業概要】 ・「人間」をとらえる複合的視点 ・「社会生活」のメカニズム 【教科書ページ・参考文献】 p1～p8 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業該当ページの再確認・重要語句の把握 【予習復習に必要な想定時間】 1時間 第３回　　生活の基本機能 【key words】 ライフサイクル・家庭機能・国民生活白書・ワークライフバランス

【授業概要】
・生活の多様性をとらえる視点
・「家族」と「家庭」
・家庭機能の特徴
【教科書ページ・参考文献】
p9～p17
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業該当ページの再確認
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第４回　ライフスタイルの変化・家族の機能と役割・社会、組織の機能と役割
【key words】

生産年齢人口・合計特殊出生率・高齢化率・介護の社会化・アソシエーション・エンパワメント

【授業概要】
・生活と働き方の変化
・少子高齢化
・家族の概念およびその変容
・家族の機能およびその変化
・社会、組織の概念
・社会、組織の機能と役割　ほか
【教科書ページ・参考文献】
p18～p33
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業該当ページの再確認・第2章の熟読
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第５回　地域および地域社会・　地域社会における生活支援・地域福祉の発展・
【key words】
コミュニティ・ソーシャルサポートネットワーク・地域福祉・社会福祉協議会・ボランティア

【授業概要】
・地域、地域社会の概念
・自助、互助、共助、公助
・地域の集団、組織による生活支援
・地域福祉の理念
・地域福祉の充実　ほか
【教科書ページ・参考文献】
p34～p51
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業該当ページの再確認・第2章の熟読
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第６回　地域共生社会・地域包括ケア
【key words】

地域共生社会・地域包括ケアシステム

【授業概要】
・地域共生社会の理念
・地域共生社会の実現に向けた取り組み
・地域包括ケアの理念
・地域包括ケアシステム　ほか
【教科書ページ・参考文献】
p52～p64
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業該当ページの再確認・第3章の熟読
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第７回　社会保障
【key words】

社会保障・セーフティネット・所得再分配

【授業概要】
・社会保障の理解
・社会保障の意義と役割
・社会保障の目的と機能　ほか

【教科書ページ・参考文献】
p65～p78
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業該当ページの再確認

【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第８回　日本の社会保障制度の発達

【key words】

社会保障・国民皆保険皆年金・措置制度・利用契約制度

【授業概要】
・社会保障の基盤整備
・社会保障の拡充
・介護保険と福祉の考え方の変化　ほか

【教科書ページ・参考文献】
p79～p90
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業該当ページの再確認
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第９回　日本の社会保障制度のしくみ①

【key words】

社会保障・年金保険(国民年金・厚生年金)

【授業概要】
・社会保障のしくみ
・年金保険(国民年金・厚生年金)　ほか

【教科書ページ・参考文献】
p91～p101
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業該当ページの再確認
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第１０回　社会保障のしくみ②

【key words】
医療保険・雇用保険・労働者災害補償保険・公的扶助・社会手当

【授業概要】
・医療保険
・雇用保険
・労働者災害補償保険
・各種社会扶助　ほか
【教科書ページ・参考文献】
p102～p109
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業該当ページの再確認・第4章の熟読
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第１１回　現代社会と社会保障制度

【key words】
2025年問題・社会保障関係費・社会保障給付費

【授業概要】
・少子高齢化の進行と社会保障
・財政問題と社会保障
・社会保障における給付と負担の関係　ほか

【教科書ページ・参考文献】
p110～p119
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業該当ページの再確認・第4章の熟読
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第１２回　高齢者保健福祉と介護保険制度①

【key words】

国民皆保険皆年金・社会的入院・オレンジプラン・

【授業概要】
・高齢者保健福祉に関する歴史
・人口の高齢化と高齢者保健福祉　ほか
【教科書ページ・参考文献】
p122～p133
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業該当ページの再確認・第4章の熟読
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第１３回　高齢者保健福祉と介護保険制度②

【key words】

平均寿命・介護休業・介護休暇・高齢社会対策基本法・老人福祉法・高齢者の医療の確保に関する法律

【授業概要】
・高齢者の健康保持と社会参加
・高齢者保健福祉に関する法体系と高齢社会対策基本法
・老人福祉法
・高齢者の医療の確保に関する法律　ほか
【教科書ページ・参考文献】
p134～p147
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業該当ページの再確認・第4章3節以降の熟読
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第１４回　確認テストおよび解答解説

【key words】

社会保障・社会保険

【授業概要】
・確認テスト
・解答解説

【教科書ページ・参考文献】
プリント配布
【課題・予習・復習・授業準備指示】
テストの見直し・テキスト該当ページの再確認
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第１５回　総括〔重要事項の再確認〕

【key words】

少子高齢化・社会保障・社会保険

【授業概要】
・法制度を中心とした重要事項の確認
【教科書ページ・参考文献】
説明該当ページ
【課題・予習・復習・授業準備指示】
テキストの再確認
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

	【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	私語は慎み、真摯な態度で授業に臨むこと。知識向上に向け、予習、復習を励行すること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	本科目においては、日頃から新聞に目を通し、社会情勢、法・制度改正等に関する情報、状況把握に努めることが極めて大切なこととなる。知識を深めるためにも努力は怠らないこと。
オフィスアワー	月曜日〔14：20～17：30〕及び昼休み〔12：00～12：30〕
評価方法	定期試験〔80%〕・確認テスト〔20%〕
教科書	介護福祉士養成講座編集委員会編『社会の理解』中央法規出版
参考書	福祉小六法、用語辞典、その他については授業内で適宜紹介する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） ■情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称：　社会と制度の理解Ⅱ　　授業コード：J219

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	2単位(30)	介護福祉コース・福祉総合コース・介護福祉士実践コース・必修
担当教員			
土屋　昭雄			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 　まずは、各単位〔個人、家族、近隣、地域、社会〕ごとの「人間」の捉え方についての理解を深め、そのうえで、わが国の社会保障制度の基本的な考え方、しくみ、変遷などについて学習する。とくに、近年大きく変化している介護保険制度や障害者自立支援制度等については、介護実践に不可欠な観点であり基礎的知識を習得する必要がある。 【到達目標】 　福祉専門職者として業務を遂行していくうえで不可欠な法制度の目的・意義、しくみ等の概要を理解している。必要に応じ、先述の制度等の概要を考慮した利用者支援ができる。
授業の概要	介護福祉士として把握しておくべき事柄、福祉関係法制を中心に概説していく。また、福祉を取り巻く現況、動向についても言及していく。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	◎
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	○
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	△
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	

授業計画	第１回　　オリエンテーション　〔授業の進め方、評価等授業概要に基づいた概要説明及び学習方法等について伝達〕・前期の復習 【key words】 介護福祉士国家資格・法制・社会福祉士及び介護福祉士法 【授業概要】 ・授業の進め方・評価・介護福祉士国家試験・本科目の位置付け等について概説()再確認 ・前期(社会と制度の理解Ⅰ)の重要項目の復習 【教科書ページ・参考文献】 テキスト該当ページ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 第4章3節の熟読 【予習復習に必要な想定時間】 1時間 第２回　　介護保険制度① 【key words】 社会保険・介護保険制度・保険者/被保険者・住所地特例・償還払い 【授業概要】 ・介護保険制度創設の背景と目的 ・介護保険制度のしくみの基本的理解(保険者と被保険者・介護保険料・財源) 【教科書ページ・参考文献】 p148～p159 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業該当ページの再確認・テキストp159ページ以降の熟読 【予習復習に必要な想定時間】 1時間 第３回　　介護保険制度② 【key words】 特定疾病・要介護/要支援認定・支給限度額・ケアプラン(介護サービス計画)・地域包括支援センター・介護保険審査会 【授業概要】 ・介護保険制度のしくみの基本的理解(保険給付・利用者負担・利用手続き)

【教科書ページ・参考文献】
p159～p170
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業該当ページの再確認・テキストp170ページ以降の熟読
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第４回　介護保険制度③
【key words】

地域密着型サービス・措置制度/利用契約制度・介護報酬

【授業概要】
・介護保険制度のしくみの基本的理解(介護保険サービスの種類と内容・利用者の権利を守るしくみ・費
用)

【教科書ページ・参考文献】
p170～p177
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業該当ページの再確認・テキストp177ページ以降の熟読
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第５回　介護保険制度④
【key words】
地域支援事業・地域包括ケアシステム・国民健康保険団体連合会・介護保険施設

【授業概要】
・介護保険制度のしくみの基本的理解(地域支援事業・地域包括ケアシステム・)
・介護保険制度における組織、団体の役割
【教科書ページ・参考文献】
p177～p193
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業該当ページの再確認・テキストp193ページ以降の熟読
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第６回　介護保険制度⑤
【key words】

介護支援専門員・ケアマネジメント・サービス付き高齢者向け住宅

【授業概要】
・介護保険制度における介護支援専門員の役割
・介護保険制度の動向

【教科書ページ・参考文献】
p193～p204
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業該当ページの再確認・第5章の熟読
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第７回　障害者保健福祉の動向
【key words】
バリアフリー・共生社会・社会的入院・応能負担/応益負担

【授業概要】
・障害者福祉の現状
・障害者福祉の歴史
・障害者福祉の動向
【教科書ページ・参考文献】
p205～p221
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業該当ページの再確認
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第８回　障害者保健福祉に関連する法体系・障害者総合支援制度①
【key words】
障害者総合支援法・障害者自立支援法

【授業概要】
・障害者保健福祉の法律
・障害者の法的定義
・障害者総合支援制度創設の背景および目的　ほか

【教科書ページ・参考文献】
p222～p236
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業該当ページの再確認
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第９回　障害者総合支援制度②
【key words】
自立支援給付・地域生活支援事業・介護給付・訓練等給付・市町村審査会

【授業概要】
・自立支援給付と地域生活支援事業

・財源と利用者負担
・障害福祉サービスの種類と内容、利用手続き

【教科書ページ・参考文献】
p236～p251
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業該当ページの再確認
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第１０回　障害者総合支援制度③
【key words】
障害支援区分・市町村審査会・基幹相談支援センター

【授業概要】
・障害支援区分の認定
・協議会と基幹相談支援センター
・障害者総合支援制度における相談支援事業と相談支援専門員　ほか
【教科書ページ・参考文献】
p251～p258
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業該当ページの再確認・第6章の熟読
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第１１回　個人の権利を守る制度、施策①
【key words】
高齢者虐待防止法・障害者虐待防止法・児童虐待防止法・DV防止法・成年後見制度・日常生活自立支援事業

【授業概要】
・虐待防止に関する制度、施策
・サービス利用に関する制度、施策

【教科書ページ・参考文献】
p259～p274
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業該当ページの再確認
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第１２回　個人の権利を守る制度、施策②・保健医療に関する制度、施策
【key words】
クーリングオフ制度・消費生活センター・個人情報保護法・要配慮個人情報・健康日本21・感染症法

【授業概要】
・消費者保護に関する制度、施策
・その他の個人の権利を守る制度、施策
・保健医療に関する制度、施策
・生活習慣病の予防、対策に関する制度、施策　ほか
【教科書ページ・参考文献】
p274～p297

【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業該当ページの再確認・第6章3節以降の熟読
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第１３回　貧困対策、生活困窮者支援に関する制度、施策①
【key words】

生活保護法・日本国憲法・生活困窮者自立支援法・生活福祉資金貸付制度
【授業概要】
・生活保護法
・生活困窮者自立支援法
・生活福祉資金貸付制度　ほか

【教科書ページ・参考文献】
p298～p307
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業該当ページの再確認
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第１４回　地域生活を支援する制度、施策
【key words】

障害者雇用促進法・法定雇用率・バリアフリー新法・

【授業概要】
・就労支援、雇用促進に関する制度、施策
・住生活を支援する制度、施策　ほか

【教科書ページ・参考文献】
p308～p320
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業該当ページの再確認
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第１５回　確認テスト・総括〔重要事項の再確認〕
【key words】

介護保険制度

【授業概要】
・確認テスト
・解答解説
・重要事項の再確認(復習)
【教科書ページ・参考文献】
プリント配布・テキスト該当ページ
【課題・予習・復習・授業準備指示】
テキストの再確認
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

	【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	私語は慎み、真摯な態度で授業に臨むこと。知識向上に向け、予習、復習を励行すること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	本科目においては、日頃から新聞に目を通し、社会情勢、法・制度改正等に関する情報、状況把握に努めることが極めて大切なこととなる。知識を深めるためにも努力は怠らないこと。
オフィスアワー	月曜日〔14：20～17：30〕及び昼休み〔12：00～12：30〕
評価方法	定期試験〔80%〕・確認テスト〔20%〕
教科書	介護福祉士養成講座編集委員会編『社会の理解』中央法規出版
参考書	福祉小六法、用語辞典、その他については授業内で適宜紹介する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） ■情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称：　サービス・ラーニングⅠ-①　　授業コード：J221

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年次	1単位(30)	必修
担当教員			
土屋　昭雄・矢嶋　栄司			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 　地域の身近な課題を見つけ、その解決に向けて調査・分析から解決策の提示、実践までを行う。フィールドは、大学近隣地域をはじめ、被災地等を含め、授業で学んだ知識を活かし、プロジェクトの活動を実践する。こうした学外での活動体験を学内での授業等にフィードバックさせ、学生自身の学修を深化させる。また、　地域社会の様々な人々と関わりながらコミュニケーション能力や社会性、協調性、行動力といった能力を培うことを目的とする。 【到達目標】 ①本学におけるサービス・ラーニングの位置づけについて理解し、説明することができる。 ②活動を通じて、医療福祉従事者としての基本的態度(社会人・職業人としての基本的マナー)を身につける。 ③グループワークのプロセスいついて理解し、プロセスに沿って実践することができる。 ④地域の身近な課題を見つけ、その解決に向けて調査・分析から解決策の提示、実践することができる。
授業の概要	医療福祉従事者を目指す者として、専門的な知識や技術だけではなく、汎用的技能や態度・志向性を身につける必要がある。サービス・ラーニングを通じて、地域の課題を発見し、その課題解決のためのプロジェクトを企画・運営することで、大学とフィールドを行き来し、体験を伴った学習が可能となる。講義の序盤では、プロジェクトのための概論として本学におけるプロジェクトの位置づけ、対象に応じた活動の理解、地域の課題、環境、災害等の理論について学ぶ。その後、地域をよりよくするためのプロジェクトに活動について調査、分析を行い、企画、運営を通して地域で学んだことを学問研究や自身の進路に結びつけ、新たな視野を得ることをねらいとする。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	△
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	◎
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	○

授業計画	第１回　　オリエンテーション 【key words】 サービス・ラーニング・ボランティア活動・自己実現・人間学・実践力 【授業概要】 ・本学におけるサービス・ラーニングの位置づけ ・サービス・ラーニングに対する自己目標の設定、プロジェクトに臨むうえでの態度・姿勢 ・学士力、志向性、ポートフォリオ等 について概説する。 【教科書ページ・参考文献】 口頭・配布資料等による説明 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ボランティア活動ハンドブックの熟読 【予習復習に必要な想定時間】 1時間 第２回　　本学におけるボランティア活動について 【key words】 ボランティア活動・継続ボランティア・依頼ボランティア・行事ボランティア・コミュニケーション能力・教育実践 【授業概要】 本学のボランティア活動の紹介およびボランティア活動報告(これまでの活動内容紹介) 【教科書ページ・参考文献】 ボランティア活動ハンドブック 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキスト第1章～第4章熟読 【予習復習に必要な想定時間】 1時間 第３回　　ボランティアについて

【key words】

ボランティア・NPO・社会福祉協議会・プラットフォーム・ボランティアコーディネート・社会貢献活動
【授業概要】
・ボランティアとは何か
・日本におけるボランティアの普及、推進の歩み
【教科書ページ・参考文献】
p1～p69
【課題・予習・復習・授業準備指示】
・第1章～第4章再確認
・第5章熟読
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第４回　人と人とのかかわり
【key words】
自己実現・社会参加・権利擁護・社会連帯意識・ソーシャルアクション
【授業概要】
・児童・障害者・高齢者を対象とした活動の実際
【教科書ページ・参考文献】
p77～p91
【課題・予習・復習・授業準備指示】
・第5章再確認
・第6章熟読
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第５回　地域社会のボランティア
【key words】
地域社会・町内会/自治会・サロン活動・NPO・ソーシャルインクルージョン
【授業概要】
・地域社会を豊かにするボランティア活動事例
・地域におけるボランティアの組織化
　～県内で活躍する団体および活動内容の理解～
【教科書ページ・参考文献】
p92～p106
【課題・予習・復習・授業準備指示】
・第6章再確認
・社会貢献活動(CSR)についての事前学習
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第６回　社会貢献(CSR)活動の動向
【key words】
社会貢献活動(CSR)・理念
【授業概要】
・企業における社会貢献活動(CSR)の実際
【教科書ページ・参考文献】
・p24
・配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
・授業内容の把握
・第7章熟読
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第７回　環境とボランティア
【key words】
京都議定書・NGO/NPO・環境カウンセラー・地球温暖化防止・環境教育
【授業概要】
・日本の環境活動
・環境NGO/NPOにおけるボランティア
【教科書ページ・参考文献】
p107～p122
【課題・予習・復習・授業準備指示】
・第7章再確認
・第8章熟読
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第８回　災害支援とボランティア
【key words】
阪神、淡路大震災・募金活動・災害ボランティアセンター・ボランティアコーディネート
【授業概要】
・阪神、淡路大震災以降、定着する災害ボランティア
・被災者本位のボランティア活動
・災害ボランティアセンターとボランティアコーディネート
【教科書ページ・参考文献】
p123～p137
【課題・予習・復習・授業準備指示】
・第8章再確認
・第9章熟読
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第９回　国際ボランティア
【key words】

SDGｓ・NGO・オーナーシップ・エンパワメント
【授業概要】
・国際支援活動に関する理解
・SDGｓ(Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）)とは
・日本における国際ボランティアの背景と歴史ほか

【教科書ページ・参考文献】
p138～p160
【課題・予習・復習・授業準備指示】
・第9章再確認
・リスクマネジメントに関する事前学習
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第１０回　リスクおよびマネジメントについて
【key words】
リスクマネジメント
【授業概要】
・活動時に想定されるリスクとマネジメント
　～応急処置の対応についての理解～
・リスクマネジメントについて
【教科書ページ・参考文献】
・口頭・板書による説明
・資料配布
【課題・予習・復習・授業準備指示】
・これまでの講義内容を後の実践活動に活かすこと。
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第１１回　実践活動に向けて
【key words】
地域貢献活動
【授業概要】
・後期に向けてのプロジェクに対する課題等
　～今後のプロジェク活動(地域貢献活動)を企画・実践する際の考え方と課題の整理～
【教科書ページ・参考文献】
資料を用いての説明
【課題・予習・復習・授業準備指示】
地域貢献活動の理解
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第１２回　プロジェクト実施に向けた実践活動
【key words】
地域課題・課題分析
【授業概要】
地域課題に関する調査・分析について
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第１３回　プロジェクト実施に向けた実践活動
【key words】
地域課題・地域ネットワーク・連携・フィールドワーク
【授業概要】
地域課題に関する調査・分析(地域ネットワークとの連携・ヒヤリング・フィールドワーク)①
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第１４回　プロジェクト実施に向けた実践活動
【key words】
地域課題・地域ネットワーク・連携・フィールドワーク
【授業概要】
地域課題に関する調査・分析(地域ネットワークとの連携・ヒヤリング・フィールドワーク)②
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第１５回　プロジェクト実施に向けた実践活動・まとめ
【key words】
地域課題・地域ネットワーク・連携・フィールドワーク
【授業概要】
・地域課題に関する調査・分析(地域ネットワークとの連携・ヒヤリング・フィールドワーク)③
・まとめ
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

	【予習復習に必要な想定時間】 1時間 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】

	【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	本科目では、地域の身近な課題を見つけ、その解決に向けて調査・分析から課題解決の提示、実践までを行うことを目的としている。プロジェクトを通して自分自身がどのように成長を確認していくことが重要となる。すなわち、積極的な活動・実践が前提となる。そこで、自治体、関係諸団体、医療福祉施設での活動方法について十分理解し、先方とのトラブルがないよう配慮してください。 また、グループに分かれ、討議、発表する場合は、積極的に参加すること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード・指導教員への報告等
授業外時間にかかわる情報	・準備学習として、文献、統計資料調査、現場への予備的フィールドワーク、成果発表の準備等が求められる。 ・身近な地域でどのような問題・課題が生じているのかに興味関心を持ち、新聞、文献等を用いて自ら調べることが大切であ る。
オフィスアワー	月曜日〔14：20～17：30〕及び昼休み〔12：00～12：30〕
評価方法	計画及び実践活動〔70%〕、レポート・活動報告〔30%〕
教科書	ボランティア活動ハンドブック　/　柴田謙治・原田正樹・名賀亨編　『ボランティア論　～「広がり」から「深まり」へ～』　みらい
参考書	適宜紹介する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称：　サービス・ラーニングⅠ-②　　授業コード：J222

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	1単位(30)	必修
担当教員			
土屋　昭雄・矢嶋　栄司			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 　地域の身近な課題を見つけ、その解決に向けて調査・分析から解決策の提示、実践までを行う。フィールドは、大学近隣地域をはじめ、被災地等を含め、授業で学んだ知識を活かし、プロジェクトの活動を実践する。こうした学外での活動体験を学内での授業等にフィードバックさせ、学生自身の学修を深化させる。また、　地域社会の様々な人々と関わりながらコミュニケーション能力や社会性、協調性、行動力といった能力を培うことを目的とする。 【到達目標】 ①本学におけるサービス・ラーニングの位置づけについて理解し、説明することができる。 ②活動を通じて、医療福祉従事者としての基本的態度(社会人・職業人としての基本的マナー)を身につける。 ③グループワークのプロセスいついて理解し、プロセスに沿って実践することができる。 ④地域の身近な課題を見つけ、その解決に向けて調査・分析から解決策の提示、実践することができる。
授業の概要	医療福祉従事者を目指す者として、専門的な知識や技術だけではなく、汎用的技能や態度・志向性を身につける必要がある。サービス・ラーニングを通じて、地域の課題を発見し、その課題解決のためのプロジェクトを企画・運営することで、大学とフィールドを行き来し、体験を伴った学習が可能となる。講義の序盤では、プロジェクトのための概論として本学におけるプロジェクトの位置づけ、対象に応じた活動の理解、地域の課題、環境、災害等の理論について学ぶ。その後、地域をよりよくするためのプロジェクトに活動について調査、分析を行い、企画、運営を通して地域で学んだことを学問研究や自身の進路に結びつけ、新たな視野を得ることをねらいとする。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	△
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	◎
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	○

授業計画	第１回	プロジェクト実施に向けた実践活動 【key words】 地域課題・問題解決能力 【授業概要】 課題発見　課題解決方法の提案①　　※指導教員は個別対応とし、授業回数にカウントする。以下同様 【教科書ページ・参考文献】 指導教員による指導 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第２回	プロジェクト実施に向けた実践活動 【key words】 地域課題・問題解決能力 【授業概要】 課題発見　課題解決方法の提案② 指導教員 【教科書ページ・参考文献】 指導教員による指導 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第３回	プロジェクト実施に向けた実践活動 【key words】 地域課題・問題解決能力 【授業概要】 課題発見　課題解決方法の提案③

		指導教員 【教科書ページ・参考文献】 指導教員による指導 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第４回	プロジェクト実施に向けた実践活動 【key words】 組織・計画立案・社会資源 【授業概要】 プロジェクトの企画・立案・作成(実施に向けた企画書・チラシ等作成・組織、資源の確認)① 指導教員 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第５回	プロジェクト実施に向けた実践活動 【key words】 組織・計画立案・社会資源 【授業概要】 プロジェクトの企画・立案・作成(実施に向けた企画書・チラシ等作成・組織、資源の確認)② 指導教員 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第６回	プロジェクト実施に向けた実践活動 【key words】 組織・計画立案・社会資源 【授業概要】 プロジェクトの企画・立案・作成(実施に向けた企画書・チラシ等作成・組織、資源の確認)③ 指導教員 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第７回	プロジェクト実施 【key words】 実践力・課題解決・報告/連絡/相談 【授業概要】 進捗状況確認　発表① 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第８回	プロジェクト実施 【key words】 実践力・課題解決・報告/連絡/相談 【授業概要】 進捗状況確認　発表② 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第９回	プロジェクト実施 【key words】 実践力・課題解決・報告/連絡/相談 【授業概要】 進捗状況確認　発表③ 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第１０回	プロジェクト実施 【key words】 実践力・課題解決・報告/連絡/相談 【授業概要】

	進捗状況確認　発表④ 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
第１１回	プロジェクト実施 【key words】 実践力・成果/効果・活動意義・自己成長 【授業概要】 報告会に向けての準備① 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
第１２回	プロジェクト実施 【key words】 実践力・成果/効果・活動意義・自己成長 【授業概要】 報告会に向けての準備② 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
第１３回	プロジェクト実施 【key words】 実践力・成果/効果・活動意義・自己成長 【授業概要】 報告会に向けての準備③ 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
第１４回	プロジェクト実施 【key words】 実践力・成果/効果・活動意義・自己成長・伝達力 【授業概要】 報告会　プレゼンテーション発表① 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
第１５回	プロジェクト実施・授業総括 【key words】 実践力・成果/効果・活動意義・自己成長・伝達力 【授業概要】 報告会　プレゼンテーション発表② 授業総括 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】

	【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】

	【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	本科目では、地域の身近な課題を見つけ、その解決に向けて調査・分析から課題解決の提示、実践までを行うことを目的としている。プロジェクトを通して自分自身がどのように成長を確認していくことが重要となる。すなわち、積極的な活動・実践が前提となる。そこで、自治体、関係諸団体、医療福祉施設での活動方法について十分理解し、先方とのトラブルがないよう配慮してください。 また、グループに分かれ、討議、発表する場合は、積極的に参加すること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード・指導教員への報告等
授業外時間にかかわる情報	・準備学習として、文献、統計資料調査、現場への予備的フィールドワーク、成果発表の準備等が求められる。 ・身近な地域でどのような問題・課題が生じているのかに興味関心を持ち、新聞、文献等を用いて自ら調べることが大切であ る。
オフィスアワー	月曜日〔14：20～17：30〕及び昼休み〔12：00～12：30〕
評価方法	計画及び実践活動〔70%〕、レポート・活動報告〔30%〕
教科書	ボランティア活動ハンドブック　/　柴田謙治・原田正樹・名賀亨編　『ボランティア論　～「広がり」から「深まり」へ～』　みらい
参考書	適宜紹介する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称：　コミュニケーション技術Ⅰ　　授業コード：J223

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年次	2単位(30)	介護福祉コース・福祉総合コース・介護福祉士実践コース・必修
担当教員			
清水　久二雄			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕 ・「人は社会的動物」と言われるように、我々は常に誰かと直接的及び間接的な携りの中で生活しています。そのためコ　ミュニケーションに関わる障害が出現する事は、多くの生活のしづらさに直面することが考えられます。しかし一方で 　コミュニケーションの方法は言語的なものに留まらす、多岐に渡ります。本講義はコミュニケーションの基礎を講義と 　演習をベースとして体験的に学び、コミュニケーションの技法やコミュニケーション障害のアセスメントに基づいたコ　ミュニケーションの支援方法や今後の未来型のコミュニケーションの可能性について創造的に学んでいくことを目的と 　しています。 〔到達目標〕 ①コミュニケーションとは何かについて基礎的な理解ができる。 ②コミュニケーションの支援の方法を知識として理解し、且つその知識を実践する事ができる。 ③コミュニケーションに関わる障害をアセスメントし根拠に基づいたかかわりの支援ができる。 ④複数のメンバーと協働できるための、チームのメンバーとしてのスキルを体現することができる。 ⑤様々な利用者の状況に応じて最適なコミュニケーションが行えるように支援方法を創造することができる。
授業の概要	・授業は講義形式で行うが、グループディスカッション、ワークシート作成、視覚教材、作業、ロールプレイなどの演習 　も合わせて行う。 ・実習ではプロセスレコードが課題となっているので本講義でトレーニングすることを予定している。 ・自らの考え方もしっかり示しつつも、他者の考え方やしっかり聴くことも学びの一環であると認識しているため、それ 　らをしっかりと受け止めること

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	◎
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	○

授業計画	第１回	オリエンテーション・ガイダンス　　介護におけるコミュニケーション意義と目的 【key words】 コミュニケーション・語源・マスコミュニケーション・パーソナルコミュニケーション 【授業概要】 コミュニケーション技術とは何を学ぶ科目を授業概要とテキストを使用して説明する。初回の授業では「コミュニケーション」の語源やパーソナルなコミュニケーションや、マスコミュニケーションなど、様々な種類について触れ、コミュニケーションとは何かの意義について考えていく。 【教科書ページ・参考文献】 「コミュニケーション技術」P2～18・「人間の理解」P122～123 【課題・予習・復習・授業準備指示】 〈復習〉「コミュニケーション技術」P2～18・「人間の理解」P122～123　〈予習〉「コミュニケーション技術」P20～25・「人間の理解」P124～128を予習して欲しい。 【予習復習に必要な想定時間】 60～80分
	第２回	コミュニケーションの基本構造 【key words】 メッセージ・送受・環境・雑音・感覚受容器 【授業概要】 ・コミュニケーションの基本構造である　メッセージ・送受・環境・雑音などはコミュニケーションを図る上でどのくらい大切なものであるのかを体験を通じ学び、その上でコミュニケーションを支援に活かすための様々な配慮とは何かを検討していく 【教科書ページ・参考文献】 「コミュニケーション技術」P20～25・「人間の理解」P124～128 【課題・予習・復習・授業準備指示】 〈復習〉「コミュニケーション技術」P20～25・「人間の理解」P124～128　〈予習〉「コミュニ

ケーション技術」P20～31・「人間の理解」P128～140
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第３回　コミュニケーションの手段
【key words】
非言語的コミュニケーション・非言語的コミュニケーション
【授業概要】
・メッセージを共有するために様々な手段がある事を知り、日常のコミュニケーションだけではなく、要介護の状態によりコミュニケーションの手段や方法が少なくなっても、メッセージを共有することが出来るようになるためにはどのような支援が必要かを検討していく。
【教科書ページ・参考文献】
「コミュニケーション技術」P20～31・「人間の理解」P128～140
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉　「コミュニケーション技術」P20～31・「人間の理解」P128～140
〈予習〉「コミュニケーション技術」P20～31・「人間の理解」P128～131を予習して欲しい。
【予習復習に必要な想定時間】
40～60分

第４回　言語的コミュニケーション
【key words】
言語・理解・記憶
【授業概要】
・言語的コミュニケーションでメッセージを共有するときの人の様々な機能や役割り、その為に配慮すべき事は何かについて学ぶ。言語的コミュニケーションの伝わり方について、どんな言葉をどのようなタイミングで使うかなどについて体験を通じて学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
「コミュニケーション技術」P20～31・「人間の理解」P128～131
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉「コミュニケーション技術」P20～31・「人間の理解」P128～131
〈予習〉「コミュニケーション技術」P36～39・「人間の理解」P128～131
【予習復習に必要な想定時間】
40～60分

第５回　言葉以外を使ったコミュニケーション
【key words】
準言語・空間・時間・感覚的な情報・身体接触・身体動作・環境

【授業概要】
・支援者と利用者の良好な関係構築のためには他者の関心に関心を寄せることが重要であることと、そのため
　には自分自身が抱く関心を知覚する必要があるが、それらを体験を通して学び、その前提で様々な状況で求
　められる支援者の態度についてふりかえりながら学びを深めていく。

【教科書ページ・参考文献】
「コミュニケーション技術」P36～39・「人間の理解」P128～131
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉　特に日常の中に言葉以外のコミュニケーションはどのようなものがあるのかをまとめる。
〈予習〉　コミュケーション技術P40～44
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第６回　動機づけとコミュニケーション
【key words】
外発的動機づけ・内発的動機づけ・自己決定性・自己効力感
【授業概要】
・人が他者とコミュニケーションを図りたいと思うとき、その人の心的エネルギーは大きく関与している。そ　れが外発的動機づけ、内発的動機づけなどの理由によるものや自己効力感によって大きく影響することにつ　いて考え、これらの意義について学ぶ
【教科書ページ・参考文献】
コミュケーション技術　　P40～44
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉　第6回の授業を通して自身のことに置き換えて考えて復習すること。　〈予習〉　コミュケーション技術　　P44～55
【予習復習に必要な想定時間】
40～60分

第７回　ものの見方に変化を生み出す技術と自己決定
【key words】
センタリング・多様性・固定観念・リフレーミング・意志と意思
【授業概要】
・他者に対する印象や社会的規範意識、固定観念によって自他ともに認知が歪むことがある事を知り、コミュ　ニケーションの図り方によってその歪みが減らすことができる事を考え、センタリングすることとは何かに　ついて考える。
【教科書ページ・参考文献】
コミュケーション技術　　P44～55
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉　苦手と思うこと、不得手であると思う事について改めて再考しワークシートにまとめること。
〈予習〉　コミュ　ケーション技術　P56～61の予習を行って欲しい。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第８回　集団におけるコミュニケーション技術　①
【key words】
集団・集団の形成・グループダイナミクス

【授業概要】
・集団の形成の仕方やその種類、また目的別によってグループ内のコミュニケーションの方法や運用が違うこ　とについて体験的、ディスカッション形式で考え、集団の意義について考えていく。
【教科書ページ・参考文献】
コミュケーション技術　　P56～61
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉　これまで属していた様々な集団について再考して欲しい。〈予習〉コミュケーション技術P44　～55予習を行うこと。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第９回　　集団におけるコミュニケーション技術　②
【key words】
メイポール・ラウンドロビン
【授業概要】
・集団を用いたコミュニケーションのいくつか手法を体験的に学び、その意義とリスクについて考え、意図的　にどのようにふさわしい場面や支援方法について考え、学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
コミュケーション技術　　P62～67
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉　集団で行った手法の中で、それぞれの役割りについて考え、実際にどのように携るのかについて考える。　〈予習〉コミュケーション技術　P56～61を予習して欲しい。

【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第１０回　　コミュニケーション障害への対応の基本
【key words】
コミュニケーション障害・原因・アセスメント・エビデンスﾍﾞｰｽド
【授業概要】
・コミュニケーションの障害には様々種類があり、またその原因も様々なある事を知る。その上でその困難性　についてしっかりアセスメントし適切な支援方法を検討していく意義を知る。
【教科書ページ・参考文献】
コミュケーション技術　　P70～78
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉　コミュニケーションのしづらさとそれらをどのような方法でアセスメントするかについて整理する。〈予習〉視覚の機能はどのくらいに分かれているかを整理する。

【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第１１回　　視覚障害のある人への支援
【key words】
視覚障害・バーバリズム・ブラインディズム・盲・クロックポジション
【授業概要】
視覚には様々な機能があり、それぞれが障害された場合はどのような状態になるのかを考えていく。またそ　の障害の状態や先天的、後天的などの発症の時期の違いをアセスメントし、効果的なコミュニケーション方　法について考える
【教科書ページ・参考文献】
コミュケーション技術　　P79～85
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習・予習〉　　町の中にあるメディア・カラーユニバーサルデザインを探してみること。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第１２回　　視覚障害のある人へのユニバーサルデザインの支援
【key words】
ロービジョン・カラーユニバーサルデザイン・メディアユニバーサルデザイン
【授業概要】
・人は視覚からおよそ80%以上情報収集しているといわれる。そのためコミュニケーションの配慮として、ユ　ニバーサルデザインの立場からコミュニケーション上の配慮について作業を通じて学ぶことができる。

【教科書ページ・参考文献】
コミュケーション技術　　P79～85
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉　第12回の授業で作成したチラシを完成させて欲しい。今回の授業で行った演習を振り返りを行うこと。〈予習〉コミュケーション技術P85～91
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第１３回　　聴覚障害のある人への支援
【key words】
難聴・中途失聴・ろう・第一言語・言語

【授業概要】
・聴覚障害のある人の状態の「難聴」・「中途失聴」・「ろう」の違いや状態に触れ、様々なコミュニケー
　ションの支援方法があることを知る。聴くことと話す事が困難な状態である場合、豊かに表現できること
　の意義についてDVDを視聴し、それぞれが考えをレポートにまとめていく。

【教科書ページ・参考文献】
コミュケーション技術P85～91
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉　DVDを視聴して考えた事をまとめる(第14回に提出)　　〈予習〉コミュケーション技術

	P79～85 【予習復習に必要な想定時間】 60～80分
第１４回	構音障害のある人への支援 【key words】 発声・共鳴・構音・器質性・発達 【授業概要】 ・構音障害のある人にとって発声のメカニズムを知り、それが困難な場合の状態を知る。その上で適切な支援　援方法や　コミュニケーション上の配慮について作業を通じて学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 コミュケーション技術　　P92～98 【課題・予習・復習・授業準備指示】 〈復習〉　発声・発語を大きく分けた3つの機能を組み合わせて、どんな困難があるのかを検討する。 〈予習〉コミュケーション技術　　P92～98 【予習復習に必要な想定時間】 60～80分
第１５回	失語のある人と吃音のある人への支援 【key words】 吃音・失語・ブローカ失語・ウェルニッケ失語・全失語 【授業概要】 ・吃音のある人の状態を知り、適切な支援方法を検討する。その後同様に失語症のある人の状態と適切な支援　方法を検討する。　最後に前回の「構音障害」・「吃音」・「失語症」のそれぞれの状態についてしっかり 　と分けられるようにアセスメントの手法について触れる。 【教科書ページ・参考文献】 コミュケーション技術　　P92～98 【課題・予習・復習・授業準備指示】 〈復習〉　コミュニケーション技術　P92～98　〈予習〉16回から認知症のある人への支援について実習で感じた事をまとめておくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 40～60分 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】

	【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】

	【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	・挨拶や態度などの普段の取り組みが大切であると考えているため、まず人の言葉に耳を傾けるという姿勢がコミュニ ケーションの基本である発声した言葉を大切にし耳を傾けるトレーニングのために口頭での指示は原則1回とする。 ・声量のない人や発声されない声をとらえるトレーニングのために必要以上に大きな声で授業はしないため私語を慎むこ　と ・非言語的コミュニケーションを大切にするため、様々な所作を行動にあらわすように机、椅子の整頓や消しゴムのカス など授業終了後には毎回実施すること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	シャトルカード、ワークシート、レポート
授業外時間にかかわる情報	・介護実習ではプロセスレコードの作成があるため、コミュニケーションの内容を日常的に記録することが望ましい。 またそうすることによって自らのコミュニケーションを可視化する事ができる。 ・授業で行った内容は即時にフィードバックすることにより、そのスキルは向上する。そのため仲間同士でロールプレイ　する事やボランティア活動や実習などの実践で学びの成果は大きくんると考えられる。 ・AI、モバイル端末など様々ツールの活用によりコミュニケーションの新たな可能性や広がりも考えられる一方でアクセ　シビリティなどの課題も出現するため、常にそれらについて考えて欲しい。
オフィスアワー	初回授業時に予定表を配布し
評価方法	定期試験　70%　授業の態度（グループワークの取り組みなど）20%　授業時の課題等　10%
教科書	「新・介護福祉士養成講座　コミュニケーション技術」　中央法規
参考書	介護福祉士養成テキスト　3　「コミュニケーション技術」　日本介護福祉士養成施設協会
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 介護老人保健施設に5年弱(介護職員、レクリエーションワーカー)、特別養護老人ホームに19年間(介護長、施設ケアマネジャー) アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等）

	□情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称：　コミュニケーション技術Ⅱ　　授業コード：J224

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	2単位(30)	介護福祉コース・福祉総合コース・介護福祉士実践コース・必修
担当教員			
清水　久二雄			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕 ・「人は社会的動物」と言われるように、我々は常に誰かと直接的及び間接的な携りの中で生活しています。そのためコ　ミュニケーションに関わる障害が出現する事は、多くの生活のしづらさに直面することが考えられます。しかし一方で 　コミュニケーションの方法は言語的なものに留まらす、多岐に渡ります。本講義はコミュニケーションの基礎を講義と 　演習をベースとして体験的に学び、コミュニケーションの技法やコミュニケーション障害のアセスメントに基づいたコ　ミュニケーションの支援方法や今後の未来型のコミュニケーションの可能性について創造的に学んでいくことを目的と 　しています。 〔到達目標〕 ①コミュニケーションとは何かについて基礎的な理解ができる。 ②コミュニケーションの支援の方法を知識として理解し、且つその知識を実践する事ができる。 ③コミュニケーションに関わる障害をアセスメントし根拠に基づいたかかわりの支援ができる。 ④複数のメンバーと協働できるための、チームのメンバーとしてのスキルを体現することができる。 ⑤様々な利用者の状況に応じて最適なコミュニケーションが行えるように支援方法を創造することができる。
授業の概要	・授業は講義形式で行うが、グループディスカッション、ワークシート作成、視覚教材、作業、ロールプレイなどの演習 　も合わせて行う。 ・実習ではプロセスレコードが課題となっているので本講義でトレーニングすることを予定している。 ・自らの考え方もしっかり示しつつも、他者の考え方やしっかり聴くことも学びの一環であると認識しているため、それ 　らをしっかりと受け止めること

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	◎
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	○

授業計画	第１回	後期ガイダンス 【key words】 チーム・マネジメント・課題解決・目標志向・対象者別コミュニケーション 【授業概要】 ・後期授業のガイダンスにより授業のアウトライン、到達目標、評価についてアナウンスする。次回から認知 　症のある人のコミュニケーションについて疑似体験及び当事者がどのような心持ちで生活するのかについて 　考える。 【教科書ページ・参考文献】 コミュニケーション技術　　P106～117 【課題・予習・復習・授業準備指示】 〈復習・予習〉　コミュニケーション技術　P106～117を読んでおいて欲しい。 【予習復習に必要な想定時間】 60～80分
	第２回	認知症のある人への支援① 【key words】 ケアパートナー・バリデーション・悪性の社会心理・望ましい関わり 【授業概要】 ・認知症のある人が、周囲の人とどのようにコミュニケーションしづらさを抱えているのかについてDVDを視聴 　し考える。また考えたことをワークシートを使って整理する。 【教科書ページ・参考文献】 コミュニケーション技術　P106～117 【課題・予習・復習・授業準備指示】 〈復習・予習〉　授業で配布するワークシートをまとめておいて欲しい。

【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第３回　認知症のある人への支援②

【key words】
ユマニチュード・行動の了解・孤独の解消
【授業概要】
・認知症の状態にある人の原因や状態の進行状況の違いを知りつつ、効果的なコミュニケーション方法について
　考える。ユマニチュードやバリデーションのテクニックについて紹介する。
【教科書ページ・参考文献】
コミュニケーション技術　P106～117
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習・予習〉　様々な技法を、実際にロールプレイなどの機会を持ち実践して欲しい。
【予習復習に必要な想定時間】
40～60分

第４回　うつ・抑うつ状態の人への支援

【key words】
内因性・外因性・心因性

【授業概要】
・うつ・抑うつ状態にある人の原因や状態の進行状況の違いを知りつつ、効果的なコミュニケーション方法につ
　いて考える
【教科書ページ・参考文献】
コミュニケーション技術　　P117～120
【課題・予習・復習・授業準備指示】
＜復習＞うつ状態となる原因と支援方法について整理して欲しい
＜予習＞統合失調症について調べておいて欲しい。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第５回　統合失調症のある人への支援

【key words】
統合失調症・陽性症状・陰性症状

【授業概要】
・統合失調症のある人の状態の進行状況の違いを知りつつ、効果的なコミュニケーション方法について考える
【教科書ページ・参考文献】
コミュニケーション技術　P121～126
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉　コミュニケーション技術　P121～126　　〈予習〉コミュニケーション技術　P127～133
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第６回　　知的障害のある人への支援

【key words】
シンボルコミュニケーション・概念形成・適応行動・クレーン現象・エコラリア
【授業概要】
・知的障害のある人の機能や環境の違いによってどのような特性があるかを知りつつ、効果的なコミュニケーシ
　ョン方法について考える
【教科書ページ・参考文献】
コミュニケーション技術　　P127～133
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉　コミュニケーション技術　P127～133　　〈予習〉コミュニケーション技術　P134～156
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第７回　　発達障害のある人への支援

【key words】
自閉症スペクトラム・ADHD・LD・SPELL・TEECH
【授業概要】
・障害の類型に応じた支援と発達障害のある人の機能や環境の違いによってどのような特性があるかを知りつ
　つ、効果的なコミュニケーション方法について考える
【教科書ページ・参考文献】
コミュニケーション技術　　P134～156
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉　コミュニケーション技術　P134～156。　　〈予習〉コミュニケーション技術　　P142～147
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第８回　高次脳機能障害のある人への支援

【key words】
高次脳機能障害・記憶障害・遂行機能障害・半側空間無視・社会的行動生涯・環境の構造化

【授業概要】
・高次脳機能障害のある人の機能や環境の違いによってどのような特性があるかを知りつつ、効果的なコミュ
　ニケーション方法について考える
【教科書ページ・参考文献】
コミュニケーション技術　　P142～147
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉　コミュニケーション技術　P142～147　　〈予習〉　コミュニケーション技術　P142～147

の予習を行うこと。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第９回　重症心身障害のある人への支援
【key words】
脳性麻痺・知的障害・概念形成・語彙・発達支援・感覚・スヌーズレン
【授業概要】
・重症心身障害のある人のコミュニケーションの傾向を知り、それぞれの機能や環境の違いによってどのよう
な特性があるかを知りつつ、効果的なコミュニケーション方法について考える
【教科書ページ・参考文献】
コミュニケーション技術　　P148～156
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉 コミュニケーション技術　P148～156　〈予習〉コミュニケーション技術　P148～156
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第１０回　家族とのコミュニケーション
【key words】
ケアパートナー・関係づくり・助言・調整・家族のストレス・共依存
【授業概要】
・いわゆる要介護状態にある高齢者や障害のある人の暮らしを支えている家族に焦点をあて、支援者としてど
のように関わるべきかを考える。
【教科書ページ・参考文献】
コミュニケーション技術　　P162～182
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉 コミュニケーション技術　P162～182　〈予習〉コミュニケーション技術　P162～182
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第１１回　報告・連絡・相談の技術
【key words】
報告・連絡・相談・6W3H・タイミング
【授業概要】
・報告・連絡・相談があることがチームにおける意義について学ぶ。またそれらを効果的に活用するためにはど
のようにしなければならないのかについても体験を通じて学ぶ
【教科書ページ・参考文献】
コミュニケーション技術　　P192～200
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉 コミュニケーション技術　P192～200　〈予習〉コミュニケーション技術　P192～200
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第１２回　記録の技術
【key words】
記録・記録の種類・5W1H・要約体・逐語体・叙述体
【授業概要】
・様々な情報を記録に残すことには多くの意義があり、記録に残すための技術や方法について学ぶ

【教科書ページ・参考文献】
コミュニケーション技術　　P201～228
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉 授業で配布するワークシートのまとめを行うこと。 〈予習〉コミュニケーション技術 P201～228。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第１３回　会議・議事進行・説明の技術
【key words】
会議・議事・プレゼンテーション・アジェンダ・目標・　あるべき姿

【授業概要】
・会議は大勢の知恵やアイデアが結集すると、様々な課題解決のみならず、新たな可能性を発見する事にも繋
がっていく。そのための会議の運営、審議内容の抽出、説明力にはどのようなことが必要なのかを考える。

【教科書ページ・参考文献】
コミュニケーション技術　　P229～242
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉 コミュニケーション技術　P229～242　〈予習〉コミュニケーション技術P242～257
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第１４回　報告・連絡・相談　（インシデントレポートとアクシデントレポート）
【key words】
報告　連絡　相談　インシデント　　アクシデント　　ハインリッヒの法則
【授業概要】
・チームのコミュニケーションをテーマでその基本となる　報告・連絡・相談の意義・目的について学び、具
体的な伝達方法、どのようにチーム内でのコミュニケーションを実践するのが望ましいかを演習を通して学
ぶ。

【教科書ページ・参考文献】
コミュニケーション技術　P242～257
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉　コミュニケーション技術　P242～257　　〈予習〉　コミュニケーション技術　P200～235
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第１５回　チームのコミュニケーション・会議の進め方について

【key words】
情報共有　　会議　　シナジー　相互依存関係

【授業概要】
・チームのコミュニケーションとしてどのように会議をすすめるのがよいか、会議の進め方・情報の共有方法
　について学ぶ。また1年間の授業のまとめとして、学生自身が成長したことと、今後の課題について振り返
　る。
【教科書ページ・参考文献】
コミュニケーション技術　P200～235
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉　学生個々人の自らの能力を知覚し、自身の対人援助の強みは何か、配布したシートに書き起
　こして欲しい
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

	【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】

	【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	・挨拶や態度などの普段の取り組みが大切であると考えているため、まず人の言葉に耳を傾けるという姿勢がコミュニ ケーションの基本である発声した言葉を大切にし耳を傾けるトレーニングのために口頭での指示は原則1回とする。 ・声量のない人や発声されない声をとらえるトレーニングのために必要以上に大きな声で授業はしないため私語を慎むこ　と ・非言語的コミュニケーションを大切にするため、様々な所作を行動にあらわすように机、椅子の整頓や消しゴムのカス など授業終了後には毎回実施すること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	シャトルカード、ワークシート、レポート
授業外時間にかかわる情報	・介護実習ではプロセスレコードの作成があるため、コミュニケーションの内容を日常的に記録することが望ましい。 またそうすることによって自らのコミュニケーションを可視化する事ができる。 ・授業で行った内容は即時にフィードバックすることにより、そのスキルは向上する。そのため仲間同士でロールプレイ　する事やボランティア活動や実習などの実践で学びの成果は大きくんると考えられる。 ・AI、モバイル端末など様々ツールの活用によりコミュニケーションの新たな可能性や広がりも考えられる一方でアクセ　シビリティなどの課題も出現するため、常にそれらについて考えて欲しい。
オフィスアワー	初回授業時に予定表を配布し
評価方法	定期試験　70%　授業の態度（グループワークの取り組みなど）20%　授業時の課題等　10%
教科書	「新・介護福祉士養成講座　コミュニケーション技術」　中央法規
参考書	介護福祉士養成テキスト　3　「コミュニケーション技術」　日本介護福祉士養成施設協会
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 介護老人保健施設に5年弱(介護職員、レクリエーションワーカー)、特別養護老人ホームに19年間(介護長、施設ケアマネジャー) アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等) □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等) □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等) □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称：　こころとからだのしくみⅠ-①　　授業コード：J341

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年次	2単位(30)	必修
担当教員			
福田　智久			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 介護業務を遂行するために必要な身体構造および主な疾病や障害の概要を日常生活との関係もふまえて理解すること。さまざまな疾病をもった人を支援する際に必要な医学・医療の知識を習得し、介護のあらゆる場面において活用できるようになること。 【到達目標】 ①人体の構造と機能を説明することができる。 ②生活習慣病について説明することができる。 ③高齢者に多くみられる疾患の症状、特徴について説明することができる。
授業の概要	介護現場において、介護福祉士はさまざまな医療専門職と連携して介護に従事する。医学・医療に関する基礎知識技術を学び、医療専門職と十分な意思疎通を図るための共通言語を理解する。より良い介護を提供するために、人体のしくみ・疾患について学習し理解を深める。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	◎
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	○
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	○

授業計画	第１回　オリエンテーション 【key words】 オリエンテーション　自己紹介　専門職を目指す人として　科目の説明　１コマの流れ 【授業概要】 こころとからだのしくみⅠについて、どのようなことを学ぶのか、授業概要を用いて説明する。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：授業概要を読んでくる　復習：配布資料の読み直しを行う 【予習復習に必要な想定時間】 第２回　老いるとは 【key words】 人体の構造　老化　生理機能 【授業概要】 人間は老化により生理機能が衰えることについて考えてみる。 【教科書ページ・参考文献】 P6-8 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直しを行う 【予習復習に必要な想定時間】 第３回　脳・神経系（脳のはたらき） 【key words】 脳の区分と機能のしくみ　脳　間脳　中脳　橋　延髄　小脳　脊髄　脳室　髄膜　伝導路　神経系　中枢神経　末梢神経 【授業概要】 調節系①脳の区分と機能のしくみ・②神経系のしくみは、それぞれどのような器官から成り立ち、どのようなしくみ・はたらきがあるのか学習する。 【教科書ページ・参考文献】 P10-12 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直しを行う 【予習復習に必要な想定時間】 第４回　脳・神経（老化に伴う脳の病気） 【key words】 脳血管障害　認知症　パーキンソン病

【授業概要】
老化に伴う脳の病気について、どのような症状や治療法等があるのかを学習する。
【教科書ページ・参考文献】
P13-15
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直しを行う
【予習復習に必要な想定時間】

第５回　脳・神経（構造と役割）
【key words】
脳・脊髄・中枢神経・抹消神経

【授業概要】
脳・神経系は、どのような器官から成り立ち、どのようなしくみ・はたらきがあるのか学習する。
【教科書ページ・参考文献】
P16-18
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直しを行う
【予習復習に必要な想定時間】

第６回　感覚器（目のはたらき）
【key words】
角膜・房水・虹彩・水晶体

【授業概要】
感覚器系は、それぞれどのような器官から成り立ち、どのようなしくみ・はたらきがあるのか学習する。
【教科書ページ・参考文献】
P20-22
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直しを行う
【予習復習に必要な想定時間】

第７回　感覚器（ケアのポイント）
【key words】
老眼　暗順応　白内障　緑内障

【授業概要】
感覚器は、それぞれどのような器官から成り立ち、どのようなしくみ・はたらきがあるのか学習する。
【教科書ページ・参考文献】
P23-25
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直しを行う
【予習復習に必要な想定時間】

第８回　感覚器（鼻のはたらき）
【key words】
気道機能　嗅覚機能

【授業概要】
感覚器系は、それぞれどのような器官から成り立ち、どのようなしくみ・はたらきがあるのか学習する。
【教科書ページ・参考文献】
P26-28
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直しを行う
【予習復習に必要な想定時間】

第９回　感覚器（耳のはたらき）
【key words】
外耳　中耳　内耳　三半規管

【授業概要】
感覚器系は、それぞれどのような器官から成り立ち、どのようなしくみ・はたらきがあるのか学習する。
【教科書ページ・参考文献】
P29-31
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直しを行う
【予習復習に必要な想定時間】

第１０回　感覚器（耳のはたらき）
【key words】
老人性難聴　耳鳴り　耳垢栓塞

【授業概要】
感覚器系は、それぞれどのような器官から成り立ち、どのようなしくみ・はたらきがあるのか学習する。
【教科書ページ・参考文献】
P32-34
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直しを行う
【予習復習に必要な想定時間】

第１１回　感覚器（皮膚のはたらき）

	【key words】 表皮・真皮・皮下組織 【授業概要】 感覚器系は、それぞれどのような器官から成り立ち、どのようなしくみ・はたらきがあるのか学習する。 【教科書ページ・参考文献】 P35-37 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直しを行う 【予習復習に必要な想定時間】 第１２回　感覚器（老化に伴う皮膚の病気） 【key words】 疥癬・老人性乾皮症・褥瘡 【授業概要】 感覚器系は、それぞれどのような器官から成り立ち、どのようなしくみ・はたらきがあるのか学習する。 【教科書ページ・参考文献】 P38-40 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直しを行う 【予習復習に必要な想定時間】 第１３回　運動器（骨のはたらき） 【key words】 脊柱　身体　頭蓋骨　胸郭　　人体の機能構造 【授業概要】 人体の構造と役割について、それぞれどのような器官から成り立ち、どのようなしくみ・はたらきがあるのか学習する。 【教科書ページ・参考文献】 P42-43 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直しを行う 【予習復習に必要な想定時間】 第１４回　運動器（関節のはたらき） 【key words】 骨粗しょう症　骨折　肩関節　肘関節　股関節 【授業概要】 運動器について、それぞれどのような器官から成り立ち、どのようなしくみ・はたらきがあるのか学習する。 【教科書ページ・参考文献】 P44-48 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直しを行う 【予習復習に必要な想定時間】 第１５回　前期まとめ 【key words】 前期まとめ 【授業概要】 前期の講義を振り返り、まとめの課題に取り組む。 【教科書ページ・参考文献】 配布した資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直しを行う 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	私語は禁止。私語は相手・周囲の者に対しての迷惑行為である。厳に慎むことを自覚して授業に主体的に参加すること。予習復習は必ず行うこと。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	教科書は必ず事前に読んでくること。新聞やニュース、医療福祉に関するものは目を通すようにする。
オフィスアワー	授業終了後３０分。
評価方法	定期テストの結果　出席状況　授業態度も含めて総合的に評価する
教科書	テキスト:イラストでわかる高齢者のからだの病気
参考書	介護福祉士受験ワークブック　介護福祉士受験ワークブック編集委員会編集　中央法規出版、　必要に応じて印刷資料配布
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 大学病院等での看護経験（外来、手術室、急性期病棟、慢性期病棟）などの勤務がある。　新人教育や看護実習生への指導、救急法の普及教育のための研修を行っていた。 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習)

	■ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称：　こころとからだのしくみⅠ-②　　授業コード：J342

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	2単位(30)	必修
担当教員			
福田　智久			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 介護業務を遂行するために必要な身体構造および主な疾病や障害の概要を日常生活との関係もふまえて理解すること。さまざまな疾病をもった人を支援する際に必要な医学・医療の知識を習得し、介護のあらゆる場面において活用できるようになること。 【到達目標】 ①人体の構造と機能を説明することができる。 ②生活習慣病について説明することができる。 ③高齢者に多くみられる疾患の症状、特徴について説明することができる。
授業の概要	介護現場において、介護福祉士はさまざまな医療専門職と連携して介護に従事する。医学・医療に関する基礎知識技術を学び、医療専門職と十分な意思疎通を図るための共通言語を理解する。より良い介護を提供するために、人体のしくみ・疾患について学習し理解を深める。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	◎
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	○
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	○

授業計画	第１回　後期オリエンテーション　　消化器疾患のしくみ 【key words】 後期オリエンテーション　口腔　咀嚼　気管 【授業概要】 消化器疾患の特徴を理解し、日常生活にどのような影響が生じ、介護を行う上での注意点について学習す　る。 【教科書ページ・参考文献】 P54-57 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直しを行う 【予習復習に必要な想定時間】 第２回　消化器（咽頭・喉頭・食道）のはたらき 【key words】 咽頭・咀嚼・食道 【授業概要】 消化器疾患の特徴を理解し、日常生活にどのような影響が生じ、介護を行う上での注意点について学習する。 【教科書ページ・参考文献】 P59-62 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直しを行う 【予習復習に必要な想定時間】 第３回　消化器疾患（構造と役割）のしくみ 【key words】 胃・噴門・幽門・胃液・蠕動運動 【授業概要】 消化器疾患の特徴を理解し、日常生活にどのような影響が生じ、介護を行う上での注意点について学習　する。 【教科書ページ・参考文献】 P63-67 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直しを行う 【予習復習に必要な想定時間】 第４回　消化器疾患のしくみ 【key words】 消化器疾患　食道　胃　肝臓　膵臓 【授業概要】 消化器疾患の特徴を理解し、日常生活にどのような影響が生じ、介護を行う上での注意点につい

て学習す　る。
【教科書ページ・参考文献】
P68-70
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直しを行う
【予習復習に必要な想定時間】

第５回　消化器疾患のしくみ
【key words】
大腸　盲腸　結腸　直腸　肛門
【授業概要】
消化器疾患の特徴を理解し、日常生活にどのような影響が生じ、介護を行う上での注意点について学習する。
【教科書ページ・参考文献】
P70-75
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直しを行う
【予習復習に必要な想定時間】

第６回　消化器疾患のしくみ
【key words】
肝臓　三大栄養素　門脈　胆汁
【授業概要】
消化器疾患の特徴を理解し、日常生活にどのような影響が生じ、介護を行う上での注意点について学習する。
【教科書ページ・参考文献】
P76-77
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直しを行う
【予習復習に必要な想定時間】

第７回　消化器疾患のしくみ
【key words】
内分泌・代謝性疾患　甲状腺機能亢進症　甲状腺機能低下症
【授業概要】
内分泌・代謝性疾患の特徴を理解し、日常生活にどのような影響が生じ、介護を行う上での注意点について　学習する。
【教科書ページ・参考文献】
P81-84
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直しを行う
【予習復習に必要な想定時間】

第８回　呼吸器（気管）のしくみ
【key words】
気道　上気道　下気道　細菌　ウイルス
【授業概要】
呼吸器の特徴を理解し、日常生活にどのような影響が生じ、介護を行う上での注意点について学習する。
【教科書ページ・参考文献】
P86-87
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直しを行う
【予習復習に必要な想定時間】

第９回　呼吸器（肺）のしくみ
【key words】
肺　右肺　左肺　呼吸中枢　横隔膜

【授業概要】
呼吸器疾患の特徴を理解し、日常生活にどのような影響が生じ、介護を行う上での注意点について学習する。
【教科書ページ・参考文献】
P94-98
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直しを行う
【予習復習に必要な想定時間】

第１０回　循環器疾患のしくみ
【key words】
心臓　循環　右心房　左心房
【授業概要】
循環器疾患の特徴を理解し、日常生活にどのような影響が生じ、介護を行う上での注意点について学習する。
【教科書ページ・参考文献】
P100-105
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直しを行う
【予習復習に必要な想定時間】

第１１回　循環器疾患（血管）のしくみ
【key words】
動脈血　静脈血　動脈硬化　高血圧
【授業概要】
循環器疾患の特徴を理解し、日常生活にどのような影響が生じ、介護を行う上での注意点について学習する。
【教科書ページ・参考文献】
P108-110
【課題・予習・復習・授業準備指示】

	予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直しを行う 【予習復習に必要な想定時間】 第１２回　血液・リンパ系のしくみ 【key words】 血液　血小板　骨髄 【授業概要】 血液・リンパ系の疾患の特徴を理解し、日常生活にどのような影響が生じ、介護を行う上での注意点について学習する。 【教科書ページ・参考文献】 P112-117 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直しを行う 【予習復習に必要な想定時間】 第１３回　血液・リンパ系のしくみ 【key words】 体液　電解質　浸透圧 【授業概要】 体液・電解質等における疾患の特徴を理解し、日常生活にどのような影響が生じ、介護を行う上での注意点について学習する。 【教科書ページ・参考文献】 P118-120 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直しを行う 【予習復習に必要な想定時間】 第１４回　泌尿器のしくみ 【key words】 腎臓のはたらき 【授業概要】 腎臓における疾患の特徴を理解し、日常生活にどのような影響が生じ、介護を行う上での注意点について学習する。 【教科書ページ・参考文献】 P122-130 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直しを行う 【予習復習に必要な想定時間】 第１５回　後期まとめ 【key words】 後期まとめ 【授業概要】 後期の講義についてのまとめを行い理解を深める。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書、配布資料の読み直しを行う　復習：教科書、配布資料の読み直しを行う 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	私語は禁止。私語は相手・周囲の者に対しての迷惑行為である。厳に慎むことを自覚して授業に主体的に参加すること。予習復習は必ず行うこと。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	教科書は必ず事前に読んでくること。新聞やニュース、医療福祉に関するものは目を通すようにする。
オフィスアワー	授業終了後３０分。
評価方法	定期テストの結果　出席状況　授業態度も含めて総合的に評価する
教科書	テキスト：イラストでわかる高齢者のからだと病気
参考書	介護福祉士受験ワークブック　介護福祉士受験ワークブック編集委員会編集　中央法規出版、　必要に応じて印刷資料配布
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 大学病院等での看護業務（外来、手術室、急性期病棟、慢性期病棟）などの勤務がある。 新人教育、看護学生への指導教育、救急法の普及教育のための研修を行っていた。 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等）

	■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称：　発達と老化の理解Ⅰ　　授業コード：J351

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年次	2単位(30)	必修
担当教員			
赤田　実千代			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 ①介護に必要な、心身の発達や機能・発達段階とその課題を理解し、生活を支援するための知識を身につける。 ②医療職と連携し支援を行うために必要な心身機能、障害や疾病の基礎的な知識を身につける。 【到達目標】 ①人間の成長発達の過程における課題を説明することができる。 ②心身機能、障害や疾病の基礎的な知識を説明することができる。 ③老化に伴う身体的・精神的・社会的な変化と生活への影響について説明できる。 、
授業の概要	生まれてから死ぬまでの成長・発達する過程を通して人を理解し,発達段階とその課題を踏まえて、ライフサイクルに応じた生活支援のあり方を学びます。また、老化を理解し、老化に伴う身体的・精神的・社会的な変化や疾病と生活への影響など、生活を支援するために必要な基礎的知識を学びます。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	◎
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	△
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	○

授業計画	第１回	オリエンテーション　　成長・発達とは 【key words】 学びの概要　学びの目的・目標　評価方法　成長　成熟　発達　生涯発達 【授業概要】 本科目を履修するにあたっての基本的視点、履修上の注意点や目的・目標・評価方法について説明を行う。 発達・老化についてのイメージを各自ワークシートにまとめた後、発達の概念、生涯発達の考えについて解説する。 【教科書ページ・参考文献】 P３～４ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：発達・老化についてのイメージをまとめておく。 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第２回	成長・発達の原則・法則　　成長・発達に影響する要因 【key words】 発達曲線　敏感期　成長ホルモン　成熟優位説　学習説　輻輳説　相互作用説 【授業概要】 成長・発達に影響する諸要因、成長・発達に関する諸理論について解説する。 【教科書ページ・参考文献】 P４～５ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：成長・発達の原則・法則、成熟優位説・学習説・輻輳説・相互作用説 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第３回	発達の基礎的知識のまとめ　発達理論 【key words】 均衡化理論　ライフサイクル理論　生涯発達理論 【授業概要】 発達と成長の考え方、生涯発達の段階の名称と年齢区分を各自ワークシートにまとめる。発達理論とはどのようなものか、ピアジェ、エリクソン、バルテスの発達理論について解説する。 【教科書ページ・参考文献】 P６～１４ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：ピアジェの均衡化理論、エリクソンのライフサイクル理論、バルテスの生涯発達理論 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分

	第４回	発達段階と発達課題 【key words】 発達段階　心理社会的危機　自我同一性　ハヴィガースト 【授業概要】 第３回講義範囲の確認テストを実施。各発達段階の特徴、発達段階と発達課題の考え方について解説する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ８～１６ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：発達段階の特徴　発達段階と発達課題 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第５回	身体的機能の成長と発達 【key words】 カウプ指数　ローレル指数　ＢＭＩ　広汎性発達障害　学習障害　注意欠陥多動性障害 【授業概要】 第４回講義範囲の確認テストを実施。誕生から幼児期までの身体的な成長と発達、発達障害、各発達段階にみられる疾病や障害について解説する。 【教科書ページ・参考文献】 身体機能の成長と発達の資料配布 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：広汎性発達障害　学習障害　注意欠陥多動性障害 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第６回	心理的機能の発達 【key words】 認知発達理論　自己中心性　量の保存　数の保存　ふり遊び　ごっこ遊び　喃語　初語　一語文　二語文 【授業概要】 第５回講義範囲の確認テストを実施。ピアジェの認知発達理論に沿って誕生から青年期までの認知機能の発達について、言語の発達過程について解説する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ７～８ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：ピアジェの認知発達理論　言語発達の過程 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第７回	社会的機能の発達 【key words】 新生児微笑　人見知り　共同注意　社会的参照　ギャング・グループ　ギャング・エイジ　チャム・グループ ピア・グループ　愛着理論　コールバーグ　ギリガン 【授業概要】 第６回講義範囲の確認テストを実施。誕生から青年期までの社会性の発達、愛着、道徳性の発達について解説する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ１４～１７ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：各発達段階での社会性の発達　愛着の発達 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第８回	老年期の定義　老化とは 【key words】 老性自覚　前期高齢期　後期高齢期　超高齢期　フレイル　ロコモティブシンドローム　加齢 生涯発達 【授業概要】 第７回講義範囲の確認テストを実施。老年期の定義、老化・加齢の定義について解説する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ１９～２２ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：老年期の定義　老化・加齢の定義　フレイル　ロコモティブシンドローム 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第９回	老年期の発達課題 【key words】 人格　尊厳　エイジズム　喪失体験　フロイトの悲嘆過程　セクシャリティ 【授業概要】 第８回講義範囲の確認テストを実施。老年期の発達の特徴、高齢者における人格やセクシュアリティの尊重、喪失体験とその後の心理過程について解説する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ２２～２８ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：老年期の発達課題 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第１０回	老年期をめぐる今日的課題 【key words】 少子高齢化　地域社会　多様性 【授業概要】 第９回講義範囲の確認テストを実施。少子高齢化によって生じる老年期の変化を解説する。

	【教科書ページ・参考文献】 老年期をめぐる今日的課題の資料配布 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：少子高齢化の課題　高齢者の多様性 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分 第１１回　老化に伴う身体機能の変化と生活への影響①　加齢による生理的機能の低下　骨格系・筋系 【key words】 免疫機能　ホメオスタシス　フレイル　ロコモティブシンドローム　サルコペニア 【授業概要】 第１０回講義範囲の確認テストを実施。加齢にともなう生理機能の全体的な低下、加齢にともなう骨格系・筋系の低下が日常生活にどのような影響を及ぼしているかを解説する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ２９～３１ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：老化に伴う生理的能の低下　骨格系・筋系の変化と生活への影響 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分 第１２回　老化に伴う身体機能の変化と生活への影響②　脳・神経系　感覚器系　血液・循環器系 【key words】 脳神経細胞　末梢神経　記銘力　視覚機能　聴覚機能　平衡感覚　味覚　皮膚機能　動脈硬化　起立性低血圧　レッグパンピング 【授業概要】 第１１回講義範囲の確認テストを実施。加齢にともなう脳・神経系、感覚器系、血液・循環器系の低下が日常生活にどのような影響を及ぼしているかを解説する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ３１～３５ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：老化に伴う脳・神経系、感覚器系、血液・循環器系の変化と生活への影響 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分 第１３回　老化に伴う身体機能の変化と生活への影響③　呼吸器系　消化器系　腎・泌尿器系　生殖器系　内分泌・代謝系　免疫系 【key words】 ガス交換　咳嗽反射　咀嚼機能　嚥下反射　頻尿　尿路感染　カルシトニン　副甲状腺ホルモン　抗利尿ホルモン　性ホルモン　メラトニン　免疫 【授業概要】 第１２回講義範囲の確認テストを実施。加齢にともなう呼吸器系、消化器系、腎・泌尿器系、生殖器系、内分泌・代謝系、免疫系の低下が日常生活にどのような影響を及ぼしているかを解説する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ３１～３３ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：老化に伴う呼吸器系、消化器系、腎・泌尿器系、生殖器系、内分泌・代謝系、免疫系の変化と生活への影響 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分 第１４回　老化に伴う身体機能の変化と生活への影響まとめ 【key words】 骨粗鬆症　骨折　拘縮　認知機能　老視　明暗順応　転倒　動悸　息切れ　ガス交換　咀嚼力　脱水　頻尿　排尿困難　睡眠障害　高血圧　感染症　悪性腫瘍 【授業概要】 加齢に伴う身体機能の変化日常生活への影響について振り返った後、各自ワークシートで老化に伴う身体的な変化と生活への影響をまとめる。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ２９～３５ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：老化に伴う身体機能変化と生活への影響 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分 第１５回　前期のまとめ 【key words】 学びの目的・目標 【授業概要】 第１４回講義範囲の確認テストを実施。前期講義のポイントを解説しながら振り返り、学びの目的・目標を再度確認する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ３～３５　配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：Ｐ３～３５　配布資料　定期試験対策 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	[受講生に関わる情報]報] 　講義の冒頭で前回講義のミニテストを実施するため、復習をした上で講義に臨むこと。 [受講ルール] 私語を慎む、携帯電話の電源を切る。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	シャトルカード

授業外時間にかかわる情報	「こころとからだのしくみⅠ」「障害の理解」などの科目との関係も深いため、これらの科目との関連を意識しながら学習を進めていただきたい。
オフィスアワー	金曜日10：30～12：40
評価方法	定期試験60%　、課題及びミニテスト20%、授業態度（グループワークの取り組みなど）20%
教科書	介護福祉士養成テキスト5「発達と老化の理解/認知症の理解/障害の理解/こころとからだのしくみ」日本介護福祉士養成施設協会編
参考書	必要に応じて印刷資料を使用。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 大学病院の病棟看護、前期高齢者保健指導、企業内健康管理室の看護師などの看護師実務経験を活かし、介護・福祉・医療の現場で必要な知識や対応について講じます。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称：　発達と老化の理解Ⅱ　　授業コード：J352

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	2単位(30)	必修
担当教員			
赤田　実千代			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 ①介護に必要な心身の発達や機能、発達段階とその課題を理解し、生活を支援するための知識を身につける。 ②医療職と連携して支援を行うために必要な心身の機能、障害や疾病の基礎的な知識を身につける。 【到達目標】 ①人間の成長発達の過程における課題を説明できる。 ②心身の機能、障害や疾病の基礎的な知識を具体的に説明できる。 ③老化に伴う身体的・精神的・社会的な変化と生活への影響について説明できる。 、
授業の概要	生まれてから死ぬまでの成長・発達する過程を通して人を理解し、発達段階とその課題を踏まえて、ライフサイクルに応じた生活支援の在り方を学びます。また、老化を理解し、老化に伴う身体的・精神的・社会的な変化や疾病と生活への影響など、生活を支援するために必要な基礎的知識を学びます。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	◎
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	△
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	○

授業計画	第１回	老化に伴う心理的な変化と生活への影響①　認知機能の変化　知的機能の変化と心理的影響 【key words】 視覚機能　聴覚機能　注意機能　短期記憶　長期記憶　結晶性機能　流動性機能 【授業概要】 知覚機能の変化と心理的影響、記憶機能の変化と心理的影響、知的機能の変化と心理的影響について解説する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ３５～３９ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：知覚機能の変化と心理的影響　記憶機能の変化と心理的影響　知的機能の変化と心理的影響 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第２回	老化に伴う心理的な変化と生活への影響②　性格変化　老化と動機づけ・適応 【key words】 パーソナリティ　ライチャード　サクセスフルエイジング　マズローの欲求階層論　適応機制 【授業概要】 第１６回講義範囲の確認テストを実施。老化によるパーソナリティの変化、老化による適応や動機づけへの影響について解説する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ３９～４１ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：老化によるパーソナリティ変化　老化による適応や動機づけへの影響 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第３回	老化に伴う社会的な変化と生活への影響①　社会のなかでの生活上の課題　高齢者の社会活動 【key words】 少子高齢化　生涯未婚　老々介護　孤独死　エイジズム　雇用延長 【授業概要】 第１７回講義範囲の確認テストを実施。高齢者が社会生活を送るなかで直面する課題、高齢者の社会活動の現状と課題について解説する。 【教科書ページ・参考文献】 老化に伴う社会的な変化と生活への影響（社会のなかでの生活上の課題　高齢者の社会活動）資料配布 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：老化に伴う社会のなかでの生活上の課題　高齢者の社会活動の課題 予習：次回グループワークの準備

【予習復習に必要な想定時間】
６０分

第４回　老化に伴う社会的な変化と生活への影響②　社会における老化理論
【key words】
役割喪失　役割支持　役割アイデンティティ
【授業概要】
第１８回講義範囲の確認テストを実施。社会との関係からとらえた老化理論について解説する。テーマについて高齢者から聞き取った内容をまとめた後、グループ内で発表する。
【教科書ページ・参考文献】
Ｐ３９～４１
【課題・予習・復習・授業準備指示】
復習：老化理論
【予習復習に必要な想定時間】
３０分

第５回　高齢者の健康　高齢者の症状・疾患の特徴
【key words】
平均寿命　健康寿命　サクセスフルエイジング　プロダクティブエイジング　アクティブエイジング　慢性的　複数の疾患　非定型的　閉じこもり　廃用症候群　老年症候群
【授業概要】
第１９回講義範囲の確認テストを実施。高齢者の健康が注目されるようになった背景、サクセスフルエイジング・プロダクティブエイジング・アクティブエイジングの考え方を解説する。高齢者の症状や疾患の特徴について解説する。
【教科書ページ・参考文献】
Ｐ５２～５４
【課題・予習・復習・授業準備指示】
復習：高齢者の健康　高齢者の症状・疾患の特徴
【予習復習に必要な想定時間】
３０分

第６回　高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点①　骨格系・筋系
【key words】
骨粗鬆症　骨折　変形性関節症　関節リウマチ　変形性脊椎症　脊柱管狭窄症
【授業概要】
第２０回講義範囲の確認テストを実施。高齢者に多い「骨格系・筋系」の疾患と原因や症状、日常生活へどのように影響するのかについて解説する。
【教科書ページ・参考文献】
Ｐ６５～６６
【課題・予習・復習・授業準備指示】
復習：骨粗鬆症・高齢者に多い骨折・変形性関節症・関節リウマチ・変形性脊椎症・脊柱管狭窄症の症状と日常生活への影響
【予習復習に必要な想定時間】
３０分

第７回　高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点②　脳・神経系　皮膚・感覚器系
【key words】
パーキンソン病　脳梗塞　脳出血　白内障　緑内障　加齢黄斑変性　加齢性難聴　老人性皮膚掻痒症
【授業概要】
第２１回講義範囲の確認テストを実施。高齢者に多い「脳・神経系」「皮膚・感覚器系」の疾患と原因や症状、日常生活へどのように影響するのかについて解説する。
【教科書ページ・参考文献】
Ｐ５６～５７　６６～６８
【課題・予習・復習・授業準備指示】
復習：パーキンソン病・脳血管疾患・白内障・緑内障・加齢黄斑変性・加齢性難聴・老人性皮膚掻痒症の症状と日常生活への影響
【予習復習に必要な想定時間】
３０分

第８回　高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点③　循環器系　呼吸器系
【key words】
高血圧　虚血性心疾患　不整脈　心不全　閉塞性動脈硬化症　慢性閉塞性肺疾患　肺炎　喘息
【授業概要】
第２２回講義範囲の確認テストを実施。高齢者に多い「循環器系」「呼吸器系」の疾患と原因や症状、日常生活へどのように影響するのかについて解説する。
【教科書ページ・参考文献】
Ｐ５７～６３
【課題・予習・復習・授業準備指示】
復習：高血圧・虚血性心疾患・不整脈・心不全・閉塞性動脈硬化症・慢性閉塞性肺疾患・肺炎・喘息の症状と日常生活への影響

【予習復習に必要な想定時間】
３０分

第９回　高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点④　消化器系　腎・泌尿器系
【key words】
消化性潰瘍　逆流性食道炎　肝硬変　前立腺肥大症　尿路感染症　慢性腎不全
【授業概要】
第２３回講義範囲の確認テストを実施。高齢者に多い「消化器系」「腎・泌尿器系」の疾患と原因や症状、日常生活へどのように影響するのかについて解説する。
【教科書ページ・参考文献】
Ｐ６３～６４　６８
【課題・予習・復習・授業準備指示】
復習：消化性潰瘍・逆流性食道炎・肝硬変・前立腺肥大症・尿路感染症・慢性腎不全の症状と日常生活への影響
【予習復習に必要な想定時間】
３０分

	第１０回　高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点⑤　内分泌・代謝系　歯・口腔疾患 【key words】 糖尿病　低血糖症状　脂質異常症　痛風　虫歯　歯周病　ドライマウス 【授業概要】 第２４回講義範囲の確認テストを実施。高齢者に多い「内分泌・代謝系」「歯・口腔疾患」の疾患と原因や症状、日常生活へどのように影響するのかについて解説する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ６４ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：糖尿病・脂質異常症・痛風・虫歯・歯周病・ドライマウスの症状と日常生活への影響 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分 第１１回　高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点⑥　悪性新生物　感染症 【key words】 胃がん　肺がん　大腸がん　インフルエンザ　感染性胃腸炎　胆のう炎　胆管炎　疥癬 【授業概要】 第２５回講義範囲の確認テストを実施。高齢者に多い「悪性新生物」「感染症」の疾患と原因や症状、日常生活へどのように影響するのかについて解説する。 【教科書ページ・参考文献】 高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点（悪性新生物・感染症）の資料配布 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：胃がん・肺がん・大腸がん・インフルエンザ・感染性胃腸炎・胆のう炎・胆管炎・疥癬の症状と日常生活への影響 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分 第１２回　高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点⑦　精神疾患　熱中症・脱水症・貧血 【key words】 うつ病　統合失調症　熱中症　脱水症　貧血 【授業概要】 第２６回講義範囲の確認テストを実施。高齢者に多い「精神疾患」「熱中症・脱水症・貧血」の原因や症状、日常生活へどのように影響するのかについて解説する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ５４～５５ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：うつ病・統合失調症・熱中症・脱水症・貧血の症状と日常生活への影響 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分 第１３回　高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点まとめ 【key words】 第２７回講義範囲の確認テストを実施。各自ワークシートで高齢者に多い疾患・症状についてまとめる。 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ５４～６８ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点 【予習復習に必要な想定時間】 ６０分 第１４回　保健医療職との連携 【key words】 地域包括ケアシステム　チームケア 【授業概要】 疾患の早期発見と保健医療職との連携について解説した後、他職種との連携について、事例を使って演習を実施する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ６８～７１ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：保健医療職との連携のあり方 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分 第１５回　後期のまとめ 【key words】 学びの目的・目標 【授業概要】 第２９回講義範囲の確認テストを実施。後期講義のポイントを解説しながら振り返り、学びの目的・目標を再度確認する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ３～７１ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：教科書Ｐ３～７１　配布資料　定期試験対策 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	[受講生に関わる情報]報] 講義の冒頭で前回講義のミニテストを実施するため、復習をした上で講義に臨むこと。 [受講ルール] 私語を慎む、携帯電話の電源を切る。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	シャトルカード

授業外時間にかかわる情報	「こころとからだのしくみⅠ」「障害の理解」などの科目との関係も深いため、これらの科目との関連を意識しながら学習を進めていただきたい。
オフィスアワー	金曜日10：30～12：40
評価方法	定期試験60%　、課題及びミニテスト20%、授業態度（グループワークの取り組みなど）20%
教科書	介護福祉士養成テキスト5「発達と老化の理解/認知症の理解/障害の理解/こころとからだのしくみ」日本介護福祉士養成施設協会編
参考書	必要に応じて印刷資料を使用。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 大学病院の病棟看護、前期高齢者保健指導、企業内健康管理室の看護師などの看護師実務経験を活かし、介護・福祉・医療の現場で必要な知識や対応について講じます。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 医療用語Ⅰ　　授業コード： J534

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年次	2単位(30)	医療事務・秘書コース・必修
担当教員			
淡島　正浩			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 医療現場で記録される医療情報の作成とその内容の理解や、医療現場において多職種との適切な意思疎通を図るために必要な用語知識を習得することの重要性を理解する。 【到達目標】 1.医学記録を読む際必要となる、基本的な医学用語の意味を説明できる。 2.身体の各部位の用語、疾患や症状を表す用語が理解できる。 3.各医学用語の用途や,臨床現場に用いられる場面について説明することができる。 4.診療報酬，医療秘書検定などの資格試験における医学用語に係る問題を解くことができる
授業の概要	医学用語の構造を理解する。さらに、臨床で使用される診療記録を理解するために必要な医学用語を略語も含めて習得し，医療秘書・事務系職種に必要なカルテ読解，患者理解，多種職連携の医療秘書・事務系職種に関連・意識した必要最低限の用語を取得し，医療情報の重要性を学ぶ。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	◎
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	○

授業計画	第１回　　オリエンテーション 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第２回　　診察過程の用語①　　外来受診時の流れに関連した用語 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第３回　　診察過程の用語②　　診察時の検査に関連した用語 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第４回　　身体の症状・診察を表す用語①　　症例における医療用語 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】

		【課題・予習・復習・授業準備指示】
		【予習復習に必要な想定時間】
	第５回	身体の症状・診察を表す用語②　　バイタルサイン・呼吸に関連した用語
		【key words】
		【授業概要】
		【教科書ページ・参考文献】
		【課題・予習・復習・授業準備指示】
		【予習復習に必要な想定時間】
	第６回	診察に使われる基本用語
		【key words】
		【授業概要】
		【教科書ページ・参考文献】
		【課題・予習・復習・授業準備指示】
		【予習復習に必要な想定時間】
	第７回	診察に使われる身体の症状に関連した用語
		【key words】
		【授業概要】
		【教科書ページ・参考文献】
		【課題・予習・復習・授業準備指示】
		【予習復習に必要な想定時間】
	第８回	頭頸部の症状・診察の用語
		【key words】
		【授業概要】
		【教科書ページ・参考文献】
		【課題・予習・復習・授業準備指示】
		【予習復習に必要な想定時間】
	第９回	胸腹部の症状・診察の用語
		【key words】
		【授業概要】
		【教科書ページ・参考文献】
		【課題・予習・復習・授業準備指示】
		【予習復習に必要な想定時間】
	第１０回	神経の症状・診察の用語
		【key words】
		【授業概要】
		【教科書ページ・参考文献】
		【課題・予習・復習・授業準備指示】
		【予習復習に必要な想定時間】
	第１１回	周産期の症状・診察の用語①　　妊娠・胎児に関連した用語
		【key words】
		【授業概要】
		【教科書ページ・参考文献】
		【課題・予習・復習・授業準備指示】
		【予習復習に必要な想定時間】
	第１２回	周産期の症状・診察の用語②　　出産・新生児に関連した用語
		【key words】
		【授業概要】
		【教科書ページ・参考文献】
		【課題・予習・復習・授業準備指示】

	【予習復習に必要な想定時間】 第１３回　皮膚の症状・診察の用語 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第１４回　精神の症状・診察の用語 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第１５回　前期まとめ　確認テスト 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	受講時に他の学生の学習の妨げとなる態度を取る者については，退室を命じることがある
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	本科目では，知識を正確に用いることが求められる。そのために，毎日における学習の積み重ねが必要となることを，よく理解した上で受講すること
オフィスアワー	水曜日：14：30～15：30　（他応相談・要予約）
評価方法	定期テスト　90%　+　提出物　10%　　総合評価　：　（前期+後期）×1/2
教科書	医療秘書講座　3　「医療にかかわる用語　コミュニケーション論」　メヂカルフレンド社
参考書	教科書以外にスライドやハンドアウトなどを適宜用いる
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 ・病院，診療所における医事会計，請求，受付業務 ・医療経営コンサルタント業務 ・医療情報管理，運営業務 ・地域医療支援業務 ・救急外来診療支援業務　ほか アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 医療用語Ⅱ　　授業コード： J535

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	2単位(30)	医療事務・秘書コース・必修
担当教員			
淡島　正浩			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 医療現場で記録される医療情報の作成とその内容の理解や、医療現場において多職種との適切な意思疎通を図るために必要な用語知識を習得することの重要性を理解する。 【到達目標】 1.医学記録を読む際必要となる、基本的な医学用語の意味を説明できる。 2.身体の各部位の用語、疾患や症状を表す用語が理解できる。 3.各医学用語の用途や,臨床現場に用いられる場面について説明することができる。 4.診療報酬，医療秘書検定などの資格試験における医学用語に係る問題を解くことができる
授業の概要	医学用語の構造を理解する。さらに、臨床で使用される診療記録を理解するために必要な医学用語を略語も含めて習得し，医療秘書・事務系職種に必要なカルテ読解，患者理解，多種職連携の医療秘書・事務系職種に関連・意識した必要最低限の用語を取得し，医療情報の重要性を学ぶ。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	◎
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	○

授業計画	第１回　医療保険制度の用語①　社会保険・国民皆保険制度 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第２回　医療保険制度の用語②　診療報酬制度 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第３回　医療保険制度の用語③　高齢者医療保険 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第４回　介護に関連した用語　医療職の資格と役割 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】

	【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第５回　介護保険制度の用語 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第６回　医療機関関連と法律の用語 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第７回　年金の用語 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第８回　社会福祉の用語 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第９回　公衆衛生の用語 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第１０回　公衆衛生における保険に関連した用語 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第１１回　公衆衛生における法律に関連した用語 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第１２回　身体の部位を表す用語 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】

	【予習復習に必要な想定時間】 第１３回　身体の方向・断面と動作を表す用語 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第１４回　解剖・生理の用語 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第１５回　後期まとめ　確認テスト 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	受講時に他の学生の学習の妨げとなる態度を取る者については，退室を命じることがある
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	本科目では，知識を正確に用いることが求められる。そのために，毎日における学習の積み重ねが必要となることを，よく理解した上で受講すること
オフィスアワー	水曜日：14：30～15：30　（他応相談・要予約）
評価方法	定期テスト　90%　+　提出物　10%　　総合評価　：　（前期+後期）×1/2
教科書	医療秘書講座　3　「医療にかかわる用語　　コミュニケーション論」　メヂカルフレンド社
参考書	教科書以外にスライドやハンドアウトなどを適宜用いる
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 ・病院，診療所における医事会計，請求，受付業務 ・医療経営コンサルタント業務 ・医療情報管理，運営業務 ・地域医療支援業務 ・救急外来診療支援業務　ほか アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称：　医療秘書概論・病院接遇Ⅰ　　授業コード：J537

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年次	2単位(30)	医療事務・秘書コース・必修
担当教員			
三澤　文子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕 今や医療秘書は医療行為全般に関連する事務的業務を遂行する専門職である。また、管理者および専門職の業務をサポートし、院内における各部門間や患者との潤滑油的役割を果たす職種に成長した。この授業では医療秘書の業務や役割を理解するだけでなく、医療の一翼を担う業務に携わっている職種であることを意識付けする。また、とてもやりがいのある職種であることを認識し、医療人としての心とサービスマインドをしっかりと身につけることを目的とする。また、日本医師会認定　医療秘書の認定に必要な技能検定種目「秘書検定３級」を学ぶことにより、秘書の基盤となる基本的な知識技能を習得する。 〔到達目標〕 1)秘書の機能が理解できる。 2)医療秘書の業務、役割、意義を理解し、説明することができる。 3)求められる医療秘書像が明確にできる。 4)秘書に必要な基本的知識や技能が理解できる。秘書技能検定試験3級の合格基準を上回っている。 5)コーディネーター役、ホスピタリティを実践する意欲を養う。
授業の概要	医療機関で活躍する医療秘書の目的や役割を理解する科目。 医療秘書として何を求められ、それに応えるかを理解する。医療機関の分類などを医療秘書の基礎を学ぶ。 また、日本医師会認定　医療秘書の認定に必要な技能検定種目「秘書検定３級」を学ぶことにより、秘書の基盤となる秘書の心構え等を理解し、秘書の基本的知識や技能を学ぶ。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	△
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	◎
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	○
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	

授業計画	第１回　検定対策指導 【key words】 【授業概要】 確認テスト実施及び解説 夏休みの課題～過去試験問題解説　検定試験対策問題解説 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 課題：過去試験問題　検定対策問題 【予習復習に必要な想定時間】 60~120分 第２回　検定対策指導 【key words】 【授業概要】 過去試験問題解説　検定試験対策問題解説 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 課題：過去試験問題　検定対策問題 【予習復習に必要な想定時間】 60~120分 第３回　検定対策指導 【key words】 【授業概要】 過去試験問題解説　検定試験対策問題解説 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 課題：過去試験問題　検定対策問題

【予習復習に必要な想定時間】
60~120分

第４回　検定対策指導

【key words】

【授業概要】
過去試験問題解説　検定試験対策問題解説
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
課題：過去試験問題　検定対策問題
【予習復習に必要な想定時間】
120分

第５回　オリエンテーション～医療秘書について学ぶ

【key words】
医療秘書概論を学ぶ目的
【授業概要】
なぜ医療秘書が存在するのか。どのような医療秘書が求められているのか。どのような業務を求められているのかなどを理論的に学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
教科書P2～P5
【課題・予習・復習・授業準備指示】
課題：「医療秘書について学習することは、これから医療秘書の仕事を実際に行っていく上で、どのような意義があるだろうか？」を考え、次回レポート提出。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第６回　医療秘書の歴史

【key words】
医療秘書の歴史、日本医師会認定医療秘書
【授業概要】
歴史上の秘書、近代秘書及び医療秘書の出現について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
教科書P6～P9
【課題・予習・復習・授業準備指示】
課題：「秘書が文章と深い関わりを持ってきた歴史的経緯と、医療秘書の歴史について」簡単にまとめ次回レポート提出。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第７回　医療機関とは

【key words】
医療法、医療機関、医療に関連する団体
【授業概要】
医療機関の種類、病院の種類、医療機関に関連する組織について学ぶ。
課題についての説明をする。
【教科書ページ・参考文献】
教科書P10～P12
【課題・予習・復習・授業準備指示】
課題：①「自分が住んでいる地域の医療環境」②「①の中から一つの医療機関を選び病院理念・病院指針及び機能や特徴」について調べ、指定日にレポート及び資料提出。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第８回　チーム医療・地域連携について

【key words】
チーム医療、地域連携病院

【授業概要】
チーム医療とは何かを理解した上で、チームに関わる職種、チーム医療における医療秘書の役割を学ぶ。地域の医療機関との連携や医療秘書の人的ネットワークの必要性について学ぶ。
各自が調べた医療機関で行っているチーム医療の内容及び地域連携の実状についてグループ内で調べ話し合い、発表。題目：自分が住んでいる地域の医療機関のwebサイトなどから「医療チームの種類と内容、また地域医療連携の実状について」
【教科書ページ・参考文献】
教科書P13～P16
【課題・予習・復習・授業準備指示】
課題：自分が住んでいる地域の医療機関のwebサイトなどから「医療チームの種類と内容、また地域医療連携の実状について」次回調査レポート及び資料提出。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第９回　外来・病棟クラーク

【key words】
業務の流れ、外来クラーク、病棟クラーク
【授業概要】
医療事務職員が行う外来業務と病棟業務の流れと及び内容を説明する。また、外来クラークと病棟クラークの役割について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
教科書P17～P20
【課題・予習・復習・授業準備指示】
課題：「医療機関において外来クラークがどのような仕事をしているか、また患者その他の外来者に対してどのような応対をしているか」次回レポート提出。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第１０回　病院情報システム管理

【key words】
診療録管理体制加算、診療録情報管理室、病歴室、守秘義務、コンピュータウイルス

【授業概要】
医療機関における情報システム(カルテ管理・情報セキュリティー）について概説する。
【教科書ページ・参考文献】
教科書P21～P25
【課題・予習・復習・授業準備指示】
課題：医療機関での情報セキュリティーについて調べ次回レポート及び資料提出。「情報セキュリティートラブル事例及び対策方法について」
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第１１回　医療秘書の形態
【key words】
個人秘書、院長秘書、教授秘書、医局秘書、秘書室

【授業概要】
医療秘書はすべての組織で同じような形態をとっているとは限らない。経験年数や経歴、また配属がどのようにされるのかによっても異なる。医療秘書の形態に着目し、医療秘書が配属される部署などの違いを学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
教科書P26～P28
【課題・予習・復習・授業準備指示】
課題：「医療秘書の形態のそれぞれの特徴を整理し、自分はどの形態の医療秘書として働きたいか、またその理由」次回レポート提出。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第１２回　医療秘書の業務
【key words】
上司の補佐、医療事務作業補助者、定型業務、非定型業務、経歴・経験年数

【授業概要】
医療秘書の仕事は、上司の仕事の領域や配属される部署によって異なる。一般的秘書業務のほかに診療・研究・教育の領域に分けての説明をする。

【教科書ページ・参考文献】
教科書P29～P33
【課題・予習・復習・授業準備指示】
課題：「医療秘書の業務内容について自分が現在できることをチェックし、医療秘書としての将来的な業務にどのように役立てるか」次回レポート提出。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第１３回　医療秘書の資質・能力
【key words】
共感、倫理観、守秘義務、冷静・沈着、秘書としての資質、向上心・自己学習能力、医療秘書に必要な能力・技術
【授業概要】
医療秘書が求められる資質や能力・技術などについて具体的に学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
教科書P34～P38
【課題・予習・復習・授業準備指示】
課題：「現在の自分自身を分析し、今後どのような資質・能力を高めていけばよいか」次回レポート提出。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第１４回　医療秘書として働く上でのマナー
【key words】
職場の基本的ルールとマナー、マネジメントサイクル

【授業概要】
医療秘書のマナーの在り方は医療秘書だけでなく上司や組織全体のものとして評価されることを知る。まずは、社会人としての職場でのルールやマナーについて学び、実践する必要性を理解する。

【教科書ページ・参考文献】
教科書P39～P46
【課題・予習・復習・授業準備指示】
課題：「自分の理想とする医療秘書として働くためには、今後どのような学習が必要なのか」次回レポート提出。
【予習復習に必要な想定時間】
60分

第１５回　今後の医療秘書／まとめ／定期試験の説明
【key words】
役割分担、医療事務作業補助者、新しい秘書像　定期試験

【授業概要】
これからの医療秘書に求められている資質・技能を学んだ上で、自分の目指す医療秘書像を考えさせる。また、最近の医療秘書の採用状況などを説明する。
今までの振り返り。
定期試験の説明及び質疑応答
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

	定期試験対策をしっかりやること。 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	〔受講のルール〕 ・私語は厳禁とする。私語は相手、周囲の者に対しての迷惑行為である。厳に慎むことを自覚して授業に主体的に参加すること。 ・個人ワーク及びグループワークは主体的に参加すること。 ・教科書のみに依存することなく、口述・板書した内容を必ず教科書またはノートに筆記していくこと。 ・授業中に生じた疑問はそのままにせず、調べる、質問するなどの行動に移すこと。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	教科書該当箇所の予習を必須とする。授業時に次回の授業に該当する箇所を指示する。また、時間外学習の課題あり。
オフィスアワー	授業終了後30分 それ以外の時間帯についてはアポイントを取っていただきたい。
評価方法	定期試験（学科）40%　定期試験（実技）発表20%　課題・レポート20%　各回での考察10%　その他10%（学習の取り組みなど）これらに検定の結果を考慮する。
教科書	日本医師会監修　「医療秘書講座４ー医療秘書概論・実務　医療情報処理学　医療間係法規概論」メヂカルフレンド社 最新版 公益財団法人　実務技能検定協会「秘書検定集中講義　３級　改訂版」早稲田教育出版　最新版
参考書	公益財団法人　実務技能検定協会「秘書検定3級　パーフェクトマスター」早稲田教育出版　最新版 株式会社ｳｲﾈｯﾄ　秘書教育研究会「秘書ハンドブック」株式会社ｳｲﾈｯﾄ　最新版
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 総合病院の秘書室勤務。役員秘書として一般企業勤務。 医療機関での実務経験をもとに医療秘書の基盤と心構え、基本的な知識や技能について講じます。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称：　医療秘書概論・病院接遇Ⅱ　　授業コード：J538

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	2単位(30)	医療事務・秘書コース・必修
担当教員			
三澤　文子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕 医療秘書を目指す第一歩として、この授業では秘書に求められる基本的な知識と技能を総合的に学ぶことを目的とする。授業で学ぶ、様々な場面に適した言葉遣いや立ち居振る舞い、来客応対や電話応対などは医療秘書だけではなく職場で働く全ての社会人にとって身につけておかなくてはならない事柄である。基本的な秘書業務を職場シュミレーションに合わせ具体的に学ぶことで、、上司の指示はどのように受ければよいのか、適切な言葉遣いとは何かなど状況に応じた具体的な対応能力を養う。社会人として身につけておきたい基本的な社会常識、文書作成、文書取り扱い、資料・職場管理などを学ぶ。また、日本医師会認定　医療秘書の認定に必要な技能検定種目「秘書技能検定試験３級」の合格を目指す～秘書検定は社会（職場）で感じが良いと言われる人柄の育成を目指している。社会人としての基本的マナー（職場常識）が学べる検定試験である。 〔到達目標〕 1)接遇の基本知識を理解し、活用できる。 2)技能の基本知識を理解し、活用できる。 3)自分自身のコミュニケーションを客観的に振り返り、どのような考え方また応対が望ましいかを自ら考え学習できる。4)ホスピタリティを実践できる。 5)秘書技能検定試験３級の合格基準を上回っている。
授業の概要	多様化また複雑化する医療の現場において、医療スタッフやお客様(患者・患者家族・業者など）に対して目的や状況に応じた適切な言動をとるためのコミュニケーション能力は、今や必要不可欠である。このことを踏まえた上で、社会人に求められる必要な基本知識・基本技能を習得する科目である。ホスピタリティの精神は、言動に心(気持ち）が伴わないと相手に伝わらないものである。意欲的な気持ちで授業に参加し、知識技能の習得を目指すことが重要な科目である。また、日本医師会認定　医療秘書の認定に必要な技能検定種目「秘書技能検定試験３級」の合格を目指す。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	△
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	◎
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	○
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	

授業計画	第１回	オリエンテーション 【key words】 感じの良い接遇　秘書検定とは 【授業概要】 第一印象の大切さを理解した上で、感じの良いあいさつの実践演習。感じの良いあいさつのための笑顔・発声・お辞儀のトレーニング実施。秘書検定３級を学ぶ目的及び検定取得目的を伝える。 【教科書ページ・参考文献】 プリント教材　教科書P1～P6 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書P18～P41を熟読しておくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第２回	秘書の心構え 【key words】 職業人としての自覚と心得　補佐役としての心得　機密を守る　仕事を処理する際の心得 【授業概要】 社会人・職業人として求められる基本資質とは、出社から退社までの日常のマナー、自己管理・自己啓発とはを学ぶ。上司の補佐役・人間関係のパイプ役とは、上司の身の回りの世話や私的事務の補佐の事例、秘書としての立場を心得ての言動、上司がミスをした時の対応方法、機密事項例、機密事項を守るための基本的な心得、指示の受け方などを学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P18～P41 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書P42～P54を熟読しておくこと。課題：プリント教材「01必要とされる資質」 【予習復習に必要な想定時間】 60分
	第３回	要求される資質 【key words】

		秘書に求められる基本能力　要求される人柄と身だしなみ 【授業概要】 求められる四つの基本能力、望まれる人柄や性格、ふさわしい身だしなみを学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P42～54 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書P56～P72を熟読しておくこと。課題：プリント教材「01必要とされる資質」　教科書P18～P54「第1章　必要とされる資質」復習～次回小テスト実施。 【予習復習に必要な想定時間】 60~120分
	第４回	秘書の機能と役割 【key words】 秘書の機能とさまざまな役割　上司と秘書の関係 【授業概要】 小テスト「必要とされる資質」実施。 定型業務内容、非定型業務内容について、また分野別の秘書の種類を学ぶ。上司と秘書の機能と役割の違いを学び、秘書の職務範囲を心得る。上司を理解し良好な関係を築くための知識を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P56～P72 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書P73～P84を熟読しておくこと。課題：プリント教材「02職務知識」 【予習復習に必要な想定時間】 60~120分
	第５回	職務上の心得と仕事の進め方 【key words】 職務上の心得　仕事の進め方の要領 【授業概要】 小テスト「必要とされる資質」実施。 職務遂行上の心構え、職務上の基本的な心得を学ぶ。仕事の進め方の要領、効率的な仕事の進め方を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P73～P84 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書P86～P105を熟読しておくこと。課題：プリント教材「02職務知識」　教科書P55～P84「第2章　職務知識」復習～次回小テスト実施。 【予習復習に必要な想定時間】 60~120分
	第６回	企業の基礎知識 【key words】 企業の形態と組織　さまざまな企業活動 【授業概要】 小テスト「職務知識」実施。 企業形態、会社の種類、企業に関する基礎用語、企業の社会的責任、企業組織、ライン部門とスタッフ部門について学ぶ。経営管理（マネジメント）、人事労務管理、会計財務、マーケティングの基礎を学ぶと共に、新聞などでよく目にするビジネス用語とその意味を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P86～P105 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書P106～112を熟読しておくこと。課題：プリント教材「03一般知識」　ビジネス用語を調べ覚えてくる。 【予習復習に必要な想定時間】 60~120分
	第７回	社会常識 【key words】 基本用語を身につける 【授業概要】 小テスト「職務知識」実施。 社会常識として知っておきたい用語（経済・財政・金融関係）、常識としてのカタカナ語を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P106～P112 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書P114～P143を熟読しておくこと。課題：プリント教材「03一般知識」　教科書P85～P112「第3章　一般知識」復習～次回小テスト実施。　ビジネス用語を調べ覚えてくる。 【予習復習に必要な想定時間】 60~120分
	第８回	職場での話し方（聞き方）―１ 【key words】 人間関係と話し方　敬語と言葉遣いの基本　話し方・聞き方の応用 【授業概要】 小テスト「一般知識」実施。 人間関係をスムーズにするあいさつと話し方を学ぶことにより良い人間関係を構築するための実践力を養う。敬語の役割を知った上で敬語の種類や使い方を習得する。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P114～P143

【課題・予習・復習・授業準備指示】
課題：教科書P122～P131「敬語と言葉遣いの基本」を覚えてくる～次回小テスト実施。プリント教材「04マナー接遇」
【予習復習に必要な想定時間】
60~120分

第９回　職場での話し方（聞き方）―２
【key words】
話し方・聞き方の応用

【授業概要】
小テスト「敬語と言葉遣いの基本」実施。
情報伝達の仕方、報告・依頼・断り・説明の仕方、指示・注意・忠告の受け方を具体的に学び実践力を養う。
【教科書ページ・参考文献】
教科書P114～P143
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書P144～P157を熟読しておくこと。課題：プリント教材「04マナー接遇」
【予習復習に必要な想定時間】
60~120分

第１０回　電話応対　/ 接遇―１
【key words】
電話のマナーと応対の基本　/ 接遇の基本

【授業概要】
電話のかけ方・受け方の基本及び取り次ぎの要領を学ぶ。
接遇の心構え、ｱﾎﾟｲﾝﾄﾒﾝﾄと日程調整、接遇用語、人や会社の呼び方を学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
教科書P144～P157
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書P158～P169を熟読しておくこと。課題：プリント教材「04マナー接遇」
【予習復習に必要な想定時間】
60~120分

第１１回　接遇―２
【key words】
接遇の要領とマナー

【授業概要】
職場でのマナーや立ち居振る舞い、受付から見送りまで（受付→来客取次ぎ→案内→茶菓接待→紹介→見送り）の要領とマナーについて学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
教科書P158～P169
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書P170～P184を熟読しておくこと。課題：プリント教材「04マナー接遇」
【予習復習に必要な想定時間】
60~120分

第１２回　交際
【key words】
慶事と弔事への対応　贈答の習わしと食事のマナー

【授業概要】
慶事の種類と秘書の対応、弔事の知識とマナー、贈答の習わし、食事のマナーを学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
教科書P170～P184
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書P186～P194を熟読しておくこと。課題：教科書P113～P184「第4章　マナー・接遇」復習～次回小テスト実施。プリント教材「04マナー接遇」
【予習復習に必要な想定時間】
60~120分

第１３回　会議
【key words】
会議と秘書の業務

【授業概要】
小テスト「マナー・接遇」実施。
会議の目的と種類、会議の準備～会議中～会議後の仕事について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
教科書P186～P194
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書P195～P229を熟読しておくこと。プリント教材「05技能」
【予習復習に必要な想定時間】
60~120分

第１４回　文書の作成　/ 文書の取り扱い
【key words】
文書作成、受発信業務、郵便の知識、

【授業概要】
社内文書作成上の基礎知識、社内文書の種類と形式、社外文書と慣用表現・敬語表現、メモの種類と取り方の留意点、グラフの作り方を学ぶ。ビジネス文書の受信・発信取り扱い方、「秘」扱い文書の取り扱い方、その他の文書の取り扱い方、用紙のサイズを学ぶ。社内文書　社外文書　メモの取り方・グラフの作り方　/ 受信・発信業務と関連知識　郵便の知識はがきと封書の知識、郵便小包と特殊取り扱い郵便物の知識、大量郵便物の発送方法、郵便に関する一般知識を学ぶ。はがきと封書の知識、郵便小包と特殊取り扱い郵便物の知識、大量郵便物の発送方法、郵便

	に関する一般知識を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P195～P229 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書P230～P256を熟読しておくこと。課題：教科書P185～P256「第5章　技能」予習・復習～次回小テスト実施。プリント教材「05技能」 【予習復習に必要な想定時間】 60~120分 第１５回　資料管理　/ 日程管理・オフィス管理　/ 定期試験について 【key words】 ファイリングと各種資料管理　/ 日程管理とオフィス管理 【授業概要】 小テスト「技能」実施。 ファイル用具の種類、バーチカル・ファイリングの用具と整理法、書類の整理法、名刺の整理と分類法、カタログ・雑誌・新聞・雑誌切り抜きの整理法を学ぶ。 日程管理～予定表種類と予定表作成するときの留意点、オフィス管理～事務用品・オフィス機器の知識、環境整備の知識、オフィスレイアウトを学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 【教科書ページ・参考文献】 教科書P230～P256 【課題・予習・復習・授業準備指示】 定期試験対策の勉強をしっかりすること。課題：後期「医療秘書概論」授業開始日提出　プリント教材「05技能」　過去試験問題 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	〔受講のルール〕 ・教科書該当の予習を必須とする。授業時に次回の授業に該当する箇所を指示する。時間外学習の課題あり。 ・欠席をするとその回の内容を自力で補うのは困難なため、やむを得ない場合以外は欠席しないこと。 ・個人ワーク、グループワークは主体的に参加すること。(評価に含む) ・個人ワーク、グループワークを行う際には必要のない私語、講義中の私語は慎むこと。 ・予習・復習を怠らないこと。・授業中に生じた疑問はそのままにせず、調べる、質問するなどの行動に移すこと。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	検定対策学習を怠らないこと。
オフィスアワー	授業終了後30分　それ以外の時間帯についてはアポイントを取っていただきたい。
評価方法	定期試験60%　小テスト20%　課題10%　その他10%（学習の取り組みなど）
教科書	公益財団法人実務技能検定協会「秘書検定集中講義　3級　改訂版」早稲田教育出版　最新版
参考書	公益社団法人実務技能検定協会「秘書検定3級　パーフェクトマスター」早稲田教育出版　最新版 株式会社ｳｲﾈｯﾄ　秘書教育研究会「秘書ハンドブック」株式会社ｳｲﾈｯﾄ　最新版
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 総合病院の秘書室勤務。役員秘書として一般企業勤務。 医療機関での実務経験をもとに、秘書の基盤となる心構え、基本的な知識技能について講じます。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等) □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等) □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等) □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称：　医学・薬学概論Ⅰ　　授業コード：J571

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年次	2単位(30)	医療事務・秘書コース・必修
担当教員			
赤田　実千代			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 医療情報を的確に伝えるために、からだの構造と機能について基礎的な知識を身につける。 【到達目標】 からだの構造と機能について基礎的な知識を身につけ、必要な医療情報を具体的に説明することができる。
授業の概要	人体の構造や機能から診療に用いられる知識や技術を解説します。そのうえで、医療者と患者との人間関係をつなぐ医療情報を的確に伝えるために必要な知識を学びます。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	◎
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	○
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	△
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	

授業計画	第１回	オリエンテーション 【key words】 学びの概要　学びの目的・目標　評価方法 【授業概要】 本科目を履修するにあたっての基本視点を説明する。履修上の注意点や目的・目標、評価方法の説明を行う。 【教科書ページ・参考文献】 使用なし 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
	第２回	ヒトの身体を概観する①　全身の基本構造　　身体の階層構造 【key words】 体腔　細胞　組織　器官 【授業概要】 身体の基本構造、身体各部の名称を確認し、４つの組織、１２の器官の役割を解説する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ２～１２ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：身体の基本構造　身体各部の名称　４つの組織　１２の器官 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第３回	ヒトの身体を概観する②　生命維持活動 【key words】 ストレッサー　ホメオスタシス　ホルモン　免疫　ストレス反応 【授業概要】 第２回講義範囲の確認テストを実施。ヒトの生命活動と取り巻く環境との関係、恒常性維持機構、内分泌系のｊ働き、免疫系システム、ストレス反応について解説する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ１２～２２ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：ストレッサー　恒常性維持機構　内分泌系の働き　免疫システム　ストレス反応 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第４回	生命活動を営むしくみ①　体液・血液・リンパ液 【key words】 体液　電解質　血球　血漿　リンパ 【授業概要】 第３回講義範囲の確認テストを実施。体液とその組成、血液とその働き、リンパ系とリンパ液について解説する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ２３～２９ 【課題・予習・復習・授業準備指示】

		復習：体液の組成　血液の働き　リンパの働き 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第５回	生命活動を営むしくみ②　呼吸器 【key words】 外呼吸　内呼吸　ガス交換 【授業概要】 第４回講義範囲の確認テストを実施。呼吸器系の構造と機能、ガス交換のしくみ、呼吸運動と調節について解説する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ３０～３６ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：呼吸器系の構造と機能　ガス交換　呼吸運動 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第６回	生命活動を営むしくみ③　循環器　　体温 【key words】 体循環　肺循環 【授業概要】 第５回講義範囲の確認テストを実施。体循環と肺循環、心臓の構造、脈管の構造と働き、体温調節について解説する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ３６～４８ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：体循環　肺循環　心臓の構造　脈管の構造と働き　体温調節 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第７回	生命活動を営むしくみ④　消化器 【key words】 消化　吸収　蠕動運動　栄養と代謝 【授業概要】 第６回講義範囲の確認テストを実施。消化器系の各部の名称と働き、栄養と代謝について解説する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ４８～５８ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：消化器系の各部の名称とその働き　栄養と代謝 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第８回	生命活動を営むしくみ⑤　老廃物を排出するしくみ 【key words】 排泄　浄化　濾過　再吸収 【授業概要】 第７回講義範囲の確認テストを実施。消化器からの排泄のしくみ、泌尿器からの排泄のしくみ、皮膚からの排泄のしくみ、気道からの排泄のしくみについて解説する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ５８～６４ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：排便のしくみ　排尿のしくみ　発汗のしくみ 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第９回	情報をとらえるしくみ　　皮膚・感覚器 【key words】 感覚受容器　特殊感覚器 【授業概要】 第８回講義範囲の確認テストを実施。皮膚の構造と働き、視覚器・聴覚器・嗅覚器・味覚器の構造と働きについて解説する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ６５～７８ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：皮膚・視覚器・聴覚器・嗅覚器・味覚器の構造と働き 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第１０回	考える・調節するしくみ　　中枢神経系・抹消神経系 【key words】 交感神経　副交感神経　高次脳機能 【授業概要】 第９回講義範囲の確認テストを実施。中枢神経のしくみと働き、末梢神経のしくみと働きについて解説する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ７９～９２ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：中枢神経のしくみと働き　末梢神経のしくみと働き 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第１１回	移動する・動くしくみ　　骨・関節・筋肉 【key words】 骨芽細胞　破骨細胞　横紋筋　平滑筋　廃用症候群 【授業概要】 第１０回講義範囲の確認テストを実施。骨の構造と働き、関節の構造と働き、筋肉の種類と働き

	について解説する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ９２～１０４ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：骨の構造と骨形成のプロセス　関節の構造と運動　筋肉の種類と働き 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分 第１２回　休息・睡眠のしくみ 【key words】 睡眠・覚醒リズム　サーカディアンリズム　概日リズム　レム睡眠　ノンレム睡眠 【授業概要】 第１１回講義範囲の確認テストの実施。睡眠のリズム、睡眠中枢がつくりだす睡眠パターン、睡眠中の生体機能、睡眠の質の低下がもたらす健康問題について解説する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ１０４～１１０ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：睡眠リズム　２つの睡眠パターン　睡眠中の生体機能 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分 第１３回　再生修復のしくみ　　生殖・遺伝 【key words】 生理的再生　病的再生　一次治癒　有性生殖　無性生殖　性周期　遺伝子　染色体 【授業概要】 第１２回講義範囲の確認テストの実施。再生とその種類、再生能力、再生・修復のプロセス、生殖器の構造、女性の性周期と性ホルモンの関係、受精と妊娠のプロセス、遺伝子と情報の継承について解説する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ１１１～１１５ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：再生・修復のしくみ　生殖器の構造　性周期　受精と妊娠のプロセス　遺伝子 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分 第１４回　発達と成長、老化 【key words】 細胞死　器質死　機能死　死の徴候 【授業概要】 第１３回講義範囲の確認テストの実施。発達と成長の過程、成熟と老化の過程、細胞の死、生物学的死、死の三徴候について解説する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ１１６～１２２ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：発達と成長　成熟と老化　細胞死　生物学的死　死の徴候 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分 第１５回　前期のまとめ 【key words】 からだの構造と機能 【授業概要】 第１４回講義範囲の確認テストの実施。前期の講義のポイントを解説しながら振り返えり、学びの目的・目標を再度確認する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ３～４２ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：Ｐ３～４２　配布資料　定期試験対策 【予習復習に必要な想定時間】 １８０分
受講生に関わる情報および受講のルール	[受講生に関わる情報] 講義の冒頭で前回講義のミニテストを実施するため、復習をした上で講義に臨むこと。 [受講ルール] 私語を慎む、携帯電話の電源を切る。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	シャトルカード
授業外時間にかかわる情報	「こころとからだのしくみⅠ」「発達と老化の理解」などの科目との関係も深いため、これらの科目との関連も意識して学習を進めていただきたい。
オフィスアワー	金曜日　１０：３０～１２：００
評価方法	定期試験60%、課題及びミニテスト20%、授業態度20%
教科書	医療秘書講座２「からだの構造と機能　臨床検査と薬の知識」
参考書	必要に応じて印刷資料を使用。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 大学病院の病棟看護、前期高齢者保健指導、企業内健康管理室看護師など看護師実務経験を活か

	し、介護・福祉・医療の現場で必要な知識や対応について講じます。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称：　医学・薬学概論Ⅱ　　授業コード：J572

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	2単位(30)	医療事務・秘書コース・必修
担当教員			
赤田　実千代			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 医療情報を的確に伝えるために、臨床検査と薬について基礎的な知識を身につける。 【到達目標】 臨床検査と薬について基礎的な知識を身につけ、必要な医療情報を具体的に説明することができる。
授業の概要	診療に用いられる知識や技術、検査や薬の基礎的知識を解説します。そのうえで、医療者と患者との人間関係をつなぐ医療情報を的確に伝えるために必要な知識を学びます。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	◎
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	○
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	△
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	

授業計画	第１回	臨床検査の位置づけ　　臨床検査の目的　　臨床検査の種類 【key words】 診断　治療方針　経過観察　早期発見　検体検査　生体検査　画像検査　病理検査 【授業概要】 臨床検査の役割、臨床検査の４つの目的、臨床検査の内容による分類と行われ方による分類について解説する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ１２６～１３７ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：臨床検査の役割・目的・種類 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第２回	臨床検査の実施時に考慮すべきポイント　　臨床検査の進め方　　検査値の表し方と評価の基準 【key words】 安全性　倫理性　感染防止　コスト　エラー　限界　基準値　臨床判断値　パニック値 【授業概要】 第１６回講義範囲の確認テストの実施。臨床検査を実施する際に考慮すべき事柄、臨床検査の進め方、検査結果の表し方について解説する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ１３７～１４２ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：臨床検査の進め方　臨床検査実施時の考慮すべきポイント　検査結果の表し方 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第３回	臨床検査の有用性の評価　　検査値に影響する因子と検査前の確認事項　　検査の体制と保険診療 【key words】 診断感度　診断特異度　採取方法　検体保存　測定誤差　診療報酬点数 【授業概要】 第１７回講義範囲の確認テストの実施。臨床検査の有用性の評価項目、検体検査の流れと検査値の変動要因、検査の体制と保険診療について解説する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ１４５～１５２ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：臨床検査の有用性の評価項目　検査値の変動要因　検査の体制と保険診療 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第４回	検体検査①　　尿検査　　糞便検査　　髄液一般検査　　血液形態・機能検査　　出血・凝固検査 【key words】 尿検査　糞便検査　髄液一般検査　血液形態・機能検査　出血・凝固検査 【授業概要】 第１８回講義範囲の確認テストの実施。健康問題の尿検査・糞便検査、髄液一般検査、血液形

態・機能検査、出血・凝固検査について解説する。
【教科書ページ・参考文献】
Ｐ１５３～１５９
【課題・予習・復習・授業準備指示】
復習：尿検査　糞便検査　髄液一般検査　血液形態・機能検査　出血・凝固検査
【予習復習に必要な想定時間】
３０分

第５回　検体検査②　遺伝子・染色体検査　生化学的検査(Ⅰ)　生化学的検査(Ⅱ)　免疫学的検査　微生物学的検査
【key words】
遺伝子・染色体検査　生化学的検査　免疫学的検査　微生物学的検査
【授業概要】
第１９回講義範囲の確認テストの実施。検体検査の遺伝子・染色体検査、生化学的検査(Ⅰ)、生化学的検査(Ⅱ)、免疫学的検査、微生物学的検査について解説する。
【教科書ページ・参考文献】
Ｐ１５９～１７２
【課題・予習・復習・授業準備指示】
復習：遺伝子・染色体検査　生化学的検査(Ⅰ)　生化学的検査(Ⅱ)　免疫学的検査　微生物学的検査
【予習復習に必要な想定時間】
３０分

第６回　生体検査
【key words】
呼吸機能検査　心電図検査　超音波検査　脳波検査　内視鏡検査
【授業概要】
第２０回講義範囲の確認テストの実施。生体検査の呼吸機能検査・心電図検査・超音波検査・脳波検査・内視鏡検査について解説する。
【教科書ページ・参考文献】
Ｐ１７２～１７４
【課題・予習・復習・授業準備指示】
復習：呼吸機能検査　心電図検査　超音波検査　脳波検査　内視鏡検査
【予習復習に必要な想定時間】
３０分

第７回　画像検査　病理検査
【key words】
Ｘ線検査　核医学検査　ＣＴ　ＭＲＩ　シンチグラム検査　細胞診検査　病理組織検査
【授業概要】
第２１回講義範囲の確認テストの実施。画像検査のＸ線検査・ＣＴ・ＭＲＩ　シンチグラム検査について、病理検査の細胞診検査・病理検査について解説する。
【教科書ページ・参考文献】
Ｐ１７４～１７９
【課題・予習・復習・授業準備指示】
復習：画像検査（Ｘ線検査・ＣＴ・ＭＲＩ・シンチグラム検査）　病理検査（細胞診検査・病理検査）
【予習復習に必要な想定時間】
３０分

第８回　医薬品
【key words】
医薬品　健康食品　医薬部外品　特定保健用食品　西洋薬　漢方薬　ジェネリック医薬品
【授業概要】
第２２回講義範囲の確認テストの実施。医薬品と健康食品の違い、医療用医薬品と一般医薬品との違い、西洋薬と漢方薬との違い、ジェネリック医薬品について解説する。
【教科書ページ・参考文献】
Ｐ１８２～１８９
【課題・予習・復習・授業準備指示】
復習：医薬品　健康食品　医療用医薬品　一般用医薬品　西洋薬　漢方薬　ジェネリック医薬品
【予習復習に必要な想定時間】
３０分

第９回　薬の特徴
【key words】
投与方法　剤形　吸収　分布　代謝　排泄　服用時期
【授業概要】
第２３回講義範囲の確認テストの実施。投与方法はなぜいろいろあるのか、剤形の特徴、薬はどのように身体の中を運ばれていくのか、服用時期はなぜいろいろあるのかについて解説する。
【教科書ページ・参考文献】
Ｐ１９０～１９５
【課題・予習・復習・授業準備指示】
復習：投与方法　剤形の特徴　薬の吸収・分布・代謝・排泄　服用時期
【予習復習に必要な想定時間】
３０分

第１０回　薬の作用
【key words】
薬の効果　相互作用　嗜好品の影響　副作用
【授業概要】
第２４回講義範囲の確認テストの実施。薬はどのようにして効果を発揮するのか、薬の飲み合わせによる影響、嗜好品の薬への影響、副作用はなぜ生じるのかについて解説する。
【教科書ページ・参考文献】
Ｐ１９６～２００
【課題・予習・復習・授業準備指示】
復習：薬の効果　飲み合わせ　嗜好品の影響　副作用
【予習復習に必要な想定時間】
３０分

	第１１回　投与する際に注意が必要な患者 【key words】 高齢者　小児　妊婦　授乳婦　催奇形性 【授業概要】 第２５回講義範囲の確認テストの実施。高齢者・小児・妊婦・授乳婦の薬の投与の際に必要な注意点について解説する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ２０１～２０５ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：薬の投与の際に注意が必要な患者（高齢者・小児・妊婦・授乳婦） 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分 第１２回　よく用いられている薬①　心臓・血管系　消化器系　呼吸器系 【key words】 高血圧　虚血性心疾患　心不全　消化性潰瘍　気管支喘息 【授業概要】 第２６回講義範囲の確認テストの実施。よく用いられている心臓や血管に作用する薬、消化器系に作用する薬、呼吸器系に作用する薬について、各自ワークシートにまとめ、グループ内で発表する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ２０６～２１６ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：よく用いられている薬（心臓・血管系、消化器系、呼吸器系） 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分 第１３回　よく用いられている薬②　代謝系　感染症　精神・神経系 【key words】 糖尿病　痛風　脂質異常症　細菌感染症　ウイルス感染　うつ病　睡眠薬 【授業概要】 第２７回講義範囲の確認テストの実施。よく用いられている代謝系に作用する薬、感染症治療薬、精神・神経に作用する薬について、各自ワークシートにまとめ、グループ内で発表する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ２１６～２２４ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：よく用いられている薬（代謝系、感染症治療薬、精神・神経系） 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分 第１４回　よく用いられている薬③　がんに作用する薬　その他 【key words】 抗がん剤　骨粗鬆症　緑内障　てんかん　パーキンソン病　リウマチ 【授業概要】 第２８回講義範囲の確認テストの実施。よく用いられているがんに作用する薬、骨粗鬆症治療薬、前立腺治療薬、緑内障治療薬、片頭痛治療薬　てんかん治療薬、パーキンソン治療薬、リウマチ治療薬について、各自ワークシートにまとめ、グルー内で発表する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ２２５～２３２ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：よく用いられている薬（抗がん剤、その他） 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分 第１５回　後期のまとめ 【key words】 臨床検査　薬の知識 【授業概要】 第２９回講義範囲の確認テストの実施。臨床検査と薬の知識についてポイントを解説しながら振り返り、学びの目的・目標を再度確認する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ１２４～２３２ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：臨床検査　薬の知識　　定期試験対策 【予習復習に必要な想定時間】 １８０分
受講生に関わる情報および受講のルール	［受講生に関わる情報］ 講義の冒頭で前回講義のミニテストを実施するため、復習をした上で講義に臨むこと。 ［受講ルール］ 私語を慎む、携帯電話の電源を切る。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	シャトルカード
授業外時間にかかわる情報	「こころとからだのしくみⅠ」「発達と老化の理解」などの科目との関係も深いため、これらの科目との関連も意識して学習を進めていただきたい。
オフィスアワー	金曜日　１０：３０～１２：００
評価方法	定期試験60%、課題及びミニテスト20%、授業態度20%
教科書	医療秘書講座２「からだの構造と機能　臨床検査と薬の知識」

参考書	必要に応じて印刷資料を使用。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 大学病院の病棟看護、前期高齢者保健指導、企業内健康管理室看護師など看護師実務経験を活かし、介護・福祉・医療の現場で必要な知識や対応について講じます。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等) □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等) □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等) □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称：　医療関係法規概論Ⅰ　　授業コード：J573

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年次	2単位(30)	医療事務・秘書コース・必修
担当教員			
淡島　正浩			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 医療現場で必要とされる医療法，健康保健法を中心に，法律と仕事との関連を理解するとともに，医療の進歩・患者の意識の変化・社会状況の変化等を理解し「医事法学」の概要を理解することを目的とする。 【到達目標】 診療報酬，医療秘書検定などの資格試験における医療関係法規に係る問題を解くことができることを目標とする
授業の概要	医療法や各種医療関係職種に関する法や労働に関する法（労働法）など，医療現場には多くの関係する法規が存在し，医療機関の事務職員として働くうえで必要な基礎知識である。本授業においては，各法規の基礎概要に加え，医療実践と関連づけて理解できるよう解説・検討していく。また、必要に応じ、厚生行政についても取り上げ、その理解や各種医療に関する業務の実践に必要とされる法の理解につながるように解説・検討していく。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	◎
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	○
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	△

授業計画	第１回	オリエンテーション 【key words】 医療関係法規 【授業概要】 講義の受け方、予習・復習の仕方について説明する。評価方法について説明する。 【教科書ページ・参考文献】 テキスト目次 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキスト目次に目を通し、講義のイメージを持つこと 【予習復習に必要な想定時間】 予習30分
	第２回	医療関係法規とは何か、医療秘書がなぜ法律や制度を学ぶ必要があるのか、医療秘書と法律とのかかわり 【key words】 医療関係法規、医療秘書と医療関係法規の関係性 【授業概要】 医療秘書は、医療関係法規を十分に理解し、その改正の動向を常に把握し、医師や医療関係機関内の各部門の情報を提供することも重要な役割であることを学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 テキストP222～P223（第1章医療関係法規とは） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習30分
	第３回	医療関係法規とは、法規の概念、医療関係法規について 【key words】 法規の概念、医療法規 【授業概要】 法規の概念について学ぶ。医療法規の分類について学ぶ 【教科書ページ・参考文献】 テキストP223～P227（第1章医療関係法規とは） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習30分

	第４回	保健医療福祉に関連する行政のしくみ 【key words】 厚生労働省、地方公共団体、保健所、市町村保健センター 【授業概要】 保健医療福祉に関連する行政機関として厚生労働省、地方公共団体、保健所、市町村保健センターがあることを知り、その役割を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 テキストP227～P228（第1章医療関係法規とは） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習30分
	第５回	わが国の保健医療福祉行政の動向 【key words】 保健医療福祉の連携・一本化、地方分権、保健医療福祉行政 【授業概要】 保健医療福祉の連携・一本化について学ぶ。地方分権と保健医療福祉行政について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 テキストP229（第1章医療関係法規とは） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習30分
	第６回	第2章保健医療提供体制に関連する法規、医療法 【key words】 医療法 【授業概要】 医療法における、医療提供の理念、定義、病院などの構造設備、病院などの管理、病床の種別と人員、諸記録、医療の安全確保、医療計画、地域医療連携推進法人などについて学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 P230～P237（第1章医療関係法規とは） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習30分
	第７回	医薬品、医療機器などの品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律 【key words】 薬局、医薬品の販売業 【授業概要】 薬局、医薬品の販売業、について学ぶ 【教科書ページ・参考文献】 P237～P238（第1章医療関係法規とは） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習30分
	第８回	臨床検査技師等に関する法律、地域保健法、災害時における保健医療に関係する主な法律 【key words】 臨床検査技師、地域保健法、保健所、地域保健センター、災害対策基本法、災害救助法 【授業概要】 臨床検査技師などに関する法律について学ぶ。地域保健法における保健所や地域保健センターの役割について学ぶ。災害対策基本法、災害救助法について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 P239～P241（第1章医療関係法規とは） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習30分
	第９回	保健医療提供の人材に関連する法規、医師法、歯科医師法、薬剤師法、保健師助産師看護師法、 【key words】 医師法、歯科医師法、薬剤師法、保健師助産師看護師法 【授業概要】 医師法、歯科医師法、薬剤師法、保健師助産師看護師法、それぞれに規定されている資格の任務と免許などについて学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 P241～P244（第1章医療関係法規とは） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習30分

	第１０回　医療関係者に関する法規、病院前救護体制の人材に関連する法規 【key words】 医療関係者に関する法規、病院前救護体制の人材に関連する法規 【授業概要】 医療関係者に関する法規としてどのような法律がありそれに基づいてどのような資格があるのかを学ぶ。病院前救護体制の人材に関連する法規について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 P244～P250（第1章医療関係法規とは） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習30分 第１１回　第5章①保険・福祉に関連する法規、社会保険、医療保険 【key words】 社会保険の種類、医療保険 【授業概要】 社会保険の種類について学ぶ。医療保険に関する法律の概要を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 P283～P289（第5章保険・福祉に関する法規） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習30分 第１２回　雇用保険、労働者災害補償保険 【key words】 雇用保険、労働者災害補償保険 【授業概要】 雇用保険、労働者災害補償保険について具体的な内容を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 P284（第5章保険・福祉に関する法規） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習30分 第１３回　医療保険に関する法律、健康保険法、国民健康保険法 【key words】 医療保険に関する法律、健康保険法、国民健康保険法 【授業概要】 健康保険法、国民健康保険法について具体的な内容を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 P284～P288（第5章保険・福祉に関する法規） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習30分 第１４回　高齢者の医療の確保に関する法律 【key words】 高齢者の医療の確保に関する法律 【授業概要】 高齢者の医療の確保に関する法律について具体的な内容を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 P288～P289（第5章保険・福祉に関する法規） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習30分 第１５回　介護保険法 【key words】 介護保険法 【授業概要】 介護保険法について具体的な内容を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 P289～P292（第5章保険・福祉に関する法規） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習30分
受講生に関わる情報および受講のルール	受講時に他の学生の学習の妨げとなる態度を取る者については，退室を命じることがある
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード

授業外時間にかかわる情報	本科目では，知識を正確に用いることが求められる。そのために，毎日における学習の積み重ねが必要となることを，よく理解した上で受講すること
オフィスアワー	水曜日：14：30～15：30　（他応相談・要予約）
評価方法	定期試験80％ 平常点20％（主体的な授業参加度を重視する）
教科書	『医療秘書講座4　医療秘書概論・実務　医療情報処理学　医療関係法規概論』メヂカルフレンド社 診療情報管理士テキストⅢ　日本病院会 医療関連法規　建帛社
参考書	教科書以外にスライドやハンドアウトなどを適宜用いる
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 ・病院，診療所における医事会計，請求，受付業務 ・医療経営コンサルタント業務 ・医療情報管理，運営業務 ・地域医療支援業務 ・救急外来診療支援業務　ほか アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 医療関係法規概論Ⅱ　　授業コード： J574

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	2単位(30)	医療事務・秘書コース・必修
担当教員			
淡島　正浩			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 医療現場で必要とされる医療法，健康保健法を中心に，法律と仕事との関連を理解するとともに，医療の進歩・患者の意識の変化・社会状況の変化等を理解し「医事法学」の概要を理解することを目的とする。 【到達目標】 診療報酬，医療秘書検定などの資格試験における医療関係法規に係る問題を解くことができることを目標とする
授業の概要	医療法や各種医療関係職種に関する法や労働に関する法（労働法）など，医療現場には多くの関係する法規が存在し，医療機関の事務職員として働くうえで必要な基礎知識である。本授業においては，各法規の基礎概要に加え，医療実践と関連づけて理解できるよう解説・検討していく。また、必要に応じ、厚生行政についても取り上げ、その理解や各種医療に関する業務の実践に必要とされる法の理解につながるように解説・検討していく。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	◎
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	○
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	△

授業計画	第１回	第3章保健衛生対策に関連する法規、健康づくり・疾病予防活動に関連する法規、 【key words】 地域保健法、健康増進法、食育基本法、労働安全衛生法、学校保健安全法、高齢者の医療の確保に関する法律 【授業概要】 地域保健法、健康増進法、食育基本法、労働安全衛生法、学校保健安全法、高齢者の医療の確保に関する法律について具体的な内容を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 P252～P257　（第3章保健衛生対策に関連する法規） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習30分
	第２回	①感染症対策に関連する法規／②がん、その他の疾病対策に関連する法規 【key words】 ①感染症法、予防接種法など ②がん対策基本法、がん登録等の推進に関する法律など 【授業概要】 ①感染症法、予防接種法、新型インフルエンザ等対策特別措置法、検疫法、狂犬病予防法について具体的な内容を学ぶ。 ②がん対策基本法、がん登録等の推進に関する法律、難病医療法、児童福祉法、歯科口腔保健推進法、臓器移植法、再生医療法、肝炎対策基本法、原爆被爆者援護法について具体的な内容を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 ①P257～P265　（第3章保健衛生対策に関連する法規） ②P265～P271　（第3章保健衛生対策に関連する法規） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習30分
	第３回	①精神保健対策に関連する法規／②女性の健康に関連する法規 【key words】 ①精神保健福祉法、心神喪失医療観察法、自殺対策基本法について具体的な内容を学ぶ。 ②母子保健法、母体保護法、優生保護法、男女雇用機会均等法、死産の届出に関する規定 【授業概要】 ①精神保健福祉法、心神喪失医療観察法、自殺対策基本法について具体的な内容を学ぶ。 ②母子保健法、母体保護法、男女雇用機会均等法、死産の届出に関する規定について具体的な内

		容を学ぶ。優生保護法について学び、差別と人権侵害について考える。 【教科書ページ・参考文献】 ①P271～P274　(第3章保健衛生対策に関連する法規) ②P274～P277 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習30分
	第４回	①第5章2社会福祉に関連する法規、生活保護法／②社会福祉法、児童福祉法、老人福祉法 【key words】 ①生活保護、保護の種類、医療扶助 ②社会福祉法、児童福祉法、老人福祉法 【授業概要】 ①生活保護法について具体的に学ぶ。保護の8つの扶助について学ぶ。医療扶助について学ぶ。 ②社会福祉法、児童福祉法、老人福祉法について具体的に学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 ①P292（第5章保険・福祉に関連する法規） ②P292～294（第5章保険・福祉に関連する法規） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習30分
	第５回	①障害者基本法、障害者総合支援法／②その他の社会福祉法規 【key words】 ①障害者基本法、障害者総合支援法 ②各障害者福祉法、各虐待防止法、戦傷病者特別援護法 【授業概要】 ①障害者基本法、障害者総合支援法について具体的な内容を学ぶ。 ②各障害者福祉法、各虐待防止法、戦傷病者特別援護法について具体的な内容を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 ①P294～P295（第5章保険・福祉に関連する法規） ②P295～P298（第5章保険・福祉に関連する法規） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習30分
	第６回	①医薬品等に起因する補償制度、薬害訴訟／②環境問題に起因する補償制度、公害訴訟 【key words】 ①医薬品等に起因する補償制度、薬害訴訟 ②環境問題に起因する補償制度、公害訴訟 【授業概要】 ①医薬品等に起因する補償制度、薬害訴訟について具体的な内容を学ぶ。 ②環境問題に起因する補償制度、公害訴訟について具体的な内容を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 ①P298～P299　(第5章保険・福祉に関連する法規) ②P300（第5章保険・福祉に関連する法規） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習30分
	第７回	①第4章医薬品・医療機器等に関連する法規、医薬品医療機器等法／ 【key words】 医薬品医療機器等法 【授業概要】 医薬品医療機器等法について具体的な内容を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 P278～P280（第4章医薬品・医療機器等に関連する法規） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習30分
	第８回	麻薬及び向精神薬取締法、その他の薬事法規、 【key words】 麻薬及び向精神薬取締法、その他の薬事法規 【授業概要】 麻薬及び向精神薬取締法、その他の薬事法規について具体的な内容を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 P280～P282（第4章医薬品・医療機器等に関連する法規） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習30分
	第９回	第6章雇用・労働に関連する法規 【key words】 労働基準法、育児介護休業法、男女雇用機会均等法、公益通報者保護法 【授業概要】

		労働基準法、育児介護休業法、男女雇用機会均等法、公益通報者保護法について具体的な内容を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 P301～P303（第6章雇用・労働に関連する法規） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習30分
	第１０回	第7章生活衛生・環境保全に関連する法規 【key words】 食品衛生に関連する法規、生活環境整備に関連する法規、環境保全に関連する法規、環境衛生関係営業に関連する法規 【授業概要】 食品衛生に関連する法規、生活環境整備に関連する法規、環境保全に関連する法規、環境衛生関係営業に関連する法規について具体的な内容を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 P304～P307（第7章生活衛生・環境保全に関連する法規） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習30分
	第１１回	診療情報管理士と医療関係法規 【key words】 診療譲歩管理士 【授業概要】 診療情報管理士と医療関係法規の関係を理解する 【教科書ページ・参考文献】 診療情報管理Ⅲ―診療情報管理士テキスト 専門・診療情報管理編　第1章P3～P4 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習30分
	第１２回	医療資源 【key words】 医療資源 【授業概要】 医療資源（物的資源、人的資源、財的資源、情報資源）とは何かについて理解する。 【教科書ページ・参考文献】 診療情報管理Ⅲ―診療情報管理士テキスト 専門・診療情報管理編　第1章P4～P21 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習30分
	第１３回	医療の需要と供給 【key words】 人口の推移、医療需要・医療供給、顕在需要と潜在需要 【授業概要】 ①人口の推移②医療需要・医療供給③顕在需要と潜在需要 について学ぶ 【教科書ページ・参考文献】 診療情報管理Ⅲ―診療情報管理士テキスト 専門・診療情報管理編　P 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習30分
	第１４回	個人情報の保護に関する法律と指針 【key words】 個人情報保護法 【授業概要】 個人情報の保護に関する法律と指針（ガイドライン）について学ぶ 【教科書ページ・参考文献】 診療情報管理Ⅲ―診療情報管理士テキスト 専門・診療情報管理編　P 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習30分
	第１５回	まとめ 【key words】 後期まとめ 【授業概要】 定期試験に向けて、後期試験のまとめを行う 【教科書ページ・参考文献】 後期講義該当部分 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】

	予習60分　復習：定期試験に向けて試験勉強すること
受講生に関わる情報および受講のルール	受講時に他の学生の学習の妨げとなる態度を取る者については，退室を命じることがある
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	本科目では，知識を正確に用いることが求められる。そのために，毎日における学習の積み重ねが必要となることを，よく理解した上で受講すること
オフィスアワー	水曜日：14：30〜15：30　（他応相談・要予約）
評価方法	定期試験80％ 平常点20％（主体的な授業参加度を重視する）
教科書	医療秘書講座　3　「医療にかかわる用語　　コミュニケーション論」　メヂカルフレンド社 診療情報管理士テキストⅢ　日本病院会 医療関連法規　建帛社
参考書	教科書以外にスライドやハンドアウトなどを適宜用いる
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 ・病院，診療所における医事会計，請求，受付業務 ・医療経営コンサルタント業務 ・医療情報管理，運営業務 ・地域医療支援業務 ・救急外来診療支援業務　ほか アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 相談援助の基盤と専門職Ⅰ　　授業コード： J606

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年次	2単位(30)	福祉総合コース・選択
担当教員			
柳澤　充			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 社会福祉士の役割と意義を学び、ソーシャルワークの概念を知るとともに、ソーシャルワークの形成過程を時代背景とともに理解することを目的とする。さらに、相談援助の理念、専門職倫理としての「倫理綱領」などについて学ぶことを目的とする。 【到達目標】 ①社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけについて理解する。 ②ソーシャルワークの基盤となる考え方とその形成過程について理解する。 ③ソーシャルワークの価値規範と倫理について理解する。
授業の概要	社会福祉士及びソーシャルワーカーの役割と意義を知り、ソーシャルワークの構成要素やの形成過程、理念、倫理的ジレンマなどについて学ぶ。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	◎
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	

授業計画	第１回	オリエンテーション（授業計画説明、予習復習の説明、評価方法の説明など） 【key words】 講義の受け方 【授業概要】 講義の受け方、予習・復習について、評価方法、などについて説明をする。 【教科書ページ・参考文献】 目次 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキスト目次に目を通し、講義のイメージを持つこと 【予習復習に必要な想定時間】 60～120分
	第２回	社会福祉士及び介護福祉士法における位置づけ 【key words】 社会福祉士、名称独占、認定社会福祉士制度 【授業概要】 社会福祉士及び介護福祉士法における社会福祉士の位置づけについて学ぶ。資格の特性について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 テキスト第1章第1節第2節 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 60～120分
	第３回	精神保健福祉士法における精神保健福祉士の役割と意義、現代社会とは 【key words】 精神保健福祉士、現代社会とは、産業構造の変化、雇用形態の変化、人口減少、少子化、高齢化、世帯人数、認知症高齢者 【授業概要】 精神保健福祉士の役割と意義について学ぶ。現代社会はどのような社会かについて学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 テキスト第1章第3節 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 60～120分
	第４回	現代の社会福祉士及び精神保健福祉士に求められる専門性 【key words】 地域、福祉課題、総合的かつ包括的な相談援助、ソーシャルワークの本質、生活困窮者自立支援法 【授業概要】 広範化と深刻化する問題状況のなかで、それらに対応できるだけの専門性を高めるだけではな

く、地域を基盤としたソーシャルワークの必要性について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
第1章第4節第5節
【課題・予習・復習・授業準備指示】
講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。
【予習復習に必要な想定時間】
60～120分

第５回　ソーシャルワーク専門職のグローバル定義
【key words】
グローバル定義、IFSW、IASSW、ウェルビーイング
【授業概要】

国際的な合意に基づくソーシャルワーク専門職のグローバル定義に関して詳しく学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
第2章第1節第2節
【課題・予習・復習・授業準備指示】
講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。
【予習復習に必要な想定時間】
60~120分

第６回　ソーシャルワークの原理、ソーシャルワーク実践の判断と価値、価値・理念・原則、ソーシャルワーク専門職として身につける価値
【key words】
価値、理念、原則、人権、社会正義、集団的責任、多様性尊重、尊厳の保持、利用者本位、当事者主権、平等、民主主義
【授業概要】
価値はソーシャルワークの判断に影響を与えるということを学ぶ。ソーシャルワーク専門職としてグローバル定義に示されている人権、社会正義、集団的責任、多様性尊重を身につける価値であることの理由を学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
第3章第1節
【課題・予習・復習・授業準備指示】
講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。
【予習復習に必要な想定時間】
60～120分

第７回　ソーシャルワークの理念、地域生活支援という視座、ノーマライゼーション、社会的包摂
【key words】
ノーマライゼーション、ソーシャルインクルージョン、ソーシャルエクスクルージョン、糸賀一雄、地域生活支援、バンク・ミケルセン、ニィリエ、
【授業概要】
地域を基盤とした支援を展開するための重要概念としてのノーマライゼーションについて学ぶ。ノーマライゼーションの歴史を学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
第3章第2節
【課題・予習・復習・授業準備指示】
講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。
【予習復習に必要な想定時間】
60～120分

第８回　権利擁護が必要とされる背景、深刻な人権侵害の顕在化、権利擁護の概念、権利擁護の態様、ソーシャルワーク実践としての権利擁護
【key words】
基本的人権、社会権、生存権、自由権、契約、判断能力、虐待、搾取、権利擁護の介入レベル
【授業概要】
権利擁護が必要とされる背景について学ぶ、。現代社会における権利擁護とは何か、ソーシャルワークが果たす権利擁護とは何かについて学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
第3章第2節
【課題・予習・復習・授業準備指示】
講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。
【予習復習に必要な想定時間】
60～120分

第９回　ソーシャルワークの形成過程、ソーシャルワーク前史、慈善組織協会、
【key words】
慈善、四箇院、聖徳太子、行基、エリザベス救貧法、産業革命、新救貧法、ブース、ラウントリー、社会調査、横山源之助、COS
【授業概要】
ソーシャルワークが体系化される以前は宗教的な価値観に基づき慈善活動が行われていたことを学ぶ。COSが組織化される背景と目的について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
第4章第1節
【課題・予習・復習・授業準備指示】
講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。
【予習復習に必要な想定時間】
60～120分

第１０回　セツルメント、青少年団体
【key words】
セツルメント運動、バーネット、トインビー・ホール、隣保館、ハル・ハウス、YMCA、YWCA、

		ボーイスカウト、ガールスカウト、キングスレーホール 【授業概要】 セツルメント運動の成立過程と役割について学ぶ。青少年活動の役割と意義について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 第4章第1節 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 60～120分
	第１１回	ケースワークの確立、専門化するソーシャルワーク、世界恐慌・大不況とソーシャルワーク 【key words】 リッチモンド、友愛訪問、社会診断、医療ソーシャルワーク、キャボット、キャノン、ミルフォード会議、ジェネリックソーシャルワーク、グループワーク、コミュニティーオーガニゼーション 【授業概要】 リッチモンドによりケースワークが体系化された過程を学ぶ。医療ソーシャルワークの歴史を学ぶ。ミルフォード会議でどのような議論があったのかを学ぶ。世界大恐慌とソーシャルワークの関係性について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 第1章第1節第2節 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 60～120分
	第１２回	診断主義学派と機能主義学派、グループワークの形成、コミュニティーオーガニゼーション、日本での発展 【key words】 診断主義学派、フロイト、ハミルトン、機能主義学派、ランク、タフト、ロビンソン、ぐるーうワーク、コイル、ニューステッター、コミュニティーオーガニゼーション、ロスマン 【授業概要】 診断主義学派と機能主義学派の相違を学ぶ。グループワークとコミュニティーオーガニゼーションの形成過程を学ぶ。第二次世界大戦後の日本におけるソーシャルワークの発展過程について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 第4章第2節 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 60～120分
	第１３回	社会不安とソーシャルワーク、問題解決アプローチ、ソーシャルワークモデルの乱立 【key words】 貧困の文化、貧困戦争、公民権運動、パールマン、問題解決アプローチ、四つのP、ワーカビリティー、心理社会的アプローチ、ホリス、医学モデル、生活モデル、ソーシャルワークトリートメント 【授業概要】 第二次世界大戦後のアメリカの経済状況、社会問題とソーシャルワークの関係性について学ぶ。問題解決アプローチが登場したことによるソーシャルワークへの影響について学ぶ。1960年代以降のソーシャルワークのモデルについて学び、日本の動向について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 第4章第3節 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 60～120分
	第１４回	ソーシャルワークの統合化とジェネラリストアプローチの成立、ジェネラリストアプローチからジェネラリストソーシャルワークへ 【key words】 ソーシャルワークの統合化、ミルフォード会議、シーボーム報告、システム理論、ジェネラリストソーシャルワーク、エコロジカル・ソーシャルワーク、インターフェイス、相互作用 【授業概要】 ケースワーク、グループワーク、コミュニティーオーガニゼーションが統合していく段階を学び、ジェネラリストソーシャルワークの成立過程を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 第4章第3節第4節 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 60～120分
	第１５回	専門職倫理と倫理的ジレンマ 【key words】 専門職倫理、倫理的ジレンマ 【授業概要】 ソーシャルワーク実践にあたっては、あらゆる場面で専門職としての判断が求まられる。そのようなときに 必要なのが専門職倫理である。専門職には何故「専門職倫理」が求められるのか。また、どういったことが「専門職倫理」なのかを考察する。そういったときに必要となるのが専門職団体の示す「倫理綱領」であり、その必要性と倫理綱領の意義と内容について学ぶ。

【教科書ページ・参考文献】
第5章第1節第2節第3節
【課題・予習・復習・授業準備指示】
日本社会福祉士会の行動規範をプリントアウトし一読した上で講義に臨むこと。
講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習すること。

【予習復習に必要な想定時間】
60～120分

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

	【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	ノートは板書を写すだけでは不十分であり、それ以外に口頭で解説したことなどをまとめて記述すること。予習として次回授業の該当部分を一読し、不明な用語などを調べ、調べた用語をノートにまとめる。また、予習の段階で質問があれば、予めノートに記述しておくこと。

毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	ノート提出にて行う
授業外時間にかかわる情報	予習として次回授業の該当部分を一読し、不明な用語などを調べ、調べた用語をノートにまとめる。また、予習の段階で質問があれば、予めノートに記述しておくこと。
オフィスアワー	月曜日8時20分～10時30分　水曜日8時20分～10時30分
評価方法	定期試験またはレポート60%、課題への取り組み40%とする。課題は1回の講義に対して①用語調べ3点、②授業メモ3点、③「本日のまとめ」（講義まとめ）4点で計10点の配点であり、半期ごとに評価を算定する。
教科書	①日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新・社会福祉士養成講座11　ソーシャルワークの基盤と専門職』（中央法規）最新版　②山縣ら編『社会福祉用語辞典』（ミネルヴァ書房）最新版
参考書	適宜紹介する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 医療ソーシャルワーカー、在宅介護支援センター相談員、ホームレス緊急一時保護施設、などの相談業務を行ってきました。社会福祉士事務所を開設し、成年後見等受任業務等も行っています。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） ■情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 相談援助の基盤と専門職Ⅱ　　授業コード： J607

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	2単位(30)	福祉総合コース・選択
担当教員			
柳澤　充			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 ジェネラリストソーシャルワーク、総合的かつ包括的な相談援助、などについて学ぶことを目的とする。 【到達目標】 ①社会福祉士の職域と求められる役割について理解する。 ②ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲について理解する。 ③ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象と連関性について理解す る。 ④総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容について理解する
授業の概要	地域を基盤とした総合的かつ包括的な相談援助の全体像、理論、概念と範囲及び専門的機能について学び、さらに、ジェネラリストソーシャルワークについて理解を深める。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	◎
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	

授業計画	第１回	ソーシャルワーク専門職の概念、ソーシャルワーク専門職の範囲 【key words】 専門職の成立条件、職能団体、専門職 【授業概要】 社会的に専門職であると認知されるための成立条件とは何かについて学ぶ。専門職の職能団体にはどのような団体があるのか、また、その役割について学ぶ。ソーシャルワーク専門職にはどのような職業があるのかを学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 第6章第1節 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 60-120
	第２回	社会福祉士が求められる領域（行政機関、福祉関係、医療関係、司法関係、独立事務所、職域拡大） 【key words】 社会福祉士の領域 【授業概要】 現代社会において、社会福祉士が求められる領域、場（行政機関、福祉関係、医療関係、司法関係、独立事務所、職域拡大）　について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 第6章第2節 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 60～120分
	第３回	福祉行政等における専門職 【key words】 福祉事務所の現業員、査察指導員、社会福祉主事、児童福祉司、身体障害者福祉司、知的障害者福祉司 【授業概要】 福祉行政等における専門職としてどのような職名で働いているのかについて学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 第6章第3節 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 60～120分
	第４回	民間の施設・組織に おける専門職 【key words】

		施設長、生活相談員、社会福祉協議会職員、地域包括支援センター職員、スクールソーシャルワーカー、医療ソーシャルワーカー 【授業概要】 民間組織においてソーシャルワーカーがどのような職名で働いているのか学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 第6章第3節 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 60～120分
	第５回	相談援助専門職の範囲、諸外国の動向 【key words】 相談援助の専門職、イギリスの動向、アメリカの動向、北欧の動向など 【授業概要】 ソーシャルワーク専門職にはどのような職業があるのかを学ぶ。諸外国のソーシャルワークをめぐる動向について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 第6章第4節 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 60-120分
	第６回	ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象 【key words】 ミクロ・メゾ・マクロレベルの対象 【授業概要】 ミクロ・メゾ・マクロレベルの意味と対象について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 第7章第1節 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 60～120分
	第７回	ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの介入、支援の実際 【key words】 ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク 【授業概要】 ミクロ・メゾ・マクロレベルへのそれぞれの介入方法、支援の実際について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 第7章第2節 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 60～120分
	第８回	価値とは、専門職として共有する価値と個人の価値観 【key words】 価値の内在化、自己覚知、非審判的態度、受容 【授業概要】 価値の持ついくつかの意味について学ぶ。ソーシャルワーカーは専門職として共有する価値を基盤に実践していくことを学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 第2章第2節　第5章第1節 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 60～120分
	第９回	自己決定、自立支援、エンパワメントとストレングス視点 【key words】 自己決定、利用者本位、インフォームドコンセント、ノーマライゼーション、自己決定権、依存的自立、自立支援、エンパワメント、ストレングス 【授業概要】 自己決定概念の成立過程、自己決定と自己責任の関係性、自立の概念整理、エンパワメントとストレングス視点について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 keywordを用語辞典等で調べておくこと 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 60～120分
	第１０回	ジェネラリストの視点に基づく総合的かつ包括的な支援の意義と内容、動向とその背景、地域を基盤としたソーシャルワークの基本的視座 【key words】 地域を基盤としたソーシャルワーク、総合的かつ包括的な相談援助、コミュニティーソーシャルワーカー、多機関による包括的支援体制、ネットワーキング、フォーマル・インフォーマルな社会資源との協働体制 【授業概要】

わが国のソーシャルワークは「課題別」から「地域割」による実践へと変化していることを踏まえ、地域を基盤としたソーシャルワーク、総合的かつ包括的な支援とは何かを学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
第8章第1節第2節
【課題・予習・復習・授業準備指示】
講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。
【予習復習に必要な想定時間】
60～120分

第１１回　総合的かつ包括的な相談援助の全体像、地域を基盤としたソーシャルワークの基本的視座、
【key words】
広範なニーズへの対応、本人の解決能力の向上、連携と協働、個と地域の一体的支援、予防的支援、支援困難事例への対応、権利擁護活動、ソーシャルアクション
【授業概要】
地域を基盤としたソーシャルワーク、個と地域の一体的支援とは何かについて学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
第8章第1節第2節
【課題・予習・復習・授業準備指示】
講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。
【予習復習に必要な想定時間】
60～120分

第１２回　ジェネラリスト・ソーシャルワークの意義と基本的視点、ジェネラリストの視点に基づく多職種連携及びチームアプローチの意義と内容
【key words】
ジェネラリストソーシャルワーク、地域を基盤としたソーシャルワーク、総合的かつ包括的な相談援助、
【授業概要】
ジェネラリストソーシャルワークにより地域を基盤としたソーシャルワークや総合的かつ包括的な相談援助の実践が可能となることを学ぶ。機関・団体間の合意形成と相互関係について学ぶ。利用者、家族の参画について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
第8章第3節
【課題・予習・復習・授業準備指示】
講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。
【予習復習に必要な想定時間】
60～120分

第１３回　ジェネラリスト・ソーシャルワークの意義と基本的視点、ジェネラリストの視点に基づく多職種連携及びチームアプローチの意義と内容
【key words】
ジェネラリストソーシャルワーク、地域を基盤としたソーシャルワーク、総合的かつ包括的な相談援助、
【授業概要】
ジェネラリストソーシャルワークにより地域を基盤としたソーシャルワークや総合的かつ包括的な相談援助の実践が可能となることを学ぶ。機関・団体間の合意形成と相互関係について学ぶ。利用者、家族の参画について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
第8章第3節
【課題・予習・復習・授業準備指示】
講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。
【予習復習に必要な想定時間】
60～120分

第１４回　講義まとめ
【key words】
講義のまとめ
【授業概要】
講義のまとめを行う
【教科書ページ・参考文献】
第6章～第8章
【課題・予習・復習・授業準備指示】
講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。
【予習復習に必要な想定時間】
60～120分

第１５回　ソーシャルワークの基盤と専門職（共通）（社福）のまとめ
【key words】
ソーシャルワークの基盤と専門職（共通）（社福）のまとめ
【授業概要】
ソーシャルワークの基盤と専門職（共通）（社福）のまとめを行う
【教科書ページ・参考文献】
第1章～第8章
【課題・予習・復習・授業準備指示】
後期で学んだことを復習しておくこと。後期試験に向けて試験勉強をすること。
【予習復習に必要な想定時間】
60～120分

【key words】

【授業概要】

	【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】

	【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 60～120分 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	ノートは板書を写すだけでは不十分であり、それ以外に口頭で解説したことなどをまとめて記述すること。予習として次回授業の該当部分を一読し、不明な用語などを調べ、調べた用語をノートにまとめる。また、予習の段階で質問があれば、予めノートに記述しておくこと。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	ノート提出にて行う
授業外時間にかかわる情報	予習として次回授業の該当部分を一読し、不明な用語などを調べ、調べた用語をノートにまとめる。また、予習の段階で質問があれば、予めノートに記述しておくこと。授業後は復習すること。
オフィスアワー	月曜日8時20分～10時30分　水曜日8時20分～10時30分
評価方法	定期試験またはレポート60％、課題への取り組み40％とする。課題は1回の講義に対して①用語調べ3点、②授業メモ3点、③「本日のまとめ」（講義まとめ）4点で計10点の配点であり、半期ごとに評価を算定する。
教科書	①日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『新・社会福祉士養成講座6　相談援助の基盤と専門職』（中央法規）最新版　②山縣ら編『社会福祉用語辞典』（ミネルヴァ書房）最新版

参考書	適宜紹介する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 医療ソーシャルワーカー、在宅介護支援センター、ホームレス緊急一時保護施設などで、相談業務を実践してきました。また、社会福祉士事務所を開設し、成年後見等受任事業なども行っています。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等) □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等) □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等) ■情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 介護総合演習Ⅰ-①　　授業コード： J810

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年次	1単位(30)	介護福祉コース・福祉総合コース・介護福祉士実践コース・選択
担当教員			
辻　志帆			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕 介護福祉士の養成課程での学びと介護実践活動の統合を目指し、将来の介護福祉士としての資質の向上を図り、地域に貢献できる介護人材を育成することを目的とする。 〔到達目標〕 ①利用者の特性や介護専門職の役割を知り、どのようなケアが展開されているか理解できる。 ②利用者の自立支援を目指す計画が、どのようなものかを理解できる。
授業の概要	介護総合演習では、学生が介護実習等に望むための環境を調整することで、必要な知識等を習得することを目的とする科目である。開講される1コマ1コマが重要な意味を持っている。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	○
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	◎
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	△
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	

授業計画	第１回	ガイダンス 【key words】 【key words】 介護総合演習で何を学ぶか 【授業概要】 【授業概要】 授業ガイダンス、オリエンテーション 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 介護総合演習Ⅰのテキストを準備すること 【予習復習に必要な想定時間】
	第２回	生活支援実習について 【key words】 【key words】 介護実習で何を学ぶか、知識と技術の統合、介護観 【授業概要】 【授業概要】 介護実習の意義と目的、介護実習の種類、介護実習全体像の理解 【教科書ページ・参考文献】 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ2～Ｐ18、P40 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業内容を復習すること 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第３回	介護福祉士の職業倫理について 【key words】 【key words】 職業倫理に基づき働く姿勢、実習の枠組み 【授業概要】 【授業概要】 職業倫理とは何か、介護実習の枠組み（実習施設・事業所Ⅰ、Ⅱの区分の理解） 【教科書ページ・参考文献】 【教科書ページ・参考文献】

		P23～P32 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業内容を復習すること 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第４回	生活支援実習Ｉの理解　調べ学習【特別養護老人ホーム、介護保健施設、障害者支援施設、医療型障害児入所・療養介護施設】 【key words】 【key words】 特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、障害者支援施設、医療型障害児入所・療養介護施設などの実習施設・事業所の理解 【授業概要】 【授業概要】 実習施設事業所について、実習先の特徴と学ぶべきポイントなどを調べ、資料としてまとめる。 【教科書ページ・参考文献】 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ74～Ｐ148 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 実習先の特徴、入居者、どのようなサービスなのかを自分で調べ、グループでパワーポイントにまとめてくること 【予習復習に必要な想定時間】 40～60分
	第５回	生活支援実習Ｉの理解　調べ学習【特別養護老人ホーム、介護保健施設、障害者支援施設、医療型障害児入所・療養介護施設】 【key words】 【key words】 特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、障害者支援施設、医療型障害児入所・療養介護施設 【授業概要】 【授業概要】 実習先の特徴、対象者、どのようなサービスかをまとめて発表する。 【教科書ページ・参考文献】 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ109～Ｐ131、P180～203 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 実習先の特徴、入居者、どのようなサービスなのかを自分で調べ、グループでパワーポイントにまとめてくること 【予習復習に必要な想定時間】 40～60分
	第６回	生活支援実習Ｉの理解　調べ学習【特別養護老人ホーム、介護保健施設、障害者支援施設、医療型障害児入所・療養介護施設】 【key words】 特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、障害者支援施設、医療型障害児入所・療養介護施設 【授業概要】 【授業概要】 実習先の特徴、対象者、どのようなサービスかをまとめて発表する。 【教科書ページ・参考文献】 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ109～Ｐ131、P180～203 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 実習先の特徴、入居者、どのようなサービスなのかを自分で調べ、グループでパワーポイントにまとめてくること 【予習復習に必要な想定時間】 40～60分
	第７回	生活支援実習Ｉの理解　調べ学習【特別養護老人ホーム、介護保健施設、障害者支援施設、医療型障害児入所・療養介護施設】 【key words】 特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、障害者支援施設、医療型障害児入所・療養介護施設 【授業概要】 【授業概要】 実習先の特徴、対象者、どのようなサービスかをまとめて発表する。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ109～Ｐ131、P180～203 【課題・予習・復習・授業準備指示】

		実習先の特徴、入居者、どのようなサービスなのかを自分で調べ、グループでパワーポイントにまとめてくること 【予習復習に必要な想定時間】 40～60分
	第８回	生活支援実習Ｉの理解　調べ学習【小規模多機能型居宅介護、通所介護、訪問介護、認知症対応型共同生活介護】 【key words】 小規模多機能型居宅介護　通所介護　訪問介護　認知症対応型共同生活介護などの施設・事業所の理解 【授業概要】 実習先の特徴と学ぶべきポイントなどをグループでまとめる 【教科書ページ・参考文献】 中央法規　介護総合演習P74～96　　P144～Ｐ166 【課題・予習・復習・授業準備指示】 実習先の特徴、入居者、どのようなサービスなのかを自分で調べ、グループでパワーポイントにまとめてくること 【予習復習に必要な想定時間】 40～60分
	第９回	生活支援実習Ｉの理解　調べ学習【小規模多機能型居宅介護、通所介護、訪問介護、認知症対応型共同生活介護】 【key words】 小規模多機能型居宅介護　通所介護　訪問介護　認知症対応型共同生活介護などの施設・事業所の理解 【授業概要】 実習先の特徴と学ぶべきポイントなどをグループでまとめる 【教科書ページ・参考文献】 中央法規　介護総合演習P74～96　　P144～Ｐ166 【課題・予習・復習・授業準備指示】 実習先の特徴、入居者、どのようなサービスなのかを自分で調べ、グループでパワーポイントにまとめてくること 【予習復習に必要な想定時間】 40～60分
	第１０回	生活支援実習Ｉの理解　発表・質疑応答【小規模多機能型居宅介護、通所介護、訪問介護、認知症対応型共同生活介護】 【key words】 小規模多機能型居宅介護　通所介護　訪問介護　認知症対応型共同生活介護などの施設・事業所の理解 【授業概要】 実習先の特徴、対象者、どのようなサービスかをまとめて発表する。 【教科書ページ・参考文献】 中央法規　介護総合演習P74～96　　P144～Ｐ166 【課題・予習・復習・授業準備指示】 実習先の特徴、入居者、どのようなサービスなのかを自分で調べ、グループでパワーポイントにまとめてくること 【予習復習に必要な想定時間】 40～60分
	第１１回	生活支援実習Ｉの理解　発表・質疑応答【小規模多機能型居宅介護、通所介護、訪問介護、認知症対応型共同生活介護】 【key words】 小規模多機能型居宅介護　通所介護　訪問介護　認知症対応型共同生活介護などの施設・事業所の理解 【授業概要】 実習先の特徴、対象者、どのようなサービスかをまとめて発表する。 【教科書ページ・参考文献】 中央法規　介護総合演習P74～96　　P144～Ｐ166 【課題・予習・復習・授業準備指示】 実習先の特徴、入居者、どのようなサービスなのかを自分で調べ、グループでパワーポイントにまとめてくること 【予習復習に必要な想定時間】 40～60分
	第１２回	生活支援実習における実習生紹介表作成（書き方・内容説明・下書き）　実習配属先・巡回教員への挨拶 【key words】 自分の強み　介護を志した理由、実習への意欲、自己PR 【授業概要】 実習生紹介票の書き方、内容の説明をもとに下書きを行う。

【教科書ページ・参考文献】
中央法規　介護総合演習Ｐ45
【課題・予習・復習・授業準備指示】
下書きが完成するまで、何度も教員の添削を受けること
【予習復習に必要な想定時間】
40～60分

第１３回　生活支援実習における実習生紹介表作成（書き方・内容説明・下書き）　実習配属先・巡回教員への挨拶

【key words】
自分の強み　介護を志した理由、実習への意欲、自己PR
【授業概要】
実習生紹介票の書き方、内容の説明をもとに下書きを行う。
【教科書ページ・参考文献】
中央法規　介護総合演習Ｐ45
【課題・予習・復習・授業準備指示】
下書きが完成するまで、何度も教員の添削を受けること
【予習復習に必要な想定時間】
40～60分

第１４回　生活支援実習における実習生紹介表作成（清書・仕上げ）

【key words】
自分の強み　介護を志した理由、実習への意欲、自己PR
【授業概要】
実習関係者に把握してもらうための紹介票の清書、仕上げを行う。

【教科書ページ・参考文献】
中央法規　介護総合演習Ｐ45
【課題・予習・復習・授業準備指示】
下書きの段階で教員の添削を受けてから清書をすること
【予習復習に必要な想定時間】
40～60分

第１５回　生活支援実習における実習生紹介表作成（清書・仕上げ）

【key words】
自分の強み　介護を志した理由、実習への意欲、自己PR

【授業概要】
実習関係者に把握してもらうための紹介票の清書、仕上げを行う。

【教科書ページ・参考文献】
中央法規　介護総合演習Ｐ45
【課題・予習・復習・授業準備指示】
下書きの段階で教員の添削を受けてから清書をすること
【予習復習に必要な想定時間】
40～60分

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

最終反省会、実習日誌のまとめ、提出の流れ

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

小規模多機能型居宅介護　通所介護　訪問介護　認知症対応型共同生活介護などの施設・事業所の理解

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

小規模多機能型居宅介護　通所介護　訪問介護　認知症対応型共同生活介護などの施設・事業所の理解

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

	【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 小規模多機能型居宅介護　通所介護　訪問介護　認知症対応型共同生活介護などの施設・事業所の理解 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 実習目標、行動目標 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	介護総合演習は生活支援実習と対となる科目である。よって、科目に対する姿勢・態度や提出物等が重要な意味があることを理解しておくこと。 生活支援実習期間中の帰学日指導は、介護総合演習の出席となる。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	生活支援実習に係る事前学習をすすめておくこと。
オフィスアワー	授業時に指示する。
評価方法	授業に臨む参加態度20%、提出物　40%、課題テスト40%
教科書	新・介護福祉士養成講座　「介護総合演習・介護実習」　中央法規
参考書	「介護実習サポートブック」　実習を乗り切るための40講　看護の科学社
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 高齢者施設にて５年間の介護実務の経験あり。

	アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等) □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等) □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等) □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 介護総合演習Ⅰ-②　　授業コード： J811

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	1単位(30)	介護福祉コース・福祉総合コース・介護福祉士実践コース・選択
担当教員			
辻　志帆			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕 介護福祉士の養成課程での学びと介護実践活動の統合を目指し、将来の介護福祉士としての資質の向上を図り、地域に貢献できる介護人材を育成することを目的とする。 〔到達目標〕 ①利用者の特性や介護専門職の役割を知り、どのようなケアが展開されているか理解できる。 ②利用者の自立支援を目指す計画が、どのようなものかを理解できる。
授業の概要	介護総合演習では、学生が介護実習等に望むための環境を調整することで、必要な知識等を習得することを目的とする科目である。開講される1コマ1コマが重要な意味を持っている。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	◎
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	○
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	△
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	

授業計画	第１回	実習目標作成（書き方・内容説明・下書き）（施設実習） 【key words】 介護実習の目標、行動目標、具体的な目標設定 【授業概要】 実習目標、計画の書き方、内容説明を行い、自分の実習目標を作成し、下書きを行う。 【 【教科書ページ・参考文献】 中央法規　介護総合演習　Ｐ44～46 【課題・予習・復習・授業準備指示】 下書きが完成するまで、何度も教員の添削を受けること 【予習復習に必要な想定時間】 40～60分
	第２回	実習目標作成（清書・仕上げ）（施設実習） 【key words】 目標を意識する、介護実習に主体的に臨む 【授業概要】 中央法規　介護総合演習　Ｐ44～Ｐ46 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 下書きの段階で教員の添削を受けてから清書をすること 【予習復習に必要な想定時間】 40～60分
	第３回	実習目標作成（書き方・内容説明・下書き）（居宅） 【key words】 介護実習の目標、行動目標、具体的な目標設定 【授業概要】 実習目標、計画の書き方、内容説明を行い、自分の実習目標を作成し、下書きを行う。 【教科書ページ・参考文献】 中央法規　介護総合演習　Ｐ44～46 【課題・予習・復習・授業準備指示】 下書きが完成するまで、何度も教員の添削を受けること 【予習復習に必要な想定時間】 40～60分

	第４回	実習目標作成（清書・仕上げ）（居宅） 【key words】 目標を意識する、介護実習に主体的に臨む 【授業概要】 介護実習の目標の清書を行い、実習目標を仕上げる 【教科書ページ・参考文献】 中央法規　介護総合演習　Ｐ44～46 【課題・予習・復習・授業準備指示】 下書きの段階で教員の添削を受けてから清書をすること 【予習復習に必要な想定時間】 40～60分
	第５回	生活支援実習記録物の配布・確認 【key words】 実習ファイル、提出書類、実習日誌、アセスメントシート、プロセスレコード、ICF整理シート、施設概要 【授業概要】 実習日誌、アセスメント用紙、個別援助計画、プロセスレコード、フリーペーパーなどを配布する。 【教科書ページ・参考文献】 中央法規　介護総合演習　P43～48 【課題・予習・復習・授業準備指示】 書類は丁寧に扱い、汚損に気を付けること。 【予習復習に必要な想定時間】 40～60分
	第６回	生活支援実習の記録について（書き方・実践確認） 【key words】 実習日誌、施設概要 【授業概要】 実習日誌の書き方について内容の説明を行い、実践確認を行う。 【教科書ページ・参考文献】 中央法規　介護総合演習　P43～48 【課題・予習・復習・授業準備指示】 実習ファイルは丁寧に扱い、汚損に気を付けること。 【予習復習に必要な想定時間】 40～60分
	第７回	生活支援実習課題テスト 【key words】 生活支援実習を履修するために必要な知識を評価する。 【授業概要】 生活支援実習における課題テストを実施する。 【教科書ページ・参考文献】 事前に伝えているテキスト、配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 事前に伝えている出題範囲の復習を行うこと 【予習復習に必要な想定時間】 40～60分
	第８回	生活支援実習の記録について（内容説明、提出の流れ） 【key words】 実習ファイル、提出書類、実習日誌、アセスメントシート、プロセスレコード、 ICF整理シート、施設概要 【授業概要】 実習ファイルの取り扱い、実習日誌や出席簿、施設概要、総括の書き方内容説明、提出の流れの確認を行う。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ファイルを一人1つ配るので、順番どおりにファイリングし、日誌などは汚損などが無いようにコピーをとっておくこと 【予習復習に必要な想定時間】 ４０～６０分
	第９回	実習準備、実習へ望む姿勢、実習への不安と対策、電話のかけ方、身だしなみ 【key words】 実習開始までの流れと事前学習 【授業概要】 事前学習の意義と目的、介護実習開始までの流れを確認し 事前連絡の準備、身だしなみの確認を行う。

【教科書ページ・参考文献】
中央法規　介護総合演習　Ｐ46～Ｐ61
介護実習サポートブック
【課題・予習・復習・授業準備指示】
実習に臨めるよう身だしなみを整えてくること
施設事業所あてに各自で電話連絡を行い、事前訪問の調整を行うこと
【予習復習に必要な想定時間】
４０～６０分

第１0回　生活支援実習の準備、ガイドラインの説明
【key words】
実習開始までの流れと事前学習　生活支援実習ガイドライン
【授業概要】
事前学習の意義と目的、生活支援実習のガイドライン、介護実習サポートブックを確認する。

【教科書ページ・参考文献】
中央法規　介護総合演習　Ｐ46～Ｐ61
生活支援実習ガイドライン
介護実習サポートブック

【課題・予習・復習・授業準備指示】
実習ガイドラインとサポートブックを各自で読み込み、実習の事前準備をしておくこと。
【予習復習に必要な想定時間】
４０～６０分

第１１回　生活支援実習事前指導
【key words】
小規模多機能型居宅介護　通所介護　訪問介護　認知症対応型共同生活介護などの施設・事業所の理解

実習事前指導
【授業概要】
実習の事前学習および、実習事前指導会を行い。
実習の目標を発表し、実習に向けての意気込みを伝える

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
他者の発表に関心をもち、発表を受けて自分自身の取り組みで改善すべきことを考え、実践すること
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第１２回　生活支援実習Ｉ帰学日指導（情報共有や課題、問題点等の確認）全体
【key words】

【授業概要】

情報共有や課題、問題点の確認を全体で行う
【教科書ページ・参考文献】
配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
記録物をすべて持参し、事前にコピーをとり、手元にあるようにすること。本日までの実習を振り返り、どのような実践をしたか記述し、今後の取り組み、自分自身の課題と目標を振り返りシートに具体的に記入すること。
【予習復習に必要な想定時間】
40～60分

第１３回　生活支援実習Ｉ帰学日指導（中間反省会の実施および記録物等の確認）個別
【key words】
中間反省会
【授業概要】
中間反省会の実施について、記録物等の確認をし、個別指導を行う。

【教科書ページ・参考文献】
配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
記録物をすべて持参し、事前にコピーをとり、手元にあるようにすること。本日までの実習を振り返り、どのような実践をしたか記述し、今後の取り組み、自分自身の課題と目標を振り返りシートに具体的に記入すること。
【予習復習に必要な想定時間】
４０～６０分

第１４回　生活支援実習Ｉ帰学日指導（情報共有や課題、問題点等の確認）全体
【key words】
生活支援実習
【授業概要】
情報共有や課題、問題点の確認を全体で行う。
【教科書ページ・参考文献】
配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
記録物をすべて持参し、事前にコピーをとり、手元にあるようにすること。本日までの実習を振

り返り、どのような実践をしたか記述し、今後の取り組み、自分自身の課題と目標を振り返りシートに具体的に記入すること。
【予習復習に必要な想定時間】
４０～６０分

第１５回　生活支援実習Ⅰ帰学日指導（最終反省会の実施および記録等の確認）個別
【key words】
最終反省会、実習日誌のまとめ、提出の流れ
【授業概要】

最終反省会の実施について、記録物等の確認　個別指導を行う。

【教科書ページ・参考文献】
配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
記録物をすべて持参し、事前にコピーをとり、手元にあるようにすること。本日までの実習を振り返り、どのような実践をしたか記述し、今後の取り組み、自分自身の課題と目標を振り返りシートに具体的に記入すること。
【予習復習に必要な想定時間】
４０～６０分

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

	【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	介護総合演習は生活支援実習と対となる科目である。よって、科目に対する姿勢・態度や提出物等が重要な意味があることを理解しておくこと。 生活支援実習期間中の帰学日指導は、介護総合演習の出席となる。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	生活支援実習に係る事前学習をすすめておくこと。
オフィスアワー	授業時に指示する。
評価方法	授業に臨む参加態度20%、提出物　40%、課題テスト40%
教科書	新・介護福祉士養成講座　「介護総合演習・介護実習」　中央法規
参考書	「介護実習サポートブック」　実習を乗り切るための40講　看護の科学社
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 高齢者施設にて５年間の介護実務の経験あり。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育

	□課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） ■情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 生活支援技術Ⅰ-①（介護技術演習）　　授業コード：J823

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年次	1単位(30)	介護福祉コース・福祉総合コース・介護福祉士実践コース・必修
担当教員			
辻　志帆			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】尊厳の保持の観点から、どのような状態であっても、その人の自立・自律を尊重し、潜在能力を引き 出したり、見守ることも含めた適切な介護技術を用いて、安全に援助できる技術や知識について習得する学習とする。 【到達目標】 適切な介護を提供できるよう、関連事項の知識を理解することができ、実技の基本的知識を身につけることが出来る。
授業の概要	授業は講義および演習とし、単元ごとの講義により必要事項の説明や関連事項の知識を学ぶ。 演習により体験を通して、介護技術の方法を学ぶ。 教科書を中心として、講義・演習を進めていく。 受講生の関心や理解の程度により多少の変更も考慮する。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	◎
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	○
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	△
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	

授業計画	第1回	科目オリエンテーション 【key words】 ガイダンス・オリエンテーション・授業の受け方・実習室の使用の仕方 【授業概要】 授業概要の説明、実習室の取り扱いについて、物品の説明を行い、演習時の身だしなみについて、演習後の環境美化について説明を行う。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ＜予習＞身だしなみを整えて授業に臨むこと、次回から演習の前に身だしなみ確認を行う。 【予習復習に必要な想定時間】
	第2回	生活の理解と生活支援の基本的な考え方 【key words】 生活、ICFの視点 【授業概要】 生活とは何か、生活を理解する視点、介護福祉士が介入する生活の領域を理解する。 【教科書ページ・参考文献】 介護養成テキスト　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ55～56 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義、演習内容を主に復習を行うこと 【予習復習に必要な想定時間】 40～60分
	第3回	生活支援と福祉用具の活用 【key words】 特殊寝台　車いす　手すり　歩行補助具 【授業概要】 福祉用具の種類と機能、生活で福祉用具を活用する視点、福祉用具・住宅改修 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容を主に復習を行うこと

【予習復習に必要な想定時間】
40～60分

第4回　高齢者の生活史を学び、理解する
【key words】
生活史

【授業概要】
高齢者の疑似体験セットを使用し、心身機能の低下を体験し、相手の立場や状況を考えてみる。
【教科書ページ・参考文献】
【教科書ページ・参考文献】
資料配布

【課題・予習・復習・授業準備指示】
【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容を主に復習を行うこと

【予習復習に必要な想定時間】
40～60分

第5回　自立に向けた睡眠の介護
【key words】
レム睡眠　ノンレム睡眠　サーガディアンリズム

【授業概要】
睡眠とは、自立生活を支える睡眠の介護とは
【教科書ページ・参考文献】
【教科書ページ・参考文献】
介護福祉士養成テキスト3　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・Ⅱ　P223～229
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容を主に復習を行うこと
【予習復習に必要な想定時間】
40～60分

第6回　自立に向けた睡眠の介護まとめ
【key words】

【授業概要】
睡眠の意義と目的、睡眠における介護技術の確認テスト
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容を主に復習を行うこと
【予習復習に必要な想定時間】
40～60分

第7回　体位変換の介助
【key words】
上方移動　水平移動　側臥位

【授業概要】
体位変換の介助、アセスメントの視点、介助の実際、介助の留意点
【教科書ページ・参考文献】
介護福祉士養成テキスト3　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・Ⅱ　P64～68、P73～81
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容をボランティア等で確認し、繰り返し復習を行うこと
【予習復習に必要な想定時間】
40～60分

第8回　安楽な体位を保持する介助
【key words】
安楽、良肢位　仰臥位　側臥位、端座位

【授業概要】
安楽な体位を保持する介助の目的、褥瘡の予防、安楽な体位を保持する介助におけるアセスメントの視点、

【教科書ページ・参考文献】
【教科書ページ・参考文献】
介護福祉士養成テキスト3　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・Ⅱ　P68～70
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容をボランティア等で確認し、繰り返し復習を行うこと

【予習復習に必要な想定時間】
40～60分

第8回　車イスの介護

【key words】
自走式　介助式　リクライニング、ティルト機能　電動

【授業概要】
車いすの基本構造、車椅子の使い方、車いす介助のおけるアセスメントの視点、
【教科書ページ・参考文献】
【教科書ページ・参考文献】
介護福祉士養成テキスト3　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・Ⅱ　P82～92
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容をボランティア等で確認し、繰り返し復習を行うこと
【予習復習に必要な想定時間】
40～60分

第9回　自立に向けた移動の介護まとめ

【key words】

【授業概要】
移動の意義と目的、移動、移乗における介護技術等の範囲における確認テスト

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
【課題・予習・復習・授業準備指示】

事前に伝えてある出題範囲をよく復習しておくこと
【予習復習に必要な想定時間】
40～60分

第10回　自立にむけた身じたくにおけるアセスメント

【key words】
身じたく、整容、更衣

【授業概要】
身じたくにおけるアセスメント、ＴＰＯに応じた身じたく、身じたくにおける介護技術

【教科書ページ・参考文献】
【教科書ページ・参考文献】
介護福祉士養成テキスト3　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・Ⅱ　P137～139
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容を主に復習を行うこと
【予習復習に必要な想定時間】
40～60分

第11回　口腔ケアのアセスメント

【key words】
口腔ケア、機能的、器質的口腔ケア

【授業概要】
口腔ケアにおけるアセスメントの視点、口腔ケアの基本、

【教科書ページ・参考文献】
【教科書ページ・参考文献】
介護福祉士養成テキスト3　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・Ⅱ　P141～146
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容を主に復習を行うこと
【予習復習に必要な想定時間】
40～60分

第12回　衣服の着用の目的と選択の基準

【key words】
綿、伸縮性、通気性、吸湿性

【授業概要】
衣服を着用する目的、衣服の種類と洗濯に必要な視点、衣服の着脱の介助におけるアセスメントの視点

【教科書ページ・参考文献】
【教科書ページ・参考文献】

		介護福祉士養成テキスト3　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・Ⅱ　P146～148 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義、演習内容を主に復習を行うこと 【予習復習に必要な想定時間】 40～60分
	第13回	衣服の着脱の介助 【key words】 脱健着患、麻痺の障害部位 【授業概要】 自立度が高い利用者の介助、麻痺、ベット上での介助 【教科書ページ・参考文献】 【教科書ページ・参考文献】 介護福祉士養成テキスト3　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・Ⅱ　P148～153 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義、演習内容をボランティア等で確認し、繰り返し復習を行うこと 【予習復習に必要な想定時間】 40～60分
	第14回	前期のまとめ 【key words】 【授業概要】 生活の理解、睡眠の介護、移動の介護、身じたくの介護の復習、確認 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 前期の講義、演習内容の復習を行い、前期定期試験に備えること。 【予習復習に必要な想定時間】 40～60分
	第15回	自立に向けた入浴・清潔保持の介護 【key words】 全身浴、部分浴、清潔保持 【授業概要】 入浴の介助、部分浴の介助、清潔保持の介助について 【教科書ページ・参考文献】 【教科書ページ・参考文献】 介護福祉士養成テキスト3　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・Ⅱ　P161～173 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【課題・予習・復習・授業準備指示】講義、演習内容を主に復習を行うこと 【予習復習に必要な想定時間】 40～60分 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】

	【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	・演習時は、学校指定のジャージを着用すること。(学校指定ポロシャツ以外に親睦スポーツ大会でのクラスTシャツは許可する。) 〔受講のルール〕 ・他の受講生の迷惑となる行為（私語、携帯電話の使用）は厳禁。 ・遅刻、欠席、早退の場合は、理由を申し出ること。 ・身だしなみを整え、爪は短く、長い髪は束ねること。（講義を始める前に身だしなみのチェックを行う。） ・上履きの後は踏まないこと。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	毎回の講義・演習内容を主に復習を重ねること。
オフィスアワー	初回授業時に指示する。
評価方法	平常点20%、レポート・小テスト20%、定期試験60% ※出欠状況や授業態度も含み総合的に評価する。
教科書	介護福祉士養成テキスト3　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・Ⅱ
参考書	必要時、資料を配布し、参考文献は授業時に適宜紹介する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 高齢者施設にて介護実務の経験あり。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

	情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） ■情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 生活支援技術Ⅰ-②（介護技術演習）　　授業コード：J824

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	1単位(30)	介護福祉コース・福祉総合コース・介護福祉士実践コース・必修
担当教員			
辻　志帆			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】尊厳の保持の観点から、どのような状態であっても、その人の自立・自律を尊重し、潜在能力を引き 出したり、見守ることも含めた適切な介護技術を用いて、安全に援助できる技術や知識について習得する学習とする。 【到達目標】 適切な介護を提供できるよう、関連事項の知識を理解することができ、実技の基本的知識を身につけることが出来る。
授業の概要	授業は講義および演習とし、単元ごとの講義により必要事項の説明や関連事項の知識を学ぶ。 演習により体験を通して、介護技術の方法を学ぶ。 教科書を中心として、講義・演習を進めていく。 受講生の関心や理解の程度により多少の変更も考慮する。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	◎
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	○
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	△
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	

授業計画		
	第1回	入浴の介護・機械浴 【key words】 入浴の介護・機械浴 【授業概要】 入浴の介護、機械浴の演習 【教科書ページ・参考文献】 介護福祉士養成テキスト3　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・Ⅱ　P165 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義、演習内容をボランティア等で確認し、繰り返し復習を行うこと 【予習復習に必要な想定時間】 40～60分
	第2回	清潔保持の介助・洗髪の介護 【key words】 ケリーパッド,臥床した状態での介助 【授業概要】 清潔保持の介助・洗髪の介助について、演習 【教科書ページ・参考文献】 介護福祉士養成テキスト3　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・Ⅱ　P170～173 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義、演習内容を主に復習を行うこと 【予習復習に必要な想定時間】 40～60分
	第3回	自立に向けた入浴・清潔保持の介護まとめ 【key words】 【授業概要】 入浴清潔保持の意義と目的、入浴清潔保持の介護技術における確認テスト 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 事前に伝えてある出題範囲をよく復習しておくこと 【予習復習に必要な想定時間】 40～60分
	第4回	自立に向けた食事の介護 【key words】

食事、自立支援、食生活、嗜好
【授業概要】
食事におけるアセスメント
【教科書ページ・参考文献】
介護福祉士養成テキスト3　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ95～101

【課題・予習・復習・授業準備指示】
【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容を主に復習を行うこと

【予習復習に必要な想定時間】
40～60分

第5回　食形態の工夫、食事の姿勢、脱水予防
【key words】
食事の姿勢、環境、食器、アセスメント、嚥下、咀嚼

【授業概要】
食べ物の形態を工夫する、食事の姿勢について、脱水の原因、予防について
【教科書ページ・参考文献】
介護福祉士養成テキスト3　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ105～107
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容を主に復習を行うこと
【予習復習に必要な想定時間】
40～60分

第6回　高齢者の身体の変化と食生活の配慮
【key words】
低栄養、咀嚼
【授業概要】
高齢者の身体機能と栄養、食品、調理、調理形態の配慮
【教科書ページ・参考文献】
資料配布
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容を主に復習を行うこと
【予習復習に必要な想定時間】
40～60分

第7回　咀嚼や嚥下障害のある場合の食事介助
【key words】
一口大、きざみ食、ソフト食、とろみ
【授業概要】
嚥下障害のある人への食事の配慮、食事の介助、用具について
【教科書ページ・参考文献】
介護福祉士養成テキスト3　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ106
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容をボランティア等で確認し、繰り返し復習を行うこと
【予習復習に必要な想定時間】
40～60分

第8回　自立に向けた食事の介護まとめ
【key words】

【授業概要】
食事の意義と目的、食事における介護技術の範囲においての確認テスト
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
事前に伝えてある出題範囲をよく復習しておくこと
【予習復習に必要な想定時間】
40～60分

第9回　自立に向けた排泄の介護
【key words】
プライバシーの保護、羞恥心

【授業概要】
排泄の介護における自立への視点、排泄におけるアセスメント
【教科書ページ・参考文献】
介護福祉士養成テキスト3　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ111～112
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容をボランティア等で確認し、繰り返し復習を行うこと
【予習復習に必要な想定時間】
40～60分

第10回　排泄介護における福祉用具の理解
【key words】
トイレ、ポータブルトイレ、便器、オムツ
【授業概要】
排泄のための道具、用具、種類と選定について
【教科書ページ・参考文献】
介護福祉士養成テキスト3　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ127～129
【課題・予習・復習・授業準備指示】
講義、演習内容を主に復習を行うこと
【予習復習に必要な想定時間】
40～60分

第11回　排泄介護・差し込み便器・尿器での介護
【key words】
男性、女性の対応
【授業概要】
尿器、差し込み便器を使用した排泄の介助、演習
【教科書ページ・参考文献】
介護福祉士養成テキスト3　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ128～129
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容を主に復習を行うこと
【予習復習に必要な想定時間】
40～60分

第12回　排泄介護・紙おむつの当て方
【key words】
尿取りパッド、テープ止め

【授業概要】
紙おむつを使用した排泄の介助、演習

【教科書ページ・参考文献】
介護福祉士養成テキスト3　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ122～127
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容を主に復習を行うこと
【予習復習に必要な想定時間】
40～60分

第13回　排泄介護・紙おむつの当て方
【key words】
尿取りパッド、テープ止め、

【授業概要】
紙おむつを使用した排泄の介助、演習

【教科書ページ・参考文献】
介護福祉士養成テキスト3　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ122～127
【課題・予習・復習・授業準備指示】
講義、演習内容を主に復習を行うこと
【予習復習に必要な想定時間】
40～60分

第14回　自立に向けた排泄の介護のまとめ
【key words】

【授業概要】
排泄の意義と目的、排泄の介護技術の範囲における確認テスト
【教科書ページ・参考文献】
配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
事前に提示してある範囲を良く復習しておくこと
【予習復習に必要な想定時間】
40～60分

第15回　総合的な介護演習2
【key words】

【授業概要】

事例に基づいた介護技術の発表、振り返り
【教科書ページ・参考文献】
配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【課題・予習・復習・授業準備指示】

	後期の講義、演習内容の復習を行い、後期定期試験に備えること。 【予習復習に必要な想定時間】 40～60分 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】

	【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	・演習時は、学校指定のジャージを着用すること。(学校指定ポロシャツ以外に親睦スポーツ大会でのクラスTシャツは許可する。) 〔受講のルール〕 ・他の受講生の迷惑となる行為（私語、携帯電話の使用）は厳禁。 ・遅刻、欠席、早退の場合は、理由を申し出ること。 ・身だしなみを整え、爪は短く、長い髪は束ねること。（講義を始める前に身だしなみのチェックを行う。） ・上履きの後は踏まないこと。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	毎回の講義・演習内容を主に復習を重ねること。
オフィスアワー	初回授業時に指示する。
評価方法	平常点20%、レポート・小テスト20%、定期試験60% ※出欠状況や授業態度も含み総合的に評価する。
教科書	介護福祉士養成テキスト3　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・Ⅱ
参考書	必要時、資料を配布し、参考文献は授業時に適宜紹介する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 高齢者施設にて介護実務の経験あり。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等) □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等) □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等) ■情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 生活支援技術Ⅱ-①（介護技術演習）　　授業コード：J825

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年次	1単位(30)	介護福祉コース・福祉総合コース・介護福祉士実践コース・必修
担当教員			
辻　志帆			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 尊厳の保持の観点から、どのような状態であっても、その人の自立・自律を尊重し、潜在能力を引き出したり、見守ること も含めた適切な介護技術を用いて、安全に援助できる技術や知識について習得する学習とする。 【到達目標】 適切な介護を提供出来るよう実技の技術を習得し、科学的根拠に基づいた介護技術を身につけることが出来る。
授業の概要	授業は講義および演習とし、単元ごとの講義により必要事項の説明や関連事項の知識を学ぶ。 演習により体験を通して、介護技術の方法を学ぶ。 教科書を中心として、講義・演習を進めていく。 受講生の関心や理解の程度により多少の変更も考慮する。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	◎
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	○
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	△
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	

授業計画	第１回	科目オリエンテーション 【key words】 ガイダンス・オリエンテーション・授業の受け方 【授業概要】 授業概要の説明、実習室の取り扱いについて、物品の説明、アイスブレーク 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 身だしなみを整えて授業に臨むこと、次回から演習の前に身だしなみ確認を行う。 【予習復習に必要な想定時間】 40～60分
	第２回	生活の理解 【key words】 生活 【授業概要】 生活の場の特徴、生活の構成要素　【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【教科書ページ・参考文献】 介護養成テキスト　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ55～56 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義、演習内容を主に復習を行うこと 【予習復習に必要な想定時間】 40～60分
	第３回	生活支援と介護予防 【key words】 介護予防 【授業概要】 介護予防とは、介護保険と介護予防、生活における介護予防の視点

【教科書ページ・参考文献】
【教科書ページ・参考文献】
介護養成テキスト　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ57～59
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容を主に復習を行うこと
【予習復習に必要な想定時間】
40～60分

第４回　自立に向けた居住環境の整備

【key words】
住まい、生活空間、家

【授業概要】
居住環境の意義、生活空間と介護、居住環境のアセスメント、住まいの種類と特徴

【教科書ページ・参考文献】
【教科書ページ・参考文献】
介護養成テキスト　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ181～197
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容を主に復習を行うこと
【予習復習に必要な想定時間】
40～60分

第５回　睡眠の意義と目的

【key words】
睡眠　睡眠障害

【授業概要】
睡眠におけるアセスメント、睡眠の効果、睡眠障害、睡眠を妨げる要因

【教科書ページ・参考文献】
【教科書ページ・参考文献】
介護養成テキスト　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ214～222
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容を主に復習を行うこと
【予習復習に必要な想定時間】
40～60分

第６回　ベットメーキング

【key words】
シーツ、枕、枕カバー、防水シーツ、ベットパッド

【授業概要】
安眠の介助の基本的理解、ベットメイキング、睡眠の介助

【教科書ページ・参考文献】
【教科書ページ・参考文献】
資料配布
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容をボランティア等で確認し、繰り返し復習を行うこと
【予習復習に必要な想定時間】
40～60分

第７回　移動の意義と目的

【key words】
移動　移乗　基本的欲求　活動範囲

【授業概要】
移動、移乗の介護の基本的理解、基礎知識
【教科書ページ・参考文献】
【教科書ページ・参考文献】
介護養成テキスト　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・Ⅱ61～70
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容をボランティア等で確認し、繰り返し復習を行うこと
【予習復習に必要な想定時間】

40～60分
第８回　ボディーメカニクスの活用
【key words】
重心　てこの原理　支持基底面積

【授業概要】
ボディーメカニクス、ボディーメカニクスの基本原理、重心と姿勢の安定

【教科書ページ・参考文献】
【教科書ページ・参考文献】
介護養成テキスト　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ70～73
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容をボランティア等で確認し、繰り返し復習すること
【予習復習に必要な想定時間】
40～60分
第９回　移動・移乗のための道具・用具
【key words】
ギャッジベッド、車いす、スライディングボード、リフト

【授業概要】
移動に関する福祉用具の紹介、車椅子の種類
【教科書ページ・参考文献】
【教科書ページ・参考文献】
介護養成テキスト　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ90～91
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容をボランティア等で確認し、繰り返し復習すること
【予習復習に必要な想定時間】
40～60分
第１０回　車いす体験
【key words】
シート、アームサポート、フットサポート、駆動輪、キャスタ、ティッピングレバー

【授業概要】
車いす介助の実際、平地、坂道、段差、凹凸道走行

【教科書ページ・参考文献】
【教科書ページ・参考文献】
介護養成テキスト　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ86～90
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容をボランティア等で確認し、繰り返し復習すること
【予習復習に必要な想定時間】
40～60分
第１１回　身じたくの意義と目的
【key words】
整容、洗面、整髪、爪、耳、化粧

【授業概要】
身じたくの介護とは、身じたくの種類と意義
【教科書ページ・参考文献】
【教科書ページ・参考文献】
介護養成テキスト　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ136～139
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容を主に復習すること
【予習復習に必要な想定時間】
40～60分
第１２回　口腔ケアの基礎知識
【key words】
口腔ケア,機能的口腔ケア、器質的口腔ケア

【授業概要】
口腔ケア、口腔ケアの基礎知識、口腔ケアの目的と効果

【教科書ページ・参考文献】
【教科書ページ・参考文献】

介護養成テキスト　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ140～146
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容をボランティア等で確認し、繰り返し復習すること
【予習復習に必要な想定時間】
40～60分

第１３回　被服生活の基本知識
【key words】
被服生活

【授業概要】
被服生活とは、被服の管理

【教科書ページ・参考文献】
【教科書ページ・参考文献】
Ｐ146～148　資料配布
【課題・予習・復習・授業準備指示】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容を主に復習すること
【予習復習に必要な想定時間】
40～60分

第１４回　衣服の着脱の介助
【key words】
着脱　脱健着患

【授業概要】
衣服の着脱の介助の実際、自立度別介助の視点

【教科書ページ・参考文献】
【教科書ページ・参考文献】
介護養成テキスト　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ148～155
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容をボランティア等で確認し、繰り返し復習すること
【予習復習に必要な想定時間】
40～60分

第１５回　自立に向けた身じたくの介護まとめ
【key words】

【授業概要】
身じたくの意義と目的、身じたくにおける介護技術の範囲における確認テスト
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
【課題・予習・復習・授業準備指示】

事前に伝達してある出題範囲の復習をおこなうこと
【予習復習に必要な想定時間】
40～60分

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

	【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】

	【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	〔受講生に関わる情報〕 ・演習時は、学校指定のジャージを着用すること。(学校指定ポロシャツ以外に親睦スポーツ大会でのクラスTシャツは許可する。) 〔受講のルール〕 ・他の受講生の迷惑となる行為（私語、携帯電話の使用）は厳禁。 ・遅刻、欠席、早退の場合は、理由を申し出ること。 ・身だしなみを整え、爪は短く、長い髪は束ねること。（体育保健委員が講義を始める前に身だしなみのチェックを行う。） ・上履きの後は踏まないこと。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	毎回の講義・演習内容を主に復習を重ねること。
オフィスアワー	初回授業時に指示する。

評価方法	平常点20%、レポート・小テスト20%、定期試験60% ※出欠状況や授業態度も含み総合的に評価する。
教科書	介護福祉士養成テキスト3　コミュニケーション技術／生活支援技術Ⅰ・Ⅱ
参考書	必要時、資料を配布し、参考文献は授業時に適宜紹介する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 高齢者施設にて5年間介護実務の経験あり。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） ■情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 生活支援技術Ⅱ-②（介護技術演習）　　授業コード： J826

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	1単位(30)	介護福祉コース・福祉総合コース・介護福祉士実践コース・必修
担当教員			
辻　志帆			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 尊厳の保持の観点から、どのような状態であっても、その人の自立・自律を尊重し、潜在能力を引き出したり、見守ること も含めた適切な介護技術を用いて、安全に援助できる技術や知識について習得する学習とする。 【到達目標】 適切な介護を提供出来るよう実技の技術を習得し、科学的根拠に基づいた介護技術を身につけることが出来る。
授業の概要	授業は講義および演習とし、単元ごとの講義により必要事項の説明や関連事項の知識を学ぶ。 演習により体験を通して、介護技術の方法を学ぶ。 教科書を中心として、講義・演習を進めていく。 受講生の関心や理解の程度により多少の変更も考慮する。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	◎
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	○
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	△
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	

授業計画	第１回　入浴・清潔保持の意義と目的 【key words】 入浴　清潔保持 【授業概要】 入浴・清潔保持の意義と目的、入浴清潔保持におけるアセスメント 【教科書ページ・参考文献】 介護養成テキスト　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ158～161 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義、演習内容を主に復習すること 【予習復習に必要な想定時間】 40～60分 第２回　入浴の介護・一般浴 【key words】 入浴・清潔保持の意義と目的、入浴清潔保持におけるアセスメント 【授業概要】 入浴の介護・一般浴の演習 【教科書ページ・参考文献】 介護養成テキスト　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ161～165 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義、演習内容を主に復習を行うこと 【予習復習に必要な想定時間】 40～60分 第３回　清潔保持の介助・部分浴の介助 【key words】 手浴、足浴 【授業概要】 清潔保持の介助、手浴、足浴の介助 【教科書ページ・参考文献】 介護養成テキスト　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ167～168 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容を主に復習を行うこと
【予習復習に必要な想定時間】
40～60分

第４回　清潔保持の介護・清拭の介助
【key words】
全身清拭　部分清拭、陰部洗浄
【授業概要】
清潔保持の介護・清拭の介助、演習

【教科書ページ・参考文献】
介護養成テキスト　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ170～173
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容を主に復習を行うこと
【予習復習に必要な想定時間】
40～60分

第５回　食事の意義と目的
【key words】
食事、栄養素、健康維持、食生活
【授業概要】
自立生活を支える食事の介護

【教科書ページ・参考文献】
介護養成テキスト　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ94～96
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容を主に復習を行うこと
【予習復習に必要な想定時間】
40～60分

第６回　食事の基本的な知識・誤嚥の予防と対応
【key words】
誤嚥　誤嚥性肺炎

【授業概要】
食事の介助を行うにあたって、食事の介助におけるアセスメントの視点、誤嚥、窒息の防止

【教科書ページ・参考文献】
介護養成テキスト　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ96～100、Ｐ104～105
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容をボランティア等で確認し、繰り返し復習を行うこと
【予習復習に必要な想定時間】
40～60分

第７回　食生活の基本知識
【key words】
食文化、食生活の変化、栄養

【授業概要】
食文化、食生活の変化、栄養の理解、障害のある人の栄養と食生活
【教科書ページ・参考文献】
資料配布
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容をボランティア等で確認し、繰り返し復習を行うこと
【予習復習に必要な想定時間】
40～60分

第８回　自立度の高い人の食事介助
【key words】
食事介助、自立支援

【授業概要】
食事の介助における自立度別介助の視点、自立度が高い利用者の介助、演習
【教科書ページ・参考文献】
介護養成テキスト　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ101～103
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容をボランティア等で確認し、繰り返し復習すること
【予習復習に必要な想定時間】
40～60分

第９回　臥床した状態での食事介助
【key words】
食事介助、自立支援

【授業概要】
一部介助、全介助を要する利用者、食事の介助の実際、演習
【教科書ページ・参考文献】
介護養成テキスト　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ103～106
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容をボランティア等で確認し、繰り返し復習すること
【予習復習に必要な想定時間】
40～60分

第１０回　排泄の意義と目的
【key words】
排泄、新陳代謝、老廃物、プライバシー、羞恥心

【授業概要】
自立生活を支える排泄の介護とは
【教科書ページ・参考文献】
介護養成テキスト　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ110～112

【課題・予習・復習・授業準備指示】
【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容をボランティア等で確認し、繰り返し復習すること
【予習復習に必要な想定時間】
40～60分

第１１回　自立に向けた排泄介護の意義と目的
【key words】
排泄　羞恥心　プライバシーの保護
【授業概要】
自立生活を支える排泄の介護とは、排泄に関する基礎知識
【教科書ページ・参考文献】
介護養成テキスト　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ113～117
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容をボランティア等で確認し、繰り返し復習すること
【予習復習に必要な想定時間】
40～60分

第１２回　排泄介護・ポータブルトイレでの介護
【key words】
トイレ、ポータブルトイレ

【授業概要】
排泄の介護の実際、トイレ、ポートブルトイレを使用した介助、演習
【教科書ページ・参考文献】
介護養成テキスト　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ117～121
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容をボランティア等で確認し、繰り返し復習すること
【予習復習に必要な想定時間】
40～60分

第１３回　排泄介護・布おむつ・紙おむつでの介護
【key words】
和オムツ　オムツカバー　尿取りパッド　紙おむつ

【授業概要】
オムツとパッドの特徴と選択の視点、吸収、装着体験、装着の演習
【教科書ページ・参考文献】
介護養成テキスト　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ122～127
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容を主に復習すること
【予習復習に必要な想定時間】
40～60分

第１４回　排泄介護・布おむつの当て方
【key words】
男性の対応、女性の対応

【授業概要】
布オムツの装着方法、布オムツを使用した介助、演習
【教科書ページ・参考文献】
資料配布
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容をボランティア等で確認し、繰り返し復習すること
【予習復習に必要な想定時間】
40～60分

	第１５回	利用者の状態に応じた介護方法 【key words】 排泄介助、着脱介助、移動介助 【授業概要】 身じたくの意義と目的、身じたくにおける介護技術の範囲における確認テスト 【教科書ページ・参考文献】 排泄、着脱から移動までの一連の流れを事例を用い、演習を行う 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義、演習内容を確認し、繰り返し実践し発表に臨む事 【予習復習に必要な想定時間】 40～60分 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】

	【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】

	【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	〔受講生に関わる情報〕 ・演習時は、学校指定のジャージを着用すること。(学校指定ポロシャツ以外に親睦スポーツ大会でのクラスTシャツは許可する。) 〔受講のルール〕 ・他の受講生の迷惑となる行為（私語、携帯電話の使用）は厳禁。 ・遅刻、欠席、早退の場合は、理由を申し出ること。 ・身だしなみを整え、爪は短く、長い髪は束ねること。（体育保健委員が講義を始める前に身だしなみのチェックを行う。） ・上履きの後は踏まないこと。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	毎回の講義・演習内容を主に復習を重ねること。
オフィスアワー	初回授業時に指示する。
評価方法	平常点20%、レポート・小テスト20%、定期試験60% ※出欠状況や授業態度も含み総合的に評価する。
教科書	介護福祉士養成テキスト3　コミュニケーション技術／生活支援技術Ⅰ・Ⅱ
参考書	必要時、資料を配布し、参考文献は授業時に適宜紹介する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 高齢者施設にて5年間介護実務の経験あり。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） ■情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称：　介護過程の展開Ⅰ-①　　授業コード：J841

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年次	1単位(30)	介護福祉コース・福祉総合コース・介護福祉士実践コース・選択
担当教員			
白井　幸久・清水　久二雄			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〈授業の目的〉 ・介護過程とは思いつきや一方的な支援ではありません。生活する利用者が主体的に自身の人生を、機能低下、および障　害が出現してもその人らしく生活できることを支援する技術となります。そのためなぜこの支援を行うのかという科学　的な根拠や論理性に基づいて支援されなければ、利用者の主体性やその人らしさをサポートするのは困難となります。 　そのために介護過程のプロセスを理解するとともにそれらが科学的根拠に基づいて展開する事ができる。 介護計画を 　立案し適切な介護サービスの提供ができる能力を身につける事を目的としています。 〈授業の到達目標〉 ①　アセスメントする為の情報収集・科学的根拠に基づき情報を統合しニーズや課題抽出する事ができる。 ②　①の前提で適切な介護サービスの質と量を踏まえた計画立案ができる。 ③　知識と技術を統合した介護計画の実践ができ、更にサービス提供した結果を適正に振り返る事ができる。
授業の概要	・支援とは何かを理解する事が重要であるため、必要な知識を身につけるのはもちろんですが、それ以上に「思考する」 　事が重要となります。この思考は本科目以外の他科目で得た知識や技術を統合するものでもあります。実際に知識や技 　術などを思考の材料とし、どのような支援を行い、主体的で自立した生活を送ることができるのかを目指して衣いくの　で、授業の中心は演習となります。 ・演習の内容はまず思考すること、そしてそれらを記述したり、口頭で発表したり、グループでディスカッションを行い 　ます。他科目で得た知識、技術を統合する科目であり、個々の生活課題やニーズにふさわしいサービスを科学的に思考　する科目ですから、創造的な学びとなります。 ・介護実習Ⅱでは介護過程が必須となります。そのため、本授業で様々な思考法を実践する事で実習が充実したものとな 　ります。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	○
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	◎
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	△

授業計画	第１回	科目ガイダンス　授業の進め方　介護過程とは何か 【key words】 介護過程　PDCA 【授業概要】 ・介護過程の授業とはどんな事を学ぶものかを授業概要を用いて説明する。また介護過程の展開は実習で実践 　事になる為、今後の1年次・2年次にどのように進めていくのかを解説する。その後身近にあるＰＤＣＡサ 　イクルについて触れる。 【教科書ページ・参考文献】 介護過程テキスト　Ｐ125・128-130 【課題・予習・復習・授業準備指示】 〈復習〉介護過程テキスP125、128-130　　〈予習〉PDCAサイクルとは何かを調べPDCAサイクルの具体例を探す。 【予習復習に必要な想定時間】 60～80分
	第２回	「介護過程」の意義と目的　　（ 身近なPDCAサイクル ） 【key words】 介護過程　　構成要素　　思考 【授業概要】 ・介護という概念の整理のために応援、お手伝い、世話、面倒を見る、支援などどのように違うのかを比較す 　る。その後介護過程が何故必要なのかその意義と目的ついて触れる

【教科書ページ・参考文献】
介護過程テキスト　Ｐ135-137
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉介護過程テキストＰ135-137　　〈予習〉介護過程テキスト127-130
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第３回　「生活支援」とは何か。　（生活支援が目指すもの　個別ケアと自立支援を考えよう）
【key words】
生活支援　　個別ケア　自立支援

【授業概要】
・これまでのＰＤＣＡサイクルを元に、介護過程の全体像について学ぶ。特に「生活を支える」という言葉は
　どのような意味が込められているのかについて、学生自身と、周囲の仲間がどのようにとらえ、生活支援、
　個別ケア、自立支援とは何かを考えていく。
【教科書ページ・参考文献】
介護過程テキストＰ127-130　　パワーポイント資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉介護過程テキストＰ127-130　　〈予習〉介護P過程テキスト128-134
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第４回　「介護過程」の全体像を知る　　（介護過程の展開）
【key words】
アセスメント　計画　実施　評価　再アセスメント

【授業概要】
・介護過程はどのように展開されるのか、全体的な流れ・サイクルを学ぶ。そのために身近な事例を用いなが
　ら、実際にグループワークなどの演習を通してこれらのサイクルに必要な視点は何かを体験しながら学んで
　いく。
【教科書ページ・参考文献】
介護過程テキストP128-134　　パワーポイント資料を使用
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉介護過程テキストP128-134　　〈予習〉介護過程テキストP184-187
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第５回　アセスメント　情報収集とは　（主観的情報と客観的情報）
【key words】
アセスメント　情報　情報収集

【授業概要】
・介護過程におけるアセスメントの段階を学ぶ。その後「情報収集」について、まず情報とは何かについて学
　ぶ。その後情報の種類や内容についてはどのように取り扱うのがよいのかについてを演習を通じて学ぶ

【教科書ページ・参考文献】
介護過程テキストＰ184-187　　パワーポイント資料を使用
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉介護過程テキストP184－187　　〈予習〉介護過程テキストP134-135　P189
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第６回　ICF　（国際生活機能分類）とは　（ICIDH（国際障害分類）との比較）
【key words】
WHO　世界保健機関　ICIDH　国際障害分類　ICF　国際生活機能分類
【授業概要】
・アセスメントする上で「障害」、「生活機能」という言葉の整理が重要である。そのためにWHOが提唱した　障害分類(ICIDH)とを比較し、生活機能分類(ICF)を通じて、情報の整理の仕方について学ぶ。

【教科書ページ・参考文献】
介護過程テキストP134-135　P189　　パワーポイント資料を使用

【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉介護過程テキストP184－187　　〈予習〉介護過程テキストP134-135　P189
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第７回　ICF　（国際生活機能分類）の構造
【key words】
WHO　世界保健機関　ICIDH　国際障害分類　ICF　国際生活機能分類
【授業概要】
・アセスメントする上で「障害」、「生活機能」という言葉の整理が重要である。そのためにWHOが提唱した　障害分類(ICIDH)と生活機能分類(ICF)を通じて、情報の整理の仕方について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
介護過程テキストP134-135　P189　　パワーポイント資料を使用
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉介護過程テキストP134-135　P189　　〈予習〉介護過程テキストP134-135　P189
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第８回　ICF　（国際生活機能分類）における生活機能の理解

【key words】
生活機能と背景因子　身心機能・身体構造　活動　参加

【授業概要】
・情報の分析を行う上では生活機能と背景因子の整理が重要である。今回の授業ではその生活機能についてふ　れる。生活機能には3つの側面がある事を学び、それぞれがどのように影響し合うのかについて事例を用いて学ぶ。

【教科書ページ・参考文献】
介護過程テキストP189-199　パワーポイント資料を使用
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習・予習〉　介護過程テキストP189-199
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第９回　　ICF　(国際生活機能分類)における背景因子の理解
【key words】
生活機能と背景因子　環境因子　個人因子

【授業概要】
・情報の分析を行う上では生活機能と背景因子の整理が重要である。今回の授業ではその生活機能についてふ　れる。生活機能には3つの側面がある事を学び、それぞれがどのように影響し合うのかについて事例を用い
　て学ぶ。

【教科書ページ・参考文献】
介護過程テキストP189-199　パワーポイント資料を使用
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習・予習・次回授業までの準備〉
・復習と予習の為にP189-199を読んできて欲しい。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第１０回　　ICF　(国際生活機能分類)の視点に立った情報の整理
【key words】
情報の整理　　分析　　観察　　データ観察　　行動観察　　介入観察
【授業概要】
・ICFのそれぞれの視点に立って、利用者の状態を観察するという事は何かについて学ぶ。観察の3つの視点
　(データ・行動・介入)について1つの事例を用いて、演習を行いながら学ぶ。また10回の授業以降は実習で
　使用する用紙を実際に使用し、まず記載の方法について確認する。その後事例を用いて記載する。
【教科書ページ・参考文献】
介護過程テキストP189-199　パワーポイント資料を使用

【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習・予習〉　介護過程のテキストP155-156
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第１１回　　ICF　(国際生活機能分類)の視点による情報の解釈
【key words】
情報の解釈　情報の分析　情報の意味
【授業概要】
・1つの情報が持つ様々な意味を概念、理論などからについて学ぶ。また個人ワークにて調べ学習し、その後
　はグループによる協同学習を通じ分析した内容を相互に発表し合いで学びを深めていく。
【教科書ページ・参考文献】
介護過程テキストP155- 156　パワーポイント資料を使用

【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉介護過程テキストP155-156　個人ワークで調べたものを整理して欲しい。
〈予習〉介護過程テキストP210-214
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第１２回　　情報の解釈　(事例)
【key words】
情報の統合化　　情報の関連

【授業概要】
・情報の意味を分析した後に、様々な情報同士が関連しあうことについて学ぶ。まず個人ワークとして情報同　士のつながりを小さなまとまりとしてまとめていく。その後グループで協議しあい、解説を加えながら、課題やニーズの考え方について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
介護過程テキストP210-214　パワーポイント資料を使用

【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習・予習〉介護過程テキストP210-214今回まとめた個人ワークで調べたものを整理すること
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第１３回　　ICF　(国際生活機能分類)の視点による情報の統合化
【key words】
情報の統合化　　情報の関連
【授業概要】
・情報の統合化をICFの概念図上で書き出してみて、情報同士がどのように深く関わりあっている

のか、影響　力が強いものはどれかをグループ毎に演習する。その後前回学んだニーズや課題についてどのようなものが
　抽出されたのかの発表と解説を行いながら学びを深めていく。

【教科書ページ・参考文献】
介護過程テキストP210-214　パワーポイント資料を使用
【課題・予習・復習・授業準備指示】
<復習・予習>介護過程テキストP210-214。　今回まとめた個人ワークで調べたものを整理すること。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第１４回　　情報の統合化　(事例)
【key words】
情報の統合化　　情報の関連　　ニーズ　課題
【授業概要】
・実習で使用する用紙を使用し、まず記載の方法について確認する。その後事例を用いて記載する。
【教科書ページ・参考文献】
介護過程テキストP210-214　パワーポイント資料を使用
【課題・予習・復習・授業準備指示】
<復習・予習>介護過程テキストP210-214　今回まとめた個人ワークで調べたものを整理すること。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第１５回　　アセスメントシート、情報の関連づけ・統合化シートの活用
【key words】
情報の統合化　　情報の関連　　ニーズ　課題
【授業概要】
・情報の統合化・ニーズや課題抽出の整合を確認する方法について学び、論理性が保たれているのか、辻褄が
　あっているのか確認する方法について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
介護過程テキストP210-214　パワーポイント資料を使用
【課題・予習・復習・授業準備指示】
<復習・予習>介護過程テキストP210-214。今回まとめた個人ワークで調べたものを整理すること。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【予習復習に必要な想定時間】
【key words】
【授業概要】
【教科書ページ・参考文献】
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【予習復習に必要な想定時間】
【key words】
【授業概要】
【教科書ページ・参考文献】
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【予習復習に必要な想定時間】
【key words】
【授業概要】
【教科書ページ・参考文献】
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【予習復習に必要な想定時間】
【key words】
【授業概要】
【教科書ページ・参考文献】
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【予習復習に必要な想定時間】
【key words】
【授業概要】
【教科書ページ・参考文献】
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【予習復習に必要な想定時間】
【key words】
【授業概要】
【教科書ページ・参考文献】
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【予習復習に必要な想定時間】
【key words】
【授業概要】
【教科書ページ・参考文献】
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【予習復習に必要な想定時間】
【key words】
【授業概要】

	【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	・介護過程は介護福祉士の専門性や他職種連携を果たすためのスキルを身につけるトレーニングである為、思考、調　べ る事を含め日々の学びを継続すること。 ・学生個々によって思考のスキルの伸びが違うため、分からないところは積極的に質問し解決する事。 ・より良い演習、仲間との協同学習により学習の成果は高くなるため、ワークでの学習、ディスカッションでの発言、 チームでの合意形成など授業時の積極的な参加姿勢で臨むように。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード、シャトルカード、ワークシート、配布資料、実習でのシート(アセスメント・情報の統合
授業外時間にかかわる情報	・授業で作成するワークシートが完成しない場合は仕上げておく。 ・調べる学習がある場合は演習課題やレポートの提出を求めるのでしっかり取り組む事。また分からない言葉などは調べ るように努めること。
オフィスアワー	初回授業時予定表を配布し説明する。
評価方法	定期試験70%　　演習の取り組み30%
教科書	介護福祉士養成テキスト2　「介護の基本/介護過程」　日本介護福祉士養成施設協会　編
参考書	講義の中で適宜紹介する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 介護老人保健施設に5年弱(介護職員、レクリエーションワーカー)、特別養護老人ホームに19年間(介護長、施設ケアマネジャー)　特に施設ケアマネジャーではケアプラン業務、サービス担当者会議業務、家族への説明などを行っていた。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容 ・新型コロナウイルス感染状況により分散登校となる場合等は、遠隔授業を実施します。尚その場合はシラバスの

	内容が変更することがあります。状況に応じて適宜説明いたします。 ・授業でのワークシートおよび調べ学習の成果物などkの提出、また個人として添削指導の要望がある場合はメールでも受け付けいたします。

講義科目名称：　介護過程の展開Ⅰ-②　　授業コード：J842

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	1単位(30)	介護福祉コース・福祉総合コース・介護福祉士実践コース・選択
担当教員			
白井　幸久・清水　久二雄			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〈授業の目的〉 ・介護過程とは思いつきや一方的な支援ではありません。生活する利用者が主体的に自身の人生を、機能低下、および障　害が出現してもその人らしく生活できることを支援する技術となります。そのためなぜこの支援を行うのかという科学　的な根拠や論理性に基づいて支援されなければ、利用者の主体性やその人らしさをサポートするのは困難となります。 　そのために介護過程のプロセスを理解するとともにそれらが科学的根拠に基づいて展開する事ができる。 介護計画を 　立案し適切な介護サービスの提供ができる能力を身につける事を目的としています。 〈授業の到達目標〉 ①　アセスメントする為の情報収集・科学的根拠に基づき情報を統合しニーズや課題抽出する事ができる。 ②　①の前提で適切な介護サービスの質と量を踏まえた計画立案ができる。 ③　知識と技術を統合した介護計画の実践ができ、更にサービス提供した結果を適正に振り返る事ができる。
授業の概要	・支援とは何かを理解する事が重要であるため、必要な知識を身につけるのはもちろんですが、それ以上に「思考する」 　事が重要となります。この思考は本科目以外の他科目で得た知識や技術を統合するものでもあります。実際に知識や技 　術などを思考の材料とし、どのような支援を行い、主体的で自立した生活を送ることができるのかを目指して衣いくの　で、授業の中心は演習となります。 ・演習の内容はまず思考すること、そしてそれらを記述したり、口頭で発表したり、グループでディスカッションを行い 　ます。他科目で得た知識、技術を統合する科目であり、個々の生活課題やニーズにふさわしいサービスを科学的に思考　する科目ですから、創造的な学びとなります。 ・介護実習Ⅱでは介護過程が必須となります。そのため、本授業で様々な思考法を実践する事で実習が充実したものとな 　ります。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	○
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	◎
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	△

授業計画	第１回　　授業のガイダンス　（前期と実習の振り返り） 【key words】 情報の関連づけ　統合化　　課題抽出　　ニーズ 【授業概要】 ・後期の授業のガイダンスをおこなう。後期は実習でまとめたシートを授業で活用すること、取り扱いについ　ても説明する。実習の振り返りを、振り返りワークシートを使用して個人の学びを整理する。 【教科書ページ・参考文献】 介護過程テキストP210-214　パワーポイント資料を使用 【課題・予習・復習・授業準備指示】 介護過程テキストP210-214。　夏の実習で行ったｱｾｽﾒﾝﾄシート1の見直し 【予習復習に必要な想定時間】 60～80分 第２回　　情報収集を振り返って　（実習事例を振り返って　グループ演習） 【key words】 情報の統合　課題抽出　ニーズ　個別支援計画 【授業概要】 ・グループ毎にそれぞれが実習で行った課題抽出の取り組みまでを報告し、情報の統合が適正に実施されてい 　るのか特に情報収集の内容と照合し適切に記述してあるのかについて確認する。 【教科書ページ・参考文献】 介護過程テキストP210-214　　パワーポイント資料を使用 【課題・予習・復習・授業準備指示】

介護過程テキストP202-209　ｱｾｽﾒﾝﾄシート1・2の見直しのつづきを行うこと。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第３回　情報の分析を振り返って　（実習事例を振り返って　グループ演習）
【key words】
情報の統合　課題抽出　ニーズ　個別支援計画

【授業概要】
・グループ毎にそれぞれが実習で行った課題抽出の取り組みまでを報告し、今回は情報の分析と情報の意味が
　どのように考えられているのかとニーズや課題の抽出との結びつきが適切を確認する
【教科書ページ・参考文献】
介護過程テキストP202-209　パワーポイント資料を使用

【課題・予習・復習・授業準備指示】
介護過程テキストP216-221　ｱｾｽﾒﾝﾄシート2　情報の統合を確認すること。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第４回　情報の統合をふり返って　（実習事例を振り返って　グループ演習）
【key words】
情報の統合　課題抽出　ニーズ　個別支援計画

【授業概要】
・グループ毎にそれぞれが実習で行った課題抽出の取り組みまでを報告し、その他にニーズや課題があるのか
　について検討し話し合う。
【教科書ページ・参考文献】
介護過程テキストP202-209　パワーポイント資料を使用
【課題・予習・復習・授業準備指示】
介護過程テキストP155-164　ｱｾｽﾒﾝﾄシート2　課題・ニーズを確認すること。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第５回　介護計画作成の視点①　　（ニーズの視点・セルフケアの視点）
【key words】
ニーズ　マズロー　セルフケア　ヘンダーソン

【授業概要】
・実践の科学として隣接領域で用いられている諸理論のうち、ニーズ論とセルフケア理論の視点では支援にお
　いて重点においているのかを踏まえ、生活支援のあり方を検討していく。
【教科書ページ・参考文献】
介護過程テキストP155-164　　パワーポイント資料を使用
【課題・予習・復習・授業準備指示】
介護過程テキストP164-173　介護計画書の書式を確認しておくこと。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第６回　介護計画作成の視点②　　（ストレングスの視点・エンパワーメントの視点）
【key words】
ストレングス　　エンパワメントアプローチ
【授業概要】
・実践の科学として隣接領域で用いられている諸理論のうち、ストレングスとエンパワメントの視点では支援
　において重点においているのかを踏まえ、生活支援のあり方を検討していく。
【教科書ページ・参考文献】
介護過程のテキスト　P155-164　　パワーポイント資料を使用

【課題・予習・復習・授業準備指示】
介護過程テキストP203-209。　ワークシートにおける目標志向のステップを記載してくること。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第７回　介護計画作成の視点③　　（アイデンティティの視点・アクティビティの視点）
【key words】
アイデンティティ　　アクティビティ・サービス
【授業概要】
・実践の科学として隣接領域で用いられている諸理論のうち、アイデンティティとアクティビティ・サービス
　の視点では支援において重点においているのかを踏まえ、生活支援のあり方を検討していく。
【教科書ページ・参考文献】
介護過程のテキス203-209　パワーポイント資料を使用
【課題・予習・復習・授業準備指示】
・6回～8回の授業の中で検討した様々な視点についてまとめ、それぞれの違いと視点として見る場合はど　のよ
　うに違うのか、実習の事例をそれぞれの視点から見てみる。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第８回　個別援助計画の意義と目的
【key words】
個別援助計画　QOL　その人らしさ

【授業概要】
・個別支援計画を考える上で、思いつきではなく、臨む生活を支援として提供するためには計画書の作成が必

		要である。何故計画書が必要なのか、計画書を作成することによってどのような効果が得られるのかを学ぶ 【教科書ページ・参考文献】 介護過程のテキストP135-138　パワーポイント資料を使用 【課題・予習・復習・授業準備指示】 介護過程のテキスト P216-225 【予習復習に必要な想定時間】 60～80分
	第9回	個別援助計画の目標の設定(長期目標と短期目標) 【key words】 目標　　長期目標　　短期目標 【授業概要】 ・個別支援計画において生活のニーズや解決する課題が抽出できた場合、目標とするゴールを設定する必要が ある。目標設定に必要な視点は何かについてを学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 介護過程テキストP216-225　　パワーポイント資料を使用 【課題・予習・復習・授業準備指示】 〈復習・予習〉個人ワークシートに目標を達成するための様々な道筋を検討すること。 【予習復習に必要な想定時間】 60～80分
	第１０回	個別援助計画のサービス内容の展開方法 【key words】 計画書　内容　具体的な内容 【授業概要】 ・支援計画の立案で大切なのが、ハードル設定・実現可能性・具体性・支援の明確化、可視化である。それら を踏まえた介護計画作成に必要なものは何かを学ぶ 【教科書ページ・参考文献】 介護過程のテキストP216-225　パワーポイント資料を使用 【課題・予習・復習・授業準備指示】 介護過程のテキストP216-225をしっかり復習して欲しい 【予習復習に必要な想定時間】 60～80分
	第１１回	個別援助計画の記述について 【key words】 計画書　　整合性　　実現可能性　　具体性 【授業概要】 ・これまでの視点を基にし、介護計画書を作成し、その後グループ内でプレゼンテーションし、整合性がある かを確認する。 【教科書ページ・参考文献】 介護過程テキストP216-225　　パワーポイント資料を使用 【課題・予習・復習・授業準備指示】 介護過程のテキストP216-225 【予習復習に必要な想定時間】 60～80分
	第１２回	事例に基づく介護過程の展開　①(情報収集、情報の関連づけ) 【key words】 情報収集、情報の関連づけ 【授業概要】 ・グループ内で実習で担当した受け持ち利用者の実習記録を下に情報収集・情報の関連付けについて確認す る。 【教科書ページ・参考文献】 介護過程のテキストP216-225　　パワーポイント資料を使用 【課題・予習・復習・授業準備指示】 情報収集のシートの確認をしておくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 60～80分
	第１３回	事例に基づく介護過程の展開　②(情報の統合化、生活課題やニーズの抽出) 【key words】 情報の統合化　　生活課題やニーズの抽出 【授業概要】 ・グループ内で実習で担当した受け持ち利用者の実習記録を下に、情報の統合化、生活課題やニーズの抽出に ついて確認する。 【教科書ページ・参考文献】 介護過程のテキストP216-225　　パワーポイント資料を使用 【課題・予習・復習・授業準備指示】 〈復習・予習〉　情報の統合用紙のまとめを行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 60～80分
	第１４回	事例に基づく介護過程の展開　③(個別援助計画の立案) 【key words】 個別支援計画　　目標　　内容　　具体的な内容

【授業概要】
・グループ内で実習で担当した受け持ち利用者の実習記録を下に、介護計画書を作成しその後グループ内で
　ディスカッションを行う
【教科書ページ・参考文献】
介護過程テキストP216-225　　パワーポイント資料を使用
【課題・予習・復習・授業準備指示】
<復習・予習>介護計画の長期目標と短期目標のステップアップが妥当か確認しておくこと。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第１５回　後期授業のまとめ

【key words】
介護計画　　個別支援計画書
【授業概要】
・前回の介護計画書を全体で共有し、互いにプレゼンテーションし合う。1年次の振り返りと2年次の学びに
　ついての確認を行う。介護計画表を作成し提出してもらう。
【教科書ページ・参考文献】
介護過程テキストP216-225　　パワーポイント資料を使用
【課題・予習・復習・授業準備指示】
<復習・予習>・1年次のふりかえりと、介護計画実施状況の記載方法について予習すること。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

	【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】

	【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	・介護過程は介護福祉士の専門性や他職種連携を果たすためのスキルを身につけるトレーニングである為、思考、調　べ る事を含め日々の学びを継続すること。 ・学生個々によって思考のスキルの伸びが違うため、分からないところは積極的に質問し解決する事。 ・より良い演習、仲間との協同学習により学習の成果は高くなるため、ワークでの学習、ディスカッションでの発言、 チームでの合意形成など授業時の積極的な参加姿勢で臨むように。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード、シャトルカード、ワークシート、配布資料、実習でのシート(アセスメント・情報の統合
授業外時間にかかわる情報	・授業で作成するワークシートが完成しない場合は仕上げておく。 ・調べる学習がある場合は演習課題やレポートの提出を求めるのでしっかり取り組む事。また分からない言葉などは調べ るように努めること。
オフィスアワー	初回授業時予定表を配布し説明する。
評価方法	定期試験70%　　演習の取り組み30%
教科書	介護福祉士養成テキスト2　「介護の基本/介護過程」　日本介護福祉士養成施設協会　編
参考書	講義の中で適宜紹介する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 介護老人保健施設に5年弱(介護職員、レクリエーションワーカー)、特別養護老人ホームに19年間(介護長、施設ケアマネジャー)　特に施設ケアマネジャーではケアプラン業務、サービス担当者会議業務、家族への説明などを行っていた。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称：　生活支援実習Ⅰ　　授業コード：J981

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年次	1単位(232)	介護福祉コース・福祉総合コース・介護福祉士実践コース・選択
担当教員			
辻　志帆			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕 様々な生活の場において、個々の生活リズムや個性を理解し、様々な生活の場において個別ケアを理解する。利用者や家族等とのコミュニケーションの実践活動を目指し、介護技術の確認や他職種、関係機関との連携を通じて介護福祉士の役割についての理解を目指す。 〔到達目標〕 ①利用者の暮らしの場と、そこにある多様な介護現場の理解ができる。 ②利用者・家族との関わりを通じたコミュニケーションの実践をすることができる。 ③多職種協働について理解できる。 ④介護福祉士の役割が理解できる。
授業の概要	–

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	○
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	◎
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	

授業計画	第１回 【key words】 【授業概要】 ■実習履修資格者 「群馬医療福祉大学短期大学部生活支援実習ガイドライン」を参照 ■実習時期及び実習日数・時間 １年次　令和2年　1月中旬　【４日間／２４時間】 ・特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、障害者支援施設の３種別の施設のうち１施設で4日間、事後指導１日間 １年次　令和2年2月中旬～3月中旬までの期間に【２５日以上かつ２００時間以上とする】 ■実習上の注意 「群馬医療福祉大学短期大学部生活支援実習ガイドライン」を参照 ■評価方法 「群馬医療福祉大学短期大学部生活支援実習ガイドライン」を参照 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第２回 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第３回 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】

	【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第４回 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第５回 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	–
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	–
オフィスアワー	–
評価方法	実習巡回指導教員50%、実習施設指導者20%、介護総合演習Ⅰ担当教員30%
教科書	–
参考書	–
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 高齢者施設にて介護実務の経験あり。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等) □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等) □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等) □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称：　サービス・ラーニングⅡ-①　　授業コード：J16

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年次	1単位(30)	福祉総合コース・選択
担当教員			
柳澤　充			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 ボランティア活動の企画、実践を通して、対人支援や福祉サービスを担う人材としての心構え等を学ぶことを目的とする。SDG'sについての概要を理解し、ボランティア実践に活かす方法が考えられるようになる。 【到達目標】 グループでのボランティア活動の企画、実践、考察を踏まえた報告会を行う。 グループ活動での役割を遂行し、実施した活動について振り返りを行う。
授業の概要	ボランティア活動Ⅰで培った知識やコミュニケーション能力、ボランティア活動の経験を基礎とし、グループ活動を中心として、ボランティア活動の企画を立案し、実施、評価をする。学内で学ぶことのできないことをボランティア活動を通して学び、福祉の専門職としての心構えを身につけることを目的とする。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	△
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	◎
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	△

授業計画	第１回　　オリエンテーション 【key words】 授業の進め方 【授業概要】 本科目の進め方について説明する。 【教科書ページ・参考文献】 適宜示す。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 次回までに、1年次のボランティア活動についてまとめておくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習30分 第２回　　ボランティア活動の原理・原則①　　1年次のボランティア活動の振り返り 【key words】 1年次のボランティア活動 【授業概要】 1年次のボランティア活動について振り返る。2年次の活動予定を考える。 【教科書ページ・参考文献】 適宜示す 【課題・予習・復習・授業準備指示】 2年次の継続ボランティアについて考えておくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習30分 第３回　　ボランティア活動の原理・原則②　　ボランティアとは何かについて 【key words】 ボランティア活動 【授業概要】 1年次の活動を踏まえ、「ボランティアとは何か」を各々の考えで定義付けを行う。次週に向けて「ボランティアが活躍する」場を調べる。SDG'sについて理解を深める。 【教科書ページ・参考文献】 適宜示す 【課題・予習・復習・授業準備指示】 次週に向けて「ボランティアが活躍する場」について、1人10個以上調べておくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習30分 第４回　　ボランティア活動の原理・原則③　　ボランティアが活躍する場 【key words】 ボランティアが活躍する場 【授業概要】

		調べてきた「ボランティアが活躍する場」を付箋に記入し、KJ法を用いて分類する。SDG'sについて理解を深める。 【教科書ページ・参考文献】 適宜示す 【課題・予習・復習・授業準備指示】 KJ法について理解しておくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習30分
	第５回	ボランティア活動計画の企画　　地域活動への準備・グループでの役割分担 【key words】 ボランティア活動企画 【授業概要】 取り組みたいボランティア活動について企画する。SDG'sについて理解を深める。 【教科書ページ・参考文献】 適宜示す 【課題・予習・復習・授業準備指示】 各々で取り組みたいボランティアについて考えておくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習30分
	第６回	ボランティア活動　　地域活動の準備 【key words】 ボランティア活動企画 【授業概要】 ボランティア活動を企画する。 【教科書ページ・参考文献】 適宜示す 【課題・予習・復習・授業準備指示】 時間外においても適宜企画を進めること。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習30分
	第７回	ボランティア活動　　地域活動の実施 【key words】 ボランティア活動実施 【授業概要】 企画したボランティア活動を実施する。SDG'sについて理解を深める。 【教科書ページ・参考文献】 適宜示す 【課題・予習・復習・授業準備指示】 各々の役割に責任を持ち、ボランティアに取り組むこと。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習30分
	第８回	ボランティア活動　　地域活動の振り返り　まとめ 【key words】 ボランティア活動振り返り 【授業概要】 実施したボランティア活動について振り返り、次回ボランティア活動に活かしていく。SDG'sについて理解を深める。 【教科書ページ・参考文献】 適宜示す 【課題・予習・復習・授業準備指示】 次回取り組みたいボランティアについて考えておくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習30分
	第９回	ボランティア活動計画の企画　　地域活動への準備・グループでの役割分担 【key words】 ボランティア活動企画 【授業概要】 取り組みたいボランティア活動について企画する。 【教科書ページ・参考文献】 適宜示す 【課題・予習・復習・授業準備指示】 各々で取り組みたいボランティアについて考えておくこと。SDG'sについて理解を深める。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習30分
	第１０回	ボランティア活動　　地域活動の準備 【key words】 ボランティア活動企画 【授業概要】 ボランティア活動を企画する。 【教科書ページ・参考文献】 適宜示す 【課題・予習・復習・授業準備指示】 時間外においても適宜企画を進めること。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習30分
	第１１回	ボランティア活動　　地域活動の実施 【key words】 ボランティア活動実施 【授業概要】

企画したボランティア活動を実施する。SDG'sについて理解を深める。
【教科書ページ・参考文献】
適宜示す
【課題・予習・復習・授業準備指示】
各々の役割に責任を持ち、ボランティアに取り組むこと。

【予習復習に必要な想定時間】
予習60分　復習30分

第１２回　ボランティア活動　地域活動の実施
【key words】
ボランティア活動実施
【授業概要】
企画したボランティア活動を実施する。
【教科書ページ・参考文献】
適宜示す
【課題・予習・復習・授業準備指示】
各々の役割に責任を持ち、ボランティアに取り組むこと。SDG'sについて理解を深める。
【予習復習に必要な想定時間】
予習60分　復習30分

第１３回　ボランティア活動　地域活動の振り返り　まとめ
【key words】
ボランティア活動振り返り
【授業概要】
実施したボランティア活動について振り返り、次回ボランティア活動に活かしていく。SDG'sについて理解を深める。
【教科書ページ・参考文献】
適宜示す
【課題・予習・復習・授業準備指示】
前期に企画したボランティア活動について各々が発表できるようにパワーポイントでまとめておくこと。次回発表する
【予習復習に必要な想定時間】
予習60分　復習30分

第１４回　ボランティア活動（前期）　地域活動の報告会
【key words】
ボランティア活動報告

【授業概要】
前期に企画したボランティア活動について各々が発表し、全体で共有する。SDG'sについて理解を深める。
【教科書ページ・参考文献】
適宜示す
【課題・予習・復習・授業準備指示】
前期に企画したボランティア活動について各々が発表できるようにパワーポイントでまとめておくこと。
【予習復習に必要な想定時間】
予習60分　復習30分

第１５回　まとめ
【key words】
ボランティア活動前期まとめ

【授業概要】
前期を振り返る。
【教科書ページ・参考文献】
適宜示す
【課題・予習・復習・授業準備指示】
定期試験（レポート）に向けて準備しておくこと。
【予習復習に必要な想定時間】
予習60分　復習30分

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

	【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】

	【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	自主的、主体的、積極的に活動に取り組むこと。グループワークが中心となるため、協力・協働の姿勢で取り組むこと。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	調べ学習、発表会資料作りなど授業時間外に取り組む場合には、計画的に取り組むこと。 実際のボランティア活動は積極的に参加すること。
オフィスアワー	初回授業時に伝える
評価方法	試験またはレポート50%、課題への取組み・提出物など50%
教科書	授業にて指示する。
参考書	必要時、資料を配布する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 障害者団体勤務時に、ボランティア受け入れを行っていた。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称：　サービス・ラーニングⅡ-②　　授業コード：J17

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年次	1単位(30)	福祉総合コース・選択
担当教員			
柳澤　充			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 ボランティア活動の企画、実践を通して、対人支援や福祉サービスを担う人材としての心構え等を学ぶことを目的とする。SDG'sについて理解を深める。 【到達目標】 グループでのボランティア活動の企画、実践、考察を踏まえた報告会を行う。 グループ活動での役割を遂行し、実施した活動について振り返りを行う。
授業の概要	ボランティア活動Ⅰで培った知識やコミュニケーション能力、ボランティア活動の経験を基礎とし、グループ活動を中心として、ボランティア活動の企画を立案し、実施、評価をする。学内で学ぶことのできないことをボランティア活動を通して学び、福祉の専門職としての心構えを身につけることを目的とする。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	△
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	◎
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	△

授業計画	第１回	ボランティア活動計画の企画　　地域活動への準備・グループでの役割分担 【key words】 ボランティア活動企画 【授業概要】 取り組みたいボランティア活動について企画する。SDG'sについて理解を深める。 【教科書ページ・参考文献】 適宜示す 【課題・予習・復習・授業準備指示】 各々で取り組みたいボランティアについて考えておくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習30分
	第2回	ボランティア活動　　地域活動の準備 【key words】 ボランティア活動企画 【授業概要】 ボランティア活動を企画する。SDG'sについて理解を深める。 【教科書ページ・参考文献】 適宜示す 【課題・予習・復習・授業準備指示】 時間外においても適宜企画を進めること。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習30分
	第3回	ボランティア活動　　地域活動の準備 【key words】 ボランティア活動企画 【授業概要】 ボランティア活動を企画する。SDG'sについて理解を深める。 【教科書ページ・参考文献】 適宜示す 【課題・予習・復習・授業準備指示】 時間外においても適宜企画を進めること。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習30分
	第4回	ボランティア活動　　地域活動の実施 【key words】 ボランティア活動実施 【授業概要】 企画したボランティア活動を実施する。SDG'sについて理解を深める。 【教科書ページ・参考文献】

		適宜示す 【課題・予習・復習・授業準備指示】 各々の役割に責任を持ち、ボランティアに取り組むこと。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習30分
	第5回	ボランティア活動　地域活動の振り返り　まとめ 【key words】 ボランティア活動振り返り 【授業概要】 実施したボランティア活動について振り返り、次回ボランティア活動に活かしていく。SDG'sについて理解を深める。 【教科書ページ・参考文献】 適宜示す 【課題・予習・復習・授業準備指示】 次回取り組みたいボランティアについて考えておくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習30分
	第6回	ボランティア活動計画の企画　地域活動への準備・グループでの役割分担 【key words】 ボランティア活動企画 【授業概要】 取り組みたいボランティア活動について企画する。SDG'sについて理解を深める。 【教科書ページ・参考文献】 適宜示す 【課題・予習・復習・授業準備指示】 時間外においても適宜企画を進めること。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習30分
	第7回	ボランティア活動　地域活動の準備 【key words】 ボランティア活動企画 【授業概要】 ボランティア活動を企画する。SDG'sについて理解を深める。 【教科書ページ・参考文献】 適宜示す 【課題・予習・復習・授業準備指示】 時間外においても適宜企画を進めること。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習30分
	第8回	ボランティア活動　地域活動の実施 【key words】 ボランティア活動実施 【授業概要】 企画したボランティア活動を実施する。SDG'sについて理解を深める。 【教科書ページ・参考文献】 適宜示す 【課題・予習・復習・授業準備指示】 各々の役割に責任を持ち、ボランティアに取り組むこと。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習30分
	第9回	ボランティア活動　地域活動の振り返り　まとめ 【key words】 ボランティア活動振り返り 【授業概要】 実施したボランティア活動について振り返り、次回ボランティア活動に活かしていく。 【教科書ページ・参考文献】 適宜示す 【課題・予習・復習・授業準備指示】 次回取り組みたいボランティアについて考えておくこと。SDG'sについて理解を深める。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習30分
	第10回	ボランティア活動計画の企画　地域活動への準備・グループでの役割分担 【key words】 ボランティア活動企画 【授業概要】 取り組みたいボランティア活動について企画する。 【教科書ページ・参考文献】 適宜示す 【課題・予習・復習・授業準備指示】 各々で取り組みたいボランティアについて考えておくこと。SDG'sについて理解を深める。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習30分
	第11回	ボランティア活動　地域活動の準備 【key words】 ボランティア活動企画 【授業概要】 ボランティア活動を企画する。 【教科書ページ・参考文献】 適宜示す 【課題・予習・復習・授業準備指示】

時間外においても適宜企画を進めること。

【予習復習に必要な想定時間】
予習60分　復習30分

第12回　ボランティア活動　地域活動の準備
【key words】
ボランティア活動企画
【授業概要】
ボランティア活動を企画する。SDG'sについて理解を深める。
【教科書ページ・参考文献】
適宜示す
【課題・予習・復習・授業準備指示】
時間外においても適宜企画を進めること。
【予習復習に必要な想定時間】
予習60分　復習30分

第13回　ボランティア活動　地域活動の実施
【key words】
ボランティア活動実施
【授業概要】
企画したボランティア活動を実施する。SDG'sについて理解を深める。
【教科書ページ・参考文献】
適宜示す
【課題・予習・復習・授業準備指示】
各々の役割に責任を持ち、ボランティアに取り組むこと。
【予習復習に必要な想定時間】
予習60分　復習30分

第14回　ボランティア活動を振り返り
【key words】
ボランティア活動振り返り
【授業概要】
実施したボランティア活動について振り返り、次回ボランティア活動に活かしていく。SDG'sについて理解を深める。
【教科書ページ・参考文献】
適宜示す
【課題・予習・復習・授業準備指示】
次回、後期に企画したボランティア活動について各々が発表できるようにパワーポイントでまとめておくこと。
【予習復習に必要な想定時間】
予習60分　復習30分

第15回　ボランティア活動地域活動の振り返り　報告会　まとめ
【key words】
ボランティア活動報告

【授業概要】
後期に企画したボランティア活動について各々が発表し、全体で共有する。
【教科書ページ・参考文献】
適宜示す
【課題・予習・復習・授業準備指示】
後期に企画したボランティア活動について各々が発表できるようにパワーポイントでまとめておくこと。定期試験（レポート）に向けて準備しておくこと。
【予習復習に必要な想定時間】
予習60分　復習30分

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

	【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】

	【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	自主的、主体的、積極的に活動に取り組むこと。グループワークが中心となるため、協力・協働の姿勢で取り組むこと。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	調べ学習、発表会資料作りなど授業時間外に取り組む場合には、計画的に取り組むこと。 実際のボランティア活動は積極的に参加すること。
オフィスアワー	初回授業時に伝える
評価方法	試験またはレポート50%、課題への取組み・提出物など50%
教科書	授業にて指示する。
参考書	必要時、資料を配布する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 障害者団体勤務時に、ボランティア受け入れを行っていた。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 情報処理演習（ExcelWord） Ⅰ　　授業コード：J21

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年次	1単位(30)	介護福祉コース・選択
担当教員			
藤本　壱			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 演習を中心として、情報リテラシーの理解や情報利活用能力を高め、レポート・論文の作成やプレゼンテーション、データ分析などに生かせるようにすることを目的とする 【到達目標】 ①パソコンの基本的な操作を理解する ②基本的な情報の利活用（収集・分析など）ができる ③Microsoft Wordでレポート等の文章を作成できる ④P検3級の試験を受験できる ④Microsoft Excelでデータの集計や分析を行うことができる ⑤Microsoft PowerPointでプレゼンテーションができる ⑥情報セキュリティや情報モラルについて正しく理解できる
授業の概要	授業を通し、情報リテラシーを理解し、情報利活用能力を高め、レポート・論文などの各種の文書を作成したり、基本的なデータ分析を行ったり、プレゼンテーションを行ったりすることができるようになることを目標とする。 また、パソコン検定の「P検」の3級レベルを受験できる程度の知識と技能を得られうようにする

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	△
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	○

授業計画	第1回	オリエンテーション、パソコンの基本操作 【key words】 情報リテラシー、パソコンの基本 【授業概要】 情報リテラシーの必要性や、情報処理とパソコンの関係などを学習する ・講義のオリエンテーション ・情報リテラシーの必要性 ・情報を利活用する上でのパソコンの役割 ・パソコンの基本操作（キーボードの使い方など） 【教科書ページ・参考文献】 スライド資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・情報リテラシーの基本を復習する ・キーボード入力を練習する 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第2回	情報の収集と利用 【key words】 インターネット、検索、図書館 【授業概要】 レポート作成などの元となる情報の収集や利用の方法を学習する ・主な情報源(新聞、書籍、インターネット、etc) ・インターネットの仕組み ・ホームページの検索(Google) ・インターネットの主な情報源(統計データ、WikiPediaなど) ・図書館の蔵書の検索 【教科書ページ・参考文献】 スライド資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・ホームページで各種の情報を検索する ・図書館で必要な蔵書を検索する 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第3回	レポート・論文の作成(1) 【key words】 レポート、論文 【授業概要】

		レポートや論文を作る基本的な流れを学習する ・レポート・論文の基本(作文との違いなど) ・レポートの構成の立て方(アウトラインを作ってから詳細に進む) ・Wordでの文書作成の基本 【教科書ページ・参考文献】 スライド資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テーマを立ててレポートの構成を考え、それをWordで入力する練習をする 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第4回	レポート・論文の作成(2) 【key words】 書式、構成 【授業概要】 レポートや論文を構成する各種の項目と、それをWordで作成する手順を学習する ・基本的な書式の設定(ページ書式、文字書式、段落書式) ・文書の構成を整える(箇条書きなど) 【教科書ページ・参考文献】 スライド資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適切な書式設定を行い、読みやすいレポートを作成する練習をする 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第5回	情報の分析や可視化(1) 【key words】 Excel、表、分析、可視化 【授業概要】 情報の分析・可視化のツールとなるExcelの基本を学習する ・情報の分析・可視化とExcelの関係 ・Excelでの情報管理の基本(データの入力・整理など) ・Excelでの基本的な書式設定 【教科書ページ・参考文献】 スライド資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 Excelで情報を管理する練習をする(各種のデータの入力や整理など) 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第6回	プレゼンテーション(1) 【key words】 プレゼンテーション、PowerPoint 【授業概要】 プレゼンテーションの一連の流れや、資料作成の基本について学習する ・プレゼンテーションの流れ(準備作業、資料作成、発表など) ・資料作成前の準備(データ収集、構成の検討、会場設備の確認など) ・PowerPointでの資料作成の基本(スライド作成、書式設定など) 【教科書ページ・参考文献】 スライド資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 プレゼンテーションのテーマを立てて、実際にプレゼンテーションすることを想定して準備作業などを行う練習をする 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第7回	レポート・論文の作成(3) 【key words】 表 【授業概要】 レポートや論文の中で表を使って情報をまとめる場面は多いので、表の作り方を学数する ・表の作成とデータ入力 ・表の操作 (行／列の挿入、削除、コピー、セルの結合など操作) ・表の書式設定(罫線、網掛け、文字配置など) 【教科書ページ・参考文献】 スライド資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 表を作る練習をしてWordやPowerPointでレポートや論文を作る際に活用する 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第8回	レポート・論文の作成(4) 【key words】 図形、写真、ワードアート、スマートアート 【授業概要】 レポートや論文に図や写真を入れる場面も多いので、それらの扱い方を学習する ・図形の挿入と書式設定 ・図や写真の挿入 ・図等のレイアウト ・ワードアート(特殊なレイアウトの文字の並び)の挿入 ・スマートアート(よく使いそうな図)の挿入 【教科書ページ・参考文献】 スライド資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 図形や写真を含む文書を作る練習をしてレポートや論文を作る際に活用する 【予習復習に必要な想定時間】 30分

	第9回	レポート・論文の作成(5) 【key words】 改ページ、表紙、ヘッダー、フッター、スタイル、目次 【授業概要】 レポートや論文を仕上げる際に行う作業について学習する ・レポートの推敲(文章を読み直す、誤字脱字のチェック、不備がないかどうかのチェックなど) ・改ページの挿入 ・ヘッダー(上余白)とフッター(下余白)の利用 ・スタイル(書式の組み合わせ)の利用と設定 ・目次の作成 【教科書ページ・参考文献】 スライド資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 レポートを美しく仕上げる練習をする 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第10回	情報の分析や可視化(2) 【key words】 棒グラフ、折れ線グラフ、円グラフ 【授業概要】 多くの情報をグラフで可視化する方法を学習する ・棒グラフの作成 ・グラフ要素の追加軸ラベル、データラベルなど）と書式設定 ・折線、円グラフの作成 ・複合グラフの作成 【教科書ページ・参考文献】 スライド資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 グラフの作成を練習する 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第11回	情報の分析や可視化(3) 【key words】 計算、集計、分析 【授業概要】 多くの情報を分析する際の基本となる計算や関数の使い方を学ぶ ・Excelでの計算の基本 ・データの集計(合計、最大値、最小値など) ・データ分析の基本(平均、標準偏差など) 【教科書ページ・参考文献】 スライド資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 数式や関数を使った計算を練習する 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第12回	プレゼンテーション(2) 【key words】 アニメーション、動画 【授業概要】 聞き手にとって分かりやすいプレゼンテーションを行うための手法や、それをPowerPointで実現する手順を学ぶ ・動きのあるプレゼンテーションの作成(アニメーション、画面切り替え) ・プレゼンテーション内での動画や音声の利用 【教科書ページ・参考文献】 スライド資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 動きのあるプレゼンテーションを作れるように練習する 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第13回	プレゼンテーション(3) 【key words】 発表、練習、アフターフォロー 【授業概要】 プレゼンテーション直前、当日、そして終了後に行うことや、それらに関するPowerPointの機能を学習する ・プレゼンテーション前の準備(発表の練習、発表時間の測定と発表内容の調整など) ・プレゼンテーションでの話し方(視線誘導、ジェスチャーなど) ・アフターフォロー(プレゼンテーション後の資料の配布など) 【教科書ページ・参考文献】 スライド資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 実際のプレゼンテーションを行えるように練習する 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第14回	文書等の活用と管理 【key words】 コピー、貼り付け、ドライブ、フォルダ、ファイル 【授業概要】 レポートや論文を作る際に、アプリケーション間でデータをコピーしたりなど、各種の作業が必要となるので、それらについて学習する ・アプリケーション間のコピーと貼り付け ・ドライブ／フォルダ／ファイルの概念

	・フォルダ／ファイルの操作（コピー、移動、削除など） 【教科書ページ・参考文献】 スライド資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 アプリケーション間のデータのやり取りを練習する ファイル操作に慣れる 【予習復習に必要な想定時間】 30分 第15回　情報セキュリティ・情報モラルと課題説明・作成 【key words】 情報セキュリティ、情報モラル、課題 【授業概要】 情報を利活用する上で知っておくべき情報セキュリティや情報モラルを学習する また、課題の作成も行う ・情報セキュリティ ・情報モラル ・課題内容の説明 ・課題作成実習 ・課題を作成して期限までに提出 【教科書ページ・参考文献】 スライド資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 情報セキュリティに留意し、ウィルス感染などの被害を受けないようにする 情報モラルを守り、他の人に迷惑をかけないようにする 課題を作成して期限までに提出する 【予習復習に必要な想定時間】 30分
受講生に関わる情報および受講のルール	[受講生に関わる情報]　配布資料は当授業のホームページから各自ダウンロードすること。 [受講のルール] 積極的に授業に臨むこと。 演習形式の授業なので、話を聞くだけでなく、手を動かしてパソコンの操作を身につけること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード方式
授業外時間にかかわる情報	配布資料を使って復習する
オフィスアワー	授業前後20分
評価方法	レポート課題による評価 レポートとしてのまとまり(30%)、Wordの各種機能の活用度(50%)、Excelの各種機能の活用度(20%)
教科書	繰り返して慣れる!完全マスターWord　Office365・Office2019対応、NOA出版 繰り返して慣れる!完全マスターExcel　Office365・Office2019対応、NOA出版 ドリルでマスター!PowerPoint&プレゼンテーション、NOA出版
参考書	なし
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 Office関連雑誌原稿執筆多数 パソコン関連書籍執筆多数 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 ■その他 その他の具体的内容 授業を毎回録画してYouTubeで配布

講義科目名称： 情報処理演習（ExcelWord）Ⅱ　　授業コード：J22

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年次	1単位(30)	介護福祉コース・選択
担当教員			
藤本　壱			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 前期に引き続き、演習を中心として、情報リテラシーの理解や情報利活用能力を高め、レポート・論文の作成やプレゼ ンテーション、データ分析などに生かせるようにすることを目的とする 【到達目標】 ①パソコンの基本的な操作を理解する ②基本的な情報の利活用（収集・分析など）ができる ③Microsoft Wordでレポート等の文章を作成できる ④P検3級の試験を受験できる ④Microsoft Excelでデータの集計や分析を行うことができる ⑤Microsoft PowerPointでプレゼンテーションができる ⑥情報セキュリティや情報モラルについて正しく理解できる
授業の概要	授業を通し、情報リテラシーを理解し、情報利活用能力を高め、レポート・論文などの各種の文書を作成したり、基本的なデータ分析を行ったり、プレゼンテーションを行ったりすることができるようになることを目標とする。 また、パソコン検定の「P検」の3級レベルを受験できる程度の知識と技能を得られうようにする

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	

授業計画	第1回	レポート・論文の作成(6) 【key words】 脚注、図表番号、テンプレート 【授業概要】 レポートや論文を作る上で便利な機能を学習する ・脚注の設定(ページ末尾の脚注、文末脚注) ・図表番号の設定(図表番号の入力、図表番号の参照) ・テンプレートの作成 【教科書ページ・参考文献】 スライド資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 レポートを作る際に目次や脚注等の機能を利用する 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第2回	レポート・論文の作成(7) 【key words】 セクション、ブックマーク、相互参照、引用文献 【授業概要】 レポートや論文を作る上で便利な機能を学習する ・段組みの設定(2段組み等) ・セクションで文章を複数のブロックに区切る ・ブックマーク(文章内に付ける目印)の挿入 ・相互参照(ブックマークの位置のページ番号等の情報を挿入する) ・引用文献の挿入 【教科書ページ・参考文献】 スライド資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 長文作成の際にブックマークや相互参照を活用する 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第3回	情報の分析や可視化(4) 【key words】 スパークライン、条件付き書式 【授業概要】 Excelで情報を可視化する方法を学習する ・スパークラインの作成 ・条件付き書式の設定

・各種の条件付き書式（データバー、カラーバー、アイコンセット）
【教科書ページ・参考文献】
スライド資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
スパークラインや条件付き書式を活用してデータを見やすくする
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第4回　情報の分析や可視化(5)
【key words】
データベース、並べ替え、抽出、ピボットテーブル
【授業概要】
多くのデータを元に分析を行う方法を学習する
・データベース用のデータ入力
・データの並べ替え
・データの抽出
・ピボットテーブルを使った集計
【教科書ページ・参考文献】
スライド資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
アンケートなどのデータを整理する際にExcelを活用する
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第5回　情報の分析や可視化(6)
【key words】
相対参照、絶対参照、関数
【授業概要】
情報の分析の際に必要な各種の計算方法を学習する
・相対参照と絶対参照
・順位(RANK関数)
・複合条件(AND関数／OR関数)
【教科書ページ・参考文献】
スライド資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
Excelで複雑な計算を行う際にこの回で行ったことを利用する
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第6回　情報の分析や可視化(7)
【key words】
名前、関数
【授業概要】
情報の分析の際に必要な各種の計算方法を学習する
・セルに名前を付けて数式で利用する
・セルにふりがなを表示する
・日付に関する関数
・文字列に関する関数
【教科書ページ・参考文献】
スライド資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
名前機能や各種の関数の使い方を理解する
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第7回　情報の分析や可視化(8)
【key words】
ワークシート、インポート、マクロ
【授業概要】
情報の分析などの際に必要な各種の機能を学習する
・複数のワークシートを使う
・データのインポート
・マクロの基本
【教科書ページ・参考文献】
スライド資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
名前機能や各種の関数の使い方を理解する
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第8回　文書の共同作成
【key words】
Googleドキュメント、Googleスプレッドシート
【授業概要】
複数の人で共同して文書を作る方法を学習する
・Googleドキュメントの利用
・Googleスプレッドシートの利用
・文書の共有と同時編集
【教科書ページ・参考文献】
スライド資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
Googleドキュメントなどを使って文書を共同で編集できるようになる
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第9回　コンピュータの仕組み(1)
【key words】
CPU、入力装置、出力装置

【授業概要】
コンピュータを構成する要素を理解する
・中央演算処理装置(CPU)
・入力装置
・出力装置
【教科書ページ・参考文献】
スライド資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
コンピュータの各種構成要素について復習する
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第10回　コンピュータの仕組み(2)
【key words】
記憶装置、ハードディスク
【授業概要】
コンピュータを構成する要素を理解する
・主記憶装置と補助記憶装置
・ハードディスク
・CD／DVD／Blu-ray
・メモリカード／USBメモリ
【教科書ページ・参考文献】
スライド資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
各種の記憶装置について復習する
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第11回　コンピュータの仕組み(3)
【key words】
バイト、アナログ、デジタル
【授業概要】
情報をコンピュータで扱う仕組みを理解する
・情報の量の単位
・アナログとデジタルの相互変換
・2進数と10進数
・ファイルの種類と拡張子
【教科書ページ・参考文献】
スライド資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
情報をコンピュータで扱う仕組みを復習する
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第12回　コンピュータの仕組み(4)
【key words】
デジタル化、圧縮、データベース
【授業概要】
各種のデータをデジタル化する仕組みを理解する
・文字のデータ化（文字コードなど）
・画像のデータ化
・音声のデータ化
・動画のデータ化
・データベース
・プログラムとフローチャート
【教科書ページ・参考文献】
スライド資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
データをデジタル化する仕組みを復習する
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第13回　情報通信とネットワーク(1)
【key words】
LAN、インターネット
【授業概要】
情報通信やネットワークの基本を理解する
・情報通信システムの基本
・LANの仕組みや必要な機器
・インターネットへの接続
・情報通信システムの利用料金
【教科書ページ・参考文献】
スライド資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
情報通信やネットワークの基本を復習する
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第14回　情報通信とネットワーク(2)
【key words】
ホームページ、メール
【授業概要】
ホームページの配信やメールの送受信の仕組みを理解する
・ホームページの配信の仕組み
・ホームページのアドレス（URL）
・ホームページの作成方法
・ホームページを活用した各種のシステム
・メール送受信の仕組み

	【教科書ページ・参考文献】 スライド資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 繰り返しや条件判断を使ったプログラムを作ってみる 【予習復習に必要な想定時間】 30分 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第15回　トラブルと対処 【key words】 トラブル 【授業概要】 コンピュータでトラブルが起こった時の対処を理解する ・ハードウェアのトラブルへの対処 ・アプリのトラブルへの対処 ・ネットワークのトラブルへの対処 【教科書ページ・参考文献】 スライド資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 トラブルが起こってもあわてないようにする 【予習復習に必要な想定時間】 30分
受講生に関わる情報および受講のルール	[受講生に関わる情報]　配布資料は当授業のホームページから各自ダウンロードすること。 [受講のルール] 積極的に授業に臨むこと。 演習形式の授業なので、話を聞くだけでなく、手を動かしてパソコンの操作を身につけること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード方式
授業外時間にかかわる情報	配布資料を使って復習する
オフィスアワー	授業前後20分
評価方法	・前期 レポート課題による評価 レポートとしてのまとまり(30%)、Wordの各種機能の活用度(50%)、Excelの各種機能の活用度(20%) ・後期 レポート課題（30%） 筆記試験（70%）
教科書	繰り返して慣れる!完全マスターWord　Office365・Office2019対応、NOA出版 繰り返して慣れる!完全マスターExcel　Office365・Office2019対応、NOA出版 ドリルでマスター!PowerPoint&プレゼンテーション、NOA出版
参考書	なし
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 Office関連雑誌原稿執筆多数 パソコン関連書籍執筆多数 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク ■アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援

	■その他 その他の具体的内容 授業を毎回録画してYouTubeで配布

講義科目名称： 情報処理演習（MOS） Ⅰ　　授業コード：J23

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年次	1単位(30)	医療事務・秘書コース・選択
担当教員			
藤本　壱			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 日本医師会認定医療秘書資格を取得する上で、情報関係の資格を取得することが必要である。その資格の1つであるMOS(Microsoft Office Specialist)のWordの資格を取得できるようにし、かつWordを実際の事務作業で使うことができるようにすることを目的とする 【到達目標】 ①Wordの各種の操作を使いこなすことができる ②MOSのWord 365＆2019に合格することができる
授業の概要	WordのMicrosoft認定の試験攻略テキストを利用し、Microsoft Office Specialistの試験範囲を学習し、MOSの試験を受験できるレベルにする。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	◎
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	○

授業計画	第1回	オリエンテーションと書式の設定(1) 【key words】 書式 【授業概要】 ・オリエンテーション ・文書のページ設定 ・文字の効果の適用 【教科書ページ・参考文献】 28～30ページ、75～76ページ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書のLesson5／23を復習する 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第2回	書式の設定(2) 【key words】 書式 【授業概要】 ・練習問題のダウンロード ・行間／段落間隔／インデントの設定 ・書式のコピーと貼り付け ・スタイルの適用 ・書式のクリア 【教科書ページ・参考文献】 77～83ページ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書のLesson24～27を復習する 【予習復習に必要な想定時間】
	第3回	リストの作成と変更 【key words】 箇条書き、段落番号、リスト 【授業概要】 ・箇条書き／段落番号の設定 ・行頭文字／番号書式の定義 ・リストのレベルの変更 ・リストのレベルごとの行頭文字／番号書式の変更 ・開始番号の設定 ・番号の振りなおし 【教科書ページ・参考文献】 113～128ページ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書のLesson43～49を復習する 【予習復習に必要な想定時間】 30分

	第4回	表の作成と変更(1) 【key words】 表 【授業概要】 ・行数／列数を指定して表を作成 ・文字列から表を作成 ・表を文字列に変換 ・表のデータの並べ替え 【教科書ページ・参考文献】 93～100ページ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書のLesson33～36を復習する 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第5回	表の作成と変更(2) 【key words】 表、行、列、セル 【授業概要】 ・セルの余白と間隔の設定 ・セルの結合と分割 ・表／行／列のサイズの調整 ・表の分割 ・タイトル行の繰り返し 【教科書ページ・参考文献】 101～112ページ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書のLesson37～42を復習する 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第6回	図やテキストボックスの挿入 【key words】 図、図形、テキストボックス、SmartArt、3Dモデル 【授業概要】 ・図形の挿入 ・図の挿入 ・テキストボックスの挿入 ・SmartArtグラフィックの挿入 ・3Dモデルの挿入 ・スクリーンショットの挿入 【教科書ページ・参考文献】 157～168ページ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書のLesson62～67を復習する 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第7回	図やテキストボックスの書式設定 【key words】 アート効果、背景、効果 【授業概要】 ・アート効果の適用 ・図の背景の削除 ・図の効果／スタイルの設定 ・グラフィック要素の書式設定 ・SmartArtグラフィックの書式設定 ・3Dモデルの書式設定 【教科書ページ・参考文献】 169～188 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書のLesson68～75を復習する 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第8回	グラフィック要素の編集 【key words】 テキスト、オブジェクト 【授業概要】 ・テキストボックスへのテキストの追加／変更 ・図形へのテキストの追加／変更 ・SmartArtグラフィックの内容の追加／変更 ・文字列の折り返し ・オブジェクトの配置 ・代替テキストの追加 【教科書ページ・参考文献】 189～204 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書のLesson76～82を復習する 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第9回	脚注と参照文献 【key words】 脚注、参照文献

【授業概要】
・脚注／文末脚注の挿入
・脚注／文末脚注のプロパティの変更
・資料文献の作成／変更
・引用文献の挿入
・参考資料一覧の挿入
【教科書ページ・参考文献】
131～147ページ
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書のLesson51～57を復習する
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第10回　区切りと目次
【key words】
区切り、目次
【授業概要】
・ページ区切りの挿入
・段組みの設定
・セクション区切りの挿入
・目次の挿入
・ユーザー設定の目次の挿入
【教科書ページ・参考文献】
84～90ページ、148～154ページ
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書のLesson29～31、58～60を復習する
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第11回　文書内の移動
【key words】
検索、リンク
【授業概要】
・記号と特殊文字の挿入
・文字列の検索と置換
・文書内の他の場所にリンク
・特定の場所／オブジェクトに移動
・編集記号の表示／非表示と隠し文字の使用
【教科書ページ・参考文献】
69～74、17～28ページ
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書のLesson1～4、21～22を復習する
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第12回　文書の設定と保存
【key words】
スタイルセット、ヘッダー、フッター
【授業概要】
・スタイルセットの適用
・ヘッダーとフッター
・ページの背景の設定
・印刷の設定
・別のファイル形式で文書を保存
【教科書ページ・参考文献】
31～48ページ、51～54ページ
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書のLesson6～11、13～14を復習する
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第13回　コメントと変更履歴
【key words】
コメント、変更履歴
【授業概要】
・コメントの追加
・コメントの閲覧
・コメントへの返答
・コメントの削除
・変更履歴の記録と解除
・変更履歴の閲覧
【教科書ページ・参考文献】
207～220ページ
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書のLesson84～89を復習する
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第14回　変更履歴と文書の状態
【key words】

【授業概要】
・変更履歴の承諾／元に戻す
・変更履歴の設定
・文書プロパティの変更
・隠しプロパティ／個人情報の削除
・アクセシビリティの問題の修正
・下位バージョンとの互換性の問題の修正

	【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第15回　　模擬試験 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	[受講生に関わる情報]　配布資料は当授業のホームページから各自ダウンロードすること。 [受講のルール] 積極的に授業に臨むこと。 実習形式の授業なので、話を聞くだけでなく、手を動かしてパソコンの操作を身につけること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード形式
授業外時間にかかわる情報	教科書の練習問題等を利用して復習すること。
オフィスアワー	授業前後20分
評価方法	レポートによる評価(100%)
教科書	よくわかるマスターMOS Word 365&2019対策テキスト＆問題集、FOM出版
参考書	なし
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 パソコン関係書籍執筆多数 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク ■アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等) □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等) ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等) □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 ■その他 その他の具体的内容 授業を枚時間録画してYouTubeで配信

講義科目名称： 情報処理演習（MOS）Ⅱ　　授業コード：J24

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年次	1単位(30)	医療事務・秘書コース・選択
担当教員			
藤本　壱			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	Word／Excelをより深く使いこなし、MOS(Microsoft Office Specialist)資格取得レベルまで高めて、実際の事務作業で使うことができるようにすることを目的とする
授業の概要	①Wordの各種の操作を使いこなすことができる ②Excelの各種の操作を使いこなすことができる ③MOSのWord 365＆2019に合格することができる ④MOSのExcel 365＆2019に合格することができる

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	◎
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	○

授業計画	第1回	MOS Word 365&2019問題練習(1) 【key words】 MOS、Word 【授業概要】 「よくわかるマスターMOS Word 365&2019対策テキスト＆問題集」の模擬試験第1回の問題を練習する 【教科書ページ・参考文献】 「よくわかるマスターMOS Word 365&2019対策テキスト＆問題集」263～269ページ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業で行えなかった問題を自分で練習する 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第2回	MOS Word 365&2019問題練習(2) 【key words】 MOS、Word 【授業概要】 「よくわかるマスターMOS Word 365&2019対策テキスト＆問題集」の模擬試験第2回の問題を練習する 【教科書ページ・参考文献】 「よくわかるマスターMOS Word 365&2019対策テキスト＆問題集」270～278ページ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業で行えなかった問題を自分で練習する 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第3回	MOS Word 365&2019問題練習(3) 【key words】 MOS、Word 【授業概要】 「よくわかるマスターMOS Word 365&2019対策テキスト＆問題集」の模擬試験第3回の問題を練習する 【教科書ページ・参考文献】 「よくわかるマスターMOS Word 365&2019対策テキスト＆問題集」279～287ページ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業で行えなかった問題を自分で練習する 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第4回	MOS Word 365&2019問題練習(4) 【key words】 MOS、Word 【授業概要】 「よくわかるマスターMOS Word 365&2019対策テキスト＆問題集」の模擬試験第4回の問題を練習する 【教科書ページ・参考文献】 「よくわかるマスターMOS Word 365&2019対策テキスト＆問題集」288～294ページ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業で行えなかった問題を自分で練習する 【予習復習に必要な想定時間】

30分

第5回　MOS Word 365&2019模擬試験

【key words】
MOS、Word
【授業概要】
「よくわかるマスターMOS Word 365&2019対策テキスト＆問題集」の模擬試験第5回を行い、実際のMOS受験に備える
【教科書ページ・参考文献】
「よくわかるマスターMOS Word 365&2019対策テキスト＆問題集」295～301ページ
【課題・予習・復習・授業準備指示】
模擬試験を再度復習する
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第6回　データの操作と書式設定

【key words】
データ、オートフィル
【授業概要】
Excelでデータを扱う各種の方法を学習する
・オートフィル
・形式を選択して貼り付け
・行／列の挿入／削除
・セルの挿入／削除
・セルの配置／文字の方向／インデント
・テキストを折り返して表示
【教科書ページ・参考文献】
「よくわかるマスターMOS Excel 365&2019対策テキスト＆問題集」67～83ページ
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書のLesson25～33を復習する
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第7回　セルの書式設定

【key words】
書式、結合、スタイル
【授業概要】
セルの書式を設定する方法を学習する
・セルの結合／結合解除
・数値の書式
・「セルの書式設定」ダイアログボックス
・書式のコピーと貼り付け
・セルのスタイル
・セルの書式のクリア

【教科書ページ・参考文献】
「よくわかるマスターMOS Excel 365&2019対策テキスト＆問題集」84～96ページ
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書のLesson34～40を復習する
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第8回　グラフの作成と変更

【key words】
グラフ
【授業概要】
グラフを作成したり、変更したりする方法を学習する
・グラフの作成
・グラフシートの作成
・ソースデータの行／列の切り替え
・系列の追加
・グラフ要素の追加
【教科書ページ・参考文献】
「よくわかるマスターMOS Excel 365&2019対策テキスト＆問題集」175～196ページ
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書のLesson78～86を復習する
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第9回　グラフの書式設定とデータの視覚化

【key words】
グラフ、スパークライン、条件付き書式
【授業概要】
グラフに書式を設定する方法と、グラフ以外のデータの視覚化の方法を学習する
・グラフのレイアウト
・グラフのスタイル
・代替テキストの設定
・スパークラインの挿入
・条件付き書式の設定
・条件付き書式の削除
【教科書ページ・参考文献】
「よくわかるマスターMOS Excel 365&2019対策テキスト＆問題集」197～200、103～122ページ
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書のLesson87～89、45～50を復習する
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第10回　テーブルの作成と変更

【key words】
テーブル
【授業概要】
多数のデータを効率よく扱うテーブルを学習する
・テーブルの作成
・スタイルの適用
・テーブルをセル範囲に変換
・行／列の追加／削除
・テーブルスタイルのオプションの設定
・集計行の挿入／削除
【教科書ページ・参考文献】
「よくわかるマスターMOS Excel 365&2019対策テキスト＆問題集」125～134ページ
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書のLesson52～57を復習する
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第11回　テーブルの操作と参照

【key words】
並べ替え、フィルタ、絶対参照、相対参照
【授業概要】
テーブルのデータを操作する方法と、セルを参照する方法を学習する
・テーブルに名前を付ける
・テーブルの並べ替え
・テーブルのフィルタ
・名前付き範囲の定義
・相対参照と絶対参照
・数式の中で名前付き範囲やテーブル名を参照する

【教科書ページ・参考文献】
「よくわかるマスターMOS Excel 365&2019対策テキスト＆問題集」97～102、135～154ページ
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書のLesson41～44、58～59、61～66を復習する
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第12回　関数

【key words】
関数
【授業概要】
基本的な関数の使い方を学習する
・合計／平均値／最大値／最小値
・セルの個数
・条件によって計算を分ける
・文字列の一部を抜き出す
・文字の種類を変更する
・文字列を連結する
【教科書ページ・参考文献】
「よくわかるマスターMOS Excel 365&2019対策テキスト＆問題集」155～172ページ
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書のLesson67～76を復習する
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第13回　ブック内の移動とブックの書式設定

【key words】
検索、ハイパーリンク、ヘッダー、フッター
【授業概要】
ブック内での移動とブックの書式設定の手順を学習する
・データの検索
・セルの移動
・ハイパーリンクの作成／削除
・ページ設定の変更
・ヘッダーとフッターのカスタマイズ
・行の高さ／列の幅の調整
【教科書ページ・参考文献】
「よくわかるマスターMOS Excel 365&2019対策テキスト＆問題集」17～30ページ
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書のLesson1～6を復習する
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第14回　表示のカスタマイズ

【key words】
固定、プロパティ、数式
【授業概要】
Excelの表示をカスタマイズする方法を学習する
・ブックの表示方法の変更
・行／列の固定
・ウィンドウの表示の変更
・ブックのプロパティの変更
・数式の表示
【教科書ページ・参考文献】
「よくわかるマスターMOS Excel 365&2019対策テキスト＆問題集」31～44ページ
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書のLesson7～13を復習する
【予習復習に必要な想定時間】

	30分 第15回　データの変換と印刷 【key words】 印刷、インポート 【授業概要】 他のソフトとのデータ変換と、ファイルの印刷を学習する ・印刷の設定 ・別の形式でファイルを保存 ・テキストファイルのインポート ・CSVファイルのインポート 【教科書ページ・参考文献】 「よくわかるマスターMOS Excel 365&2019対策テキスト＆問題集」47～53、59～64ページ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書のLesson15～18、22～23を復習する 【予習復習に必要な想定時間】 30分
受講生に関わる情報および受講のルール	[受講生に関わる情報]　配布資料は当授業のホームページから各自ダウンロードすること。 [受講のルール] 積極的に授業に臨むこと。 実習形式の授業なので、話を聞くだけでなく、手を動かしてパソコンの操作を身につけること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード形式
授業外時間にかかわる情報	教科書の練習問題等を利用して復習すること。
オフィスアワー	授業前後20分
評価方法	以下のいずれか ・MOS Excel 365＆2019に準じた課題の提出 ・MOS Excel 365＆2019試験に合格
教科書	よくわｋるマスターMOS Word 365&2019対策テキスト＆問題集、FOM出版 よくわｋるマスターMOS Excel 365&2019対策テキスト＆問題集、FOM出版
参考書	なし
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 パソコン関係書籍執筆多数 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク ■アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等) ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等) □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等) □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 ■その他 その他の具体的内容 授業を録画してYouTubeで後日配信

講義科目名称： 楽しむ介護Ⅱ　　授業コード：J200

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年次	1単位(30)	介護福祉コース・必修
担当教員			
清水　久ニ雄			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〈授業の目的〉 ・人は日々たくさんの楽しみや喜びを感じながら生活しています。しかし要介護の状態となった場合その対象者は生活の主体ではなく、要介護者として対象化され、同時にその要介護者を支援する人は介護者という構図ができてしまいます。この構図ではなく真の人間関係形成におけるパートナーシップの関係を構築し、生活の中で要介護者と介護者が主体的に楽しみを「発見」し、「創造」していくための支援を考えていく講座です。そのために文化的な背景について調べて発表したり、喜びや楽しみの共有とは何かについて学習していきます。 〈到達目標〉 文化的な視点から「生活の楽しみ」を考えることができる。 生活文化の楽しみについて調べ、発表し合い文化的な背景を支援に活かす方法について検討することができる。　　「生活の楽しみ」について、その支援方法の意義を他者に説明することができる。
授業の概要	生活の楽しみや喜びについて文化的な視点から生活の楽しみや喜びについて、授業事のテーマに沿って考えていきます。まず学生個人が生活文化の楽しみについて調べ、その後発表します。その後、全体で支援に活かす方法について話し合います。その後再び個人でまとめ、その支援方法の意義について考えていきます。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	○
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	◎
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	

授業計画	第1回	オリエンテーション・ガイダンス　介護はアートするということ　（授業概要の説明） 【key words】 アート・創造・相互作用・相互依存関係 【授業概要】 授業ガイダンス 生活支援は人に応じて千差万別であり、尚且つ人間関係のベースに基いてその場、その場で築き上げられるいわば創造物「アート」である事について考えてみましょう。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 〈予習〉　楽しみながら介護予防を考える。 【予習復習に必要な想定時間】 60～80分
	第2回	介護予防の支援 ①　（デュアル・タスクの体験） 【key words】 デュアルタスク・作業 【授業概要】 ・認知症予防の「デュアル・タスク」の意義を理解し、その後実際に体験しながら紹介します。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 〈復習・予習〉　楽しみながら介護予防について発表準備を仕上げる 【予習復習に必要な想定時間】 60～80分
	第3回	介護予防の支援 ②　（スロートレーニングの体験 【key words】 スロートレーニング・不活性筋の活性、フレイル予防、 【授業概要】 フレイル、認知症、サルコペニア予防のために「スロートレーニング」の活用によって不活性化を防止する事が期待されています。体験しながら紹介します。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】

〈復習・予習〉身近で楽しくできるフレイルの予防を考える。

【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第4回　介護予防の支援 ③（コグニサイズの体験）
【key words】
コグニサイズ、有酸素運動、難題、血流量
【授業概要】
認知症予防にある「コグニサイズ」を体験と実際に介護予防教室を開催する際の展開方法について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習・予習〉　コグニサイズの別メニューを考える
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第5回　介護予防の支援 ④　（外に出よう、感覚刺激を体験する）
【key words】
感覚刺激
【授業概要】
感覚受容器で様々な感覚刺激を得る事の意義を通じてたくさん感覚刺激を受けられることについて体験を通して学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習・予習〉　介護予防教室を企画する。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第6回　介護予防教室を考える。
【key words】
介護予防教室
【授業概要】
1～5回の授業を通じて様々な事例を想定し、介護予防教室の企画をグループで検討。
【教科書ページ・参考文献】
配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習・予習〉　介護予防教室を企画する。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第7回　介護予防のまとめ　みんなが考える介護予防教室　企画
【key words】
介護予防教室
【授業概要】
1～6回の授業を通じて様々な事例を想定し、介護予防教室の企画をグループで検討。
【教科書ページ・参考文献】
配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習・予習〉　介護予防教室の実施計画書の仕上げを行う。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第8回　介護予防のまとめ みんなが考える介護予防教室　発表実演
【key words】
介護予防教室
【授業概要】
第7回授業で検討した企画内容を発表。講評後に再計画・修正する
【教科書ページ・参考文献】
配布資料　作成した計画書
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習・予習〉　介護予防教室の実施計画書の仕上げを行う。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第9回　アクセシビリティを考える①
【key words】
アクセシビリティ
【授業概要】
大量の情報がかなりのスピードで行き来する時代に様々な理由において、このスピードにとり残されてしまう人がいる。それらを予防すめためにはどのようにしたら良いかについて発展的に考えていく。
【教科書ページ・参考文献】
配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習・予習〉　情報の種類と端末を調べる
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第10回　アクセシビリティを考える②　　（SNS　アプリの活用）
【key words】
アクセシビリティ　SNS　アプリケーション
【授業概要】
最近巷で広がりつつある、「スマホ、タブレット」教室について調べ、どのような使用方法やアプリの活用があるのかについてもまとめる。
【教科書ページ・参考文献】
配布資料

	【課題・予習・復習・授業準備指示】 〈復習・予習〉　スマホ・タブレット教室調べをまとめる。 【予習復習に必要な想定時間】 60～80分 第11回　アクセシビリティを考える③　（生活がどのように変化するのかをまとめる） 【key words】 アクセシビリティ 【授業概要】 情報入手が困難である状況から、情報が得やすくなるための方法を検討し、その結果生活はどのように変化するのかについて考える。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 〈復習・予習〉 情報の受授について考えをまとめる。 【予習復習に必要な想定時間】 60～80分 第12回　あなたの願い叶えます① 【key words】 要望　デマンド　デザイア 【授業概要】 障害のある人や要介護高齢者が「やりたい」と思う事が出来るようにサポートする支援の仕組みが出来ている。そのサポートをしている団体の取り組みについていくつか紹介し、「希望」を叶えるための支援の意義について考えていく。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 〈復習・予習〉 障害のある人の夢を叶える各種団体を調べる。 【予習復習に必要な想定時間】 60～80分 第13回　あなたの願い叶えます② 【key words】 要望　デマンド　デザイア 【授業概要】 いくつかの事例の中から1つを選び、どのように願いを叶えていくのかについて検討していく。「 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 〈復習・予習〉 障害のある人の夢を叶える各種団体を調べ、発表できるように体裁を整える。 【予習復習に必要な想定時間】 60～80分 第14回　シナジー効果とは 【key words】 相乗効果。コモンセンス 【授業概要】 れまでの講座の中で行ってきた「楽しむ」ということについて考える。そのために利用者と支援者とでどのように楽しみを作っていくのかについて相乗効果やコモンセンスに触れ、二者間で生まれるシナジーとは何かについて考える。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 〈復習・予習〉 相乗効果の高いものを考える。 【予習復習に必要な想定時間】 60～80分 第15回　総括・まとめ 【key words】 楽しむ　生活　楽しみ方 【授業概要】 これまでの授業を振りかえり、今後介護に従事するときにどのように「楽しむ」のかについて三行詩にまとめ、発表する。またこれまでのポートフォリオを公開する。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 60～80分
受講生に関わる情報および受講のルール	本講座は「生活の楽しみを作り上げる」というコンセプトをもとに、授業で取り上げていく様々なテーマを考えていきます。そのため学生個人の知的好奇心や興味・関心が講座の学修成果に影響します。そのために　1　気になることや考えたことをしっかり整理してください。　2　個人の発表は必ず誰かの学びとなるために自信を持って発表してください。　3　生活は多様であるため学生間で発表したものは大切な財産であると認識し、学修成果としてください。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	シャトルカードの活用。提出物での確認。発表による質疑応答。
授業外時間にかかわる情報	食、ファッション、余暇、音楽、娯楽　など様々文化的な背景について関心を持ち、年代の違いや地域での違いなどについて興味・関心を持ち情報を収集してください。
オフィスアワー	初回の授業時に提示いたします。
評価方法	レポート課題　50%　ポートフォリオファイル　30%　提出物　20%
教科書	配布資料などを中心としますが学生相互の学び合いを重視するので、調べて発表したものなどを学修成果として共有します。

参考書	適宜紹介します。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 介護老人保健施設で5年弱　特別養護老人ホームで19年の実務経験あり。老人保健施設においては2年10ヶ月、専従のレクリエーションワーカーとして業務にあたる。　特別養護老人ホームにおいて介護長として14年従事し、兼務として施設介護支援専門員として従事する。　現在NPO法人　アクティビティ・サービス協議会　理事　　アクティビティワーカー資格とアクティビティ・ワーカー担当教員　資格保持している アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容 ・新型コロナウイルス感染状況により分散登校となる場合等は、遠隔授業を実施します。尚その場合はシラバスの 内容が変更することがあります。状況に応じて適宜説明いたします。 ・授業でのワークシートおよび調べ学習の成果物などkの提出、また個人として添削指導の要望がある場合はメー ルでも受け付けいたします。 ・成果物は学生の了承が得られた場合に限り、Google共有ドライブを使用したいと考えています。

講義科目名称： 介護の基本Ⅱ-①　　授業コード：J205

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年次	2単位(30)	介護福祉コース・福祉総合コース・介護福祉士実践コース・必修
担当教員			
白井　幸久			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 介護に関する基本的理念や地域を基盤とした生活の継続性を支援するための仕組みを理解し、介護福祉の専門職としての能力と態度を養う。 【到達目標】 ①介護を必要とする人の生活の個別性に対応するために、生活の多様性や社会とのかかわりを理解する。 ②介護を必要とする人の生活を支援するという観点から介護サービスや地域連携など、フォーマル、インフォーマルな支援を理解する。 ③多職種協働による介護を実践するために、保健・医療・福祉に関する他の職種の専門性や役割と機能を理解できるようにする。
授業の概要	介護の基本では、介護福祉を必要する人の理解、介護福祉を必要とする人の生活を支えるしくみ、介護における安全の確保とリスクマネジメント、協働する多職種の機能と役割、介護従事者の安全などを学ぶ。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	

授業計画	第1回	ガイダンス、授業計画や履修上の注意点など 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
	第2回	私たちの生活の理解①　生活とは何か　「私たちの生活は、「時間」「空間」「生活のリズム」が相互に関連し、構成されていること」や、「私たちの生活を構成する重要な要素」について学ぶ。 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
	第3回	私たちの生活の理解②　生活の特性　「生活とはどのような特性をもっているか」を学ぶ。 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
	第4回	介護福祉を必要とする人たちの暮らし①　「「暮らし」を理解すること」や、「高齢者の暮らし」を学ぶ。 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第5回　介護福祉を必要とする人たちの暮らし②　「障碍者の暮らし」や、「個人の暮らしや歴史を聴く場合の注意点」等を学ぶ。

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第6回　「その人らしさ」と「生活ニーズ」の理解①　「その人らしさや、その多様性」等を学ぶ。

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第7回　「その人らしさ」と「生活ニーズ」の理解②　「生活ニーズや、その多様性」等を学ぶ。

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第8回　生活のしずらさの理解とその支援①　「私たち自身の生活のしずらさの視点」と「介護を必要とする人の生活のしづらさの視点」等を学ぶ。

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第9回　生活のしずらさの理解とその支援②　「生活のしずらさを解消するための介護福祉士の視点」と「家族介護者とその支援」等を学ぶ。

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第10回　生活を支えるフォーマルサービス（社会的サービス）①　「高齢者の生活を支えるフォーマルサービス」の概要と「フォーマルサービスにおける介護福祉士の支援の視点」を学ぶ。

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第11回　生活を支えるフォーマルサービス（社会的サービス）②　「障害者の生活を支えるフォーマルサービス」の概要と「フォーマルサービスにおける介護福祉士の支援の視点」を学ぶ。

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第12回　生活を支えるインフォーマルサービス（私的サービス）①　「費用負担による区分」と「フォーマルサービスとインフォーマルサービスの関係」等を学ぶ。

	【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第13回　生活を支えるインフォーマルサービス（私的サービス）②　「一般的に想定されるインフォーマルサービス」等を学ぶ。 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第14回　地域連携①　「地域連携の意義と目的」と「地域福祉にかかわる組織・団体」等をまなぶ。 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第15回　地域連携②とセメスター３のまとめ　「地域福祉の担い手」と「セメスター３のまとめ」を学ぶ。 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	介護の基本Ⅱは、介護福祉士の役割を学び出発点である。自立支援や尊厳を支える介護、生活支援などを理解できるように授業に参加すること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	授業は、単元ごとに課題や小テストなどを出すので、しっかり取り組むこと。
オフィスアワー	火曜日・水曜日・木曜日の昼休み
評価方法	テスト　(60%)、レポートや小テスト　(20%)、授業への参加態度など　(20%)を加味して評価する。
教科書	「介護の基本Ⅱ」　中央法規出版
参考書	授業で、参考資料等を配布する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他

	その他の具体的内容

講義科目名称： 介護の基本Ⅱ-②　　授業コード：J206

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年次	2単位(30)	介護福祉コース・福祉総合コース・介護福祉士実践コース・必修
担当教員			
白井　幸久			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 介護に関する基本的理念や地域を基盤とした生活の継続性を支援するための仕組みを理解し、介護福祉の専門職としての能力と態度を養う。 【到達目標】 ①介護を必要とする人の生活の個別性に対応するために、生活の多様性や社会とのかかわりを理解する。 ②介護を必要とする人の生活を支援するという観点から介護サービスや地域連携など、フォーマル、インフォーマルな支援を理解する。 ③多職種協働による介護を実践するために、保健・医療・福祉に関する他の職種の専門性や役割と機能を理解できるようにする。
授業の概要	介護の基本では、介護福祉を必要する人の理解、介護福祉を必要とする人の生活を支えるしくみ、介護における安全の確保とリスクマネジメント、協働する多職種の機能と役割、介護従事者の安全などを学ぶ。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	

授業計画	第1回	後期ガイダンス　前期授業の振り返りと後期授業の内容等 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
	第2回	介護における安全の確保　「セーフティマネジメントの考え方」と「安全の確保を組織全体で取り組む重要性」を学ぶとともに、「安全な暮らしの支援が、利用者の尊厳の保持に結びつくことの重要性」を理解する。 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
	第3回	リスクマネジメント①　「ルールや約束を守ることの重要性」等を学ぶ。 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
	第4回	リスクマネジメント②　「福祉サービスに求められる安心や安全」と「事故防止・予防のための対策」等を学ぶ。 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第5回　感染症対策　「介護福祉職に必要な感染に関する知識」と「高齢者の特性の理解し、感染症対策」を学ぶとともに、「感染を予防するための具体的な方法」を理解する。

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第6回　多職種連携・協働の必要性　「多職種連携・協働の必要性」と「多職種連携・協働の目的と効果」等について学ぶ。

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第7回　多職種連携・協働に求められる基本的な能力①　「介護実践の場で多職種連携・協働が必要とされる意義」等について学ぶ。

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第8回　多職種連携・協働に求められる基本的な能力②　「課題解決に対する多職種のかかわりには、多様な視点と受容であること」や、「多職種協働に求められるコミュニケーション能力」等について学ぶ。

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第9回　保健・医療・福祉職の役割と機能　「介護福祉職と協働するさまざまな職種」と「多職種協働にかかわる専門職の役割と機能」について理解する。

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第10回　多職種連携・協働の実際　「専門職連携実践（IPW）の内容と実践タイプ」と「介護福祉職からみる連携から専門性」、「介護福祉職主導の連携の実態」を学ぶ。

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

第11回　健康管理の意義と目的　「働く人の健康や生活を守る法制度」と「介護に従事することで生じやすい健康問題」、「介護従事者健康管理」を学ぶ

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

	第12回　こころの健康管理　「ストレスとこころの健康との関係」と「介護従事者のこころの病気」、「こころの健康管理方法」を学ぶ 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第13回　身体の健康管理　「介護従事者の身体の健康障害の要因」と「介護従事者の身体の健康管理」等を学ぶ。 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第14回　労働環境の整備①　「労働条件の整備」と「熱中症予防」等についてまなぶ。 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第15回　労働環境の整備②とセメスター４のまとめ　「けがを防ぐための労働環境の整備」と「セメスター４のまとめ」を学ぶ。 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	介護の基本Ⅱは、介護福祉士の役割を学び出発点である。自立支援や尊厳を支える介護、生活支援などを理解できるように授業に参加すること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	授業は、単元ごとに課題や小テストなどを出すので、しっかり取り組むこと。
オフィスアワー	火曜日・水曜日・木曜日の昼休み
評価方法	テスト　(60%)、レポートや小テスト　(20%)、授業への参加態度など　(20%)を加味して評価する。
教科書	「介護の基本」　日本介護福祉士養成施設協会
参考書	授業で、参考資料等を配布する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施

	□e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 介護の基本Ⅲ-①　　授業コード：J210

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年次	2単位(30)	介護福祉コース・福祉総合コース・選択／介護福祉士実践コース・必修
担当教員			
清水　久二雄			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	［授業の目的］ ケアの本質は、要介護者を「介護を必要とする人」という見方をせず、「生活の主体者」として捉えることから始まります。そのため本科目はその生活の主体者をICFの背景因子の中でも「個人因子」に着目し、人の生活とは何かを洞察することで適切な支援やそのバリエーションを増やしていくことを目的としています。 〔到達目標〕 ① ICFにおける背景因子の中でも個人因子とは何かを説明できる。 ② ICFの個人因子におけるアイデンティティ・価値観・生きる指針とその個人の生活の意義について説明できる。 ③ 生活主体者を個人として尊重し、そのために必要な支援について他者と協調的で建設的な意見交換ができる。
授業の概要	本科目は毎回、生活主体者の個人因子である、信条・価値観・人生史など、アイデンティ形成に関わるテーマを授業ごとに提示したのち、そのテーマに沿って受講生の皆さんは考え、必要な情報を調べ、プレゼンテーションを行い、ディスカッションするという学びとなっています。人は実にさまざまな価値観を持ち生活しているため受講生のみなさん1人1人が主体的に授業に参加することによってその学修成果は高くなります。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	○
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	△
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	◎

授業計画	第１回	前期科目オリエンテーション　目的、目標、履修上の注意点、評価方法等を説明 【key words】 個人因子・アイデンティティ・価値観・信条・文化 【授業概要】 ・カリキュラムの概観としてICFにおける「個人因子」についてテーマごとに行っていく授業の進め方や評価について説明する。また「個人因子」をしっかりととらえようとすることが、「その人らしさ」を支援する事の重要性についても説明する。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 自らの価値観について考え、配布シートに記入してくること。 【予習復習に必要な想定時間】 40～60分
	第２回	価値観について考える①　(価値観の外観図を作ってみよう) 【key words】 価値観・性格・文化 【授業概要】 ・支援の対象である人を了解するために価値観とは何か、また個々に違う価値観についてどのように知ろうとするのかについて考える。そのため学生自身の「価値観」の外観図を作成する。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料　　テキスト「よくする介護」を実践するためのICFの理解と活用 【課題・予習・復習・授業準備指示】 〈復習〉第2回授業で行った外観図を作成すること。　〈予習〉価値観の外観図から情報収集する項目として必要なものをたくさん挙げておく。 【予習復習に必要な想定時間】 60～80分
	第３回	価値観について考える②（価値観を把握するため質問項目のリストアップと共有） 【key words】 価値観・信条・優先事項・生活史・ライフイベント・出来事の意味づけ・体験 【授業概要】 ・前回の授業で作成した価値観の外観図をベースにし、グループで「価値観に関する質問項目」を発表する。その後要支援者を個人として了解するためにキーワードと照らし合わせて検討していく。

【教科書ページ・参考文献】
配布資料　　テキスト「よくする介護」を実践するためのICFの理解と活用
【課題・予習・復習・授業準備指示】
＜復習＞3回授業をまとめ、第2回授業と第3回授業がポートフォリオとしての整合がとれているか確認する
＜予習＞個人で自らの居場所について考え、シートに記載してくる。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第４回　個人因子における「場所」とは何かを考える。①　（築き上げた場所と人の生活について）
【key words】
居場所・馴染み・生活史・愛着
【授業概要】
・人の生活において自分がいる場所とは何かについて映像を見た後に考えをまとめる。その後個々人にとって違う、「場所」や「居場所」とは何かについてグループで話し合う。

【教科書ページ・参考文献】
配布資料　　テキスト「よくする介護」を実践するためのICFの理解と活用
【課題・予習・復習・授業準備指示】
＜復習＞4回授業で配布した資料をまとめる。　＜予習＞授業内で配布した「帰宅要求」の事例についてその行動の背景は何かについて考える。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第５回　個人因子における「場所」とは何かを考える。②　（帰宅要求を了解するために必要なこと）
【key words】
帰宅要求・すること・役割・郷愁・回顧・懐古
【授業概要】
・第4回の授業で配布した「帰宅要求」の事例を通じて、その利用者の思いとは何かについて考える。また前回にまとめたシートから、帰宅要求゛のある人の思いについて考察する。
【教科書ページ・参考文献】
配布資料　　テキスト「よくする介護」を実践するためのICFの理解と活用
【課題・予習・復習・授業準備指示】
＜復習＞5回授業をまとめ、第2回授業と第3回授業がポートフォリオとして整合が保たれているのかを確認する＜予習＞学生個人が自分自身の文化についてシートに記載してくる。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第６回　文化的背景と個人因子との関係を考える。①(風習・慣習・習わし・風潮・伝統・文化と人)
【key words】
風習・慣習・習わし・風潮・伝統・文化
【授業概要】
・人の生活において風習・慣習・習わし・風潮・伝統・文化などは大きな影響を及ぼしている。学生自身がまず
自らの事を考えながら、その影響について考える。さらに、調べ学習として、様々な年代にとっての文化についてグループ毎に調べる。
【教科書ページ・参考文献】
配布資料　　テキスト「よくする介護」を実践するためのICFの理解と活用
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習・予習〉　グループ毎の発表シートの作成を分担して実施し、発表できるようにまとめる
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第７回　文化的背景と個人因子との関係を考える。②(ポスターセッション)
【key words】
風習・慣習・習わし・風潮・伝統・文化
【授業概要】
・前回のグループでまとめた年代の文化について調べたものをポスターセッションとして発表する。その後、その個人を了解するための、その人が生きた時代背景や文化、生活圏をどのように知るのかにについて話し合い、
それらをまとめていく。
【教科書ページ・参考文献】
配布資料　　テキスト「よくする介護」を実践するためのICFの理解と活用
【課題・予習・復習・授業準備指示】
＜復習＞7回授業をまとめ、第6回授業と第7回授業がポートフォリオとして整合が保たれているのかを確認する＜予習＞学生個人が自分自身の文化についてシートに記載してくる。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第８回　スピリチュアリティと個人因子①(信念・信条は人にとってどのようなものか)
【key words】
スピリチュアティ、信条、信念、精神性、心のよりどころ
【授業概要】
・人が生活するうえで精神的な拠り所、信念、信条、宗教など生きていく上ではエネルギーの源であるといっても過言ではない。これらを了解するために支援者とてどのような態度でいるのかを考える。
【教科書ページ・参考文献】
配布資料　テキスト「よくする介護」を実践するためのICFの理解と活用
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉信念、信条について自分の考えをまとめる。
〈予習〉自分の近しい人2名にインタビューし、まとめてくる。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第９回　スピリチュアリティと個人因子②(事例を用いて検討)
【key words】
スピリチュアティ、信条、信念、精神性、心のよりどころ
【授業概要】

・スピリチュアリティの尊重する事の支援を事例を用いて考える。
【教科書ページ・参考文献】
配布資料　テキスト「よくする介護」を実践するためのICFの理解と活用
【課題・予習・復習・授業準備指示】
<復習>授業で取り上げた事例をまとめる。　<予習>自らの役割や目標について考えてくる。
<予習>障害受容について確認しておく。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第１０回　目標があるということ①(後天性の障害のある人)
【key words】
目標、障害受容、後天的、
【授業概要】
・人の生活において、目標があるという事の意義についてDVDを視聴する。今回は後天的に障害を発現したにとによってこれまでの生活目標再構成を行うその過程と、その後目標設定が人にとってどのような意義があるのかについて検討し考える。
【教科書ページ・参考文献】
DVD資料　配布資料　テキスト「よくする介護」を実践するためのICFの理解と活用
【課題・予習・復習・授業準備指示】
<復習>DVD資料とディスカッションを受けて考えた事をワークシートにまとめること。
<予習>トライアンドエラーについて確認しておく。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第１１回　目標があるということ②(先天性の障害のある人)
【key words】
目標、先天的、トライアンドエラー、SST
【授業概要】
・前回同様目標のあるということの意義についてDVDを視聴し考える。今回は特に先天的に障害を発現した事によって、今までの生活から更なる高みを目指しつつ、トライアンドエラーの過程と、その目標設定SSTなどの取り組み方の意義について考え、検討していく。
【教科書ページ・参考文献】
DVD資料　配布資料　テキスト「よくする介護」を実践するためのICFの理解と活用
【課題・予習・復習・授業準備指示】
<復習>>DVD資料とディスカッションを受けて考えた事をワークシートにまとめること。
<予習>ピアヘルパーについて確しておくこと。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第１２回　役割があるということ。①（ピア・ヘルパー）
【key words】
役割、自助グループ、ピアヘルパー、
【授業概要】
・先天的な障害のある人がチームをつくり、その中で役割を持ち成長するというDVDを視聴後、人にとってどのように役割が形成されその当事者が役割と認知するのかについて考える。
【教科書ページ・参考文献】
DVD資料　配布資料　テキスト「よくする介護」を実践するためのICFの理解と活用
【課題・予習・復習・授業準備指示】
<復習>DVD資料とディスカッションを受けて考えた事をワークシートにまとめること。
<予習>
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第１３回　役割があるということ。②(おばあさんコント)
【key words】
役割、自助、互助、行くところがある、することがある、
【授業概要】
・はじめは自助グループで始めた活動が少しずつ社会側よりニーズが起こり、活動は自助にとどまらず互助へと移行していく過程を収めたDVD資料を視聴し、自助や互助によって生まれる役割創出の意義とは何かについて考えていく。

【教科書ページ・参考文献】
DVD資料　配布資料　テキスト「よくする介護」を実践するためのICFの理解と活用
【課題・予習・復習・授業準備指示】
<復習>>DVD資料とディスカッションを受けて考えた事をワークシートにまとめること。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第１４回　前期まとめ　個人因子とは何か①
【key words】
個人因子、アイデンティティ、価値観、信条。文化
【授業概要】
・その人らしさ・尊厳の保持において、「個人因子」とは何かについて考えてきた。その個人因子を了解するためにはどのような支援が必要なのかについて事例を用いて全体で考えていく。
【教科書ページ・参考文献】
配布資料　テキスト「よくする介護」を実践するためのICFの理解と活用
【課題・予習・復習・授業準備指示】
<復習・予習> 検討した事例についてまとめる。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第１５回　前期まとめ　個人因子とは何か②
【key words】
個人因子、アイデンティティ、価値観、信条。文化
【授業概要】
・14回授業の事例のまとめの続き行う。また前期の授業を総括し、「個人因子」の了解について個人で考え方をまとめていく。

	【教科書ページ・参考文献】 配布資料　テキスト「よくする介護」を実践するためのICFの理解と活用 【課題・予習・復習・授業準備指示】 <復習>授業全般のまとめを行い学び整理し、後期に備える。 【予習復習に必要な想定時間】 60～80分 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 60 60～80分
受講生に関わる情報および受講のルール	受講上のルールとして、私語は禁止とする。私語は相手、周囲の者に対しての迷惑行為である。厳に慎むことを自覚して授業に参加すること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	シャトルカード
授業外時間にかかわる情報	普段の生活から、生活機能（ICF）の視点を意識するとこの科目の理解がしやすい。特に生活支援実習の課題について、この科目の学びが援用できるように
オフィスアワー	初回授業時に提示いたします。
評価方法	①前期：授業内ポートフォリオ(20%)・授業内提出物(30%)　レポート課題50％

	②後期：授業内ポートフォリオ(20%)・授業内提出物(30%)　レポート課題50%
教科書	最新　介護福祉士養成講座3　介護の基本Ⅰ(中央法規出版 2019) 最新　介護福祉士養成講座3　介護の基本Ⅱ(中央法規出版 2019)
参考書	「よくする介護」を実践するためのICFの理解と活用　大川弥生　中央法規出版
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 介護老人保健施設に5年弱(介護職員、レクリエーションワーカー)、特別養護老人ホームに19年間(介護長、施設ケアマネジャー)　特に施設ケアマネジャーではケアプラン業務、サービス担当者会議業務、家族への説明などを行っていた。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 ■その他 その他の具体的内容 ・新型コロナウイルス感染状況により分散登校となる場合等は、遠隔授業を実施します。尚その場合はシラバスの 内容が変更することがあります。状況に応じて適宜説明いたします。 ・授業でのワークシートおよび調べ学習の成果物などkの提出、また個人として添削指導の要望がある場合はメールでも受け付けいたします。

講義科目名称： 介護の基本Ⅲ-②　　授業コード：J211

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年次	2単位(30)	介護福祉コース・福祉総合コース・選択／介護福祉士実践コース・必修
担当教員			
清水　久二雄			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	［授業の目的］ ケアの本質は、要介護者を「介護を必要とする人」という見方をせず、「生活の主体者」として捉えることから始まります。そのため本科目はその生活の主体者をICFの背景因子の中でも「環境因子」に着目し、人の生活とは何かを洞察することで適切な支援やそのバリエーションを増やしていくことを目的としています。 〔到達目標〕 ① ICFにおける背景因子の中でも環境因子とは何かを説明できる。 ② ICFの環境因子におけるあらゆる環境との結びつきや繋がる生活の意義について説明できる。 ③ 生活主体者にとって環境を整えることに必要な支援について他者と協調的で建設的な意見交換ができる。
授業の概要	本科目は毎回、生活主体者の個人因子である、信条・価値観・人生史など、アイデンティ形成に関わるテーマを授業ごとに提示したのち、そのテーマに沿って受講生の皆さんは考え、必要な情報を調べ、プレゼンテーションを行い、ディスカッションするという学びとなっています。人は実にさまざまな価値観を持ち生活しているため受講生のみなさん1人1人が主体的に授業に参加することによってその学修成果は高くなります。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	○
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	△
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	◎

授業計画	第１回	オリエンテーション　目的、目標、履修上の注意点、評価方法等を説明 【key words】 地域と福祉、ネットワークの創生、技術革新 【授業概要】 〈テキスト〉　配布資料 後期授業の目的、目標、履修上の注意点、評価方法等を説明する。特に後期は前期で学んだICFについての　学びに基いて、これからの社会情勢に応じた具体的な検討を行っていく。地域と福祉、技術革新、など福祉　のこれからの可能性について検討していく。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 自らの価値観について考え、配布シートに記入してくること。 【予習復習に必要な想定時間】 40～60分
	第２回	高齢者の現状と第2の現役 【key words】 人口構造、高齢世帯、社会参加 【授業概要】 現在の日本の人口構造と高齢者が生活する社会状況について配布資料を基づき、就労や社会活動について社会システムとして何が必要かについてグループおよび全体で検討する。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料　　テキスト(介護の基本Ⅰ　介護の基本Ⅱ) 【課題・予習・復習・授業準備指示】 〈復習〉第2回授業で行った外観図を作成すること。　〈予習〉価値観の外観図から情報収集する項目として必要なものをたくさん挙げておく。 【予習復習に必要な想定時間】 60～80分
	第３回	高齢者世帯の課題について(老老介護・認認介護) 【key words】 老老介護・認認介護 【授業概要】 現在の社会状況において老老介護・認認介護といわれる状態で生活していく世帯が増えている現状である が、それらについて調べ、同時にどのような支援が必要かについて検討していく。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料(厚生労働省　高齢の現状)　　テキスト(介護の基本Ⅰ　介護の基本Ⅱ) 【課題・予習・復習・授業準備指示】

〈復習〉　老老介護、認認介護について討議した内容を個人の考え方も含め整理しておく
〈予習〉　介護離職・ダブルケア・ヤングケアラーについて調べておく。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第４回　核家族化・少子化の弊害を考える。①(介離職・ダブルケア・ヤングケアラー)
【key words】
介護離職・ダブルケア・ヤングケアラー
【授業概要】
現在の社会状況において介護離職・ダブルケア・ヤングケアラーについては日本の社会構造を揺るがしかね
ない、大きな課題であると言えるが、対人援助職として果たす役割は何かについて調べ、同時にどのような
役割があるのかについて検討していく。
【教科書ページ・参考文献】
配布資料(厚生労働省　高齢の現状)　　テキスト(介護の基本Ⅰ　介護の基本Ⅱ)
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉介護離職・ダブルケア・ヤングケアラーについて討議した内容を個人の考え方も含め整理しておく
〈予習〉子ども食堂について調べておく。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第５回　核家族化・少子化の弊害を考える。②(こども食堂・孤独の解消)
【key words】
子ども食堂・孤独の解消
【授業概要】
夫婦共働き世態において、こども達の居場所の課題、バランスの取れた栄養、対人交流などのニーズにより、現在は地域の中にあるこども食道へのニーズは高まっている。子ども食道を通じて、インクルージブな視点から、地域にはどのようなニーズがあるのかについて検討していく。
【教科書ページ・参考文献】
配布資料　　テキスト(介護の基本Ⅰ　介護の基本Ⅱ)
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉　子ども食堂・孤独の解消について討議した内容を個人の考え方も含め整理しておく
〈予習〉　農・福連携について調べておく
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第6回　社会資源からつながりや支援を創造すること①(農・福連携、互助)
【key words】
農-福連携、互助
【授業概要】
　障害のある人が社会参加を果たすために慢性的な人手不足の状態にある農業と福祉が連携する事業が注目されている。農・福が連携し、互助の精神による運営の視点から、地域の中にある様々なニーズと資源をマッチングすることについて検討していく。

【教科書ページ・参考文献】
配布資料　　テキスト(介護の基本Ⅰ　介護の基本Ⅱ)

【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉　農-福連携、互助について討議した内容を個人の考え方も含め整理しておく
〈予習〉　認知症のある人の社会参加について調べておく
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第７回　社会資源からつながりや支援を創造すること②(認知症のある人の社会参加)
【key words】
認知症　社会参加
【授業概要】
認知症がある人がこども食堂やレストランを経営し社会参加を果たしている事例を通じて、地域の中にある資源をどのように引き出していくのか、またそのような力を支えていくについてどのような支援が必要なことは何かについて検討していく。
【教科書ページ・参考文献】
DVD　配布資料 ワークシート　　テキスト(介護の基本Ⅰ　介護の基本Ⅱ)
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉　使用したワークシートを整理する
〈予習〉　イノベーションと社会参加について関心のあるもので良いので調べておく。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第８回　人が繋がるということを考える。①(アバター、ICTの活用)
【key words】
ロボット、アバター、参加
【授業概要】
重度の障害のある人が、自らの分身によって間接的に社会参加する意義について検討し、様々な技術革新　によって、社会参加の可能性について検討していく。
【教科書ページ・参考文献】
DVD　配布資料 ワークシート　　テキスト(介護の基本Ⅰ　介護の基本Ⅱ)
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉　使用したワークシートを使って、新たなアイデアを整理しておく。
〈予習〉インクルージブなサービスについて関心のあるものを調べておく。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第９回　人が繋がるということを考える。②(富山型デイサービス・地域の寄り合い場)
【key words】
複合、統合、相互扶助
【授業概要】

障害がある人、ない人、子どもなどを区別せず地域住民みんなが集まることでそれぞれの役割の創出、互助の効果について考える。
【教科書ページ・参考文献】
DVD　配布資料 ワークシート　　テキスト(介護の基本Ⅰ　介護の基本Ⅱ)
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈課題・復習・予習・授業準備〉 討議した内容について個人の考え方を整理して記載しておく。
次回、旅行会社のパンフレットや広告を集め、見やすさの工夫などについて調べておく。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第１０回　ニーズを叶える支援を考える。①(トラベルヘルパーとは)
【key words】
旅行・トラベルヘルパー
【授業概要】
障害のある人、要介護高齢者の中に、「旅行したい」というニーズがあるが、その夢を具現化するために　はどのような取り組みが必要かを紹介しつつ、26回以降の地域ビジネスのまとめのヒントとする。
【教科書ページ・参考文献】
DVD　配布資料 ワークシート　　テキスト(介護の基本Ⅰ　介護の基本Ⅱ)
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉 10回授業で作成したワークシートの整理をしておく
〈予習〉 次回旅行行程表を発表するためkの準備をしておく
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第１１回　ニーズを叶える支援を考える。②(トラベルヘルパーの旅行行程表のポスターセッション)
【key words】
トラベルヘルパー　地域ビジネス
【授業概要】
前回の授業から、互助の精神を活用した地域ビジネスの素案を作成し、それらに基いてグループをつくる　第29回の授業のポスターセッションまでの具体的な進行について討議を行う。
【教科書ページ・参考文献】
配布資料 ワークシート　　テキスト(介護の基本Ⅰ　介護の基本Ⅱ)
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉 ポスター発表で感じたことや考えたことのふりかえりを行う。
〈予習〉 計画的にグループの調べ学習をすすめて欲しい。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第１２回　個人と環境の調和(住みたい地域について考える)①
【key words】
ヒューマニティ・自己実現・生活環境・選択・自己決定
【授業概要】
・多様な価値を持つ人が地域で生活することの意義について、「我が事、丸ごと」とは何かについて説明し、その上で、自分や家族が暮らしたいと思う地域についてのワークシートを作成しながら地域。
【教科書ページ・参考文献】
配布資料 ワークシート　　テキスト(介護の基本Ⅰ　介護の基本Ⅱ)
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉 自分や家族が暮らしたい地域についてのワークシートを完成させる
〈予習〉 地域の課題と地域ビジネスについて考える。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第１３回　個人と環境の調和(地域の課題について考える)②
【key words】
地域の課題、ヒューマニティ、自己実現、生活環境、選択、自己決定
【授業概要】
前回の授業で考察した住みたい地域ワークシートを基に、現在様々な地域の課題について調べ抽出する。その後同じ関心を持つ同士で集まりその課題について意見をまとめどのような対策が必要かを考える。

【教科書ページ・参考文献】
配布資料 ワークシート　　テキスト(介護の基本Ⅰ　介護の基本Ⅱ)
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉小グループで話し合った内容について個人としての対策に対する意見をまとめておく。
〈予習〉地域にある課題に対する対策を俯瞰的に考える。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第１４回　個人と環境の調和(我が事、丸ごとで考える)　③
【key words】
我が事、丸ごと」、地域ビジネス、自己実現、生活環境、選択、自己決定
【授業概要】
12～13回の授業を通じて挙げられた地域の課題について「我が事、丸ごと」で考えられるように全体で、その地域の対策及びチャンスについて検討していく。

【教科書ページ・参考文献】
配布資料 ワークシート　　テキスト(介護の基本Ⅰ　介護の基本Ⅱ)
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉 29回の授業を通じて個人としてどのようなことを考えたのかをまとめる。
〈予習〉 介護福祉士として1～29回の授業までを振り返る。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第１５回　まとめ
【key words】
ヒューマニティ・自己実現・生活環境・選択・自己決定

【授業概要】
ICF全般を振り返り、建設的で、可能性の高い支援について何が必要かについて考え、全体で討議し学びの　集大成を行う。
【教科書ページ・参考文献】
配布資料 ワークシート　　テキスト(介護の基本Ⅰ　介護の基本Ⅱ)
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉　これまでのレポートをまとめ、整理するようにして欲しい。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】
【授業概要】
【教科書ページ・参考文献】
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【予習復習に必要な想定時間】

【key words】
【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【予習復習に必要な想定時間】

【key words】
【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【予習復習に必要な想定時間】

【key words】
【授業概要】
【教科書ページ・参考文献】
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【予習復習に必要な想定時間】

【key words】
【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【予習復習に必要な想定時間】

【key words】
【授業概要】
【教科書ページ・参考文献】
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【予習復習に必要な想定時間】

【key words】
【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【予習復習に必要な想定時間】

【key words】
【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

	【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	受講上のルールとして、私語は禁止とする。私語は相手、周囲の者に対しての迷惑行為である。厳に慎むことを自覚して授業に参加すること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	シャトルカード
授業外時間にかかわる情報	普段の生活から、生活機能（ICF）の視点を意識するとこの科目の理解がしやすい。特に生活支援実習の課題について、この科目の学びが援用できるように
オフィスアワー	木曜日・金曜日の14:00-16:00)
評価方法	①前期：授業内ポートフォリオ(20%)・授業内提出物(30%)　レポート課題50% ②後期：授業内ポートフォリオ(20%)・授業内提出物(30%)　レポート課題50%
教科書	最新　介護福祉士養成講座3　介護の基本Ⅰ(中央法規出版 2019) 最新　介護福祉士養成講座3　介護の基本Ⅱ(中央法規出版 2019)
参考書	「よくする介護」を実践するためのICFの理解と活用　大川弥生　中央法規出版
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 介護老人保健施設に5年弱(介護職員、レクリエーションワーカー)、特別養護老人ホームに19年間(介護長、施設ケアマネジャー)　特に施設ケアマネジャーではケアプラン業務、サービス担当者会議業務、家族への説明などを行っていた。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等) ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等) ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等) □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 ■その他 その他の具体的内容 ・新型コロナウイルス感染状況により分散登校となる場合等は、遠隔授業を実施します。尚その場合はシラバスの 内容が変更することがあります。状況に応じて適宜説明いたします。 ・授業でのワークシートおよび調べ学習の成果物などkの提出、また個人として添削指導の要望がある場合はメールでも受け付けいたします。

講義科目名称： 介護報酬請求事務Ⅰ　　授業コード：J281　J282

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年次	1単位(30)	選択
担当教員			
清水　春代			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的・到達目標】 ①介護保険制度の仕組みやサービス種別を理解するとともに介護給付費に関わる請求事務に精通する。 ②介護保険事務に関わる実務全般を習熟し、即戦力として請求事務に従事できるスキル（技術）を養う。
授業の概要	授業は講義およびレセプト作成の方法を学ぶ。テキストは実務編や学科編を使用し、単位数はコード表から検索する。テキストから、加算・減算を参照し、サービスの種類別にレセプト作成を行う。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	◎
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	○

授業計画	第１回　ガイダンス・介護保険制度仕組み 【key words】 保険者、被保険者、要介護認定、介護保険 【授業概要】 ガイダンス、受講上の注意 ①介護保険制度を利用するための仕組み、 ②介護保険の財源と保険料の仕組み ③要介護・要支援区分とその内容 【教科書ページ・参考文献】 テキスト1(1章) 、テキスト2(第1部2章) 【課題・予習・復習・授業準備指示】 介護保険について知っていること、調べたことなどを書き出しておく。 【予習復習に必要な想定時間】 1時間～1時間30分 第２回　介護保険制度の仕組み 【key words】 介護サービス、支給限度基準額、利用者の自己負担 【授業概要】 ①介護保険で利用できるサービス ②利用者を支援する仕組み ③サービス事業者の指定・取り消し、運営基準 【教科書ページ・参考文献】 テキスト1(1章) 、テキスト2(第1部2章) 【課題・予習・復習・授業準備指示】 介護サービスについて一覧表を作成 【予習復習に必要な想定時間】 1時間～1時間30分 第３回　介護保険制度の仕組み 【key words】 介護保険と医療保険、公費負担医療 【授業概要】 ①利用者を支援する仕組み ・介護保険と医療保険の関係 ・介護保険と公費負担医療の関係 【教科書ページ・参考文献】 テキスト1(1章) 、テキスト2(第1部2章) 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキストを熟読し、例題を作成 【予習復習に必要な想定時間】 1時間～1時間30分 第４回　介護保険制度の意義と創設された背景 【key words】 介護保険制度成立の背景（高齢社会、家族介護、医療費増加）、介護保険制度改革の経緯（介護保険制度の定着、将来展望、処遇改善）

【授業概要】
①従来の日本の福祉制度（措置制度）のしくみとその限界
②介護保険制度の創設と意義、その影響や成立の背景
【教科書ページ・参考文献】
テキスト1(2章）、テキスト2(第1部1章)
【課題・予習・復習・授業準備指示】
テキスト熟読
【予習復習に必要な想定時間】
1時間～1時間30分

第５回　介護保険制度と法令のポイント
【key words】
総則、被保険者、介護認定審査会、保険給付、地域支援事業
【授業概要】
介護保険制度の運営の基礎となっている法令について
・介護保険法、・介護保険法施行法、・介護保険法施行令、・介護保険法施行規則
【教科書ページ・参考文献】
テキスト1(3章　第1,2,3,4,6章)
【課題・予習・復習・授業準備指示】
テキスト熟読
【予習復習に必要な想定時間】
1時間～1時間30分

第６回　介護保険制度の基本構成
【key words】
制度の概要、保険者、被保険者、要介護認定とサービス利用の手続き、サービスの種類、支給限度額、利用者負担、他制度との関係、公費負担医療
【授業概要】
①制度に概要、②運営の主体、③被保険者、④要介護認定とサービスの利用手続き、⑤介護サービス、⑥支給限度基準額、⑦利用者の自己負担、⑧介護保険と医療保険の関係、⑨介護保険と公費負担医療の関係
【教科書ページ・参考文献】
テキスト1(4章）、テキスト2(第1部2章)
【課題・予習・復習・授業準備指示】
テキスト熟読（サービスの流れを特に重点的に復習）
【予習復習に必要な想定時間】
1時間～1時間30分

第７回　介護保険制度の基本構成
【key words】
制度の概要、保険者、被保険者、要介護認定とサービス利用の手続き、サービスの種類、支給限度額、利用者負担、他制度との関係、公費負担医療
【授業概要】
①制度に概要、②運営の主体、③被保険者、④要介護認定とサービスの利用手続き、⑤介護サービス、⑥支給限度基準額、⑦利用者の自己負担、⑧介護保険と医療保険の関係、⑨介護保険と公費負担医療の関係
【教科書ページ・参考文献】
テキスト2(第1部2章)
【課題・予習・復習・授業準備指示】
テキスト熟読（サービスの流れを特に重点的に復習）
【予習復習に必要な想定時間】
1時間～1時間30分

第８回　介護保険制度の基本構成
【key words】
制度の概要、保険者、被保険者、要介護認定とサービス利用の手続き、サービスの種類、支給限度額、利用者負担、多制度との関係、公費負担医療
【授業概要】
①制度に概要、②運営の主体、③被保険者、④要介護認定とサービスの利用手続き、⑤介護サービス、⑥支給限度基準額、⑦利用者の自己負担、⑧介護保険と医療保険の関係、⑨介護保険と公費負担医療の関係
【教科書ページ・参考文献】
テキスト2(第1部2章)
【課題・予習・復習・授業準備指示】
テキスト熟読（サービスの流れを特に重点的に復習）
【予習復習に必要な想定時間】
1時間～1時間30分

第９回　介護保険給付
【key words】
通則、認定、介護給付、予防給付、市町村特別給付、保険給付の制限
【授業概要】
①介護保険からの給付、②他の法令による給付との調整、③要介護認定の申請・更新、④被保険者に対する保険給付の制限、⑤介護保険サービスとその他のサービス、⑦介護給付の仕組み、⑧介護保険の種類と給付方法、⑨介護保険サービスの種類・内容と給付
【教科書ページ・参考文献】
テキスト1(4章）、テキスト2(第1部2章)
【課題・予習・復習・授業準備指示】
テキスト熟読（概要の⑦⑧⑨を特に重点的に復習）
【予習復習に必要な想定時間】
1時間～1時間30分

第１０回　介護支援専門員並びに事業者及び施設
【key words】
介護支援専門員、指定居宅サービス事業者、指定居宅介護支援事業者、地域密着型サービス事業者、介護保険施設、指定介護予防事業者
【授業概要】
①指定・開設の基準、②基準該当居宅サービス、③介護保険事業所情報の公表

	【教科書ページ・参考文献】 テキスト1(5章) 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキスト熟読（指定事業所と基準該当事業所について整理する。割引情報について復習する。） 【予習復習に必要な想定時間】 1時間～1時間30分 第１１回　　給付管理業務 【key words】 給付管理業務の流れ 【授業概要】 居宅介護支援事業者が行う給付管理業務の流れとケアプラン作成の手順と各種帳票の作成方法 【教科書ページ・参考文献】 テキスト2(第1部　3章) 【課題・予習・復習・授業準備指示】 サービス利用票、サービス利用票別表、サービス提供票、サービス提供票別表の作成と読み取り練習 【予習復習に必要な想定時間】 1時間～1時間30分 第１２回　　理論総まとめ、復習テスト 【key words】 理論総まとめ、復習テスト 【授業概要】 理論について復習テストを通して総復習 【教科書ページ・参考文献】 テキスト1(1~3章）、テキスト2(第1部1~3章) 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習テストの復習 【予習復習に必要な想定時間】 1時間～1時間30分 第１３回　　介護報酬の原則 【key words】 サービスコード表に基づく算定、包括報酬、単位数、端数処理、割引 【授業概要】 ①介護報酬の原則と特徴、②居宅サービスの算定の考え方、③施設サービス算定の考え方、④介護報酬請求の流れ 【教科書ページ・参考文献】 テキスト2(第2部1章）、サービスコード表 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキスト熟読（授業概要①を重点的に復習） 【予習復習に必要な想定時間】 1時間～1時間30分 第１４回　　介護報酬算定のポイント、レセプト(介護給付費明細書）の作成 【key words】 訪問介護、訪問入浴 【授業概要】 訪問介護と訪問入浴について、サービスコード表の引き方、算定方法、介護報酬請求明細書（介護レセプト）（様式2）の作成方法 【教科書ページ・参考文献】 テキスト2(第2部2～3章）、サービスコード表 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキストの演習問題 【予習復習に必要な想定時間】 1時間～1時間30分 第１５回　　介護報酬算定のポイント、レセプト(介護給付費明細書）の作成 【key words】 訪問看護 【授業概要】 訪問看護について、サービスコード表の引き方、算定方法、介護報酬請求明細書（介護レセプト）（様式2）の作成方法 【教科書ページ・参考文献】 テキスト2(第2部2～3章）、サービスコード表 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキストの演習問題 【予習復習に必要な想定時間】 1時間～1時間30分
受講生に関わる情報および受講のルール	1. 講義中の迷惑な行為は慎む。（私語や携帯電話の使用等） 2. 卓上用の計算機を準備すること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	毎回の講義・演習内容を主に復習を重ねる。
オフィスアワー	授業終了後30分、水木曜日10:00~11:30
評価方法	課題等 20%、筆記試験・実技試験 80%　　授業態度も含んで総合的に評価する。
教科書	新しい介護保険の仕組み（瀬谷出版）、介護報酬基本テキスト（ケアアンドコミュニケーション株式会社）、介護報酬サービスコード表（ケアアンドコミュニケーション株式会社） （実務編・学科編・介護給付費単位数等サービスコード表介護報酬の算定構造）
参考書	必要時、資料を配布する。

実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 施設の介護報酬請求事務指導、請求業務、介護保険事務講師 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） ■情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 介護報酬請求事務Ⅱ　　授業コード：J283　J284

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年次	1単位(30)	選択
担当教員			
清水　春代			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	①介護保険制度の仕組みやサービス種別を理解するとともに、介護給付費に関わる請求事務に精通する。 ②介護保険事務に関わる実務全般を習熟し、即戦力として請求事務に従事できるスキル（技術）を養う。
授業の概要	授業は講義およびレセプト作成の方法を学ぶ。テキストは実務編や学科編を使用し、単位数はコード表から検索する。テキストから、加算・減算を参照し、サービスの種類別にレセプト作成を行う。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	◎
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	○

授業計画		
	第1回	介護報酬算定のポイント、レセプト（介護給付費明細書）作成 【key words】 訪問リハビリテーション費、居宅療養管理指導費 【授業概要】 訪問リハビリテーション費と居宅療養管理指導費について、サービスコード表の引き方、算定方法、レセプト（様式2)の作成方法を学ぶ 【教科書ページ・参考文献】 テキスト2(第2部　2~3章）、サービスコード表 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキストの演習問題 【予習復習に必要な想定時間】 1時間～1時間30分
	第2回	介護報酬算定のポイント、レセプト（介護給付費明細書）作成 【key words】 通所介護 【授業概要】 通所介護について、サービスコード表の引き方、算定方法、レセプト（様式2)の作成方法を学ぶ 【教科書ページ・参考文献】 テキスト2(第2部　2~3章）、サービスコード表 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキストの演習問題 【予習復習に必要な想定時間】 1時間～1時間30分
	第3回	介護報酬算定のポイント、レセプト（介護給付費明細書）作成 【key words】 通所リハビリテーション費 【授業概要】 通所リハビリテーション費について、サービスコード表の引き方、算定方法、レセプト（様式2)の作成方法を学ぶ 【教科書ページ・参考文献】 テキスト2(第2部　2~3章）、サービスコード表 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキストの演習問題 【予習復習に必要な想定時間】 1時間～1時間30分
	第4回	介護報酬算定のポイント、レセプト（介護給付費明細書）作成 【key words】 短期入所生活介護 【授業概要】 短期入所生活介護について、サービスコード表の引き方、算定方法、レセプト（様式2)の作成方法を学ぶ 【教科書ページ・参考文献】 テキスト2(第2部　2~3章）、サービスコード表 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキストの演習問題 【予習復習に必要な想定時間】 1時間～1時間30分

	第5回	介護報酬算定のポイント、レセプト（介護給付費明細書）作成 【key words】 短期入所療養介護 【授業概要】 短期入所療養介護について、サービスコード表の引き方、算定方法、レセプト（様式2)の作成方法を学ぶ 【教科書ページ・参考文献】 テキスト2(第2部　2~3章）、サービスコード表 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキストの演習問題 【予習復習に必要な想定時間】 1時間～1時間30分
	第6回	介護報酬算定のポイント、レセプト（介護給付費明細書）作成 【key words】 特定施設入居者生活介護、福祉用具貸与費、居宅介護支援費 【授業概要】 特定施設入所者生活介護、福祉用具貸与、居宅介護支援費について、サービスコード表の引き方、算定方法、レセプトの作成方法を学ぶ 【教科書ページ・参考文献】 テキスト2(第2部　2~3章）、サービスコード表 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキストの演習問題 【予習復習に必要な想定時間】 1時間～1時間30分
	第7回	介護報酬算定のポイント、レセプト（介護給付費明細書）作成 【key words】 介護福祉施設サービス費 【授業概要】 介護福祉施設サービス費について、サービスコード表の引き方、算定方法、レセプトの作成方法を学ぶ 【教科書ページ・参考文献】 テキスト2(第2部　2~3章）、サービスコード表 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキストの演習問題 【予習復習に必要な想定時間】 1時間～1時間30分
	第8回	介護報酬算定のポイント、レセプト（介護給付費明細書）作成 【key words】 介護保健施設サービス費 【授業概要】 介護保健施設サービス費について、サービスコード表の引き方、算定方法、レセプトの作成方法を学ぶ 【教科書ページ・参考文献】 テキスト2(第2部　2~3章）、サービスコード表 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキストの演習問題 【予習復習に必要な想定時間】 1時間～1時間30分
	第9回	介護報酬算定のポイント、レセプト（介護給付費明細書）作成 【key words】 介護療養施設サービス費 【授業概要】 介護療養施設サービス費について、サービスコード表の引き方、算定方法、レセプトの作成方法を学ぶ 【教科書ページ・参考文献】 テキストの演習問題 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキスト2(第2部　2~3章）、サービスコード表 【予習復習に必要な想定時間】 1時間～1時間30分
	第10回	介護報酬算定のポイント、レセプト（介護給付費明細書）作成 【key words】 特定入所者介護サービス費 【授業概要】 特定入所者介護サービス費について、サービスコード表の引き方、算定方法、レセプトの作成方法を学ぶ 【教科書ページ・参考文献】 テキスト2(第2部　2~3章）、サービスコード表 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキストの演習問題 【予習復習に必要な想定時間】
	第11回	演習（サービスコード表から読み取る）ー居宅サービスー 【key words】 サービス利用票、サービス利用票別表 【授業概要】 サービス利用票、サービス利用票別表から、サービス内容を読み取り、算定とレセプト作成練習（演習問題は別途配布予定）、回答解説 【教科書ページ・参考文献】 テキスト2(第2部　2~3章）、サービスコード表 【課題・予習・復習・授業準備指示】 演習問題の復習 【予習復習に必要な想定時間】

	1時間～1時間30分 第12回　演習（サービスコード表から読み取る）ー施設サービスー 【key words】 サービス利用票、サービス利用票別表 【授業概要】 サービス利用票、サービス利用票別表から、サービス内容を読み取り、算定とレセプト作成練習（演習問題は別途配布予定）、回答解説 【教科書ページ・参考文献】 テキスト2(第2部　2~3章）、サービスコード表 【課題・予習・復習・授業準備指示】 演習問題の復習 【予習復習に必要な想定時間】 1時間～1時間30分 第13回　実技総復習、模擬試験 【key words】 模擬試験、回答解説 【授業概要】 模擬試験問題を通してレセプト作成の総復習 【教科書ページ・参考文献】 模擬試験（当日配布） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 模擬試験問題の復習 【予習復習に必要な想定時間】 1時間～1時間30分 第14回　実技総まとめ 【key words】 総まとめ 【授業概要】 居宅サービスのレセプト（様式2)、施設サービスのレセプト（様式8,9,10）の作成上のポイントと注意点などを体系的に学習する。 【教科書ページ・参考文献】 テキスト2(第2部　3章）、サービスコード表 【課題・予習・復習・授業準備指示】 総まとめ問題の復習 【予習復習に必要な想定時間】 1時間～1時間30分 第15回　復習テスト 【key words】 総復習テスト、回答解説 【授業概要】 総復習テスト、解答解説を通して弱点補強 【教科書ページ・参考文献】 総復習テスト（当日配布） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 総復習テストの復習 【予習復習に必要な想定時間】 1時間～1時間30分
受講生に関わる情報および受講のルール	1. 講義中の迷惑な行為は慎む。（私語や携帯電話の使用等） 2. 卓上用の計算機を準備すること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	毎回の講義、演習内容を主に復習を重ねる。
オフィスアワー	水木曜日　10:00~11:30、授業終了後30分、他随時
評価方法	課題等20%,筆記試験・実技試験80%,授業態度も含み総合的に評価する。
教科書	新しい介護保険の仕組み（瀬谷出版）、介護報酬基本テキスト（ケアアンドコミュニケーション株式会社）、介護報酬サービスコード表（ケアアンドコミュニケーション株式会社）
参考書	必要時、資料配布
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 施設の介護報酬請求事務指導、請求業務、 介護保険事務講師 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等）

	□情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） ■情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称：　こころとからだのしくみⅡ-①　　授業コード：J347

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年次	2単位(30)	介護福祉コース・福祉総合コース・介護福祉士実践コース・必修
担当教員			
赤田　実千代			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 ①生活障害が生じている人の生活を支援するために、加齢やさまざまな疾患でどのような生活障害が生じるのかを理解する。 ②終末期の支援をするために、終末期から「死」に至るまでの心身の機能変化と特徴を理解する。 【到達目標】 ①加齢やさまざまな疾患で、どのような生活障害が生じるのか具体的に説明することができる。 ②身じたく、移動、食事、入浴、、排泄、睡眠の生活活動別に、生活を支援する方法を具体的に説明することができる。 ③「死」に向かう人とその家族を支援する方法を具体的に説明することができる。
授業の概要	人を理解するうえで大切な、生理学、運動学、精神心理学等をもとに、加齢やさまざまな疾患でどのような生活障害が生じるかを解説します。そのうえで、身じたく、移動、食事、入浴、排泄、睡眠の生活活動別に、生活を支援する方法を学習します。また、「死」に向かう人の心身の機能変化を踏まえ、死にゆく人とその家族を支援する方法を学習します。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	◎
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	△
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	○

授業計画	第１回	オリエンテーション　　健康とは 【key words】 学びの概要　学びの目的・目標　評価方法　健康寿命　健康観 【授業概要】 本科目を履修するにあたっての基本的視点、履修上の注意点や目的・目標、評価の方法について説明を行う。 健康の定義、健康づくり、健康観、病気の概念、健康を阻害する要因について解説する。 【教科書ページ・参考文献】 健康とは資料配布 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：健康の概念　健康を阻害する要因 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第２回	からだのしくみ①　心身の調和　　生命の維持と恒常性のしくみ　　細胞・遺伝 【key words】 ホメオスタシス　細胞　ＤＮＡ　ミトコンドリア 【授業概要】 こころとからだの関係、生命の維持と恒常のしくみ、からだの構成と細胞、細胞の構造について解説する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ２０７～２１０ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：こころとからだの関係　生命の維持・恒常性　細胞・遺伝 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第３回	からだのしくみ②　循環器　　呼吸器　　骨格　　筋肉 【key words】 体循環　肺循環　リンパ　ガス交換　外呼吸　内呼吸　骨の生理的作用　骨格筋 【授業概要】 第２回講義範囲の確認テストを実施。循環器系のしくみ、呼吸器系のしくみ、骨・筋肉系のしくみについて解説する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ２１１～２１７ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：循環器系のしくみ　呼吸器系のしくみ　骨・筋肉系のしくみ 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第４回	からだのしくみ③　神経　バイタルサイン

【key words】
中枢神経　末梢神経　バイタルサイン
【授業概要】
第３回講義範囲の確認テストを実施。神経のしくみについて、バイタルサイン（意識・脈拍・呼吸・血圧・体温）について解説する。
【教科書ページ・参考文献】
Ｐ２１８～２２５
【課題・予習・復習・授業準備指示】
復習：神経のしくみ　バイタルサイン
【予習復習に必要な想定時間】
３０分

第５回　人間の欲求　　自己実現と尊厳
【key words】
マズローの欲求階層説　自己実現　自己概念　自立　尊厳
【授業概要】
第４回講義範囲の確認テストを実施。人間の欲求をマズローの欲求階層説により解説する。自己実現・自立・自己実現・尊厳・生きがいについて解説する。
【教科書ページ・参考文献】
人間の欲求、自己実現と尊厳の資料配布
【課題・予習・復習・授業準備指示】
復習：マズローの欲求階層説　自己実現と尊厳
【予習復習に必要な想定時間】
３０分

第６回　こころのしくみ
【key words】
こころ　学習　短期記憶　長期記憶　意欲　動機づけ　適応
【授業概要】
第５回講義範囲の確認テストを実施。脳とこころの関係、学習・記憶・思考のしくみ、感情のしくみ、認知のしくみ、意欲・動機づけのしくみ、適応のしくみについて解説する。
【教科書ページ・参考文献】
Ｐ２２５～２３２　こころのしくみの資料配布
【課題・予習・復習・授業準備指示】
復習：脳とこころの関係　学習・記憶・思考のしくみ　感情のしくみ　認知のしくみ　意欲・動機づけのしくみ
【予習復習に必要な想定時間】
３０分

第７回　移動に関連したこころとからだのしくみ①　移動のしくみ
【key words】
関節拘縮　姿勢の保持　抗重力筋　褥瘡
【授業概要】
第６回講義範囲の確認テストを実施。なぜ移動するのか、基本的な姿勢、移動に関連したこころのしくみ、移動に関連したからだのしくみについて解説する。
【教科書ページ・参考文献】
Ｐ２３４～２５３
【課題・予習・復習・授業準備指示】
復習：移動のしくみ
【予習復習に必要な想定時間】
３０分

第８回　移動に関連したこころとからだしくみ②　心身の機能低下が移動に及ぼす影響
【key words】
廃用症候群　褥瘡　体性感覚
【授業概要】
第７回講義範囲の確認テストを実施。精神機能の低下が移動に及ぼす影響、身体機能の低下が移動に及ぼす影響について解説する。
【教科書ページ・参考文献】
Ｐ２３４～２５３　心身の機能低下が移動に及ぼす影響の配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
復習：精神機能低下が移動に及ぼす影響　身体機能低下が移動に及ぼす影響

【予習復習に必要な想定時間】
３０分

第９回　移動に関連したこころとからだのしくみ③　変化の気づきと対応
【key words】
不安　疲労　痛み　筋力低下　関節可動域
【授業概要】
第８回講義範囲の確認テストを実施。移動での観察のポイント、医療職との連携のポイントについて解説する。事例を使った演習を実施する。
【教科書ページ・参考文献】
Ｐ２３４～２５３　移動に関連した変化の気づきと対応の配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
復習：移動での観察のポイント
【予習復習に必要な想定時間】
３０分

第１０回　食事に関連したこころとからだのしくみ①　食事のしくみ
【key words】
代謝　エネルギー必要量　五大栄養素　水分出納　摂食・嚥下の５分類　消化　吸収　経管栄養
【授業概要】
第９回講義範囲の確認テストを実施。食事のもつ意味、必要な栄養量と栄養素、必要な水分量、食事に関連したこころのしくみ、食事に関連したからだのしくみ、代償的な栄養摂取法について解説する。
【教科書ページ・参考文献】
Ｐ２５４～２６８

【課題・予習・復習・授業準備指示】
復習：消化器のしくみ　経管栄養
【予習復習に必要な想定時間】
３０分

第１１回　食事に関連したこころとからだのしくみ②　心身の機能低下が食事に及ぼす影響
【key words】
精神機能低下　加齢　粉砕能力　咀嚼　嚥下運動　脱水　低栄養
【授業概要】
第１０回講義範囲の確認テストを実施。精神機能低下が食事に及ぼす影響、身体機能低下が食事に及ぼす影響について解説する。
【教科書ページ・参考文献】
Ｐ２６９～２７１
【課題・予習・復習・授業準備指示】
復習：精神機能の低下が食事に及ぼす影響　身体機能の低下が食事に及ぼす影響
【予習復習に必要な想定時間】
３０分

第１２回　食事に関連したこころとからだのしくみ③　変化の気づきと対応
【key words】
姿勢　嗄声　流延　口腔ケア　摂食行動　経管栄養　不顕性誤嚥
【授業概要】
第１１回講義範囲の確認テストを実施。食事での観察のポイント、食事での医療職との連携のポイントについて解説する。
【教科書ページ・参考文献】
食事に関連した変化の気づきと対応の配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
復習：食事での観察のポイント
【予習復習に必要な想定時間】
３０分

第１３回　睡眠に関連したこころとからだのしくみ①　睡眠のしくみ
【key words】
自律神経　成長ホルモン　概日リズム　睡眠負債　レム睡眠　ノンレム睡眠　うつ病
【授業概要】
第１２回講義範囲の確認テストを実施。睡眠を引き起こすしくみ、良質な睡眠のための環境条件や生活習慣、睡眠に関連したこころとからだのしくみについて解説する。
【教科書ページ・参考文献】
Ｐ３０８～３１５　睡眠のしくみ配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
復習：睡眠のしくみ
【予習復習に必要な想定時間】
３０分

第１４回　睡眠に関連したこころとからだのしくみ②　心身機能の低下が睡眠に及ぼす影響　変化の気づきと対応
【key words】
入眠障害　中途覚醒　早朝覚醒　概日リズム　睡眠リズム　睡眠日誌　掻痒感　睡眠薬　うつ病
【授業概要】
第１３回講義範囲の確認テストを実施。加齢が睡眠に及ぼす影響、睡眠障害の種類と特徴、睡眠状態を確認する方法、睡眠に問題がある場合の対応について解説する。
【教科書ページ・参考文献】
Ｐ３１２～３１５　心身機能の低下が睡眠に及ぼす影響・変化の気づき対応の配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
復習：心身機能の低下が睡眠に及ぼす影響　変化の気づきと対応
【予習復習に必要な想定時間】
３０分

第１５回　前期のまとめ
【key words】
学びの目的・目標
【授業概要】
第１４回講義範囲の確認テストを実施。前期講義のポイントを解説しながら振り返り、学びの目的・目標を再度確認する。
【教科書ページ・参考文献】
Ｐ２０７～２７２　３０８～３１５　配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
復習：Ｐ２０７～２７２　３０８～３１５　配布資料　定期試験対策
【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

	【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	[受講生に関わる情報] 講義の冒頭で前回講義のミニテストを実施するため、復習をした上で講義に臨むこと。 [受講ルール] 私語を慎む、携帯電話の電源を切る。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	シャトルカード
授業外時間にかかわる情報	「こころとからだのしくみⅠ」で学習した人体の構造と機能について理解したうえで講義に臨むこと。
オフィスアワー	金曜日１０：３０～１２：００
評価方法	定期試験60%　、課題及びミニテスト20%、授業態度（グループワークの取り組みなど）20%
教科書	介護福祉士養成テキスト5「発達と老化の理解/認知症の理解/障害の理解/こころとからだのしくみ」日本介護福祉士養成施設協会編
参考書	必要に応じて印刷資料を使用。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 大学病院の病棟看護、前期高齢者の保健指導、企業内健康管理室の看護師などの看護師実務経験を活かし、介護・福祉・医療の現場で必要な知識や対応について講じます。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称：　こころとからだのしくみⅡ-②　　授業コード：J348

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年次	2単位(30)	介護福祉コース・福祉総合コース・介護福祉士実践コース・必修
担当教員			
赤田　実千代			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 ①生活障害が生じている人の生活を支援するために、加齢やさまざまな疾患でどのような生活障害が生じるのかを理解する。 ②終末期の支援をするために、終末期から「死」に至るまでの心身の機能変化と特徴を理解する。 【到達目標】 ①加齢やさまざまな疾患で、どのような生活障害が生じるのか具体的に説明することができる。 ②身じたく、移動、食事、入浴、、排泄、睡眠の生活活動別に、生活を支援する方法を具体的に説明することができる。 ③「死」に向かう人とその家族を支援する方法を具体的に説明することができる。
授業の概要	人を理解するうえで大切な、生理学、運動学、精神心理学等をもとに、加齢やさまざまな疾患でどのような生活障害が生じるかを解説します。そのうえで、身じたく、移動、食事、入浴、排泄、睡眠の生活活動別に、生活を支援する方法を学習します。また、「死」に向かう人の心身の機能変化を踏まえ、死にゆく人とその家族を支援する方法を学習します。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	◎
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	△
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	○

授業計画	第１回	排泄に関連したこころとからだのしくみ①　排泄のしくみ 【key words】 認知機能　心因性頻尿　過敏性腸症候群　尊厳　畜尿　排尿　畜便　排便　人工膀胱　人工肛門 【授業概要】 排泄に必要な行為、排尿と排便のしくみを解説し、排泄状態の正常・異常の指標を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ２７３～２８２　排泄のしくみの配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：排泄のしくみ　排泄の正常・異常 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第２回	排泄に関連したこころとからだのしくみ②　心身の機能低下が排泄に及ぼす影響 【key words】 高次機能　ストレス　ＡＤＬ低下　畜尿障害　排尿困難　排泄行為障害　ブリストール便形状スケール 【授業概要】 第１回講義範囲の確認テストを実施。排泄障害の種類と特徴、排泄障害のタイプに応じた対処方法を解説し、適切な対応により改善の可能性があることを学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ２８２～２９０　心身の機能低下が排泄に及ぼす影響の配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：心身の機能低下が排泄に及ぼす影響 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第３回	排泄に関連したこころとからだのしくみ③　変化の気づきと対応 【key words】 清潔保持　温熱性発汗　精神性発汗　味覚性発汗　皮脂腺　尿路感染 【授業概要】 第２回講義範囲の確認テストを実施。入浴・清潔がもたらす心身への効果、汚れが皮膚に及ぼす影響と清潔保持の必要性について解説する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ２９２～２９６　入浴・清潔保持のしくみの配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：排泄の観察・報告・記録のポイント 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第４回	入浴に関連したこころとからだのしくみ①　入浴・清潔保持のしくみ 【key words】

		清潔保持　温熱性発汗　精神性発汗　味覚性発汗　皮脂腺　尿路感染 【授業概要】 第３回講義範囲の確認テストを実施。入浴・清潔がもたらす心身への効果、汚れが皮膚に及ぼす影響と清潔保持の必要性について解説する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ２９２～２９６　入浴・清潔保持のしくみの配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：心身の機能低下が入浴・清潔保持に及ぼす影響 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第５回	入浴に関連したこころとからだのしくみ②　心身の機能低下が入浴・清潔保持に及ぼす影響 【key words】 認知機能　皮膚機能　掻痒　発疹　視覚機能　運動機能 【授業概要】 第４回講義範囲の確認テストを実施。心身の機能低下が及ぼす清潔保持への影響について解説する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ２９６～２９８　心身の機能低下が入浴・清潔保持に及ぼす影響の配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：心身の機能低下が入浴・清潔保持に及ぼす影響 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第６回	入浴に関連したこころとからだのしくみ③　変化の気づきと対応 【key words】 自己表現　社会参加　目的　意欲　価値観 【授業概要】 第５回講義範囲の確認テストを実施。入浴・清潔保持の前に確認する内容、清潔保持の際に確認できる心身の状態について解説する。 【教科書ページ・参考文献】 入浴に関連した変化の気づきと対応の配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：入浴・清潔保持の観察のポイント 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第７回	身じたくに関連したこころとからだのしくみ①　身じたくのしくみ 【key words】 自己表現　社会参加　目的　意欲　価値観 【授業概要】 第６回講義範囲の確認テストを実施。生活のなかで行われている身じたくに関するこころとからだの基本項目、身じたくに関連するからだのしくみについて解説する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ３００～３０４　身じたくのしくみ配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：身じたくのしくみ 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第８回	身じたくに関連したこころとからだのしくみ②　心身の機能低下が身じたくに及ぼす影響 【key words】 認知機能の低下　意欲低下　感覚機能低下　白髪 【授業概要】 第７回講義範囲の確認テストを実施。老化に伴う機能低下、身じたくを整えることを妨げる要因について解説する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ３０５～３０６ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：心身の機能低下が身じたくに及ぼす影響 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第９回	身じたくに関連したこころとからだのしくみ③　変化の気づきと対応 【key words】 白内障　緑内障　チアノーゼ　巻き爪　陥入爪　脱毛　う歯　歯周病　口腔内アフタ 【授業概要】 第８回講義範囲の確認テストを実施。身支度を支援する際の観察のポイントを解説し、他職種と連携するうえでどのような判断が必要かを学習する。 【教科書ページ・参考文献】 身じたくに関連した変化の気づきと対応の配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：身じたく支援の際の観察のポイント 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第１０回	終末期のケアに関連したこころとからだのしくみ①　「死」を理解する 【key words】 尊厳　ＱＯＬ　脳死　臓器提供　尊厳死　リビングウイル　ターミナルケア 【授業概要】 第９回講義範囲の確認テストを実施。終末期のとらえ方、看取りでの尊厳の保持の意味について解説する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ３１６～３１８ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：終末期のとらえ方　尊厳の保持 【予習復習に必要な想定時間】

	３０分 第１１回　終末期のケアに関連したこころとからだのしくみ②　終末期のからだの理解 【key words】 チェーンストークス呼吸　肩呼吸　下顎呼吸　意識状態　チアノーゼ　死斑　死後硬直 【授業概要】 第１０回講義範囲の確認テストを実施。終末期から死までの身体機能の特徴、臨終期から死後のからだの変化とその対応について解説する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ３１８～３２１　終末期のからだの理解の配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：終末期から臨終期における身体機能の変化　死後のからだの変化 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分 第１２回　終末期のケアに関連したこころとからだのしくみ③　「死」に対するこころの理解 【key words】 死生観　キューブラー―ロス　グリーフケア 【授業概要】 第１１回講義範囲の確認テストを実施。「死」に直面したときの人の心理状況、こころの変化の受け止め方、ケアのあり方について解説する。各自ワークシートに死生観についてまとめる。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ３２１～３２４　死に対するこころの理解の配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：キューブラー―ロスの死の受容プロセス　グリーフケア　死生観 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分 第１３回　終末期のケアに関連したこころとからだのしくみ④　死生観　医療職との連携 【key words】 呼吸困難　疼痛緩和　他職種連携　在宅医療 【授業概要】 第１２回講義でまとめた「死生観」について、グループ内で発表する。終末期ケアにおける医療職の役割と介護職の役割、医療職との連携について解説する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ３３２～３３６　医療職との連携の配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：終末期ケアにおける医療職の役割・介護職の役割、医療職との連携 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分 第１４回　後期のまとめ 【key words】 排泄　入浴　身じたく　終末期ケア 【授業概要】 第１回～１４回講義範囲の確認テストを実施。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ２７３～３０６　３１６～３２４　配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：排泄・入浴・身じたく・終末期ケアに関連したこころとからだのしくみ 【予習復習に必要な想定時間】 １２０分 第１５回　後期のまとめ 【key words】 学びの目的・目標 【授業概要】 後期講義のポイントを解説しながら振り返り、学びの目的・目標を再度確認する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ２７３～３０６　３１６～３２４　配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：Ｐ２７３～３０６　３１６～３２４　配布資料　定期試験対策 【予習復習に必要な想定時間】 １２０分 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】

【key words】
【授業概要】
【教科書ページ・参考文献】
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【予習復習に必要な想定時間】

【key words】
【授業概要】
【教科書ページ・参考文献】
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【予習復習に必要な想定時間】

【key words】
【授業概要】
【教科書ページ・参考文献】
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【予習復習に必要な想定時間】

【key words】
【授業概要】
【教科書ページ・参考文献】
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【予習復習に必要な想定時間】

【key words】
【授業概要】
【教科書ページ・参考文献】
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【予習復習に必要な想定時間】

【key words】
【授業概要】
【教科書ページ・参考文献】
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【予習復習に必要な想定時間】

【key words】
【授業概要】
【教科書ページ・参考文献】
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【予習復習に必要な想定時間】

【key words】
【授業概要】
【教科書ページ・参考文献】
【課題・予習・復習・授業準備指示】
【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

	【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	[受講生に関わる情報] 講義の冒頭で前回講義のミニテストを実施するため、復習をした上で講義に臨むこと。 [受講ルール] 私語を慎む、携帯電話の電源を切る。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	シャトルカード
授業外時間にかかわる情報	「こころとからだのしくみⅠ」で学習した人体の構造と機能について理解したうえで講義に臨むこと。
オフィスアワー	金曜日１０：３０～１２：００
評価方法	定期試験60%　、課題及びミニテスト20%、授業態度（グループワークの取り組みなど）20%
教科書	介護福祉士養成テキスト5「発達と老化の理解/認知症の理解/障害の理解/こころとからだのしくみ」日本介護福祉士養成施設協会編
参考書	必要に応じて印刷資料を使用。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 大学病院の病棟看護、前期高齢者の保健指導、企業内健康管理室の看護師などの看護師実務経験を活かし、介護・福祉・医療の現場で必要な知識や対応について講じます。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等) □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等) □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等) □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 社会保障Ⅰ　　授業コード：J382

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年次	2単位(30)	福祉総合コース・選択
担当教員			
松原　直樹			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 社会保障制度は、私たちが生活していく中で誰もが直面する失業や病気・けが、介護の必要性などの困難な状況に社会全体で手助けをしようとする制度である。社会保障は、日常生活に困難を抱えている場面において、なくてはならない仕組みであり、社会福祉に関わる仕事に就く人だけでなく、生活者としても、理解しておく必要のある事がらである。さまざまな場面でセーフティネットとなっている社会保障に関する理解を深めていくことを授業の目的とする。 【到達目標】 １．社会保障の用語及び歴史的理解。 ２．社会保障制度の目的・体系の理解。 ３．社会福祉及び国民生活への政策の理解。
授業の概要	まず社会保障の全体像について理解し、医療・介護の各保険制度の概要や現状、今後の課題について理解する。また現実のデータから社会保障の動向について整理を行い、さらに社会福祉士・介護福祉士国家試験における、社会保障の過去問を活用しながら、具体的な事例を想定し、社会保障制度の目的・役割・課題について理解を深める。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	◎
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	○
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	△

授業計画	第1回	オリエンテーション、現代社会における社会保障の現状 【key words】 社会保障　人口動態　少子高齢化　人口減少社会　非正規雇用　ワークライフバランス 【授業概要】 社会保障の学習予定について概観する。また、社会福祉士国家試験出題基準における社会保障の位置づけを知る。そして、社会保障制度を取り巻く現在の環境について理解する。少子高齢化、人口減少期を迎えている日本の現状とそうした状況下での労働人口やその将来予測について検討し、それに関連する労働環境の現状および整備について理解する。 【教科書ページ・参考文献】 p.ⅰ～p.ⅷ、p.1～p.15 【課題・予習・復習・授業準備指示】 〈予習〉教科書第1章を読んでおく。 〈復習〉本日の授業の概要を確認する。まとめチェック1で質問された事項について、正解を調べておく。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分、復習120分
	第2回	社会保障の概念・理念と対象 【key words】 社会保障の概念　社会保障の役割　社会保障の機能　社会保障の理念　社会保障の対象 【授業概要】 社会保障の概念について知る。さらに、現代の社会保障における個人・政府・地方自治体及び社会福祉事業者の関わりについて知る。また、社会保障と福祉国家の関係について理解する。また、日本国憲法及び基本的人権と社会保障の関係について理解する。続いて、社会保障全体についての目的及び機能について理解する。 【教科書ページ・参考文献】 p.16～p.35 【課題・予習・復習・授業準備指示】 〈予習〉教科書第2章1～4節を読んでおく。 〈復習〉配布プリントを見ながら、本日の授業の概要を確認する。まとめチェック2で質問された事項について、正解を調べておく。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分、復習120分
	第3回	社会保障制度の展開 【key words】 救貧法　社会保険法　恤救規則　救護法 【授業概要】 社会保障がどのような経緯をたどって現在に至っているかを理解し、また社会保障制度の思想や哲学の知識や流れを全体的に把握する。 【教科書ページ・参考文献】

p.36～p.46
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈予習〉教科書第2章5節を読んでおく。
〈復習〉配布プリントを見ながら、本日の授業の概要を確認する。まとめチェック3で質問された事項について、正解を調べておく。
【予習復習に必要な想定時間】
予習60分、復習120分

第4回　社会保障と財政①
【key words】
社会保障費用統計　社会保障給付費　政策分野別・部門別・機能別社会保障給付費　国民負担率
【授業概要】
最新社会保障費用統計を見て、その特徴を理解する。また、部門別、機能別の社会保障給付費に関する統計を検討し、その特徴を理解する。また、その上で、社会保障と国民経済の関係および国民負担率について現状を理解する。
【教科書ページ・参考文献】
p.47～p.57
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈予習〉教科書第3章を読んでおく。
〈復習〉配布プリントを見ながら、本日の授業の概要を確認する。まとめチェック4で質問された事項について、正解を調べておく。
【予習復習に必要な想定時間】
予習60分、復習120分

第5回　社会保障と財政② 社会保険と社会扶助
【key words】
社会保障関係費　国民経済　社会保険　社会扶助
【授業概要】
社会保障が経済活動にどのような影響を及ぼしているのかを理解する。また、国民の生活を保障する社会保障の方法として、社会保険と社会扶助について、それぞれの概念とその内容を理解する。
【教科書ページ・参考文献】
p.57～p.75
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈予習〉教科書第4章を読んでおく。
〈復習〉配布プリントを見ながら、本日の授業の概要を確認する。まとめチェック5で質問された事項について、正解を調べておく。
【予習復習に必要な想定時間】
予習60分、復習120分

第6回　医療保険制度①医療保険制度の概要
【key words】
国民皆保険　高齢者の医療の確保に関する法律　被用者保険　地域保険
【授業概要】
医療保険制度がこれまでどのように形作られてきたかについて理解する。そして、医療保険制度の全体像について理解する。また、保険診療をめぐる利用者・医療機関・保険者の関係について理解する。
【教科書ページ・参考文献】
p.87～p.89
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈予習〉教科書第6章1節(1)を読んでおく。
〈復習〉配布プリントを見ながら、本日の授業の概要を確認する。まとめチェック6で質問された事項について、正解を調べておく。
【予習復習に必要な想定時間】
予習60分、復習120分

第7回　医療保険制度②被用者保険
【key words】
健康保険　協会けんぽ　健康保険組合　療養の給付　共済組合
【授業概要】
被用者保険である健康保険と共済制度について理解する。そのため、それぞれの保険の被保険者および保険者について理解する。また、共通する保険給付の内容について理解する。
【教科書ページ・参考文献】
p.92～p.94, p.102
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈予習〉教科書第6章1節(2)(4)を読んでおく。
〈復習〉配布プリントを見ながら、本日の授業の概要を確認する。まとめチェック7で質問された事項について、正解を調べておく。
【予習復習に必要な想定時間】
予習60分、復習120分

第8回　医療保険制度③国民健康保険
【key words】
国民健康保険　国民健康保険組合　国民健康保険財政
【授業概要】
地域保険である国民健康保険について理解する。この保険の被保険者および保険者について理解する。また、国民健康保険財政について、理解する。
【教科書ページ・参考文献】
p.94～p.101
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈予習〉教科書第6章1節(3)を読んでおく。
〈復習〉配布プリントを見ながら、本日の授業の概要を確認する。まとめチェック8で質問された事項について、正解を調べておく。
【予習復習に必要な想定時間】
予習60分、復習120分

第9回　医療保険制度④高齢者医療制度
【key words】

		後期高齢者医療制度　高齢者の医療の確保に関する法律　広域連合 【授業概要】 後期高齢者医療制度のしくみについて理解する。被保険者、保険料、および財源構成について、学習する。その他の高齢者医療に関する制度についても概観する。 【教科書ページ・参考文献】 p.102～p.106 【課題・予習・復習・授業準備指示】 〈予習〉教科書第6章1節(5)を読んでおく。 〈復習〉配布プリントを見ながら、本日の授業の概要を確認する。まとめチェック9で質問された事項について、正解を調べておく。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分、復習120分
	第10回	医療保険制度⑤国民医療費、公費負担医療 【key words】 国民医療費　医療費適正化　混合医療の拡大　診療報酬改定 【授業概要】 公費負担医療について理解する。最新のデータにより国民医療費について理解する。また、最近の医療費や医療提供体制に関わる動向について理解する。 【教科書ページ・参考文献】 p.106～p.109 【課題・予習・復習・授業準備指示】 〈予習〉教科書第6章1節(6)を読んでおく。 〈復習〉配布プリントを見ながら、本日の授業の概要を確認する。まとめチェック10で質問された事項について、正解を調べておく。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分、復習120分
	第11回	介護保険制度①介護保険制度制定の経緯 【key words】 措置から契約　介護保険法　介護保険法改正 【授業概要】 介護保険制度が創設された背景と創設された経緯について、理解する。まず、介護保険制度創設以前の高齢者福祉・老人保健制度について概観し、介護保険の創設過程及び介護保険制度の見直しの経緯について学習する。 【教科書ページ・参考文献】 p.110～p.115 【課題・予習・復習・授業準備指示】 〈予習〉教科書第6章2節(1)(2)を読んでおく。 〈復習〉配布プリントを見ながら、本日の授業の概要を確認する。まとめチェック11で質問された事項について、正解を調べておく。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分、復習120分
	第12回	介護保険制度②介護保険制度の基本的なしくみ 【key words】 第1号被保険者・第2号被保険者　要介護認定　介護保険審査会 【授業概要】 現在の介護保険制度の概要について、保険者・被保険者・利用手続きについて、学習する。被保険者については第1号被保険者と第2号被保険者の別について、またそれぞれの保険料について学習する。利用手続きについては、要介護認定を含む介護保険利用手順を理解する。 【教科書ページ・参考文献】 p.115～p.121 【課題・予習・復習・授業準備指示】 〈予習〉教科書第6章2節(3)(4)を読んでおく。 〈復習〉本日の授業の概要を確認する。まとめチェック12で質問された事項について、正解を調べておく。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分、復習120分
	第13回	介護保険制度③介護サービスの種類 【key words】 要介護　要支援　介護給付　予防給付　施設サービス　居宅サービス　介護予防サービス　地域密着型サービス 【授業概要】 介護保険の給付について、要介護1～5の認定を受けた要介護者を対象とした介護給付と要支援1～2の認定がされた要支援者を対象とした予防給付について、その内容について、理解する。また、地域密着型サービス、地域密着型介護予防サービスについてもその内容を理解する。 【教科書ページ・参考文献】 p.121～p.126 【課題・予習・復習・授業準備指示】 〈予習〉教科書第6章2節(4)2)を読んでおく。 〈復習〉配布プリントを見ながら、本日の授業の概要を確認する。まとめチェック13で質問された事項について、正解を調べておく。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分、復習120分
	第14回	介護保険制度④地域支援事業、地域包括ケアシステム、政策動向 【key words】 地域支援事業　地域包括支援センター　地域包括ケアシステム　介護保険財政　介護保険制度改革 【授業概要】 地域支援事業について、理解する。また、地域包括ケアシステムについて、その理念と内容について理解する。介護保険財政及び介護保険制度の課題について、理解する。 【教科書ページ・参考文献】 p.126～p.135 【課題・予習・復習・授業準備指示】 〈予習〉教科書第6章2節(5)を読んでおく。

	〈復習〉授業の概要を確認する。まとめチェック14で質問された事項について、正解を調べておく。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分、復習120分 第15回　全体のまとめ 【key words】 社会保障の概念や対象及びその理念　社会保障の財源と費用　医療保険制度の具体的内容　介護保険制度の具体的内容 【授業概要】 これまで学習した「社会保障の概念や対象及びその理念」「社会保障の財源と費用」「医療保険制度の具体的内容」「介護保険制度の具体的内容」について、その概要を復習する。また、その範囲について、社会福祉士・介護福祉士の国家試験問題の解答・解説によって、理解を深める。 【教科書ページ・参考文献】 p.1～p.135(p.76～p.86除) 【課題・予習・復習・授業準備指示】 〈予習〉配布プリントを通読しておく。 〈復習〉授業で取り上げた、社会福祉士等の国家試験問題の解答・解説を復習する。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分、復習120分
受講生に関わる情報および受講のルール	・自己責任(無断欠席・遅刻等しない）を持って受講すること。 ・自分自身で社会保障分野の内容が理解できるように努めること。 ・社会福祉分野の国家試験と深い関わりがある科目のため、予習・復習をすること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	ミニテスト及び質問・コメントカード
授業外時間にかかわる情報	配布資料、新聞や社会保障に関連する参考書等を自主的に勉強すること。
オフィスアワー	授業終了後
評価方法	期末試験（80%），ミニテスト・受講状況（20%）
教科書	川村匡由 編著『福祉ライブラリ　改訂 社会保障』建帛社
参考書	社会福祉士養成講座編集委員会編『社会保障（第６版）』中央法規出版 社会福祉小六法・社会福祉用語辞典（最新版）
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 社会保障Ⅱ　　授業コード： J383

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年次	2単位(30)	福祉総合コース・選択
担当教員			
松原　直樹			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 社会保障制度は、私たちが生活していく中で誰もが直面する失業や病気・けが、介護の必要性などの困難な状況に社会全体で手助けをしようとする制度である。社会保障は、日常生活に困難を抱えている場面において、なくてはならない仕組みであり、社会福祉に関わる仕事に就く人だけでなく、生活者としても、理解しておく必要のある事がらである。さまざまな場面でセーフティネットとなっている社会保障に関する理解を深めていくことを授業の目的とする。 【到達目標】 １．社会保障の用語及び歴史的理解。 ２．社会保障制度の目的・体系の理解。 ３．社会福祉及び国民生活への政策の理解。
授業の概要	社会保障Ⅰで学修した内容につづき、年金・労働の各保険制度の概要や現状、今後の課題について理解する。さらに社会福祉制度の概要についてる理解する。民間保険、他国の社会保障制度との比較を通じて、社会保障の課題について明らかにしていく。また、社会福祉士・介護福祉士国家試験における、社会保障の過去問を活用しながら、具体的な事例を想定し、社会保障制度の目的・役割・課題について理解を深める。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	◎
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	○
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	△

授業計画	第1回	オリエンテーション、年金保険制度①公的年金制度の沿革と概要 【key words】 国民皆年金体制　公的年金制度の沿革　年金制度改革 【授業概要】 公的年金の概要について理解する。そのため、公的年金制度が現在の制度に至る過程について理解する。さらに、公的年金制度めぐる近年の改革について理解する。 【教科書ページ・参考文献】 p.136～p.141 【課題・予習・復習・授業準備指示】 〈予習〉教科書第6章3節(1)(2)を読んでおく。 〈復習〉配布プリントを見ながら、本日の授業の概要を確認する。まとめチェック16で質問された事項について、正解を調べておく。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分、復習120分
	第2回	年金保険制度②国民年金・厚生年金 【key words】 国民年金第1～3号被保険者　厚生年金適用事業所　国民年金の免除　学生納付特例制度　国民年金保険料　厚生年金保険料率 【授業概要】 国民年金の概要と被保険者の種類について理解する。また、厚生年金の概要と被保険者について理解する。さらに、国民年金と厚生年金の関係について理解する。 【教科書ページ・参考文献】 p.141～p.144 【課題・予習・復習・授業準備指示】 〈予習〉教科書第6章3節(3)(4)を読んでおく。 〈復習〉授業の概要を確認する。まとめチェック17で質問された事項について、正解を調べておく。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分、復習120分
	第3回	年金保険制度③老齢基礎年金・老齢厚生年金 【key words】 老齢基礎年金　老齢厚生年金　年金支給要件　年金額 【授業概要】 国民年金および厚生年金の給付の種類について、理解した後、老齢基礎年金及び老齢厚生年金の支給のための要件および年金額について、理解する。 【教科書ページ・参考文献】 p.144～p.146

【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈予習〉教科書第6章3節(5)1)を読んでおく。
〈復習〉授業の概要を確認する。まとめチェック18で質問された事項について、正解を調べておく。
【予習復習に必要な想定時間】
予習60分、復習120分

第4回　年金保険制度④障害基礎年金・障害厚生年金、遺族基礎年金・遺族厚生年金
【key words】
障害基礎年金　障害厚生年金　遺族基礎年金　遺族厚生年金
【授業概要】
障害基礎年金及び障害厚生年金の支給のための要件および年金額について、理解する。また、遺族基礎年金及び遺族厚生年金の支給のための要件および年金額について、理解し、両者の支給対象者の違いについて、理解する。
【教科書ページ・参考文献】
p.144,p.147～p.151
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈予習〉教科書第6章3節(5)2)～4)を読んでおく。
〈復習〉授業の概要を確認する。まとめチェック19で質問された事項について、正解を調べておく。
【予習復習に必要な想定時間】
予習60分、復習120分

第5回　年金保険制度⑤年金保険の動向
【key words】
社会保障制度改革国民会議 税・社会保障一体改革　マクロ経済スライド 財政検証 所得代替率 厚生年金基金
【授業概要】
社会保障・税一体改革以来の年金制度をめぐる動向について理解する。そして、現在の年金制度に関する課題と今後の見通しについて知る。
【教科書ページ・参考文献】
p.154～p.160
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈予習〉教科書第6章3節(7)を読んでおく。
〈復習〉配布プリントを見ながら、本日の授業の概要を確認する。まとめチェック20で質問された事項について、正解を調べておく。
【予習復習に必要な想定時間】
予習60分、復習120分

第6回　労働保険制度①労働保険制度の概要と沿革、労働者災害補償保険
【key words】
労働保険　労働者災害補償保険　労働基準監督署　ハローワーク　労災認定
【授業概要】
労働者に対する保険制度である雇用保険・労働者災害補償保険について、概要と沿革を理解する。今回は、労働者災害補償保険の対象、保険給付の内容及び給付の前提となる労災認定について、理解する。
【教科書ページ・参考文献】
p.161～p.170
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈予習〉教科書第6章4節(1)～(5)を読んでおく。
〈復習〉授業の概要を確認する。まとめチェック21で質問された事項について、正解を調べておく。
【予習復習に必要な想定時間】
予習60分、復習120分

第7回　労働保険制度②雇用保険、求職者支援、労働保険制度をめぐる最近の動向
【key words】
雇用保険　失業等給付　雇用保険二事業　就職促進給付　雇用継続給付
【授業概要】
労働保険のうち、雇用保険について、理解する。失業等給付の具体的な給付内容について、理解し、また雇用保険二事業について、その内容を理解する。雇用保険の財源構成についても理解する。さらに、最近の労働環境と労働保険の関係についても理解する。
【教科書ページ・参考文献】
p.170～p.179
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈予習〉教科書第6章4節(6)～(8)を読んでおく。
〈復習〉授業の概要を確認する。まとめチェック22で質問された事項について、正解を調べておく。
【予習復習に必要な想定時間】
予習60分、復習120分

第8回　生活保護制度、社会手当制度
【key words】
生活保護制度　社会手当　児童手当　児童扶養手当
【授業概要】
生活保護法の内容について、特に基本原理・生活保護の種類・保護施設について理解する。また、税を財源とする金銭給付である社会手当制度について、具体的な施策を理解する。
【教科書ページ・参考文献】
p.180～p.204
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈予習〉教科書第6章5～6節を読んでおく。
〈復習〉授業の概要を確認する。まとめチェック23で質問された事項について、正解を調べておく。
【予習復習に必要な想定時間】
予習60分、復習120分

第9回　社会福祉制度①沿革と概要、児童福祉、母子・父子福祉
【key words】

		社会福祉法　社会福祉事業　社会福祉財政　児童福祉法　児童福祉施設　子ども・子育て支援新制度　母子・父子及び寡婦福祉法 【授業概要】 社会福祉制度が整備されてきた経緯を学習し、社会福祉制度の現状を理解する。児童を対象とした福祉施策について、児童福祉法及び子育て支援関連法にもとづき、理解する。また、ひとり親家庭を対象とした福祉施策についても理解する。 【教科書ページ・参考文献】 p.205～p.221 【課題・予習・復習・授業準備指示】 〈予習〉教科書第6章7節(1)～(5)を読んでおく。 〈復習〉授業の概要を確認する。まとめチェック24で質問された事項について、正解を調べておく。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分、復習120分
	第10回	社会福祉制度②障害者福祉、高齢者福祉 【key words】 障害者基本法　障害者総合支援法　老人福祉法　高齢者虐待防止法 【授業概要】 障害者を対象とした福祉施策について、障害者基本法・障害者総合支援法をはじめとした障害者福祉関連法にもとづき、理解する。高齢者を対象とした福祉施策について、老人福祉法法にもとづき、理解する。また、介護保険法との関連についても理解する。さらに、高齢者の権利保障についての施策も理解する。 【教科書ページ・参考文献】 p.221～p.226 【課題・予習・復習・授業準備指示】 〈予習〉教科書第6章7節(5)2)～3)を読んでおく。 〈復習〉授業の概要を確認する。まとめチェック25で質問された事項について、正解を調べておく。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分、復習120分
	第11回	民間保険制度①民間保険と社会保険、民間保険の概要 【key words】 民間保険　生命保険　損害保険　第三分野の保険 【授業概要】 公的保険による所得補償では不十分な場合、それを補完するものとして重要な役割を有している民間保険について、公的保険との相違を中心に理解する。民間保険の諸原則及び保険給付の対象範囲について、理解する。 【教科書ページ・参考文献】 p.76～p.86 【課題・予習・復習・授業準備指示】 〈予習〉教科書第5章を読んでおく。 〈復習〉授業の概要を確認する。まとめチェック26で質問された事項について、正解を調べておく。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分、復習120分
	第12回	民間保険制度②私的年金 【key words】 企業年金　確定拠出年金　確定給付年金　個人年金 【授業概要】 公的年金を補完する役割を担っている企業年金と個人年金について、その概要と具体的なしくみについて理解する。 【教科書ページ・参考文献】 p.151～p.154 【課題・予習・復習・授業準備指示】 〈予習〉教科書第6章3節(6)を読んでおく。 〈復習〉授業の概要を確認する。まとめチェック27で質問された事項について、正解を調べておく。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分、復習120分
	第13回	諸外国における社会保障制度①欧米 【key words】 スウェーデンの社会保障　ドイツの社会保障　フランスの社会保障　イギリスの社会保障　アメリカの社会保障 【授業概要】 人口構成の高齢化を迎えている欧米諸国の社会保障制度について、2つの類型に分けて、検討した上で、まずは具体的に5カ国の社会保障制度についても日本と比較しながら理解する。 【教科書ページ・参考文献】 p.227～p.237 【課題・予習・復習・授業準備指示】 〈予習〉教科書第7章1～3節を読んでおく。 〈復習〉授業の概要を確認する。まとめチェック28で質問された事項について、正解を調べておく。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分、復習120分
	第14回	諸外国における社会保障制度②オセアニア、中国、ロシア、韓国 【key words】 オーストラリアの社会保障　ロシアの社会保障　中国の社会保障　韓国の社会保障　社会保障協定 【授業概要】 人口構成の高齢化を迎えている日本の近隣諸国の社会保障制度について、検討した上で、具体的に4カ国の社会保障制度についても日本と比較しながら理解する。社会保障に関わる諸協定について、理解する。 【教科書ページ・参考文献】

	p.237～p.243 【課題・予習・復習・授業準備指示】 〈予習〉教科書第7章4・5節を読んでおく。 〈復習〉授業の概要を確認する。まとめチェック29で質問された事項について、正解を調べておく。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分、復習120分 第15回　全体のまとめ 【key words】 年金保険　労働者災害補償保険　雇用保険　社会福祉制度 【授業概要】 これまで学習してきたもののなかで、特に「年金保険」「労働保険」及び「社会福祉制度」について、その概要を復習する。また、その範囲について、社会福祉士・介護福祉士の国家試験問題の解答・解説によって、理解を深める。 【教科書ページ・参考文献】 p.1～p.246 【課題・予習・復習・授業準備指示】 〈予習〉教科書終章を読んでおく。これまでの配付資料を通読しておく。 〈復習〉授業で取り上げた、まとめチェックその他の解答・解説を復習する。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分、復習120分
受講生に関わる情報および受講のルール	・自己責任(無断欠席・遅刻等しない）を持って受講すること。 ・自分自身で社会保障分野の内容が理解できるように努めること。 ・社会福祉分野の国家試験と深い関わりがある科目のため、予習・復習をすること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	ミニテスト及び質問・コメントカード
授業外時間にかかわる情報	配布資料、新聞や社会保障に関連する参考書等を自主的に勉強すること。
オフィスアワー	授業終了後
評価方法	期末試験（80%），ミニテスト・受講状況（20%）
教科書	川村匡由 編著『福祉ライブラリ　改訂 社会保障』建帛社
参考書	社会福祉士養成講座編集委員会編『社会保障（第６版）』中央法規出版 社会福祉小六法・社会福祉用語辞典（最新版）
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称：　児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度Ⅰ　授業コード：J414

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年次	2単位(30)	福祉総合コース・選択
担当教員			
義基　祐正			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 児童福祉の現状と課題を理解し、支援のあり方や福祉制度を学ぶことにより、社会福祉業務に必要な知識等を身につけることを目的とする。 【到達目標】 ①現代の児童福祉の現状と課題、児童福祉の理念、児童福祉の関係法令・実施体制・専門職・権利擁護が理解できる。 ②社会福祉士や児童指導員等有資格者として必要な児童福祉の基本的な知識を修得できる。
授業の概要	教科書により、子育ての現状と課題、次世代育成支援策、児童福祉ニーズ、権利保障、児童福祉の法体系、障害児、児童の健全育成、子育て支援、社会的養護児童、非行児童、被虐待児等の現状支援策について講義を行う。 また、子どもの権利保障にとって児童福祉の果たす役割ついて考察をかさねる。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	

授業計画		
	第１回	科目オリエンテーション 【key words】 社会福祉　貧困　自己責任 【授業概要】 授業の受け方、予習復習、評価の方法などを説明 社会福祉とは何かを考えながら、児童福祉を学ぶ意味について考える 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書、六法を読むこと。 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第２回	現代社会と子ども① 【key words】 子どもの貧困 【授業概要】 子どもの貧困の実態について考える 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 前回と同様 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第３回	現代社会と子ども② 【key words】 子どもの定義　子どもを取り巻く現実 【授業概要】 現代社会に生きる子どもと家族を取り巻く状況を概観する 【教科書ページ・参考文献】 垣内国光他の教科書ｐ13～27 【課題・予習・復習・授業準備指示】 前回と同様 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第４回	子ども福祉の歴史 【key words】 児童労働　セツルメント　子どもの権利の誕生 【授業概要】 前近代から近代の子どもの実態を見ていくなかで、どのようにして子どもの権利が誕生していったのかを考える 【教科書ページ・参考文献】

		垣内国光他の教科書ｐ28～47 【課題・予習・復習・授業準備指示】 前回と同様 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第５回	子どもの権利と福祉 【key words】 保護の対象から権利の主体へ 【授業概要】 子どもの権利向上の流れが、子どもを保護するだけのものから権利主体へと発展してきたことを学ぶ 【教科書ページ・参考文献】 垣内国光他の教科書ｐ51～67 【課題・予習・復習・授業準備指示】 前回と同様 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第６回	子どもを守るしくみ 【key words】 子ども家庭福祉の法体制　行財政　実施体制 【授業概要】 子どもを守るしくみとしての主要な法律や行財政のしくみ、施設の概要について学ぶ 【教科書ページ・参考文献】 垣内国光他の教科書ｐ68～85 【課題・予習・復習・授業準備指示】 前回と同様 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第７回	子ども家庭福祉に関する法律① 【key words】 法体系　基本的な法律 【授業概要】 児童福祉法について詳しく学ぶ 【教科書ページ・参考文献】 八重樫他の教科書ｐ27～33 【課題・予習・復習・授業準備指示】 前回と同様 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第８回	子ども家庭福祉に関する法律② 【key words】 触接支える法律 【授業概要】 子ども家庭福祉を触接支えている諸法律について学ぶ 【教科書ページ・参考文献】 八重樫他の教科書ｐ34～41 【課題・予習・復習・授業準備指示】 前回と同様 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第９回	子ども家庭福祉に関する法律③ 【key words】 手当　少子化対策 【授業概要】 各種手当に関する法律や少子化対策関連法について学ぶ 【教科書ページ・参考文献】 八重樫他の教科書ｐ42～47 【課題・予習・復習・授業準備指示】 前回と同様 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第１０回	生命倫理と母子保健 【key words】 母子保健　優生政策 【授業概要】 母子保健について学ぶと同時に、生命倫理について考え優生思想に対して批判的な思考を養う 【教科書ページ・参考文献】 垣内国光他の教科書ｐ86～96 【課題・予習・復習・授業準備指示】 前回と同様 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第１１回	少子化対策と子育て支援 【key words】 少子高齢化 【授業概要】 少子高齢化の子育ての現状について理解し、少子化対策としての子育て支援について学ぶ 【教科書ページ・参考文献】 垣内国光他の教科書ｐ97～112 【課題・予習・復習・授業準備指示】 前回と同様 【予習復習に必要な想定時間】

	３０分 第１２回　現代における保育とは 【key words】 子育て家庭の減少　社会福祉における保育 【授業概要】 子育て環境が大きく変化しているなかで、社会福祉としての保育の役割について学ぶ 【教科書ページ・参考文献】 垣内国光他の教科書ｐ113～125 【課題・予習・復習・授業準備指示】 前回と同様 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分 第１３回　学齢期の子どもの教育と福祉 【key words】 学齢期　児童健全育成事業 【授業概要】 学齢期の子どもの遊び・学習権・福祉と教育の協働の視点から、今日学齢期に求められている福祉的課題を学ぶ 【教科書ページ・参考文献】 垣内国光他の教科書ｐ126～140 【課題・予習・復習・授業準備指示】 前回と同様 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分 第１４回　障害と子ども・家族 【key words】 障害　医療　特別支援教育 【授業概要】 障害とは何かについて学ぶと同時に、どのようなサービスがあり、支援が求められているか考える 【教科書ページ・参考文献】 垣内国光他の教科書ｐ141～158 【課題・予習・復習・授業準備指示】 前回と同様 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分 第１５回　子ども虐待 【key words】 虐待の定義　介入　予防 【授業概要】 虐待の定義を学び、また現状を把握する。また、介入のあり方や予防について考察していく 【教科書ページ・参考文献】 垣内国光他の教科書ｐ159～175 【課題・予習・復習・授業準備指示】 前回と同様 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
受講生に関わる情報および受講のルール	・教科書を必ず持参すること ・常日頃の子どもにかかわる事件やニュースをよくつかんでおくこと
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	・授業内容を基盤にして、自己学習につなげていくこと ・その他、授業のなかで伝える
オフィスアワー	授業のなかで伝える
評価方法	期末試験　８０％　　授業への取り組み等　２０％
教科書	八重樫牧子、原葉子責任編集『児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度』弘文堂 垣内国光、岩田美香、板倉香子、新藤こずえ編『子ども家庭福祉』生活書院
参考書	授業のなかで必要に応じて伝える
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 スクールショーシャルワーカー アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク ■アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等）

	□情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称：　児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度Ⅱ　授業コード：J415

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年次	2単位(30)	福祉総合コース・選択
担当教員			
義基　祐正			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 児童福祉の現状と課題を理解し、支援のあり方や福祉制度を学ぶことにより、社会福祉業務に必要な知識等を身につけることを目的とする。 【到達目標】 ①現代の児童福祉の現状と課題、児童福祉の理念、児童福祉の関係法令・実施体制・専門職・権利擁護が理解できる。 ②社会福祉士や児童指導員等有資格者として必要な児童福祉の基本的な知識を修得できる。
授業の概要	教科書により、子育ての現状と課題、次世代育成支援策、児童福祉ニーズ、権利保障、児童福祉の法体系、障害児、児童の健全育成、子育て支援、社会的養護児童、非行児童、被虐待児等の現状支援策について講義を行う。 また、子どもの権利保障にとって児童福祉の果たす役割ついて考察をかさねる。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	

授業計画	第１回	社会的養護 【key words】 基本理念と原理 【授業概要】 社会的養護の基本理念と原理を学び、今後の課題について考えていく 【教科書ページ・参考文献】 垣内国光他の教科書ｐ176～192 【課題・予習・復習・授業準備指示】 前回と同様 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第２回	子ども家庭福祉の実施体制① 【key words】 国　都道府県　市町村 【授業概要】 国や都道府県、市町村の役割と行政のしくみと機関について学ぶ 【教科書ページ・参考文献】 八重樫他の教科書ｐ49～80 【課題・予習・復習・授業準備指示】 前回と同様 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第３回	子ども家庭福祉の実施体制② 【key words】 施設　専門職 【授業概要】 児童養護施設の種類と目的、設置と運営、専門職員について学ぶ 【教科書ページ・参考文献】 八重樫他の教科書ｐ81～92 【課題・予習・復習・授業準備指示】 前回と同様 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第４回	子ども家庭福祉の実施体制③ 【key words】 権利擁護　財源 【授業概要】 子ども家庭福祉サービスにおける権利擁護と財源について学ぶ 【教科書ページ・参考文献】 八重樫他の教科書ｐ93～101 【課題・予習・復習・授業準備指示】

		前回と同様 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第５回	子ども・家族の貧困 【key words】 貧困　世代的再生産　子どもの貧困対策の推進に関する法律 【授業概要】 貧困のなかに暮らす子どもの実態を捉え、現在どのような支援が行われ、課題があるのか考える 【教科書ページ・参考文献】 垣内国光他の教科書ｐ193～207 【課題・予習・復習・授業準備指示】 前回と同様 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第６回	ひとり親家庭の福祉 【key words】 ひとり親家庭　養育費 【授業概要】 ひとり親家庭の現状を把握し、どのような支援策があり、課題は何かを考える 【教科書ページ・参考文献】 垣内国光他の教科書ｐ208～224 【課題・予習・復習・授業準備指示】 前回と同様 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第７回	非行少年の背景と支援 【key words】 少年犯罪　非行 【授業概要】 非行少年の定義を学び、実際の状況を把握する。そして、非行から立ち直るためには社会福祉にどのような役割があるのかを考える 【教科書ページ・参考文献】 垣内国光他の教科書ｐ225～238 【課題・予習・復習・授業準備指示】 前回と同様 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第８回	いじめ・不登校・登校拒否 【key words】 いじめ　不登校　スクールソーシャルワーカー 【授業概要】 いじめや不登校の現状を把握し、学校現場における福祉的課題にどのようにこたえていけばいいのかを考える 【教科書ページ・参考文献】 八重樫他の教科書ｐ219～226 【課題・予習・復習・授業準備指示】 前回と同様 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第９回	ひきこもりと若者支援 【key words】 ひきこもり 【授業概要】 ひきこもりの現状を把握し、支援の谷間にある若者支援のあり方について考える 【教科書ページ・参考文献】 垣内国光他の教科書ｐ239～250 【課題・予習・復習・授業準備指示】 前回と同様 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第１０回	女性と福祉 【key words】 婦人保護事業　DV 【授業概要】 女性福祉の実態と女性が置かれている社会的実態を把握し、支援のあり方を考える 【教科書ページ・参考文献】 垣内国光他の教科書ｐ251～267 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第１１回	児童福祉の理念と児童憲章、子どもの権利条約 【key words】 児童福祉法　児童憲章　子どもの権利条約（児童の権利に関する条約） 【授業概要】 子どもの権利保障にかかわる法体系や憲章について、子どもの実態から今一度考察を試みる 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分

	第１２回　子どもの発達保障と子ども家庭福祉 【key words】 発達保障 【授業概要】 子どもが健やかに発達するためには、子ども家庭福祉にある課題は何かを考える 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 垣内国光他の教科書ｐ268～287を予習 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分 第１３回　子ども家庭福祉の担い手 【key words】 担い手　専門職 【授業概要】 子ども家庭福祉の担い手と専門職についてついて学ぶ 【教科書ページ・参考文献】 垣内国光他の教科書ｐ268～287 【課題・予習・復習・授業準備指示】 前回と同様 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分 第１４回　子ども家庭福祉専門職の専門性 【key words】 専門性 【授業概要】 子ども家庭福祉のソーシャルワークの専門性について学ぶ 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分 第１５回　まとめ 【key words】 まとめ　質疑応答 【授業概要】 子どもの権利保障の視点から、子ども家庭福祉のあり方について今一度考えてみる 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	・教科書を必ず持参すること ・常日頃の子どもにかかわる事件やニュースをよくつかんでおくこと
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	・授業内容を基盤にして、自己学習につなげていくこと ・その他、授業のなかで伝える
オフィスアワー	授業のなかで伝える
評価方法	期末試験　８０％　　授業への取り組み等　２０％
教科書	八重樫牧子、原葉子責任編集『児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度』弘文堂 垣内国光、岩田美香、板倉香子、新藤こずえ編『子ども家庭福祉』生活書院
参考書	授業のなかで必要に応じて伝える
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 スクールショーシャルワーカー アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク ■アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用

	□ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称：　レクリエーション活動援助法Ⅰ　　授業コード：J451

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年次	1単位(30)	介護福祉コース・福祉総合コース・選択／介護福祉士実践コース・必修
担当教員			
清水　久二雄			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕 国際レクリエーション協会はレジャー憲章（1970年）において、「レクリエーションはすべての人が享受できる権利　である。」としています。年代、身体機能・能力の差があってもレクリエーションは人の当然の権利として保障されな　ければならないということになります。この人権思想を体現するために支援者が果たす役割として、集団と個、静と動、持続的と刹那的などあらゆる場面を想定しながら、理論と実践を通して学んでいきます。これらの学びによって多様である様々な人に対してレクリエーション活動の支援ができるスキルを身につける事を目的としています。 〔到達目標〕 ①レクリエーションの本質・効果・可能性を理解する事ができる。 ②①を踏まえ、安全で効果的な支援方法を計画し、レクリエーションプログラムの展開方法に必要な知識・技術を身につける事ができる。 ③利用者や場面に応じて変化・応用し、利用者主体の支援を考えることができる。 ④新たなプログラムなどを創造し、開発することができる。
授業の概要	・授業は常に理論と実践を交互におり混ぜ、即時フィードバックしながら学びをすすめていきます。また実践活動 　として実際に様々なプログラムを体験したものを実際の支援する事ができるスキルの習得を目的にしているので、体験 　型の学びが中心となります。グループで実施するものや、学生個々人がすすめていくものもあります。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	○
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	△
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	◎

授業計画	第１回　　ガイダンス　　レクリエーションを学ぶにあたって 【key words】 再創造、レクリエーション活動、レクリエーション支援、レクリエーション運動、レクリエーションン事業 【授業概要】 ・レクリエーション活動援助法の授業の進め方について説明を行う。初回の授業であるため「レクリエーショ　ン」の言葉の意味・意義・イメージについてグループ討議して学ぶ。　演習としてレクリエーション財をい　くつか紹介し「財」という考え方について学習する。 (演習)　アイスブレイク 【教科書ページ・参考文献】 テキスト　P6～8 【課題・予習・復習・授業準備指示】 〈復習〉　テキスト　P6～8　　〈予習〉　テキスト　P10～14 【予習復習に必要な想定時間】 40～60分 第２回　　レクリエーション概論①(レクリエーション支援とは) 【key words】 レクリエーションとは　再創造　アイスブレイク　レク財　心の元気づくり 【授業概要】 ・レクリエーションの概念が生まれた歴史的な経緯に触れ、レクリエーションの意義や目的について学ぶ。演　習としてレクリエーション財には様々なものがある事について学習する。 (演習) アイスブレイク2段階目 【教科書ページ・参考文献】 テキスト　P10～14 【課題・予習・復習・授業準備指示】 〈復習〉　テキスト　P10～14　　〈予習〉　テキストP20～23 【予習復習に必要な想定時間】 60～80分 第３回　　レクリエーション概論②(レクリエーション・イストラクターの2つの役割) 【key words】 レクリエーションの定義　主体的　内発的動機づけ　報酬　快さ

【授業概要】
・レクリエーションの定義についてこれまでの様々定義について紹介する。その中で「何故レクリエーション
は報酬を求めないのか。」、「強制されるのではなく、自発的であるべきか。」について触れながらレクリ　エーションの意義、定義について学習する。
・(演習)　アイスブレイクから展開へ
【教科書ページ・参考文献】
テキスト　P20～23
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉　テキストP20～23　　〈予習〉　テキスト P24～25
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第４回　　楽しさをとおした心の元気づくりの理解①(活動そのものの楽しさ)
【key words】
2つの楽しさ、フロー理論、コミュニケーション、達成感
【授業概要】
レクリエーション活動の楽しさの2つの側面について学びます。活動そのものに深く没入する心の仕組みについて「フロー理論」とは何かについて学習する。
・(演習)　展開　(ルールについて)
【教科書ページ・参考文献】
テキスト　P20～23
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉　テキスト　P20～23　　〈予習〉　テキスト　P24～25
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第５回　　楽しさをとおした心の元気づくりの理解②(集団で行う楽しさ)
【key words】
欲求、マズローの欲求の5階層説、
【授業概要】
・集団で行う楽しさは何故あるのかについて、マズローの欲求の5階層説をとおして学習する。
・(演習)　展開　　(負荷について)
【教科書ページ・参考文献】
テキスト　P24～25
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉　テキスト　P24～25　　〈予習〉テキスト　P26～28
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第６回　　活動を心の元気づくりに活かす2つの視点①(社会参加を通した元気づくり)
【key words】
ICF、背景因子
【授業概要】
・社会とのかかわりによって、活動を心の元気づくりに活かす2つの視点について学習する。
・(演習)　展開　(協調・協力活動について)
【教科書ページ・参考文献】
テキスト　P26～28
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉　　テキスト　P26～28　　〈予習〉　テキストP29～32
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第７回　　活動を心の元気づくりに活かす2つの視点②(ライフステージに応じた元気づくり)
【key words】
ライフステージ、児童、高齢者、障害のある人

【授業概要】
・対象者のライフステージ応じて、活動を心の元気づくりに活かすための視点について学習する。
・(演習)　展開　(屋外のプログラム)

【教科書ページ・参考文献】
テキスト　P29～32
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉　　テキスト　P29～32　　〈予習〉　テキスト　P33～36
【予習復習に必要な想定時間】
60
60
60～80分

第８回　　心の元気と地域のきずな
【key words】
地域、きずな、ひろば型、児童館型、

【授業概要】
・レクリエーション活動は地域のきずなづくりに役立つと期待されており、その役割の意義について学習する。
・(演習)　展開　(個性、様々な表現を活用するには。)
【教科書ページ・参考文献】
テキスト　P33～36
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉　テキスト　P33～36　　〈予習〉　テキスト　P38～39
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第９回　　レクリエーション支援におけるコミュニケーション
【key words】

意志疎通、コミュニケーション
【授業概要】
・レクリエーション活動において、対象者と支援者の意志疎通を図る事が求められる。そのための様々なコミュニケーションの図り方について学習する。
・(演習)　展開　(巧緻性、チームでの補完的分業)
【教科書ページ・参考文献】
テキスト　P38～39
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉　テキスト　P38～39　　〈予習〉
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第１０回　　対象者との信頼関係づくりとは
【key words】
ラポール、ホスピタリティ、マナー、受容

【授業概要】
・対象者と支援者が良好な信頼関係を構築することによって、対象者の心は更に元気になっていくことが期待されます。そのための支援として何が必要かについて学ぶ。
・(演習)　展開　(リレーゲーム　対抗戦)
【教科書ページ・参考文献】
テキスト　P40～43
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉　テキスト　P40～43　〈予習〉
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第１１回　　良好な集団づくりの理論①　(集団づくりの理解)
【key words】
グループワーク、グループダイナミクス、リーダーシップ、相互作用
【授業概要】
・活動そのものの楽しみと集団で達成する楽しみについてそれぞれの違いと共通点について考える。そのうえで多様な価値観がある人が集まってグループを構成するために必要な事は何かについて学習する。
・(演習)　展開　(ウォークラリー)

【教科書ページ・参考文献】
テキスト　P44～49
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉　テキスト　P44～49　〈予習〉授業時に発表するプログラムをグループごとにプレ実践しておく。
【予習復習に必要な想定時間】
60～120分

第１２回　　良好な集団づくりの理論②　(レクリエーション活動の楽しさと集団のまとまり)
【key words】
グループワーク、グループダイナミクス、リーダーシップ、課題達成、目標達成
【授業概要】
・人の集まりが適切な活動によって、より豊かになっていく過程について学習する。
・(演習)　展開　(ウォークラリー　製作)

【教科書ページ・参考文献】
テキスト　P44～49

【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉　テキスト　P44～49　〈予習〉　テキスト　P44～49
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第１３回　　良好な集団づくりの理論③　(集団の成長の仕組み)
【key words】
集団の形成、支援者の関わり

【授業概要】
・集団は時間の経過や様々な活動を通じて、その形は変化する。集団の形成の段階どのように関わるのかについて学ぶ。
・(演習)　展開　(ウォークラリー体験)

【教科書ページ・参考文献】
テキスト　P44～49
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉　テキスト　P44～49　〈予習〉　テキスト　P44～49
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第１４回　　良好な集団づくりの理論④　(集団づくりの総括)
【key words】
グループワーク、グループダイナミクス、リーダーシップ、相互作用
【授業概要】
・グループ活動による演習の全般を振りかえる。グループごとの学びのまとめと、それに基づいた全体の総括によって学習を深めていく。
・(演習)　展開　(ウォークラリー　体験)
【教科書ページ・参考文献】
テキスト　P44～49
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習・次回の課題〉
　各グループで発表し、グループで修正したものを提出してもらうため次回の授業までに仕上げること。

【予習復習に必要な想定時間】
60～80分
第１５回　　前期のまとめ、振り返り　確認小問題
【key words】
再創造、レクリエーション活動、レクリエーション支援、レクリエーション運動、レクリエーションン事業
【授業概要】
・前期の総括として、これまでの理論的なものに関連したテストを実施、その後答え合わせと調べ学習を行
う。
【教科書ページ・参考文献】
なし
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉 前期小テストの振り返りとテキストを読み返して欲しい。〈予習〉 テキスト P50～51
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】
、

	【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	・授業は講義と実技で実施するので服装は指示しますが、活動しやすい服装で出席して欲しい。 ・指示通り行わないと思わぬトラブルの原因となる恐れがある為、説明時の私語は慎むこと。 ・ボランティア、実習、授業での体験は大きな学びとなるので積極的に参加すること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード　ワークシート　定期的に行う学びのふり帰りシート　学習課題（計画書の作成）発表
授業外時間にかかわる情報	・実践する事は大きな学びの機会となるので、実習やボランティア活動などの実践前には可能な限り相談して欲しい。 ・実践する機会や場面はなくても、創造的に考える事とても大切であるので、いつでも相談して欲しい。
オフィスアワー	初回授業時に予定表を配布し説明する
評価方法	演習課題　60%　　授業内授業のふりかえり　20%　　課題提出　20%
教科書	「楽しさを通した心の元気づくり　～レクリエーション支援の理論と方法～」 （公益社団法人）　日本レクリエーション協会　レクリエーション・インストラクターテキスト
参考書	必要に応じて適宜紹介する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 老人保健施設にて、3年弱、レクリエーションワーカーとして従事 現アクティビティワーカー養成担当教員資格 前レクリエーション指導者1級資格、レクリエーションコーディネーター、福祉レクリエーションワーカー アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

	情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容 ・毎回演習があるので動きやすい服装で授業に臨むようにしてください。 ・体育着、体育館履きが必要な場合はあらかじめ伝えます。 ・体調不良、ケガ、体力的に難しいなどの場合は自己申告してください。

講義科目名称：　レクリエーション活動援助法Ⅱ　　授業コード：J452

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年次	1単位(30)	介護福祉コース・福祉総合コース・選択／介護福祉士実践コース・必修
担当教員			
清水　久二雄			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕 国際レクリエーション協会はレジャー憲章（1970年）において、「レクリエーションはすべての人が享受できる権利　である。」としています。年代、身体機能・能力の差があってもレクリエーションは人の当然の権利として保障されな　ければならないということになります。この人権思想を体現するために支援者が果たす役割として、集団と個、静と動、持続的と刹那的などあらゆる場面を想定しながら、理論と実践を通して学んでいきます。これらの学びによって多様である様々な人に対してレクリエーション活動の支援ができるスキルを身につける事を目的としています。 〔到達目標〕 ①レクリエーションの本質・効果・可能性を理解する事ができる。 ②①を踏まえ、安全で効果的な支援方法を計画し、レクリエーションプログラムの展開方法に必要な知識・技術を身　につける事ができる。 ③利用者や場面に応じて変化・応用し、利用者主体の支援を考えることができる。 ④新たなプログラムなどを創造し、開発することができる。
授業の概要	・授業は常に理論と実践を交互におり混ぜ、即時フィードバックしながら学びをすすめていきます。また実践活動 　として実際に様々なプログラムを体験したものを実際の支援する事ができるスキルの習得を目的にしているので、体験 　型の学びが中心となります。グループで実施するものや、学生個々人がすすめていくものもあります。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	○
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	△
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	◎

授業計画	第１回	ガイダンス 【key words】 主体性、自主性、レクリエーション自立 【授業概要】 後期の授業の進め方について説明する。レクリエーションの基本はその個人の主体的な感情に伴い主体的な活動を指すため「主体性」とは何か、「自主性」とは何かについて学習する。 (演習)　マンツーマンの支援 【教科書ページ・参考文献】 〈予習〉　テキストP50～51 【課題・予習・復習・授業準備指示】 〈復習〉　テキスト P50～51　　〈予習〉　テキスト　　P52～53 【予習復習に必要な想定時間】 40～60分
	第２回	段階を経て変化するやる気を引き出すには 【key words】 興味、関心、情動反応、自動的活動 【授業概要】 どんな状態であってもどんな年代の人でもレクリエーションは享受できる権利である事を学ぶ。そのために　人の様々な人生のステージ、サイクルからどのような支援が必要なのかを学ぶ。演習では集団レクリエーションの展開技術としてコールの掛け方を演習を通じて学ぶ (演習)　マンツーマンの支援　(創作) 【教科書ページ・参考文献】 テキスト　　P52～53 【課題・予習・復習・授業準備指示】 〈復習〉　テキストP52～53　　〈予習〉　テキストP52～55 【予習復習に必要な想定時間】 60～80分
	第３回	自主的、主体的にレクリエーション活動を楽しむ力①　(自己効力感) 【key words】 自己効力感、ハードル設定、外発的な動機づけ、内発的な動機づけ

【授業概要】
自己効力感を得られる活動が段階的にかつ、適切な支援によって対象者の主体性、自主性が向上することがある事について学習する。
(演習)　マンツーマンの支援　(発表)
【教科書ページ・参考文献】
テキスト　P52～55
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉　テキストP52～55　〈予習〉　テキストP52～55
【予習復習に必要な想定時間】

第４回　自主的、主体的にレクリエーション活動を楽しむ力②　(関わりあいを通じて)
【key words】
代理的経験、言語的説得
【授業概要】
周囲からの支援によって自己効力感が高まることが期待されている。そのためにそれらを活用する支援方法について学習する。
(演習)　マンツーマンの支援　(発表)
【教科書ページ・参考文献】
テキスト　P52～55
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉　テキスト　P52～55　〈予習〉　テキスト　P52～55
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第５回　自主的、主体的にレクリエーション活動を楽しむ力③　(総括)
【key words】
自己効力感、ハードル設定、外発的な動機づけ、内発的な動機づけ

【授業概要】
自己効力感を上げるための働きかけにはどのような支援が望ましいのかについて考え、それらを共有し学習を深めていく。
(演習)　マンツーマンの支援　(発表)
【教科書ページ・参考文献】
テキスト　P52～55
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉　テキストP52～55　〈予習〉　テキストｐ58～69
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第６回　信頼関係づくりりの方法とホスピタリティ
【key words】
ホスピタリティ、感情、話し方、視線、態度
【授業概要】
集団を対象としてもその中で個別化することが重要であるが、支援者として臨むのかにについて学習する。
(演習)　プログラム　(対抗戦のプログラム)
【教科書ページ・参考文献】
テキスト　P58～69
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉　テキストP58～69　〈予習〉　テキストP70～
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第７回　レクリエーション活動展開法①　(インタラクション)
【key words】
目標設定、身体の疲労曲線、興味の曲線
【授業概要】
レクリエーションプログラムはその対象に応じて計画を立案し、提供する必要がある。そのためにどのように計画するのかについて学習する。
(演習)　プログラム　(ソング)
【教科書ページ・参考文献】
テキスト　P70～75
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉　テキスト　P70～75　〈予習〉　テキスト　p76～78

【予習復習に必要な想定時間】
60～80分
60
60～80分

第８回　レクリエーション活動展開法②　(隊形の展開法)
【key words】
CSSプロセス、隊形、コーラー、分割するインタラクション

【授業概要】
レクリエーションプログラム展開時支援者がどこに立つのか、どのようにプログラムの内容を伝えるのかについて実演を伴いながら学習する。
(演習)　プログラム　(レクリエーションダンス)
【教科書ページ・参考文献】
テキスト　P79～82
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉テキスト　P79～82
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第９回　レクリエーション活動展開法③　(プログラムの流れ)
【key words】
プログラム、導入、展開、結び

【授業概要】
実際のレクリエーションプログラムを展開し、その後計画書を配布しCSSプロセスについて説明し、さらにエバリュエーションを行いプログラムの立案、展開方法について学習する。
(演習)　プログラム　(集団プログラム発表)
【教科書ページ・参考文献】
配布資料　テキスト　P79～82
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉　テキスト　P79～82　　〈予習〉レクリエーションプログラムの計画と実践があるためレク財を調べておくこと。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第１０回　レクリエーションプログラムの計画と実践①　(計画とプレ)
【key words】
プログラム、展開方法
【授業概要】
グループ分けをした後に、26回以降の授業で実施するレクリエーションプログラムの計画と立案を行い、学習する。
(演習)　プログラム　(レクリエーションプログラムの計画)
【教科書ページ・参考文献】
配布資料　(計画書)
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習・予習〉グループで作成している計画書は各グループで次回の授業までに完成させておくこと。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第１１回　レクリエーションプログラムの計画と実践②　(実施①)
【key words】
プログラム、立案、展開
【授業概要】
グループ分けし、グループごとにプログラムを発表する。(第1サイクル)、グループごとに発表後はエバリュエーションを実施しながら学習する。
(演習)　プログラム　(レクリエーションプログラムの計画)
【教科書ページ・参考文献】
配布資料　(計画書)
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉　エバリュエーションで挙がった内容を整理しておくこと
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第１２回　レクリエーションプログラムの計画と実践③　(実施②)
【key words】
プログラム、立案、展開
【授業概要】
グループ分けし、グループごとにプログラムを発表する。(第2サイクル)、グループごとに発表後はエバリュエーションを実施しながら学習する。
(演習)　プログラム　(レクリエーションプログラムの計画)
【教科書ページ・参考文献】
配布資料(計画書)
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉　エバリュエーションで挙がった内容を整理しておくこと。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第１３回　レクリエーションプログラムの計画と実践④　(実施③)
【key words】
プログラム、立案、展開

【授業概要】
グループ分けし、グループごとにプログラムを発表する。(第3サイクル)、グループごとに発表後はエバリュエーションを実施しながら学習する。
(演習)　プログラム　(レクリエーションプログラムの計画)
【教科書ページ・参考文献】
配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉　エバリュエーションで挙がった内容を整理しておくこと
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第１４回　　事業論　(安全管理の考え方)
【key words】
安全管理　リスク　セーフティ・マネジメント　事故対応
【授業概要】
レクリエーション事業における安全管理について学ぶ。実際に過去の事例などに基いてどのような安全配慮　義務があるのかについても考えていく。
(演習)　プログラム　(マンツゥマンプログラム発表)
【教科書ページ・参考文献】
配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉　配布資料を確認しておくこと。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第１５回　授業の総まとめ
【key words】
レクリエーション　　支援
【授業概要】

	自らがレクリエーション事業に関わる際にどのような　支援を行っていきたいかについて意見交換し、1年間の授業を総括する。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 〈復習〉　30回授業で学生同士で話しあった内容を整理しまとめておくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 60～80分 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】

	【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	・授業は講義と実技で実施するので服装は指示しますが、活動しやすい服装で出席して欲しい。 ・指示通り行わないと思わぬトラブルの原因となる恐れがある為、説明時の私語は慎むこと。 ・ボランティア、実習、授業での体験は大きな学びとなるので積極的に参加すること。

毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード　ワークシート　定期的に行う学びのふり帰りシート　学習課題（計画書の作成）発表
授業外時間にかかわる情報	・実践する事は大きな学びの機会となるので、実習やボランティア活動などの実践前には可能な限り相談して欲しい。 ・実践する機会や場面はなくても、創造的に考える事とても大切であるので、いつでも相談して欲しい。
オフィスアワー	初回授業時に予定表を配布し説明する
評価方法	演習課題　60%　　授業内授業のふりかえり　20%　　課題提出　20%
教科書	「楽しさを通した心の元気づくり　～レクリエーション支援の理論と方法～」 （公益社団法人）　日本レクリエーション協会　レクリエーション・インストラクターテキスト
参考書	必要に応じて適宜紹介する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 老人保健施設にて、3年弱、レクリエーションワーカーとして従事 現アクティビティワーカー養成担当教員資格 前レクリエーション指導者1級資格、レクリエーションコーディネーター、福祉レクリエーションワーカー アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容 ・毎回演習があるので動きやすい服装で授業に臨むようにしてください。 ・体育着、体育館履きが必要な場合はあらかじめ伝えます。 ・体調不良、ケガ、体力的に難しいなどの場合は自己申告してください。

講義科目名称：　アクティビティ・サービス援助技術Ⅰ　　授業コード：J464

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年次	1単位(30)	介護福祉コース・必修
担当教員			
清水　久二雄			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〈授業の目的〉 人は生活の中にさまざまな「快さ」を感じながら生活しています。その「快さ」が人の心も体も豊かに、活き活きとしますが、それらは一瞬で通り過ぎ、見落としたり、気がつかないこともあります。本科目は対人援助サービスにこれらの「快さ」を発見し、その「快さ」を広げ、深めていく技術を学びます。 〈到達目標〉 ①「生活の快」をベースとした心身の活性化の意義を説明することができる。 ②日常生活の全般にある「生活の快」を発見し、それらを援助技術のヒントに創造できる。 ③1つの「生活の快」のヒントから複数の広がりを想像し、具体的援助方法の計画と実践ができる。 ④1つの「生活の快」のヒントを深める技術を身につけ、あらゆる人の心身の活性化につながる具体的援助方法の計 画と実践ができる。
授業の概要	・本科目は理論と実践のバランスを重視しています。そのため座学で知識を得たのちに演習を行うスタイルとなって 　います。演習では受講生が対象者となって体験場面と支援者としてプログラムを立案、実践することがあります。 　さらに「生活の快さ」は個人によって感じ方や捉え方が違うため、受講生同士で話し合い共有する場もあります。 ・「生活の快さ」をテーマにしているため、視覚・聴覚・嗅覚・触覚・味覚　など、あらゆる感覚を支援に活かすこ 　とも授業のテーマとしているため、可能な限り体験する機会も大切にしています。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	◎
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	○

授業計画	第１回	オリエンテーション　　アクティビティ・サービスとは何か 【key words】 生活の快、活性化、心が動くこと 【授業概要】 ・授業概要のオリエンテーションを行う。　人が活き活きとしている姿、「活性化」するという事はどのような 　状態の事を指すのかについて楽しく考えてみよう。 演習）　あなたの気持ちを上げるもの 【教科書ページ・参考文献】 テキスト全般を使用 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習)テキストP8～12 【予習復習に必要な想定時間】 60分 60分
	第２回	なぜアクティビティ・サービスが必要なのか①(定義と生活の中にある意義) 【key words】 生活の快、セラピー、垣内理論 【授業概要】 ・アクティビティ・サービスとは何かについてキーワードとなる「快さ」とは何かについて体験を交えて考え 　よう。「快さ」の幅広さ、個人でも様々ある事について考え、人が活性化するときに必要なものは何かにつ 　いてより深く考えてみよう 演習）「生活の快」を改めて考える 【教科書ページ・参考文献】 テキストP8～12 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習）テキストP8～12　　予習)テキストP13～16 【予習復習に必要な想定時間】 60～80分

	第３回	なぜアクティビティ・サービスが必要なのか②(日常生活の中にある快さとは何か) 【key words】 日常、非日常、余暇 【授業概要】 ・レクリエーションとの違いについて様々比較しアクティビティ・サービスは何を目指しているのかを整理しま す。また日常生活の中にある快さの種を見つけていこう。 演習) 1つのプログラムを使って(アレンジの体験) 【教科書ページ・参考文献】 テキストP13～16 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習) テキストP8～12　　予習)テキストトP17～21 【予習復習に必要な想定時間】 60～80分
	第４回	アクティビティ・サービスの効果とは　(どんな場面でどのような効果゛あるのか) 【key words】 心理的、生理的、文化的、　社会的、物理的 【授業概要】 ・アクティビティ・サービスの支援によって期待される効果は大きく分けて5つあると言われています。それぞ れの側面では具体的にどのようなものなのかを体験を通じて考えていこう 演習)1つのプログラムを事例として活用する(考えてみよう) 【教科書ページ・参考文献】 テキストトP17～21 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習)テキストトP17～21　　予習)テキストP22～28 【予習復習に必要な想定時間】 60～80分
	第５回	アクティビティ・サービスの対象とは　(どんな場面でどのような効果゛あるのか) 【key words】 対象、コミュニティワーク、話す、聞く、聴く、尋ねる 【授業概要】 ・アクティビティ・サービスはすべての人にとつて必要なサービスであると考えられています人の活動の種類や 場面は沢山考えて、生活の快を得て、活性化するとい事について体験を通じて考えてみよう。 演習)1つのプログラムを事例として活用する(発表しよう) 【教科書ページ・参考文献】 テキストP22～28 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習) テキストP22～28　予習) テキストP30～31 【予習復習に必要な想定時間】 60～80分
	第６回	生活支援学とアクティビティ・サービス 【key words】 理念価値、現実価値、文化、ニーズ、健康 【授業概要】 ・第1回～5回までの授業を通じて、日常性も含めた活動の場面が考えられるため、生活支援として単に提供すめ だけではなく、どのような根拠、手法で提供するのかについて事例を用いて体験しながら学んでみよう。 演習)ナラティブアプローチの体験を通じて① 【教科書ページ・参考文献】 テキストP30～31 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習)　テキストP30～31　　予習)テキストP32～36 【予習復習に必要な想定時間】 60～80分
	第７回	生活支援学の成り立ち①(人権思想・理念価値・現実価値・健康) 【key words】 人権思想、理念価値、現実価値、健康 【授業概要】 ・アクティビティ・サービスが目指す支援の方向性は1人1人の個人の尊厳であり、そのための人権思想、価値に ついて健康を通じて考えよう。 演習)ナラティブアプローチの体験を通じて①　(人生史を引き出す) 【教科書ページ・参考文献】 テキスト P32～36 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習) テキストP32～36　予習) テキストP37～43　P162～(資料編) 【予習復習に必要な想定時間】 60～80分
	第８回	アクティビティ・サービスの6つの分類と12の種類について 【key words】 財、偶然性、アレンジ 【授業概要】 ・アクティビティ・サービスにおいて個人の尊厳を保持するためには文化、ニーズ、人間関係の形成について考 えていこう。 演習))ナラティブアプローチの体験を通じて②　(人生史と年表と文化を対比させて) 【教科書ページ・参考文献】 テキストP37～43　P162～(資料編) 【課題・予習・復習・授業準備指示】

		復習）　テキストP37～43　P162～(資料編)　予習）　テキストP44～49　P162～(資料編) 【予習復習に必要な想定時間】 60～80分
	第９回	人間科学としての生活支援学 【key words】 学問体系、人間科学 【授業概要】 ・アクティビティ・サービスが学問的体系である事について、事例を用いてその根拠について考えていこう。　演習)ナラティブアプローチの体験を通じて③　(他己紹介) 【教科書ページ・参考文献】 テキストP44～49　P162～(資料編) 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習）　テキストP44～49　P162～(資料編)　予習）　楽しみの種類を考えておく 【予習復習に必要な想定時間】 60～80分)
	第１０回	アクティビティ・サービスの6つの分類と12の種類について 【key words】 財、偶然性、アレンジ 【授業概要】 ・生活の快さは多様で無限にあると考えられますが、大きく分けた場合6つの分類とその中でも12の種類がある 　と考えられます。それらの概要について学んでいこう。 演習)ひとつのテーマをいくつもの段階 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習）　配布資料　予習）　刹那的なプログラムと創造的なプログラムを考える 【予習復習に必要な想定時間】 60～80分
	第１１回	日常と非日常のアクティビティ・サービス①(刹那的、創造的) 【key words】 刹那的、創造的 【授業概要】 ・生活の快さには一瞬の刹那的な快さもあれば、作品として後に残る創造的な快さもあります。それらの体験を 　通じて学んでいこう。 演習)花色紙を使っての体験 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習）　配布資料　予習）　ダジャレをつくると知らなかった言葉探し 【予習復習に必要な想定時間】 60～80分
	第１２回	日常と非日常のアクティビティ・サービス②(娯楽的、学習的) 【key words】 娯楽的、学習的 【授業概要】 ・生活の快さには楽しむ事が中心の娯楽的な快さもあれば、学ぶ事が楽しいという快さもあります。それらの体 　験を通じて学んでいこう。 演習)言葉を使った体験 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習）　配布資料　予習）生理的欲求と苦痛回避欲の言葉の違いは何かを考える 【予習復習に必要な想定時間】 60～80分
	第１３回	日常と非日常のアクティビティー・サービス③(生理的欲求的・苦痛回避的) 【key words】 苦痛回避欲、生理的欲求 【授業概要】 ・生活の快さには生理的欲求を満たす快さもあれば、苦痛を回避できた事による快さもあります。それらについ 　て、ディスカッションを通じて学んでいこう。 演習)グループディスカッション(事例を用いて) 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習）　配布資料　予習） 【予習復習に必要な想定時間】 60～80分
	第１４回	日常と非日常のアクティビティ・サービス④(利己的・社会的) 【key words】 利己的、社会的 【授業概要】 ・生活の快さには自らの楽しみのために行うものと、人のために行い喜んでもらう姿を見て自らの喜びになるものがあります。それらについグループディスカッションを通じて学んでいこう 演習)グループディスカッション(快さを比較してみよう) 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習）配布資料　予習）　これまでのテキストと配布資料のふりかえり

【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第１５回　前期のまとめ

【key words】
生活の快、アクティビティ・サービス
【授業概要】
・１～14回の授業を振りかえり、アクティビティめサービスに関する前期の学びのまとめをグループディスカッションと個人ワークによって学んだことを整理していこう。
演習)快さの見つけ方
【教科書ページ・参考文献】
配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
復習)　グループワークの内容を整理してまとめる
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

	【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	・アクティビティ・サービスは多様価値感があり皆違うことを尊重し合えるようにしましょう。 ・個人の価値観や考える機会が多いかもしれません。授業内での情報共有した内容について、むやみに情報は共有しな いでください。特にSNSを使ったむやみな書き込み、誹謗中傷は固く禁止します。 ・受講生皆さん1人1人が主体的に学ぶことは、誰かの学びに通じています。そのため授業で出される課題等についてはルールに乗っ取った引用は出典元を明らかにし、盗用は固く禁じます。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	シャトルカード
授業外時間にかかわる情報	アクティビティ・サービスは「生活」という広い領域から「快さ」を発見することを大切にしています。生活の中にあるあらゆるものに関心を持ち、それらについて意見が求められたときに自分なりの答えができる準備をしておいてください。
オフィスアワー	初回授業ガイダンスでアナウンスいたします。
評価方法	定期試験50%　授業時の課題提出物30%　小テスト10&　授業の取り組み姿勢　10% で総合的に評価

	する。
教科書	新訂アクティビティ・サービス(中央法規出版・.2014)
参考書	講義中に適宜紹介する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 介護老人保健施設で5年弱　特別養護老人ホームで19年の実務経験あり。老人保健施設においては2年10ヶ月、専従のレクリエーションワーカーとして業務にあたる。　特別養護老人ホームにおいて介護長として14年従事し、兼務として施設介護支援専門員として従事する。　利用者のアクティビティ・サービスに関するケア内容をケアプランにて計画し、またアクティビティ・サービスを日常生活の中にとり入れてきた。　現在NPO法人　アクティビティ・サービス協議会　理事　アクティビティワーカー資格とアクティビティ・ワーカー担当教員　資格保持している アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 ■その他 その他の具体的内容 ・新型コロナウイルス感染状況により分散登校となる場合等は、遠隔授業を実施します。尚その場合はシラバスの 内容が変更することがあります。状況に応じて適宜説明いたします。 ・授業でのワークシートおよび調べ学習の成果物などkの提出、また個人として添削指導の要望がある場合はメー ルでも受け付けいたします。 ・成果物は学生の了承が得られた場合に限り、Google共有ドライブを使用したいと考えています。

講義科目名称：　アクティビティ・サービス援助技術Ⅱ　　授業コード：J465

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年次	1単位(30)	介護福祉コース・必修
担当教員			
清水　久二雄			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〈授業の目的〉 人は生活の中にさまざまな「快さ」を感じながら生活しています。その「快さ」が人の心も体も豊かに、活き活きとしますが、それらは一瞬で通り過ぎ、見落としたり、気がつかないこともあります。本科目は対人援助サービスにこれらの「快さ」を発見し、その「快さ」を広げ、深めていく技術を学びます。 〈到達目標〉 ①「生活の快」をベースとした心身の活性化の意義を説明することができる。 ②日常生活の全般にある「生活の快」を発見し、それらを援助技術のヒントに創造できる。 ③1つの「生活の快」のヒントから複数の広がりを想像し、具体的援助方法の計画と実践ができる。 ④1つの「生活の快」のヒントを深める技術を身につけ、あらゆる人の心身の活性化につながる具体的援助方法の計 画と実践ができる。
授業の概要	・本科目は理論と実践のバランスを重視しています。そのため座学で知識を得たのちに演習を行うスタイルとなって 　います。演習では受講生が対象者となって体験場面と支援者としてプログラムを立案、実践することがあります。 　さらに「生活の快さ」は個人によって感じ方や捉え方が違うため、受講生同士で話し合い共有する場もあります。 ・「生活の快さ」をテーマにしているため、視覚・聴覚・嗅覚・触覚・味覚　など、あらゆる感覚を支援に活かすこ 　とも授業のテーマとしているため、可能な限り体験する機会も大切にしています。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	◎
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	○

授業計画

第１回　オリエンテーション

【key words】
チーム、マネジメント、課題解決、目標志向
【授業概要】
後期15回の授業のアウトライン・到達目標・評価の視点などについて説明　その後チームのグループサイズや組織的な連携の意義について考えてみよう。
演習)様々な感覚を使うということ
【教科書ページ・参考文献】
テキスト「アクティビティ・サービス」(中央法規　2014)　　配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
復習)　アクティビティ・サービス援助技術　Ⅰのふりかえり
予習)　テキストP52～69
【予習復習に必要な想定時間】

60分～80分

第２回　日本にあけるアクティビティ・サービスの誕生

【key words】
福祉レクリエーション、歴史的経緯
【授業概要】
垣内理論が登場後、レクリエーションからアクティビティ・サービスに変遷していった歴史的経過を振り返る事によって、社会的なニーズの変遷と今後社会からどのようなニーズが求められるのかについて考えよう。
演習)視覚的な快さへの支援
【教科書ページ・参考文献】
テキスト P52～69
【課題・予習・復習・授業準備指示】
復習）テキスト P52～69
予習）テキスト P72～74
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第３回　アクティビティ・サービス計画の基本的考え方①　　(基本的考え方とニーズ)

【key words】
ニーズ、自己実現、社会関係の維持・参加、心身機能の維持・改善、健康の維持・促進
【授業概要】
垣内理論の登場により、人のニーズは多種多様であり、そのニーズに基づく支援の重要性が指摘されている。それらを踏まえどのように計画されなけばならないかについて学んでいこう。
演習)聴覚的な快さへの支援
【教科書ページ・参考文献】
テキストP72～74
【課題・予習・復習・授業準備指示】
復習)　テキストP72～74
予習)　テキストP74～77、 配布テキスト
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第４回　アクティビティ・サービス計画の基本的考え方②　（個別支援と集団支援）
【key words】
マンツーマン、グループダイナミクス、人間関係過程
【授業概要】
垣内理論において、個別の支援と集団による支援はニーズや支援の効果によって意図的に使い分ける事が重要であるとされている。支援の内容が個別支援及び集団支援の場合の違いについて体験を通じて学ぼう
演習)触覚的な快さへの支援
【教科書ページ・参考文献】
テキストP74～77、配布テキスト
【課題・予習・復習・授業準備指示】
復習)　テキストP74～77、配布テキスト　　予習)　テキストP77～80
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第５回　アクティビティ・サービス計画の基本的考え方③　（こころが動くということ、支援者に求められること）
【key words】
情動反応、動機、動因、内発的動機付け、5H
【授業概要】
生活の快はいわばこころが動かなければ得られないものであり、支援者は如何に利用者の心を動かすのかが重要であり、そのために支援者の資質である5つのHについて考えていこう
演習)嗅覚的な快さへの支援
【教科書ページ・参考文献】
テキストP77～80
【課題・予習・復習・授業準備指示】
復習)　テキストP77～80　　予習)　テキストP81～88
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第６回　アクティビティ・サービス計画の基本的考え方③④　（アクティビティ・プログラムの計画上の留意点）
【key words】
留意点、9つの要素
【授業概要】
アクティビティ・サービスのプログラムを計画するうえで、留意することについて9つの留意点があることについて学びます。
演習)スヌーズレンの紹介①　環境の設定
【教科書ページ・参考文献】
テキストP81～88
【課題・予習・復習・授業準備指示】
復習)　テキストP81～88　　予習)　テキストP89～102
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第７回　アクティビティ・サービスの計画　（計画書立案について）
【key words】
計画書、ニーズ
【授業概要】
・アクティビティ・サービス計画書の具体的な立案方法について学びます。その後、実際に計画を作成していきます。
演習)スヌーズレンの紹介②　様々な感覚の融合
【教科書ページ・参考文献】
テキストP89～102
【課題・予習・復習・授業準備指示】
復習)　テキストP89～102　　予習）テキストP104～111
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第８回　アクティビティ・サービスの展開①　（プログラムの広がり　マインドマップ）
【key words】
マインドマップ　広がり、ICF
【授業概要】
ICFの意義と内容に触れつつくアクティビティ・サービスプログラムが「活動」や「参加」とどのようにつながりについてマインドマップの手法で1つを取り上げ、広がりについて学んでいきます。
演習)立案した計画書の発展的展開①　（快さの広がり）
【教科書ページ・参考文献】
テキストP104～111
【課題・予習・復習・授業準備指示】
復習)　テキストP104～111　　予習)　テキストP112～116
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

	第９回	アクティビティ・サービスの展開②　　（立案した計画と背景因子との広がり） 【key words】 ICF、意義、内容、背景因子、マインドマップ　広がり 【授業概要】 ICFの意義と内容に触れアクティビティ・サービスプログラムが「活動」や「参加」とどのようにつながるのかについて、マインドマップの手法で1つを取り上げ背景因子とのつながりも意識し学びを深めていきま　す。 演習)立案した計画書の発展的展開②　(快さの広がり) 【教科書ページ・参考文献】 テキストP112～116 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習)　テキストP112～116　　予習）テキストP120～136 【予習復習に必要な想定時間】 60～80分
	第１０回	アクティビティ・サービスの展開③　　（ポスターセッション） 【key words】 ICF、意義、内容、生活機能、背景因子 【授業概要】 アクティビティ・サービスにおいて「日常」、「非日常」の支援について考え、どのように支援するかについて考えていきます。 演習)立案した計画書の深まりと広がりについてのポスターセッションの振り返り 【教科書ページ・参考文献】 テキストP120～136 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習)　テキストP120～136　　予習)　テキストP137～144 【予習復習に必要な想定時間】 60～80分
	第１１回	アクティビティ・サービスの実践②　　（個別支援の深まりと展開） 【key words】 個別支援、ストレングス、シナジー、プログラムの深まり 【授業概要】 アクティビティ・サービスのプログラムの個別支援を中心にテキストにある演習のA・Bを取り上げて学びま す。 演習)　テキストにある演習A・B 【教科書ページ・参考文献】 テキストP137～144 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習)　テキストP137～144　　予習)　テキストP137～144 【予習復習に必要な想定時間】 60～80分
	第１２回	アクティビティ・サービスの実践②　　（個別支援の深まりと展開②） 【key words】 個別支援、ストレングス、シナジー、プログラムの深まり 【授業概要】 ・アクティビティ・サービスのプログラムの個別支援を中心にテキストにある演習のA・Bを取り上げて学びます。 演習)　テキストにある演習A・B 【教科書ページ・参考文献】 テキストP137～144 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習)　テキストP137～144　　予習)　テキストP145～153 【予習復習に必要な想定時間】 60～80分
	第１３回	アクティビティ・サービスの実践③　　（集団支援） 【key words】 集団支援、プログラムの広がり 【授業概要】 アクティビティ・サービスのプログラムの個別支援を中心にテキストにある演習のC・Dを取り上げて学びま す。 演習)　テキストにある演習C・D 【教科書ページ・参考文献】 テキストP145～153 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習)　テキストP145～153　　予習）テキストP1154～160 【予習復習に必要な想定時間】 60～80分
	第１４回	緩和ケアとアクティビティ・サービス 【key words】 苦痛回避欲・緩和ケア 【授業概要】 ターミナル期にある人への苦痛軽減の支援についてアクティビティ・サービスのプログラムの視点から考え 学びます。 演習)　感覚への支援　(快い呼吸、排泄、口渇予防への支援) 【教科書ページ・参考文献】 テキストP1154～160 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習)テキストP1154～160 【予習復習に必要な想定時間】 60～80分
	第１５回	総括　　アクティビティ・サービスのまとめ 【key words】

	アクティビティ・サービス 【授業概要】 これまでの学びを通してアクティビティ・サービスの可能性についてラウンドロビンの方式で発表し、利用者が生活の快をベースとしたいきいきと生活支援について考えていく。 【教科書ページ・参考文献】 テキスト全般 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 60～80分 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】

受講生に関わる情報および受講のルール	・アクティビティ・サービスは多様価値感があり皆違うことを尊重し合えるようにしましょう。 ・個人の価値観や考える機会が多いかもしれません。授業内での情報共有した内容について、むやみに情報は共有しな いでください。特にSNSを使ったむやみな書き込み、誹謗中傷は固く禁止します。 ・受講生皆さん1人1人が主体的に学ぶことは、誰かの学びに通じています。そのため授業で出される課題等についてはルールに乗っ取った引用は出典元を明らかにし、盗用は固く禁じます。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	シャトルカード
授業外時間にかかわる情報	アクティビティ・サービスは「生活」という広い領域から「快さ」を発見することを大切にしています。生活の中にあるあらゆるものに関心を持ち、それらについて意見が求められたときに自分なりの答えができる準備をしておいてください。
オフィスアワー	初回授業の時に提示いたします。
評価方法	定期試験50%　授業時の課題提出物30%　小テスト10&　授業の取り組み姿勢　10% で総合的に評価する。
教科書	新訂アクティビティ・サービス(中央法規出版・.2014)
参考書	講義中に適宜紹介する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 介護老人保健施設で5年弱　特別養護老人ホームで19年の実務経験あり。老人保健施設においては2年10ヶ月、専従のレクリエーションワーカーとして業務にあたる。　特別養護老人ホームにおいて介護長として14年従事し、兼務として施設介護支援専門員として従事する。　利用者のアクティビティ・サービスに関するケア内容をケアプランにて計画し、またアクティビティ・サービスを日常生活の中にとり入れてきた。　現在NPO法人　アクティビティ・サービス協議会　理事 アクティビティワーカー資格とアクティビティ・ワーカー担当教員　資格保持している アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 ■その他 その他の具体的内容 ・新型コロナウイルス感染状況により分散登校となる場合等は、遠隔授業を実施します。尚その場合はシラバスの 内容が変更することがあります。状況に応じて適宜説明いたします。 ・授業でのワークシートおよび調べ学習の成果物などkの提出、また個人として添削指導の要望がある場合はメー ルでも受け付けいたします。 ・成果物は学生の了承が得られた場合に限り、Google共有ドライブを使用したいと考えています。

講義科目名称： 相談援助の理論と方法Ⅰ-①　　授業コード： J651

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年次	2単位(30)	福祉総合コース・選択
担当教員			
林　孝和			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 個人、家族、小集団・組織、地域社会をクライエントシステムとしてとらえ、ソーシャルワークの展開過程に即して思考できることを目的とする。また、事例において適切な援助技術を想定できることを目的とする。 【到達目標】 ソーシャルワークの構成要素、構造と機能、展開過程について理解し、説明することができる。さらに、アウトリーチ、面接技術、記録の技術、交渉の技術などについて理解し、説明することができる。また、学びを活かして事例を適切に検討することができるようになる。
授業の概要	相談援助とは何かについて学ぶ。また、相談援助の構造と機能、相談援助関係、相談援助の展開過程、アウトリーチ、契約、面接技術、記録の技術、交渉の技術について学ぶ。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	◎
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	○
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	

授業計画		
	第1回	オリエンテーション 【key words】 講義の受け方 【授業概要】 講義の受け方、予習・復習について、評価方法、などについて説明をする。 【教科書ページ・参考文献】 目次 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキスト目次に目を通し、講義のイメージを持つこと 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習30分
	第2回	ソーシャルワーク、ソーシャルワーカーの役割、ソーシャルワークの定義 【key words】 ソーシャルワーク、ソーシャルワーカーの役割、ソーシャルワークの定義 【授業概要】 1年次の学習を踏まえソーシャルワークとは何かを言語化するところから始める。ソーシャルワークの役割やグローバル定義について改めて学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 テキストP2～P8　(第1章相談援助とは) 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習30分
	第3回	ソーシャルワークの構成要素 【key words】 ソーシャルワークの目的、ソーシャルワークの価値、ソーシャルワークの知識、ソーシャルワークの方法・技能、ソーシャルワークへの権限の委任 【授業概要】 ソーシャルワークの構成要素は、価値を土台にして、その上に知識があり、それらをもとに方法・技能があり、これが目的に向かって進められることについて学ぶ。また、ソーシャルワークへの権限が委任されることで社会的な承認を得ることになるということについて学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 P9～P19　(第1章相談援助とは) 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習30分
	第4回	ソーシャルワークの職場、所属組織 【key words】 仕事の分類、レジデンシャル・ソーシャルワーカー、コミュニティー・ソーシャルワーカー、所属する組織

【授業概要】
ソーシャルワークの仕事の4つの側面について学ぶ。地域と施設のソーシャルワーカーの特徴を学ぶ。ソーシャルワーカーが所属する職能団体の役割と意義について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
P20～P26（第1章相談援助とは）
【課題・予習・復習・授業準備指示】
講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。
【予習復習に必要な想定時間】
予習60分　復習30分

第5回　人と環境との関係、人についての見方、社会資源についての見方
【key words】
交互作用、社会生活機能、クライエント・システム、ホリスティックアプローチ、ストレングス、エンパワメント、社会資源、生態学アプローチ、ニーズ・社会資源調整論、非貨幣的ニーズ
【授業概要】
クライエントが資源を核とする環境との関係で問題が生じた場合、それを解決・援助することに向けて、ソーシャルワーカーはいくつかの視点で介入することとなる。その枠組みや考え方を学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
P28 ～P37（第2章相談援助とは）
【課題・予習・復習・授業準備指示】
講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。
【予習復習に必要な想定時間】
予習60分　復習30分

第6回　ニーズ、社会生活ニーズ、サービスニーズ、
【key words】
ニーズ、社会生活ニーズ、サービスニーズ、社会福祉政策
【授業概要】
ソーシャルワークがとらえるニーズとは何かについて学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
P38～P43（第2章相談援助とは）
【課題・予習・復習・授業準備指示】
講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。
【予習復習に必要な想定時間】
予習60分　復習30分

第7回　ソーシャルワークの機能
【key words】
ミクロソーシャルワーク、メゾソーシャルワーク、マクロソーシャルワーク
【授業概要】
ソーシャルワークの過程からとらえた機能とソーシャルワークの枠組みからとらえる機能を知り、ソーシャルーく機能から導き出されるソーシャルワーカーの役割について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
P44～P51（第2章相談援助とは）
【課題・予習・復習・授業準備指示】
講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。
【予習復習に必要な想定時間】
予習60分　復習30分

第8回　人と環境の交互作用、人と環境、システム理論
【key words】
交互作用、人と状況、状況のなかの人、アフォーダンス、システム理論、ホロン、ホメオスタシス、自己組織化論、オートポイエーシス論、
【授業概要】
人と環境を一体的にとらえる理論がシステム理論であり、その概要を学ぶ。システム理論の歴史的発展段階を学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
P54～P62（第3章人と環境の交互作用）
【課題・予習・復習・授業準備指示】
講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。
【予習復習に必要な想定時間】
予習60分　復習30分

第9回　サイバネティックス、ソーシャルワーク理論
【key words】
サイバネティクス、システム理論
【授業概要】
システム理論によるソーシャルワークのあり方を学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
P62～P67（第3章人と環境の交互作用）
【課題・予習・復習・授業準備指示】
講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。
【予習復習に必要な想定時間】
予習60分　復習30分

第10回　ソーシャルワークと社旗福利の3次元、援助関係の期間と質との交互作用
【key words】
ミクロ・レベル、メゾ・レベル、マクロ・レベル、環境との交互作用
【授業概要】
環境のミクロ・メゾ・マクロのレベルの定義について学ぶ。援助関係の期間と質とは何かについて学ぶ。

	【教科書ページ・参考文献】 P70～P76（第4章相談援助における援助関係） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習30分 第11回　ソーシャルワーカーが準ずる原則、ソーシャルワーカーの技法 【key words】 個別性の尊重、非審判的態度、共感的理解、誠実な態度、真実性、自己決定、面接技術 【授業概要】 援助の原則を取り上げ、ソーシャルワーク全般において遵守される原則について学ぶ。面接技術を的確に活用することとはどのようなことかを学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 P77～P80（第4章相談援助における援助関係） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習30分 第12回　援助構造、援助関係の定義、援助者の機能・役割 【key words】 援助関係、アウトリーチワーカー、アドボケーター、エンパワメント、ファシリテーター 【授業概要】 カデューシンの「関係の定義」を学ぶ。ジェネラリスト・ソーシャルワークにおけるソーシャルワークの役割について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 P81～P84（第4章相談援助における援助関係） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習30分 第13回　関係とは、パターナリズム、均等性と公平性、ラポール、自己覚知 【key words】 権威的ソーシャルワーカー、パターナリズム、均等性、ラポール、アタッチメント理論、転移、逆転移 【授業概要】 ソーシャルワーカーが権威的になることにより生じるパターナリズムについて学ぶ。援助関係で生じる転移、逆転移について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 P85～P88（第4章相談援助における援助関係） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習30分 第14回　援助関係を形成することの効用と限界、生活保護での援助関係、家族療法、グループ、地域 【key words】 効用と限界、生活保護、家族療法、グループ、地域 【授業概要】 援助関係を形成することによる効用と限界について学ぶ。生活保護、家族療法、グループ、地域での援助関係について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 P89～P93 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習30分 第15回　前期まとめ 【key words】 前期まとめ 【授業概要】 前期で学んだことを復習し、前期試験に備える。 【教科書ページ・参考文献】 P2～P93 【課題・予習・復習・授業準備指示】 前期で学んだことを復習しておくこと。前期試験に向けて試験勉強をすること。 【予習復習に必要な想定時間】 120分　定期試験に向けて学習すること
受講生に関わる情報および受講のルール	座席を指定する。私語厳禁。ペットボトルは机上に置かないこと。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	チェックイン、チェックアウト時のGoogleフォーム。その他授業内で質問の有無を問うので、積極的に発問すること。
授業外時間にかかわる情報	予習として次回授業の該当部分を一読し、不明な用語などを調べ、調べた用語をノートにまとめる。また、予習の段階で質問があれば、予めノートに記述しておくこと。
オフィスアワー	毎週水曜日　午前10：30～12：00（この時間帯以外については要予約）
評価方法	定期試験60%、理解度テスト20%、授業への参画20%

教科書	社会福祉士養成講座編集委員会編集『新・社会福祉士養成講座7　相談援助の理論と方法Ⅰ』（中央法規）最新版、
参考書	関係資料は適宜配布する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） ■情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容 Googleフォームとスマートフォンを利用して、リアルタイムで受講学生の意見を収集・公開して学びを深める。また、チェックアウト時に授業の感想・質問を集め、適宜フィードバックする。

講義科目名称： 相談援助の理論と方法Ⅰ-②　　授業コード： J652

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年次	2単位(30)	福祉総合コース・選択
担当教員			
林　孝和			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 個人、家族、小集団・組織、地域社会をクライエントシステムとしてとらえ、ソーシャルワークの展開過程に即して思考できることを目的とする。また、事例において適切な援助技術を想定できることを目的とする。 【到達目標】 ソーシャルワークの構成要素、構造と機能、展開過程について理解し、説明することができる。さらに、アウトリーチ、面接技術、記録の技術、交渉の技術などについて理解し、説明することができる。また、学びを活かして事例を適切に検討することができるようになる。
授業の概要	相談援助とは何かについて学ぶ。また、相談援助の構造と機能、相談援助関係、相談援助の展開過程、アウトリーチ、契約、面接技術、記録の技術、交渉の技術について学ぶ。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	◎
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	○
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	

授業計画	第１６回	相談援助の展開過程の流れ、ケース発見、受理面接 【key words】 相談援助の展開過程、IFSW、well-being、ソーシャルワークの価値、ラポール、ケース発見、ワーカビリティー、ボランタリークライエント、インボランタリークライエント、インテーク 【授業概要】 ソーシャルワークには展開過程があることを学ぶ。ソーシャルワークを展開するためにはラポール形成が必要であることを学ぶ。展開過程の最初にケース発見があることを学ぶ。インボランタリークライエントである場合の介入の仕方について学ぶ。インテーク時の関わり方を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 P96～P111（第6章相談援助の展開過程Ⅱ） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習30分
	第１７回	問題把握、ニーズ確定、アセスメント、目標設定 【key words】 主訴、ニーズ、アセスメント、バイオ、サイコ、ソーシャル、ターゲットの設定 【授業概要】 主訴とニーズの違いについて学ぶ。人の理解をバイオ、サイコ、ソーシャルに分けて理解することを学ぶ。アセスメントを行った上で目標設定していく過程を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 P112～P126（第6章相談援助の展開過程Ⅱ） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習30分
	第１８回	支援計画（プランニング） 【key words】 プランニング、支援の実施、ケース検討会、ケースカンファレンス 【授業概要】 アセスメントにより目標設定した上で、プランニングし、支援の実施に至る過程を学ぶ。プランニングする際に多職種でケースについて検討する会議が行われていることを学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 P127～P136（第6章相談援助の展開過程Ⅱ） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習30分
	第１９回	モニタリング、再アセスメント

【key words】
モニタリング、生活場面面接、ケア会議、再アセスメント、ストレングス、生活モデル
【授業概要】
支援が遂行されているかどうか確認するモニタリングの必要性について学ぶ。再アセスメントについて学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
P138～P145（第6章相談援助の展開過程Ⅱ）
【課題・予習・復習・授業準備指示】
講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。
【予習復習に必要な想定時間】
予習60分　復習30分

第２０回　終結、効果測定、評価、アフターケア、予防的対応、サービス開発
【key words】
支援の終結、効果測定、アカウンタビリティー、エビデンス、評価、スーパービジョン、アフターケア予防的対応、サービス開発、ネットワーク、ソーシャルアクション
【授業概要】
支援が終わるにあたって効果測定があることを学ぶ。スーパービジョンを実施する意味を学ぶ。生活課題が重大化することを未然に防ぐための予防的対応と社会資源の不備や不足が生じている時にソーシャルアクションが有効であることを学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
P146～P153（第6章相談援助の展開過程Ⅱ）
【課題・予習・復習・授業準備指示】
講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。
【予習復習に必要な想定時間】
予習60分　復習30分

第２１回　アウトリーチの必要性
【key words】
アウトリーチ、多問題家族
【授業概要】
アウトリーチの必要性、その対象、担う機能について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
P156～P160（第7章相談援助のためのアウトリーチの技術）
【課題・予習・復習・授業準備指示】
講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。
【予習復習に必要な想定時間】
予習60分　復習30分

第２２回　アウトリーチの具体的方法と留意点
【key words】
クライエントレベルでの対応、システムレベルでの対応、アウトリーチを可能にする要因
【授業概要】
アウトリーチの具体的方法、その範囲、留意点について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
P161～P165（第7章相談援助のためのアウトリーチの技術）
【課題・予習・復習・授業準備指示】
講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。
【予習復習に必要な想定時間】
予習60分　復習30分

第２３回　契約の意義と目的、契約の方法と留意点
【key words】
契約、合意、自己決定権、モチベーション、目標設定
【授業概要】
措置から契約へと福祉サービスの供給方法が変化してきたことから、社会福祉における契約の意義と目的、方法と留意点について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
P168～P179
【課題・予習・復習・授業準備指示】
講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。
【予習復習に必要な想定時間】

第２４回　アセスメントの特性、援助的関係、面接、アセスメントツール
【key words】
アセスメントの特性、動的なプロセス、問題対処力、バイステック原則、面接の目的、アセスメントツール
【授業概要】
ソーシャルワークのアセスメントの特性は統合的で多面的に問題をとらえることであることを学ぶ。アセスメントの際の留意点と16項目の内容を学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
P182～P200
【課題・予習・復習・授業準備指示】
講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。
【予習復習に必要な想定時間】
予習60分　復習30分

第２５回　情報統合化、分析
【key words】
情報の組織化、ライスサイクル心理学
【授業概要】
アセスメントでは、適切な情報を得ること、それを組織化することが大切であることを学ぶ。ま

	た、アセスメントを高めるために必要なことが何かを学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 P201～P204 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習30分
	第２６回　介入の意義とターゲット、留意点 【key words】 介入、介入方法のレパートリー、直接的介入、間接的介入、ケースアドボカシー、コーズアドボカシー、シーボーム報告 【授業概要】 介入の定義や介入のターゲットについて学ぶ。介入の方法には直接的介入と間接的介入があることを学び、介入の戦略、介入の技術、技法、介入の留意点について学ぶ。シーボーム報告における介入について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 P206～P221 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習30分
	第２７回　経過観察（モニタリング）、再アセスメント、効果測定、評価の技術 【key words】 経過観察（モニタリング）、再アセスメント、効果測定、評価の技術 【授業概要】 相談援助の進捗をモニターし、定期的あるいは必要に応じて再アセスメントとプランニングの修正・強化、効果測定、終結へと向かう手続きについて学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 P224～P248（第11章相談援助のための経過観察、再アセスメント、効果測定、評価の技術） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習30分
	第２８回　面接の目的、面接の展開、面接技術、面接の形態 【key words】 面接の目的、面接の展開、面接技術、面接の形態 【授業概要】 専門職として面接の意義、目的、構造、方法、技法等について理解を深め、面接を展開の仕方を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 P250～PP268（第12章相談援助のための面接の技術） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習30分
	第２９回　記録の意義、記録の種類、記録の方法、記録の課題 【key words】 記録業務、記録の種類、情報開示、マッピング、倫理 【授業概要】 ソーシャルワーク記録を記録業務と位置付け、理論的枠組みを理解しその意義と機能を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 P270～P293（第13章相談援助のための記録の技術） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習30分
	第３０回　交渉の意義と目的、交渉の方法と留意点、後期まとめ 【key words】 交渉、帰属意識、自主的な運営、相互作用、チームワーク、交渉プロセス、プレゼンテーション 【授業概要】 多職種と連携して、多様化する当事者のニーズに応えるための交渉の技術について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 P296～P315（第14章相談援助のための交渉の技術） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 後期で学んだことを復習しておくこと。後期試験に向けて試験勉強をすること。 【予習復習に必要な想定時間】 予習60分　復習30分
受講生に関わる情報および受講のルール	ノートはpowerpoint、レジュメを写すだけでは不十分であり、それ以外に口頭で解説したことなどをメモすること。講義の終了前10分間で理解度テストを実施する。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	授業終了時の確認テストにて理解の具合を確認する。また講義内の質問を積極的に促す。
授業外時間にかかわる情報	予習として次回授業の該当部分を一読し、不明な用語などを調べ、調べた用語をノートにまとめる。また、予習の段階で質問があれば、予めノートに記述しておくこと。
オフィスアワー	毎週水曜日の2限帯　10時半～12時

評価方法	定期試験60%　授業態度20%　理解度テスト20%
教科書	①社会福祉士養成講座編集委員会編集『新・社会福祉士養成講座7　相談援助の理論と方法Ⅰ』（中央法規）最新版
参考書	講義内で適宜紹介する
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） ■情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 ■e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 診療報酬請求事務Ⅰ-①　　授業コード： J711

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年次	1単位(30)	医療事務・秘書コース・選択
担当教員			
淡島　正浩			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 １年次に学習した診療報酬事務に関する知識に基づき，正しい診療報酬の知識を身に付けると共に，他の医療職や患者・家族に対して、診療報酬制度について分かりやすく説明できるようになることを目的とする。 【到達目標】 診療報酬請求事務能力認定試験に合格可能なレベルの診療報酬請求事務能力の修得を目標とする。
授業の概要	本講義は，医療事務とは、医療、情報、経営が交わる領域であり、そのプロフェッショナルには、すべての領域に対する知識とスキルが必要となります。診療報酬請求に関して、単に医療事務の資格取得に必要とされる「浅い」知識ではなく、「医療」、「経営」、「情報」を横断するプロフェッショナルに求められる「深い」知識とスキルを身につけていきます。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	◎
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	○

授業計画	第１回	オリエンテーション 【key words】 受講について 【授業概要】 診療報酬請求事務能力認定試験および医療保険請求事務実技試験合格に向けた講義方針，計画，受講ルールの説明など 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】
	第２回	レセプトの基礎知識 【key words】 診療報酬の請求について 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）レセプト演習プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】
	第３回	初再診料 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）レセプト演習プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】
	第４回	医学管理料 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）レセプト演習プリント

【教科書ページ・参考文献】
本講義で使用するすべての教科書を準備すること
【課題・予習・復習・授業準備指示】
適宜説明・指示
【予習復習に必要な想定時間】

第５回　在宅医療
【key words】

【授業概要】
（学習方法）講義・演習
（準備学習）教科書の通し読み
（学習課題）レセプト演習プリント
【教科書ページ・参考文献】
本講義で使用するすべての教科書を準備すること
【課題・予習・復習・授業準備指示】
適宜説明・指示
【予習復習に必要な想定時間】

第６回　投薬1
【key words】

【授業概要】
（学習方法）講義・演習
（準備学習）教科書の通し読み
（学習課題）レセプト演習プリント
【教科書ページ・参考文献】
本講義で使用するすべての教科書を準備すること
【課題・予習・復習・授業準備指示】
適宜説明・指示
【予習復習に必要な想定時間】

第７回　投薬2
【key words】

【授業概要】
（学習方法）講義・演習
（準備学習）教科書の通し読み
（学習課題）レセプト演習プリント
【教科書ページ・参考文献】
本講義で使用するすべての教科書を準備すること
【課題・予習・復習・授業準備指示】
適宜説明・指示
【予習復習に必要な想定時間】

第８回　外来レセプト作成演習1
【key words】

【授業概要】
（学習方法）講義・演習
（準備学習）教科書の通し読み
（学習課題）レセプト演習プリント
【教科書ページ・参考文献】
本講義で使用するすべての教科書を準備すること
【課題・予習・復習・授業準備指示】
適宜説明・指示
【予習復習に必要な想定時間】

第９回　注射
【key words】

【授業概要】
（学習方法）講義・演習
（準備学習）教科書の通し読み
（学習課題）レセプト演習プリント
【教科書ページ・参考文献】
本講義で使用するすべての教科書を準備すること
【課題・予習・復習・授業準備指示】
適宜説明・指示
【予習復習に必要な想定時間】

第１０回　処置
【key words】

【授業概要】
（学習方法）講義・演習
（準備学習）教科書の通し読み
（学習課題）レセプト演習プリント
【教科書ページ・参考文献】
本講義で使用するすべての教科書を準備すること
【課題・予習・復習・授業準備指示】
適宜説明・指示
【予習復習に必要な想定時間】

第１１回　リハビリテーション
【key words】

【授業概要】
（学習方法）講義・演習

	（準備学習）教科書の通し読み （学習課題）レセプト演習プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】 第１２回　外来レセプト作成演習2 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）レセプト演習プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】 第１３回　検査1 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）レセプト演習プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】 第１４回　検査2 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）レセプト演習プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】 第１５回　病理診断 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）レセプト演習プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	受講時に他の学生の学習の妨げとなる態度を取る者については，退室を命じることがある
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	本科目では，知識を正確に用いることが求められる。そのために，毎日における学習の積み重ねが必要となることを，よく理解した上で受講すること
オフィスアワー	水曜日：14：30〜15：30　（他応相談・要予約）
評価方法	授業時に提出を求めるレポート課題と学期末試験により評価する
教科書	(1) 医療事務講座（医科）テキスト１ 医療保障制度 (2) 医療事務講座（医科）テキスト２ 算定とレセプト（上） (3) 医療事務講座（医科）テキスト３ 算定とレセプト（下） (4) 医療事務講座（医科）テキスト５ サポートブック (5) 診療報酬請求ハンドブック (6) 医科診療報酬点数表 (7) 診療報酬請求事務能力認定試験　受験対策と予想問題集 (8) 診療情報管理士テキストⅢ　日本病院会
参考書	教科書以外にスライドやハンドアウトなどを適宜用いる
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 ・病院，診療所における医事会計，請求，受付業務

	・医療経営コンサルタント業務 ・医療情報管理，運営業務 ・地域医療支援業務 ・救急外来診療支援業務　ほか アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 診療報酬請求事務Ⅰ-②　　授業コード：J712

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年次	1単位(30)	医療事務・秘書コース
担当教員			
淡島　正浩			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 １年次に学習した診療報酬事務に関する知識に基づき，正しい診療報酬の知識を身に付けると共に，他の医療職や患者・家族に対して、診療報酬制度について分かりやすく説明できるようになることを目的とする。 【到達目標】 診療報酬請求事務能力認定試験に合格可能なレベルの診療報酬請求事務能力の修得を目標とする。
授業の概要	本講義は，医療事務とは、医療、情報、経営が交わる領域であり、そのプロフェッショナルには、すべての領域に対する知識とスキルが必要となります。診療報酬請求に関して、単に医療事務の資格取得に必要とされる「浅い」知識ではなく、「医療」、「経営」、「情報」を横断するプロフェッショナルに求められる「深い」知識とスキルを身につけていきます。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	◎
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	○

授業計画	第１回	手術 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】
	第２回	麻酔 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】
	第３回	外来レセプト作成演習 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】
	第４回	画像診断 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み

（学習課題）学科演習問題プリント
【教科書ページ・参考文献】
本講義で使用するすべての教科書を準備すること
【課題・予習・復習・授業準備指示】
適宜説明・指示
【予習復習に必要な想定時間】
第５回　精神科専門療法・放射線治療
【key words】

【授業概要】
（学習方法）講義・演習
（準備学習）教科書の通し読み
（学習課題）学科演習問題プリント
【教科書ページ・参考文献】
本講義で使用するすべての教科書を準備すること
【課題・予習・復習・授業準備指示】
適宜説明・指示
【予習復習に必要な想定時間】
第６回　入院料等1
【key words】

【授業概要】
（学習方法）講義・演習
（準備学習）教科書の通し読み
（学習課題）学科演習問題プリント
【教科書ページ・参考文献】
本講義で使用するすべての教科書を準備すること
【課題・予習・復習・授業準備指示】
適宜説明・指示
【予習復習に必要な想定時間】
第７回　入院料等2
【key words】

【授業概要】
（学習方法）講義・演習
（準備学習）教科書の通し読み
（学習課題）学科演習問題プリント
【教科書ページ・参考文献】
本講義で使用するすべての教科書を準備すること
【課題・予習・復習・授業準備指示】
適宜説明・指示
【予習復習に必要な想定時間】
第８回　入院レセプト作成演習1
【key words】

【授業概要】
（学習方法）講義・演習
（準備学習）教科書の通し読み
（学習課題）学科演習問題プリント
【教科書ページ・参考文献】
本講義で使用するすべての教科書を準備すること
【課題・予習・復習・授業準備指示】
適宜説明・指示
【予習復習に必要な想定時間】
第９回　入院レセプト作成演習2
【key words】

【授業概要】
（学習方法）講義・演習
（準備学習）教科書の通し読み
（学習課題）学科演習問題プリント
【教科書ページ・参考文献】
本講義で使用するすべての教科書を準備すること
【課題・予習・復習・授業準備指示】
適宜説明・指示
【予習復習に必要な想定時間】
第１０回　入院レセプト作成演習3
【key words】

【授業概要】
（学習方法）講義・演習
（準備学習）教科書の通し読み
（学習課題）学科演習問題プリント
【教科書ページ・参考文献】
本講義で使用するすべての教科書を準備すること
【課題・予習・復習・授業準備指示】
適宜説明・指示
【予習復習に必要な想定時間】
第１１回　医療機関と医療保険
【key words】

【授業概要】

	（学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】 第１２回　医療給付と会計業務 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】 第１３回　医療保険以外の医療保障制度 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】 第１４回　診療報酬請求事務能力認定試験　模試１ 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】 第１５回　診療報酬請求事務能力認定試験　模試２ 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	受講時に他の学生の学習の妨げとなる態度を取る者については，退室を命じることがある
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	本科目では，知識を正確に用いることが求められる。そのために，毎日における学習の積み重ねが必要となることを，よく理解した上で受講すること
オフィスアワー	水曜日：14：30～15：30　（他応相談・要予約）
評価方法	授業時に提出を求めるレポート課題と学期末試験により評価する
教科書	(1) 医療事務講座（医科）テキスト１　医療保障制度 (2) 医療事務講座（医科）テキスト２　算定とレセプト（上） (3) 医療事務講座（医科）テキスト３　算定とレセプト（下） (4) 医療事務講座（医科）テキスト５　サポートブック (5) 診療報酬請求ハンドブック (6) 医科診療報酬点数表 (7) 診療報酬請求事務能力認定試験　受験対策と予想問題集 (8) 診療情報管理士テキストⅢ　日本病院会
参考書	教科書以外にスライドやハンドアウトなどを適宜用いる
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容

	・病院，診療所における医事会計，請求，受付業務 ・医療経営コンサルタント業務 ・医療情報管理，運営業務 ・地域医療支援業務 ・救急外来診療支援業務　ほか アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称：　診療報酬請求事務Ⅱ-①　　授業コード：J713

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年次	1単位(30)	医療事務・秘書コース・選択
担当教員			
淡島　正浩			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 １年次に学習した診療報酬事務に関する知識に基づき，正しい診療報酬の知識を身に付けると共に，他の医療職や患者・家族に対して、診療報酬制度について分かりやすく説明できるようになることを目的とする。 【到達目標】 診療報酬請求事務能力認定試験に合格可能なレベルの診療報酬請求事務能力の修得を目標とする。
授業の概要	本講義は，医療事務とは、医療、情報、経営が交わる領域であり、そのプロフェッショナルには、すべての領域に対する知識とスキルが必要となります。診療報酬請求に関して、単に医療事務の資格取得に必要とされる「浅い」知識ではなく、「医療」、「経営」、「情報」を横断するプロフェッショナルに求められる「深い」知識とスキルを身につけていきます。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	◎
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	○

授業計画	第１回	診療報酬請求事務能力認定試験　試験対策 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】
	第２回	診療報酬請求事務能力認定試験　試験対策 【key words】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】
	第３回	診療報酬請求事務能力認定試験　試験対策 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】
	第４回	診療報酬請求事務能力認定試験　試験対策 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み

（学習課題）学科演習問題プリント
【教科書ページ・参考文献】
本講義で使用するすべての教科書を準備すること
【課題・予習・復習・授業準備指示】
適宜説明・指示
【予習復習に必要な想定時間】
第５回　診療報酬請求事務能力認定試験　試験対策
【key words】

【授業概要】
（学習方法）講義・演習
（準備学習）教科書の通し読み
（学習課題）学科演習問題プリント
【教科書ページ・参考文献】
本講義で使用するすべての教科書を準備すること
【課題・予習・復習・授業準備指示】
適宜説明・指示
【予習復習に必要な想定時間】
第６回　診療報酬請求事務能力認定試験　試験対策
【key words】

【授業概要】
（学習方法）講義・演習
（準備学習）教科書の通し読み
（学習課題）学科演習問題プリント
【教科書ページ・参考文献】
本講義で使用するすべての教科書を準備すること
【課題・予習・復習・授業準備指示】
適宜説明・指示
【予習復習に必要な想定時間】
第７回　診療報酬請求事務能力認定試験　試験対策
【key words】

【授業概要】
（学習方法）講義・演習
（準備学習）教科書の通し読み
（学習課題）学科演習問題プリント
【教科書ページ・参考文献】
本講義で使用するすべての教科書を準備すること
【課題・予習・復習・授業準備指示】
適宜説明・指示
【予習復習に必要な想定時間】
第８回　診療報酬請求事務能力認定試験　試験対策
【key words】

【授業概要】
（学習方法）講義・演習
（準備学習）教科書の通し読み
（学習課題）学科演習問題プリント
【教科書ページ・参考文献】
本講義で使用するすべての教科書を準備すること
【課題・予習・復習・授業準備指示】
適宜説明・指示
【予習復習に必要な想定時間】
第９回　診療報酬請求事務能力認定試験　試験対策
【key words】

【授業概要】
（学習方法）講義・演習
（準備学習）教科書の通し読み
（学習課題）学科演習問題プリント
【教科書ページ・参考文献】
本講義で使用するすべての教科書を準備すること
【課題・予習・復習・授業準備指示】
適宜説明・指示
【予習復習に必要な想定時間】
第１０回　診療報酬請求事務能力認定試験　試験対策
【key words】

【授業概要】
（学習方法）講義・演習
（準備学習）教科書の通し読み
（学習課題）学科演習問題プリント
【教科書ページ・参考文献】
本講義で使用するすべての教科書を準備すること
【課題・予習・復習・授業準備指示】
適宜説明・指示
【予習復習に必要な想定時間】
第１１回　診療報酬請求事務能力認定試験　試験対策
【key words】

【授業概要】

	（学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】 第１２回　診療報酬請求事務能力認定試験　試験対策 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】 第１３回　診療報酬請求事務能力認定試験　試験対策 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】 第１４回　診療報酬請求事務能力認定試験　試験対策 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】 第１５回　診療報酬請求事務能力認定試験　試験対策 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	受講時に他の学生の学習の妨げとなる態度を取る者については，退室を命じることがある
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	本科目では，知識を正確に用いることが求められる。そのために，毎日における学習の積み重ねが必要となることを，よく理解した上で受講すること
オフィスアワー	水曜日：14：30～15：30　（他応相談・要予約）
評価方法	授業時に提出を求めるレポート課題と学期末試験により評価する
教科書	(1) 医療事務講座（医科）テキスト１　医療保障制度 (2) 医療事務講座（医科）テキスト２　算定とレセプト（上） (3) 医療事務講座（医科）テキスト３　算定とレセプト（下） (4) 医療事務講座（医科）テキスト５　サポートブック (5) 診療報酬請求ハンドブック (6) 医科診療報酬点数表 (7) 診療報酬請求事務能力認定試験　受験対策と予想問題集 (8) 診療情報管理士テキストⅢ　日本病院会
参考書	教科書以外にスライドやハンドアウトなどを適宜用いる
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容

	・病院，診療所における医事会計，請求，受付業務 ・医療経営コンサルタント業務 ・医療情報管理，運営業務 ・地域医療支援業務 ・救急外来診療支援業務　ほか アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称：　診療報酬請求事務Ⅱ-②　　授業コード：J714

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年次	1単位(30)	医療事務・秘書コース・選択
担当教員			
淡島　正浩			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 １年次に学習した診療報酬事務に関する知識に基づき，正しい診療報酬の知識を身に付けると共に，他の医療職や患者・家族に対して、診療報酬制度について分かりやすく説明できるようになることを目的とする。 【到達目標】 診療報酬請求事務能力認定試験に合格可能なレベルの診療報酬請求事務能力の修得を目標とする。
授業の概要	本講義は，医療事務とは、医療、情報、経営が交わる領域であり、そのプロフェッショナルには、すべての領域に対する知識とスキルが必要となります。診療報酬請求に関して、単に医療事務の資格取得に必要とされる「浅い」知識ではなく、「医療」、「経営」、「情報」を横断するプロフェッショナルに求められる「深い」知識とスキルを身につけていきます。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	◎
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	○

授業計画	第１回　診療報酬請求事務能力認定試験　対策 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】 第２回　診療報酬請求事務能力認定試験　対策 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】 第３回　診療報酬請求事務能力認定試験　対策 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】 第４回　診療報酬請求事務能力認定試験　対策 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み

	（学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】
第５回	診療報酬請求事務能力認定試験　対策 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】
第６回	診療報酬請求事務能力認定試験　対策 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】
第７回	診療報酬請求事務能力認定試験　対策 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】
第８回	診療報酬請求事務能力認定試験　対策 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
第９回	診療報酬請求事務能力認定試験　対策 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】
第１０回	診療報酬請求事務能力認定試験　対策 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】
第１１回	診療報酬請求事務能力認定試験　対策 【key words】 【授業概要】

	（学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】 第１２回　診療報酬請求事務能力認定試験　対策 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 第１３回　診療報酬請求事務能力認定試験　対策 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】 第１４回　診療報酬請求事務能力認定試験　対策 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】 第１５回　診療報酬請求事務能力認定試験　対策 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	受講時に他の学生の学習の妨げとなる態度を取る者については，退室を命じることがある
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	本科目では，知識を正確に用いることが求められる。そのために，毎日における学習の積み重ねが必要となることを，よく理解した上で受講すること
オフィスアワー	水曜日：14：30～15：30　（他応相談・要予約）
評価方法	授業時に提出を求めるレポート課題と学期末試験により評価する
教科書	(1) 医療事務講座（医科）テキスト１　医療保障制度 (2) 医療事務講座（医科）テキスト２　算定とレセプト（上） (3) 医療事務講座（医科）テキスト３　算定とレセプト（下） (4) 医療事務講座（医科）テキスト５　サポートブック (5) 診療報酬請求ハンドブック (6) 医科診療報酬点数表 (7) 診療報酬請求事務能力認定試験　受験対策と予想問題集 (8) 診療情報管理士テキストⅢ　日本病院会
参考書	教科書以外にスライドやハンドアウトなどを適宜用いる
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容

	・病院，診療所における医事会計，請求，受付業務 ・医療経営コンサルタント業務 ・医療情報管理，運営業務 ・地域医療支援業務 ・救急外来診療支援業務　ほか アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 診療報酬請求事務Ⅲ-①　　授業コード： J715

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年次	1単位(30)	医療事務・秘書コース・選択
担当教員			
淡島　正浩			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 １年次に学習した診療報酬事務に関する知識に基づき，正しい診療報酬の知識を身に付けると共に，他の医療職や患者・家族に対して、診療報酬制度について分かりやすく説明できるようになることを目的とする。 【到達目標】 診療報酬請求事務能力認定試験に合格可能なレベルの診療報酬請求事務能力の修得を目標とする。
授業の概要	本講義は，医療事務とは、医療、情報、経営が交わる領域であり、そのプロフェッショナルには、すべての領域に対する知識とスキルが必要となります。診療報酬請求に関して、単に医療事務の資格取得に必要とされる「浅い」知識ではなく、「医療」、「経営」、「情報」を横断するプロフェッショナルに求められる「深い」知識とスキルを身につけていきます。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	◎
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	○

授業計画	第１回	医療保険制度１ 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】
	第２回	医療保険制度２ 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】
	第３回	医療保険請求事務実技検定試験　対策 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】
	第４回	医療保険請求事務実技検定試験　対策 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み

（学習課題）学科演習問題プリント
【教科書ページ・参考文献】
本講義で使用するすべての教科書を準備すること
【課題・予習・復習・授業準備指示】
適宜説明・指示
【予習復習に必要な想定時間】
第５回　医療保険請求事務実技検定試験　対策
【key words】

【授業概要】
（学習方法）講義・演習
（準備学習）教科書の通し読み
（学習課題）学科演習問題プリント
【教科書ページ・参考文献】
本講義で使用するすべての教科書を準備すること
【課題・予習・復習・授業準備指示】
適宜説明・指示
【予習復習に必要な想定時間】
第６回　医療保険請求事務実技検定試験　対策
【key words】

【授業概要】
（学習方法）講義・演習
（準備学習）教科書の通し読み
（学習課題）学科演習問題プリント
【教科書ページ・参考文献】
本講義で使用するすべての教科書を準備すること
【課題・予習・復習・授業準備指示】
適宜説明・指示
【予習復習に必要な想定時間】
第７回　医療保険請求事務実技検定試験　対策
【key words】

【授業概要】
（学習方法）講義・演習
（準備学習）教科書の通し読み
（学習課題）学科演習問題プリント
【教科書ページ・参考文献】
本講義で使用するすべての教科書を準備すること
【課題・予習・復習・授業準備指示】
適宜説明・指示
【予習復習に必要な想定時間】
第８回　診断群分類１
【key words】

【授業概要】
（学習方法）講義・演習
（準備学習）教科書の通し読み
（学習課題）学科演習問題プリント
【教科書ページ・参考文献】
本講義で使用するすべての教科書を準備すること
【課題・予習・復習・授業準備指示】
適宜説明・指示
【予習復習に必要な想定時間】
第９回　診断群分類２
【key words】

【授業概要】
（学習方法）講義・演習
（準備学習）教科書の通し読み
（学習課題）学科演習問題プリント
【教科書ページ・参考文献】
適宜説明・指示
【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】
第１０回　診断群分類３
【key words】

【授業概要】
（学習方法）講義・演習
（準備学習）教科書の通し読み
（学習課題）学科演習問題プリント
【教科書ページ・参考文献】
本講義で使用するすべての教科書を準備すること
【課題・予習・復習・授業準備指示】
適宜説明・指示
【予習復習に必要な想定時間】
第１１回　ＤＰＣ／ＰＤＰＳについて1
【key words】

【授業概要】

	（学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】 第１２回　ＤＰＣ／ＰＤＰＳについて２ 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】 第１３回　ＤＰＣ／ＰＤＰＳについて３ 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】 第１４回　介護保険制度 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】 第１５回　診療情報管理士について 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	受講時に他の学生の学習の妨げとなる態度を取る者については，退室を命じることがある
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	本科目では，知識を正確に用いることが求められる。そのために，毎日における学習の積み重ねが必要となることを，よく理解した上で受講すること
オフィスアワー	水曜日：14：30～15：30　（他応相談・要予約）
評価方法	授業時に提出を求めるレポート課題と学期末試験により評価する
教科書	(1) 医療事務講座（医科）テキスト１　医療保障制度 (2) 医療事務講座（医科）テキスト２　算定とレセプト（上） (3) 医療事務講座（医科）テキスト３　算定とレセプト（下） (4) 医療事務講座（医科）テキスト５　サポートブック (5) 診療報酬請求ハンドブック (6) 医科診療報酬点数表 (7) 診療報酬請求事務能力認定試験　受験対策と予想問題集 (8) 診療情報管理士テキストⅢ　日本病院会
参考書	教科書以外にスライドやハンドアウトなどを適宜用いる
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容

	・病院，診療所における医事会計，請求，受付業務 ・医療経営コンサルタント業務 ・医療情報管理，運営業務 ・地域医療支援業務 ・救急外来診療支援業務　ほか アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 診療報酬請求事務Ⅲ-②　　授業コード： J716

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年次	1単位(30)	医療事務・秘書コース・選択
担当教員			
淡島　正浩			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 １年次に学習した診療報酬事務に関する知識に基づき，正しい診療報酬の知識を身に付けると共に，他の医療職や患者・家族に対して、診療報酬制度について分かりやすく説明できるようになることを目的とする。 【到達目標】 診療報酬請求事務能力認定試験に合格可能なレベルの診療報酬請求事務能力の修得を目標とする。
授業の概要	本講義は，医療事務とは、医療、情報、経営が交わる領域であり、そのプロフェッショナルには、すべての領域に対する知識とスキルが必要となります。診療報酬請求に関して、単に医療事務の資格取得に必要とされる「浅い」知識ではなく、「医療」、「経営」、「情報」を横断するプロフェッショナルに求められる「深い」知識とスキルを身につけていきます。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	◎
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	○

授業計画	第１回　医療保険請求事務実技検定試験　対策 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】 第２回　医療保険請求事務実技検定試験　対策 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】 第３回　医療保険請求事務実技検定試験　対策 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】 第４回　医療保険請求事務実技検定試験　対策 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み

	（学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】
第５回	医療保険請求事務実技検定試験　対策 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】
第６回	医療保険請求事務実技検定試験　対策 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】
第７回	医療保険請求事務実技検定試験　対策 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】
第８回	医療保険請求事務実技検定試験　対策 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】
第９回	日本医師会医療秘書認定試験　対策 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】
第１０回	日本医師会医療秘書認定試験　対策 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】
第１１回	日本医師会医療秘書認定試験　対策 【key words】 【授業概要】

	（学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】 第１２回　日本医師会医療秘書認定試験　対策 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】 第１３回　日本医師会医療秘書認定試験　対策 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】 第１４回　日本医師会医療秘書認定試験　対策 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】 第１５回　日本医師会医療秘書認定試験　対策 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	受講時に他の学生の学習の妨げとなる態度を取る者については，退室を命じることがある
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	本科目では，知識を正確に用いることが求められる。そのために，毎日における学習の積み重ねが必要となることを，よく理解した上で受講すること
オフィスアワー	水曜日：14：30～15：30　（他応相談・要予約）
評価方法	授業時に提出を求めるレポート課題と学期末試験により評価する
教科書	(1) 医療事務講座（医科）テキスト１　医療保障制度 (2) 医療事務講座（医科）テキスト２　算定とレセプト（上） (3) 医療事務講座（医科）テキスト３　算定とレセプト（下） (4) 医療事務講座（医科）テキスト５　サポートブック (5) 診療報酬請求ハンドブック (6) 医科診療報酬点数表 (7) 診療報酬請求事務能力認定試験　受験対策と予想問題集 (8) 診療情報管理士テキストⅢ　日本病院会
参考書	教科書以外にスライドやハンドアウトなどを適宜用いる
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容

	・病院，診療所における医事会計，請求，受付業務 ・医療経営コンサルタント業務 ・医療情報管理，運営業務 ・地域医療支援業務 ・救急外来診療支援業務　ほか アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称：　診療報酬請求事務Ⅳ-①　　授業コード：J717

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年次	1単位(30)	医療事務・秘書コース・選択
担当教員			
淡島　正浩			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 １年次に学習した診療報酬事務に関する知識に基づき，正しい診療報酬の知識を身に付けると共に，他の医療職や患者・家族に対して、診療報酬制度について分かりやすく説明できるようになることを目的とする。 【到達目標】 診療報酬請求事務能力認定試験に合格可能なレベルの診療報酬請求事務能力の修得を目標とする。
授業の概要	本講義は，医療事務とは、医療、情報、経営が交わる領域であり、そのプロフェッショナルには、すべての領域に対する知識とスキルが必要となります。診療報酬請求に関して、単に医療事務の資格取得に必要とされる「浅い」知識ではなく、「医療」、「経営」、「情報」を横断するプロフェッショナルに求められる「深い」知識とスキルを身につけていきます。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	◎
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	○

授業計画	第１回	医療保険制度１ 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】
	第２回	医療保険制度２ 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】
	第３回	医療保険請求事務実技検定試験　対策 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】
	第４回	医療保険請求事務実技検定試験　対策 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み

（学習課題）学科演習問題プリント
【教科書ページ・参考文献】
本講義で使用するすべての教科書を準備すること
【課題・予習・復習・授業準備指示】
適宜説明・指示
【予習復習に必要な想定時間】
第５回　医療保険請求事務実技検定試験　対策
【key words】

【授業概要】
（学習方法）講義・演習
（準備学習）教科書の通し読み
（学習課題）学科演習問題プリント
【教科書ページ・参考文献】
本講義で使用するすべての教科書を準備すること
【課題・予習・復習・授業準備指示】
適宜説明・指示
【予習復習に必要な想定時間】
第６回　医療保険請求事務実技検定試験　対策
【key words】

【授業概要】
（学習方法）講義・演習
（準備学習）教科書の通し読み
（学習課題）学科演習問題プリント
【教科書ページ・参考文献】
本講義で使用するすべての教科書を準備すること
【課題・予習・復習・授業準備指示】
適宜説明・指示
【予習復習に必要な想定時間】
第７回　医療保険請求事務実技検定試験　対策
【key words】

【授業概要】
（学習方法）講義・演習
（準備学習）教科書の通し読み
（学習課題）学科演習問題プリント
【教科書ページ・参考文献】
本講義で使用するすべての教科書を準備すること
【課題・予習・復習・授業準備指示】
適宜説明・指示
【予習復習に必要な想定時間】
第８回　診断群分類１
【key words】

【授業概要】
（学習方法）講義・演習
（準備学習）教科書の通し読み
（学習課題）学科演習問題プリント
【教科書ページ・参考文献】
本講義で使用するすべての教科書を準備すること
【課題・予習・復習・授業準備指示】
適宜説明・指示
【予習復習に必要な想定時間】
第９回　診断群分類２
【key words】

【授業概要】
（学習方法）講義・演習
（準備学習）教科書の通し読み
（学習課題）学科演習問題プリント
【教科書ページ・参考文献】
本講義で使用するすべての教科書を準備すること
【課題・予習・復習・授業準備指示】
適宜説明・指示
【予習復習に必要な想定時間】
第１０回　診断群分類３
【key words】

【授業概要】
（学習方法）講義・演習
（準備学習）教科書の通し読み
（学習課題）学科演習問題プリント
【教科書ページ・参考文献】
本講義で使用するすべての教科書を準備すること
【課題・予習・復習・授業準備指示】
適宜説明・指示
【予習復習に必要な想定時間】
第１１回　ＤＰＣ／ＰＤＰＳについて１
【key words】

【授業概要】

	（学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】 第１２回　ＤＰＣ／ＰＤＰＳについて２ 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】 第１３回　ＤＰＣ／ＰＤＰＳについて３ 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】 第１４回　介護保険制度 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】 第１５回　診療情報管理士について 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	受講時に他の学生の学習の妨げとなる態度を取る者については，退室を命じることがある
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	本科目では，知識を正確に用いることが求められる。そのために，毎日における学習の積み重ねが必要となることを，よく理解した上で受講すること
オフィスアワー	水曜日：14：30～15：30　（他応相談・要予約）
評価方法	授業時に提出を求めるレポート課題と学期末試験により評価する
教科書	(1) 医療事務講座（医科）テキスト１　医療保障制度 (2) 医療事務講座（医科）テキスト２　算定とレセプト（上） (3) 医療事務講座（医科）テキスト３　算定とレセプト（下） (4) 医療事務講座（医科）テキスト５　サポートブック (5) 診療報酬請求ハンドブック (6) 医科診療報酬点数表 (7) 診療報酬請求事務能力認定試験　受験対策と予想問題集 (8) 診療情報管理士テキストⅢ　日本病院会
参考書	教科書以外にスライドやハンドアウトなどを適宜用いる
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容

	・病院，診療所における医事会計，請求，受付業務 ・医療経営コンサルタント業務 ・医療情報管理，運営業務 ・地域医療支援業務 ・救急外来診療支援業務　ほか アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 診療報酬請求事務Ⅳ-②　　授業コード： J718

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年次	1単位(30)	医療事務・秘書コース・選択
担当教員			
淡島　正浩			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 １年次に学習した診療報酬事務に関する知識に基づき，正しい診療報酬の知識を身に付けると共に，他の医療職や患者・家族に対して、診療報酬制度について分かりやすく説明できるようになることを目的とする。 【到達目標】 診療報酬請求事務能力認定試験に合格可能なレベルの診療報酬請求事務能力の修得を目標とする。
授業の概要	本講義は，医療事務とは、医療、情報、経営が交わる領域であり、そのプロフェッショナルには、すべての領域に対する知識とスキルが必要となります。診療報酬請求に関して、単に医療事務の資格取得に必要とされる「浅い」知識ではなく、「医療」、「経営」、「情報」を横断するプロフェッショナルに求められる「深い」知識とスキルを身につけていきます。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	◎
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	○

授業計画	第１回　医療保険請求事務実技検定試験　対策 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】 第２回　医療保険請求事務実技検定試験　対策 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】 第３回　医療保険請求事務実技検定試験　対策 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】 第４回　医療保険請求事務実技検定試験　対策 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み

	（学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】
第５回	医療保険請求事務実技検定試験　対策 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】
第６回	医療保険請求事務実技検定試験　対策 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】
第７回	医療保険請求事務実技検定試験　対策 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】
第８回	日本医師会医療秘書認定試験　対策 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】
第９回	日本医師会医療秘書認定試験　対策 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】
第１０回	日本医師会医療秘書認定試験　対策 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】
第１１回	日本医師会医療秘書認定試験　対策 【key words】 【授業概要】

	（学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】 第１２回　日本医師会医療秘書認定試験　対策 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】 第１３回　日本医師会医療秘書認定試験　対策 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】 第１４回　日本医師会医療秘書認定試験　対策 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】 第１５回　日本医師会医療秘書認定試験　対策 【key words】 【授業概要】 （学習方法）講義・演習 （準備学習）教科書の通し読み （学習課題）学科演習問題プリント 【教科書ページ・参考文献】 本講義で使用するすべての教科書を準備すること 【課題・予習・復習・授業準備指示】 適宜説明・指示 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	受講時に他の学生の学習の妨げとなる態度を取る者については，退室を命じることがある
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	本科目では，知識を正確に用いることが求められる。そのために，毎日における学習の積み重ねが必要となることを，よく理解した上で受講すること
オフィスアワー	水曜日：14：30～15：30　（他応相談・要予約）
評価方法	授業時に提出を求めるレポート課題と学期末試験により評価する
教科書	(1) 医療事務講座（医科）テキスト１　医療保障制度 (2) 医療事務講座（医科）テキスト２　算定とレセプト（上） (3) 医療事務講座（医科）テキスト３　算定とレセプト（下） (4) 医療事務講座（医科）テキスト５　サポートブック (5) 診療報酬請求ハンドブック (6) 医科診療報酬点数表 (7) 診療報酬請求事務能力認定試験　受験対策と予想問題集 (8) 診療情報管理士テキストⅢ　日本病院会
参考書	教科書以外にスライドやハンドアウトなどを適宜用いる
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容

	・病院，診療所における医事会計，請求，受付業務 ・医療経営コンサルタント業務 ・医療情報管理，運営業務 ・地域医療支援業務 ・救急外来診療支援業務　ほか アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 調剤事務Ⅰ-①　　授業コード： J712

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年次	1単位(30)	医療事務・秘書コース・選択
担当教員			
清水　春代			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 医療従事者としての心構えと幅広い知識の習得を目指す。 医療保険制度及び調剤報酬の基礎知識を習得する。 保険薬局の業務の流れを理解し、実践力を習得する。 【到達目標】 1）保険薬局の役割、保険調剤を理解し、医療従事者として相応しい立ち振る舞いを身に付ける。 2）医療保険制度、医薬品関連法規及び薬剤の基礎知識を習得し、定められた事項を遵守できる。 3）処方箋を理解し、調剤レセプトの作成ができる。
授業の概要	保険薬局・保険調剤・医療保険制度・医薬品関連法規・薬剤等の基礎知識を習得し、調剤報酬の点数算定を習得する。 調剤事務管理士の資格取得を目指す。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	◎
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	○

授業計画	第１回	オリエンテーション　講義の進め方，評価法，レポート課題など、医療現場と保険薬局、調剤事務とは 【key words】 オリエンテーション、医療保障制度 【授業概要】 授業の目標、評価方法、受講上の注意点、医療保障制度、保険給付 【教科書ページ・参考文献】 1年次の医療事務テキスト1 【課題・予習・復習・授業準備指示】 1年次の医療保障制度の復習 【予習復習に必要な想定時間】 1時間～1時間30分
	第２回	医療機関と薬局、調剤薬局での事務の仕事 【key words】 保険薬局、院外処方、日常業務、請求事務 【授業概要】 医療機関と薬局の関係 調剤薬局の事務の仕事について学ぶ 【教科書ページ・参考文献】 テキスト１　1部 【課題・予習・復習・授業準備指示】 本日の復習 【予習復習に必要な想定時間】 1時間～1時間30分
	第３回	その他の関連制度 【key words】 公費負担医療、労災保険、介護保険、守秘義務 【授業概要】 公費負担医療制度、労災保険、介護保険の基本的知識を学ぶ。 算定・請求の電子化、医療事務スタッフの心構えについて学ぶ 【教科書ページ・参考文献】 テキスト1 ２部 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキストの練習問題で本日の復習 【予習復習に必要な想定時間】 1時間～1時間30分
	第４回	保険薬局及び保険薬剤師療養担当規則 【key words】 療養担当規則

【授業概要】
保険薬局で働く人全てが守らなければならない規則である療養担当規則について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
テキスト１　ｐ123～
【課題・予習・復習・授業準備指示】
療養担当規則の熟読と理解
【予習復習に必要な想定時間】
1時間～1時間30分

第５回　薬局の基礎知識
【key words】
薬局、店舗販売業、配置販売業、薬剤師、登録販売者、調剤業務
【授業概要】
薬局と医薬品販売業の違いについて学ぶ。調剤業務の流れを学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
テキスト2 第4部
【課題・予習・復習・授業準備指示】
レポート第1回問1～4
【予習復習に必要な想定時間】
1時間～1時間30分

第６回　調剤報酬算定にあたって
【key words】
処方箋、薬価基準表

【授業概要】
処方箋の基礎知識について学ぶ。薬価基準表の記載内容と薬剤の基礎知識について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
テキスト2 4部1章2章
【課題・予習・復習・授業準備指示】
レポート第1回問1～4
【予習復習に必要な想定時間】
1時間～1時間30分

第７回　算定の基礎知識
【key words】
処方箋、処方箋受付1回につき、1剤、1調剤

【授業概要】
処方欄の記載内容を理解する。
調剤報酬算定の為に、算定に必要な用語を学習する。
【教科書ページ・参考文献】
テキスト2 4部3章～4章、テキスト3

【課題・予習・復習・授業準備指示】
トレーニングブックで処方箋を読む練習、第1回学科レポート問5～6
【予習復習に必要な想定時間】
1時間～1時間30分

第８回　調剤報酬の算定、調剤報酬のしくみ
【key words】
調剤基本料
【授業概要】
調剤報酬の基本的算定項目を学び、算定の基本項目の1つである調剤基本料の理解と算定方法を学ぶ。調剤基本料は処方箋を受け付けたことに対する費用であることを理解する。

【教科書ページ・参考文献】
テキスト2 5部1章,テキスト3
【課題・予習・復習・授業準備指示】
トレーニングブックで調剤基本料算定練習、第1回学科レポート問7（次回提出）
【予習復習に必要な想定時間】
1時間～1時間30分

第９回　調剤報酬の算定、調剤報酬のしくみ
【key words】
薬剤料、内服薬、内服用滴剤、頓服薬、外用薬、注射薬

【授業概要】
薬価を点数換算したものを薬剤料という。
点数への換算、算定の単位、内服薬の算定、内服用滴剤・頓服薬・外用薬・注射薬の算定について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
テキスト2 5部2章,テキスト3
【課題・予習・復習・授業準備指示】
テキストとトレーニングブックで薬剤料算定の練習、第2回学科レポート問1
【予習復習に必要な想定時間】
1時間～1時間30分

第１０回　調剤報酬の算定
【key words】
特定保険医療材料料

【授業概要】
保険調剤では、注射用の注射針などは特定保険医療材料料として算定する。
特定保険医療材料の種類との点数への換算を学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
テキスト2 5部3章,テキスト3

【課題・予習・復習・授業準備指示】
テキストとトレーニングブックで特定保険医療材料料算定の練習
【予習復習に必要な想定時間】
1時間～1時間30分

第１１回　調剤報酬の算定
【key words】
調剤料

【授業概要】
調剤料は薬剤師の調剤行為に対する技術料である。薬剤の区分ごとの算定方法を学ぶ。調剤料は調剤報酬の核であり、「調剤料を征すれば調剤報酬を征する」といわれている。しっかりと理解することが必要である。
内服薬の算定、内服用滴剤の算定、頓服薬の算定、外用薬の算定、注射薬の算定
【教科書ページ・参考文献】
テキスト2 5部4章,テキスト3
【課題・予習・復習・授業準備指示】

テキストとトレーニングブックで調剤料算定の練習
【予習復習に必要な想定時間】
1時間～1時間30分

第１２回　調剤報酬の算定
【key words】
調剤料

【授業概要】
調剤料は薬剤師の調剤行為に対する技術料である。薬剤の区分ごとの算定方法を学ぶ。調剤料は調剤報酬の核であり、「調剤料を征すれば調剤報酬を征する」といわれている。しっかりと理解することが必要である。
内服薬の算定、内服用滴剤の算定、頓服薬の算定、外用薬の算定、注射薬の算定
【教科書ページ・参考文献】
テキスト2 5部4章,テキスト3
【課題・予習・復習・授業準備指示】
テキストとトレーニングブックで調剤料算定の練習
【予習復習に必要な想定時間】
1時間～1時間30分

第１３回　調剤報酬の算定
【key words】
調剤料の加算

【授業概要】
調剤料には、薬剤の特性による加算、調剤方法による加算、受付日時による加算などがある。加算の種類と算定方法を理解し、調剤料と併せて正しい算定を学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
テキスト2 5部5章,テキスト3
【課題・予習・復習・授業準備指示】
テキストとトレーニングブックで調剤料算定の練習
【予習復習に必要な想定時間】
1時間～1時間30分

第１４回　調剤報酬の算定
【key words】
調剤料の加算

【授業概要】
調剤料には、薬剤の特性による加算、調剤方法による加算、受付日時による加算などがある。加算の種類と算定方法を理解し、調剤料と併せて正しい算定を学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
テキスト2 5部5章,テキスト3、
【課題・予習・復習・授業準備指示】
テキストとトレーニングブックで調剤料算定の練習、第2回学科レポート問2～問4
【予習復習に必要な想定時間】
1時間～1時間30分

第１５回　調調剤報酬の算定ーまとめ①
【key words】
調剤基本料、調剤料、薬剤料、特定保険医療材料料、復習テスト

【授業概要】
復習テストを通して、調剤報酬算定の基本項目（調剤基本料、調剤料、薬剤料）についての総まとめ
【教科書ページ・参考文献】
テキスト2 3部～5部5章,テキスト3
【課題・予習・復習・授業準備指示】
復習テストの復習
【予習復習に必要な想定時間】
1時間～1時間30分

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

	【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】

	【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	「調剤事務管理士」資格取得を目指す。授業には積極的に参加すること。課題について提出期限を守ること。期限後の提出は無効とする。テキスト一式、電卓は毎回必ず持参すること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	検定試験前に、試験対策としてeラーニングを用いた復習を行う。 授業後の復習は必ず行うこと。医療事務で学習した医療保障制度を復習しておくこと。
オフィスアワー	水木曜日2限、 希望により随時
評価方法	定期試験50%、課題30%、小テスト等20%
教科書	ソラスト「医療保障制度」「調剤薬局事務講座　テキスト2 算定とレセプト」「調剤薬局事務講座　テキスト3 トレーニングブック」「調剤薬局事務講座　テキスト4 サポートブック」「調剤試験問題集〔学科・実技〕」 〃　「処方箋問題集」第15版
参考書	-配布資料
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 ・病院・診療所、調剤薬局における受付業務，請求業務、精度調査、保険者対象報酬講習、人材教育等 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート

	■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） ■情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 調剤事務Ⅰ-②　　授業コード：J722

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年次	1単位(30)	医療事務・秘書コース・選択
担当教員			
清水　春代			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 医療従事者としての心構えと幅広い知識の習得を目指す。 医療保険制度及び調剤報酬の基礎知識を習得する。 保険薬局の業務の流れを理解し、実践力を習得する。 【到達目標】 1）保険薬局の役割、保険調剤を理解し、医療従事者として相応しい立ち振る舞いを身に付ける。 2）医療保険制度、医薬品関連法規及び薬剤の基礎知識を習得し、定められた事項を遵守できる。 3）処方箋を理解し、調剤レセプトの作成ができる。
授業の概要	保険薬局・保険調剤・医療保険制度・医薬品関連法規・薬剤等の基礎知識を習得し、調剤報酬の点数算定を習得する。 「医療事務管理士」資格取得を目指す。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	◎
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	○

授業計画	第１回	オリエンテーション　講義の進め方，評価法，レポート課題など、調剤報酬の算定ー薬学管理料 【key words】 オリエンテーション、薬剤服用歴管理指導料 【授業概要】 授業の目標、評価方法、受講上の注意点。患者さんが安心して薬剤を用いることができるように、患者さんやその家族などに対して薬剤師が管理や服薬指導、情報提供などをプライバシーに十分配慮した上で行った場合に薬学管理料を算定する。薬剤服用暦管理指導は保険薬局においては最も算定しやすい管理料であり、頻出項目である。度 【教科書ページ・参考文献】 テキスト2 第5部　6章1、テキスト3 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキストの練習問題とトレーニングブックを使用して薬剤服用暦管理指導料の算定練習 【予習復習に必要な想定時間】 1時間～1時間30分
	第２回	調剤報酬の算定ー薬学管理料 【key words】 外来服薬支援料、在宅患者訪問薬剤管理指導料、在宅患者緊急訪問薬剤管理指導料、その他の薬学管理料 【授業概要】 外来服薬支援料、在宅患者訪問薬剤管理指導料、在宅患者緊急訪問薬剤管理指導料、その他の薬学管理料の定義、算定上のキーワードと算定方法を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 テキスト2 第5部　6章、テキスト3 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキストとトレーニングブックで算定練習、第2回学科レポート　問5(次回提出) 【予習復習に必要な想定時間】 1時間～1時間30分
	第３回	調剤報酬算定のまとめ 【key words】 会計表 【授業概要】 会計表とは 調剤報酬の算定と会計表の記入 【教科書ページ・参考文献】 テキスト2 第5部　7章、テキスト3 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキストとトレーニングブックで会計表作成練習、第3回学科レポート 問1 【予習復習に必要な想定時間】 1時間～1時間30分

	第４回	レセプトの作成 【key words】 レセプト（調剤報酬明細書）、保険給付、保険者 【授業概要】 レセプトの基礎知識 　レセプトはルールに従って作成し、期限内に保険者に提出する必要があることを知り、作成上の基本的な規則について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 テキスト2 第6部　1章、テキスト3 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキスト熟読、医療保障制度の復習 【予習復習に必要な想定時間】 1時間～1時間30分
	第５回	レセプトの作成ーレセプトの記入方法 【key words】 上書き 【授業概要】 レセプトの上部、「調剤年月」から「受付回数」までの部分を「上書き」という。処方箋から上書き部分の転記方法を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 テキスト2 第6部　2章1、テキスト3 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキストとトレーニングブックで上書き練習 【予習復習に必要な想定時間】 1時間～1時間30分
	第６回	レセプトの作成ーレセプトの記入方法 【key words】 処方・点数欄 【授業概要】 レセプトの中央部分、「医師番号」から「加算料」までの部分を「処方・点数欄」と呼ぶ。レセプトの中心といえる部分で薬剤料、調剤料、調剤料の加算などを記入する部分である。会計表からの記入の仕方を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 テキスト2 第6部　2章2、テキスト3 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキストとトレーニングブックで処方・点数欄までのレセプト作成練習 【予習復習に必要な想定時間】 1時間～1時間30分
	第７回	レセプトの作成ーレセプトの記入方法 【key words】 摘要・その他の欄 【授業概要】 レセプトの下部、薬学管理料、調剤基本料や請求の合計点数などを記入する欄を「摘要・その他欄」という。会計表からの記入の仕方を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 テキスト2 第6部　2章3、テキスト3 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキストとトレーニングブックで摘要・その他欄までのレセプト作成練習。第3回実技レポート1号（次回提出） 【予習復習に必要な想定時間】 1時間～1時間30分
	第８回	レセプトの作成 【key words】 処方箋、会計表、レセプト作成 【授業概要】 処方箋→会計表→レセプト作成に習熟する。 【教科書ページ・参考文献】 テキスト2 4部、5部、6部、テキスト3 【課題・予習・復習・授業準備指示】 トレーニングブックでレセプト作成練習、第3回実技レポート2号（次回提出） 【予習復習に必要な想定時間】 1時間～1時間30分
	第９回	レセプトの作成 【key words】 処方箋、会計表、レセプト作成 【授業概要】 処方箋→会計表→レセプト作成に習熟する。 【教科書ページ・参考文献】 テキスト2 4部、5部、6部、テキスト3 【課題・予習・復習・授業準備指示】 トレーニングブックでレセプト作成練習、第3回実技レポート3号（次回提出） 【予習復習に必要な想定時間】 1時間～1時間30分
	第１０回	レセプトの点検 【key words】 上書きの点検

【授業概要】
作成したレセプトを提出する前のチェックを「点検」といい、保険請求業務の重要な仕事である。
上書きの点検は患者情報部分の点検であるが、返戻理由のかなりの部分を占めている。処方箋と照合し正確な点検の仕方を学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
テキスト2 第6部　3章1、テキスト3
【課題・予習・復習・授業準備指示】
テキストとトレーニングブックで上書きの点検練習
【予習復習に必要な想定時間】
1時間～1時間30分

第１１回　レセプトの点検

【key words】
内容の点検

【授業概要】
内容点検にはレセプトだけを見て行う方法と、レセプトと処方箋を照合する方法がある。本授業においては、調剤事務管理士認定試験対策を兼ねて、レセプトと処方箋を照合する方法を学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
テテキスト2 第6部　3章1、テキスト3
【課題・予習・復習・授業準備指示】
テキストとトレーニングブックで点検練習

【予習復習に必要な想定時間】
1時間～1時間30分

第１２回　薬の基礎知識

【key words】
医薬品、医療用医薬品、一般用医薬品、薬物治療

【授業概要】
医薬品の基礎知識、薬物治療（医薬品を用いて病気を治療すること）の概要を学び、薬剤師の話しを理解できるようにする。
【教科書ページ・参考文献】
テテキスト2 第7部
【課題・予習・復習・授業準備指示】
テキスト熟読、第3回学科レポート
【予習復習に必要な想定時間】
1時間～1時間30分

第１３回　薬の基礎知識

【key words】
薬理作用、薬効、体内動態、薬の適用、血中濃度

【授業概要】
薬が体に影響を与えることにより起こる変化を薬理作用という。薬理作用のしくみ、薬の作用、薬効に影響を及ぼす要因、薬の体内動態について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
テテキスト2 第7部
【課題・予習・復習・授業準備指示】
テキスト熟読、第3回学科レポート（次回提出）
【予習復習に必要な想定時間】
1時間～1時間30分

第１４回　接遇マナー

【key words】
PS(患者満足度）、選ばれる薬局

【授業概要】
PSをあげ、患者様に選ばれる薬局になる為には、職員の接遇マナーは重要である。第一印象のサービスマナー、ことばのサービスマナー、プラスαのサービスマナーについて座学とロールプレイングで学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
テテキスト2 第8部
【課題・予習・復習・授業準備指示】
テキスト熟読
【予習復習に必要な想定時間】
1時間～1時間30分

第１５回　総まとめ、資格試験概要

【key words】
総まとめ、復習テスト

【授業概要】
復習テストを通して総まとめ
【教科書ページ・参考文献】
配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
復習テストの復習
【予習復習に必要な想定時間】
1時間～1時間30分

【key words】

	【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】

	【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	「調剤事務管理士」資格取得を目指す。 授業には積極的に参加すること。課題については提出期限を守る。期限後の提出は無効とする。テキスト一式、電卓は毎回必ず持参すること。

毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	検定試験前に、試験対策としてeラーニングを用いた復習を行う。 授業後の復習は必ず行うこと。医療事務で学習した医療保障制度を復習しておくこと。
オフィスアワー	水木曜日2限、 他申出により随時
評価方法	定期試験50%　課題30%　小テスト等20%
教科書	ソラスト「医療保障制度」、「調剤薬局事務講座　テキスト2 算定とレセプト」、「調剤薬局事務講座　テキスト3 トレーニングブック」、「調剤薬局事務講座　テキスト4 サポートブック」、「調剤試験問題集〔学科・実技〕」
参考書	配布資料
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 ・病院、診療所、調剤薬局における受付業務、請求業務、・精度調査、保険者対象報酬算定講習、人材教育業務等 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） ■情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 介護総合演習Ⅱ-①　　授業コード： J821

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年次	1単位(30)	介護福祉コース・福祉総合コース・介護福祉士実践コース・選択
担当教員			
矢嶋　栄司・土屋　昭雄			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕 生活支援実習の意義と目的を理解し、期待される学習効果や介護福祉士の活動の場である介護施設を理解する。また、その介護施設を利用する利用者や介護過程の展開を実践することで総合的な学習の理解を目指す。 〔到達目標〕 ①多職種協同の実践を踏まえ、介護技術の確認等を行うことで理解を深めることができる。 ②一連の介護過程の展開すべてを継続的に実施することが、どのようなものかを理解できる。
授業の概要	介護総合演習では、学生が介護実習等に望むための環境を調整することで、必要な知識等を習得することを目的とする科目である。開講される1コマ1コマが重要な意味を持っている。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	◎
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	△
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	○

授業計画		
	第1回	ガイダンス　実習生紹介票の作成（書き方・内容説明・下書き） 【key words】 介護実習・実習生紹介票 【授業概要】 ・授業の進め方、評価等について ・実習生紹介票作成に伴う記載方法説明 ・下書き作成：指導、確認 【教科書ページ・参考文献】 実習生紹介票配布 【課題・予習・復習・授業準備指示】 誤字・脱字、内容の再確認 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第2回	実習目標作成（書き方・内容説明・下書き） 【key words】 実習目標・施設種別 【授業概要】 ・実習目標設定についての概説 ・下書き作成：指導、確認 【教科書ページ・参考文献】 実習目標記入用紙配布 【課題・予習・復習・授業準備指示】 誤字・脱字、内容の再確認 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第3回	実習目標作成（清書・仕上げ） 【key words】 実習目標・施設種別・事前学習 【授業概要】 ・実習目標の確認 ・実習目標清書(個別対応) 【教科書ページ・参考文献】 配布用紙使用 【課題・予習・復習・授業準備指示】 巡回担当教員への挨拶・実習目標(写し)の提出・事前学習の励行 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第4回	生活支援実習Ⅱ課題テスト 【key words】 介護福祉士・介護実習・専門知識・専門技術 【授業概要】 ・課題テスト実施

【教科書ページ・参考文献】
プリント配布
【課題・予習・復習・授業準備指示】
実習・国家試験に向けた自主学習の励行
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第5回　生活支援実習記録物の配布・確認
【key words】
介護実習・実習記録・モチベーション・介護過程
【授業概要】
・実習関係書類の配布、確認
・各書類の記載方法説明
・記録を書くうえでの留意点
【教科書ページ・参考文献】
実習関係書類配布
【課題・予習・復習・授業準備指示】
記録用紙の内容の確認および関連項目箇所の教科書の再確認
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第6回　実習準備　実習へ望む姿勢、実習への不安と対策、電話のかけ方、身だしなみ
【key words】
実習態度・事前準備・マナー
【授業概要】
・実習を行うに当たっての留意点および諸伝達
【教科書ページ・参考文献】
p2～p3 , p16～p19 , p26～p29 , p30～p33ほか
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業該当ページの再確認
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第7回　生活支援実習Ⅱ事前指導
【key words】
事前指導・実習態度・取り組み姿勢・モチベーション・健康管理
【授業概要】
・生活支援実習事前指導
（学長訓話・各教員からの諸注意・代表学生挨拶・諸連絡ほか）
【教科書ページ・参考文献】
各教員からの諸連絡(留意点等)
【課題・予習・復習・授業準備指示】
メモを取ることの励行
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第8回　生活支援実習Ⅱ帰学日指導（情報共有や課題、問題点等の確認）全体
【key words】
実習態度・実習状況・進捗状況・課題・介護過程
【授業概要】
・帰学日指導の実施
（各教員からの全体に向けた連絡・チェックシート作成　ほか）
【教科書ページ・参考文献】
実習記録
【課題・予習・復習・授業準備指示】
指導内容の理解
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第9回　生活支援実習Ⅱ帰学日指導（中間反省会の実施および記録物等の確認）個別
【key words】
実習態度・実習状況・進捗状況・課題・介護過程
【授業概要】
・帰学日指導の実施
（巡回担当教員による個別指導・中間反省会についての助言、指導）
【教科書ページ・参考文献】
実習記録
【課題・予習・復習・授業準備指示】
指導内容の理解
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第10回　生活支援実習Ⅱ帰学日指導（情報共有や課題、問題点等の確認）全体
【key words】
実習態度・実習状況・進捗状況・課題・介護過程・積極性
【授業概要】
・帰学日指導の実施
（各教員からの全体に向けた連絡・チェックシート作成　ほか）

【教科書ページ・参考文献】
実習記録
【課題・予習・復習・授業準備指示】
指導内容の理解、指摘・伝達事項の把握および励行
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第11回　生活支援実習Ⅱ帰学日指導（最終反省会の実施および記録等の確認）個別
【key words】
実習態度・実習状況・進捗状況・課題・介護過程・積極性

	【授業概要】 ・帰学日指導の実施 （巡回担当教員による個別指導・最終反省会についての助言、指導） 【教科書ページ・参考文献】 実習記録 【課題・予習・復習・授業準備指示】 指導内容の理解、指摘・伝達事項の把握および励行 【予習復習に必要な想定時間】 30分 第12回　生活支援実習Ⅱの振り返り（個別作業） 【key words】 介護実習・介護過程・実習態度・取り組み姿勢・振り返り・考察/省察・事例報告書 【授業概要】 ・実習の振り返り ・事例報告書作成準備に向けた諸連絡 【教科書ページ・参考文献】 ・実習記録 ・用紙配布 【課題・予習・復習・授業準備指示】 実習記録の見直し 【予習復習に必要な想定時間】 1時間 第13回　生活支援実習Ⅱの振り返り（グループ作業） 【key words】 介護実習・介護過程・振り返り・考察/省察 【授業概要】 ・実習の振り返り （巡回担当教員ごとに集まっての情報共有・考察、省察） 【教科書ページ・参考文献】 実習記録 【課題・予習・復習・授業準備指示】 他者からの意見を聞いての再考 【予習復習に必要な想定時間】 30分 第14回　生活支援実習Ⅱの振り返り（グループ発表、質疑応答） 【key words】 介護実習・介護過程・振り返り・考察/省察 【授業概要】 ・実習の振り返り （巡回担当教員ごとのグループ発表） 【教科書ページ・参考文献】 実習記録 【課題・予習・復習・授業準備指示】 他者からの意見を聞いての再考察 【予習復習に必要な想定時間】 30分 第15回　まとめ 【key words】 介護実習・介護過程・専門職/専門性・振り返り・PDCA 【授業概要】 ・授業総括 （介護実習・専門職/専門性　ほか） 【教科書ページ・参考文献】 ・適宜、テキスト該当ページを示し説明 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・テキストの熟読 ・ボランティア活動の励行 【予習復習に必要な想定時間】 30分
受講生に関わる情報および受講のルール	介護総合演習は生活支援実習と対となる科目である。よって、科目に対する姿勢・態度や提出物等が重要な意味があることを理解しておくこと。 生活支援実習期間中の帰学日指導は、介護総合演習の出席となる。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	生活支援実習に係る事前学習をすすめておくこと。
オフィスアワー	授業時に指示する。
評価方法	授業に臨む参加態度20％、提出物　40％、課題テスト40％
教科書	『介護実習サポートブック　－実習を乗り切るための40講－』　看護の科学社
参考書	適宜、紹介・指示する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 高齢者施設にて介護職員として実務の経験あり。

	アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等) □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等) □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等) ■情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 介護総合演習Ⅱ-②　　授業コード： J822

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年次	1単位(30)	介護福祉コース・福祉総合コース・介護福祉士実践コース・選択
担当教員			
矢嶋　栄司・土屋　昭雄			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕 生活支援実習の意義と目的を理解し、期待される学習効果や介護福祉士の活動の場である介護施設を理解する。また、その介護施設を利用する利用者や介護過程の展開を実践することで総合的な学習の理解を目指す。 〔到達目標〕 ①多職種協同の実践を踏まえ、介護技術の確認等を行うことで理解を深めることができる。 ②一連の介護過程の展開すべてを継続的に実施することが、どのようなものかを理解できる。
授業の概要	介護総合演習では、学生が介護実習等に望むための環境を調整することで、必要な知識等を習得することを目的とする科目である。開講される1コマ1コマが重要な意味を持っている。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	◎
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	△
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	○

授業計画	第1回	ガイダンス　生活支援実習Ⅰ課題テスト 【key words】 介護福祉士・介護実習・専門知識・専門技術 【授業概要】 ・課題テスト実施 【教科書ページ・参考文献】 プリント配布 【課題・予習・復習・授業準備指示】 実習・国家試験に向けた自主学習の励行 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第2回	事例報告書の作成（説明） 【key words】 介護過程・事例報告書・実習記録・考察 【授業概要】 ・実習報告書作成について （記載方法・書式・留意点・提出期限・進め方等） 【教科書ページ・参考文献】 ・プリント配布 ・実習記録(介護過程) 【課題・予習・復習・授業準備指示】 巡回担当教員と連絡を取り合い計画的に進めていくことを伝達 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第3回	事例報告書の作成（説明、個別作業） 【key words】 介護過程・事例報告書・実習記録・考察 【授業概要】 ・実習報告書作成 ・個別対応(助言指導) 【教科書ページ・参考文献】 実習記録(介護過程) 【課題・予習・復習・授業準備指示】 巡回担当教員と連絡を取り合い計画的に進めていくことを伝達 【予習復習に必要な想定時間】 1時間
	第4回	事例報告書の作成（確認、個別作業） 【key words】 介護過程・事例報告書・実習記録・考察 【授業概要】 ・実習報告書作成 ・個別対応(助言指導)

【教科書ページ・参考文献】
実習記録(介護過程)
【課題・予習・復習・授業準備指示】
巡回担当教員と連絡を取り合い計画的に進めていくことを伝達
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第5回　事例報告書の作成（確認、個別作業）
【key words】
介護過程・事例報告書・実習記録・考察

【授業概要】
・実習報告書作成
・個別対応(助言指導)
【教科書ページ・参考文献】
実習記録(介護過程)
【課題・予習・復習・授業準備指示】
巡回担当教員と連絡を取り合い計画的に進めていくことを伝達
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第6回　事例報告書提出・事例報告会の運営について（説明）
【key words】
介護過程・事例報告書・事例報告会・学生主体
【授業概要】
・事例報告書の提出について
・事例報告会の開催、形式等について
【教科書ページ・参考文献】
プリント配布
【課題・予習・復習・授業準備指示】
事例報告書の見直し・引用参考文献の確認
【予習復習に必要な想定時間】
1時間

第7回　事例報告会運営について（実行委員選抜）
【key words】
事例報告会・学生主体・委員
【授業概要】
・事例報告会についての概説
（意義、目的・進行ほか）
・実行委員選出
【教科書ページ・参考文献】
口頭説明による
【課題・予習・復習・授業準備指示】
主体的な取り組み・参加の励行
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第8回　事例報告会運営について（運営のあり方）
【key words】
事例報告会・学生主体・委員
【授業概要】
・事例報告会についての概説
（運営・準備ほか）
【教科書ページ・参考文献】
板書にて説明
【課題・予習・復習・授業準備指示】
主体的な取り組み・参加の励行
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第9回　事例報告会運営につい（運営のあり方、グループ作業）
【key words】
事例報告会・学生主体・委員
【授業概要】
・事例報告会についての概説
（グループ作業）
【教科書ページ・参考文献】
適宜、助言・指導
【課題・予習・復習・授業準備指示】
主体的な取り組み・参加の励行
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第10回　要旨作成について（説明）
【key words】
介護過程・事例報告書・要旨・実習記録・考察
【授業概要】
・要旨作成についての概説
（記載方法・書式・提出期限等）
【教科書ページ・参考文献】
プリント配布
【課題・予習・復習・授業準備指示】
事例報告書の再確認(熟読)
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第11回　要旨作成について（確認、個別作業）
【key words】

	介護過程・事例報告書・要旨・実習記録・考察 【授業概要】 ・要旨作成 ・個別対応(助言指導) 【教科書ページ・参考文献】 事例報告書・実習記録 【課題・予習・復習・授業準備指示】 事例報告書の再確認 【予習復習に必要な想定時間】 1時間 第12回　要旨提出 【key words】 介護過程・事例報告書・要旨・実習記録・考察 【授業概要】 ・授業担当者による内容確認 【教科書ページ・参考文献】 要旨・事例報告書 【課題・予習・復習・授業準備指示】 巡回担当教員による最終確認依頼 【予習復習に必要な想定時間】 30分 第13回　実習のまとめ（個別作業） 【key words】 介護実習・実習態度・介護過程・専門職・振り返り 【授業概要】 ・施設実習・居宅実習の総括 【教科書ページ・参考文献】 用紙配布 【課題・予習・復習・授業準備指示】 実習に対する考察・省察の励行 【予習復習に必要な想定時間】 1時間 第14回　実習のまとめ（グループ作業） 【key words】 介護実習・実習態度・介護過程・専門職・振り返り 【授業概要】 ・施設実習・居宅実習の総括 ・新たな課題の明確化 【教科書ページ・参考文献】 用紙配布 【課題・予習・復習・授業準備指示】 実習に対する考察・省察の励行 【予習復習に必要な想定時間】 1時間 第15回　実習のまとめ（グループ発表、質疑応答） 【key words】 介護実習・実習態度・介護過程・専門職・振り返り・情報共有 【授業概要】 ・施設実習・居宅実習の総括 ・今後の取り組みにつて （ボランティア活動等） ・授業総括 （介護実習・専門職/専門性　ほか） 【教科書ページ・参考文献】 用紙配布 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ・テキストの熟読 ・ボランティア活動の励行 【予習復習に必要な想定時間】 30分
受講生に関わる情報および受講のルール	介護総合演習は生活支援実習と対となる科目である。よって、科目に対する姿勢・態度や提出物等が重要な意味があることを理解しておくこと。 生活支援実習期間中の帰学日指導は、介護総合演習の出席となる。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	生活支援実習に係る事前学習をすすめておくこと。
オフィスアワー	授業時に指示する。
評価方法	授業に臨む参加態度20%、提出物　40%、課題テスト40%
教科書	『介護実習サポートブック　－実習を乗り切るための40講－』　看護の科学社
参考書	適宜、紹介・指示する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 高齢者施設にて介護職員として実務の経験あり。 アクティブラーニング要素

	□PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） ■情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 生活支援技術Ⅳ-①（被服・住居）　　授業コード： J828

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年次	1単位(30	介護福祉コース・福祉総合コース・介護福祉士実践コース・必修
担当教員			
辻　志帆・山岸　裕美子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 利用者に対する日常生活の支援を行うために、家庭生活や日常生活そのものの本質を理解するとともに、生活事象の原理原則を知る。さらに、日本の自然を背景と緒する生活文化についての知識も身につけ、支援に活かせるようになる。 【到達目標】 ①日常生活の事象についての原理原則を理解する。 ②生活用品・用具・成分などについて正しく理解し、介護の現場で適切に活用できる。 ③生活文化に関する知識を持ち、利用者の支援に反映させることができる。
授業の概要	衣・食・住・家庭経済・家庭管理について、「生活を科学する」ことをモットーとし、学際的に学習する。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	○
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	◎
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	△
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	

授業計画	第１回	ガイダンス：「生活を科学する」とは？（「生活科学チェックテスト」） 【key words】 日常生活の支援　衣・食・住・家庭経済　生活経営　生活文化　基礎教養 【授業概要】 「生活科学チェックテスト」を行い、正解を解説しながら生活を科学的にとらえる姿勢について説明する。 【教科書ページ・参考文献】 目次 配布資料：「生活科学チェックテスト」 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：「生活科学チェックテスト」で解説された事項の確認をしておくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第２回	「生活を支援する」とは？ 【key words】 日常生活　福祉施設利用者　衣・食・住・経済（金銭）　家庭 【授業概要】 第１回に引きつづき、「生活科学チェックテスト」の解説を行うが、福祉施設利用者の生活支援のための方途を科学的な根拠をあげながら詳説する。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料：「生活科学チェックテスト」 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：「生活科学チェックテスト」で解説された事項を自分の目で見て確かめておくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第３回	生活経営：家族・家庭生活の現状 【key words】 家族　家庭　世帯　家族の現状　世帯の変化　家族の意義と機能　家族の変容　家族と法律 【授業概要】 家族に関する基礎用語を解説し、現代家族が抱える問題や家族の法律に言及する。 【教科書ページ・参考文献】 18～31ページ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書を読んでおくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第４回	生活経営：家庭管理　家庭経済（家計）　消費者問題　生活時間と家事労働　社会的ネットワーク　生活福祉情報 【key words】 家族の生活　家庭経済・消費生活　家事労働　生活設計 【授業概要】

より良く賢い家庭生活を営むための方途について家族周期・生活時間・家庭経済等の視点から解説する。
【教科書ページ・参考文献】
36～49ページ
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書を読んでおくこと。
復習：教科書を読んで、基礎事項を覚え理解する。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第５回　家庭生活の経営：ライフコースの作成（人生前半）　人生設計
【key words】
ライフコース　生活設計　生活周期　家族周期
【授業概要】
第４回の講義の内容をふまえ、卒業してから死亡するまでの自分自身の「ライフコース」を書いてみる（90歳以上の生存を想定）。
介護労働（家勤あり）に従事しながらどのように家庭生活を行うかについても考える。
【教科書ページ・参考文献】
配布資料：ワークシート
32～35ページ
【課題・予習・復習・授業準備指示】
課題：人生の先輩（両親・祖父母）に、今までの生活における経験についてインタビューし、ライフコース作成の参考にする。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第６回　家庭生活の経営：ライフコースの作成（人生後半）
【key words】
ライフコース　家庭経済　高齢期の過ごし方　高齢者の人生
【授業概要】
第５回に引きつづき、ライフコースを作成する。その際、子どもの教育期～独立期・高齢期の状態について、家庭経済・時間・健康の観点を重視しながら考え、施設利用者の人生を考える。
【教科書ページ・参考文献】
配布資料：ワークシート
32～35ページ
【課題・予習・復習・授業準備指示】
課題：ライフコースを仕上げる。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第７回　被服生活：被服の役割と機能　「装うこと」をとおしての生活支援の方法
【key words】
被服の役割　物理的機能（保健衛生上の機能）　精神的機能（社会生活上の機能）　美的機能
装い　ファッション　ファッション・コーディネート　TPO
【授業概要】
衣服の役割・機能を概説するが、特に美的機能における服飾による自己表現を支援に活かす方途を実例をあげて説明する。
【教科書ページ・参考文献】
100～103ページ
【課題・予習・復習・授業準備指示】
復習：実習やボランティア先などで福祉施設利用者と衣服について会話を交わしてみる。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第８回　被服生活：縫製の基礎（実践）①　並縫い　まつり縫い
【key words】
縫製用具の知識科学
【授業概要】
福祉施設利用者の衣生活支援に必要な裁縫の基礎技能を修得する。グループに分かれ、アドバイスをし合いながら進める。
【教科書ページ・参考文献】
配布プリント：手縫いの基礎（縫い方）図示
124～125ページ
【課題・予習・復習・授業準備指示】
復習：進度が遅れている場合は、とりもどすべく製作する。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第９回　被服生活：縫製の基礎（実践）②　ボタンつけ　スナップつけ
【key words】
福祉施設利用者とともに作る手工芸品
【授業概要】
福祉施設利用者の衣生活支援に必要な裁縫の基礎技能を修得する。グループに分かれ、アドバイスをし合いながら進める。自己評価・相互評価表を添付して作品を提出すること。
【教科書ページ・参考文献】
配布プリント：手縫いの基礎（縫い方）図示
124～127ページ
【課題・予習・復習・授業準備指示】
復習：手縫いでできる簡単な作品を調べ、支援に活かす方法を考える。
復習：進度が遅れている場合は、とりもどすべく製作する。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第１０回　被服生活：被服の素材；繊維の観察　繊維の種類と特徴①　（天然繊維）
【key words】
布・糸・繊維　天然繊維（綿・麻・毛・絹）
【授業概要】
繊維を取り出し、観察する。各種繊維の性質によって作られる布の性能が異なることを解説す

	る。また、主要な天然繊維の特徴について説明する。 【教科書ページ・参考文献】 104ページ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書を読んでおくこと。 復習：綿・麻・絹・羊毛の製品に触れ、確認する。 【予習復習に必要な想定時間】 30分 第１１回　被服生活：被服の素材；繊維の種類と特徴②　（合成繊維） 【key words】 合成繊維（ポリエステル・ナイロン・アクリル・レーヨン・ポリウレタン） 【授業概要】 合成繊維はどのように作られるか及び各種繊維の性能について解説する。 【教科書ページ・参考文献】 104ページ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書を読んでおくこと。 復習：身のまわりの合成繊維でできている製品を確認する。 【予習復習に必要な想定時間】 30分 第１２回　被服生活：被服の素材；布の種類　布の加工と新素材 【key words】 織物　編物　不織布　タオル　特殊加工 【授業概要】 様々な布の製法や性質について説明する。介護の現場で用いられている布製品の特殊加工についても触れる。 【教科書ページ・参考文献】 105～107ページ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書を読んでおくこと。 復習：身近にある布製品を観察する。 【予習復習に必要な想定時間】 30分 第１３回　被服生活：紙オムツの観察（被服素材の知識をもとに） 【key words】 不織布　高分子吸水ポリマー　ポリウレタン　ギャザー 【授業概要】 紙おむつを分解し、素材及び構成について検討する。さらに高分子吸水ポリマーの性能に関する実験を行い、おむつ交換について考える。 【教科書ページ・参考文献】 配布プリント：ワークシート 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：紙おむつの性能と被服の素材の関係について科学的に理解すること。 【予習復習に必要な想定時間】 30分 第１４回　被服生活：被服の選択（サイズ等）　下着・寝具・靴 【key words】 体型　JIS規格とサイズ表示　ユニバーサルデザイン　グリーンファッション　下着・寝具・靴 【授業概要】 加齢・発達・老化による体型の変化とともに、各種衣料のサイズ表示の見方について説明する。 【教科書ページ・参考文献】 10～11ページ、108～115ページ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書を読んでおくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 30分 第１５回　被服生活：下着・寝具・靴 【key words】 品質表示　取扱絵表示　織成表示　等 【授業概要】 各種表示の見方について説明する。 【教科書ページ・参考文献】 109～122ページ、120～124ページ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書を読んでおくこと。 予習：身辺の表示に関心を持ち、調べる。 【予習復習に必要な想定時間】 30分
受講生に関わる情報および受講のルール	講義中の迷惑な行為は慎む（私語や携帯電話の使用等）。　グループ学習時は、協力して行う。　教材は大切に使用し、整理、整頓を心がける。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	日常生活に関する事象を取り扱うので、各自、買い物・洗濯・掃除等を行っていること。
オフィスアワー	授業時に提示する。
評価方法	チェックテスト：40%　　課題：40%　　授業態度：20%
教科書	『新版　福祉のための家政学』建帛社、2017年
参考書	講義の中で適宜紹介する。

実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 高齢者施設にて５年間の介護実務の経験あり。 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 生活支援技術Ⅳ-②（被服・住居）　　授業コード： J829

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年次	1単位(30)	介護福祉コース・福祉総合コース・介護福祉士実践コース・必修
担当教員			
辻　志帆・山岸　裕美子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 利用者に対する日常生活の支援を行うために、家庭生活や日常生活そのものの本質を理解するとともに、生活事象の原理原則を知る。さらに、日本の自然を背景と緒する生活文化についての知識も身につけ、支援に活かせるようになる。 【到達目標】 ①日常生活の事象についての原理原則を理解する。 ②生活用品・用具・成分などについて正しく理解し、介護の現場で適切に活用できる。 ③生活文化に関する知識を持ち、利用者の支援に反映させることができる。
授業の概要	衣・食・住・家庭経済・家庭管理について、「生活を科学する」ことをモットーとし、学際的に学習する。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	○
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	◎
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	△
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	

授業計画	第１回	ガイダンス：「生活を科学する」―介護現場の科学と文化― 【key words】 日常生活の支援　衣・食・住・家庭経済　生活経営　生活文化　基礎教養 【授業概要】 「生活支援技術Ⅳ」①の復習を行いながら、生活科学と生活文化について解説する。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料：「生活科学・文化チェックテスト」 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：「生活科学チェックテスト」で解説された事項の確認をしておくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第２回	被服生活：被服と皮膚衛生　　被服の管理（取り扱い絵表示・組成表示等） 【key words】 皮膚の生理　皮膚の汚れ　被服を汚染する細菌 【授業概要】 衣服の洗濯が何故必要かや、どのような種類の汚れがあるかについて解説する。 【教科書ページ・参考文献】 112ページ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 課題：自分で洗濯をしてみる。その際、使用した洗剤・柔軟仕上げ剤の表示を見て成分などとメモしておくこと。 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第３回	被服生活：被服の管理（洗濯〈湿式・乾式〉と品質表示） 【key words】 湿式洗濯　乾式洗濯　ウェットクリーニング　品質表示 【授業概要】 家庭での湿式洗濯について手順・洗浄条件について正しい方法を解説する。また乾式洗濯（ドライクリーニング）とはどのようなものかについても説明する。 【教科書ページ・参考文献】 116～119ページ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書を読んでおくこと。 課題：手順どおり洗濯をしてみる。洗濯機の洗浄やすすぎ時間が合理的に設定されているかを確認する。 【予習復習に必要な想定時間】 30分
	第４回	被服生活：被服の管理（漂白・しみ抜き・アイロンかけ・収納と保管） 【key words】 漂白剤（塩素系・酸素系・還元型）　しみ抜き　アイロンかけ　防虫剤　たたみ方

【授業概要】
被服の管理に欠かせない以下の項目について概説する。
漂白剤の正しい使用方法・しみ抜きの原理と方法・アイロンかけ（霧吹きとスチームの原理）・防虫剤の正しい使用方法・福祉施設利用者のための衣類のたたみ方
【教科書ページ・参考文献】
120～123ページ
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書を読んでおくこと。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第５回　被服生活・住生活：洗剤の成分
【key words】
界面活性剤　各種配合剤　酵素　蛍光増漂白剤　合成洗剤　石けん
【授業概要】
洗剤には被服用洗剤と住まいの洗剤などがある。合成洗剤と石けんについて説明するが、特に洗濯用合成洗剤の成分及び有効な使用方法について詳説する。
【教科書ページ・参考文献】
配布プリント：洗濯の科学
【課題・予習・復習・授業準備指示】
復習：各自の生活において、酵素や蛍光増白剤の入った洗剤を正しく使っているか確認する。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第６回　被服生活・住生活：界面活性剤の作用と洗浄理論
【key words】
界面活性剤　浸透　乳化　分散　再付着（汚染）防止
【授業概要】
汚れ落としのメカニズムについて解説する。
【教科書ページ・参考文献】
配布プリント：洗濯の科学
【課題・予習・復習・授業準備指示】
復習：配布資料とノートを確認し、汚れのメカニズム（界面活性剤の作用）を理解すること。
学んだ汚れ落としの理論を活用しながら、洗濯だけでなく清掃活動を行う。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第７回　住生活：住まいの役割と機能　住生活と生活空間　快適な室内空間　維持管理
【key words】
住まいの役割　ファミリーサイクル・生活行為と生活空間　動線　ゾーニング　光　温度・湿度　音　点検・修理　掃除
【授業概要】
家族の暮らしや地域と住居の関係を概説する。生活行為に伴う生活空間の問題や収納の工夫、さらに快適な室内環境に必要な光（採光・照明）・温度（暖冷房・通風・換気）・音（騒音）、加えて維持管理などについても詳説する。
【教科書ページ・参考文献】
130～140ページ
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：130～148ページ
予習：教科書を読んでおくこと。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第８回　住生活：住生活と安全　住まいと地域生活　高齢者・障がい者の住居（自立のための住環境・地域環境）
【key words】
高齢者・障がい者が暮らしやすい住環境整備について、福祉機器をはじめ、高さ・空間などの視点から説明する。バリアフリー建築　福祉機器　防犯・防災　暮らしやすいまちづくり　ユニバーサルデザイン
【授業概要】
高齢者・障がい者が暮らしやすい住環境整備について、福祉機器をはじめ、高さ・空間などの視点から説明する。
【教科書ページ・参考文献】
152～168ページ
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：どのような福祉用具があるか、インターネットで調べておくこと。
予習：教科書を読んでおくこと。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第９回　生活文化の知識①：春夏秋冬の自然
【key words】
草花　作物　生き物　風物
【授業概要】
四季の植物や生き物・風物を確認し、それらを福祉の現場での支援に活用する方途について説明する。
【教科書ページ・参考文献】
配布資料：ワークシート
【課題・予習・復習・授業準備指示】
復習：季節ごとの自然の所産について図書館で調べ確認しておくこと（図鑑・雑誌）。
【予習復習に必要な想定時間】
30分

第１０回　生活文化の知識②：春夏秋冬の行事
【key words】
年中行事　行事食　しきたり
【授業概要】
年中行事の意味や行事食などについて、その由来・機縁を概説し、福祉施設においてこれらをど

	のように支援やレクリエーションに活用し得るかについて考える。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料：ワークシート 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：年中行事や行事食、さらに地域特有の料理を調べておくこと（事典・図鑑・雑誌）。 【予習復習に必要な想定時間】 30分 第１１回　生活文化の知識③：日本の文様・色彩 【key words】 幾何学文様　謎解き文様　古典文様　色彩感情 【授業概要】 日本における独自の色彩の美意識を説明する。また、日本の伝統文様とそれらにこめられている意味を詳しく解説する。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料：「日本の伝統文様」 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：身辺にある生活用品に使われている伝統文様を探すこと。 【予習復習に必要な想定時間】 30分 第１２回　介護を必要とする人の生活を豊かにするためのプロジェクト～生活文化に基づく働きかけ～（主旨説明） 【key words】 イベント　日々の生活の中の働きかけ　生活文化 【授業概要】 介護を必要とする人に対して生活文化に基づく何らかの働きかけをし、精神を活性化させるための工夫を考える（グループ活動）。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料：プロジェクト内容記入用紙 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：グループ内で出されたアイディアの妥当性について、最新の情報を調べておくこと（インターネット・雑誌など）。 【予習復習に必要な想定時間】 30分 第１３回　介護を必要とする人の生活を豊かにするためのプロジェクト～生活文化に基づく働きかけ～（調べと計画） 【key words】 イベント　日々の生活の中の働きかけ　生活文化 【授業概要】 介護を必要とする人に対して生活文化に基づく何らかの働きかけをし、精神を活性化させるための工夫を考える（グループ活動）。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料：プロジェクト内容記入用紙 【課題・予習・復習・授業準備指示】 グループ内で分担した内容について調べる。 【予習復習に必要な想定時間】 30分 第１４回　介護を必要とする人の生活を豊かにするためのプロジェクト～生活文化に基づく働きかけ～（経過報告） 【key words】 イベント　日々の生活の中の働きかけ　生活文化 【授業概要】 経過報告を発表し合い、他グループの工夫を参考にする。また、質疑応答も行い、内容を深める（グループ活動）。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料：プロジェクト内容記入用紙　中間発表聴き取り用ワークシート 【課題・予習・復習・授業準備指示】 課題：発表に向けての準備を行う。グループ内で分担した内容について調べる。 【予習復習に必要な想定時間】 30分 第１５回　介護を必要とする人の生活を豊かにするためのプロジェクト～生活文化に基づく働きかけ～（本発表） 【key words】 イベント　日々の生活の中の働きかけ　生活文化 【授業概要】 出来上がったプロジェクトをグループごとに発表し合う。発表を聴いての所見を記入し、提出する。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料：プロジェクト内容記入用紙 【課題・予習・復習・授業準備指示】 課題：発表に向けての準備を行う。発表を聴いての所見を書き、提出すること。グループ内で分担した内容について調べ、まとめる。 【予習復習に必要な想定時間】 30分
受講生に関わる情報および受講のルール	講義中の迷惑な行為は慎む（私語や携帯電話の使用等）。　グループ学習時は、協力して行う。　教材は大切に使用し、整理、整頓を心がける。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	日常生活に関する事象を取り扱うので、各自買い物・洗濯・掃除等を行い、その中で「生活を科学する」方途について考えること。

オフィスアワー	授業時に提示する。
評価方法	チェックテスト：40%　　課題：40%　　授業態度：20%
教科書	『新版　福祉のための家政学』建帛社、2017年
参考書	講義の中で適宜紹介する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 高齢者施設にて５年間の介護実務の経験あり(辻）。 アクティブラーニング要素 ■PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等) □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等) ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等) □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 生活支援技術Ｖ-①（総合）　　授業コード： J849

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年次	1単位(30)	介護福祉コース・福祉総合コース・介護福祉士実践コース・選択
担当教員			
矢嶋　栄司			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【 授業の目的】 利用者の心身の状態に応じ、その人の自立・自律を尊重しその人が持っている能力を引き出し、見守ることも含めた適切な介護技術を用いて、安全に援助できる技術や知識を習得する。 【到達目標】 ①生活は、それぞれが単独で機能しているのではなく生活行為すべてが連続性を持って成り立っていることを理解する。 ②尊厳の保持の観点からどのような状態であっても、その人らしく生活できるように事例等より演習を通して学習する。
授業の概要	介護を必要とする人の潜在能力を引き出し、活用・発揮させることの意義について理解できる。 他職種協働によるチームアプローチの必要性を理解する。 利用者1人ひとりの生活している状態を的確に把握し、自立支援に繋がる介護が提供できるようになる。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	○
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	△
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	◎

授業計画	第1回	科目オリエンテーション 【key words】 オリエンテーション 【授業概要】 授業概要説明、科目オリエンテーション、身だしなみについて、アイスブレーク 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業で行ったことを確認し、ボランティア等で繰り返し復習すること 【予習復習に必要な想定時間】
	第2回	利用者の状態に応じた介護技術① 【key words】 アセスメント、介護の手順、留意点 【授業概要】 事例を用いて、声かけ、介護技術の方法を検討する（個人ワーク、ＧＷ） 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 添削等を行い、グループごとで課題を提出すること 【予習復習に必要な想定時間】
	第3回	利用者の状態に応じた介護技術② 【key words】 アセスメント、介護の手順、留意点 【授業概要】 事例をもとに検討した内容について、グループで実践し、確認、修正を行う。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業で行った内容について、確認しボランティア等で繰り返し実践すること 【予習復習に必要な想定時間】
	第4回	利用者の状態に応じた介護技術③ 【key words】 良い点、課題反省点 【授業概要】 グループごとに検討、修正した内容を全体の前で発表を行い、振り返りを行う。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業で行った内容について、確認しボランティア等で繰り返し実践すること

【予習復習に必要な想定時間】
第5回　バイタルサインの測定
【key words】
脈拍、呼吸、血圧、動脈血酸素飽和度、体温
【授業概要】
バイタルサインとは、バイタルサインの基礎知識
【教科書ページ・参考文献】
配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業で行った内容について、確認しボランティア等で繰り返し実践すること
【予習復習に必要な想定時間】
第6回　バイタルサインの測定
【key words】
体温計、血圧計、パルスオキシメーター
【授業概要】
バイタルサインの測定の実際、グループごとの演習
【教科書ページ・参考文献】
配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業で行った内容について、確認しボランティア等で繰り返し実践すること
【予習復習に必要な想定時間】
第7回　終末期のプロセス
【key words】
ターミナルケア、ホスピス、リビングウィル
【授業概要】
終末期ケアの意味、終末期ケアの考え方
【教科書ページ・参考文献】
介護福祉士養成テキスト3　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・Ⅱ　P233～238
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業で行った内容について、確認しボランティア等で繰り返し実践すること
【予習復習に必要な想定時間】
第8回　終末期における介護職の役割
【key words】
トータルペイン、死の受容
【授業概要】
終末期ケアの介護職の役割、生活支援、苦痛を和らげる支援、家族支援
【教科書ページ・参考文献】
介護福祉士養成テキスト3　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・Ⅱ　P238～243
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業で行った内容について、確認しボランティア等で繰り返し実践すること
【予習復習に必要な想定時間】
第9回　終末期における介護技術
【key words】
エンゼルケア、危篤時の対応
【授業概要】
終末期におけるアセスメントの視点、終末期における介護、危篤時の介護の実際
【教科書ページ・参考文献】
介護福祉士養成テキスト3　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡP238～243
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業で行った内容について、確認しボランティア等で繰り返し実践すること
【予習復習に必要な想定時間】
第10回　終末期における家族に対する支援
【key words】
グリーフワーク、グリーフケア
【授業概要】
家族へのケア、遺族ケア(グリーフケア）、死の受容までのプロセス
【教科書ページ・参考文献】
介護福祉士養成テキスト3　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡP243～P244
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業で行った内容について、確認しボランティア等で繰り返し実践すること
【予習復習に必要な想定時間】
第11回　終末期の介護まとめ
【key words】

【授業概要】
終末期の意義と介護の役割り、終末期における介護技術の範囲の確認テスト
【教科書ページ・参考文献】
配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業で行った内容について、確認しボランティア等で繰り返し実践すること
【予習復習に必要な想定時間】
第12回　緊急時の対応の知識と技術①
【key words】
心筋梗塞、脳卒中、窒息、熱中症、アナフィラキシー
【授業概要】
想定される事故、予防の視点、応急手当の基礎知識
【教科書ページ・参考文献】
配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
外部講師を予定しているので、事前に疑問、質問などをまとめ積極的な姿勢で臨むこと
【予習復習に必要な想定時間】

	第13回　緊急時の対応の知識と技術② 【key words】 心肺蘇生、ＡＥＤ、気道異物の除去 【授業概要】 救命処置の流れ、救命処置の手順、ＡＥＤの使用手順 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 外部講師を予定しているので、事前に疑問、質問などをまとめ積極的な姿勢で臨むこと 【予習復習に必要な想定時間】 第14回　緊急時の対応まとめ 【key words】 胸骨圧迫、人工呼吸、ＡＥＤ、気道異物の除去 【授業概要】 救命処置の実際、心肺蘇生、人口呼吸、ＡＥＤの使用手順、演習 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 外部講師を予定しているので、事前に疑問、質問などをまとめ積極的な姿勢で臨むこと 【予習復習に必要な想定時間】 第15回　総合生活支援技術のまとめ 【key words】 【授業概要】 生活支援技術の確認テストを行う。 【教科書ページ・参考文献】 介護福祉士養成テキスト3　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・Ⅱ 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 苦手科目を重点的に復習しておくこと 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	・演習時は、学校指定のジャージを着用すること。(学校指定ポロシャツ以外に親睦スポーツ大会でのクラスTシャツは許可する。) ・他の受講生の迷惑となる行為（私語、携帯電話の使用）は厳禁。 ・遅刻、欠席、早退の場合は、理由を申し出ること。 ・身だしなみを整え、爪は短く、長い髪は束ねること。（体育保健委員が講義を始める前に身だしなみのチェックを行う。） ・上履きの後は踏まないこと。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	毎回の講義・演習内容を主に復習を重ねること。
オフィスアワー	授業時に指示する。
評価方法	平常点20%、レポート・小テスト20%、定期試験60% ※出欠状況や授業態度も含み総合的に評価する。
教科書	介護福祉士養成テキスト3　コミュニケーション技術／生活支援技術Ⅰ・Ⅱ
参考書	必要時、資料を配布し、参考文献は授業時に適宜紹介する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 高齢者施設にて介護職員として実務の経験あり。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等) □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等) □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等) □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 生活支援技術Ⅴ-②（総合）　　授業コード：J850

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年次	1単位(30)	介護福祉コース・福祉総合コース・介護福祉士実践コース・選択
担当教員			
矢嶋　栄司			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【 授業の目的】 利用者の心身の状態に応じ、その人の自立・自律を尊重しその人が持っている能力を引き出し、見守ることも含めた適切な介護技術を用いて、安全に援助できる技術や知識を習得する。 【到達目標】 ①生活は、それぞれが単独で機能しているのではなく生活行為すべてが連続性を持って成り立っていることを理解する。 ②尊厳の保持の観点からどのような状態であっても、その人らしく生活できるように事例等より演習を通して学習する。
授業の概要	介護を必要とする人の潜在能力を引き出し、活用・発揮させることの意義について理解できる。 他職種協働によるチームアプローチの必要性を理解する。 利用者1人ひとりの生活している状態を的確に把握し、自立支援に繋がる介護が提供できるようになる。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	○
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	△
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	◎

授業計画	第1回	科目オリエンテーション　　障害に応じた生活支援技術・視覚障害に応じた介護 【key words】 授業概要説明、科目オリエンテーション、 ガイドヘルプ、白杖、盲導犬、点字、視覚障害者誘導用ブロック 【授業概要】 視覚障害に応じたコミュニケーション方法の理解、移動の支援、身の回りの支援 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業で行った内容について、確認しボランティア等で繰り返し実践すること 【予習復習に必要な想定時間】
	第2回	障害に応じた生活支援技術・聴覚・言語障害に応じた介護 【key words】 難聴、手話、指文字、補聴器 【授業概要】 聴覚障害の理解、言語障害とのコミュニケーション方法 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業で行った内容について、確認しボランティア等で繰り返し実践すること 【予習復習に必要な想定時間】
	第3回	障害に応じた生活支援技術まとめ 【key words】 【授業概要】 障害に応じた介護、支援の方法の確認テスト 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 事前に伝達してある出題範囲の復習をしておくこと 【予習復習に必要な想定時間】
	第4回	安心で快適な生活の場づくり・住まいの場における工夫・留意点 【key words】 居住環境、ＩＣＦの視点でのアセスメント、環境 【授業概要】 住居の役割、居住環境と介護、居住環境のアセスメント、バリアフリー、ユニバーサルデザイン 【教科書ページ・参考文献】 介護福祉士養成テキスト3　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ181～188 【課題・予習・復習・授業準備指示】

		授業で行った内容について、確認しボランティア等で繰り返し実践すること 【予習復習に必要な想定時間】
	第5回	安心で快適な生活の場づくり・集団生活における住まいの理論 【key words】 集団の場合の居住環境 【授業概要】 施設における生活の工夫と支援、集団生活への配慮 【教科書ページ・参考文献】 介護福祉士養成テキスト3　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ193～197 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業で行った内容について、確認しボランティア等で繰り返し実践すること 【予習復習に必要な想定時間】
	第6回	【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
	第7回	安心で快適な生活の場づくり・在宅生活を続けるための環境整備 【key words】 住宅の場合の居住環境 【授業概要】 在宅における生活の工夫と支援、住宅改修やバリアフリー化 【教科書ページ・参考文献】 介護福祉士養成テキスト3　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ189～193 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業で行った内容について、確認しボランティア等で繰り返し実践すること 【予習復習に必要な想定時間】
	第8回	家庭生活にかかわる基本知識 【key words】 家事、掃除、ゴミ捨て、衣類の洗濯、管理 【授業概要】 家事の意義、家事支援とは、家事支援に関するアセスメント 【教科書ページ・参考文献】 介護福祉士養成テキスト3　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ199～202 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業で行った内容について、確認しボランティア等で繰り返し実践すること 【予習復習に必要な想定時間】
	第9回	家庭生活の理解 【key words】 家事、掃除、ゴミ捨て、衣類の洗濯、管理 【授業概要】 食生活の基本知識、被服生活の基本知識、被服の洗濯、保管、布の種類と特徴 【教科書ページ・参考文献】 介護福祉士養成テキスト3　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ203～210 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業で学んだ内容について、繰り返し復習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】
	第10回	家庭生活の営み 【key words】 食中毒、悪徳商法、クーリングオフ 【授業概要】 調理の支援、洗濯の支援、衛生管理、家庭生活の営み、生活設計 【教科書ページ・参考文献】 介護福祉士養成テキスト3　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ210～213 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業で学んだ内容について、繰り返し復習を行うこと。 【予習復習に必要な想定時間】
	第11回	総合生活支援技術　生活の理解・自立にむけた居住環境の整備 【key words】 生活、自立、生活支援技術 【授業概要】 生活を理解する視点、高齢者や障害者に対する生活支援のあり方、在宅および施設における生活の場作りについて、復習を行う 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 試験対策等、重要なポイントをしっかり押さえて復習すること。 【予習復習に必要な想定時間】
	第12回	総合生活支援技術　自立に向けた身じたくの介護・自立に向けた移動の介護 【key words】 移動、移乗、ボディーメカニクス、身じたく、整容、口腔ケア、更衣 【授業概要】 身じたくの意義と目的、整容、口腔ケア、更衣、移動の意義と目的、体位変換、安楽な体位、車いす、補講の介護について復習を行う 【教科書ページ・参考文献】 配布資料

	【課題・予習・復習・授業準備指示】 試験対策等、重要なポイントをしっかり押さえて復習すること。 【予習復習に必要な想定時間】 第13回　総合生活支援技術　自立に向けた食事の介護・自立に向けた入浴・清潔保持の介護 【key words】 食事、食行動、咀嚼、嚥下、誤嚥、清潔行為、入浴、清拭、感染予防 【授業概要】 食事の意義と目的、食事における介護技術、入浴・清潔保持の意義と目的、入浴介助、部分浴介助、清潔保持について復習を行う 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 試験対策等、重要なポイントをしっかり押さえて復習すること。 【予習復習に必要な想定時間】 第14回　総合生活支援技術　自立に向けた家事の介護・自立に向けた排泄の介護 【key words】 排泄行動、尿意、便意、失禁、尊厳の保持、ポータブルトイレ、おむつ、家事、衣類、洗濯、掃除 【授業概要】 家事の支援の意義と目的、調理、洗濯、掃除、排泄の意義と目的、排泄介助の基本、福祉用具を使用した介助等の復習を行う 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 試験対策等、重要なポイントをしっかり押さえて復習すること。 【予習復習に必要な想定時間】 第15回　総合生活支援技術　自立に向けた睡眠の介護・終末期の介護 【key words】 睡眠と覚醒、サーガディアンリズム、レム睡眠、ノンレム睡眠、メラトニン、睡眠障害、ターミナルケア、グリーフケア 【授業概要】 睡眠の意義と目的、睡眠における介護技術、終末期における介護の意義、終末期における介護技術について復習を行う 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 試験対策等、重要なポイントをしっかり押さえて復習すること。 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	・演習時は、学校指定のジャージを着用すること。(学校指定ポロシャツ以外に親睦スポーツ大会でのクラスTシャツは許可する。) ・他の受講生の迷惑となる行為（私語、携帯電話の使用）は厳禁。 ・遅刻、欠席、早退の場合は、理由を申し出ること。 ・身だしなみを整え、爪は短く、長い髪は束ねること。（体育保健委員が講義を始める前に身だしなみのチェックを行う。） ・上履きの後は踏まないこと。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	毎回の講義・演習内容を主に復習を重ねること。
オフィスアワー	授業時に指示する。
評価方法	平常点20%、レポート・小テスト20%、定期試験60% ※出欠状況や授業態度も含み総合的に評価する。
教科書	介護福祉士養成テキスト3　コミュニケーション技術／生活支援技術Ⅰ・Ⅱ
参考書	必要時、資料を配布し、参考文献は授業時に適宜紹介する。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 高齢者施設にて介護職員として実務の経験あり。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用

	□ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 介護過程の展開Ⅲ-①　　授業コード： J851

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年次	1単位(30)	介護福祉コース・福祉総合コース・介護福祉士実践コース・選択
担当教員			
白井　幸久・清水　久二雄			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕 ・介護過程のⅢでは介護計画の実施から評価までについてを学びます。これで介護過程の一連のサイクルを学んだ事にな　りますが、実習による実践のみではなく、介護過程の学びをより深めるためにアセスメントツールを調べ活用したり、地域での生活支援など利用者本人を生活の中心に置き、職種連携、社会資源の活用などを根拠に基づき知識、技術を統合し思考ができるようになり、それらを具現化できるスキルを身につける事を目的としています。 〔到達目標〕 ①利用者本人・家族及びそれらを取り巻く環境に配慮しつつ個別援助計画を立案する事ができる。 ②他職種連携を目指した個別援助計画を立案する事ができる。 ③サービスの評価後再アセスメントし介護計画を再立案する事ができる。 ④自立支援の為のサービス内容と社会資源の活用の視点を身につける事ができる。
授業の概要	・１年次で学んだ介護過程の展開を実習の事例や様々な事例を通じて実践する。また介護過程を展開するにあたり家族・他職種・地域・様々な社会資源も統合し根拠に基づき自立支援、ニーズの充足、生活課題の解決など目標とした具体的で実行可能性の高いサービス内容を計画し、さらにサービス内容を的確に評価再アセスメント、再計画できるマネジメント力を高められるように個人ワーク、グループワークなど演習を中心として授業を展開していきます。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	○
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	◎
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	△

授業計画	第１回　科目のガイダンス(1年次の振り返り 個別援助計画の記載) 【key words】 介護計画　実施　評価　再アセスメント 【授業概要】 授業の全般的な概要について説明を行う。また復習として1年次まで行った計画立案までの内容の振り返り を行う。 【教科書ページ・参考文献】 介護過程テキスト　P209～230 【課題・予習・復習・授業準備指示】 〈復習〉 アセスメント・計画立案までの復習をしておくこと。 〈予習〉介護過程テキスト～230 【予習復習に必要な想定時間】 60～80分 第２回　介護計画の評価(実施状況と評価のまとめ方と再アセスメント) 【key words】 実施　叙述体　要約体　説明体　評価　再アセスメント 【授業概要】 介護計画の実施時、評価時など、それぞれの状況にあった記録の方法を学ぶ。またそのために必要な観察、 記録によって次の再アセスメントに活かされる事も同時に学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 介護過程テキスト　P225～230 【課題・予習・復習・授業準備指示】 〈復習〉 介護過程テキスト　P225～230 〈予習〉介護過程テキストP230～235 【予習復習に必要な想定時間】 60～80分 第３回　情報収集(全体像を捉える) 【key words】 情報収集　全体像　実施　評価 【授業概要】 実施・評価・再アセスメントする上で、大切な情報収集の視点は何かについて学んでいく。短い事例を比較検討するようにし、充分な情報収集によって実施時の観察ポイント、評価の視点が広がる事を体験を通じて学んでいく。

【教科書ページ・参考文献】
介護過程テキスト
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習・予習〉　介護過程テキストP230～235
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第４回　　情報の解釈と統合(情報の整理の解釈　ICFの概念図を用いて)
【key words】
ICF　　良循環　　悪循環
【授業概要】
前回の授業で行った実施・評価の項目の視点が増えることにふれたものをもとに、それぞれの実施・評価の着目するポイントはどのように影響を及ぼすのかについて、ICFの概念図を用いて様々な影響を考えていく

【教科書ページ・参考文献】
介護過程テキスト　P230～235、　P187～197
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習・予習〉　　配布するICFの概念図を使用して、どのように影響が及ぶのか考えみること。その上で実施状況のポイントを整理する事。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第５回　　情報の解釈と統合(生活機能と背景因子の関連)
【key words】
ICF　　生活機能　　背景因子
【授業概要】
前回の授業に続き、特に生活機能と背景因子という上下の階層同士が関係しあうことを中心に考えた上で、
実施・評価のポイントで記述する際の様々な条件や状況についてどのような事に着目したら良いかを学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
介護過程テキスト　P187～197
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習・予習〉　介護過程テキストP187～197
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第６回　　介護計画の立案(目的とサービス内容)
【key words】
計画　　内容　　具体的な内容

【授業概要】
これまでの実施、評価などの視点を通じて、計画表作成について必要な記載方法について学ぶ。

【教科書ページ・参考文献】
介護過程テキスト　P216～220
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習・予習〉介護過程テキスト　P216～220
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第７回　　介護計画の評価　(実施状況と評価のまとめ方と再アセスメント)
【key words】
実施　　評価　　再アセスメント
【授業概要】
実施・評価の記述の方法の総まとめとして、実施・評価は単独で存在しているのではなく、アセスメントや　計画と深く結びついている事を学ぶ。そのため、実施・評価のポイントが不明瞭である場合は必ず１つ前の
作業をしっかり確認する方法を学ぶ
【教科書ページ・参考文献】
介護過程テキスト　P216～220
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習・予習〉　次回アセスメントシート、統合シート、介護計画シートの記載の確認を行うため、シートを確認し、記述が不安な部分を整理しておくこと。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第８回　　介護過程の総括(アセスメントシート、統合シート、介護計画シートの記載の確認)
【key words】
実習　シート　実習フォーマット
【授業概要】
介護過程の総括として、アセスメントシート、統合シート、介護計画シートの記載の確認を行うため、　小グループに分かれてシートの使用の仕方を確認する。短文事例を用意し、記載する際の困り事を抽出しそ
の後全体へ共有する。
【教科書ページ・参考文献】
配布した実習のシート
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習・予習〉　テキスト全般を確認する。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第９回　　事例学習　①　(情報収集を振り返り)
【key words】
情報収集　　アセスメントシート

【授業概要】
使用したアセスメントシートの記述に対して、グループ毎で記載方法や内容を確認しあう。また不特
定多数の困り事は、全体で内容を共有する。
【教科書ページ・参考文献】
実習で記載したコピー(フェースシート、アセスメントシート1.2、介護計画書、評価用紙)テキスト全般

【課題・予習・復習・授業準備指示】
<復習・次回授業まで準備すること>9回授業で行ったグループ討議の内容を整理するように。次回はICFのが概念図であるため、内容を確認す
るように。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第１０回　事例学習　②　(ICFの概念図で情報を振り返り)
【key words】
ICF　心身機能・身体構造　活動　参加　環境因子　個人因子
【授業概要】
使用したICFの概念図の記述に対して、グループ毎で記載方法や内容を確認しあう。特にそれぞれの項目に対する情報収集が出来ているのかをグループの仲間うちにプレゼンテーションする。また不特定多数　の困り事は、全体で内容を共有する。その際は黒板に板書しながら行う。

【教科書ページ・参考文献】
実習で記載したコピー(フェースシート、アセスメントシート1.2、介護計画書、評価用紙)テキスト全般
【課題・予習・復習・授業準備指示】
<復習・予習>　10回授業でのグループ討議の内容について参考になるものは活用する。またICFの概念図での項目を確認。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第１１回　事例学習　③　(ICFの概念図で情報の統合化を振り返り)
【key words】
ICF　生活機能　背景因子
【授業概要】
使用したICFの概念図の記述に対して、グループ毎で記載方法や内容を確認しあう。特にどのように情報同士が深く関わりあっているのかをグループの仲間うちにプレゼンテーションする。また不特定多数の困り事は、全体で内容を共有する。その際は黒板に板書しながら行う。
【教科書ページ・参考文献】
実習で記載したコピー(フェースシート、アセスメントシート1.2、介護計画書、評価用紙)テキスト全般
【課題・予習・復習・授業準備指示】
<復習・予習>　10回授業でのグループ討議の内容について参考となるものを活用する。またICFの概念図での関連が指摘された箇所は改めてその内容が反映されているのか確認して欲しい。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第１２回　事例学習　④　(ニーズや生活課題と目標の振り返り)
【key words】
ニーズ　生活課題

【授業概要】
10回授業、11回授業でICFの概念図を用いた情報の統合を実施したもので、ニーズや生活課の抽出が出来
ているのかをグループワークを中心に確認し合い学びを深めていく。
【教科書ページ・参考文献】
実習で記載したコピー(フェースシート、アセスメントシート1.2、介護計画書、評価用紙)テキスト全般
【課題・予習・復習・授業準備指示】
<復習・予習>　11回授業で指摘された内容が統合用紙や計画書に反映されているのか確認する。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第１３回　事例学習　⑤　(サービス内容を振り返る)
【key words】
計画書　具体的内容　手順
【授業概要】
介護計画書の中の計画を実施をどのように行ったのかをグループの中で互いに共有しあい学びを深めてい
く

【教科書ページ・参考文献】
実習で記載したコピー(フェースシート、アセスメントシート1.2、介護計画書、評価用紙)テキスト全般
【課題・予習・復習・授業準備指示】
<復習・予習>　13回の授業の中で出たグループ冬季の内容について振り返る。特に仲間の発表で参考になったものを箇条書きで書き出しておくこと。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第１４回　実習の振り返り　⑥(実施状況と評価を振り返る)
【key words】
実施状況　評価
【授業概要】
実施状況と評価の記録の方法が適当かグループの中で共有する。特に評価の記載では説明体とな

る根拠が
シート内に記載されているのかを確認する。
【教科書ページ・参考文献】
実習で記載したコピー(フェースシート、アセスメントシート1.2、介護計画書、評価用紙)テキスト全般

【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習・予習〉　実施状況・評価において指摘されたところは修正して欲しい。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第１５回　授業の総括

【key words】
介護過程　再アセスメント　再計画

【授業概要】
14回授業を基に各グループで再アセスメント・再計画する内容について確認を行いながら、再アセスメン
ト・再計画に必要な事について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
実習で記載したコピー(フェースシート、アセスメントシート1.2、介護計画書、評価用紙)テキスト全般
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習・予習〉　夏休みの間に実習のまとめをし、どのようなテーマでまとめるのか文献を検索する。
【予習復習に必要な想定時間】
およそ2ヶ月
およそ2ヶ月

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

	【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】

	【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】 【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	・段階的に授業を進めている為欠席、早退、遅刻しないように努めること。 ・調べ学習を行う事が多くなるため必要なテキスト、用語辞典などを用意すること。(授業の中でも適宜紹介) ・演習が中心となり個人によって学習の進捗が違ってくる事が考えられるため分からないところはそのままにせず質問し　てくること。 ・個人ワーク、グループワークなど行う際に必要ない私語、講義中の私語は慎むこと。(評価方法にも含まれます)
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード　アセスメントシート　介護計画書　実施状況表　授業時配布資料を適宜回収し添削指導
授業外時間にかかわる情報	・介護過程は他科目で得た知識、技術を統合する思考過程のトレーニングとも言えるため日々の予習・復習を通してスキルとして身につけること。 ・実習と深く関係するため理解できない事がある場合はいつでも個別及び複数人で申し出てそれらの解消に努めること。
オフィスアワー	初回授業時予定表を配布し説明する。
評価方法	授業時の課題　60%　　演習の取り組み　40%
教科書	介護福祉士養成テキスト　2　「介護の基本/介護過程」　日本介護福祉士養成施設協会
参考書	講義の中で適宜印刷物を用意するが、分からない語句などを調べるテキストや用語辞典、辞書が必要。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 介護老人保健施設に5年弱(介護職員、レクリエーションワーカー)、特別養護老人ホームに19年間(介護長、施設ケアマネジャー)　特に施設ケアマネジャーではケアプラン業務、サービス担当者会議業務、家族への説明などを行っていた。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 ■その他 その他の具体的内容

	・新型コロナウイルス感染状況により分散登校となる場合等は、遠隔授業を実施します。尚その場合はシラバスの 　内容が変更することがあります。状況に応じて適宜説明いたします。 ・授業でのワークシートおよび調べ学習の成果物などkの提出、また個人として添削指導の要望がある場合はメールでも受け付けいたします。

講義科目名称：　介護過程の展開Ⅲ-②　　授業コード：J852

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年次	1単位(30)	介護福祉コース・福祉総合コース・介護福祉士実践コース・選択
担当教員			
白井　幸久・清水　久二雄			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕 ・介護過程のⅢでは介護計画の実施から評価までについてを学びます。これで介護過程の一連のサイクルを学んだ事にな　りますが、実習による実践のみではなく、介護過程の学びをより深めるためにアセスメントツールを調べ活用したり、地域での生活支援など利用者本人を生活の中心に置き、職種連携、社会資源の活用などを根拠に基づき知識、技術を統合し思考ができるようになり、それらを具現化できるスキルを身につける事を目的としています。 〔到達目標〕 ①利用者本人・家族及びそれらを取り巻く環境に配慮しつつ個別援助計画を立案する事ができる。 ②他職種連携を目指した個別援助計画を立案する事ができる。 ③サービスの評価後再アセスメントし介護計画を再立案する事ができる。 ④自立支援の為のサービス内容と社会資源の活用の視点を身につける事ができる。
授業の概要	・１年次で学んだ介護過程の展開を実習の事例や様々な事例を通じて実践する。また介護過程を展開するにあたり家族・　他職種・地域・様々な社会資源も統合し根拠に基づき自立支援、ニーズの充足、生活課題の解決など目標とした具体的　で実行可能性の高いサービス内容を計画し、さらにサービス内容を的確に評価再アセスメント、再計画できるマネジメ　ント力を高められるように個人ワーク、グループワークなど演習を中心として授業を展開していく。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	○
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	◎
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	△

授業計画	第１回	ガイダンス　　（介護過程の4つのサイクルを振り返る） 【key words】 アセスメントシート　アセスメントツール 【授業概要】 これまでの介護過程の全体像として4つのサイクルについて確認を行う。その後、関心のあるアセスメント 　シートの調べを関心のあるシートを選ぶように指示する。 【教科書ページ・参考文献】 テキスト 【課題・予習・復習・授業準備指示】 〈復習・予習〉　次回の授業までに世の中にある興味のあるアセスメントシートを1つ選んでおく。 【予習復習に必要な想定時間】 60～80分
	第２回	アセスメントツール種類と特徴の調べ学習 【key words】 アセスメントシート　アセスメントツール 【授業概要】 アセスメントツールを共通して選んだ者同士でチームをつくる。その後アセスメントツールの活用方法につ 　いて調べ学習を行う。次回発表する報告書とパワーポイントづくりをグループ毎で行う。 【教科書ページ・参考文献】 テキスト　調べたアセスメントツールに関する情報 【課題・予習・復習・授業準備指示】 〈復習・予習〉　チームごとでアセスメントツールの特性について調べ学習をすすめていく。 【予習復習に必要な想定時間】 60～80分
	第３回	アセスメントツールと事例の選定　　（調べ学習の報告書　作成） 【key words】 アセスメントシート　アセスメントツール　活用法　メリットとデメリット 【授業概要】 前回構成したチームで授業終了までに報告書を作成し提出。その後アセスメントツールの活用方法につい て調べ学習を行う。次回発表する報告書とパワーポイントづくりをグループ毎で行う。 【教科書ページ・参考文献】 各自で調べたアセスメントツールの書式一式、アセスメントツールの解説書

【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習・予習〉 次回授業時には各グループ毎で解説について発表してもらうため、パワーポイントを仕上げておくこと。(チーム内で個人が、分担箇所は明記)
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第４回　アセスメントツールの紹介　(各グループ毎の発表)
【key words】
アセスメントツール　特徴
【授業概要】
各グループ毎にアセスメントツールについて説明。その後はフロアから質問を通じて互いに学びを深めてい
く。
【教科書ページ・参考文献】
各自で調べたアセスメントツールの書式一式、アセスメントツールの解説書
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習-予習〉 フロアからの質問、指摘事項については追加しておき、次回の授業で説明する。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第５回　アセスメントツールの活用①　(各グループ毎事例を使用して)
【key words】
アセスメントツール　活用　実践
【授業概要】
調べたシートを実際に事例を用いて作成してみる。作成しながら学びを深めていく。
【教科書ページ・参考文献】
各自で調べたアセスメントツールの書式一式、アセスメントツールの解説書
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習・予習〉 次回は発表用資料の作成に入るため、それまで各自シートへの記載を進めておくこと。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第６回　アセスメントツールの活用②　(各グループ毎事例発表準備)
【key words】
アセスメントツール　活用　実践

【授業概要】
20回の授業で、調べたシートを実際に事例を用いて作成してみたものを、今度は発表にまとめる。特にメ
リット・デメリットやきをつけるべき事は何かなどについてまとめていく。報告書を提出

【教科書ページ・参考文献】
テキスト全般　選んだアセスメントシート
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習・予習〉次回発表を行うため、次回の授業までに発表用原稿を作成しておくように。(チーム内で個人が、分担箇所は明記)
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第７回　アセスメントツールの活用の発表　(各グループ毎事例を使用したもの)
【key words】
アセスメントツール　活用　実践
【授業概要】
これまでグループでまとめた内容を発表しもらい、学びを共有する。フロアからの質問を通じて学びを深め
ていく。
【教科書ページ・参考文献】
テキスト全般　選んだアセスメントシート
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習-予習〉 フロアからの質問、指摘事項については追加しておき、次回の授業で説明する。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第８回　アセスメントツールの活用　グループ間学習
【key words】
グループ間学習
【授業概要】
グループ内を3つに分け、自分たちが調べたアセスメントツール以外のものを他のグループのところに行っ
て相互学習よする。 相互学習シートにそれぞれ学んだ内容を記載しながら学びを深めていく。
【教科書ページ・参考文献】
テキスト全般　選んだアセスメントシート
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習・予習〉 次回は他のグループから学んだものを、再び自分のチームで振り返るため、内容についてまとめておく。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第9回　アセスメントツールの活用　まとめ
【key words】
情報収集　アセスメントシート

アセスメントツール　事例　活用　まとめ

【授業概要】
アセスメントツール調べ学習の総括として、前回学んだ内容の共有をグループ毎で実施。その後調べ学習を

通して、アセスメントツールを使う効果、使い方の注意について話し合いまとめる
【教科書ページ・参考文献】
テキスト全般　選んだアセスメントシート

【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習・復習〉　今回のグループで総括したものを個人でもまとめておくように。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第１０回　在宅生活を支えるための支援 ①　（包括的自立支援プログラムについて）
【key words】
在宅支援　包括的自立支援プログラム
【授業概要】
在宅復帰を目指す支援について、現状最も多くの特養・老健で使用している包括的自立支援プログラムの　シートを活用し介護計画書を作成する為、シートの説明を行う。
【教科書ページ・参考文献】
テキスト全般
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習・予習〉 配布したシートの内容を確認するように。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第１１回　在宅生活を支えるための支援②　（ストレングスアセスメント）
【key words】
ストレングス　在宅支援
【授業概要】
在宅生活を支援するためのストレングスとなる利用者の心的エネルギー・個人因子・環境因子・保障されて
いる生活機能全般のストレングスに気付くための支援とは何かについて学ぶ
【教科書ページ・参考文献】
テキスト全般
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習・予習〉　配布したストレングスシートを次回の授業までにまとめておく。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第１２回　在宅生活を支えるための支援③　（在宅生活を支えるフォーマル・インフォーマルサービスのアセスメント）
【key words】
在宅生活　フォーマルサービス　インフォーマルサービス
【授業概要】
地域の中には様々な資源が存在しているが、その資源について、その資源を活用する、維持する、開発する
ことについて学ぶ
【教科書ページ・参考文献】
テキスト全般
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習・復習〉　配布した社会資源アセスメントシートを仕上げておく。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第１３回　在宅生活を支えるための支援④　（介護計画の作成）
【key words】
計画　在宅復帰　在宅の継続
【授業概要】
在宅復帰を果たす事もさる事ながら、どのように在宅生活を継続していくのかも重要である。在宅生活につ
いてグループで検討し、どのような在宅復帰とこれからの在宅の生活を築いていくかについて学ぶ
【教科書ページ・参考文献】
テキスト全般
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習・復習〉 14回の授業ではカンファレンスを開催するため、介護計画書を作成しておく。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第１４回　在宅生活を支えるための支援 のまとめ （作成したもの使って意見交換会）
【key words】
カンファレンス　在宅生活　継続　復帰
【授業概要】
前回作成した介護計画書を用いて、どのような在宅生活を支援していくのか、話し合う。それぞれの相違点
はどこかを明らかにするように話し合う。
【教科書ページ・参考文献】
テキスト全般
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習・予習〉 29回の授業で話し合った内容を整理すること。
【予習復習に必要な想定時間】
60～80分

第１５回　介護過程の総括・まとめ
【key words】
自然科学　専門性　人間修行

【授業概要】
2年間の学びの集大成として、黒澤の「生活支援学」より介護から生活支援へについて、配布資料を使用し
学びを総括する。

【教科書ページ・参考文献】
テキスト全般
【課題・予習・復習・授業準備指示】
〈復習〉 2年間の学びを総括するために、テキスト・配布資料に目を通して欲しい。
【予習復習に必要な想定時間】

およそ2ヶ月

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

【key words】

【授業概要】

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

【予習復習に必要な想定時間】

	【key words】 【授業概要】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	・段階的に授業を進めている為欠席、早退、遅刻しないように努めること。 ・調べ学習を行う事が多くなるため必要なテキスト、用語辞典などを用意すること。(授業の中でも適宜紹介) ・演習が中心となり個人によって学習の進捗が違ってくる事が考えられるため分からないところはそのままにせず質問し　てくること。 ・個人ワーク、グループワークなど行う際に必要ない私語、講義中の私語は慎むこと。(評価方法にも含まれます)
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード　アセスメントシート　介護計画書　実施状況表　授業時配布資料を適宜回収し添削指導
授業外時間にかかわる情報	・介護過程は他科目で得た知識、技術を統合する思考過程のトレーニングとも言えるため日々の予習・復習を通してスキ ルとして身につけること。 ・実習と深く関係するため理解できない事がある場合はいつでも個別及び複数人で申し出てそれらの解消に努めること。
オフィスアワー	初回授業時予定表を配布し説明する。
評価方法	授業時の課題　60%　　演習の取り組み　40%
教科書	介護福祉士養成テキスト　2　「介護の基本/介護過程」　日本介護福祉士養成施設協会
参考書	講義の中で適宜印刷物を用意するが、分からない語句などを調べるテキストや用語辞典、辞書が必要。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 介護老人保健施設に5年弱(介護職員、レクリエーションワーカー)、特別養護老人ホームに19年間(介護長、施設ケアマネジャー)　特に施設ケアマネジャーではケアプラン業務、サービス担当者会議業務、家族への説明などを行っていた。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 ■情報モラルに関する教育 ■課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等) ■情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等) ■情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等) □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 ■ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 ■その他 その他の具体的内容 ・新型コロナウイルス感染状況により分散登校となる場合等は、遠隔授業を実施します。尚その場合はシラバスの 内容が変更することがあります。状況に応じて適宜説明いたします。 ・授業でのワークシートおよび調べ学習の成果物などkの提出、また個人として添削指導の要望がある場合はメールでも受け付けいたします。

講義科目名称：　医療的ケアⅡ-①　　授業コード：J865

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年次	1単位	福祉総合コース・介護福祉士実践コース・必修／介護福祉コース・選択
担当教員			
赤田　実千代・福田　智久			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 医療的ケアが必要な人の安全で安楽な生活を支援するため、医療職との連携の下で医療的ケアを安全・適切に実施できるよう、必要な知識・技術を修得する。 【到達目標】 ・医療的ケアは、人体に危害を及ぼすおそれのある行為であることを理解し、真摯な姿勢で取り組むことができる。 ・根拠に基づく喀痰吸引の手技を実施するために必要な知識や実施手順を説明できる。 ・根拠に基づく経管栄養の手技を実施するために必要な知識や実施手順を説明できる。 ・医療的ケアの実施において、医療職との連携の必要性を説明できる。
授業の概要	医行為である医療的ケアは人体に危害を及ぼすおそれのある行為であることを理解し、根拠に基づく手技を実施するために必要な喀痰吸引・経管栄養の基礎的知識・実施手順について学びます。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	◎
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	△
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	○

授業計画	第１回	高齢者及び障害児・者の喀痰吸引実施手順①必要物品 【key words】 吸引器　吸引カテーテル　清浄綿　洗浄水 【授業概要】 喀痰吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、吸引を行う部位によって必要な物品の種類が異なることについて解説する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ８２～８４ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：喀痰吸引の必要物品とそのしくみ 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第２回	高齢者及び障害児・者の喀痰吸引実施手順②清潔保持 【key words】 浸漬法　乾燥法 【授業概要】 第２回講義範囲の確認テストの実施。喀痰吸引の必要物品の清潔保持について、吸引カテーテルの清潔保持について（浸漬法・乾燥法）解説する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ８５～８６ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：喀痰吸引の必要物品の清潔保持について 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第３回	高齢者及び障害児・者の喀痰吸引実施手順③喀痰吸引の技術と留意点 【key words】 口腔内吸引　鼻腔内吸引　気管カニューレ内部吸引 【授業概要】 第２回講義範囲の確認テストの実施。口腔内・鼻腔内吸引実施手順と留意点、気管カニューレ内部吸引実施手順と留意点について解説する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ８５～９３ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：口腔内・鼻腔内吸引の手順　気管カニューレ内部吸引の手順 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第４回	食事と消化の重要性 【key words】

		消化管　消化腺　嚥下反射 【授業概要】 第３回講義範囲の確認テストの実施。嚥下のしくみ、消化器系器官各部の構造と機能について解説する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ９４～９７ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：嚥下　消化器系器官のしくみとはたらき 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第５回	経管栄養とは 【key words】 嚥下障害　胃ろうによる経管栄養　腸ろうによる経管栄養　経鼻経管栄養 【授業概要】 第４回講義範囲の確認テストの実施。経管栄養が必要な状態、経管栄養のしくみと種類について解説する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ９８～１００ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：経管栄養のしくみと種類 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第６回	経管栄養による問題 【key words】 誤嚥性肺炎　スキントラブル　消化器感染 【授業概要】 第５回講義範囲の確認テストの実施。経管栄養でおこりうるからだの異常について、経管栄養により生じる危険・皮膚の異常、経管栄養に関係する感染と予防について解説する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ１０１～１０２ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：経管栄養による下痢の原因 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第７回	経管栄養を必要とする利用者の日常生活におけるケア 【key words】 食事の自立支援　口腔ケア　消化・吸収・排泄機能 【授業概要】 第６回講義範囲の確認テストを実施。経管栄養の場合でも食事として介助することの大切さ、口腔ケアの重要性について解説する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ１０３～１０４ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：食事の自立支援　口腔ケア 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第８回	高齢者及び障害児・者の経管栄養実地手順　：　挿入部の清潔 【key words】 経鼻経管栄養チューブ　鼻腔　ろう孔　皮膚トラブル 【授業概要】 第７回講義範囲の確認テストの実施。経管栄養チューブ挿入部で起きやすいトラブルとその対応について解説する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ１０５～１０７ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：経管栄養チューブで起きやすいトラブル 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第９回	高齢者及び障害児・者の経管栄養実地手順　：　経管栄養の技術と留意点 【key words】 消化器症状　むせ込み　呼吸状態　指示書確認 【授業概要】 第８回講義範囲の確認テストの実施。経管栄養実施に必要な観察項目・準備について解説する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ１０７～１１３ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：経管栄養に必要な観察項目 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第１０回	子どもの医療的ケア　／　喀痰吸引 【key words】 人工呼吸器　呼吸器感染症 【授業概要】 第９回講義範囲の確認テストの実施。喀痰吸引を必要とする子ども、喀痰吸引を行っている子どもへの配慮について解説する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ１１４～１１７ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：喀痰吸引の必要な子ども　喀痰吸引を行っている子どもへの配慮 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第１１回	介護現場とリスクマネジメント

	【key words】 ヒヤリハット　アクシデント　ハインリッヒの法則 【授業概要】 第１０回講義範囲の確認テストを実施。リスクマネジメントとアクシデント、医療的ケア導入による介護事故につながるリスクについて解説する。 【教科書ページ・参考文献】 P１１８～１２０ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：ヒヤリハット　アクシデント　ハインリッヒの法則 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分 第１２回　救急蘇生法 【key words】 救命の連鎖　一次救命処置　二次救命処置 【授業概要】 第１１回講義範囲の確認テストの実施。救急蘇生の重要性、一次救命処置の方法について解説する。 【教科書ページ・参考文献】 P１２９～１３１ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：救命の連鎖　一次救命処置の方法 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分 第１３回　救急蘇生法演習 【key words】 胸骨圧迫　気道確保　ＡＥＤ 【授業概要】 第１２回講義範囲の確認テストの実施。救急蘇生法の実際の手順について、講師の指導のもと演習を実施する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ１９０～１９５ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：救急蘇生法の手順 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分 第１４回　喀痰吸引　まとめ 【key words】 口腔内吸引　鼻腔内吸引　気管カニューレ内部吸引 【授業概要】 口腔内・鼻腔内吸引の手順と留意点、気管カニューレ内部吸引の手順と留意点について解説する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ１３６～１６６ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：口腔内・鼻腔内吸引の実施手順　気管カニューレ内部吸引の実施手順 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分 第１５回　経管栄養　まとめ 【key words】 胃ろうによる経管栄養　経鼻経管栄養 【授業概要】 胃ろうによる経管栄養の手順と留意点、経鼻経管栄養の手順と留意点について解説する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ１６７～１８９ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：胃ろうによる経管栄養の実施手順　経鼻経管栄養の実施手順 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
受講生に関わる情報および受講のルール	私語や携帯電話の使用といった迷惑行為は慎むこと。演習等は、学校指定のジャージを必ず着用すること。本講義内容は生命の安全に関わることを理解し真剣・積極的に取り組むこと
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	シャトルカード
授業外時間にかかわる情報	授業時に指示する。
オフィスアワー	火曜日１４：２０～１５：００　　金曜日１０：３０～　１２：００
評価方法	確認テスト
教科書	柊崎京子・荏原順子　編著　：　介護福祉士養成課程・介護職等のための医療的ケア、建帛社
参考書	印刷資料等。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 大学病院の病棟看護、企業内健康管理室看護師など看護師の実務経験を活かし、医療的ケアに必要な知識や技術について講じます。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習)

	□ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称：　医療的ケアⅡ-②　　授業コード：J866

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年次	1単位(30)	福祉総合コース・介護福祉士実践コース・必修／介護福祉コース・選択
担当教員			
赤田　実千代・福田　智久			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 医療的ケアが必要な人の安全で安楽な生活を支援するため、医療職との連携の下で医療的ケアを安全・適切に実施できるよう、必要な知識・技術を修得する。 【到達目標】 ・医療的ケア、人体に危害を及ぼすおそれのある行為であることを理解し、真摯な姿勢で取り組むことができる。 ・喀痰吸引の手順を理解し、根拠に基づく喀痰吸引が安全・確実に実施できる。 ・経管栄養の手順を理解し、根拠に基づく経管栄養が安全・確実に実施できる。 ・医療的ケアの実施において、医療職と適切に連携できる。
授業の概要	医行為である医療的ケアは人体に危害を及ぼすおそれのある行為であることを理解し、演習を通して根拠に基づく喀痰吸引・経管栄養が実施できるように学習します。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	◎
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	△
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	○

授業計画	第１回　経管栄養（１）　：　胃ろう又は腸ろう演習見学 【key words】 状態観察　逆流防止　清潔保持　感染予防 【授業概要】 胃ろうによる経管栄養の実施手順チェックリストに沿って、デモンストレーションを実施し手順の確認を行う。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ１６７～１７８ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：胃ろうによる経管栄養（必要物品・観察項目） 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分 第２回　経管栄養（１）　：　胃ろう又は腸ろう演習実践 【key words】 状態観察　逆流防止　清潔保持　感染予防 【授業概要】 胃ろうによる経管栄養の実施手順チェックリストに沿って、グループ毎に担当講師の指導のもと演習を実施する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ１６７～１７８ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：胃ろうによる経管栄養（実施手順・必要物品・観察項目） 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分 第３回　経管栄養（１）　：　胃ろう又は腸ろう演習評価 【key words】 状態観察　逆流防止　清潔保持　感染防止 【授業概要】 胃ろうによる経管栄養の実施手順チェックリストに沿って、演習の評価を行う。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ１６７～１７８ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：経鼻経管栄養（必要物品・観察項目） 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分 第４回　経管栄養（２）　：　経鼻経管栄養演習見学 【key words】 状態観察　逆流防止　清潔保持　感染防止 【授業概要】 経鼻経管栄養の実施手順チェックリストに沿って、デモンストレーションを実施し手順の確認を

		行う。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ１６７～１７８ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：経鼻経管栄養（必要物品・観察項目） 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第５回	経管栄養（２）　：　経鼻経管栄養演習実践 【key words】 状態観察　逆流防止　清潔保持　感染防止 【授業概要】 経鼻経管栄養の実施手順チェックリストに沿って、グループ毎に担当講師の指導のもと演習を実施する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ１６７～１７８ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：経鼻経管栄養（実施手順・必要物品・観察項目） 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第６回	経管栄養（２）　：　経鼻経管栄養演習評価 【key words】 状態観察　逆流防止　清潔保持　感染防止 【授業概要】 経鼻経管栄養の実施手順チェックリストに沿って、演習の評価を行う。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ１６７～１７８ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：口腔内吸引（必要物品・観察項目） 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第７回	喀痰吸引（１）　：　口腔内演習見学 【key words】 状態観察　咽頭手前　清潔保持　感染防止 【授業概要】 口腔内吸引の実施手順チェックリストに沿って、デモンストレーションを実施し手順の確認を行う。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ１３６～１５０ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：口腔内吸引（必要物品・観察項目） 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第８回	喀痰吸引（１）　：　口腔内演習実践 【key words】 状態観察　咽頭手前　清潔保持　感染防止 【授業概要】 口腔内吸引の実施手順チェックリストに沿って、グループ毎に担当講師の指導のもと演習を実施する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ１３６～１５０ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：口腔内吸引（実施手順・必要物品・観察項目） 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第９回	喀痰吸引（１）　：　口腔内演習評価 【key words】 状態観察　咽頭手前　清潔保持　感染防止 【授業概要】 口腔内吸引の実施手順チェックリストに沿って、演習の評価を行う。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ１３６～１５０ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：鼻腔内吸引（必要物品・観察項目） 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第１０回	喀痰吸引（２）　：　鼻腔内演習見学 【key words】 状態観察　咽頭手前　清潔保持　感染防止 【授業概要】 鼻腔内吸引の実施手順チェックリストに沿って、デモンストレーションを実施し手順の確認を行う。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ１３６～１５０ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：鼻腔内吸引（必要物品・観察項目） 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
	第１１回	喀痰吸引（２）　：　鼻腔内演習実践 【key words】 状態観察　咽頭手前　清潔保持　感染防止 【授業概要】 鼻腔内吸引の実施手順チェックリストに沿って、グループ毎に担当講師の指導のもと演習を実施

	する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ１３６～１５０ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：鼻腔内吸引（実施手順・必要物品・観察項目） 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分 第１２回　喀痰吸引（２）　：　鼻腔内演習評価 【key words】 状態観察　咽頭手前　清潔保持　感染防止 【授業概要】 腔内吸引の実施手順チェックリストに沿って、演習の評価を行う。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ１３６～１５０ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：気管カニューレ内部吸引（必要物品・観察項目） 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分 第１３回　喀痰吸引（３）　：気管カニューレ内部演習見学 【key words】 状態観察　滅菌　清潔保持　感染防止 【授業概要】 気管カニューレ内部吸引の実施手順チェックリストに沿って、グループ毎に担当講師の指導のもと演習を実施する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ１５１～１６６ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：気管カニューレ内部吸引（必要物品・観察項目） 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分 第１４回　喀痰吸引（３）　：気管カニューレ内部演習実践 【key words】 状態観察　滅菌　清潔保持　感染防止 【授業概要】 気管カニューレ内部吸引の実施手順チェックリストに沿って、グループ毎に担当講師の指導のもと演習を実施する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ１５１～１６６ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：気管カニューレ内部吸引（実施手順・必要物品・観察項目） 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分 ３０分 第１５回　喀痰吸引（３）　：気管カニューレ内部演習評価 【key words】 状態観察　滅菌　清潔保持　感染防止 【授業概要】 気管カニューレ内部吸引の実施手順チェックリストに沿って、演習の評価を行う。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ１５１～１６６ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：気管カニューレ内部吸引（実施手順・必要物品・観察項目） 【予習復習に必要な想定時間】 ３０分
受講生に関わる情報および受講のルール	私語や携帯電話の使用といった迷惑行為は慎むこと。演習等は、学校指定のジャージを必ず着用すること。本講義内容は生命の安全に関わることを理解し真剣・積極的に取り組むこと
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	シャトルカード
授業外時間にかかわる情報	授業時に指示する。
オフィスアワー	火曜日１４：２０～１５：００　　金曜日１０：３０～　１２：００
評価方法	演習に取り組む姿勢５０％　実技試験５０％
教科書	柊崎京子・荏原順子　編著　：　介護福祉士養成課程・介護職等のための医療的ケア、建帛社
参考書	印刷資料等。
実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 大学病院の病棟看護、企業内健康管理室看護師など看護師の実務経験を活かし、医療的ケアに必要な知識や技術について講じます。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク

	□アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容

講義科目名称： 生活支援実習Ⅱ　　授業コード： J922

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年次	5単位(232)	介護福祉コース・福祉総合コース・介護福祉士実践コース・選択
担当教員			
矢嶋　栄司・土屋　昭雄			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	長期実習〔授業の目的〕 介護過程で学んだ思考のプロセスを実際の利用者を受け持つことにより実践する。その際に、個々の利用者の生活背景や生活リズムを理解し、必要な情報を収集し、自立支援の視点から実際の場面での介護過程の展開能力を養う。 長期実習〔到達目標〕 ①個々の生活リズムや個性を理解するという観点から様々な生活場面において個別ケアを理解し、情報のもつ意味を解釈し、情報同士の関連づけができる。 ②利用者・家族とのコミュニケーションの実践、介護技術の確認、多職種協働や関係機関との連携を通じてチームの一員として介護福祉士の役割について学習する。 ③個別ケアを行うために個々の生活リズムや個性を理解し、利用者の課題を明確にするための利用者ごとの介護計画の作成、提供の基本となる実践力を習得し理解できる。 ④援助内容が適切であったかの評価、計画を修正する必要があるかの判断ができる。 短期実習〔授業の目的〕 暮らしの場を広く知り、介護サービスを利用しているさまざまな利用者の個々の生活リズムや個性を理解し、個別ケアを行うことで、総合的な学習の習得を目指す。多職種との連携を通じて、チームの一員としての介護福祉士の役割について理解する。 短期実習〔到達目標〕 ①居宅での介護がどのようなものなのか理解できる。 ②居宅介護サービス利用者の個々の生活リズムが理解できる。 ③居宅介護における個別ケアがどのようなものか理解できる。 ④介護技術の確認を理解できる。
授業の概要	実習を行う中で、施設・事業所等において一定期間以上継続して利用者を受け持つことにより、利用者個々の介護計画の作成及び実施をし、実施後の評価やサービス提供の基本となる実践力を習得する。

各学科、専攻、コースにおけるDP	科目における重要度
医療福祉専門職に関する知識を修得し、医療・福祉に関する課題を多面的に考察することができる。	△
医療福祉の対象者一人ひとりの望む生活に貢献できる力を有している。	○
本学の仁の精神に基づき、人の尊厳を踏まえた医療福祉専門職としての職業倫理を身に付けている。	
医療福祉専門職としてのプライドを持ち、医療・福祉に対する貢献意欲を持っている。	
多職種の専門性を理解し、対象者一人ひとりの利益を第一に考え行動できる。また、その人々の尊厳を保持し、医療・福祉に関する課題解決のための方法を創造することができる。	◎

授業計画	【key words】 【授業概要】 実習時期及び実習日数・時間 ２年次　長期実習【２５日以上かつ２００時間以上とする】 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 【予習復習に必要な想定時間】
受講生に関わる情報および受講のルール	「群馬医療福祉大学短期大学部生活支援実習ガイドライン」を参照
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	—
オフィスアワー	—
評価方法	実習巡回指導教員50%、実習施設指導者20%、介護総合演習Ⅱ担当教員30%
教科書	『介護実習サポートブック　－実習を乗り切るための40講－』　看護の科学社
参考書	—

実務者経験/アクティブラーニング/リテラシー教育	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 高齢者施設にて介護職員として実務の経験あり。 アクティブラーニング要素 □PBL(課題解決型学習) □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない 情報リテラシー教育 □情報モラルに関する教育 □課題解決のために必要な情報を探索するもの（図書館利用法・文献探索・データベース活用法等） □情報を分析評価し整理するもの（情報処理、情報整理法等） □情報のアウトプットに関するもの（レポート・論文の書き方、プレゼンテーション技法等） □情報リテラシー教育は実施していない ICTの活用 □ICTを活用した双方向型の授業の実施 □e-ラーニングなどICTを活用した自主学習支援 □その他 その他の具体的内容